

## 2. 中世

中世面は、基本土層第Ⅲ層を遺構確認面として調査を行い、調査区全体から遺構が確認されている。検出された遺構は、段切り3ヶ所、堅穴状遺構41基、溝状遺構26条、耕作址1ヶ所、井戸址9基、硬化面5ヶ所、地下式坑5基、土坑151基、集石1基、ピット2,067基、焼土址4基である。中世の遺構配置は第415～419図に掲載している。遺物は調査区全体より、14世紀後半以降を中心とした舶載磁器・瀬戸窯・渥美窯・常滑窯・亀山窯等の陶磁器、かわらけ、銅製品、鉄製品、錢貨、石製品、木製品が総計2,790点(68,214.7g)出土している。以下、遺構と出土遺物について述べる。

### (1) 段切り

#### C 1号段切り(第420図、図版91-2)

W11～13、X11～13グリッドで検出された。確認面の上端の標高は21.6～22.0m、下端の標高は21.4～21.9mを測る。北東側は調査区外に延びている。南西側は上面が削平され、遺構が消えている。C1号集石を切っている。東側をC2号溝状遺構に切られている。C31号土坑を切っている。北東方向から南西方向に等高線に沿うように確認されている。確認された長さは22.25m、幅0.06～0.55m、高さ0.07～0.29mを測る。

覆土は明褐色土・暗褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器碗1点(3.9g)、土製品の羽口1点(43.8g)の計2点(47.7g)が出土している。いずれも小破片で、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土・遺物及び周辺の遺構から出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 2号段切り(第421図)

W9・W10グリッドで検出された。確認面の上端の標高は23.1～23.3m、下端の標高は22.4～22.8mを測る。C112号土坑を切っている。C20号堅穴状遺構、C27号溝状遺構、C39・83・108号土坑、C1272・1414号ピットに切られている。北東方向から南西方向に等高線に沿うように確認されている。確認された長さは11.745m、幅2.01～2.92m、高さ0.74～0.83mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構から出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

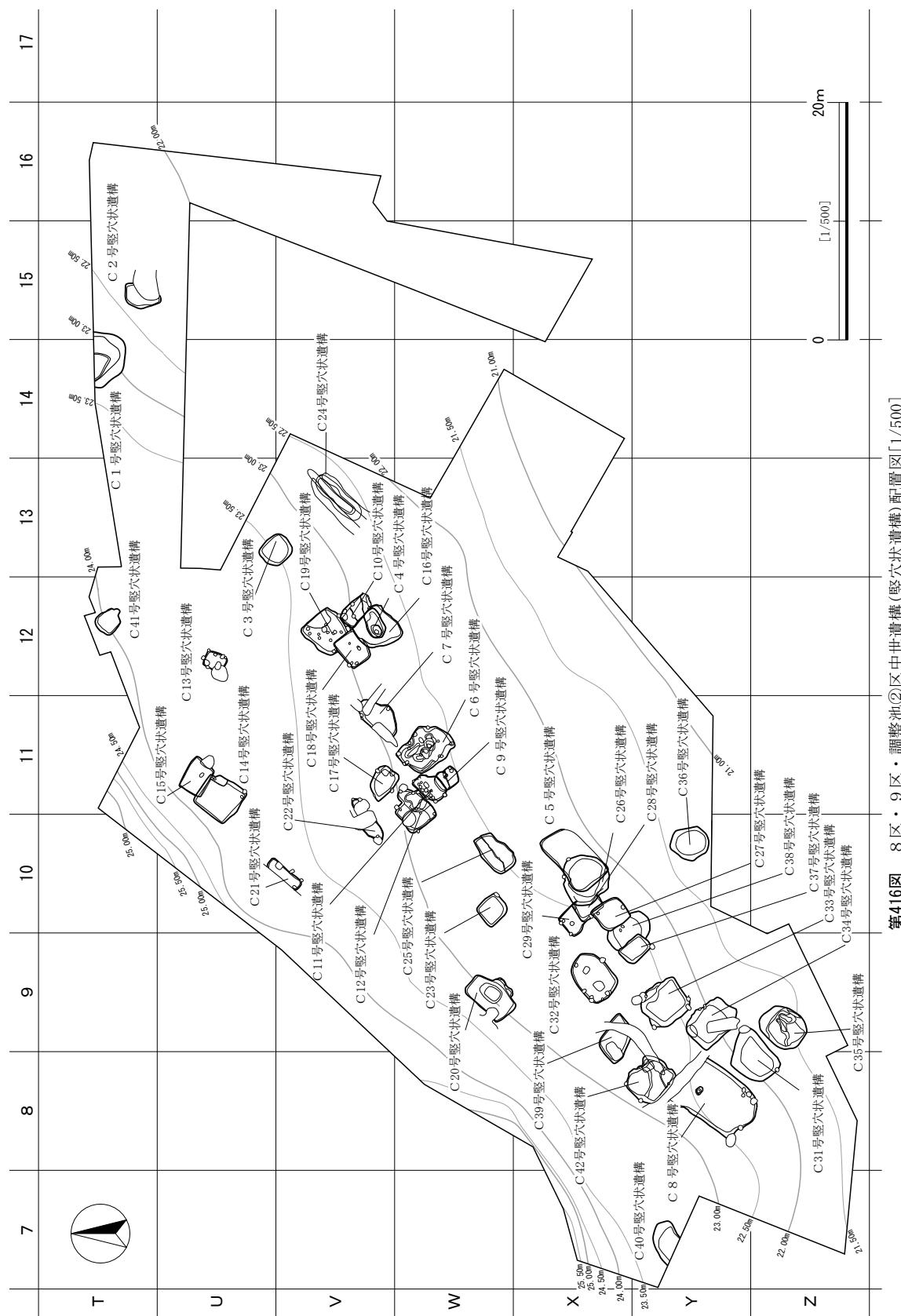
#### C 5号段切り(第422・423図、第99表、図版171-2・174-2)

W～Y8～10グリッドで検出された。上端の標高は22.7～23.2m、下端の標高は22.2～22.5mを測る。C112号土坑を切っている。C20号堅穴状遺構、C14号溝状遺構、C101・116・123～126号土坑、C1787・1821・1808号ピット、攪乱に切られている。北東方向から南西方向に等高線に沿うように確認されている。確認された長さは11.03m、幅0.24～0.92m、高さ0.39～0.88mを測る。

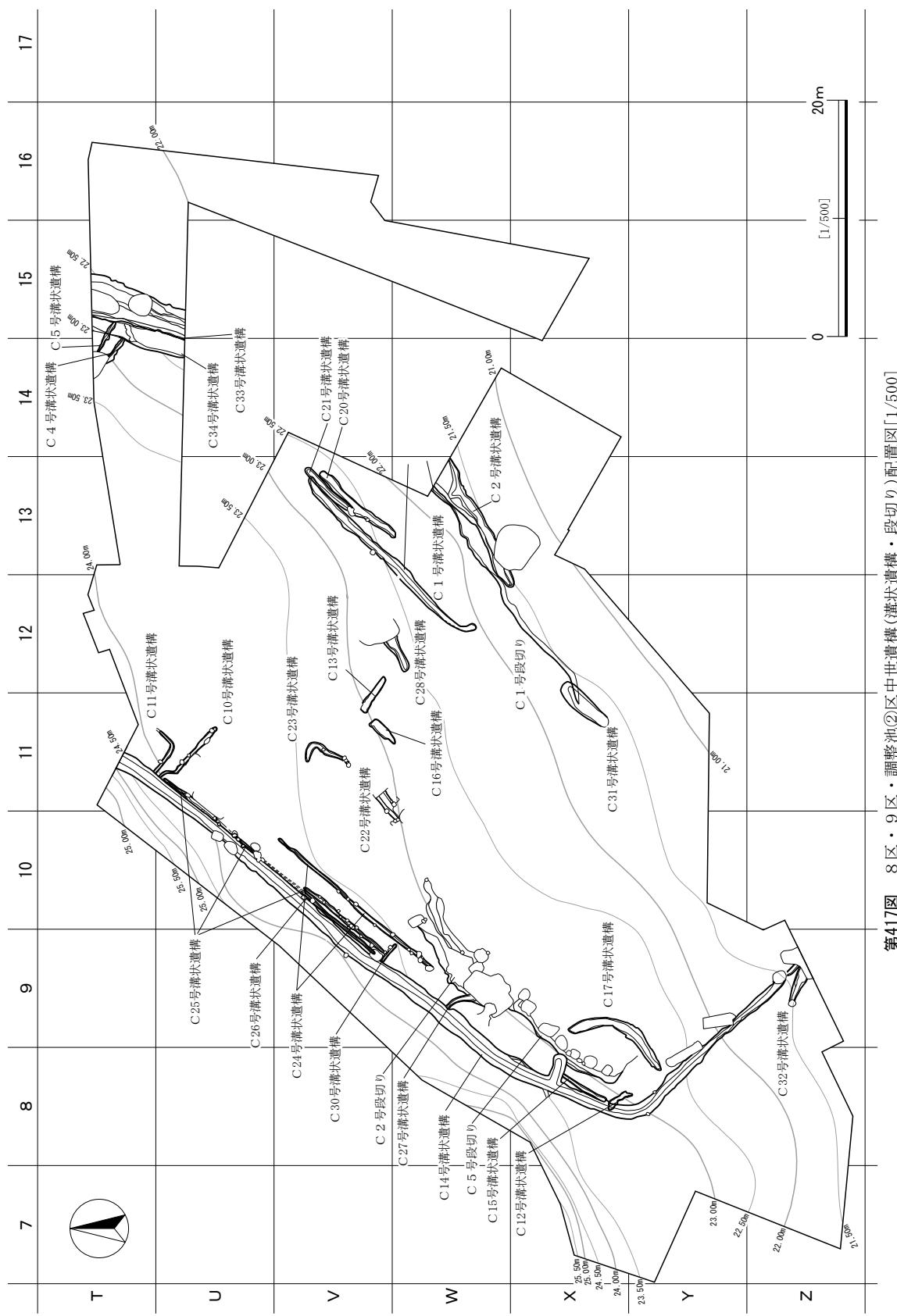
覆土は北側のA-A'では暗黄褐色土の4層で構成され、ローム主体の層である。第2層には茶褐色



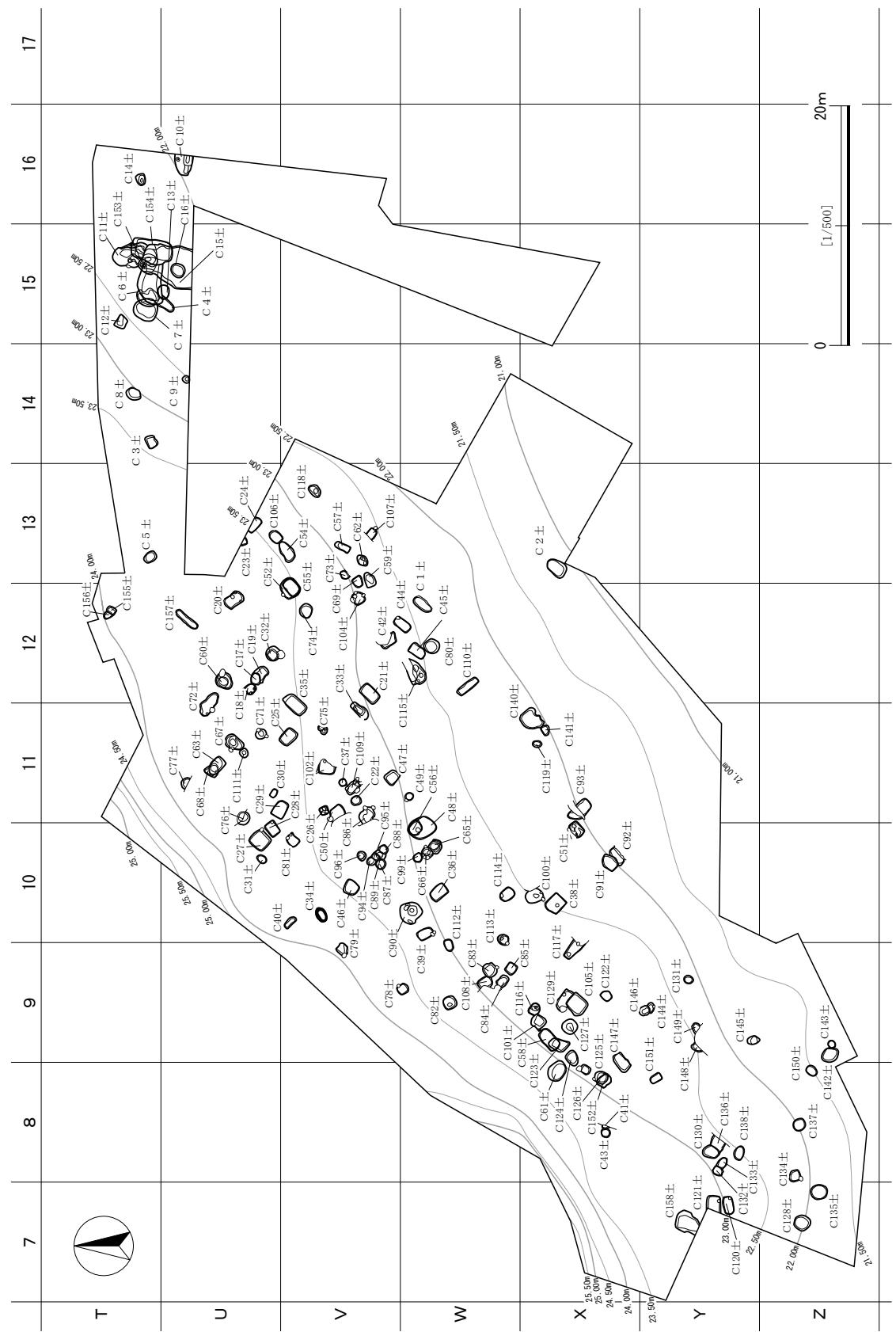
第415図 8区・9区・調整地②区中世遺構配置図[1/500]



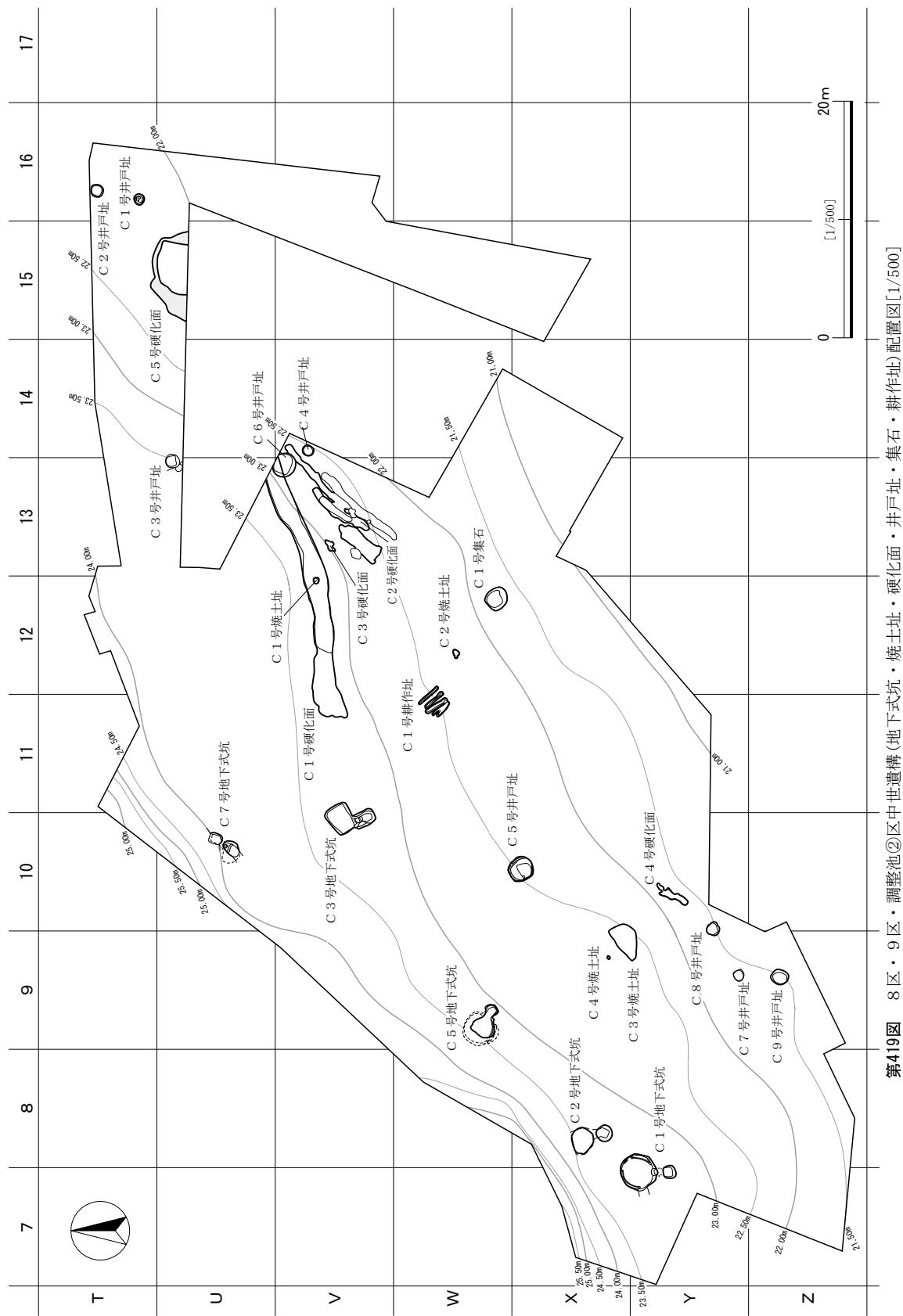
第416図 8区・9区・調整池②区中世遺構(縦穴状遺構)配置図 [1/500]



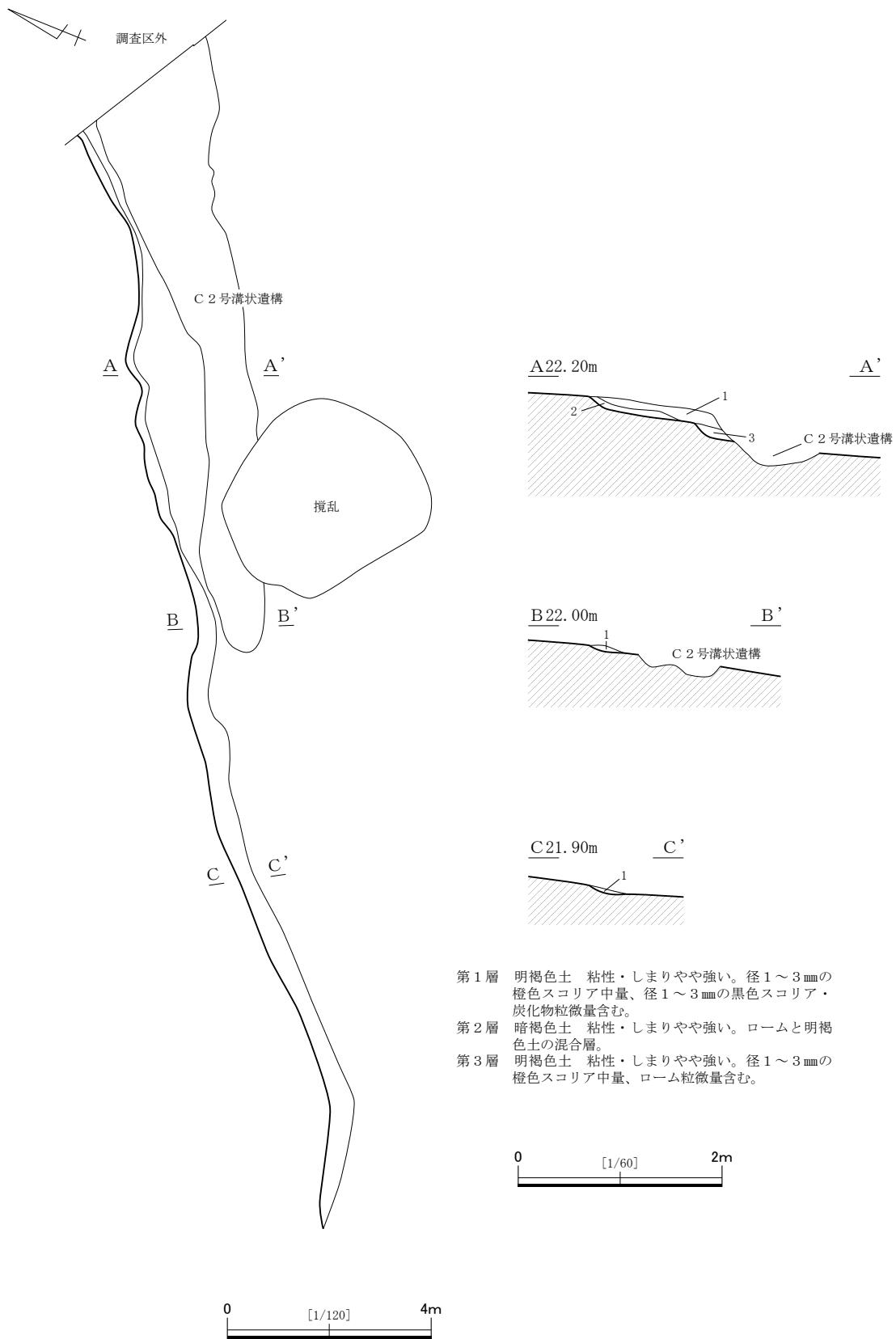
第417図 8区・9区・調整池②区中世遺構(溝状遺構・段切り)配置図 [1/500]



第418図 8区・9区・調整池②区中世遺構(土坑)配置図[1/500]

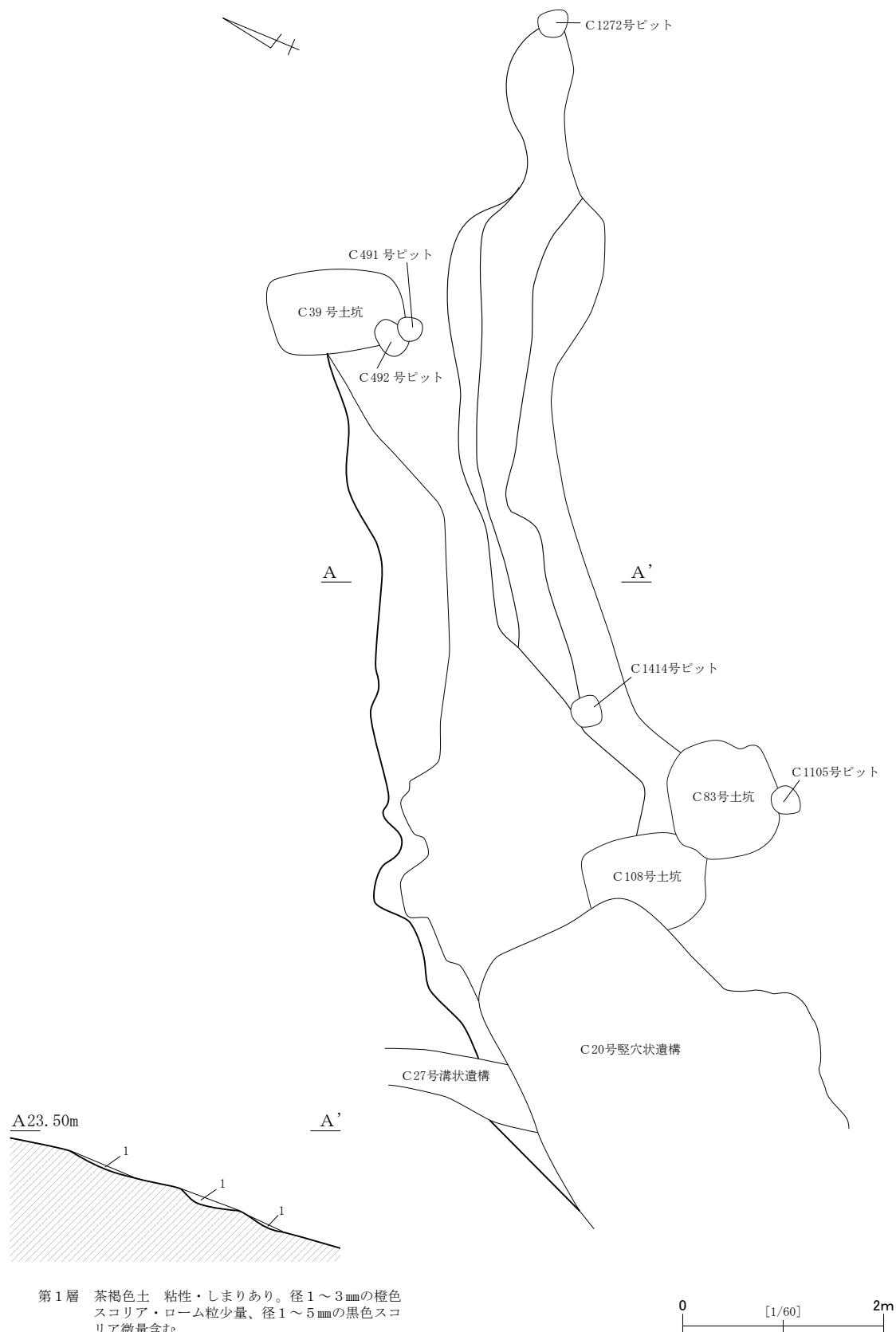


第419図 8区・9区、調整地②区中世遺構(地下式坑・焼土址・硬面・井戸址・集石・耕作址)配置図[1/500]

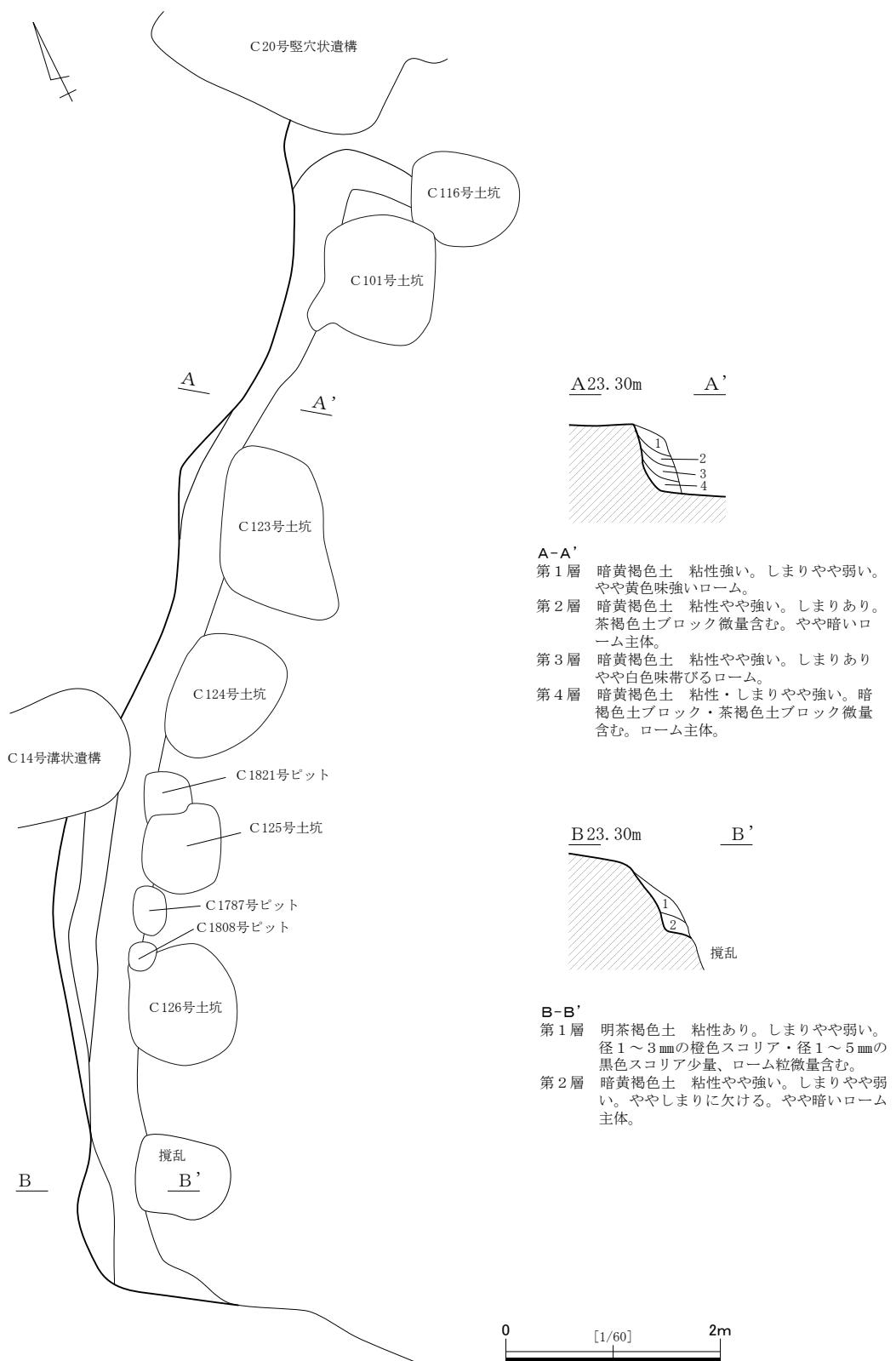


- 第1層 明褐色土 粘性・しまりやや強い。径1～3mmの  
橙色スコリア中量、径1～3mmの黒色スコリア・  
炭化物粒微量含む。
- 第2層 暗褐色土 粘性・しまりやや強い。ロームと明褐色土の混合層。
- 第3層 明褐色土 粘性・しまりやや強い。径1～3mmの  
橙色スコリア中量、ローム粒微量含む。

第420図 8区・9区・調整池②区（8区②・9区西）C 1号段切り [1/120・1/60]



第421図 8区・9区・調整池②区C 2号段切り [1/60]



第422図 8区・9区・調整池②区C5号段切り [1/60]

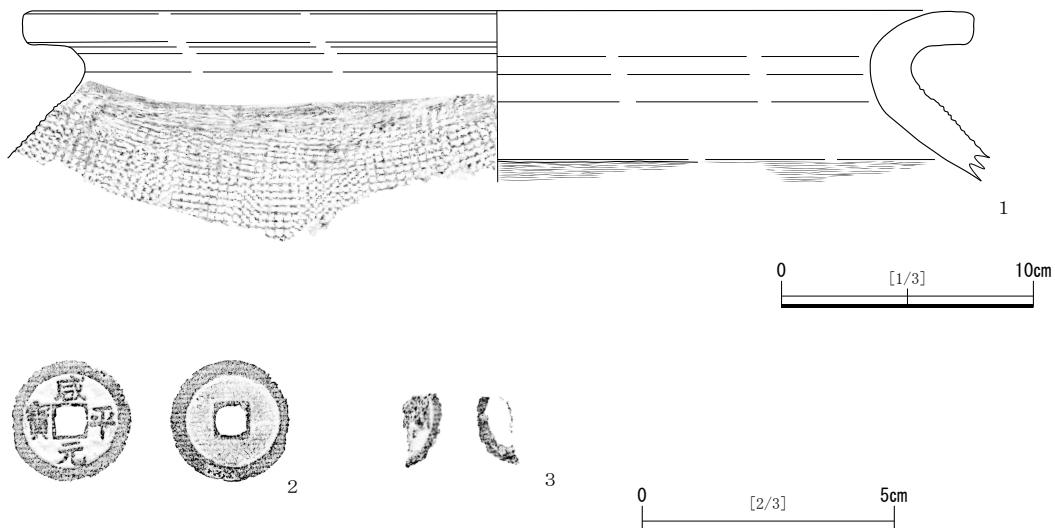
土のブロックを微量含む。第4層には暗褐色土と茶褐色土のブロックを微量含む。南側のB-B'は明茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、舶載の磁器碗1点(17.9g)、常滑窯の陶器甕2点(64.8g)、亀山窯の陶器甕4点(591.5g)、銅錢2点(2.6g)の計9点(676.8g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第423図1は亀山窯の陶器甕の口縁部～頸部である。胎土は灰白色、細かい砂粒・石英・角閃石を含んでいる。肩部に細かい格子目状の叩き目が施される。13世紀後半～14世紀前半の製品と考えられる。

第423図2・3は渡来銭である。2は咸平元寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は998年、書体は真書である。3は熙寧元寶と考えられるが「寧」のみが残り、他の3文字は欠損している。熙寧元寶の鑄造国は北宋、初鑄年は1068年である。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構から出土した遺物から14世紀以降と考えられる。



第423図 8区・9区・調整池②区C 5号段切り出土遺物 [1/3・2/3]

第99表 8区・9区・調整池②区C 5号段切り出土遺物観察表 [第423図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	甕	陶器	[36.0]	—	(6.7)	591.5	口縁部1/6 頸部1/3	亀山	13世紀 後半～ 14世紀 前半	胎土 灰白色、密、細かい砂粒・石英・角閃石を含む 焼成 良好 備考 肩部に細かい格子目状の叩き目
No.	材質	銭名	銭径(mm)	穿径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	残存度	観察内容		
2	銅	咸平元寶	24.5	5.8	1.2	2.2	完形	鑄造国 北宋 初鑄年 998年	備考 真書	
3	銅	□寧□□	—	—	0.9	0.4	1/4	鑄造国 北宋 初鑄年 1068年	備考 熙寧元寶 と考えられるが「寧」のみ残り他の3文字は欠損	

## (2) 壇穴状遺構

**C 1号壇穴状遺構**(第424～426図、第100表、図版92-1・171-2・172・173-2・174-1)

T 14・15グリッドで検出された。確認面の標高は23.7～23.8mを測る。C 4・5・34号溝状遺構を切っている。北側が調査区外に延びている。隅丸方形のプランを呈すると考えられる。逆台形状の掘り込みを持ち、底面が一段低くなっている。長軸方位はN-89°-Eで、規模は長軸4.59m、残存短軸2.63mを測る。確認面からの深さは0.92～1.41mを測る。

覆土は明褐色土・明灰褐色土・青灰褐色土・暗青灰褐色土・暗灰褐色土・茶褐色土・明黄褐色土の22層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1～5・7・8層には炭化物粒を微量、ロームブロックを微量含む。第13層には褐色土のブロックを微量含む。第16・17層には土丹を含む。底面が幅2.28m、奥行き1.36m、深さ0.18mで一段低くなっている。

遺物は、瀬戸窯の陶器碗1点(23.6g)・皿1点(1.9g)、常滑窯の陶器甕3点(124.6g)、瓦質の火鉢1点(121.4g)、かわらけ127点(2,382.2g)、鉄製品の釘1点(5.3g)、石製品の五輪塔・石臼・板碑・石鉢4点(10,807.6g)、椀型滓1点(232.3g)の計139点(13,698.9g)が出土している。図化したのは、以下の22点である。

第425図1は古瀬戸の陶器灰釉碗の底部である。入子碗で、底部に回転糸切り痕が残る。13世紀後半の製品と考えられる

第425図2～18はかわらけである。2～7は大型の製品、8～18は中型の製品に分類される。色調は橙色・にぶい黄橙色で、赤色スコリア・白色針状物質・細かい砂粒・石英・角閃石を含んでいる。底部には底部回転糸切り痕・スノコ痕が認められる。2～7の大型のかわらけは体部がやや開いており、8～17の中型のかわらけは体部がやや立った状態である。18は体部が90°に近い状態で、全体が箱状を呈していて、他のかわらけより時期がやや新しいものと考えられる。6・8・10・11・17・18には口唇部や体部に煤が残っており、灯明皿として使用されていたものと考えられる。いずれも14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

第426図19は鉄製品の釘である。両端部欠損しており、全体に錆が著しい。

第426図20～22は石製品である。20は石臼の下臼で、1/2程度が残存している。底面には磨り溝が確認できる。石材は安山岩である。21は石鉢の体部破片で、内面には磨り痕が確認できる。下面には、高さは1.7cm、径2.8cm、基径4.1～4.4cmの脚が1ヶ所残っている。石材はデイサイトである。22は五輪塔の空風輪である。表面に梵字は確認されなかった。石材は多孔質安山岩である。

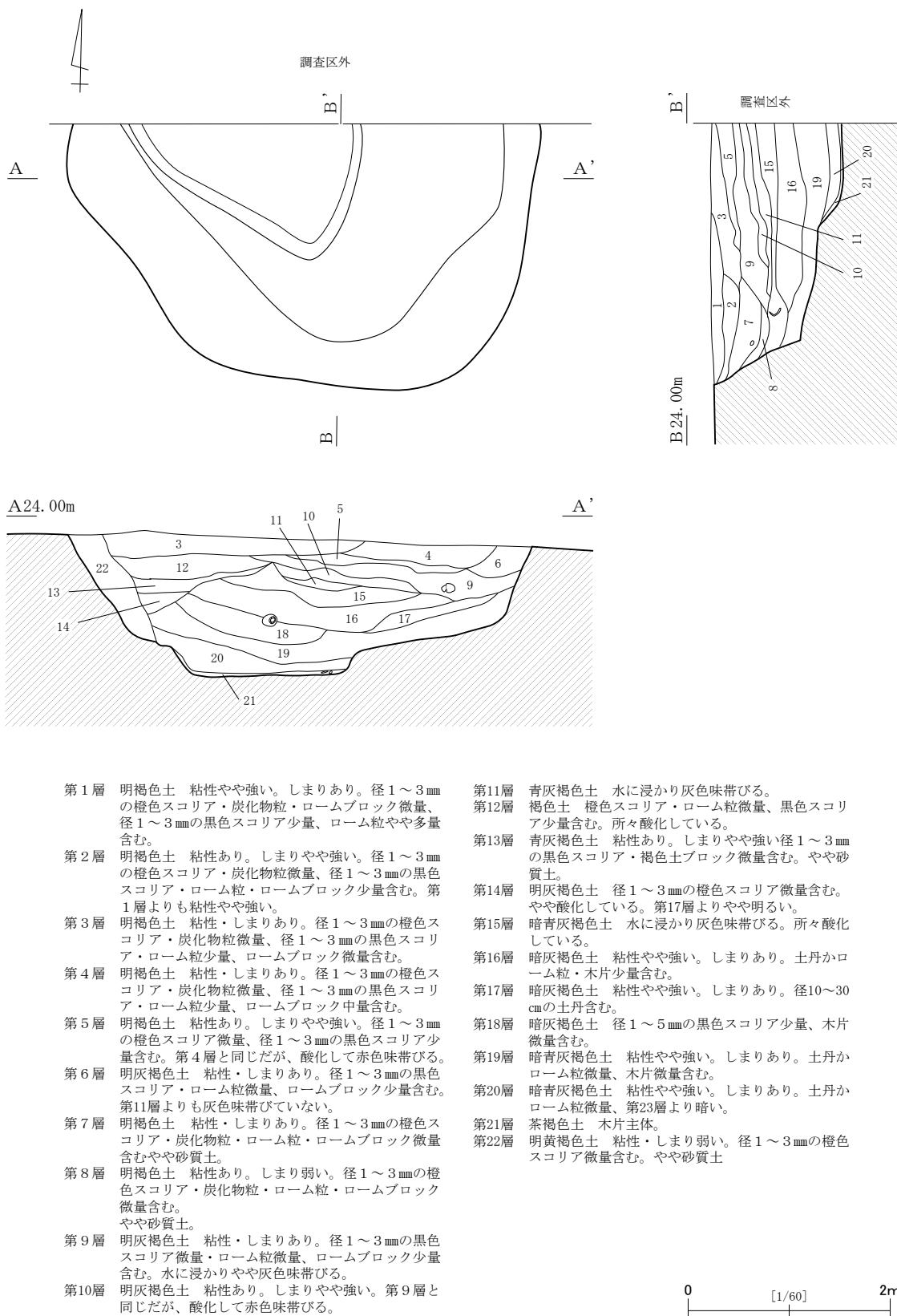
遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 2号壇穴状遺構**(第427図、図版92-2)

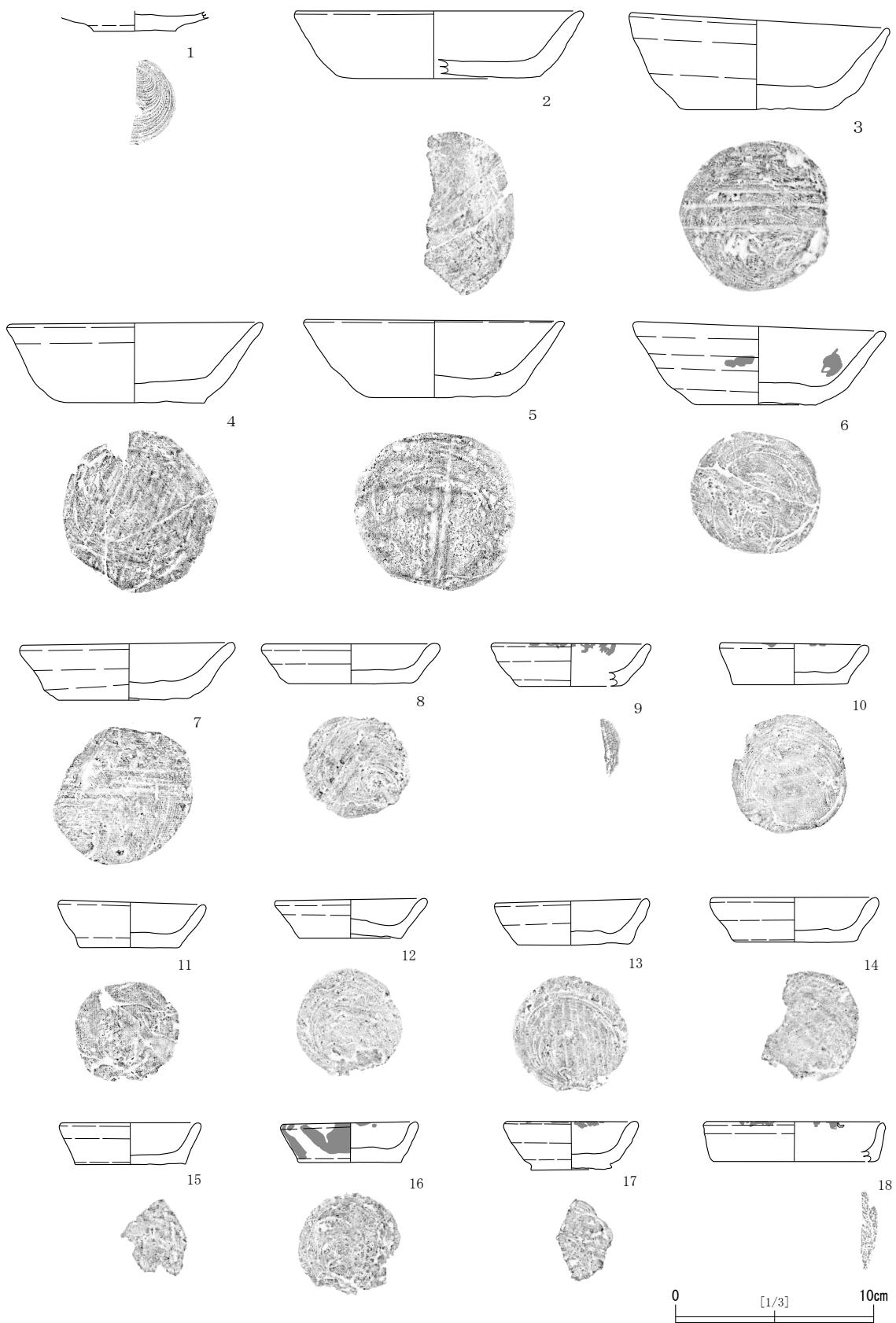
T・U 15グリッドで検出された。確認面の標高は23.5～23.6mを測る。南東隅をC 154号土坑に切られている。C 4号土坑を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-10°-Eで、規模は長軸3.01m、短軸2.09mを測る。確認面からの深さは0.16～0.25mを測る。

覆土は明褐色土と褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

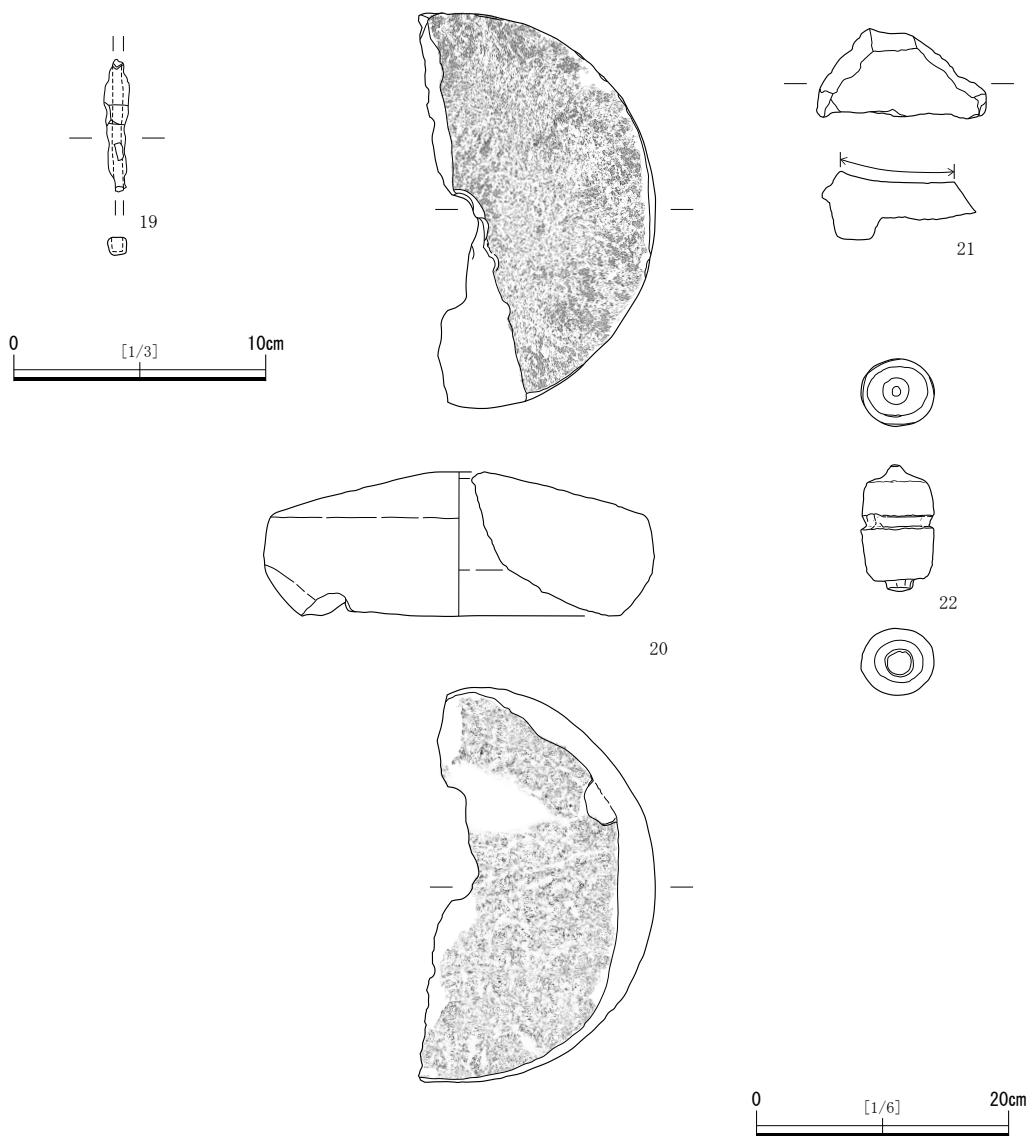
遺物は、石製品の火打石1点(35.0g)が出土しているが、図化し得なかった。



第424図 8区・9区・調整池②区C 1号竪穴状遺構 [1/60]



第425図 8区・9区・調整池②区C 1号竪穴状遺構出土遺物(1) [1/3]



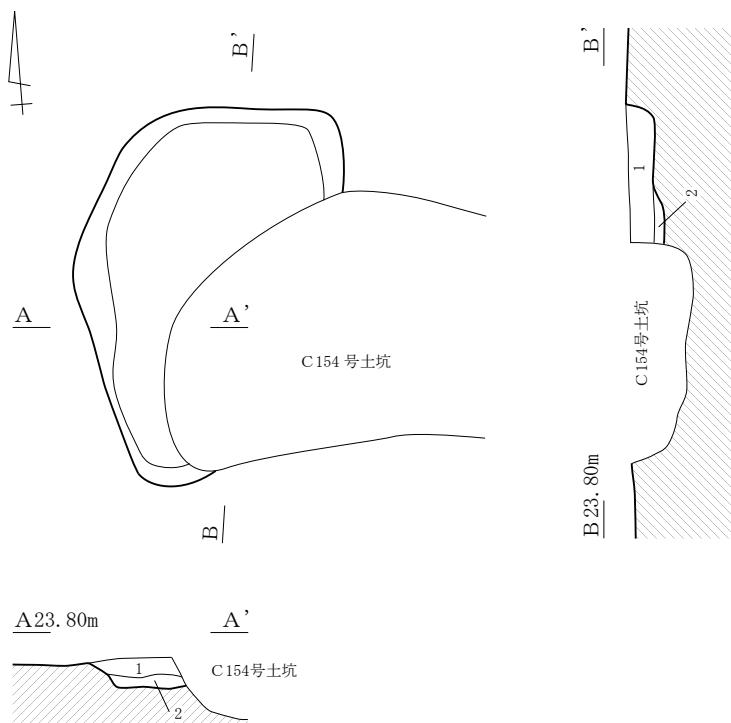
第426図 8区・9区・調整池②区C 1号竪穴状遺構出土遺物(2) [1/3]

第100表 8区・9区・調整池②区C 1号竪穴状遺構出土遺物観察表 [第425・426図]

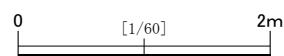
No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	灰釉碗	陶器	—	4.2	(1.5)	23.6	底部1/2	古瀬戸	13世紀後半	胎土 灰色、密 焼成 良好 釉薬:灰釉 備考 入子碗、底部回転糸切り痕
2	かわらけ	土器	[13.9]	[10.2]	3.4	8.5	口縁部～ 体部1/6・ 底部1/3	在地	14世紀後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、細かい 砂粒・石英を含む 焼成 や や不良 備考 内外面付着物 有で調整不明瞭、底部回転 糸切り痕
3	かわらけ	土器	13.0	7.8	4.9	214.8	口縁部 1/2・ 体部2/3・ 底部完存	在地	14世紀後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃 石・砂粒・石英・白色粒 子・赤色スコリアを含む 焼 成 良好 備考 底部回転糸切 り痕、スノコ痕

4	かわらけ	土器	12.7	7.3	4.1	160.8	口縁部 1/2・ 体部3/4・ 底部完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、白色針状物質・角閃石・白色粒子・細かい砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕
5	かわらけ	土器	12.9	7.3	3.9	216.2	口縁部 3/4・ 体部～底部 ほぼ完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、白色針状物質・角閃石・白色粒子を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕
6	かわらけ	土器	[12.6]	[6.0]	4.0	176.0	口縁部一部 欠損・ 底部完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、砂粒・石英を含む 焼成 良好 備考 口唇部煤付着、底部回転糸切り痕
7	かわらけ	土器	10.7	6.7	2.9	131.3	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、白色粒子・細かい砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 底部回転糸切り痕、スノコ痕
8	かわらけ	土器	[8.6]	[6.0]	2.0	42.1	口縁部 1/4・底部 完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 明黄褐色、密、細かい砂粒・石英・角閃石を含む 焼成 良好 備考 底部糸切り痕、スノコ痕
9	かわらけ	土器	[7.8]	5.2	2.1	9.6	口縁部～ 体部1/6・ 底部破片	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 にぶい黄橙色、密、角閃石・石英を含む 焼成 良好 備考 口唇部スス付着
10	かわらけ	土器	7.4	5.8	2.1	52.3	口縁部～ 体部4/5・ 底部完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、砂粒、細かい砂粒・角閃石・白色針状物質・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 口唇部煤付着、底部回転糸切り痕、スノコ痕
11	かわらけ	土器	7.3	5.1	2.4	45.5	口縁部 3/4・体部 ～底部4/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・細かい砂粒・白色粒子・石英・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕
12	かわらけ	土器	7.6	5.2	2.0	50.8	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、砂粒・雲母・赤色スコリア・角閃石を含む 焼成 良好 備考 全体が歪んでいる、底部回転糸切り痕、スノコ痕
13	かわらけ	土器	7.7	5.6	2.3	65.5	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、雲母・細かい砂粒・角閃石を含む 焼成 良好 備考 見込みに煤付着、底部回転糸切り痕、スノコ痕
14	かわらけ	土器	[8.4]	[6.0]	2.2	43.4	口縁部～ 体部1/3・ 底部4/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 にぶい黄橙色、密、細かい砂粒・角閃石・石英を含む 焼成 良好 備考 底部糸切り痕・スノコ痕不明瞭
15	かわらけ	土器	[6.8]	[5.5]	2.1	10.2	口縁部～ 体部1/8・ 底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、赤色スコリア・白色針状物質・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部糸切り痕不明瞭
16	かわらけ	土器	6.7	5.2	2.0	45.5	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・砂粒を含む 焼成 良好 備考 内外面煤付着、底部回転糸切り痕

17	かわらけ	土器	[6.6]	[4.0]	2.4	15.4	口縁部～ 体部1/4・ 底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 明黄褐色、密、細かい 砂粒・石英・角閃石を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸 切り痕不明瞭
18	かわらけ	土器	[9.0]	[8.4]	2.0	7.0	口縁部～ 体部1/6	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・細 かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 口唇部煤付着、底部調 整不明
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
19	釘	鉄	5.4	0.7	0.7	5.3	残存度 両端部欠損 備考 全体に鋆が著しい。			
No.	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
20	石臼	安山岩	(31.0)	(18.3)	11.4	7,400.0	残存度 1/2 備考 下臼			
21	石鉢	デイ サイト	13.5	6.7	3.1	361.2	残存度 底部破片、脚1ヶ所残 備考 脚高1.7cm・脚径 2.8cm・脚基径4.1～4.4cm、内面磨り痕			
22	五輪塔	多孔質 安山岩	20.0	11.6	10.6	3,016.0	残存度 完形 備考 空風輪 備考 表面に梵字は確認出来 ない 時期 14世紀末～15世紀以降			



第1層 明褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・ロームブロック微量、径1～3mmの黒色  
スコリア少量、ローム粒多量含む。  
第2層 褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～3mmの黒色スコリア・  
ローム粒少量含む。



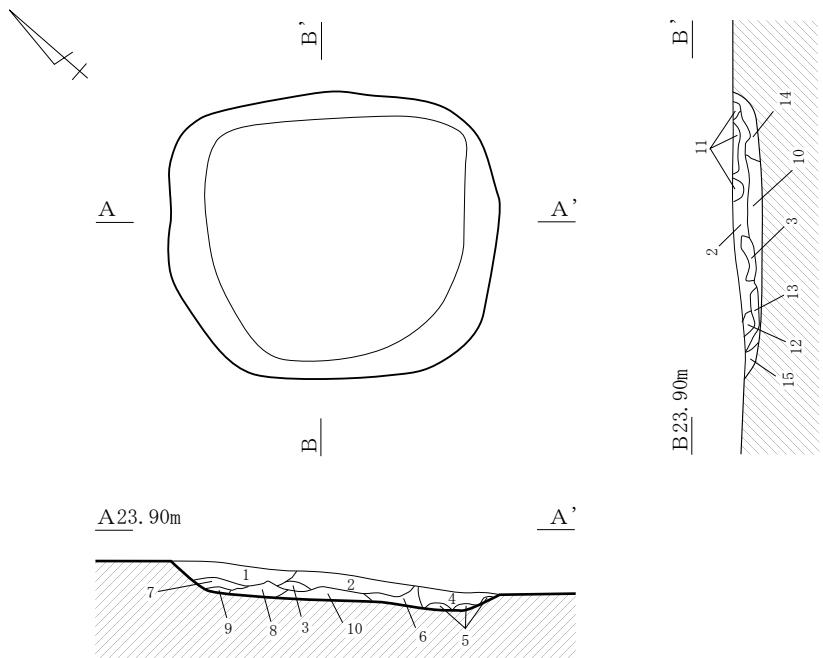
第427図 8区・9区・調整池②区C 2号堅穴状遺構 [1/60]

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構から出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

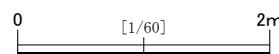
### C 3号竪穴状遺構(第428図、図版93-1)

U・V13グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.6mを測る。C 54・106号土坑を切っている。隅丸方形形のプランを呈し、浅い皿状の掘り込みを持つ。長軸2.61m、短軸2.30mを測る。確認面からの深さは0.10～0.24mを測る。

覆土は暗茶褐色土・茶褐色土・褐色土・暗褐色土・明褐色土・明茶褐色土の15層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には炭化物粒を微量含む。第3・13層には暗褐色土のブロック、第8層には暗茶褐色土のブロック、第14・15層茶褐色土のブロックを含む。



- 第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第2層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒微量含む。  
 第3層 暗茶褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、暗褐色土ブロック微量含む。  
 第4層 暗茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第5層 褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第6層 褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第7層 暗褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第8層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア中量、暗茶褐色土ブロック少量含む。  
 第9層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。第8層よりやや暗い。  
 第10層 明褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第11層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第12層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第13層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、暗褐色土ブロック微量含む。  
 第14層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、茶褐色土ブロック少量含む。  
 第15層 暗茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、茶褐色土ブロック微量含む。



第428図 8区・9区・調整池②区(8区②・9区西) C 3号竪穴状遺構 [1/60]

遺物は、かわらけ5点(84.1g)が出土している。小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構から出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 4号堅穴状遺構(第429・430図、第101表、図版173-1)

V12グリッドで検出された。確認面の標高は22.7~22.9mを測る。C10・16号堅穴状遺構、C42号土坑を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-63°-Eで、長軸2.55m、短軸1.49mを測る。確認面からの深さは0.21~0.32mを測る。

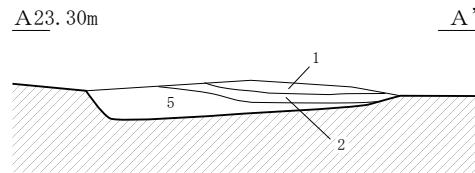
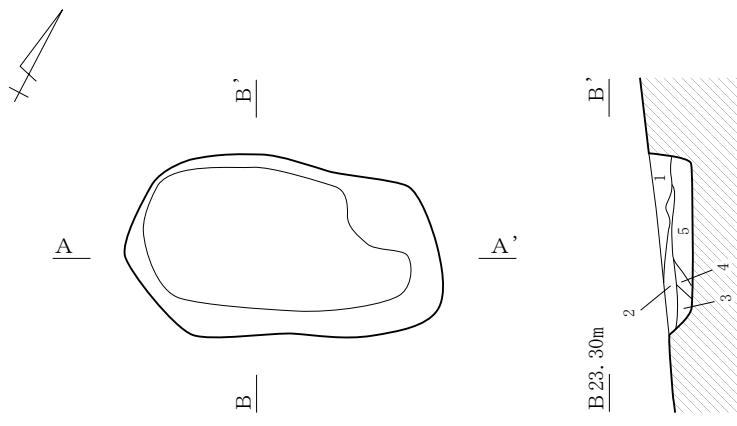
覆土は茶褐色土・暗黄褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒と乳褐色土のブロック微量、第4層には茶褐色土のブロックを微量、第5層にはロームに茶褐色土のブロックを少量混入する。

遺物は、舶載の磁器碗1点(3.3g)、常滑窯の陶器甕1点(71.4g)の計2点(74.7g)が出土している。

図化したのは、以下の1点である。

第430図1は研磨陶片である。常滑甕の甕の体部を転用して、側面の1面使用している。

遺構の時期は、確認面・覆土と周辺の遺構から出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



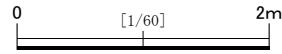
第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリアやや多量、径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、乳褐色土ブロック微量含む。

第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量含む。

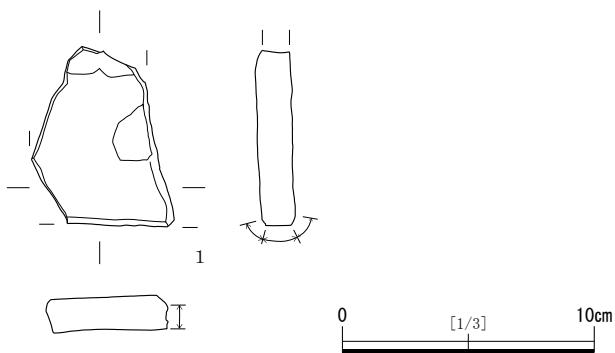
第3層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。

第4層 暗黄褐色土 粘性・しまりやや強い。ローム主体。茶褐色土ブロック微量含む。

第5層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。ロームに茶褐色土ブロック少量混入。



第429図 8区・9区・調整池②区C 4号堅穴状遺構 [1/60]



第430図 8区・9区・調整池②区C 4号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]

第101表 8区・9区・調整池②区C 4号竪穴状遺構出土遺物観察表 [第430図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)					
1	研磨陶片	陶器	7.0	5.1	1.4	71.4	体部破片	常滑	中世	胎土灰褐色、密、砂粒・小礫・石英を含む焼成良好 参考 常滑の壺体部を転用、側面の1面使用

**C 5号竪穴状遺構 (第431図、図版93-2)**

X 10グリッドで検出された。確認面の標高は22.4～22.6mを測る。C 26号竪穴状遺構を切っている。南東側の上面が削平されて掘り込みが消えている。隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-49°-Eで、長軸5.51m、確認されている短軸3.47mを測る。確認面からの深さは0.11～0.023mを測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土・暗褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

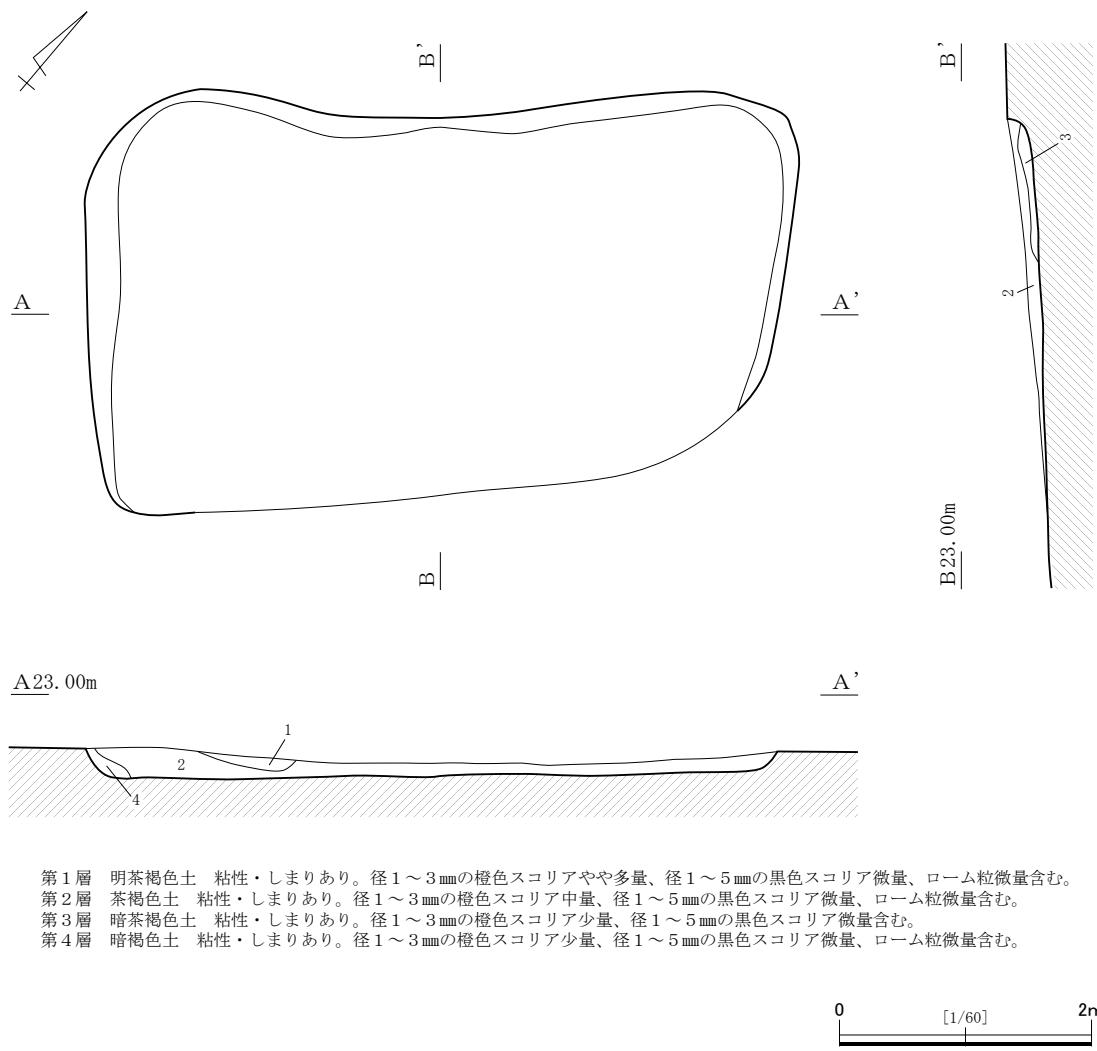
遺物は、かわらけ14点(36.1g)が出土している。小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 6号竪穴状遺構 (第432・433図、図版94-1)**

W 11リッドで検出された。確認面の標高は22.5～23.0mを測る。C 418・480・481・482・483・493・494・503・507・508・604・650・657・658・660号ピットに切られている。歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-37°-Wで、長軸4.63m、短軸3.04mを測る。確認面からの深さは0.60～1.87mを測る。底面には複数の掘り込みが有り、北東から長さ1.64m・幅0.52m・深さ0.18m、残存長0.80m・幅0.86m・深さ0.30m、長さ1.01m・幅0.80m・深さ0.40m、残存長1.70m・残存幅0.30m・深さ0.15m、長さ0.64m・残存幅0.50m・深さ0.12m程度の規模で、切り合っている。床下土坑の要素を持っていた物と考えられる。

覆土は暗黄褐色土・暗黒褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土・明茶褐色土・暗褐色土の28層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2・5・11・12・16・19層には茶褐色土のブロック、第6層には暗黒褐色土のブロック、第8～10・15・18・23・27層には暗茶褐色土のブロック、第14層



には明茶褐色土のブロックを含む。

遺物は、かわらけ2点(6.0 g)が出土している。小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

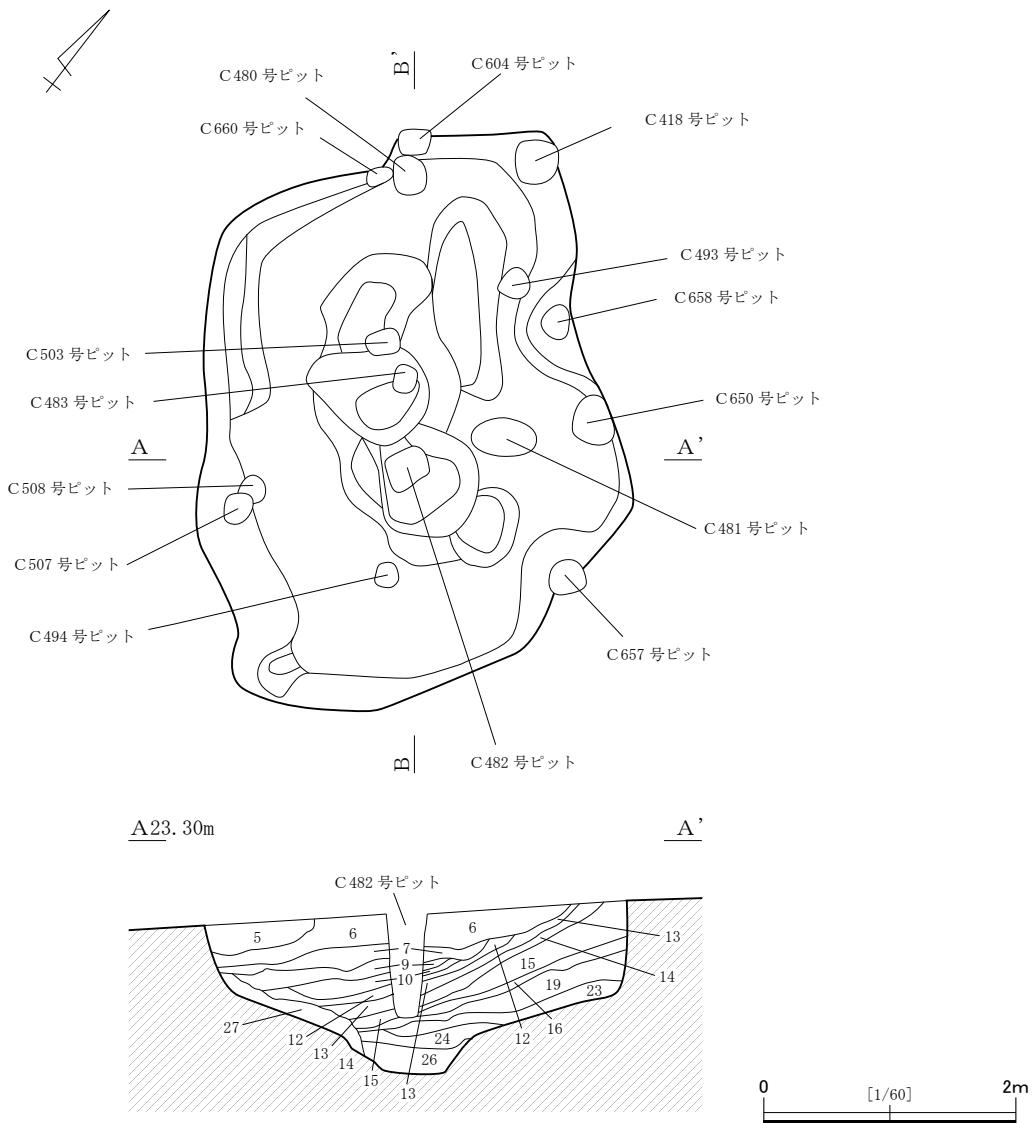
#### C 7号竪穴状遺構(第434図、図版94-2)

V・W11グリッドで検出された。確認面の標高は22.9～23.1mを測る。北からC33号土坑・C13号溝状遺構・C857・828号ピット・C16号溝状遺構・C429号ピットに切られている。南東側が歪んだ長楕円形のプランを呈すると考えられる。皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-52°-Eで、長軸3.96m、短軸1.94mを測る。確認面からの深さは0.05～0.048mを測る。

覆土は暗黒褐色土・茶褐色土・明茶褐色土の5層で構成され、オレンジスコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土のブロックを少量、第2層には暗黒褐色土のブロックを少量含まれる。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第432図 8区・9区・調整池②区C 6号堅穴状遺構(1) [1/60]

**C 8号堅穴状遺構(第435～437図、第102表、図版95-1・173-1・174-2)**

Y・Z 8グリッドで検出された。確認面の標高は22.4～22.8mを測る。北東側をC 14号溝状遺構に、北西隅をC 138号土坑に切られている。C 1836・1837・1842・1857・1859～1864・1872・1886～1895号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、箱状の掘り込みを持つ。軸方位はN-28°-Eで、残存長軸7.12m、短軸4.66mを測る。確認面からの深さは0.19～0.44mを測る。

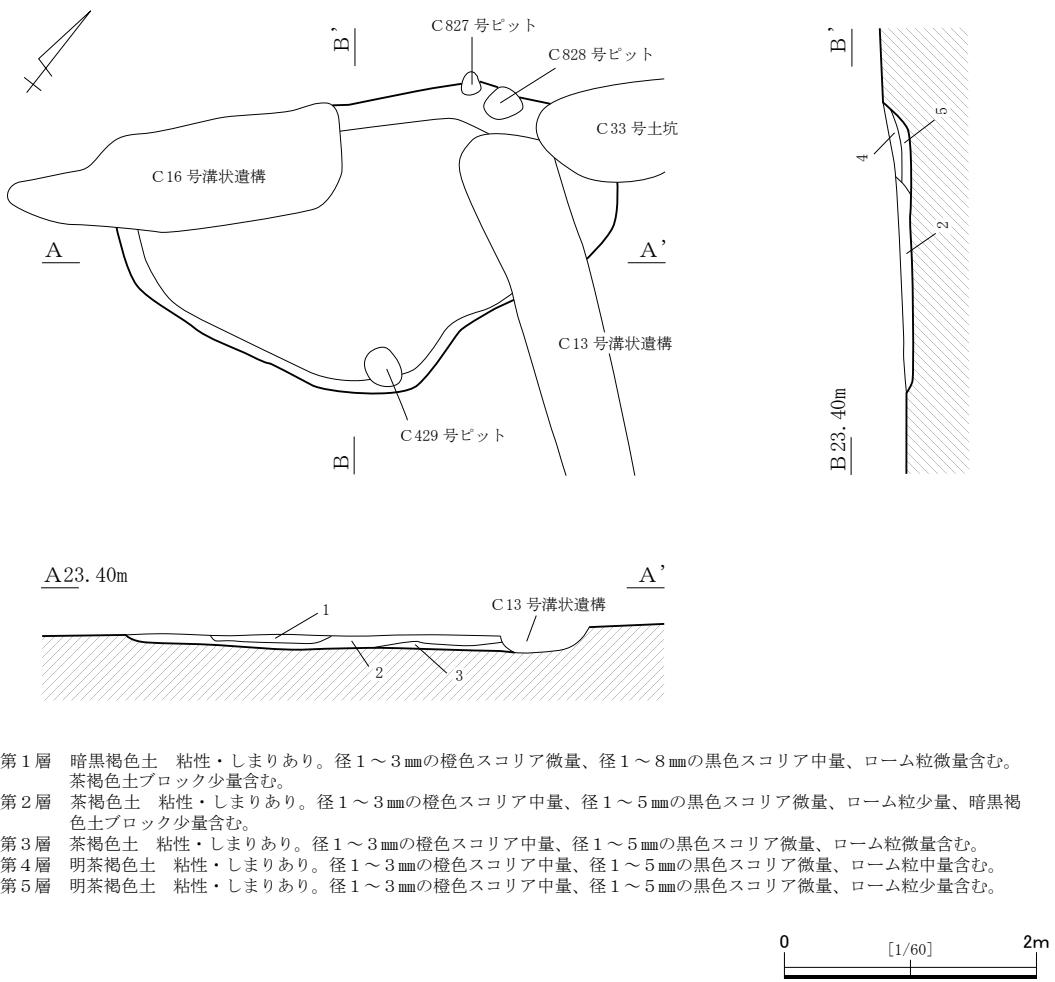
覆土は明茶褐色土・暗茶褐色土・暗黄褐色土・黄褐色土・茶褐色土の17層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第4・5・8・14層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器甕2点(425.8g)、かわらけ2点(8.6g)、鉄製品の釘1点(7.4g)、銅錢1点(2.8g)の計6点(444.6g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第437図1は常滑窯の陶器甕の肩部紙片である。内面に治路要請のための指頭痕が、外面には自然釉が残



第433図 8区・9区・調整池②区C 6号堅穴状遺構(2) [1/60]



第1層 暗黒褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア微量、径1~8mmの黒色スコリア中量、ローム粒微量含む。  
 茶褐色土ブロック少量含む。  
 第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、暗黒褐色土ブロック少量含む。  
 第3層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第4層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量含む。  
 第5層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。

第434図 8区・9区・調整池②区（8区②・9区西）C 7号竖穴状遺構 [1/60]

り、細かい格子目状の敲きが確認出来る。

第437図2は渡来銭の皇宋通寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は1038年、書体は真書である。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 9号竖穴状遺構 (第438図、図版95-2)

W 11グリッドで検出された。確認面の標高は22.5~22.7mを測る。南西側をC 11号竖穴状遺構に、南東隅をC 850・851号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-37°-Wで、残存長軸2.06m、短軸1.66mを測る。確認面からの深さは0.06~0.26mを測る。

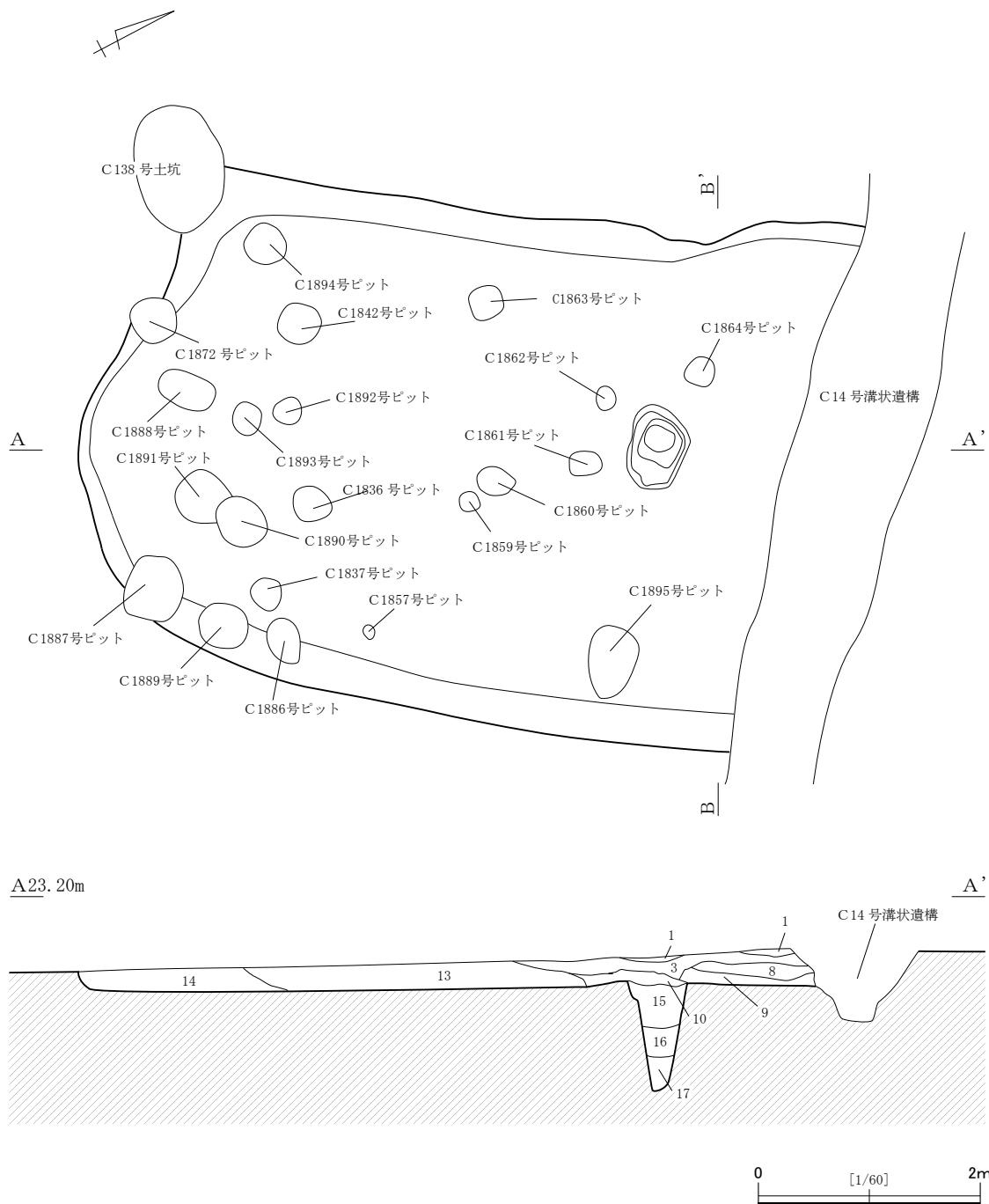
覆土は暗茶褐色土・茶褐色土・明茶褐色土・暗黄褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2・6・7層には茶褐色土のブロックを少量、第3・5層には暗茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

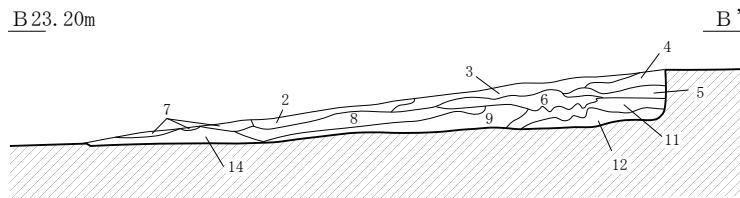
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 10号竪穴状遺構(第439図、図版96-1)**

V 12グリッドで検出された。C 4・16号竪穴状遺構を切っている。北東隅をC 399・400号ピットに、中央あたりをC 255・845号ピットに、南西隅をC 847号ピットに切られている。南東側は上面が削平され掘り込みが消えている。確認面の標高は22.9～23.0mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-46°-Wで、残存長軸3.06m、短軸1.71mを測る。確認面からの深さは0.10～0.16mを測る。



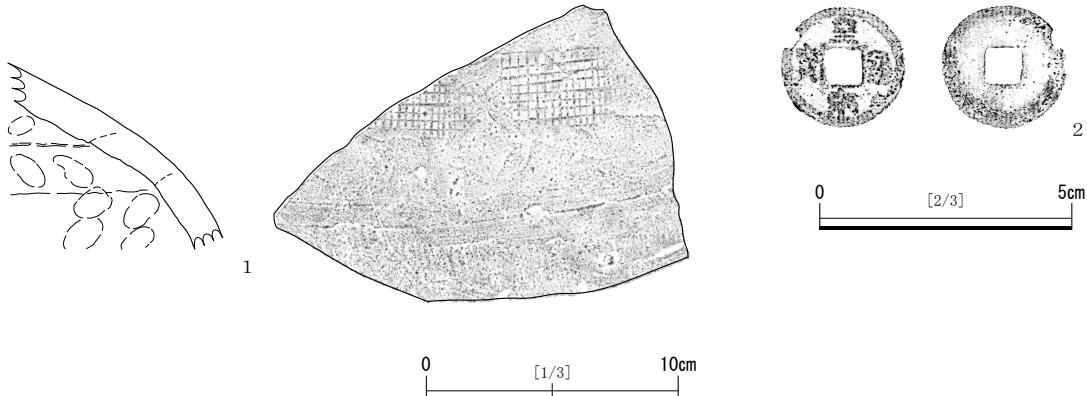
第435図 8区・9区・調整池②区C 8号竪穴状遺構(1) [1/60]



- 第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第3層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第4層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。ローム主体。茶褐色土ブロック微量含む。  
 第5層 黄褐色土 ローム主体。茶褐色土ブロック微量含む。  
 第6層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。橙色スコリア中量、黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第7層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第8層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。ローム主体。茶褐色土ブロック少量含む。  
 第9層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第10層 明茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第11層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量含む。  
 第12層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第13層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。ローム粒微量含む。  
 第14層 黄褐色土 粘性・しまりやや強い。ローム主体。茶褐色土ブロック微量含む。  
 第15層 茶褐色土 粘性あり。しまりなし。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア少量、ローム粒少量含む。  
 第16層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリアやや多量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第17層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。



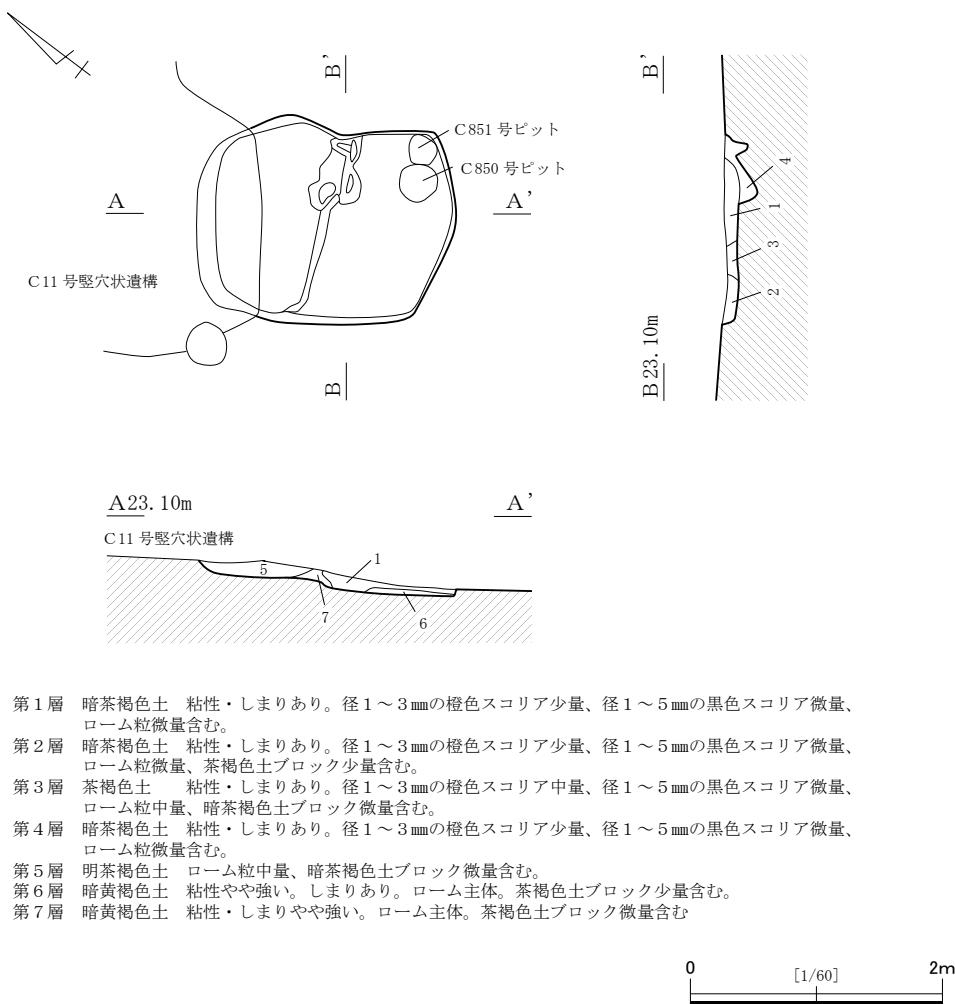
第436図 8区・9区・調整池②区C 8号堅穴状遺構(2) [1/60]



第437図 8区・9区・調整池②区C 8号堅穴状遺構出土遺物 [1/3・2/3]

第102表 8区・9区・調整池②区C 8号堅穴状遺構出土遺物観察表 [第437図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	甕	陶器	—	—	(7.4)	287.5	肩部破片	常滑	中世	胎土にぶい褐色密、細かい砂粒・小礫を含む 焼成良好 備考 内面調整の指頭痕 外面自然釉、細かい格子目状の敲き
No.	銭名	材質	銭径 (mm)	狭穿 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容		
2	皇宋通寶	銅	24.8	7.1	1.2	2.8	ほぼ完形、輪の一部欠損	铸造国	北宋 初鑄年 1038年	備考 真書



覆土は暗褐色土・茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には炭化物粒を微量、乳褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

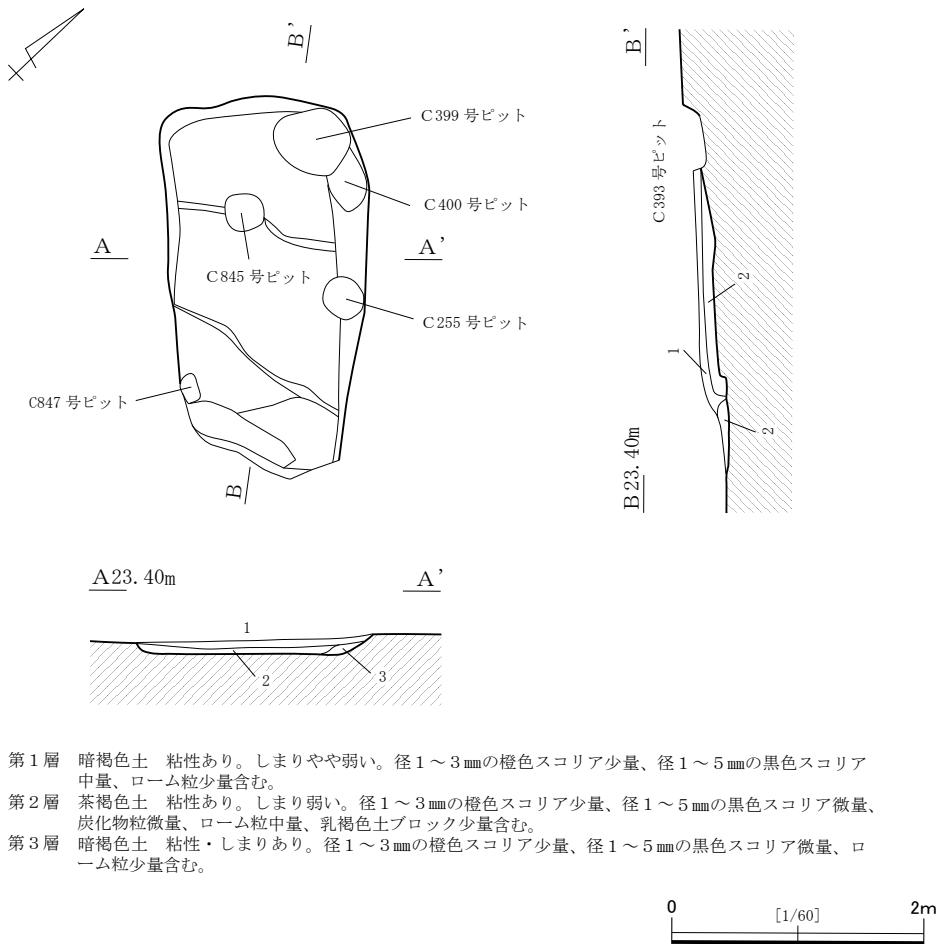
#### C 11号竖穴状遺構 (第440図、図版96-2)

W 11リッドで検出された。確認面の標高は22.7~22.9mを測る。C 9号竖穴状遺構を切っている。C 509・726~735・814・830・831・856・867号ピットに切られている。北東隅が歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-52°-Eで、長軸2.68m、短軸2.11mを測る。確認面からの深さは0.06~0.12mを測る。

覆土は暗黄褐色土の単層で、茶褐色土のブロックを微量含む。ローム主体層。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第439図 8区・9区・調整池②区C10号竪穴状遺構 [1/60]

**C 12号竪穴状遺構(第441図、図版97-1)**

W10・11グリッドで検出された。確認面の標高は22.9~23.1mを測る。C22号竪穴状遺構を切っている。C48・49・56号土坑、C703・713・716・717・758・832・899・956・965号ピットに切られている。隅丸方形のプランを呈するが、南東隅側に幅1.23m、奥行き0.82m、高さ0.14mの規模の方形の張り出しが確認されている。逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-43°-Eで、長軸3.71m、短軸3.01mを測る。確認面からの深さは0.07~0.19mを測る。

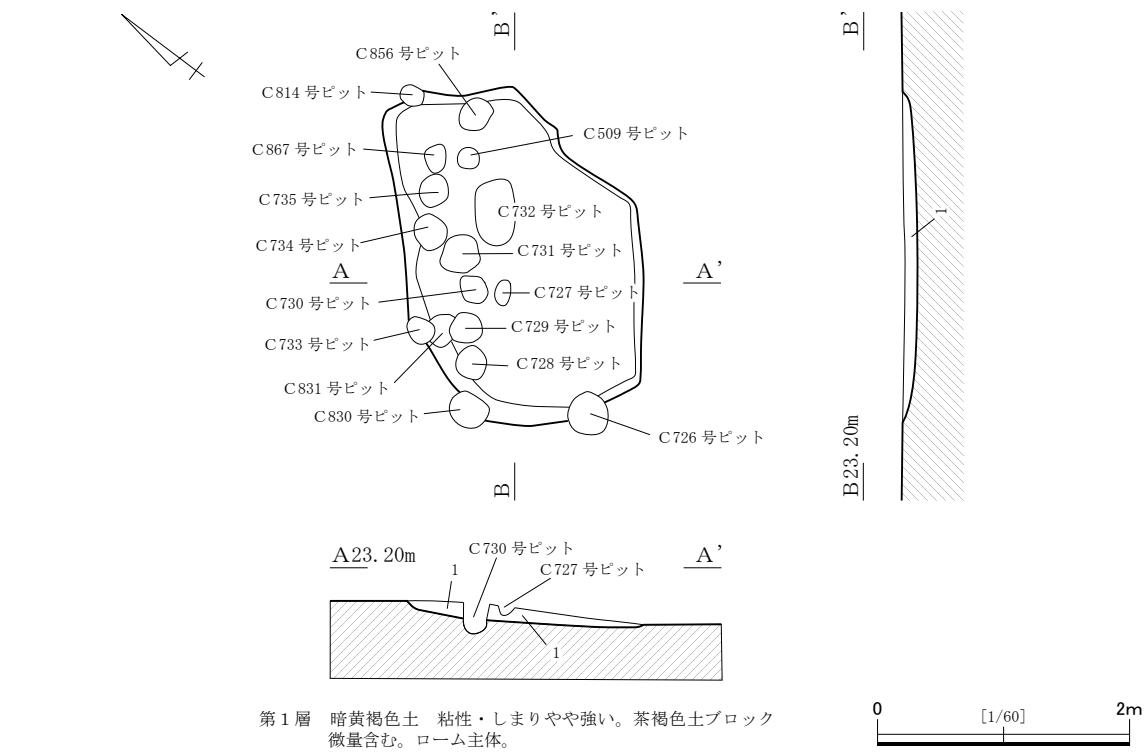
覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ1点(2.2g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 13号竪穴状遺構(第442図、図版97-2)**

U12グリッドで検出された。確認面の標高は23.5~23.6mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-28°-Eで、長軸1.86m、短軸1.01mを測る。確認面からの深さは0.09~0.16mを測る。



第440図 8区・9区・調整池②区C11号竖穴状遺構 [1/60]

覆土は明茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。第2層には明茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 14号竖穴状遺構 (第443・444図、第103表、図版98-1・98-2・172)

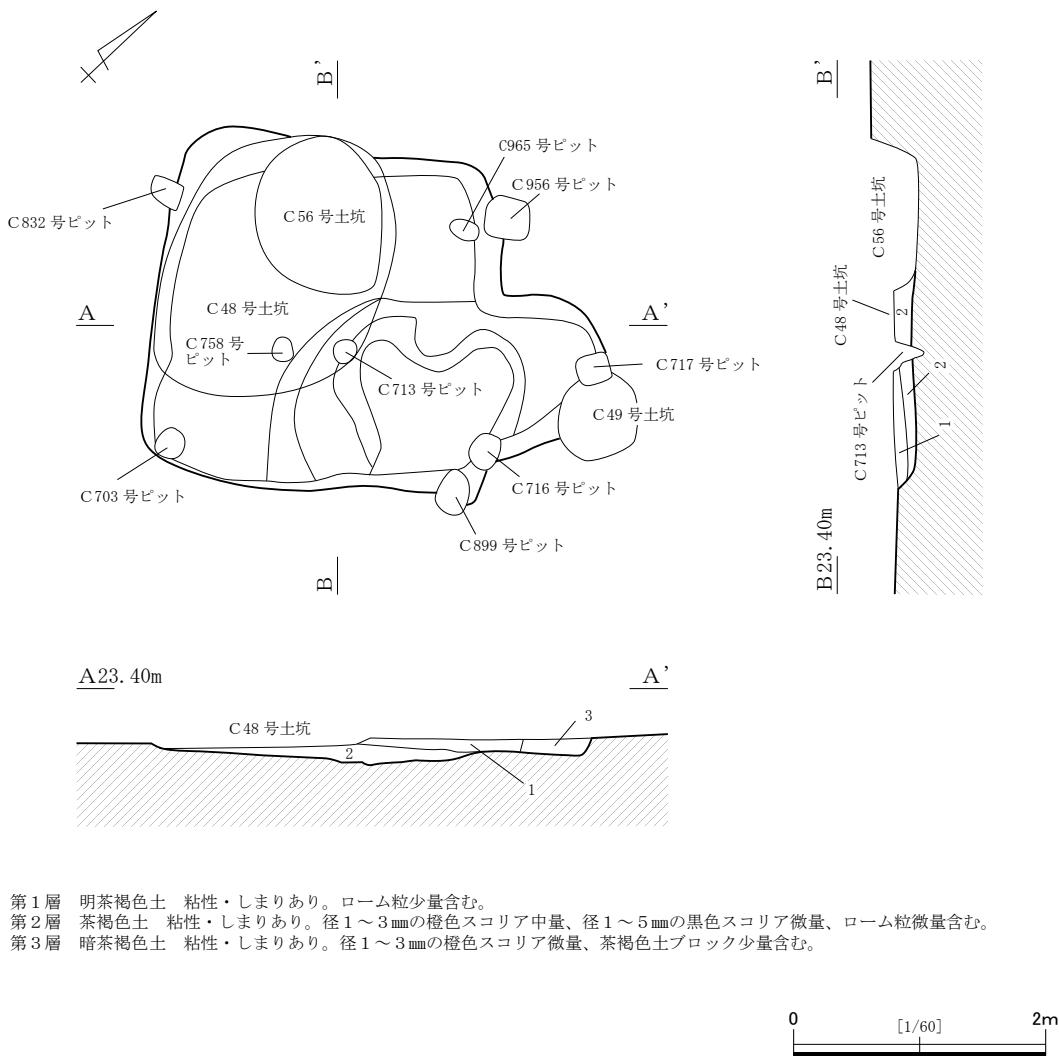
U 10・11グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.5mを測る。C 15号竖穴状遺構、C 25号溝状遺構、C 76号土坑を切っている。C 967・1010・1011・1114号ピットに切られている。北側の辺がやや短い隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸3.60m、短軸3.38mを測る。確認面からの深さは0.38～0.52mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗黄褐色土・暗茶褐色土の9層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2・4・7層には炭化物粒を微量含む。第2層には暗茶褐色土のブロック、第3層にし茶褐色土のブロック、第6層には茶褐色土のブロック、第7層には乳褐色土のブロックを微量含む。東壁の隅には幅1.37m、奥行き0.68m、高さ0.03mの段差が確認出来る。

遺物は、かわらけ15点(387.7g)が出土している。小破片が多く図化したのは、以下の1点である。

第444図1はかわらけである。胎土は橙色で、砂粒・石英・角閃石・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕が確認出来る。口縁部は欠損しているが、口径10cm以上の大型に分類できると考えられる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第441図 8区・9区・調整池②区 C12号竖穴状遺構 [1/60]

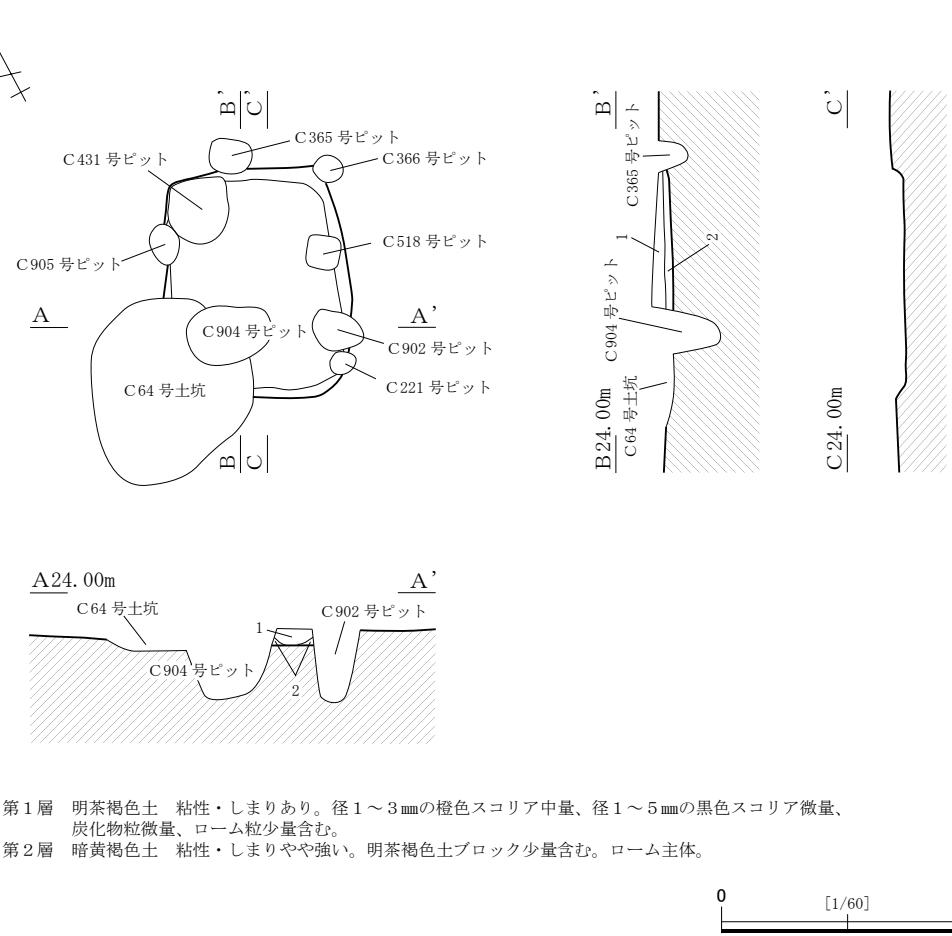
**C 15号竖穴状遺構 (第445図、図版98-2)**

U 11グリッドで検出された。確認面の標高は23.5～23.7mを測る。C 14号竖穴状遺構、C 10号溝状遺構、C 77号土坑を切っている。C 68号土坑、C 1022号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-60°-Wで、長軸2.98m、短軸2.17mを測る。確認面からの深さは0.62～0.77mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土・暗黄褐色土の23層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・3・4・6・8・16・17・22層には暗茶褐色土のブロックを微量、第14・15・19・23層には暗茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、常滑窯の陶器甕1点(39.8g)、かわらけ3点(36.2g)、瓦質の香炉1点(40.0g)が出土している。いずれも小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒少量含む。  
第2層 暗黄褐色土 粘性・しまりやや強い。明茶褐色土ブロック少量含む。ローム主体。

第442図 8区・9区・調整池②区C 13号竖穴状遺構 [1/60]

#### C 16号竖穴状遺構 (第446図、図版99-1)

V・W 12グリッドで検出された。確認面の標高は22.5~22.6mを測る。C 18号竖穴状遺構、C 26号溝状遺構を切っている。中央をC 4号竖穴状遺構、東側をC 10号竖穴状遺構・C 42号土坑に切られている。南東隅が歪んでいる隅丸方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸3.56m、短軸3.44mを測る。確認面からの深さは0.24~0.46mを測る。

覆土は茶褐色土・暗褐色土・暗茶褐色土・暗黒褐色土・明茶褐色土の18層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には茶褐色土を少量、第11層には茶褐色土を微量含む。第4・5層には暗褐色土のブロック微量、第8層には暗茶褐色土のブロック微量、第10・15層には暗黒褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ11点(31.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 17号竖穴状遺構 (第447図、図版99-2)

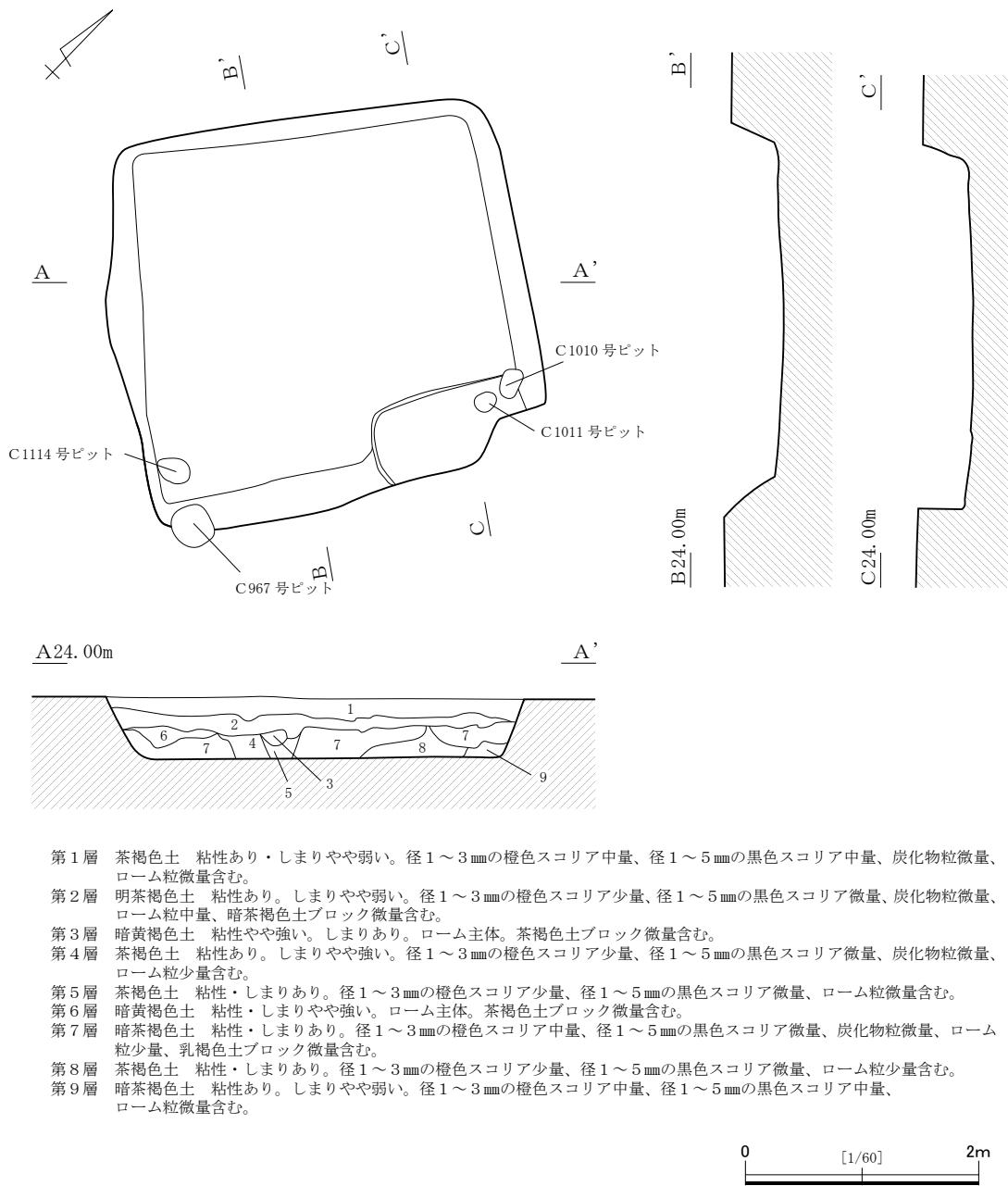
V・W 11グリッドで検出された。確認面の標高は22.7~23.1mを測る。C 22号竖穴状遺構を切っている。東側をC 47号土坑、C 410・1095号ピット、西側をC 510・1096号ピットに切られている。

歪んだ長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-37°-Wで、長軸2.73m、短軸2.04mを測る。確認面からの深さは0.73~0.85mを測る。

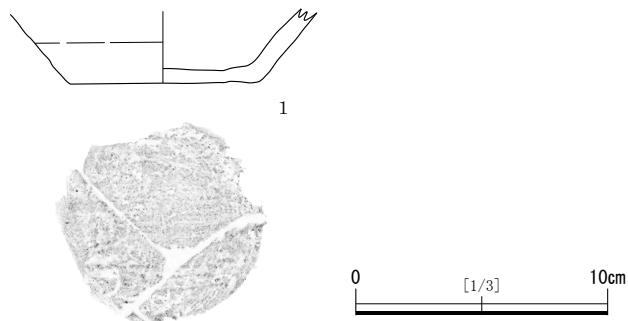
覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗茶褐色の18層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には白色粒子を微量含む。第3層には暗茶褐色土を微量含む。第6層には茶褐色土のブロックを微量、第9層には褐色土のブロックを少量、第12層には暗茶褐色土のブロック少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第443図 8区・9区・調整池②区C14号堅穴状遺構 [1/60]



第444図 8区・9区・調整池②区C 14号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]

第103表 8区・9区・調整池②区C 14号竪穴状遺構出土遺物観察表 [第444図]

No.	器種	種別	( ) = 現存値 ( ) = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	—	7.7	(2.9)	88.7	体部1/3・ 底部ほぼ 完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、砂粒・ 石英・角閃石・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕

**C 18号竪穴状遺構 (第448図、図版100-1)**

V 12グリッドで検出された。確認面の標高は22.6～23.0mを測る。C 19号竪穴状遺構を切っている。南東側をC 16号竪穴状遺構、C 500・1156号ピットに、中央をC 1220・1232・1249号ピット、南西隅をC 502・503・1233号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-56°-Eで、長軸2.85m、残存短軸2.27mを測る。確認面からの深さは0.19～0.30mを測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

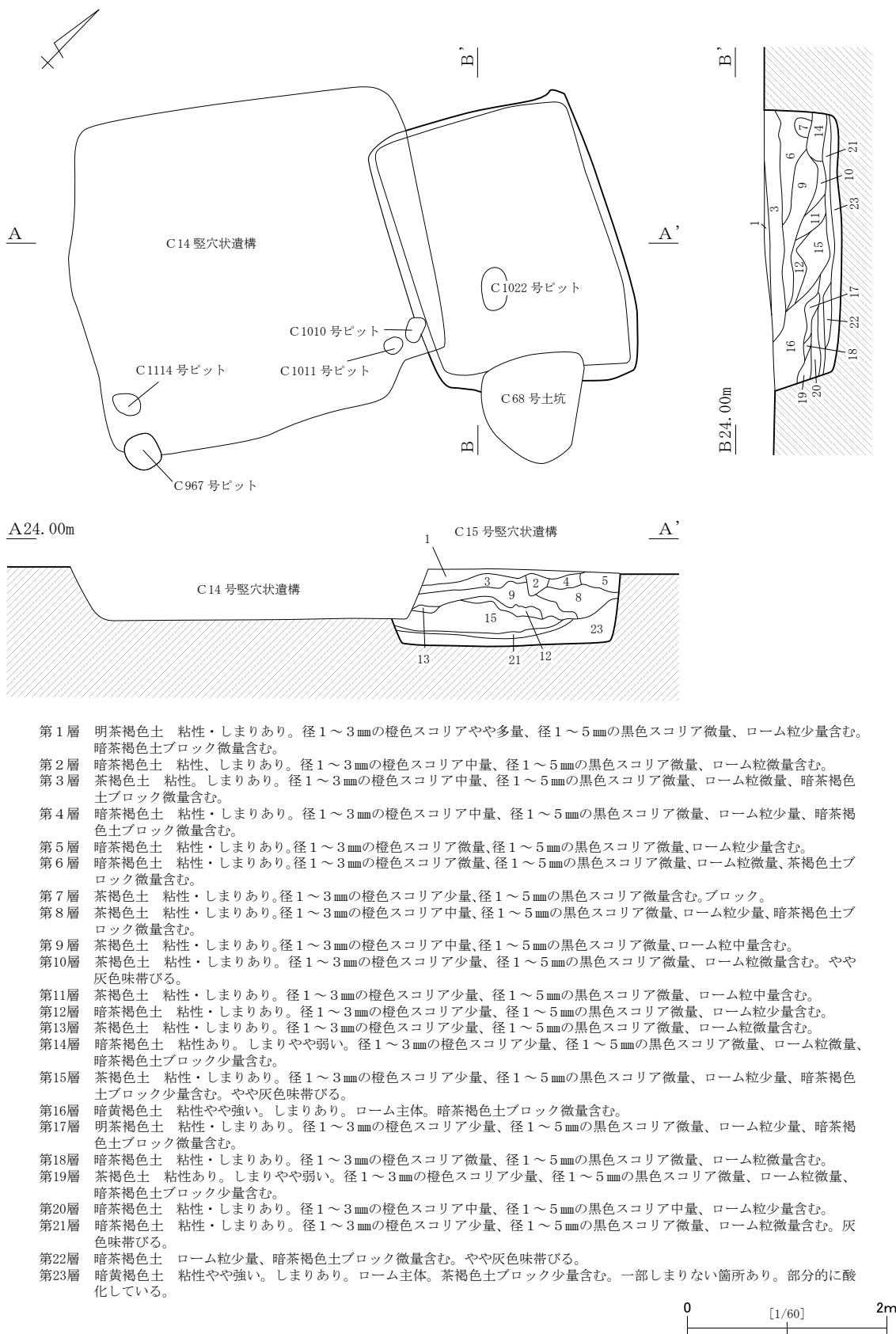
遺物は、かわらけ15点(73.7g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

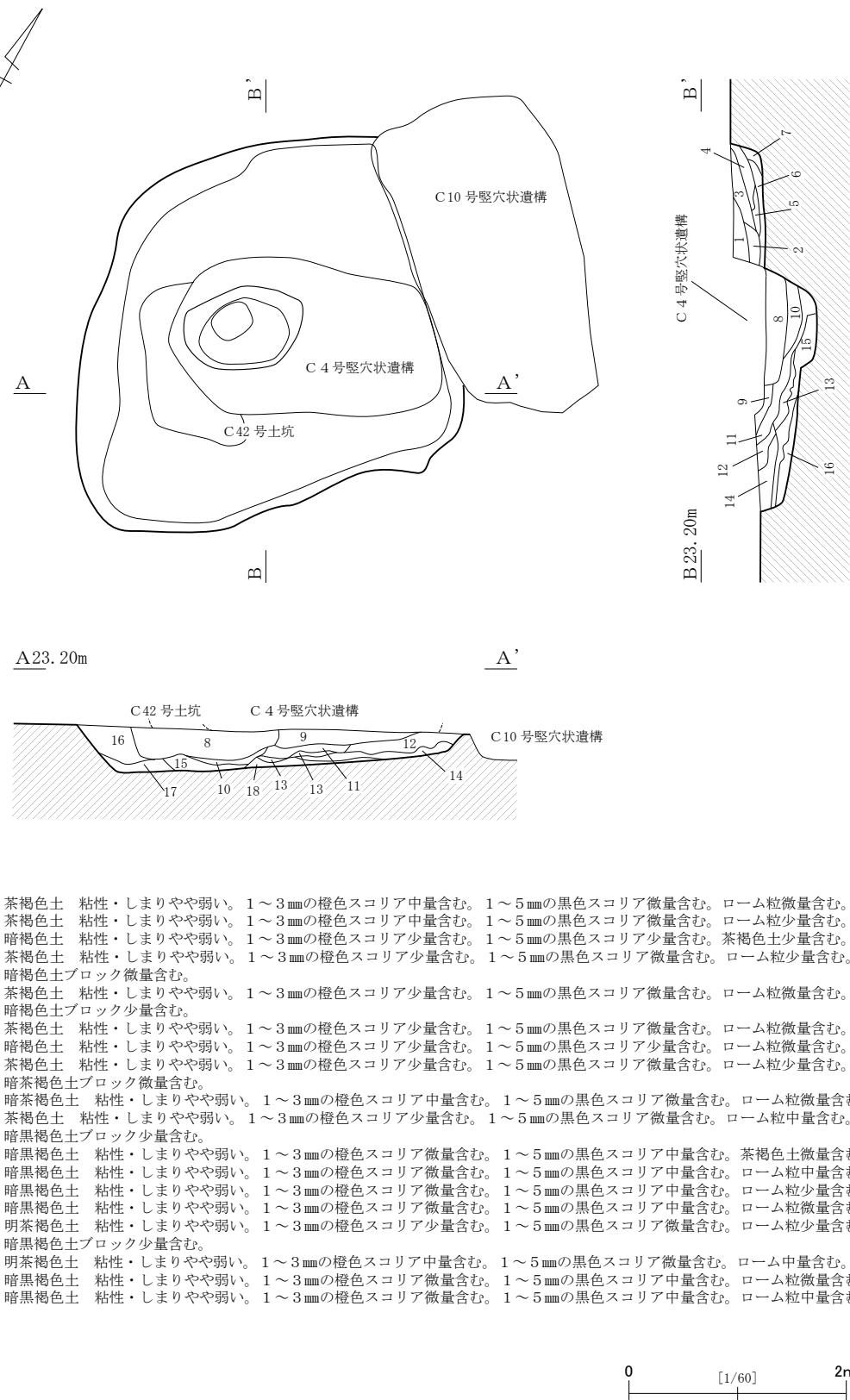
**C 19号竪穴状遺構 (第449図、図版100-2・101-1)**

V 12グリッドで検出された。確認面の標高は23.1～23.3mを測る。南西隅をC 18号竪穴状遺構、C 500・1230・1231号ピットに、南側をC 488号ピットに、北東隅をC 1083・1228号ピットに、中央をC 664・900・901・915・916・963・964・1212・1234号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-50°-Eで、長軸3.48m、短軸3.04mを測る。確認面からの深さは0.19～0.48mを測る。

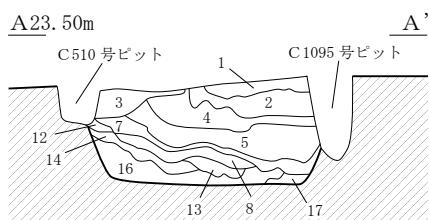
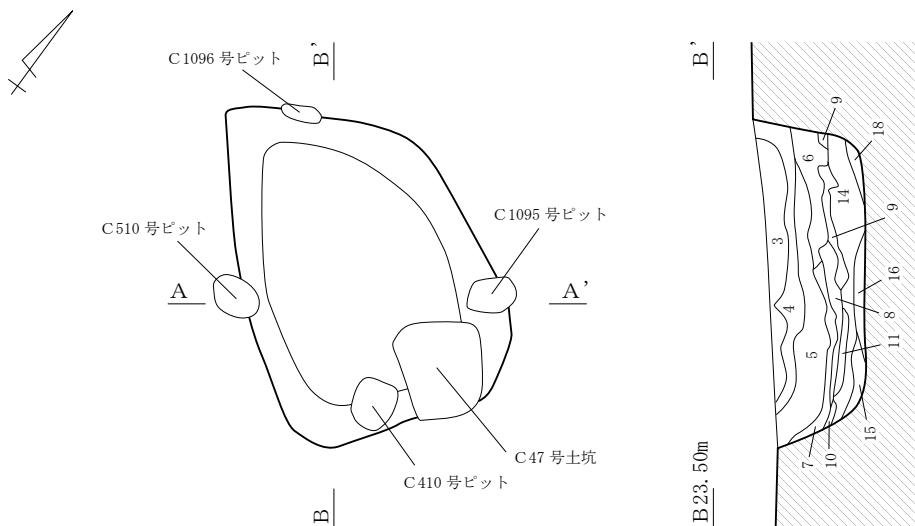
覆土は暗茶褐色土・明茶褐色土・茶褐色土・暗褐色土・明褐色土・暗黄褐色土の10層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には乳褐色土のブロックを微量、暗褐色土のブロックを少量含む。第2・4層には炭化物粒を微量含む。第4層には炭化物粒と焼土粒を微量含む。第5層には茶褐色土のブロックを微量、第9層には明茶褐色土のブロックを少量、第10層には明茶褐色土のブロック微量含む。



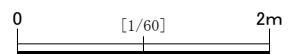
第445図 8区・9区・調整池②区 C15号堪穴状遺構 [1/60]



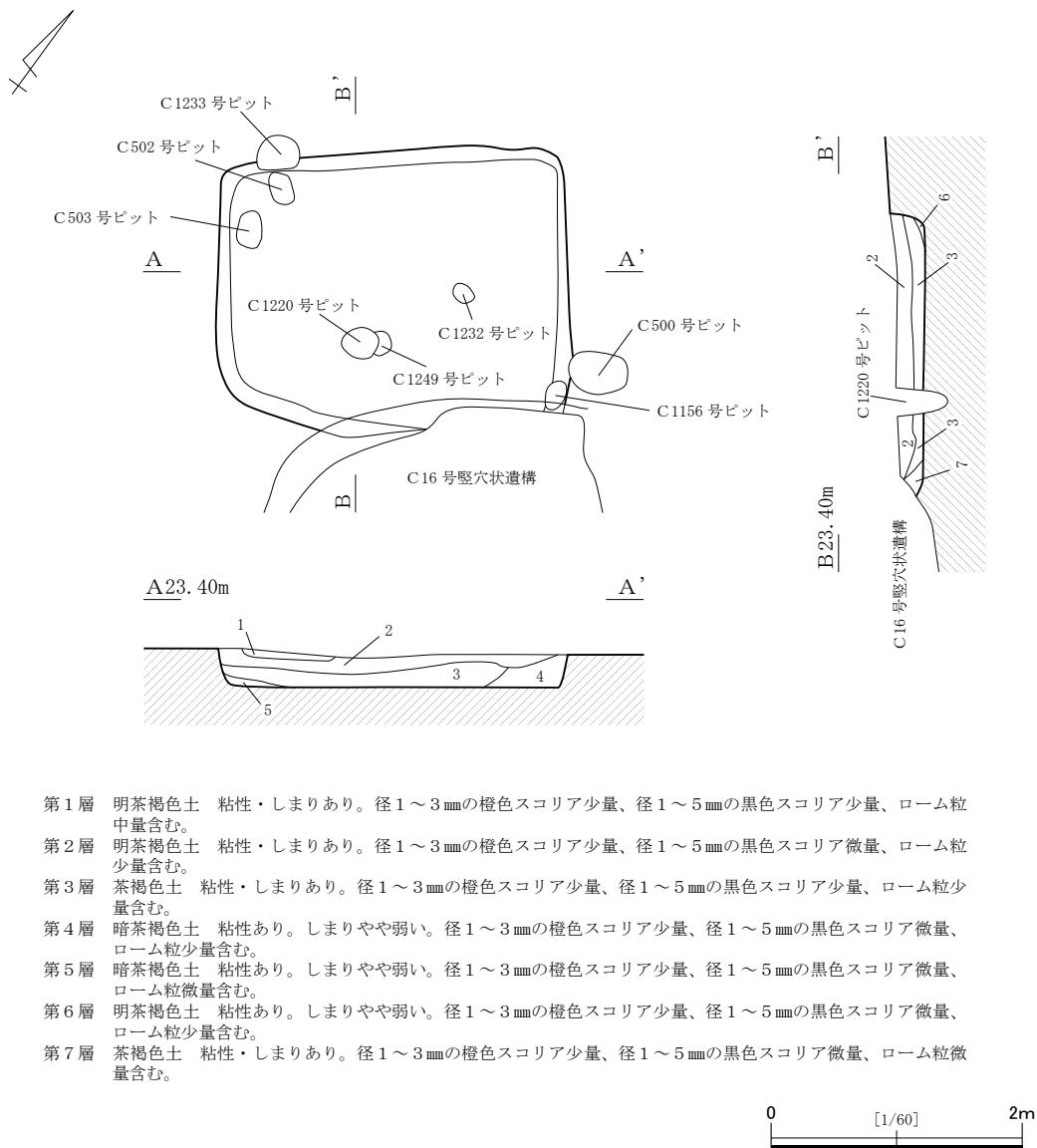
第446図 8区・9区・調整池②区C 16号竖穴状遺構 [1/60]



- 第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、白色粒子微量、ローム粒少量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量含む。
- 第3層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、暗茶褐色土微量、ローム粒少量含む。
- 第4層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第5層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第6層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア、径1～5mmの黒色スコリア、ローム粒中量、茶褐色土ブロック微量含む。
- 第7層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。
- 第8層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第9層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、茶褐色土ブロック少量含む。
- 第10層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第11層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第12層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、暗茶褐色土ブロック少量含む。
- 第13層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第14層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第15層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア、径1～5mmの黒色スコリア、ローム粒少量含む。
- 第16層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第17層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。ローム粒微量含む。
- 第18層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。



第447図 8区・9区・調整池②区C17号竪穴状遺構 [1/60]



第448図 8区・9区・調整池②区C18号竖穴状遺構 [1/60]

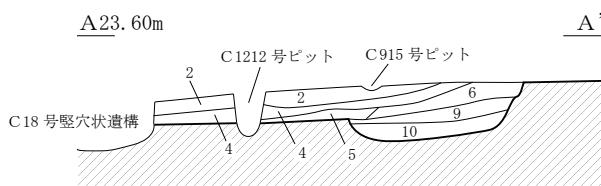
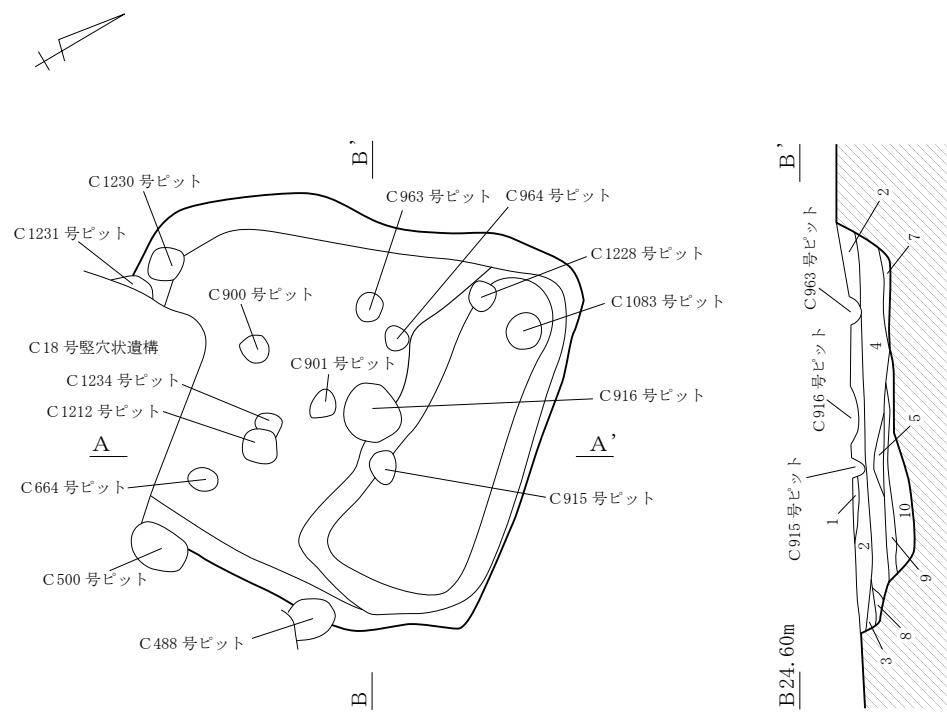
遺物は、常滑窯の陶器甕1点(25.2g)、かわらけ8点(25.2g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

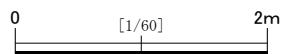
#### C 20号竖穴状遺構 (第450・451図、第104表、図版101-2・174-1・174-2)

W・X 9グリッドで検出された。確認面の標高は22.4～22.9mを測る。C 20号竖穴状遺構を切っている。C 5号地下式坑に切られている。C 108号土坑を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-45°-Eで、長軸4.27m、短軸2.89mを測る。確認面からの深さは0.69～0.98mを測る。東壁には幅1.96m、奥行き0.16mで高さ0.37mと奥行き0.26mで高さ0.43mの段差が確認できる。

覆土は暗黄褐色土・黄褐色土・暗茶褐色土・暗褐色土の17層で構成され、橙色スコリア・黒色スコ



- 第1層 暗茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量、乳褐色土ブロック微量、暗褐色土ブロック少量含む。
- 第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒中量、炭化物粒微量含む。
- 第3層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第4層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量、焼土粒微量含む。
- 第5層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、茶褐色土ブロック微量含む。
- 第6層 暗褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量含む。
- 第7層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。第4層よりもしまりやや強い。
- 第8層 明褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量含む。
- 第9層 暗黄褐色土 粘性・しまりやや強い。黄色味強いローム主体。暗褐色土ブロック少量、明茶褐色土ブロック少量含む。
- 第10層 暗黄褐色土 第9層よりやや暗いローム主体。明茶褐色土ブロック微量含む。



第449図 8区・9区・調整池②区C19号堅穴状遺構 [1/60]

リア・ローム粒を含む。第1・2層にはロームブロックを含む。第5・8～10層には炭化物粒を微量含む。第8層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器片口鉢1点(12.8g)、かわらけ2点(28.9g)、銅錢1点(2.6g)、石製品の火打石1点(5.0g)の計5点(49.3g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第451図1は渡来錢の咸平元寶である。鋳造国は北宋、初鑄年は998年、書体は真書である。

第451図2は火打ち石である。外面に被熱を受けている。石材は瑪瑙である。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 21号堅穴状遺構(第452・453図、第105表、図版173－2)

U・V 10グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.5mを測る。西側をC 14溝状遺構、C 1221・1223・1224・1238号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、薄い皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-38°-Eで、長軸3.33m、残存短軸1.95mを測る。上面を削平されており確認面からの深さは0.04～0.09mを測る。

覆土は褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

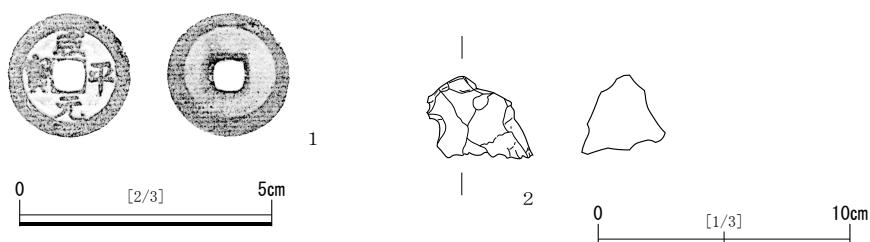
遺物は、鉄製品の金槌1点(132.6g)、椀型滓1点(113.5g)の計2点(246.1g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第453図1は鉄製の先切り金槌である。器面の一部欠損が欠損している。体部には径1.8cm・幅0.9cm・厚さ1.6cmの柄穴が1ヶ所残っている。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 22号堅穴状遺構(第454図)

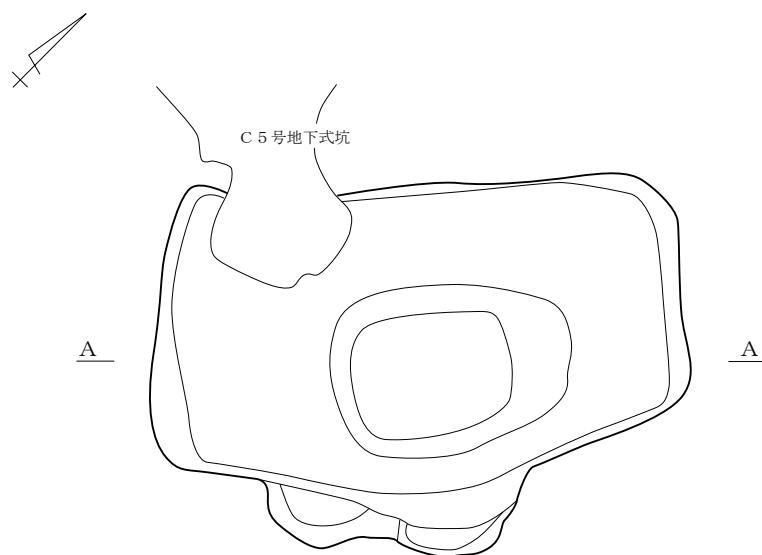
V 10・11グリッドで検出された。確認面の標高は23.2～23.3mを測る。東側から中央をC 3号地下式坑とC 86号土坑に切られている。歪んだ長楕円形を呈し、薄い皿状の掘り込みを持つと考えられる。



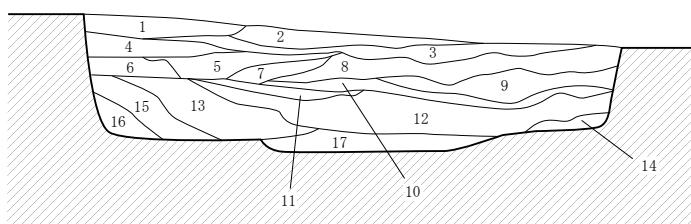
第450図 8区・9区・調整池②区C 20号堅穴状遺構出土遺物 [2/3・1/3]

第104表 8区・9区・調整池②区C 20号堅穴状遺構出土遺物観察表 [第451図]

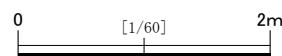
No.	銭名	材質	錢径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	鋳造地	観察内容
1	咸平元寶	銅	24.8	6.1	1.0	2.6	北宋	鋳造国 北宋 初鑄年 998年 備考 真書
No.	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容	
2	火打石	瑪瑙	(3.2)	(4.2)	(3.2)	5.0	備考 外面被熱	



A23. 30m



- 第1層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。やや赤味強いローム主体。やや黄色味強いロームブロック含む。
- 第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりやや弱い。やや暗いローム主体。やや赤味強いロームブロック含む。
- 第3層 黄褐色土 粘性やや強い。しまりやや弱い。やや明るい(淡い)ローム主体。所々しまりなし。
- 第4層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア微量含む。径1~5mmの黒色スコリア少量含む。ローム粒微量含む。
- 第5層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径径1~3mmの橙色スコリア少量、径径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒少量、土器片を含む。
- 第6層 暗褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。やや暗いローム。黄色味帶びるローム含む。
- 第7層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。やや暗いローム主体。
- 第8層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。やや黄色味強いローム主体。炭化物粒微量、茶褐色土ブロック微量含む。
- 第9層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。やや暗いローム主体。炭化物粒微量、黄色味帶びるローム粒少量含む。
- 第10層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径径1~3mmの橙色スコリア少量、径径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒少量含む。
- 第11層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。やや明るいローム微量含む。やや暗いローム。
- 第12層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりやや弱い。やや暗いローム主体。黄色味帶びるローム粒少量含む。
- 第13層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。やや黄色味帶びるローム微量含む。やや暗いローム。
- 第14層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりやや弱い。やや暗いローム主体。黄色味帶びるローム粒少量含む。
- 第15層 暗褐色土 黄色味帶びるローム中量含む。やや暗いローム。
- 第16層 暗黄褐色土 粘性強い。しまり弱い。やや黄色味帶びるローム微量含む。やや暗いローム。
- 第17層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまり弱い。やや暗いローム主体。黄色味帶びるローム粒微量含む。



第451図 8区・9区・調整池②区C 20号竪穴状遺構 [1/60]

長軸方位はN-85°-Eで、長軸4.18m、短軸1.25mを測る。上面を削平されており確認面からの深さは0.04～0.06mを測る。

覆土は暗黄褐色土の単層でローム主体層である。炭化物粒を微量、茶褐色土のブロックを少量含む。遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 23号竪穴状遺構(第455図、図版102-1)

W10グリッドで検出された。確認面の標高は22.5～22.6mを測る。北東隅をC1401号ピットに切られている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸2.28m、短軸2.11mを測る。確認面からの深さは0.38～0.46mを測る。

覆土は暗黄褐色土・黄褐色土・暗茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、常滑の陶器の甕1点(35.0g)、産地不明の土器1点(17.7g)の計2点(52.7g)が出土している。体部のみの出土で、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 24号竪穴状遺構(第456・457図、第106表、図版102-2・172)

V13グリッドで検出された。確認面の標高は22.2～22.5mを測る。上面をC19～21号溝状遺構に切られている。長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-44°-Eで、残存長径4.89m、残存短径1.39mを測る。確認面からの深さは0.12～0.59mを測る。

覆土は茶褐色土・暗灰褐色土・褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・4・5層には炭化物粒を微量、焼土粒を微量含む。第2層には乳褐色土のブロック、第4層には茶褐色土のブロックを微量、第5層には明茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑の陶器甕1点(123.2g)、かわらけ38点(179.6g)の計39点(302.8g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

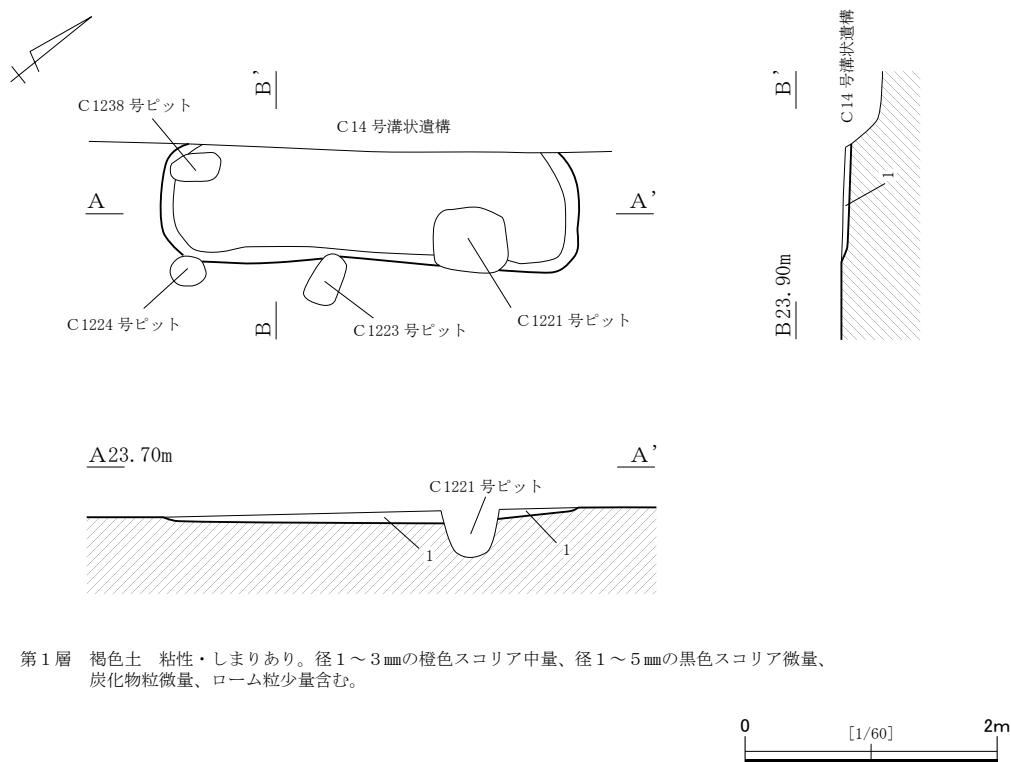
第457図1はかわらけである。胎土は橙色で、白色針状物質・雲母・赤色スコリアを含む。底部回転糸切り痕が不明瞭ではあるが確認出来る。口径が6.2cmで中型の製品に分類できる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 25号竪穴状遺構(第458図、図版103-1)

W・X10グリッドで検出された。確認面の標高は22.3～22.8mを測る。北西隅がやや歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-45°-Eで、長軸3.84m、短軸2.23mを測る。確認面からの深さは0.23～0.50mを測る。

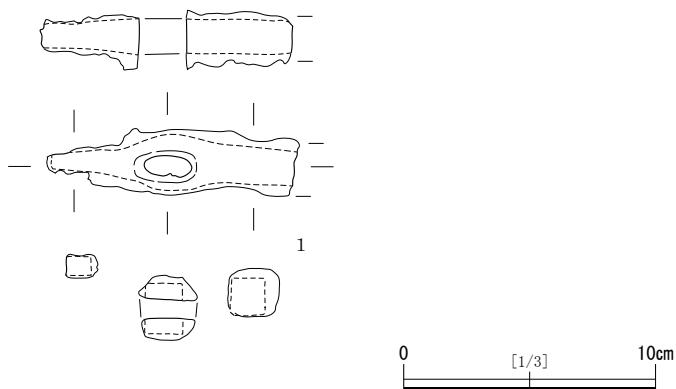
覆土は暗黄褐色土・明茶褐色土・茶褐色土・暗褐色土・暗茶褐色土の9層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第6層には茶褐色土のブロックを少量、第8層には暗褐色土のブロックを微量含む。



第1層 褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒少量含む。

0 [1/60] 2m

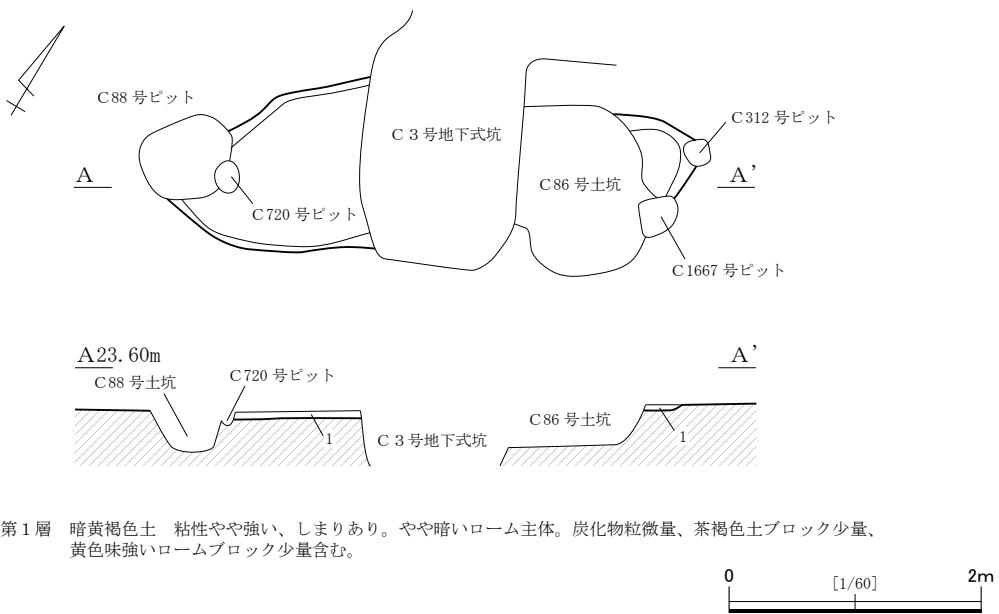
第452図 C 8区・9区・調整池②区21号竪穴状遺構 [1/60]



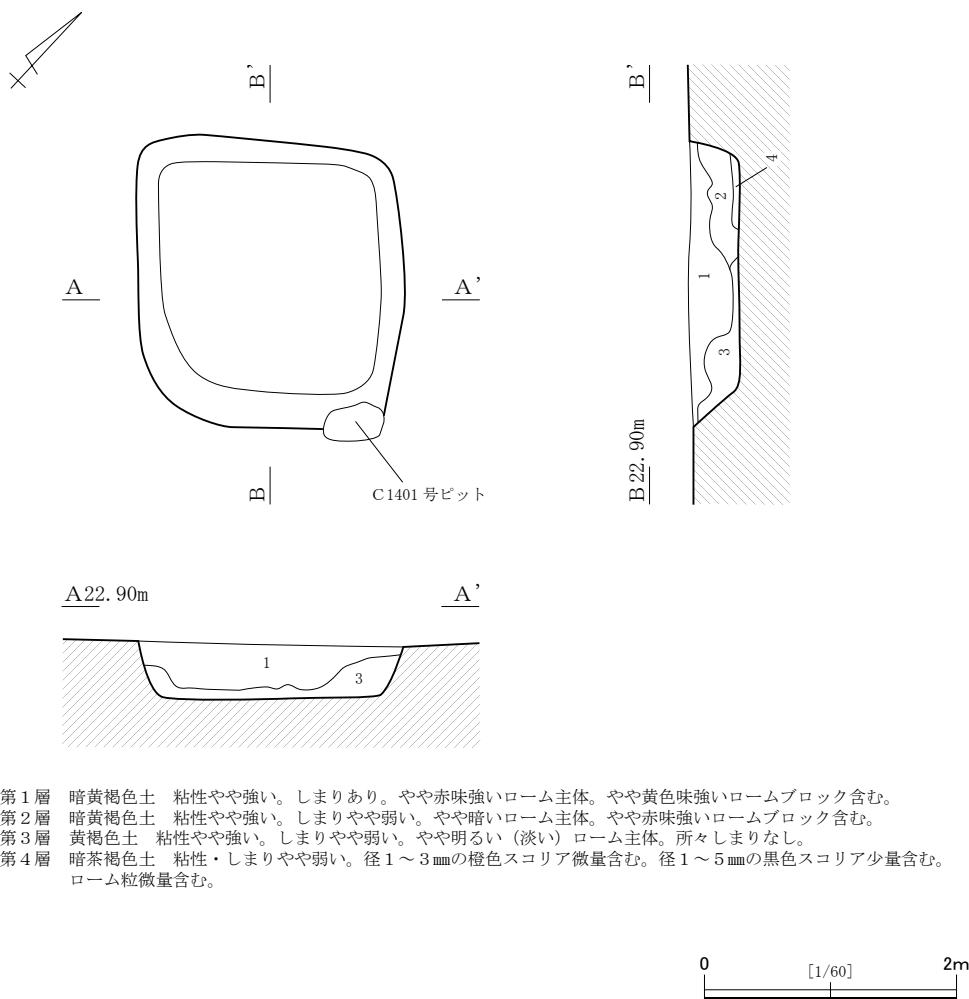
第453図 8区・9区・調整池②区C 21号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]

第105表 8区・9区・調整池②区C 21号竪穴状遺構出土遺物観察表 [第453図]

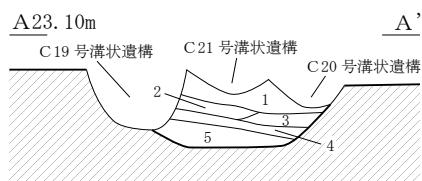
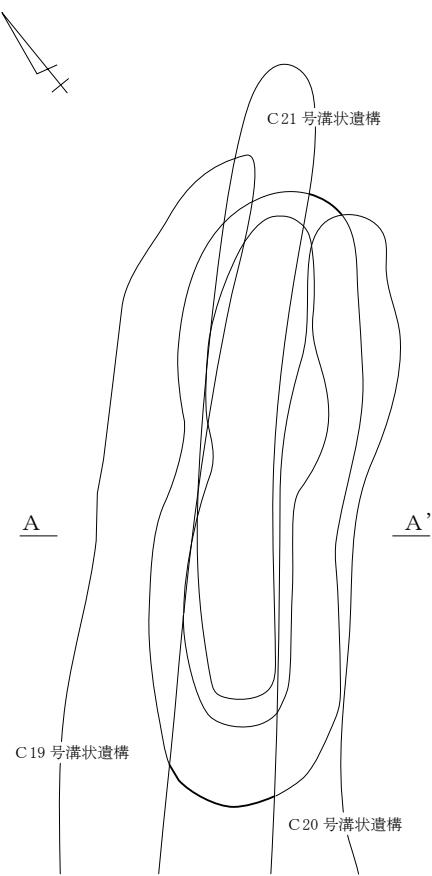
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容
1	先切り 金槌	鉄	10.0	1.0～ 2.0	1.2～ 2.1	132.6	残存度 器面の一部欠損 備考 柄穴径1.8cm・幅0.9cm・厚さ1.6cm



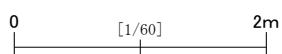
第454図 8区・9区・調整池②区C22号堅穴状遺構 [1/60]



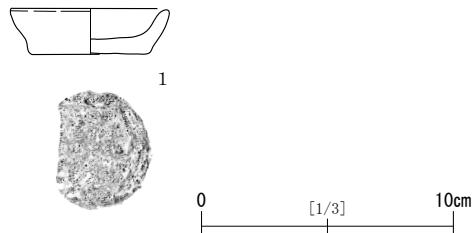
第455図 8区・9区・調整池②区C23号堅穴状遺構 [1/60]



- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、焼土粒微量、ローム粒微量含む。
- 第2層 茶褐色土 炭化物粒微量、焼土粒微量、ローム粒少量、乳褐色土ブロック微量含む。
- 第3層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリアやや少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。
- 第4層 暗灰褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、炭化物粒微量、焼土粒微量、ローム粒微量、茶褐色土ブロック微量含む。
- 第5層 褐色土 1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、焼土粒微量、明茶褐色土ブロック微量含む。



第456図 8区・9区・調整池②区C24号竪穴状遺構 [1/60]



第457図 8区・9区・調整池②区C 24号堅穴状遺構出土遺物 [1/3]

第106表 8区・9区・調整池②区C 24号堅穴状遺構出土遺物観察表 [第457図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	6.2	4.7	1.8	23.6	口縁部～ 体部1/2・ 底部4/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、白色針状物質・雲母・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕不明瞭

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 26号堅穴状遺構(第459図、図版103－2)

X 10グリッドで検出された。確認面の標高は21.9～22.1mを測る。C 28号堅穴状遺構を切っている。東側をC 5号堅穴状遺構のC 591・1495号ピットに切られている。歪んだ円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径4.19m、短径4.11mを測る。確認面からの深さは0.28～0.58mを測る。

覆土は茶褐色土・暗黄褐色土・暗茶褐色土・暗黄褐色土・明茶褐色土の10層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3～5・7層には炭化物粒を微量含む。第6・9・10層には茶褐色土のブロックを微量、第10層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器甕3点(112.3g)、亀山窯の陶器甕1点(47.4g)、かわらけ2点(20.5g)の計6点(180.2g)が出土している。体部のみや小破片のため、図化し得なかった。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

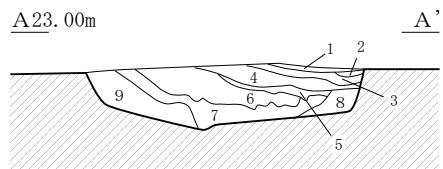
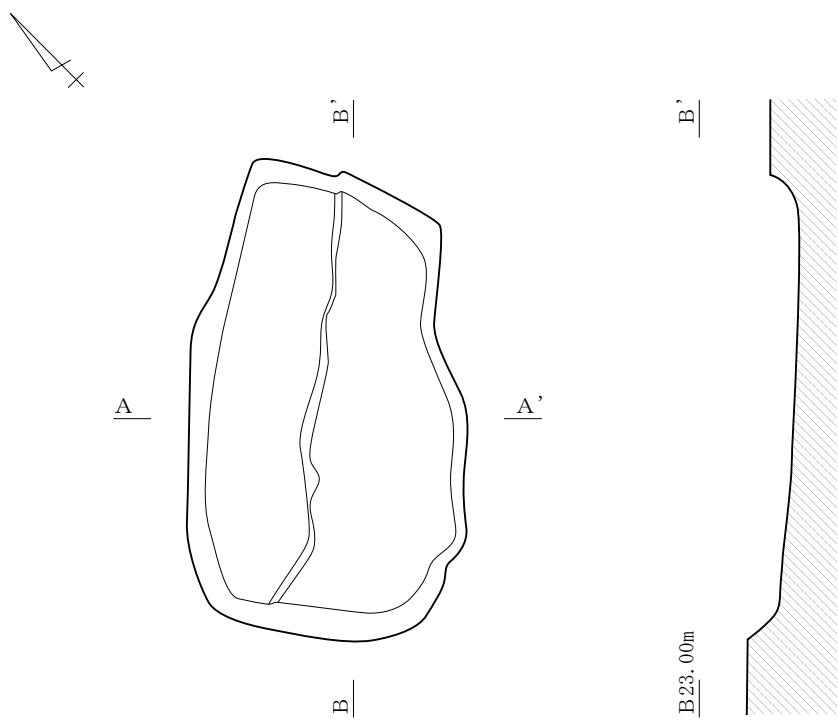
#### C 27号堅穴状遺構(第460図、図版104－1)

X 10グリッドで検出された。確認面の標高は22.0～22.2mを測る。C 28・38号堅穴状遺構を切っている。南西隅は上面が削平され、掘り込みが消えている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸2.69m、短軸2.61mを測る。確認面からの深さは0.12～0.21mを測る。

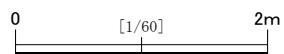
覆土は暗黄褐色土・暗黄褐色土・明茶褐色土・茶褐色土・暗褐色土の8層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・8層には茶褐色土のブロックを微量、第4層には明茶褐色土のブロックを微量、第7層には暗褐色土のブロックを少量含む。第3・5・7層には炭化物粒を微量、第6層には炭化物粒と焼土粒を微量含む。

遺物は、かわらけ1点(2.4g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

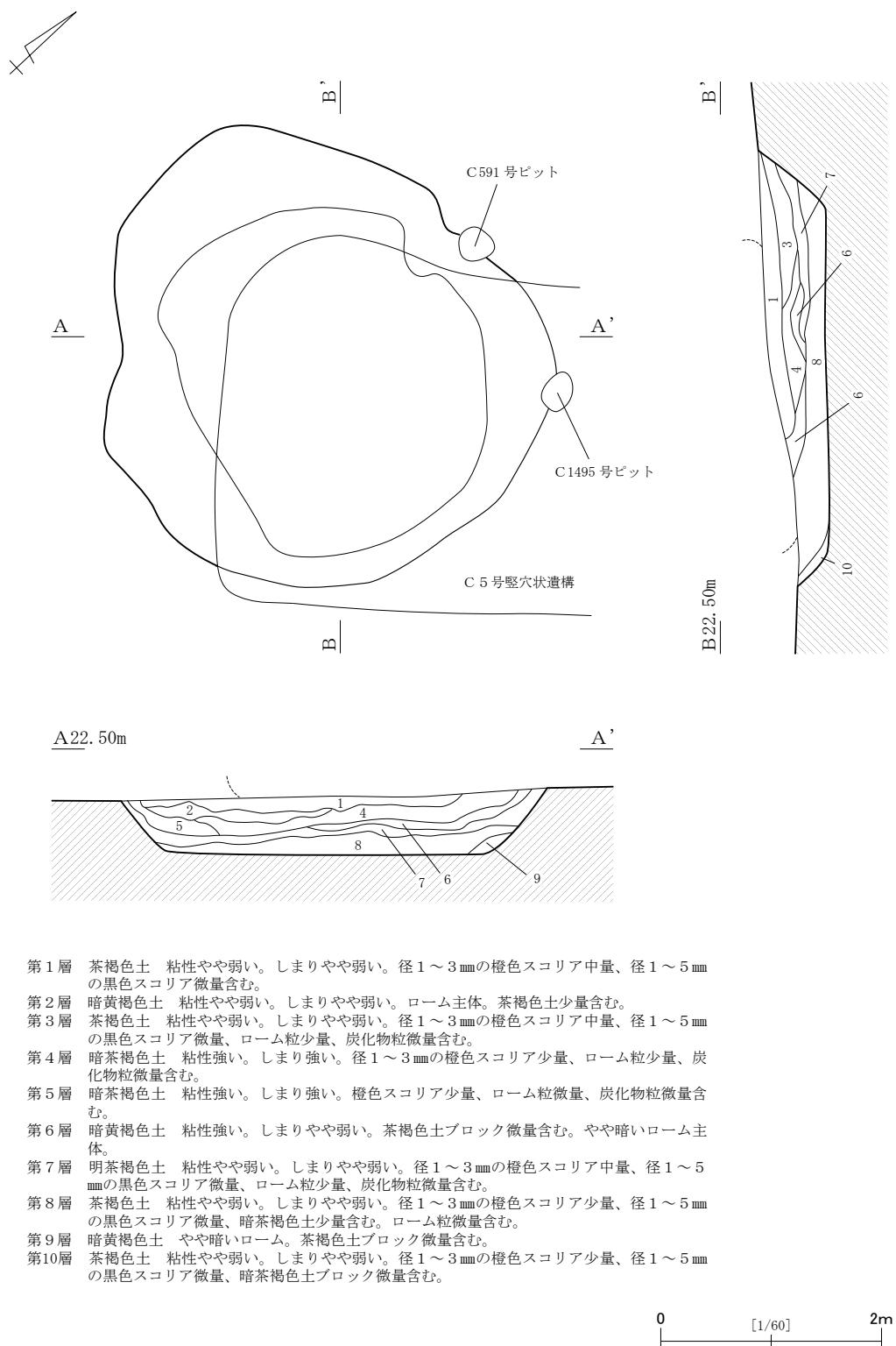
遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



- 第1層 暗黄褐色土 粘性強い。しまり強い。やや明るいローム。
- 第2層 暗黄褐色土 やや黄色味帯びるローム。第1層との境目に5mmの暗褐色土の帶あり。
- 第3層 暗黄褐色土 粘性強い。しまり強い。やや赤味帯びるローム。真ん中は灰色味帯びる。
- 第4層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第5層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第6層 暗褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア微量、径1~5mmの黒色スコリア少量、茶褐色土ブロック少量含む
- 第7層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第8層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。
- 第9層 暗黄褐色土 粘性強い。しまり強い。やや暗いローム。



第458図 8区・9区・調整池②区C25号堅穴状遺構 [1/60]



第459図 8区・9区・調整池②区C26号堅穴状遺構 [1/60]

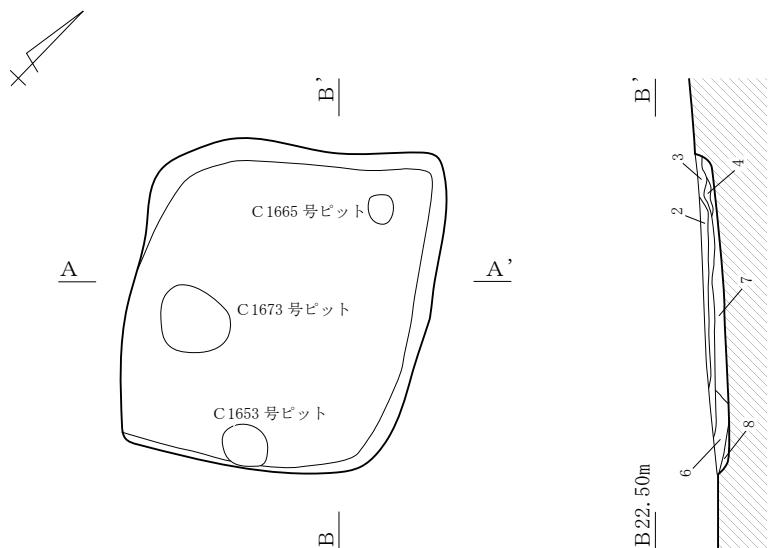
## C 28号堅穴状遺構(第461図、図版104-2)

X 10グリッドで検出された。確認面の標高は22.0～22.1mを測る。C 29号堅穴状遺構を切っている。北東隅をC 26号堅穴状遺構に、南西隅をC 27号堅穴状遺構・C 1672号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-37°-Eで、長軸2.40m、短軸1.99mを測る。確認面からの深さは0.29～0.41mを測る。

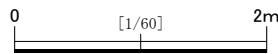
覆土は茶褐色土・暗黄褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土の14層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・3～5・9・12・13層には炭化物粒を微量含む。第6・8・14層には茶褐色土のブロックを微量、第11・13層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、亀山窯の陶器甕1点(20.1g)が出土しているが、体部のみの出土のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



- 第1層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味強いローム主体。茶褐色土ブロック微量含む。  
 第2層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。ローム主体。明茶褐色土微量含む。  
 第3層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。炭化物粒微量含む。やや暗灰色味帶びる。  
 第4層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。やや暗いローム主体。黄色味強いローム少量、明茶褐色土ブロック微量含む。  
 第5層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。  
 第6層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量、炭化物粒微量、焼土粒微量含む。  
 第7層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量、暗褐色土ブロック少量含む。やや灰色味帶びる。  
 第8層 暗褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、茶褐色土ブロック微量含む。



第460図 8区・9区・調整池②区C 27号堅穴状遺構 [1/60]

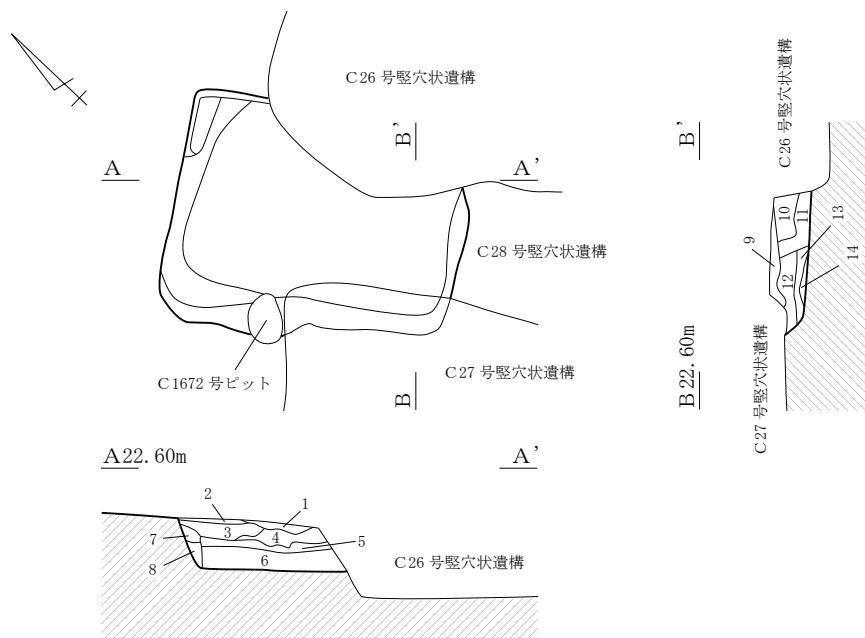
C 29号堅穴状遺構(第462図、図版105)

X 9・10グリッドで検出された。確認面の標高は22.1～22.4mを測る。C 117号土坑を切っている。南側をC 28号堅穴状遺構に、北西隅をC 1663・1703号ピットに、中央をC 1664号ピットに、南西隅をC 1675号ピットに切られている。隅丸方形もしくは隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸2.17m、残存短軸1.71mを測る。確認面からの深さは0.08～0.26mを測る。

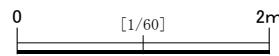
覆土は明茶褐色土・暗黄褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。第4層には暗茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、鉄滓1点(23.2g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



- 第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量含む。  
 第2層 暗黄褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。ローム主体。茶褐色土少量含む。  
 第3層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。  
 第4層 暗茶褐色土 粘性強い。しまり強い。径1～3mmの橙色スコリア少量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。  
 第5層 暗茶褐色土 粘性強い。しまり強い。橙色スコリア少量、ローム粒微量、炭化物微量含む。  
 第6層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。茶褐色土ブロック微量含む。やや暗いローム主体。  
 第7層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、暗茶褐色土少量含む。、ローム粒微量含む。  
 第8層 暗黄褐色土 やや暗いローム。茶褐色土ブロック微量含む。  
 第9層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第10層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。  
 第11層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。  
 第12層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。茶褐色土ブロック中量、炭化物粒微量含む。ローム主体。  
 第13層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、炭化物粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。  
 第14層 明茶褐色土 粘性強い。しまり強い。径1～3mmの橙色スコリア少量、ローム粒微量、茶褐色土ブロック微量含む。



第461図 8区・9区・調整池②区C 28号堅穴状遺構 [1/60]

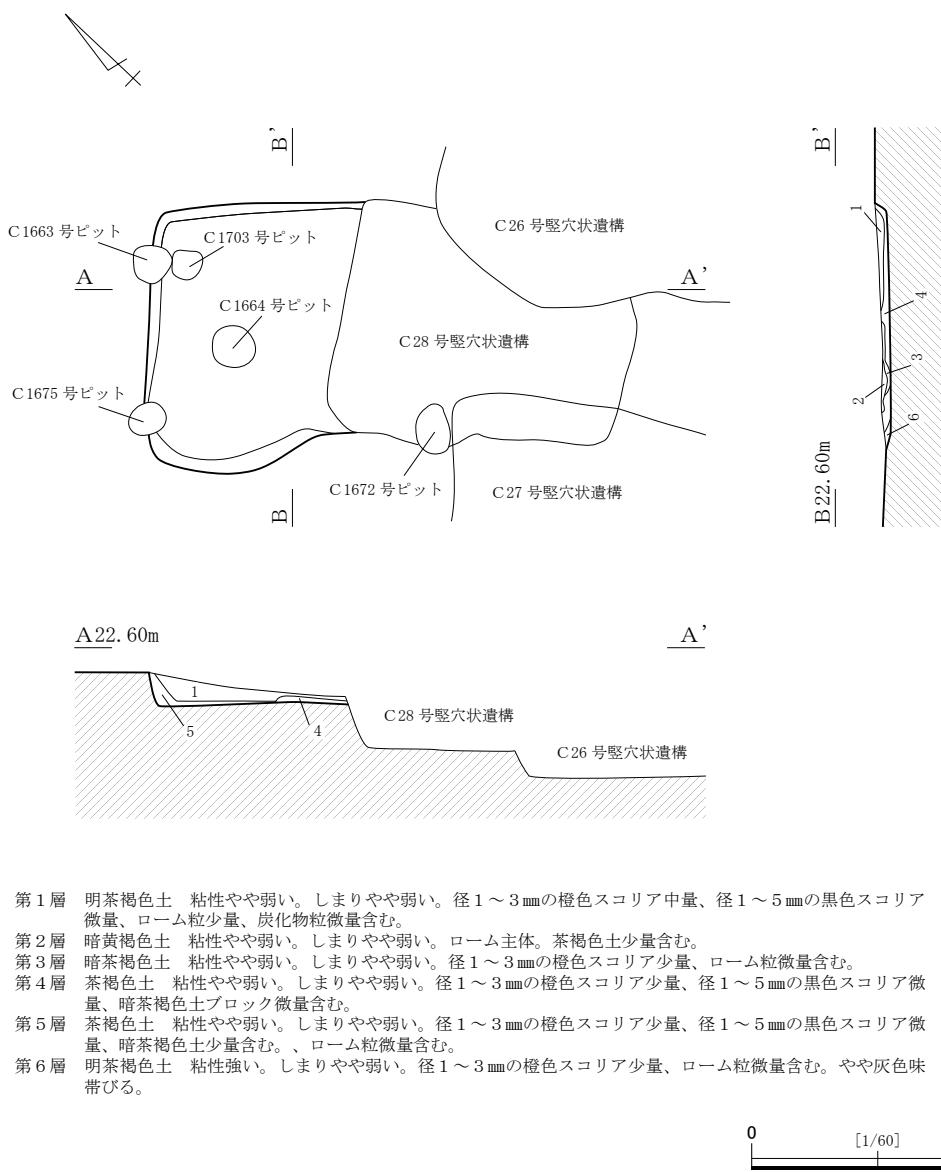
## C 31号堅穴状遺構(第463図、図版105-2)

Y・Z 8・9グリッドで検出された。確認面の標高は21.7～22.1mを測る。北東側が歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-38°-Eで、長軸4.46m、短軸3.06mを測る。確認面からの深さは0.98～1.16mを測る。

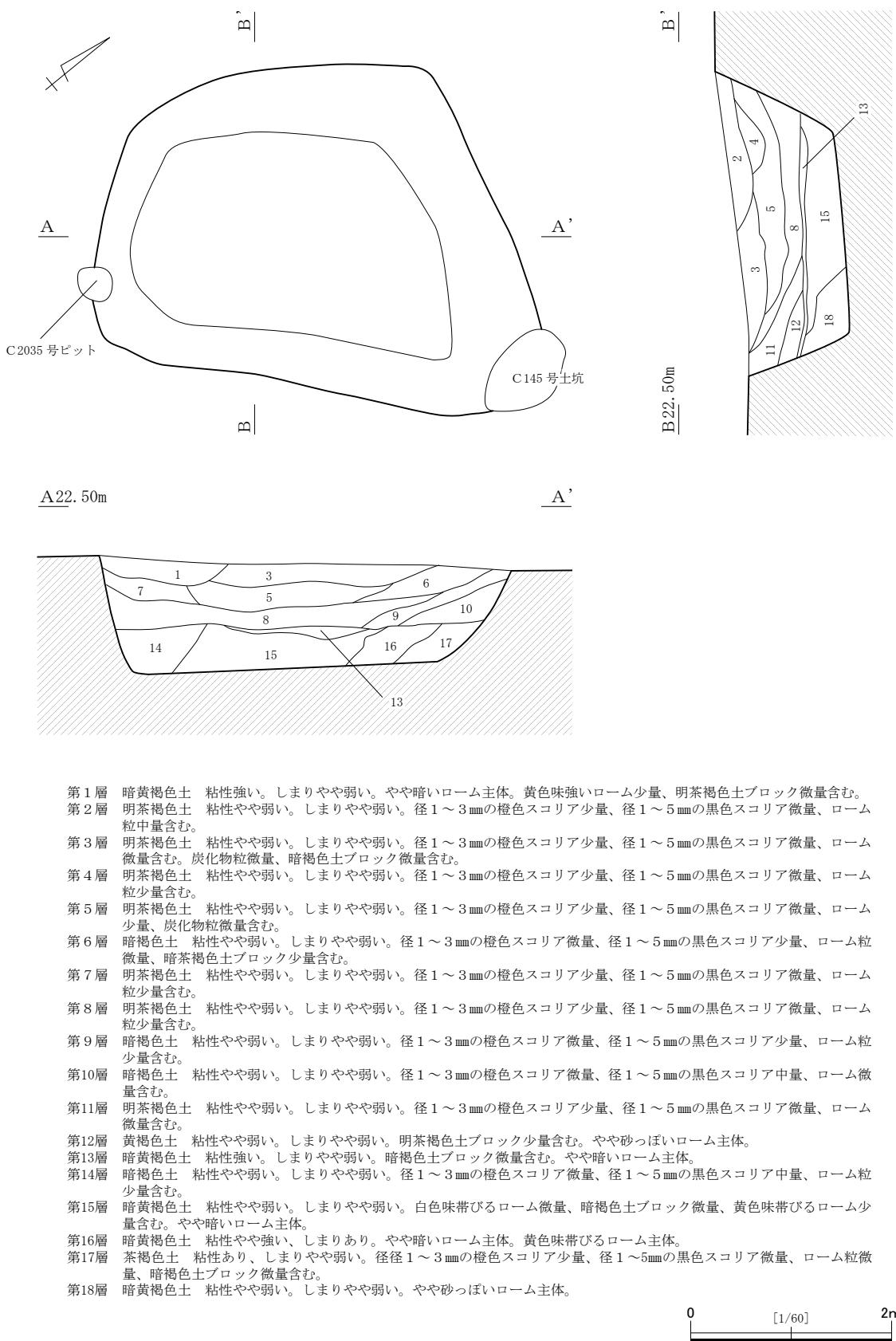
覆土は暗黄褐色土・明茶褐色土・暗褐色土・黄褐色土・茶褐色土の18層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3・5層には炭化物粒を微量、含む。第1層には明茶褐色土のブロックを微量、第12層には少量含む。第3・13・15・17層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器甕の体部1点(62.0g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第462図 8区・9区・調整池②区C 29号堅穴状遺構 [1/60]



第463図 8区・9区・調整池②区C31号竪穴状遺構 [1/60]

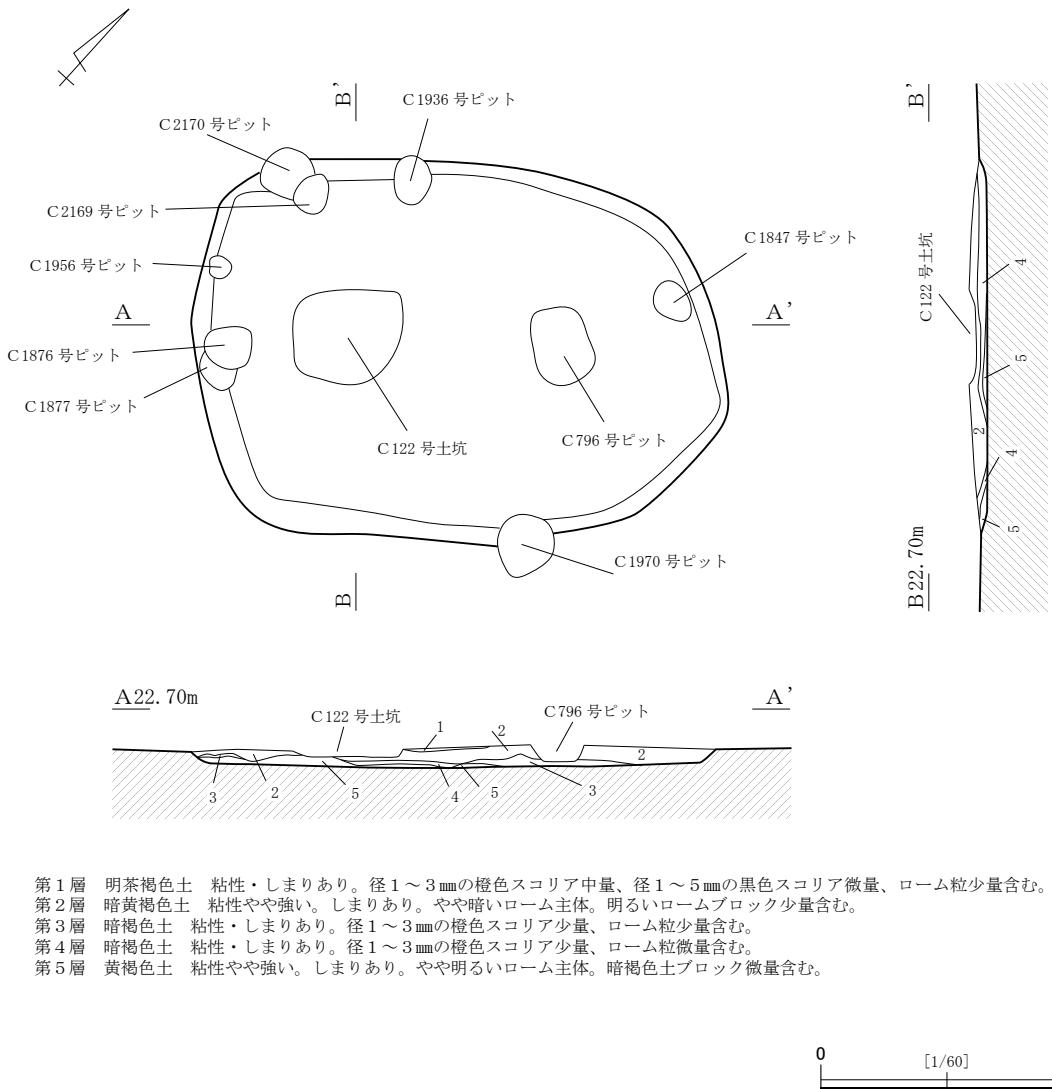
## C 32号堅穴状遺構(第464図、図版106-1)

X 9グリッドで検出された。確認面の標高は22.2～22.4mを測る。中央をC 122号土坑とC 796号ピットに、北側をC 1847号ピットに、東側をC 1970号ピットに、西側を1936号ピットに、南西隅をC 1876・1877・1956・2169・2170号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-48°-Eで、長軸4.27m、短軸3.11mを測る。確認面からの深さは0.11～0.18mを測る。

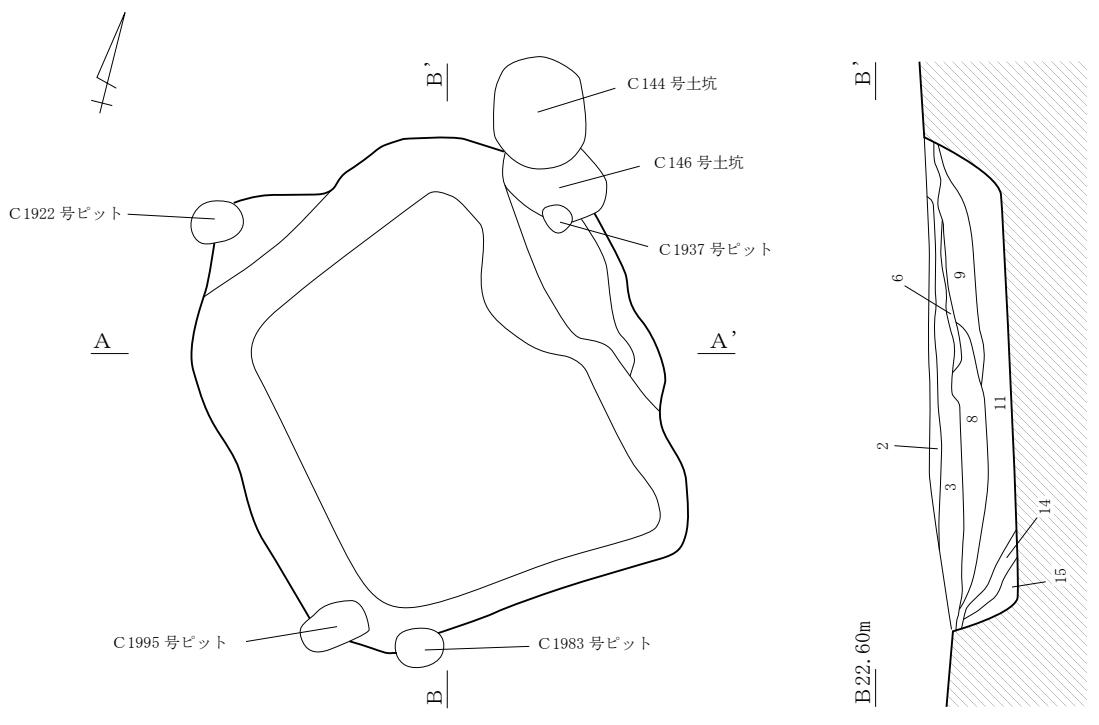
覆土は明茶褐色土・暗黄褐色土・暗褐色土・黄褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第5層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

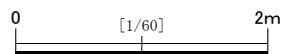
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



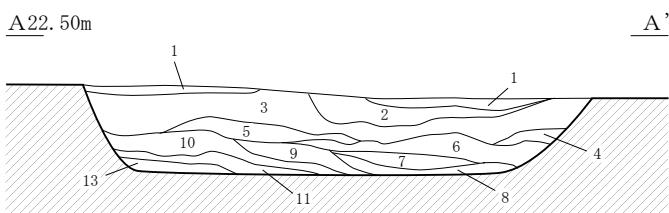
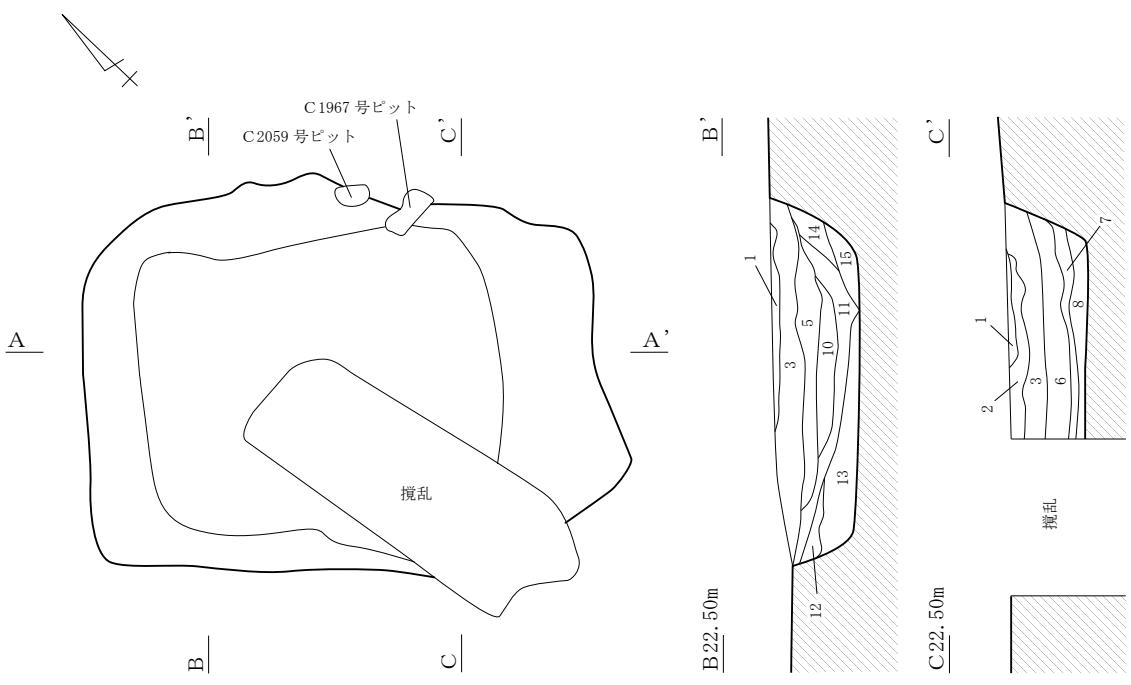
第464図 8区・9区・調整池②区 C 32号堅穴状遺構 [1/60]



第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、暗褐色土ブロック少量含む。  
 第2層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。  
 第3層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量、暗褐色土ブロック少量含む。  
 第4層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム少量含む。  
 第5層 暗褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
 第6層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。暗褐色土ブロック微量含む。  
 第7層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第8層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量、炭化物粒微量、暗褐色土ブロック少量含む。  
 第9層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。  
 第10層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
 第12層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量、暗褐色土ブロックを微量含む。  
 第13層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。暗褐色土ブロック少量、茶褐色土ブロック微量含む。やや暗いローム主体。  
 第14層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。明茶褐色土ブロック微量含む。やや暗いローム主体。  
 第15層 明茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量含む。ローム粒少量含む。



第465図 8区・9区・調整池②区C33号竪穴状遺構 [1/60]



- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、炭化物粒微量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第3層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。
- 第4層 明茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒多量含む。
- 第5層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味強いローム少量含む。ローム主体。
- 第6層 茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、炭化物粒微量、ローム粒微量含む。第4層よりもやや粘性あり。
- 第7層 茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。
- 第8層 茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア、ローム粒微量含む。
- 第9層 暗黄褐色土 粘性強い。しまり強い。茶褐色土微量含む。橙色スコリア目立つ。ローム主体。
- 第10層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。炭化物粒微量、茶褐色土ブロック微量含む。やや暗いローム主体。
- 第11層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。やや明るいローム主体。
- 第12層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味帶びるローム少量含む。ローム主体。
- 第13層 明茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。ローム粒微量、炭化物粒微量含む。
- 第14層 褐色土 粘性強い。しまり強い。炭化物粒微量、黄色味帶びるローム少量含む。やや明るいローム主体。
- 第15層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味帶びるローム微量含む。第15層よりややしまりに欠ける。やや明るいローム主体。



第466図 8区・9区・調整池②区C34号竪穴状遺構 [1/60]

**C 33号竪穴状遺構(第465図、図版106－2)**

Y 9 グリッドで検出された。確認面の標高は21.9～22.3mを測る。北東隅をC 144・146号土坑とC 1937号ピットに、南東隅をC 1983・1995号ピットに、北西隅をC 1922号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-44°-Wで、長軸4.13m、短軸3.56mを測る。確認面からの深さは0.38～1.24mを測る。

覆土は暗茶褐色土・茶褐色土・暗褐色土・明茶褐色土・暗黄褐色土の15層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3・8・9層には炭化物粒を微量含む。第1・3・13層には暗褐色土ブロックを少量、第2・6・12層には微量含む。第13層には茶褐色土のブロックを微量、第14層には明茶褐色土のブロックを含む。北壁側には、残存長径1.83m、奥行き0.14～0.52m、高さ0.16～0.22mの段差が確認出来る。

遺物は、渥美窯の陶器甕2点(155.2g)、かわらけ2点(7.7g)の計4点(162.9g)が出土しているが、体部のみや小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 34号竪穴状遺構(第466・467図、第107表、図版107-1・172)**

Y 9 グリッドで検出された。確認面の標高は21.8～22.1mを測る。東側をC 1967・2059号ピットに、南西側が攪乱に切られている。隅丸長方形のプランを呈隅丸長方形し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-45°-Wで、長軸4.36m、短軸2.78mを測る。確認面からの深さは0.56～0.68mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・黄褐色土・暗黄褐色土・褐色土の15層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・3・6・7・13・14層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器皿1点(6.1g)、常滑窯の陶器甕1点(51.4g)、かわらけ3点(62.7g)の計6点(120.2g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第467図1はかわらけである。胎土は橙色、白色針状物質・角閃石・赤色スコリアを含む。底部回転糸切り痕と、不明瞭ではあるがスノコ痕を確認出来る。口径が11.9cmで大型の製品に分類できる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

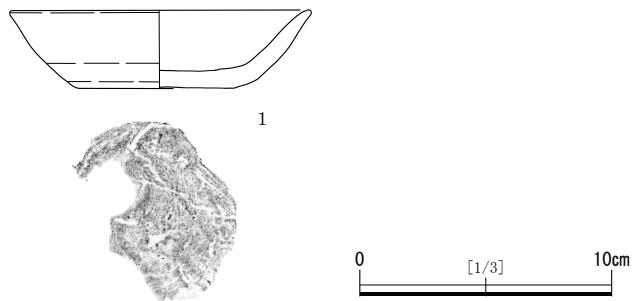
**C 35号竪穴状遺構(第468図、図版107-2)**

Z 9 グリッドで検出された。確認面の標高は21.4～21.8mを測る。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径3.96m、短径3.18mを測る。確認面からの深さは0.43～1.06mを測る。

覆土は茶褐色土・黄褐色土・暗黄褐色土・明茶褐色土・暗褐色土のの16層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・8層には炭化物粒を微量含む。第1・11層には暗褐色土のブロックを微量含む。第7・8層には茶褐色土のブロック微量含む。底面には、南北方向で北側から奥行き1.01m・高さ0.10m、奥行き0.23m・高さ0.23m、奥行き0.09m・高さ0.23mの規模で階段状の掘り込み3段が確認出来る。

遺物は、かわらけ1点(50.0g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第467図 8区・9区・調整池②区C34号竪穴状遺構出土遺物 [1/3]

第107表 8区・9区・調整池②区C34号竪穴状遺構出土遺物観察表 [第467図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[11.9]	6.2	3.1	51.5	口縁部～ 体部1/8・ 底部2/3	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、白色針 状物質・角閃石・赤色スコ リアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ 痕不明瞭

**C 36号竪穴状遺構(第469図)**

Y 10グリッドで検出された。確認面の標高は20.9～21.1mを測る。楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径3.30m、短径2.76mを測る。確認面からの深さは0.13～0.20mを測る。

覆土は暗黄褐色土と黄褐色土の2層で構成され、ローム主体の層である。第1層には炭化物粒を微量含む。第2層には暗褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ4点(22.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 37号竪穴状遺構(第470図、図版108-1)**

X・Y 9グリッドで検出された。C 38号竪穴状遺構を切っている。南西隅をC 878号ピットに切られている。確認面の標高は22.0～22.2mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-43°-Wで、長軸2.46m、短軸1.71mを測る。確認面からの深さは0.41～0.56mを測る。

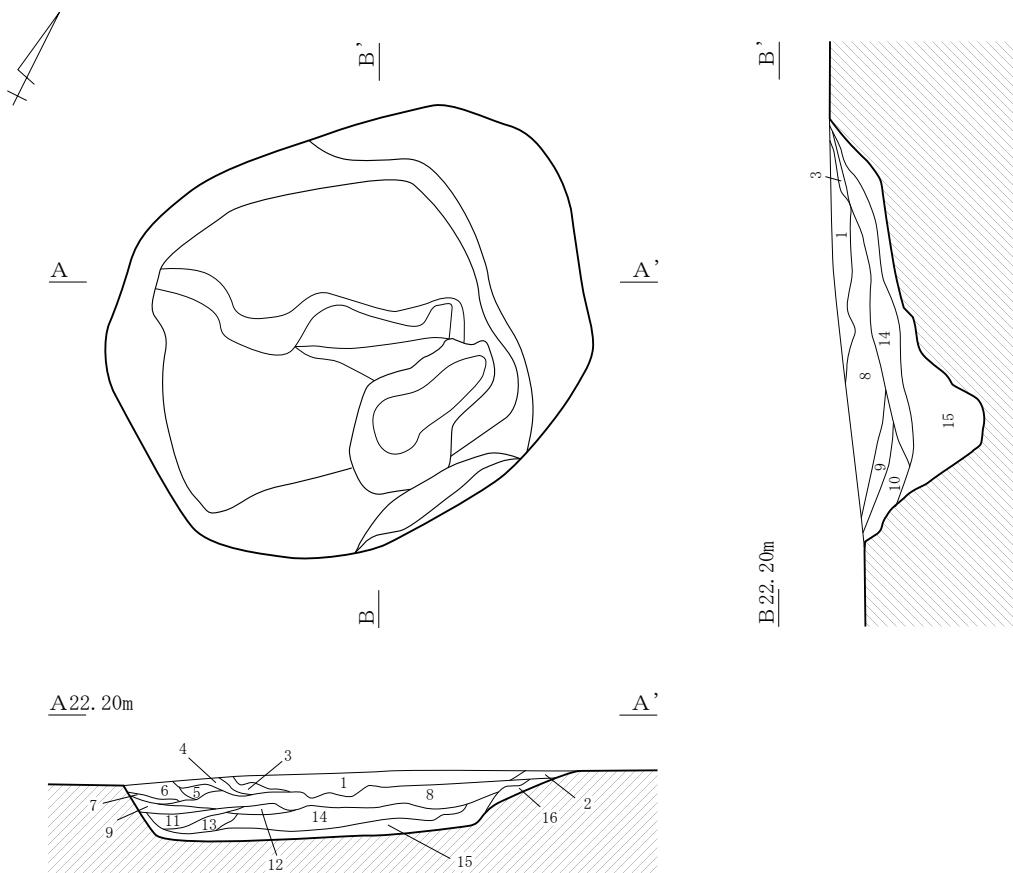
覆土は暗灰褐色土・褐色土・黄褐色土・暗黄褐色土の5層で構成される。第1～5層には焼土粒を含み、第5層には炭化物粒を微量含む。覆土全体に焼土粒や炭化物粒を含む。確認面より上にC 3号焼土址が存在することから、焼土址の影響を受けたものと思われる。

遺物は出土していない。

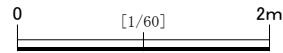
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 38号竪穴状遺構(第471図、図版108-1)**

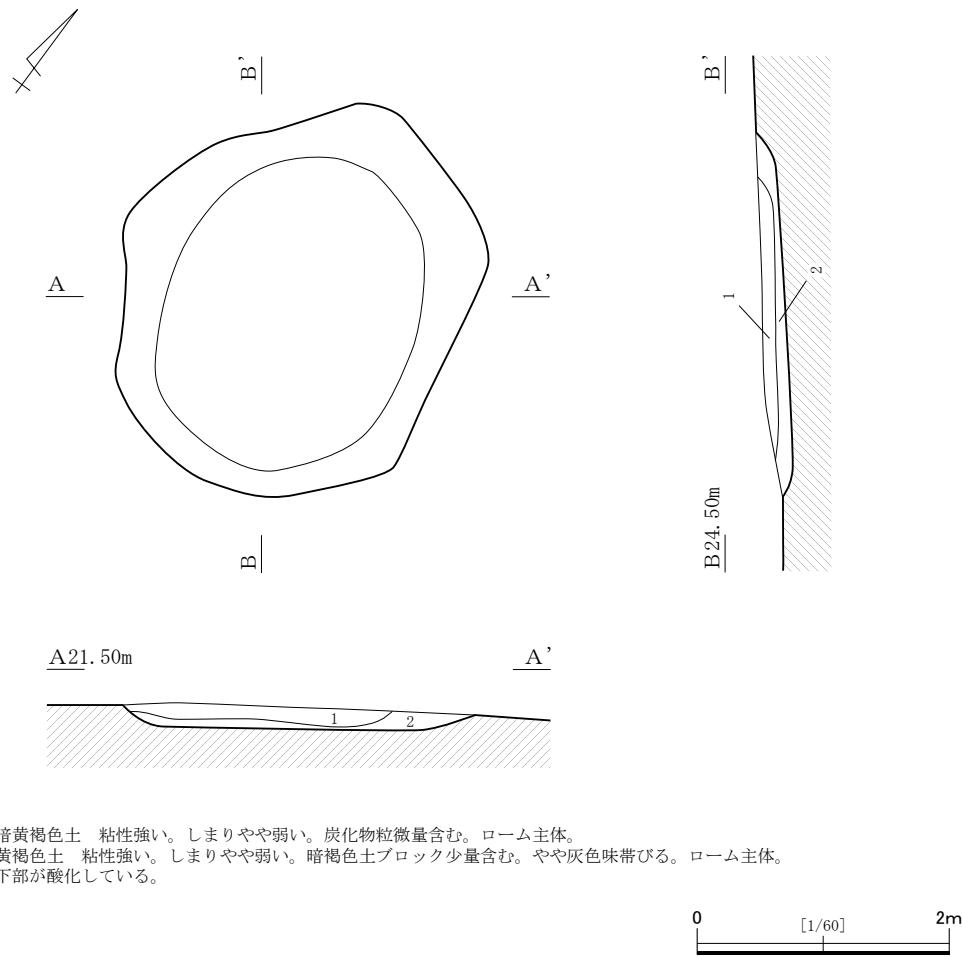
X 9・10、Y 9・10グリッドで検出された。確認面の標高は21.8～22.2mを測る。南東側をC 27号竪穴状遺構・C 1673・1897・1898号ピットに、北西側をC 37号竪穴状遺構に切られている。楕円形



- 第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。炭化物粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまり強い。径1~3mmの橙色スコリアやや多量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第3層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味強いローム粒中量含む。ローム主体。
- 第4層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。茶褐色土ブロック微量含む。やや暗いローム主体。
- 第5層 暗黄褐色土 第4層よりややしまり弱い。やや暗いローム主体。
- 第6層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第7層 暗褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア少量含む。ローム粒微量、茶褐色土ブロック微量含む。
- 第8層 黄褐色土 粘性強い。しまり強い。炭化物粒微量、茶褐色土ブロック微量、黄色味強いローム粒少量含む。やや暗いローム主体。
- 第9層 暗黄褐色土 第8層よりやや暗い。黄色味強いローム粒微量含む。やや暗いローム主体。
- 第10層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味強いローム粒中量含む。やや明るいローム主体。
- 第11層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒粒少量含む。暗褐色土ブロック微量含む。
- 第12層 黄褐色土 粘性強い。しまり強い。やや明るいローム主体。
- 第13層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味帶びるローム粒微量含む。やや明るいローム主体。
- 第14層 黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。やや黄色味強いローム粒微量含む。やや明るいローム主体。
- 第15層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第16層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。黄色味帶びるローム粒少量含む。やや暗いローム主体。



第468図 8区・9区・調整池②区C35号竪穴状遺構 [1/60]



第469図 8区・9区・調整池②区C 36号竖穴状遺構 [1/60]

のプランを呈すると考えられ、皿状の掘り込みを持つ。長径3.82m、残存短径2.62mを測る。確認面からの深さは0.18～0.28mを測る。

覆土は褐色土と暗黄褐色土の3層で構成され、ローム主体の層である。第1層は焼土主体、第2・3層は炭化物粒を微量、焼土粒を微量含む。確認面より上にC 3号焼土址が存在することから、焼土址の影響を受けたものと思われる。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

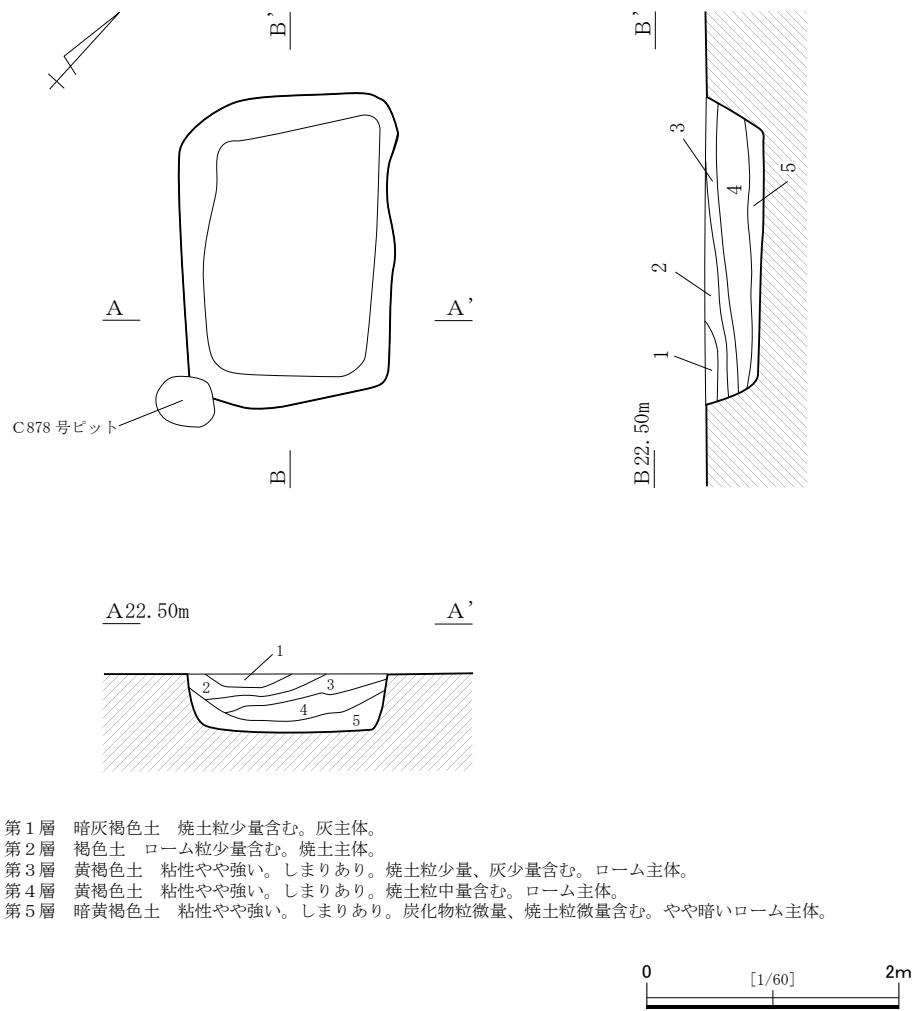
#### C 39号竖穴状遺構(第472図)

X・Y 8・9グリッドで検出された。確認面の標高は22.2～22.3mを測る。東側をC 17号溝状遺構に、南西隅をC 147号土坑に切られている。歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、薄い皿状の掘り込みを持つ。長軸3.65m、短軸2.68mを測る。確認面からの深さは0.06～0.08mを測る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第470図 8区・9区・調整池②区C 37号堅穴状遺構 [1/60]

#### C 40号堅穴状遺構 (第473図、図版108)

Y 7グリッドで検出された。確認面の標高は23.2～23.3mを測る。南西側は調査区外に延びている。長楕円形のプランを呈すると考えられ、皿状の掘り込みを持つ。残存長径3.32m、短径2.18mを測る。確認面からの深さは0.20～0.33mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・4・5層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器擂鉢3点(164.6g)、かわらけ1点(9.6g)の計4点(174.2g)が出土しているが、体部破片や小破片のため、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 41号堅穴状遺構 (第474図、図版109-1)

T 12グリッドで検出された。確認面の標高は23.8～24.1mを測る。南側の上面は削平され、掘り込みが消えている。掘り込みが消えている。隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-41°-Eで、残存長軸2.38m、残存短軸1.88mを測る。確認面からの深

さは0.08～0.22mを測る。

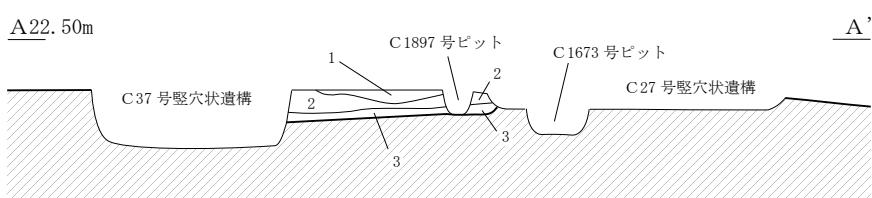
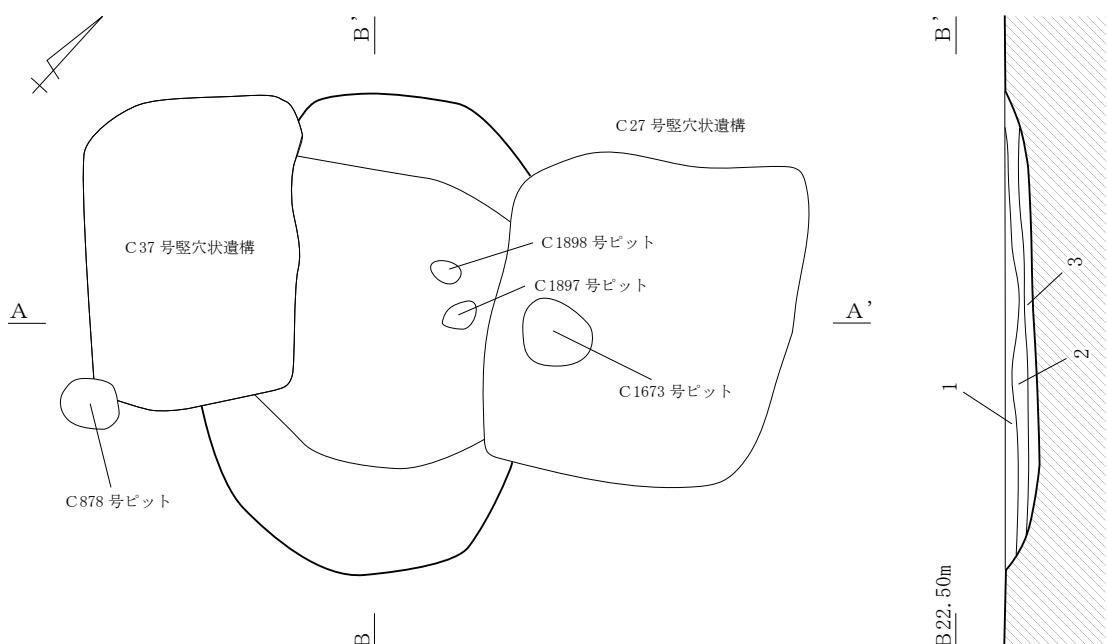
覆土は暗褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・褐色スコリアを含む。第1層には炭化物粒を少量含む。第2層には白色粘土のブロックを多量含む。第1・3層には乳白色粘土を多量含む。遺物は、かわらけ63点(225.9g)が出土しているが、いずれも小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

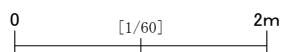
#### C 42号竪穴状遺構(第475・476図、第108表、図版109-2・174-2)

X8・Y8グリッドで検出された。確認面の標高は21.7～22.4mを測る。北西隅をC 17号溝状遺構・C 151号土坑に、西側をC 14号溝状遺構・C 2086号ピットに、東側をC 2072号ピットに切られている。東側が歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-34°-Wで、長軸3.71m、短軸3.71mを測る。確認面からの深さは0.55～1.90mを測る。

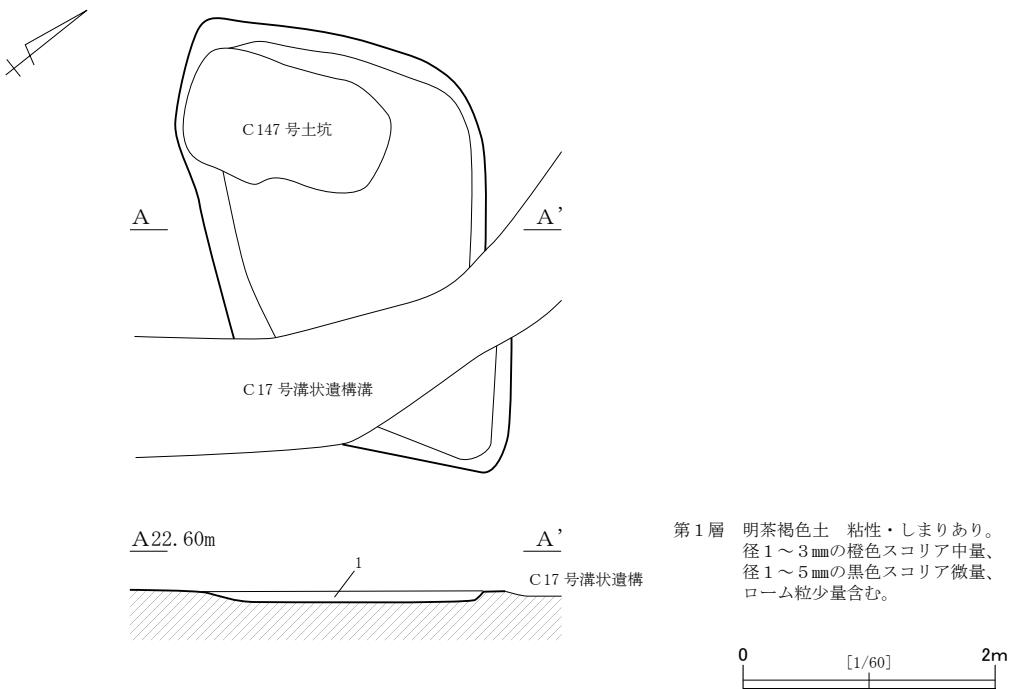
覆土は茶褐色土・明茶褐色土・黄褐色土の13層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム



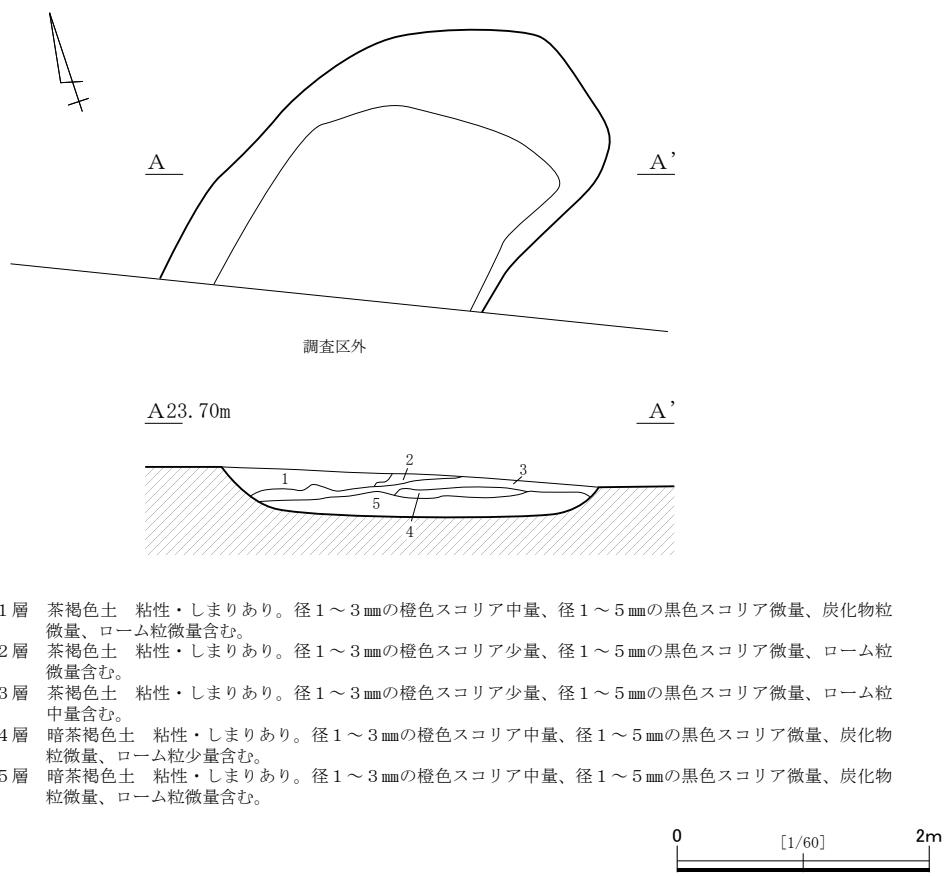
第1層 暗褐色土 焼土主体。ローム粒少量含む。  
第2層 暗黄褐色土 炭化物粒微量、焼土粒微量含む。ローム主体。  
第3層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。炭化物粒微量、焼土粒微量含む。やや暗いローム主体。



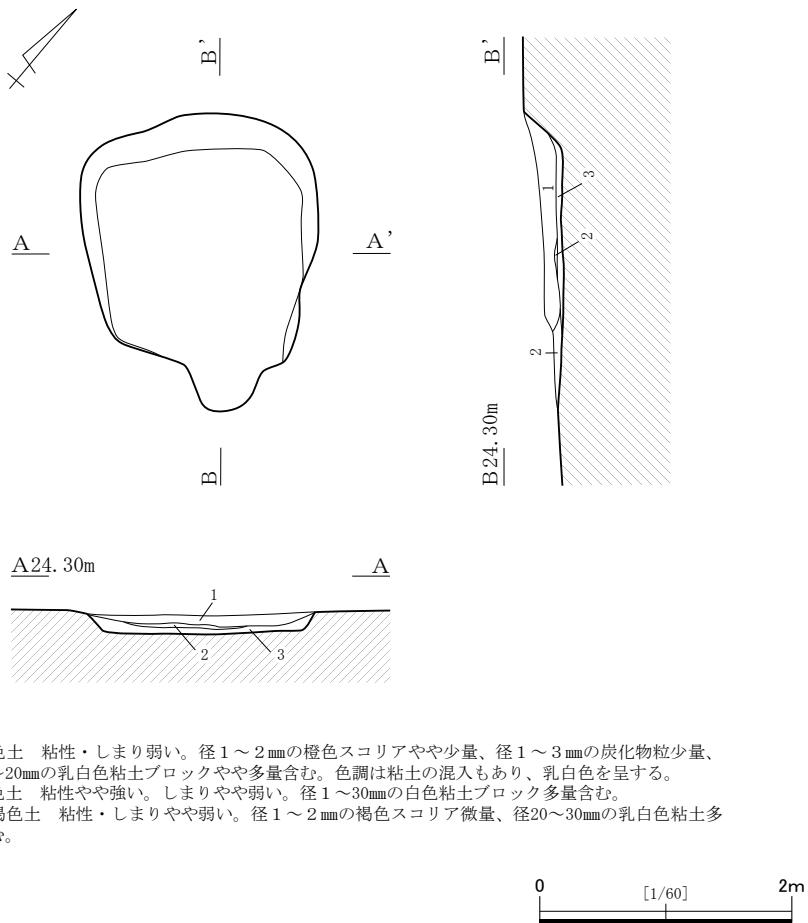
第471図 8区・9区・調整池②区C 38号竪穴状遺構 [1/60]



第472図 8区・9区・調整池②区C 39号竖穴状遺構 [1/60]



第473図 8区・9区・調整池②区C 40号竖穴状遺構 [1/60]



第1層 暗褐色土 粘性・しまり弱い。径1～2mmの橙色スコリアやや少量、径1～3mmの炭化物粒少量、  
径1～20mmの乳白色粘土ブロックやや多量含む。色調は粘土の混入もあり、乳白色を呈する。  
第2層 暗褐色土 粘性やや強い。しまりやや弱い。径1～30mmの白色粘土ブロック多量含む。  
第3層 暗黄褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～2mmの褐色スコリア微量、径20～30mmの乳白色粘土多  
量含む。

第474図 8区・9区・調整池②区C41号竪穴状遺構 [1/60]

粒を含む。第6・10層には炭化物粒を微量含む。第8層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器碗1点(3.1g)、皿1点(21.1g)、銅錢3点(3.2g)の計5点(27.4g)が出土し  
ている。図化したのは、以下の2点である。

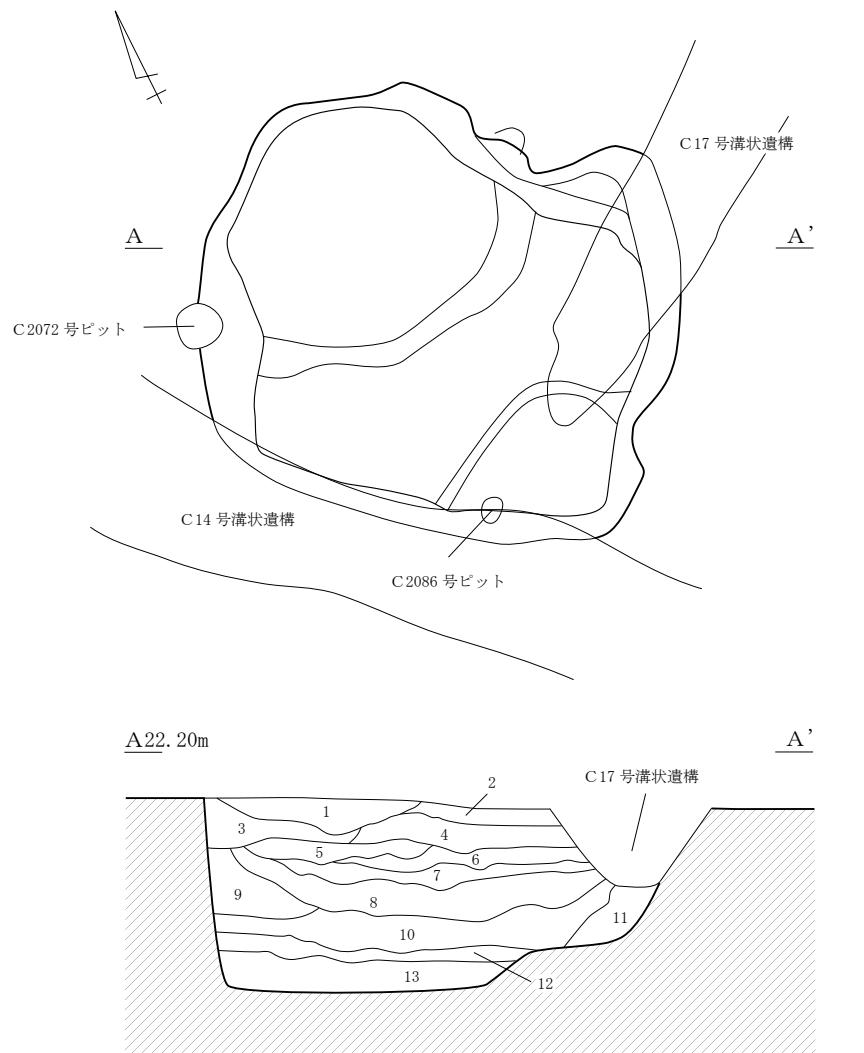
第476図1・2ともに渡来銭である。1は嘉祐元寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は1056年、書体は真書である。  
2は紹聖元寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は1094年、書体は行書である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

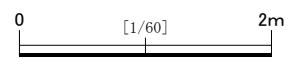
### (3) 溝状遺構

#### C 1号溝状遺構(第477・478図、第109表、図版101-1・173-1・175)

V12・13、W12・13グリッドで検出された。確認面の標高は22.1～22.8mを測る。北東側でC21号溝状遺構に、中央付近で搅乱に切られている。延伸方向は北東方向から南西方向で、W12グリットの中央付近で南方向に方向を変える。全体に上面が削平されており、北東側と南側は掘り込みが消えている。検出部分の長さは19.4m、幅は0.42～1.05mで、確認面からの深さは0.21～0.50mを測る。覆土は北東側、中央付近、南西側で違いがある。北東側のA-A'は茶褐色土・暗茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。全体に炭化物粒と焼土粒を粒微量含む。中央付近のB-B'は茶褐色土と暗茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を



- 第1層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第3層 第1層よりやや暗い。明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量含む。
- 第4層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第5層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第6層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒微量含む。
- 第7層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第8層 黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。黄色味強いローム主体。茶褐色土ブロック微量含む。
- 第9層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第10層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒微量含む。
- 第11層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第12層 茶褐色土 粘性やや強い。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、砂っぽいローム粒含む。
- 第13層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。



第475図 8区・9区・調整池②区C42号竪穴状遺構 [1/60]



第476図 8区・9区・調整池②区C42号竪穴状遺構出土遺物 [2/3]

第108表 8区・9区・調整池②区C42号竪穴状遺構出土遺物観察表 [第476図]

No.	銭名	材質	錢径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	嘉祐元寶	銅	23.5	6.2	1.0	1.8	完形	鑄造国 北宋 初鋸年 1056年 備考 真書
2	紹聖元寶	銅	23.8	6.3	1.0	1.0	3/4	鑄造国 北宋 初鋸年 1094年 備考 行書

含む。第1層には炭化物粒を微量含む。第2層には暗褐色土のブロックを微量含む。南西側のC-C'、明褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗褐色土のブロックを少量、炭化物粒を微量含む。第2層には暗褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、瓦質の香炉1点(95.1g)、かわらけ67点(525.9g)の計68点(621.0g)が出土している。図化したのは、以下の3点である。

第478図1・2はかわらけである。1は口径が12.8cmで大型の製品で、胎土は橙色、白色針状物質・角閃石・砂粒・石英・赤色スコリアを含む。底部糸切り痕が不明瞭だが確認できる。2は口径が6.8cmで中型の製品で、胎土は橙色、角閃石・雲母・白色針状物質を含む。底部回転糸切り痕が確認できる。口唇部外面に煤が付着しており、灯明皿として使用されたと考えられる。いずれも14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

第478図2は瓦質土器である。胎土は灰色、黑色粒子・角閃石を含む。外面に二本の沈線の間に連続丸文、底部に2ヶ所穿孔が確認できる。体部の一部分の出土で、詳細は不明である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

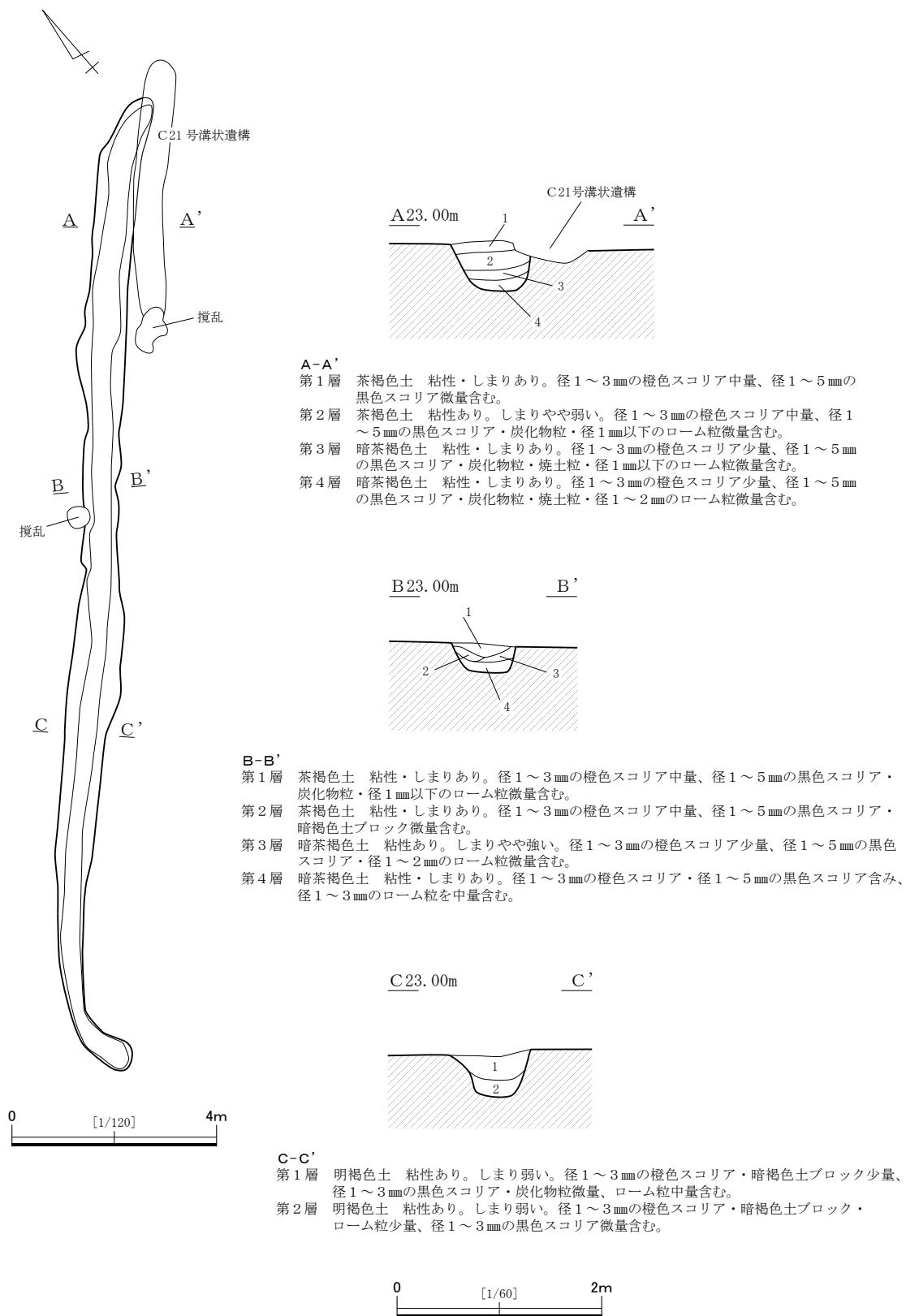
### C2号溝状遺構(第479図、図版110-2)

W12・13、X12・13グリッドで検出された。確認面の標高は21.3～21.9mを測る。C1号段切りを切っている。北東方向は調査区外に延びており、南西側は攪乱に切られている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは11.76m、幅は0.84～2.18mで、確認面からの深さは0.16～0.19mを測る。北東側には、幅1.54m、奥行き1.22m、高さ0.09～0.33mと幅3.34m、奥行き0.10～0.62m、高さ0.06～0.62mの段差が2ヶ所確認できる。

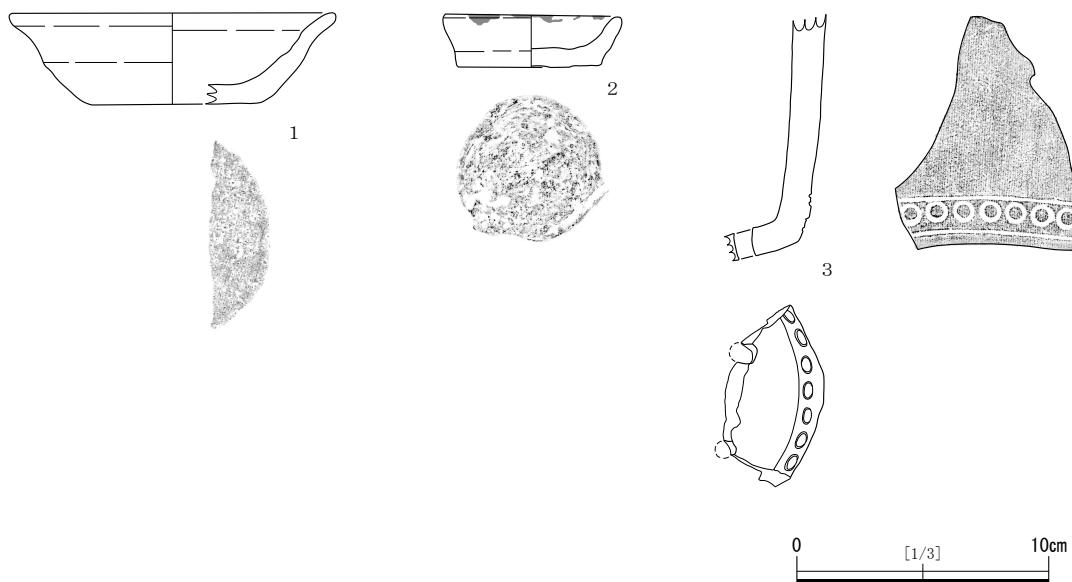
覆土は明褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層ともに炭化物粒を微量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器皿1点(1.0g)、かわらけ7点(23.2g)の計8点(24.6g)が出土している。いずれも小破片で図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第477図 8区・9区・調整池②区C 1号溝状遺構[1/120・1/60]



第478図 8区・9区・調整池②区C 1号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第109表 8区・9区・調整池②区C 1号溝状遺構出土遺物観察表 [第478図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[12.8]	[6.8]	3.6	59.7	口縁部 1/4・ 体部1/3・ 底部1/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、白色針状物質・角閃石・砂粒・石英・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部糸切り痕不明瞭
2	かわらけ	土器	6.8	5.7	2.2	51.3	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・雲母・白色針状物質を含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、口唇部内外面スス付着、全体にゆがみ有、底部回転糸切り痕
3	瓦質土器	瓦質	—	—	(9.7)	95.1	体部下半～ 底部際1/5 程度	在地	中世	胎土 灰色、やや粗、黑色粒子・角閃石を含む 焼成 良好 備考 用途不明 外面二本の沈線の間に連続丸文、底部に2ヵ所穿孔有

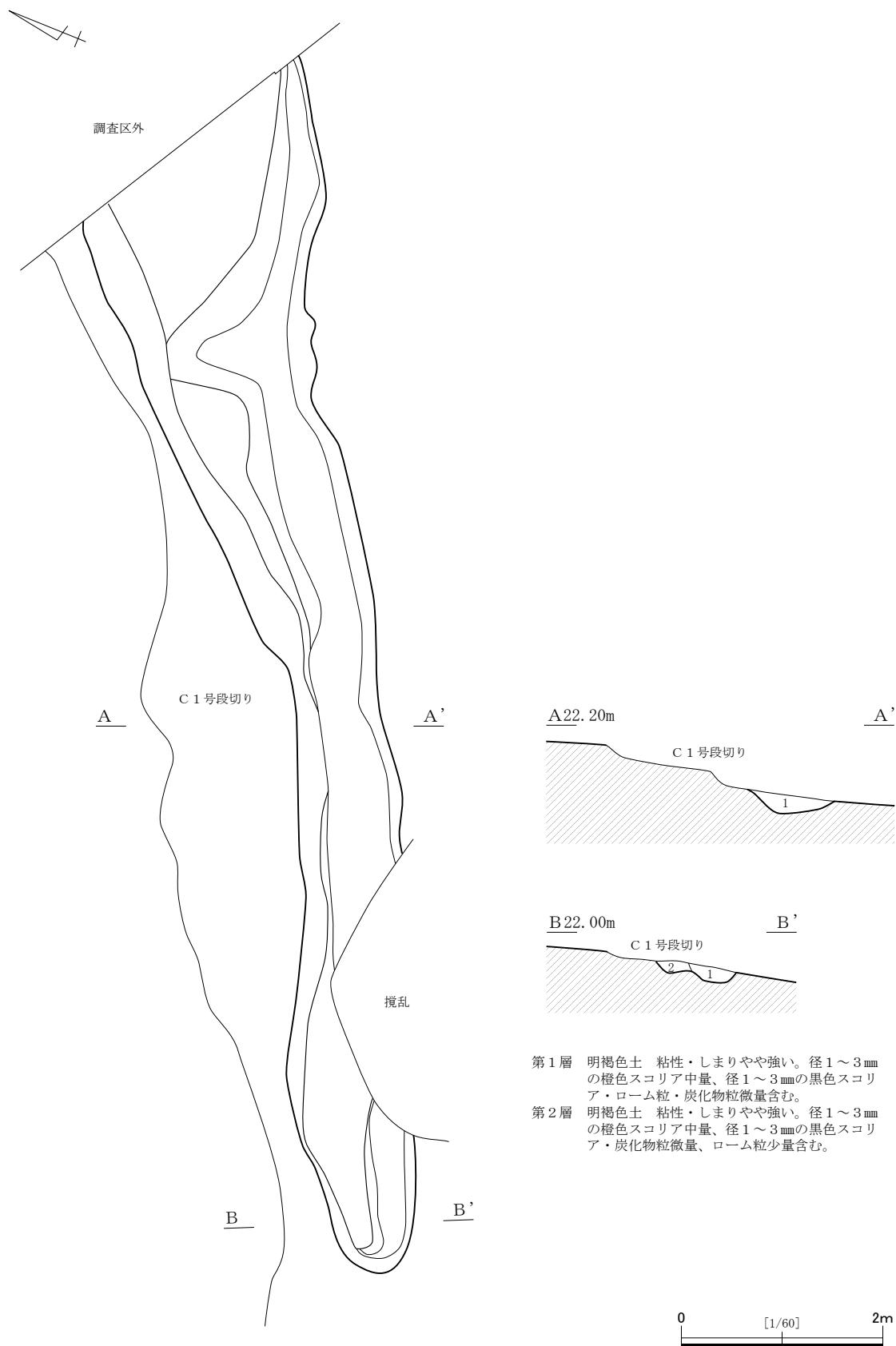
## C 4号溝状遺構 (第480図)

T 14・15グリッドで検出された。確認面の標高は22.6～22.8mを測る。上面をC 1号堅穴状遺構に、南東側をC 34号溝状遺構に切られている。延伸方向は北東方向から南東方向で、検出部分の長さは2.58m、幅は0.32～0.56mで、確認面からの深さは0.05～0.12mを測る。

覆土は青灰色土の単層で、炭化物粒を多量含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕1点(103.5g)、かわらけ1点(3.9g)の計2点(107.4g)が出土している。いずれも小破片で、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第1層 明褐色土 粘性・しまりやや強い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~3mmの黒色スコリア・ローム粒・炭化物粒微量含む。  
第2層 明褐色土 粘性・しまりやや強い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~3mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒少量含む。

第479図 8区・9区・調整池②区C 2号溝状遺構 [1/60]

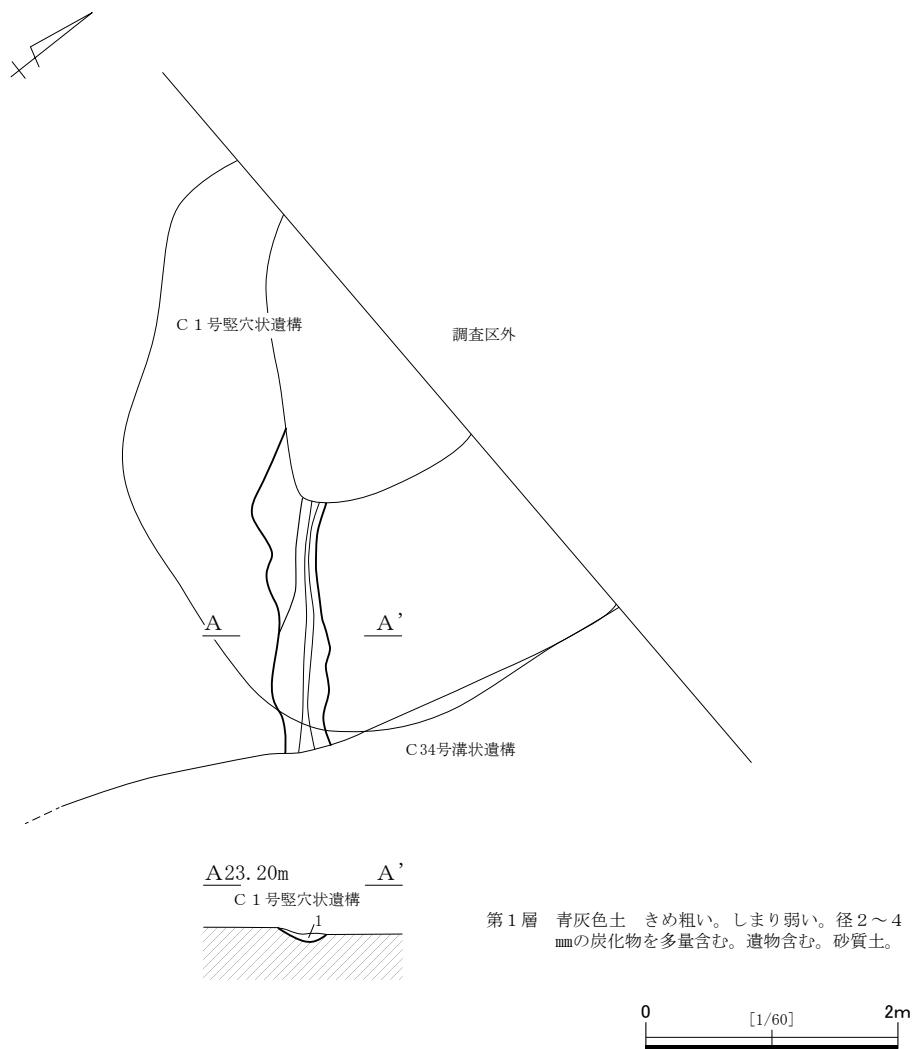
## C 5号溝状遺構(第481図)

T 14・15グリッドで検出された。確認面の標高は22.6～22.8mを測る。上面をC 1号竪穴状遺構に、南東側をC 34号溝状遺構とC 12号土坑に切られている。延伸方向は北西方向から南東方向で、検出部分の長さは2.91m、幅は0.14～0.49mで、確認面からの深さは0.05～0.14mを測る。

覆土は青灰色土の単層で、炭化物を多量含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕1点(36.8g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第480図 8区・9区・調整池②区C 4号溝状遺構 [1/60]

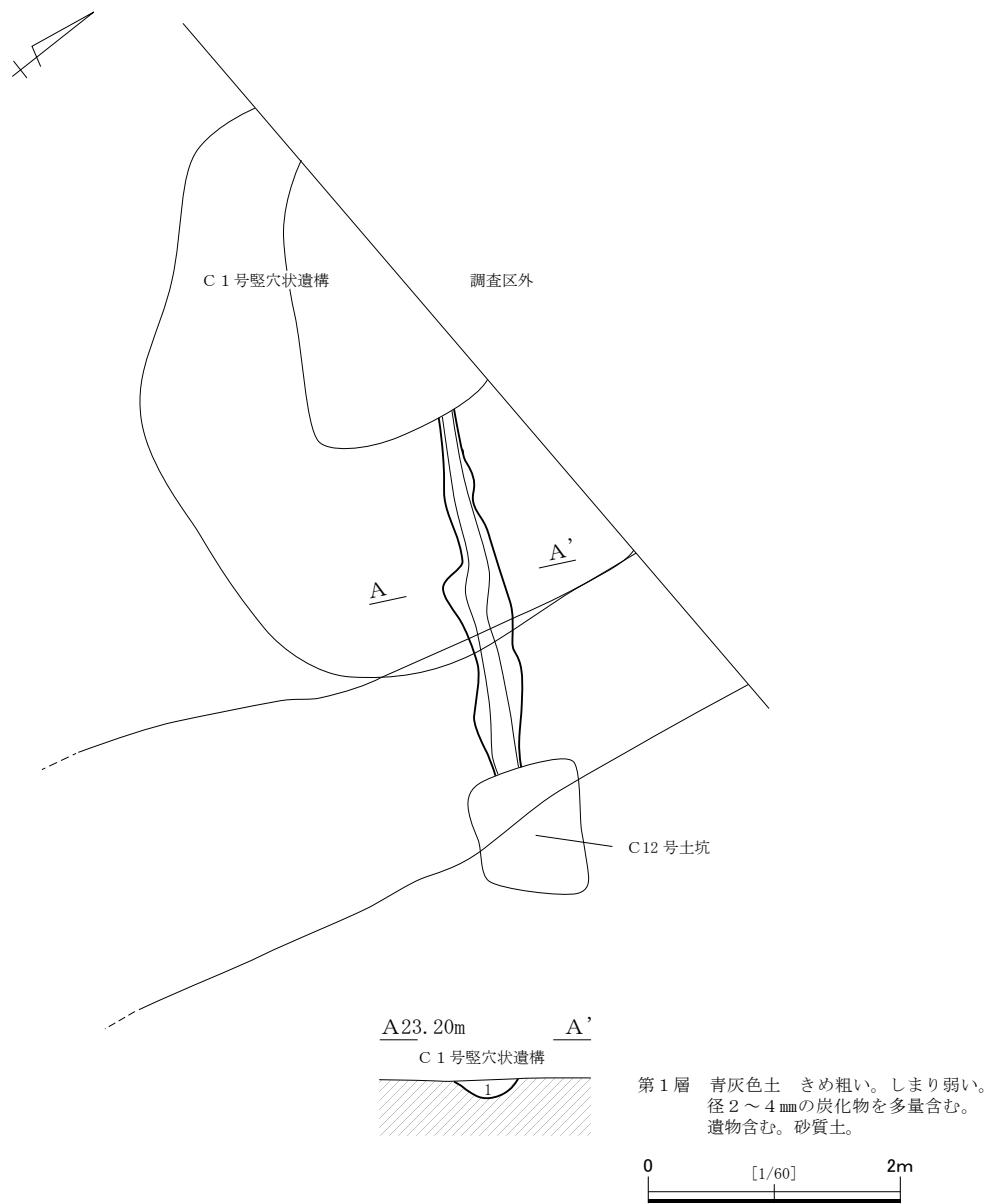
**C 10号溝状遺構 (第482図)**

U 11グリッドで検出された。確認面の標高は23.7～23.8mを測る。西側をC 14号溝状遺構に、中央付近をC 15号竪穴状遺構、C 402・416号ピットに、東側をC 412・413号ピットに切られている。延伸方向は北西方向から南東方向で、北側から約1.0m付近で南方向に向きを変え、約1.3m程で再び南東方向に向きを変えS字状を呈するが、遺構は南東方向に直線的に延びる。検出部分の長さは6.62m、幅は0.19～0.46mで、確認面からの深さは0.07～0.11mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第481図 8区・9区・調整池②区C 5号溝状遺構 [1/60]

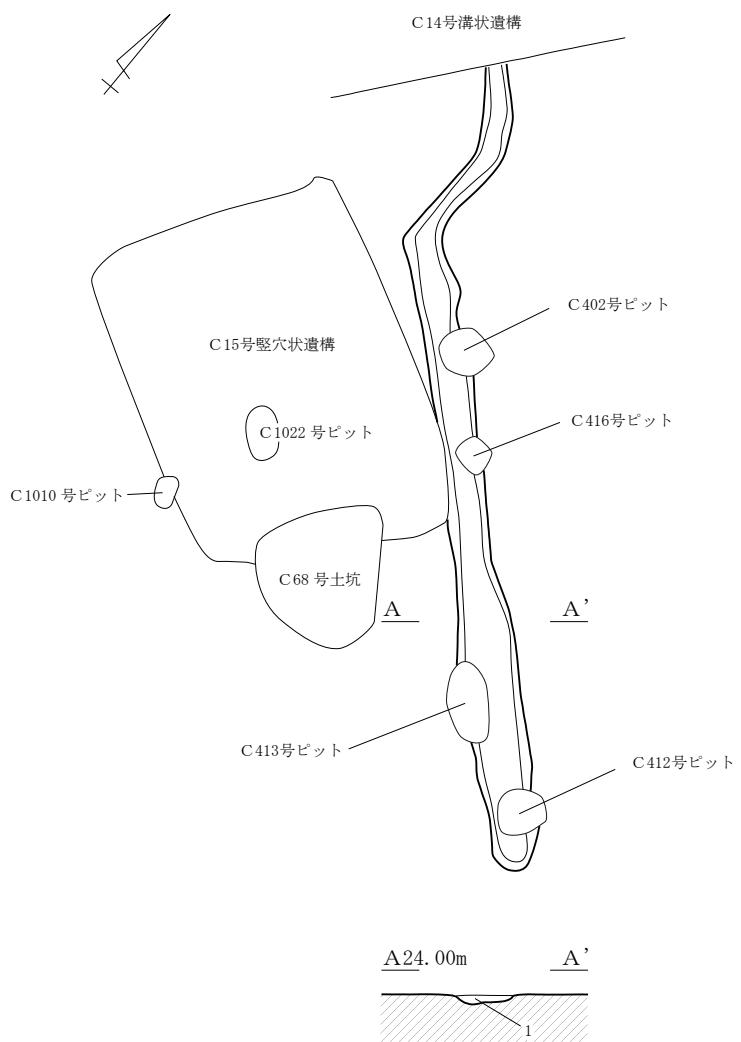
**C 11号溝状遺構 (第483図、図版111-1)**

T・U 11グリッドで検出された。確認面の標高は23.7～23.8mを測る。西側をC 14号溝状遺構・C 1756号ピットに、北側を攪乱により切られている。延伸方向は西方向から東方向に2.50m程伸び、北方向に向きを変え、全体がL字状を呈する。検出部分の長さは4.56m、幅は東側を0.25～0.43mで、確認面からの深さは0.07～0.10mを測る。周辺からはピットが確認されているが、本遺構との関係が不明である。ピットについては、(10) ピットを参照されたい。

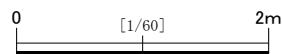
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、  
径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。



第482図 8区・9区・調整池②区 C 10号溝状遺構 [1/60]

**C 12号溝状遺構（第484図、図版111－2）**

X・Y 8グリッドで検出された。確認面の標高は22.8～23.1mを測る。C 14号溝状遺構に切られている。南西側は上面が削平され、掘り込みが消えている。延伸方向は北西方向から南東方向で、検出部分の長さは2.39m、幅は0.31～0.63mで、確認面からの深さは0.03～0.10mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 13号溝状遺構（第485図）**

V 11・12グリッドで検出された。確認面の標高は22.9～23.1mを測る。C 7号堅穴状遺構を切っている。C 598号ピットに切られている。延伸方向は北西方向から南東方向で、溝の両端は上面が削平されており、掘り込みが消えている。検出部分の長さは3.47m、幅は0.43～0.70mで、確認面からの深さは0.07～0.10mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

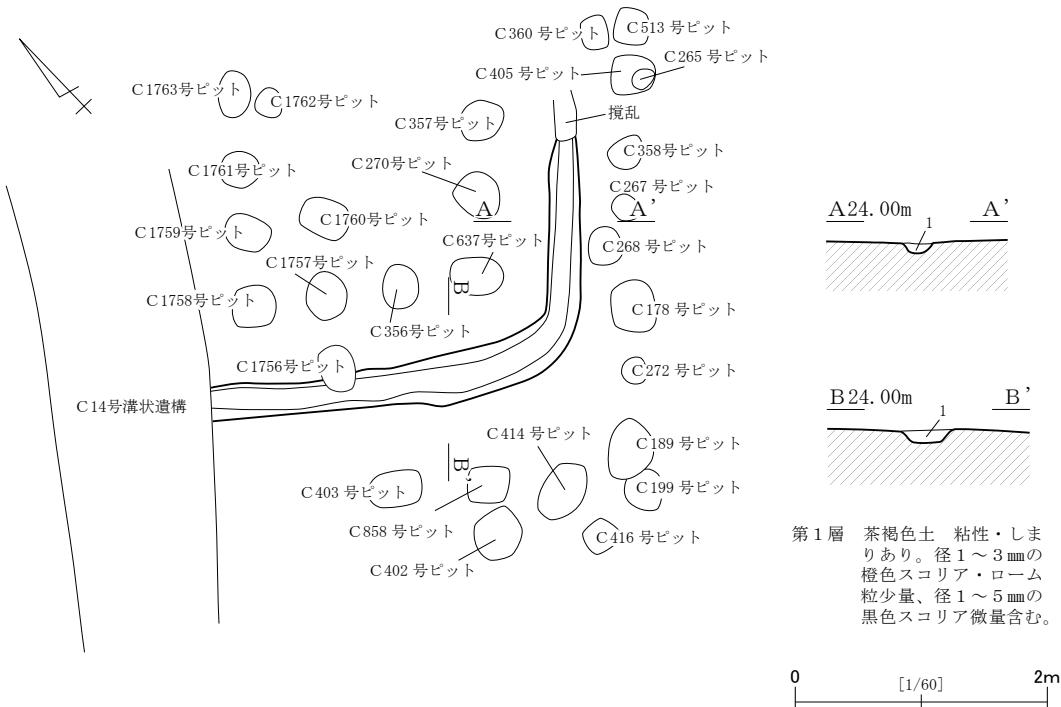
**C 14号溝状遺構（第486～490図、第110表、図版112－1・173－2・175）**

T～Z－8～11グリッドで検出された。確認面の標高は21.8～24.0mを測る。C 8・21・42号堅穴状遺構、C 10・12・14・15・21・30号溝状遺構、C 5号段切りを切っている。北側でC 7号地下式坑、C 31号土坑、C 1034・1119・1166・1167・1241・1242号ピットに、中程でC 1146号ピットに、南側でC 2086号ピット・C 9号井戸址、攪乱に切られている。延伸方向は調査区を横断するように北東方向から南西方向に延び、X 8グリッドとY 8グリッドの境付近で方向を南東方向へ変え調査区外まで延びている。平面形態はL字状を呈する。検出部分の長さは72.02m、幅は0.54～1.46mで、確認面からの深さは0.21～0.92mを測る。

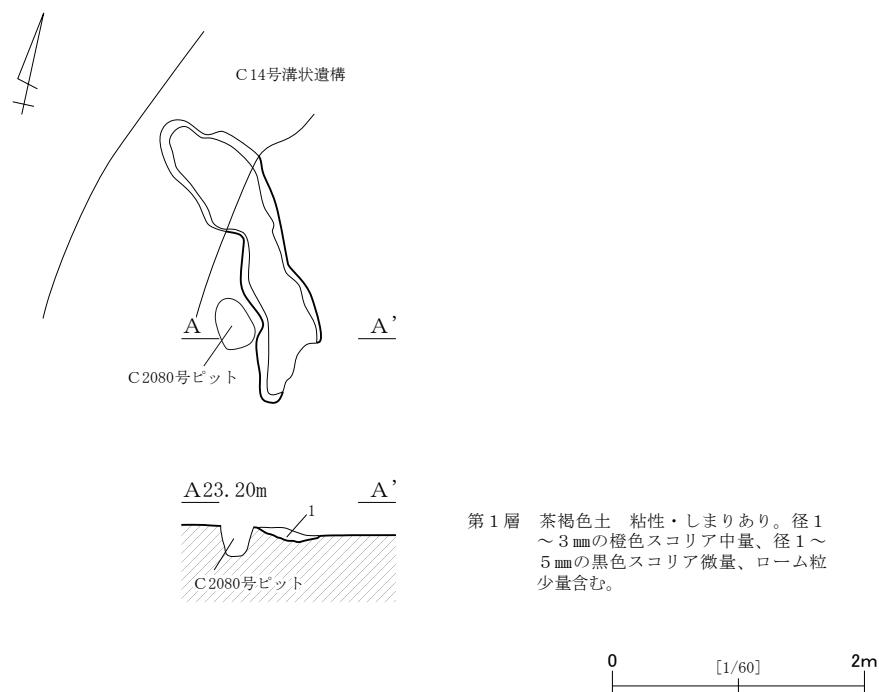
覆土は北東側、中央付近、南東側で違いがある。北東側のA-A'では暗黄褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には褐色スコリア・白色粒子を中量含む。第4層には茶褐色土のブロックを微量含む。第6層を明茶褐色土のブロックを少量含む。B-B'では暗黄褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土・暗黄褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には白色粒子を中量含む。第4層には茶褐色土のブロックを微量含む。第6・7層には明茶褐色土のブロックを少量含む。C-C'では暗黄褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土の11層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1～3層には白色粒子を含む。第1・4層には茶褐色土のブロックを少量含む。第1・5層にはロームブロックを小量含む。第9層には炭化物粒を微量含む。中央付近のD-D'では暗黄褐色土の10層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層にはロームブロックを少量含む。第3層には褐色土のブロック中量含む。第1・5・8・9層にはロームブロックを含む。南東側のF-F'では茶褐色土・明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土・褐色土・暗茶褐色の11層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。G-G'では茶褐色土・暗黄褐色土・暗茶褐色土の9層で構成され、

橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第4層には暗褐色土のブロックを少量含む。

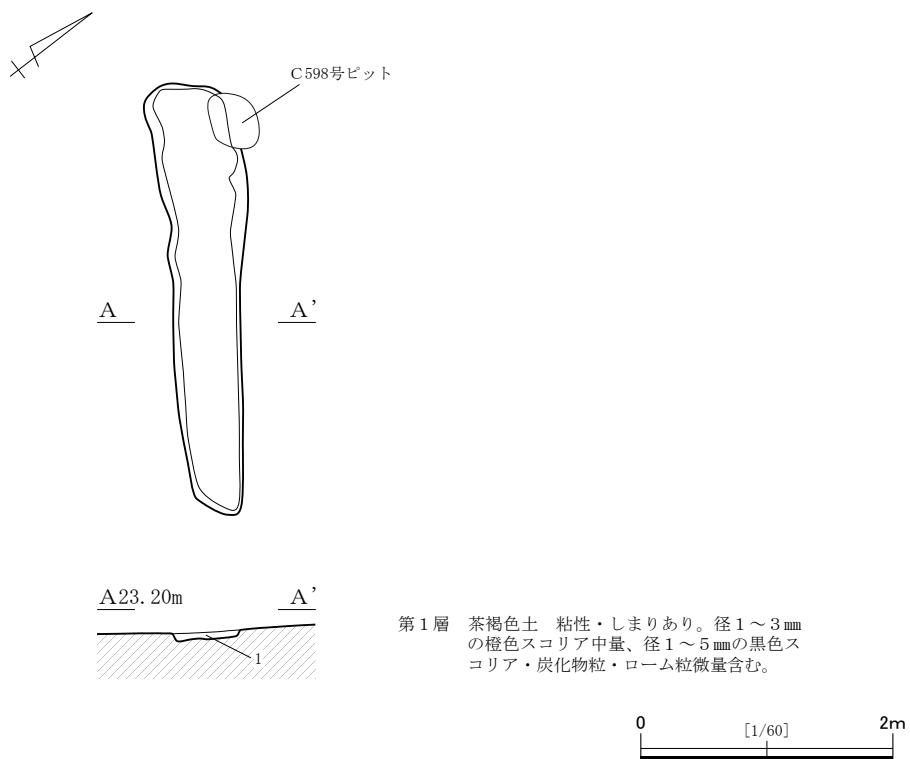
遺物は、常滑窯の陶器甕1点(29.7g)、かわらけ61点(520.3g)、鉄製の釘1点(4.4g)、椀型滓1点(42.6g)の計64点(597.0g)が出土している。図化したのは、以下の3点である。



第483図 8区・9区・調整池②区C11号溝状遺構 [1/60]



第484図 8区・9区・調整池②区C12号溝状遺構 [1/60]



第485図 8区・9区・調整池②区C13号溝状遺構 [1/60]

第490図1・2はかわらけである。1は口径が7.3cm、2は口径が6.2cmで共に中型の製品である。胎土は橙色、角閃石・白色針状物質・石英を含む。底部回転糸切り痕が確認できる。いずれも15世紀の製品と考えられる。

第490図3は鉄製の釘で、先端部は欠損している。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から15世紀と考えられる。

#### C 15号溝状遺構 (第491図)

X 8グリッドで検出された。確認面の標高は23.1~23.3mを測る。C 14号溝状遺構に切られている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは4.22m、幅は0.29~0.41mで、確認面からの深さは0.10~0.15mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

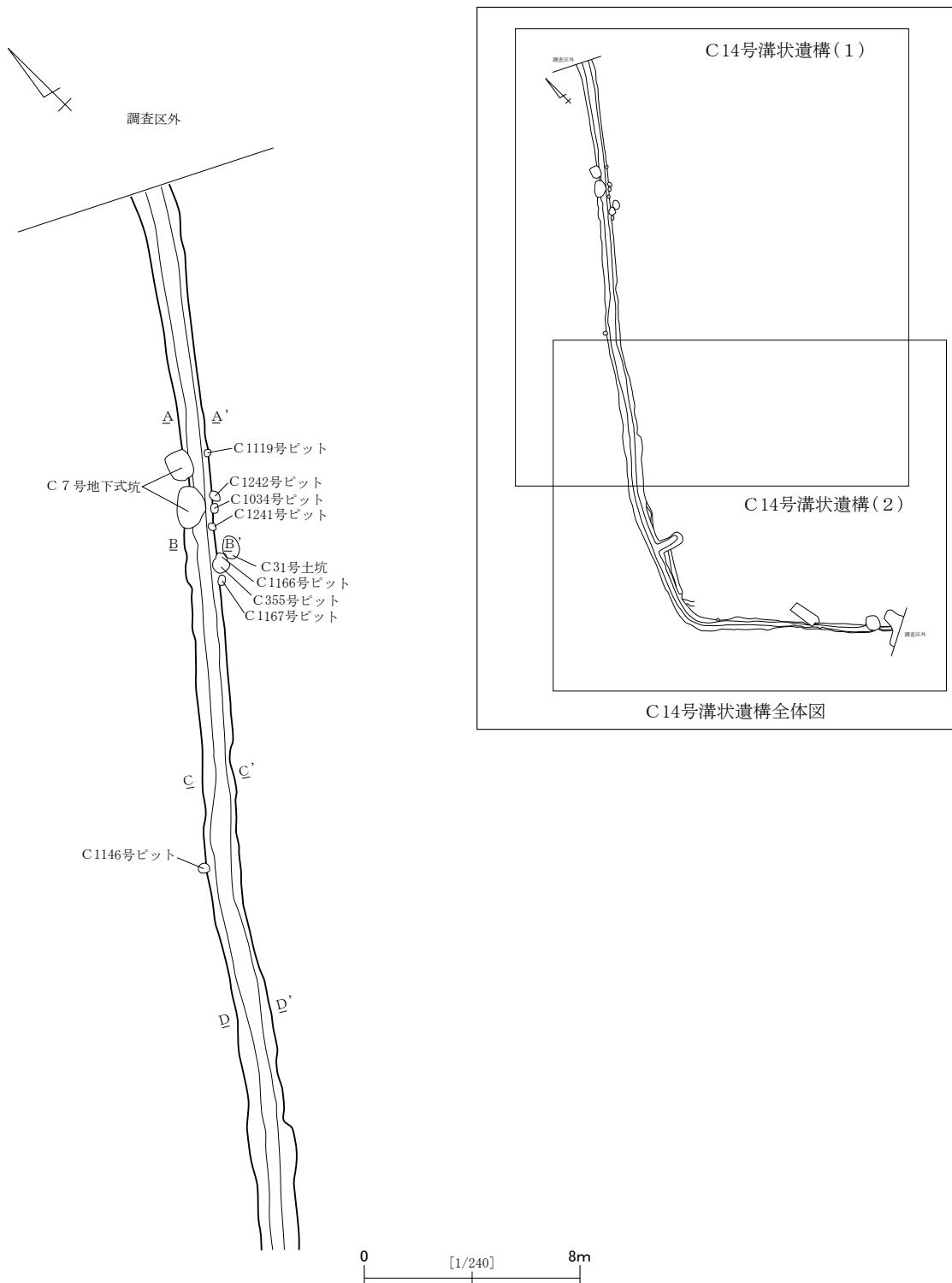
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

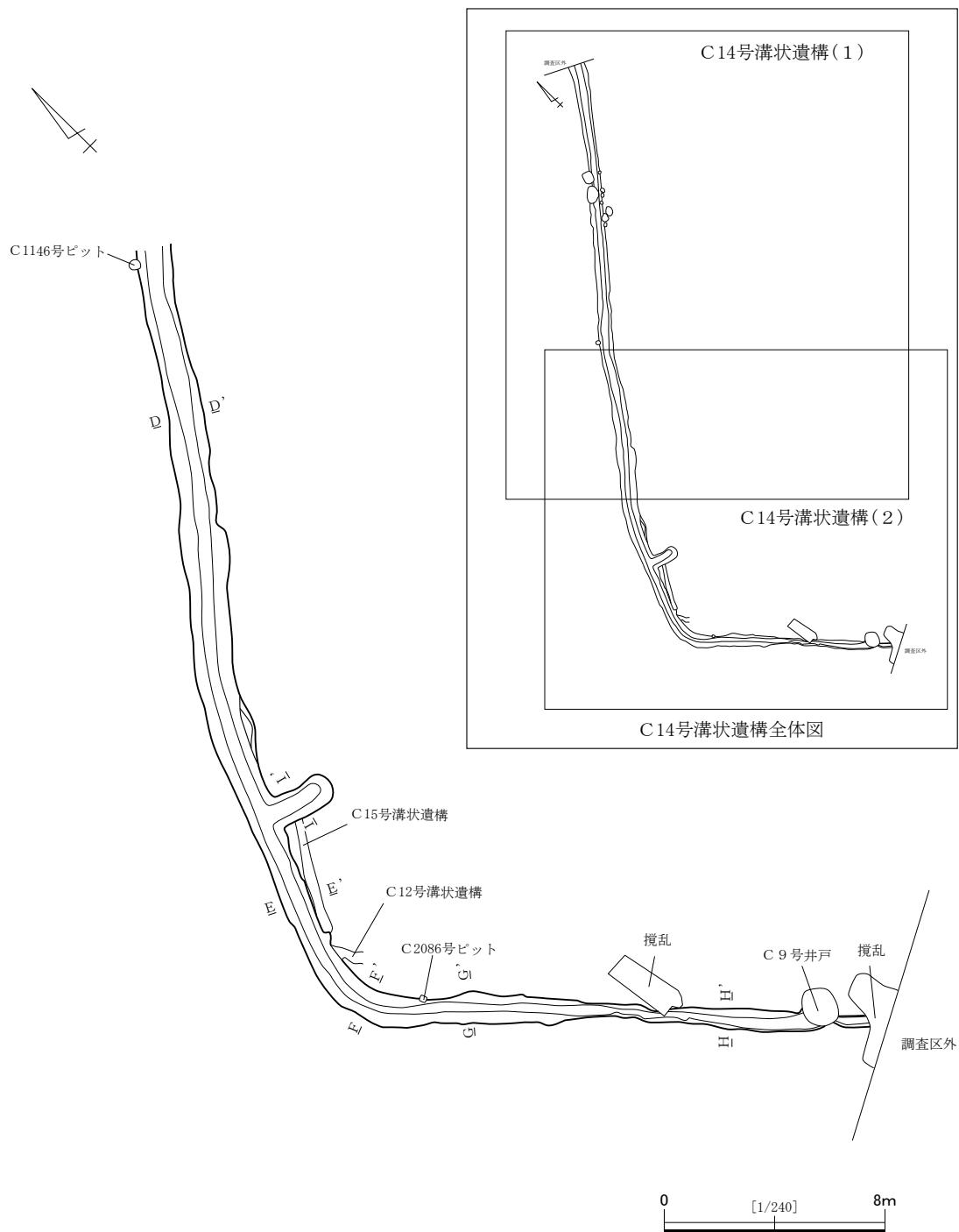
#### C 16号溝状遺構 (第492図、図版112-2)

V 11・W 11グリッドで検出された。確認面の標高は22.9~23.1mを測る。C 7号堅穴状遺構を切っている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは2.76m、幅は0.33~0.81mで、確認面からの深さは0.12~0.16mを測る。

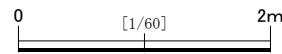
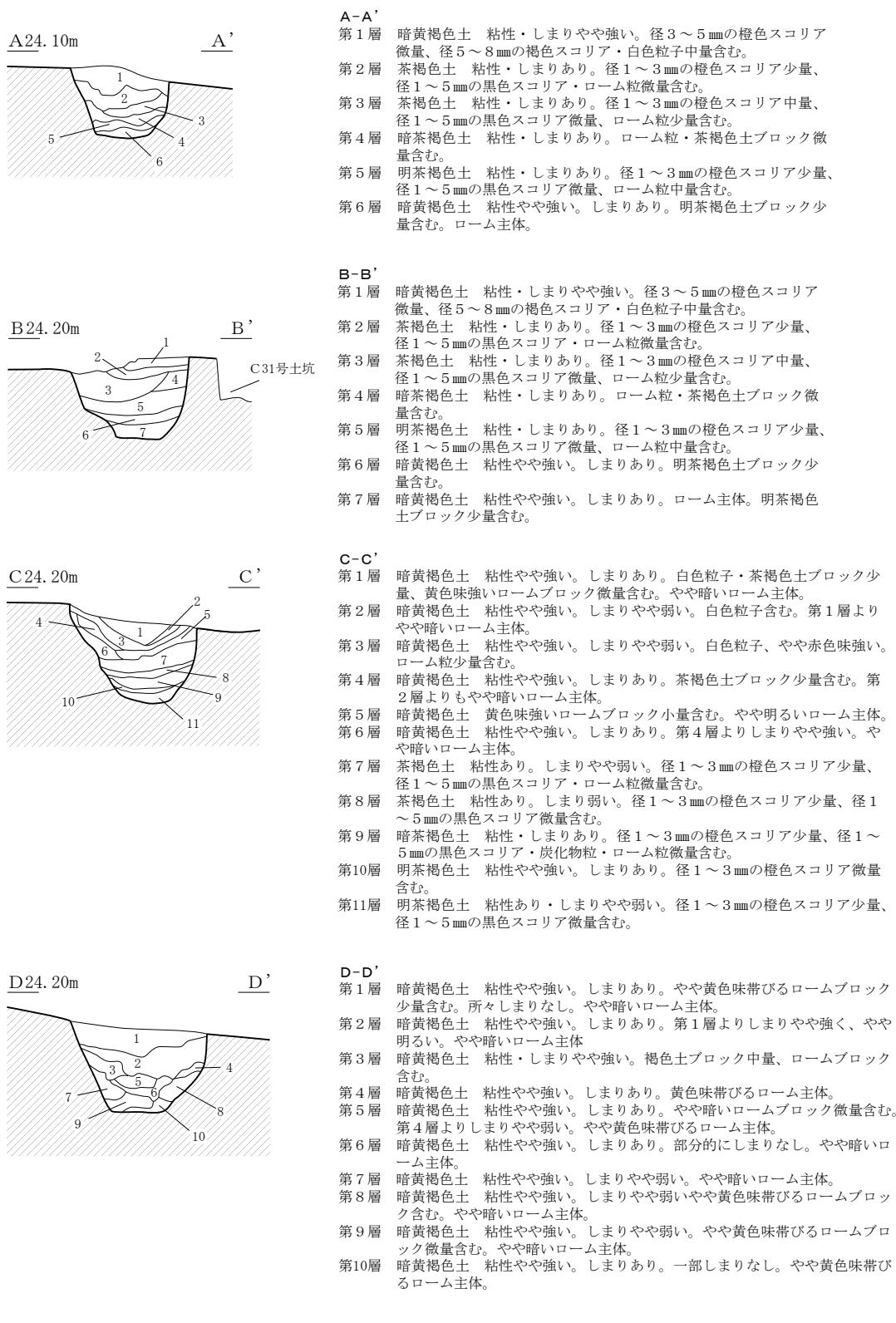
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。



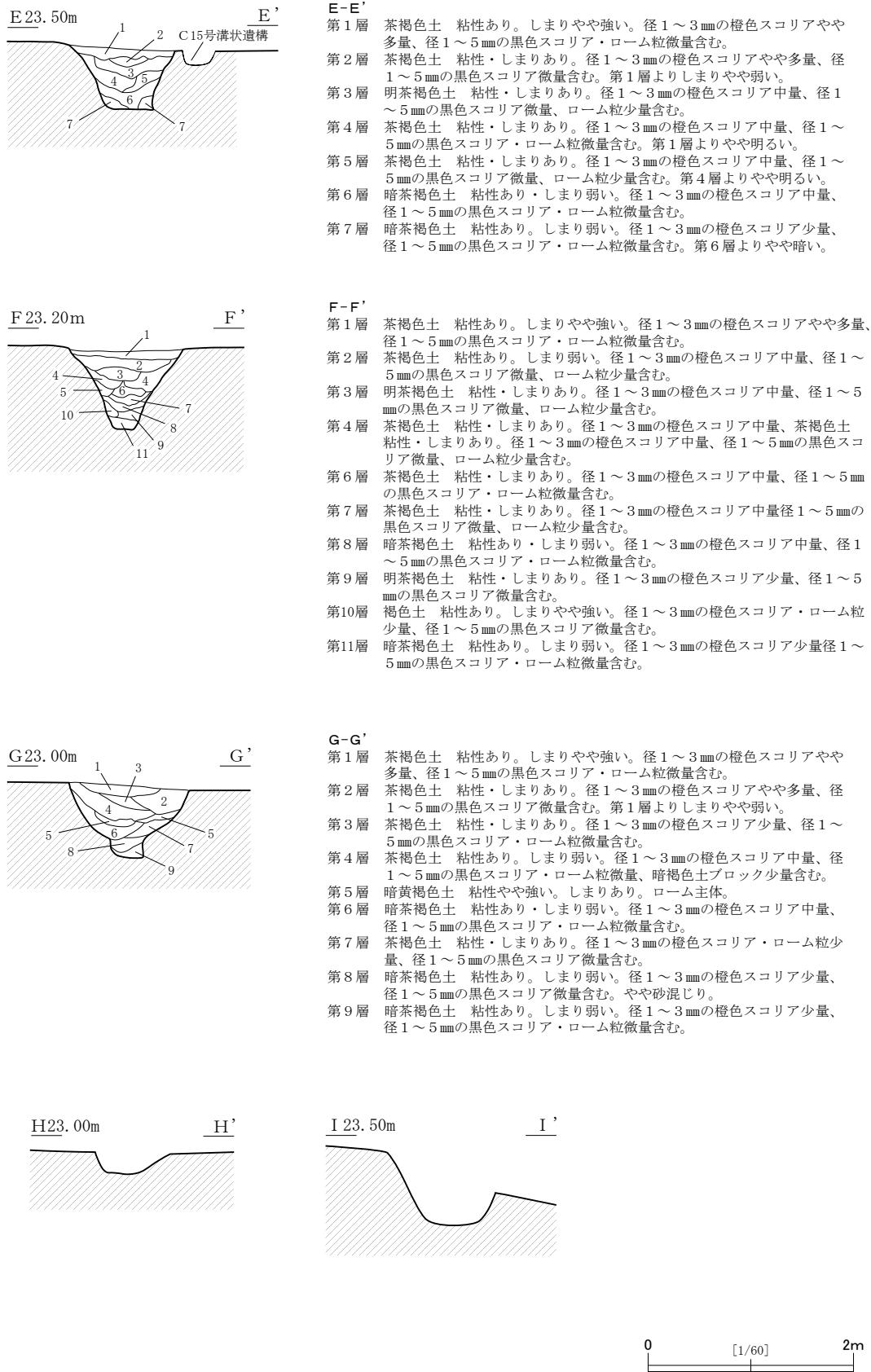
第486図 8区・9区・調整池②区C14号溝状遺構(1) [1/240]



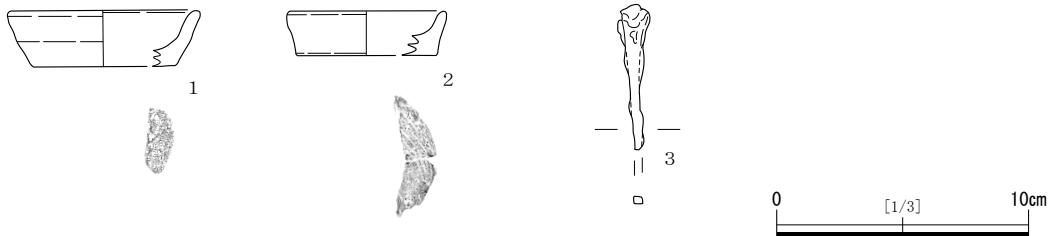
第487図 8区・9区・調整池②区C14号溝状遺構(2) [1/240]



第488図 8区・9区・調整池②区C14号溝状遺構(3) [1/60]



第489図 8区・9区・調整池②区C 14号溝状遺構(4) [1/60]



第490図 8区・9区・調整池②区C14号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第110表 8区・9区・調整池②区C14号溝状遺構出土遺物観察表 [第490図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[7.4]	[5.6]	2.2	7.6	口縁部～底部1/8	在地	15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・石英を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕
2	かわらけ	土器	[6.2]	[5.5]	1.8	10.7	口縁部～底部1/3	在地	15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
3	釘	鉄	5.8	0.4	0.3	4.4	残存度 先端部欠損			

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 17号溝状遺構（第493・494図、第111表、図版113－1・175）

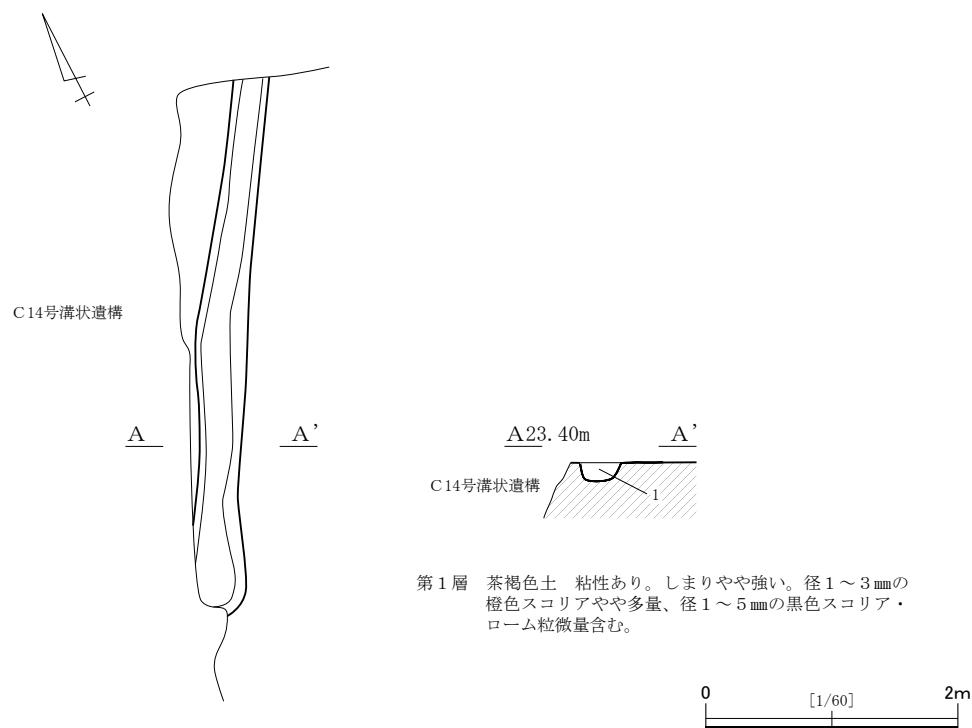
X 8・9、Y 8・9グリッドで検出された。確認面の標高は22.3～22.6mを測る。C 39・42号堅穴状遺構を切っている。延伸方向は北西方向から南東方向に延び、X-9グリットとY-9グリッドの境付近で南西方向に向きを変える。全体が弧状を呈する。検出部分の長さは9.65m、幅は0.63～1.13mで、確認面からの深さは0.16～0.57mを測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

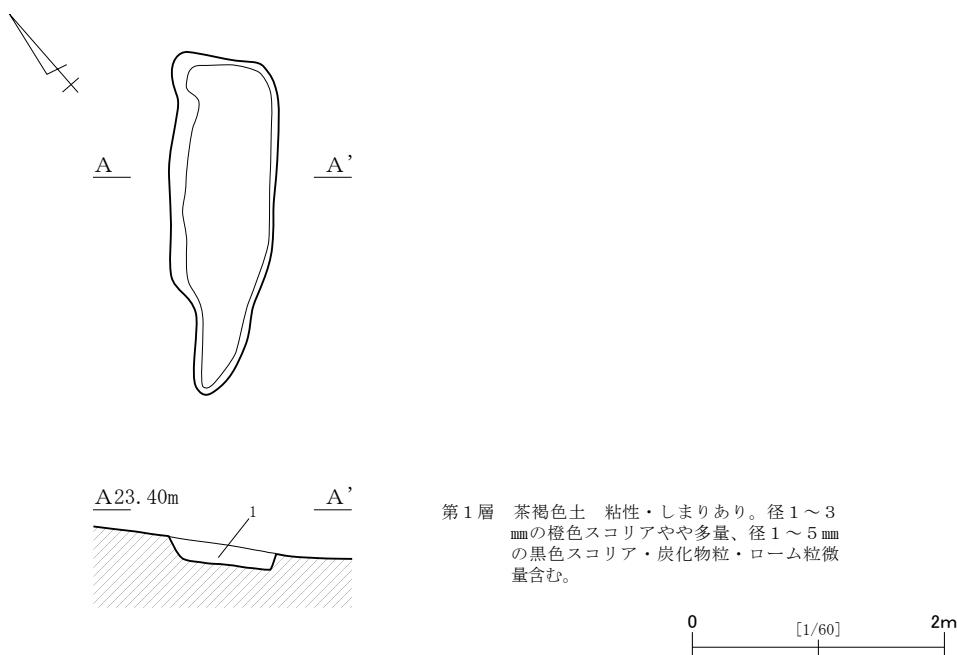
遺物は、かわらけ9点(144.0g)が出土している。図化したのは、以下の3点である。

第494図1～3はかわらけである。1は口径が7.8cm、2は口径が7.9cm、3は口径が8.2cmで共に中型の製品である。胎土は橙色、角閃石・石英・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕、スノコ痕が確認できる。2の口唇部には煤が付着しており、灯明皿として使用されたものと考えられる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第491図 8区・9区・調整池②区C15号溝状遺構 [1/60]



第492図 8区・9区・調整池②区C16号溝状遺構 [1/60]

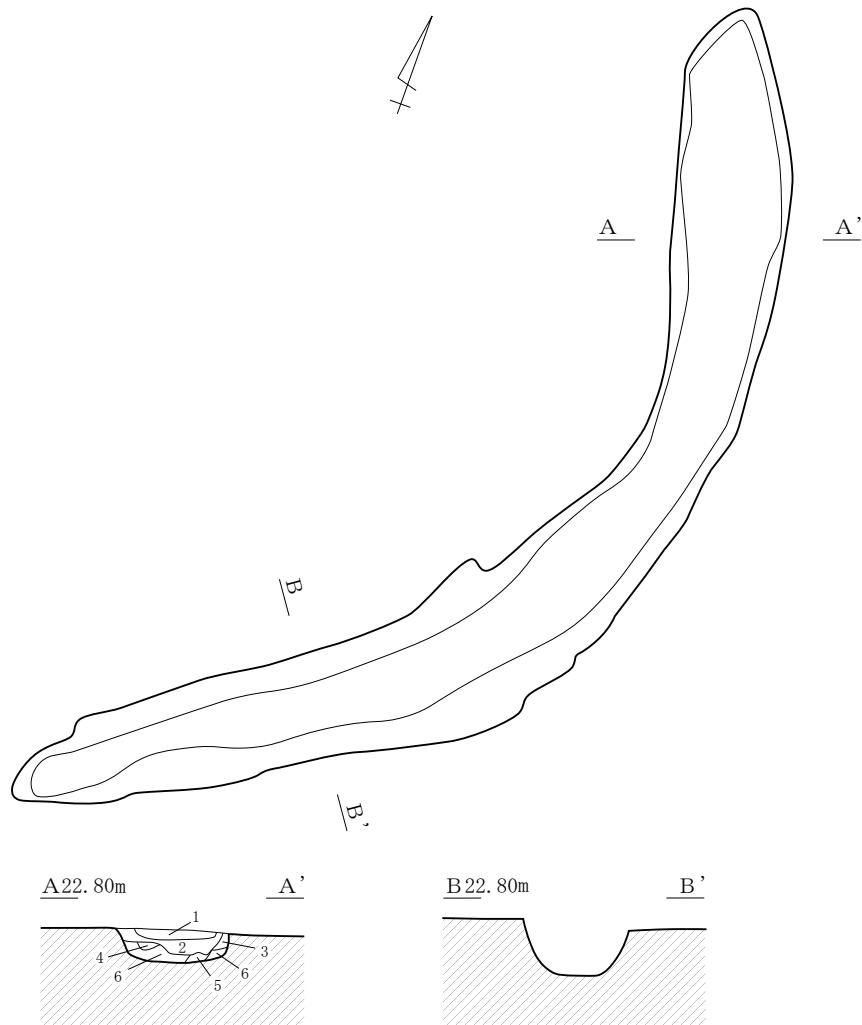
## C 20号溝状遺構(第495図、図版113-2・114-1)

V 13・W 13グリッドで検出された。確認面の標高は22.5～22.8mを測る。C 24号堅穴状遺構、C 2号硬化面を切っている。C 988号ピットと攪乱に切られている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは8.28m、幅は0.51～0.854mで、確認面からの深さは0.22～0.39mを測る。

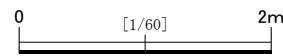
覆土は暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗褐色土のブロック、第2層には褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ1点(21.3g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

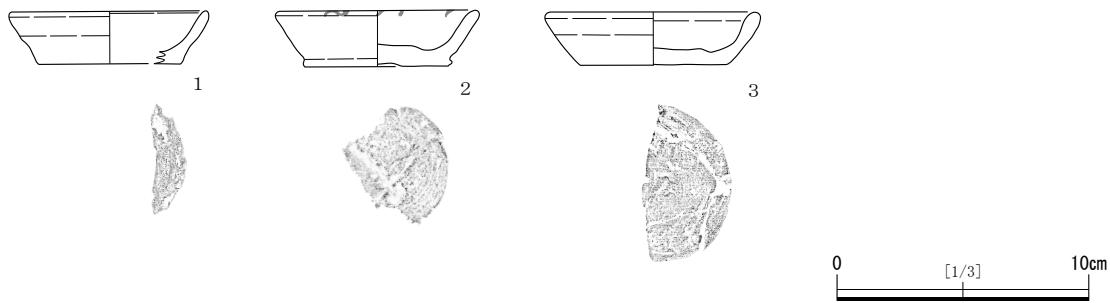
遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



- 第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。  
 第2層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第3層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。  
 第4層 明茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
 第5層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。  
 第6層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。



第493図 8区・9区・調整池②区C 17号溝状遺構 [1/60]



第494図 8区・9区・調整池②区C17号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第111表 8区・9区・調整池②区C17号溝状遺構出土遺物観察表 [第494図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[7.8]	[5.7]	2.1	12.9	口縁部 1/4・ 体部1/3・ 底部1/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕
2	かわらけ	土器	[7.9]	[5.8]	2.2	30.4	口縁部～ 底部1/3	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英を含む 焼成 良好 備考 口唇部内外面スス付着、底部回転糸切り痕、スノコ痕
3	かわらけ	土器	[8.2]	[5.9]	2.1	28.5	口縁部～ 底部1/2弱	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 淡橙色、密、角閃石・石英含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕やや不明瞭

## C 21号溝状遺構(第496・497図、第112表、図版14-1・175)

V 13グリッドで検出された。確認面の標高は22.7～22.8を測る。C 24号堅穴状遺構・C 1号溝状遺構を切っている。C 20号溝状遺構に切られている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは3.22m、幅は0.44～0.64mで、確認面からの深さは0.13～0.21mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。暗褐色土のブロックを微量含む。

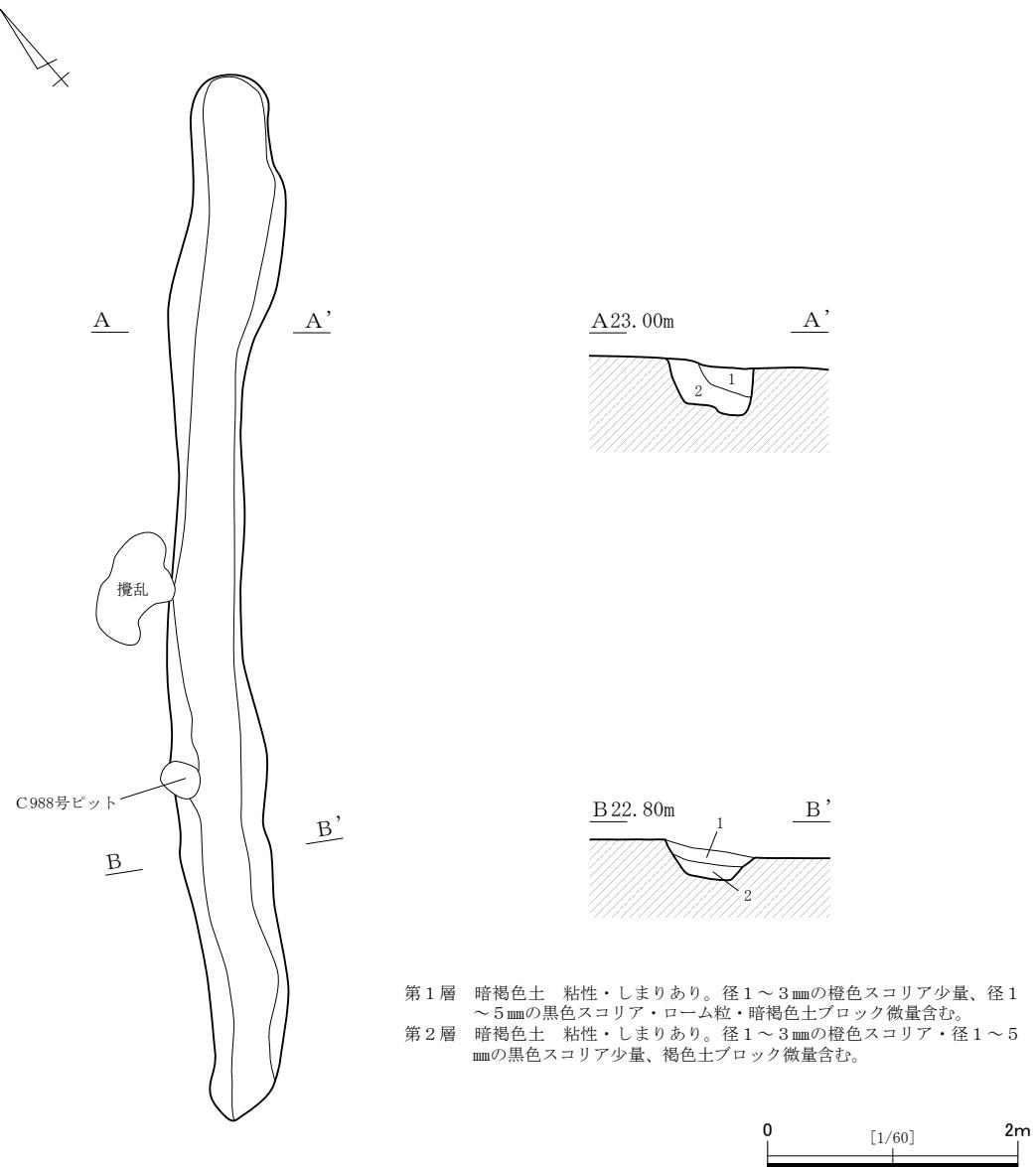
遺物は、常滑窯の陶器甕1点(55.1g)、かわらけ11点(118.1g)、石製品1点(1.0g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第497図1はかわらけである。口径が5.2cmで小型の製品である。胎土は橙色、角閃石・白色針状物質・細かい砂粒を含む。底部に回転糸切り痕・スノコ痕が確認できる。口唇部内外面に煤が付着しており灯明皿として使用されていたものと考えられる。15世紀後半～16世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から15世紀後半以降と考えられる。

## C 22号溝状遺構(第498図、図版114-2)

V 10・11、W 10・11グリッドで検出された。確認面の標高は22.8～23.1mを測る。北東側をC 17号堅穴状遺構に、南東側をC 12号堅穴状遺構、C 48号土坑、C 501・885・914・956・981・982号ピットに切られており、一部のみの確認のため詳細は不明である。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の残存長2.65m、幅は0.90～1.02mで、確認面からの深さは0.23～0.36mを測る。



第495図 8区・9区・調整池②区C 20号溝状遺構 [1/60]

覆土は暗茶褐色土と明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

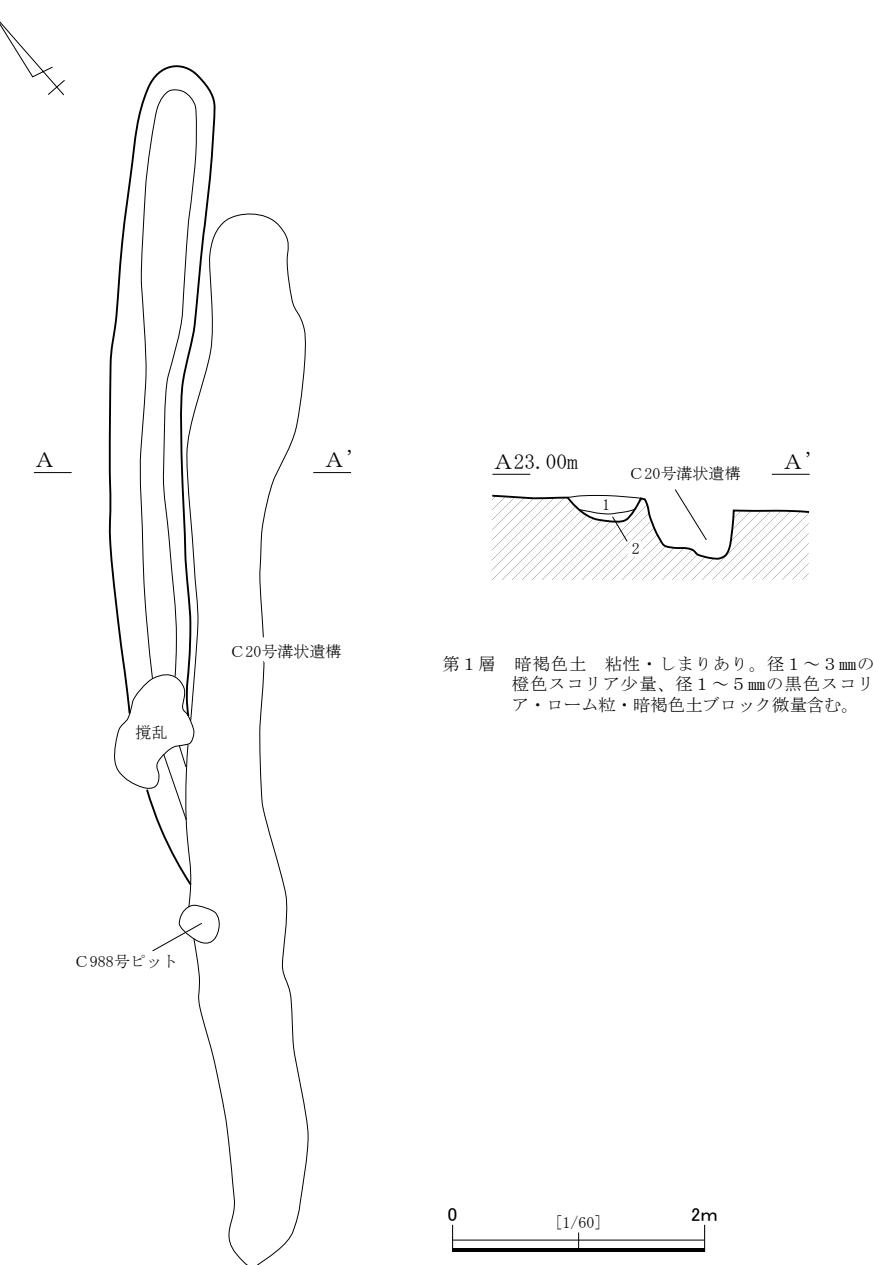
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

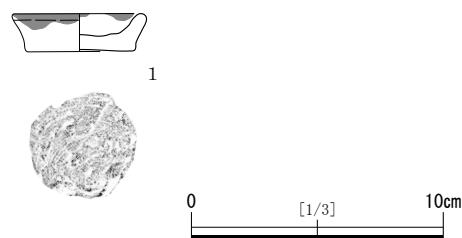
#### C 23号溝状遺構 (第499図、図版115-1)

V 11グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.4mを測る。C 102号土坑を切っている。中央付近をC 1087号ピットに、南側をC 462・865・866号ピットに切られている。両端ともに上面が削平され、掘り込みが消えている。延伸方向は北西方向延び約1.7m程の所で南西側に方向を変え、全体がくの字状を呈する。検出部分の長さは4.24m、幅は0.26～0.56mで、確認面からの深さは0.04～0.10mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。



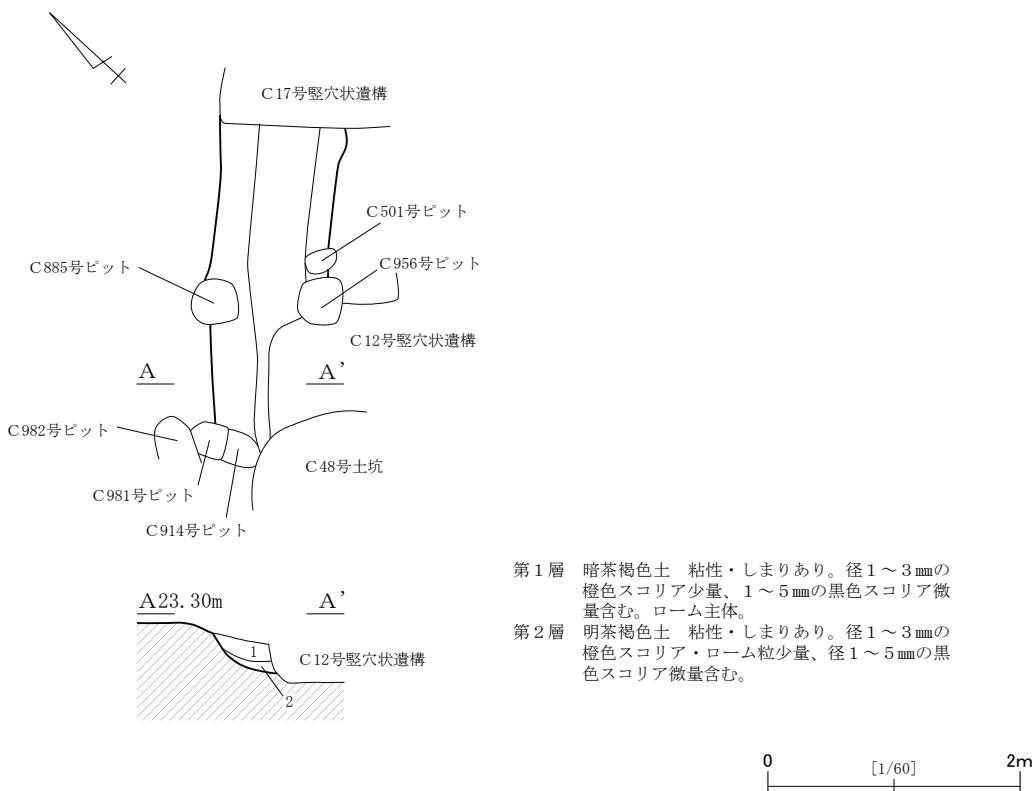
第496図 8区・9区・調整池②区C21号溝状遺構 [1/60]



第497図 8区・9区・調整池②区C21号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第112表 8区・9区・調整池②区C21号溝状遺構出土遺物観察表 [第497図]

No.	器種	種別	(○=現存値 □=復元値)			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	かわらけ	土器	5.2	4.4	1.5	28.9	完形	在地	15世紀後半～16世紀	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・細かい砂粒を含む。焼成 良好 備考 灯明皿として使用、口唇部内外面スス付着、底部回転糸切り痕、スノコ痕



第498図 8区・9区・調整池②区C22号溝状遺構 [1/60]

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

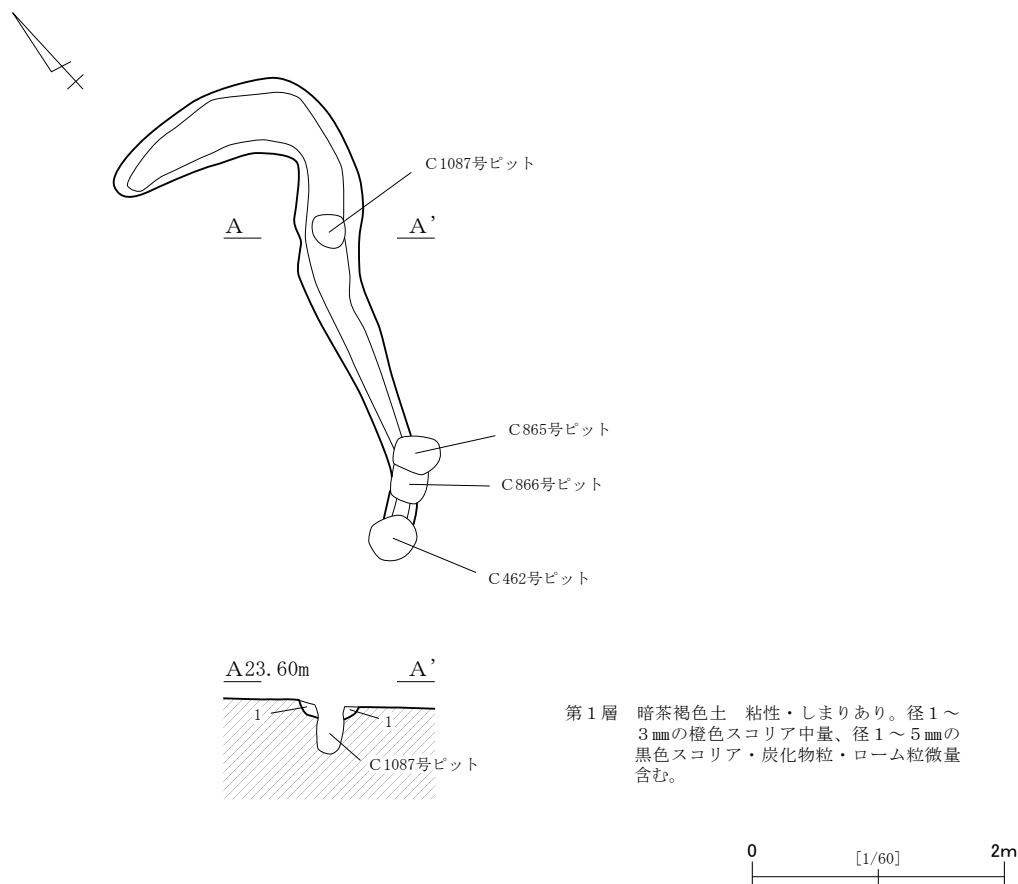
#### C 24号溝状遺構 (第500図、図版112-1)

V 9・10、W 9・10グリッドで検出された。確認面の標高は23.4～23.8mを測る。中程をC 1123・1340・1345・1396号ピットに、南西側をC 1207・1325・1326・1333・1556・1565・1634号ピットに切られている。全体的に上面が削平されており、両端は掘り込みが消えている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは16.88m、幅は0.20～0.42mで、確認面からの深さは0.05～0.08mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第499図 8区・9区・調整池②区C 23号溝状遺構 [1/60]

#### C 25号溝状遺構 (第501図、図版112-1)

U 10・11、V 10・11グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.6mを測る。北東側をC 14号竪穴状遺構、C 1115～1117・1119号ピットに、中程をC 355・1034・1166・1167・1241・1242・1254・1429号ピットに切られている。一部がC 14号溝状遺構に切られて中央付近の一部の掘り込みが消えている。また上面が削平されており、両端は掘り込みが消えている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは23.2m、幅は0.20～0.25mで、確認面からの深さは0.06～0.12mを測る。

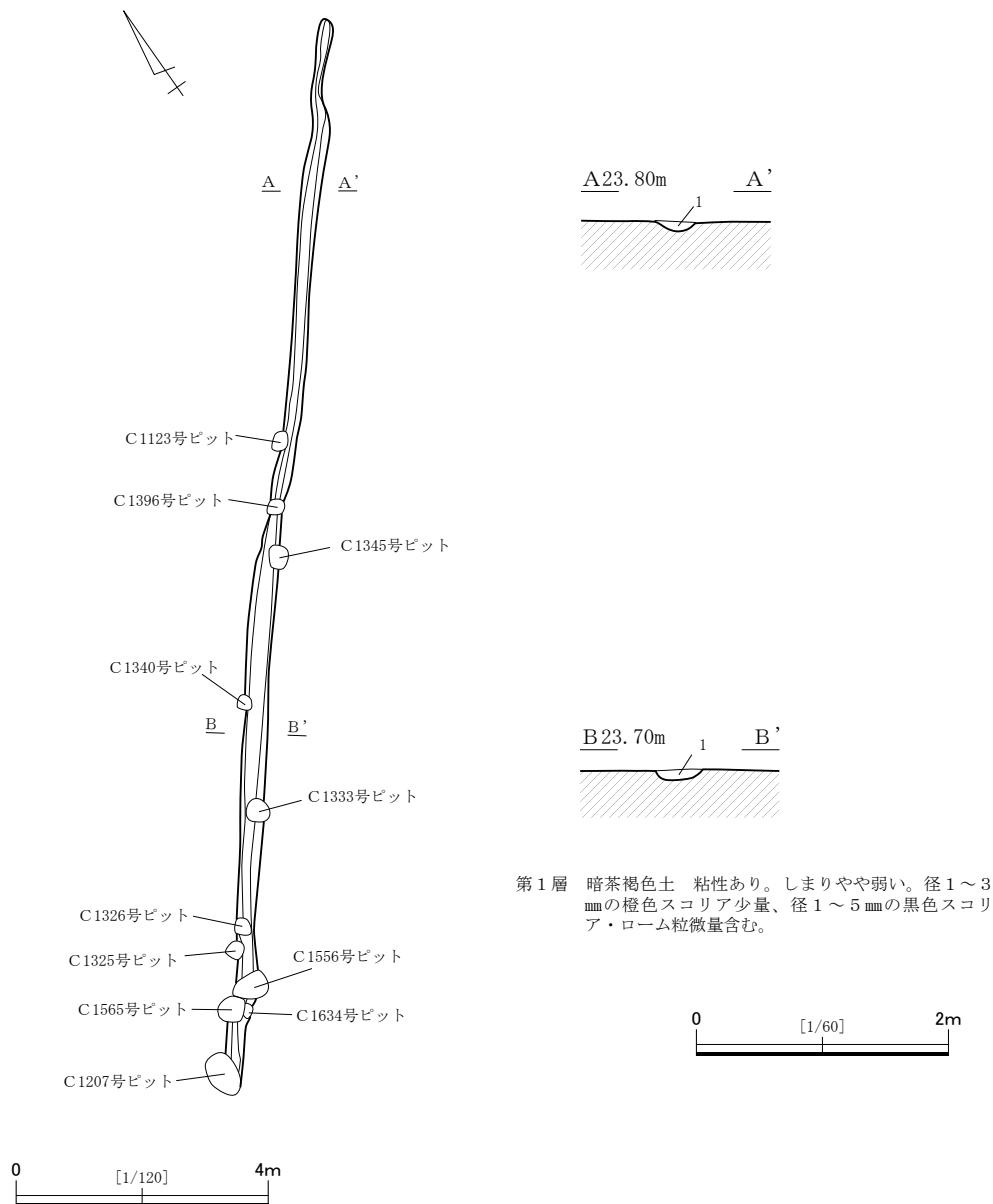
覆土は暗茶褐色土の単層で、ローム粒を含む。炭化物粒と乳褐色粘土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 26号溝状遺構 (第502図、図版112-1)

V 9・10グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.5mを測る。北東側でC 1200・1201号ピットに、中程でC 1391・1395・1431・1432・1693・2168号ピットに、南西側でC 1388・1390号ピットに切られている。全体的に上面が削平されており、両端は掘り込みが消えている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の長さは8.23m、幅は0.12～0.22mで、確認面からの深さは0.05～0.12mを測る。



第500図 8区・9区・調整池②区C 24号溝状遺構 [1/120・1/60]

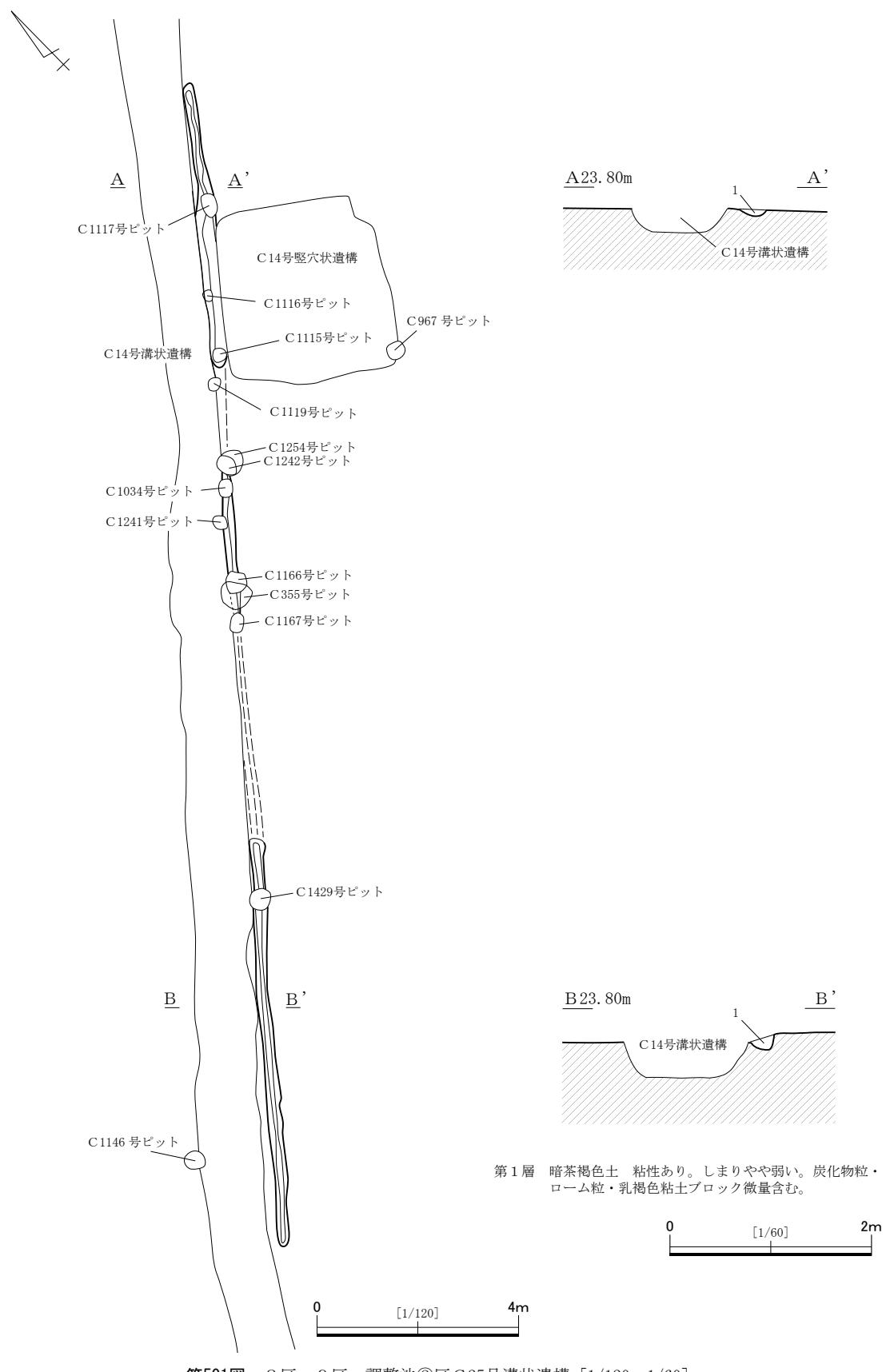
覆土は暗茶褐色土の単層で、炭化物粒と乳褐色粘土のブロックを微量含む。

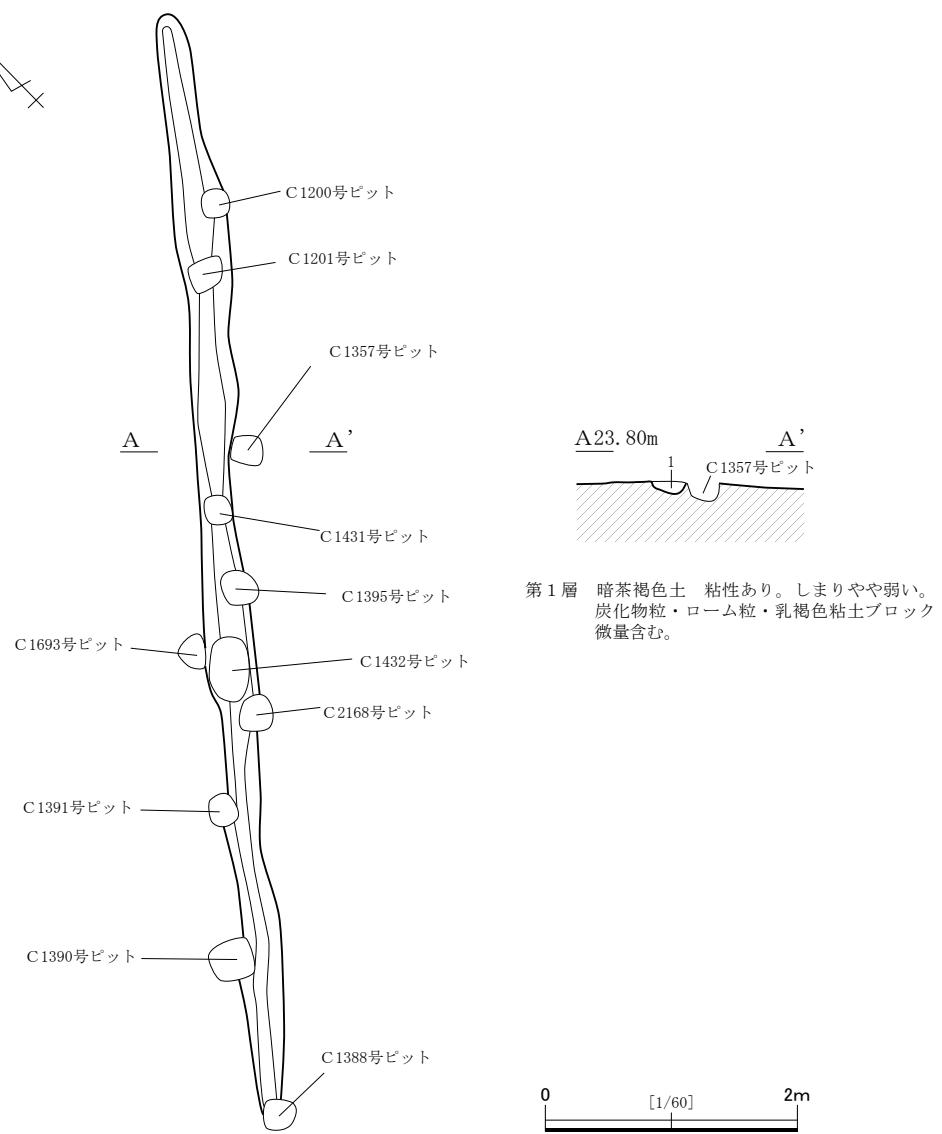
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

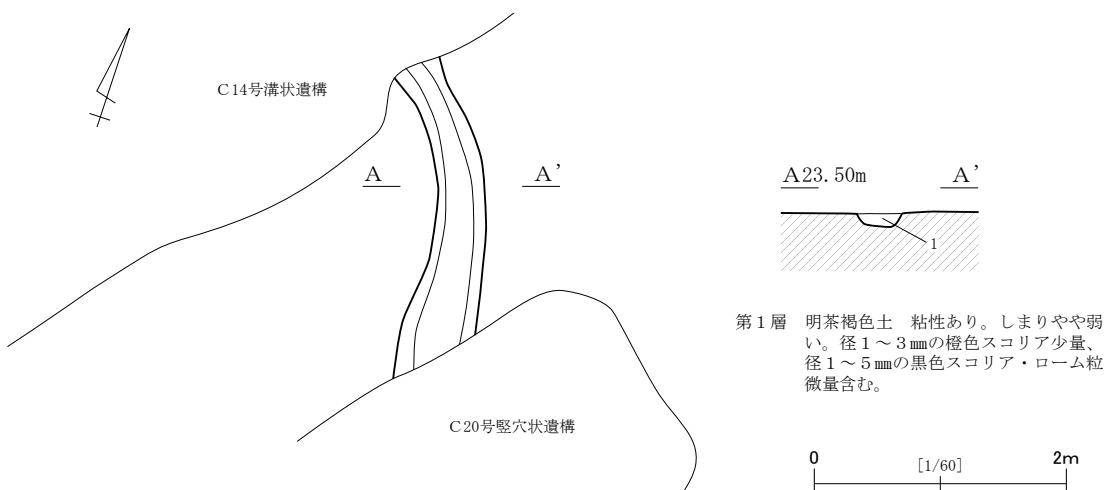
#### C 27号溝状遺構(第503図)

W 9グリッドで検出された。確認面の標高は23.0～23.3mを測る。北西側をC 14号溝状遺構に南東側を、C 20号竪穴状遺構に切られており、一部分の確認のため詳細は不明である。延伸方向は北西方向から南西方向で、検出部分の長さは2.38m、幅は0.29～0.58mで、確認面からの深さは0.04～0.11mを測る。





第502図 8区・9区・調整池②区C26号溝状遺構 [1/60]



第503図 8区・9区・調整池②区C27号溝状遺構 [1/60]

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 28号溝状遺構(第504図)

V 12・W 12グリッドで検出された。確認面の標高は22.5～22.6mを測る。東側をC 16号堅穴状遺構に切られている。延伸方向は東方向から西方向で、検出部分の残存長は3.06m、幅は0.63～1.01mで、確認面からの深さは0.27～0.34mを測る。

覆土は明茶褐色土と暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

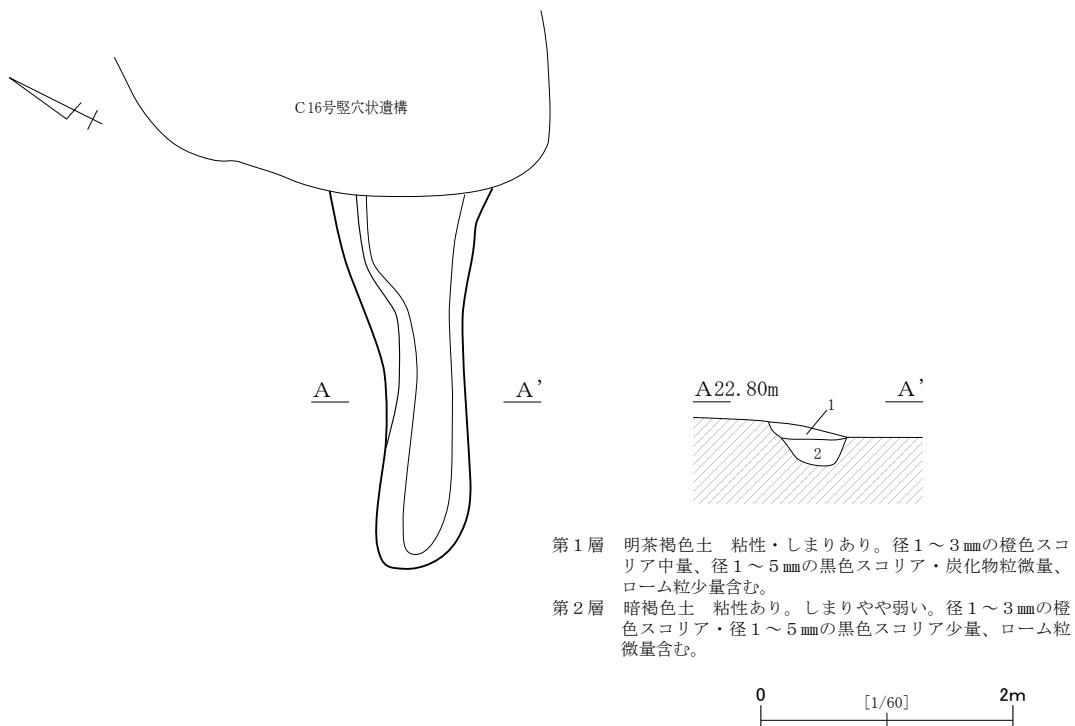
#### C 30号溝状遺構(第505図)

V 9・W 9グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.4mを測る。北西側をC 14号溝状遺構に切られている。延伸方向は北西方向から南東方向で、検出部分の残存長は1.94m、幅は0.21～0.28mで、確認面からの深さは0.04～0.09mを測る。

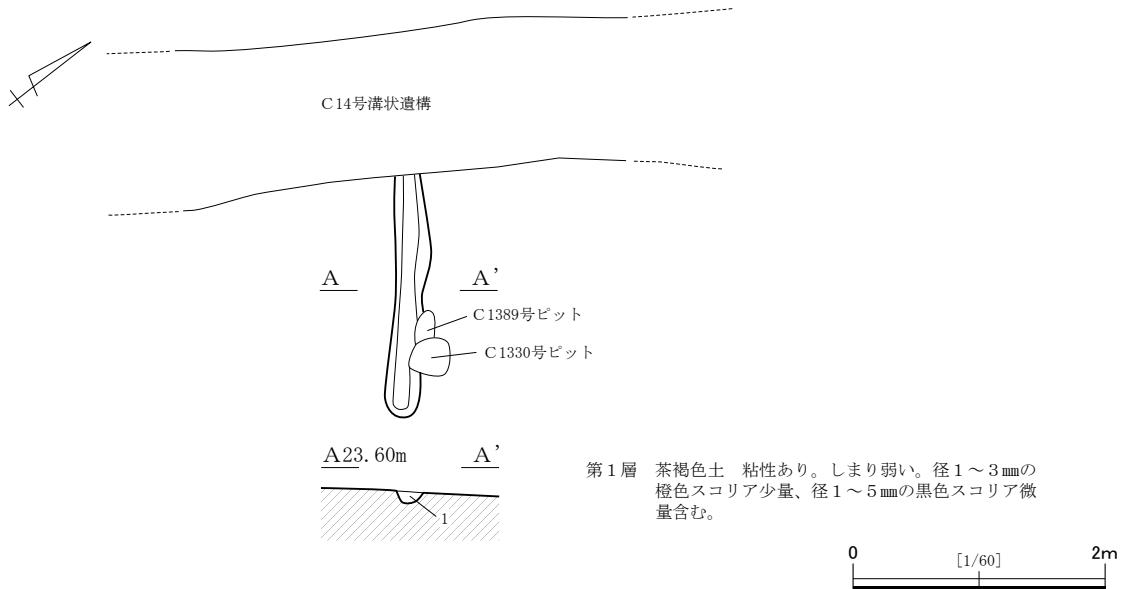
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第504図 8区・9区・調整池②区C 28号溝状遺構 [1/60]



第505図 8区・9区・調整池②区C 30号溝状遺構 [1/60]

**C 31号溝状遺構 (第506図)**

X 11・12グリッドで検出された。確認面の標高は21.1～21.2mを測る。C 1号段切りに切られている。南西側は削平され、掘り込みが消えている。延伸方向は北東方向から南西方向で、検出部分の残存長は4.93m、幅は0.92～1.14mで、確認面からの深さは0.09～0.17mを測る。

覆土は明褐色土と暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 32号溝状遺構 (第507図)**

Z 9グリッドで検出された。確認面の標高は21.3～21.5mを測る。北西側をC 1954号ピットに、南東側を攪乱に切られている。延伸方向は北西方向から南東方向で、検出部分の残存長は3.09m、幅は0.46～0.99mで、確認面からの深さは0.08～0.25mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

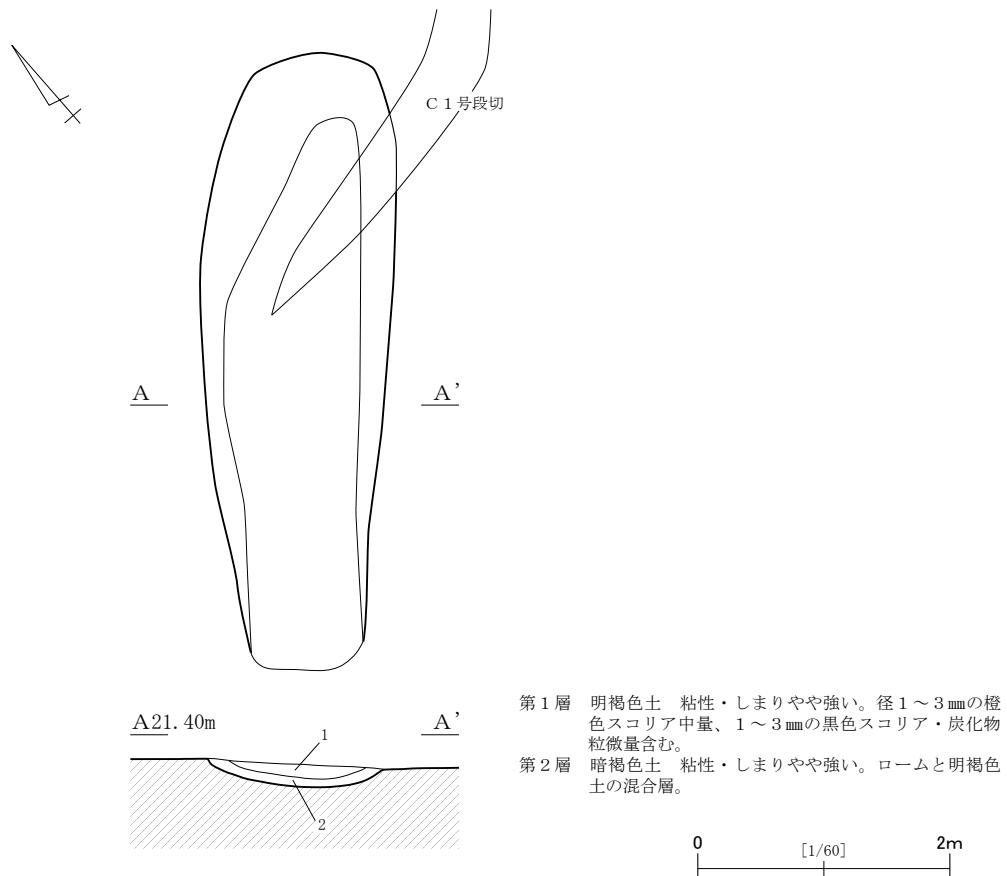
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

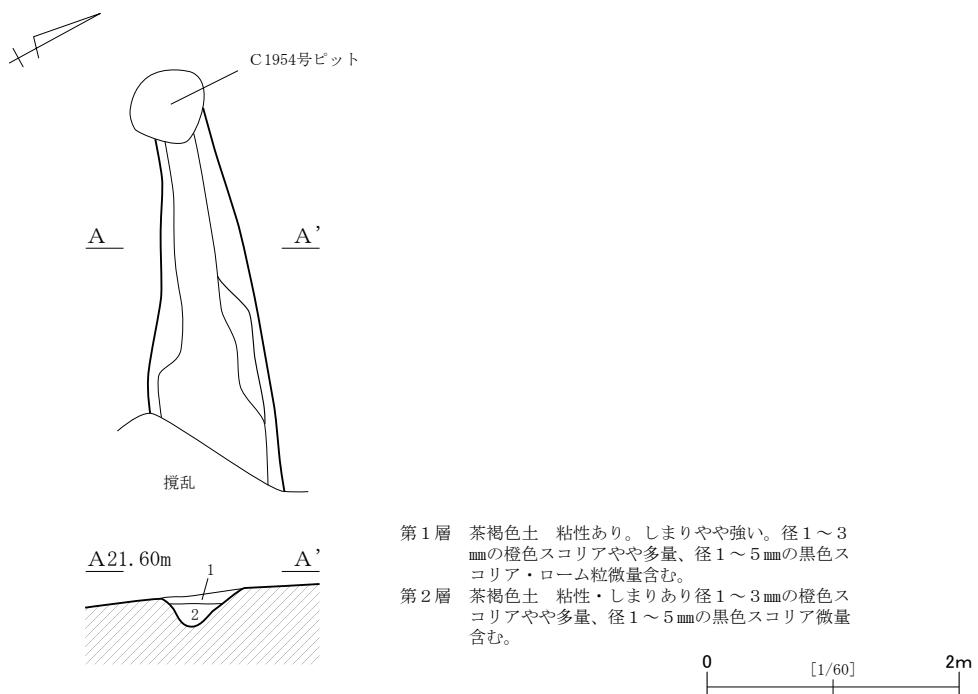
**C 33号溝状遺構 (第508～510図、第113表、図版115－2・175)**

T 15・U 15グリッドで検出された。確認面の標高は23.3～23.7mを測る。中央あたりをC 4・6・7・153号土坑に、北側が攪乱に切られている。北側と南側の両端は調査区外に延びている。延伸方向は北方向から南方向で、検出部分の残存長は9.22m、幅は2.21～3.58mで、確認面からの深さは0.46～0.64mを測る。

覆土は北側と中央付近で違いがある。北側のA-A'では、暗灰褐色土・暗灰黄褐色土・茶褐色土の



第506図 8区・9区・調整池②区C 31号溝状遺構 [1/60]



第507図 8区・9区・調整池②区C 32号溝状遺構 [1/60]

3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層には径1～2cmの泥岩塊を含む。中央付近のB-B'では暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層共にロームブロックを含む。、

遺物は、常滑窯の陶器甕2点(113.2g)、かわらけ12点(131.9g)、産地不明陶器1点(3.4g)、鉄滓2点(148.6g)の計17点(397.1g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第510図1はかわらけである。口径が7.3cmで中型に分類できる。胎土は橙色、角閃石・白色針状物質・砂粒・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕・スノコ痕が確認できる。口縁部内外面に煤が付着しており、灯明皿として使用されたと考えられる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

第510図2は椀型滓である。全体に発砲している。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 34号溝状遺構(第511・512図、第114表、図版116-1・173-1)

T 14・15、U 14・15グリッドで検出された。確認面の標高は23.2～23.6mを測る。C 4・5溝状遺構とC 12号土坑を切っている。北側をC 1号竪穴状遺構に、東側をC 33号溝状遺構に切られている。北側と南側の両端は調査区外に延びている。延伸方向は、北東方向から南西方向で、検出部分の残存長は7.99m、幅は1.41～2.11mで、確認面からの深さは0.49～0.85mを測る。

覆土は北側と中央付近で違いがある。北側のA-A'では暗黄灰色土・黄灰色土・暗灰褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・を含む。第1・2層は拳大～半人頭大の泥岩の混じった泥岩崩土で、第3層には泥岩のブロックを含む。中央付近のB-B'では暗灰褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第2・3層はローム主体層である。溝の中央あたりに、幅1.46m、奥行き0.29～0.36m、高さ0.17～0.26mの段差が確認出来る。

遺物は、舶載磁器1点(4.0g)、常滑窯の陶器甕2点(202.3g)、渥美窯の陶器甕1点(54.4g)、かわらけ1点(2.7g)の計5点(263.4g)が出土している。図化したのは、以下の2点である。

第1・2は研磨陶片である。1は常滑窯の甕を転用、側面の4面を使用している。2は渥美窯の甕のを転用し、側面の2面を使用している。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土した遺物から14世紀後半以降と考えられる。

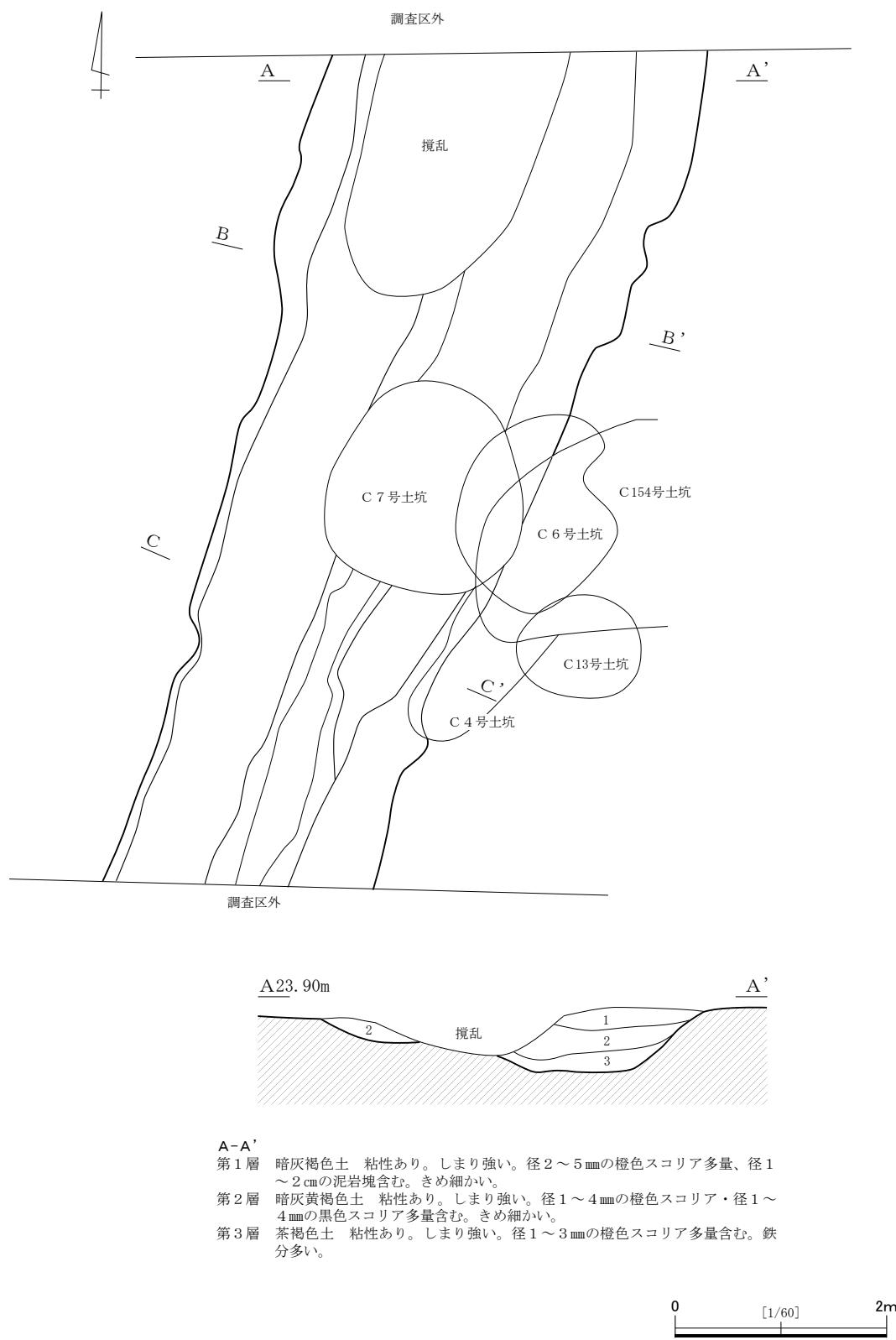
#### (4) 耕作址

##### C 1号耕作址(第513図、図版116-2)

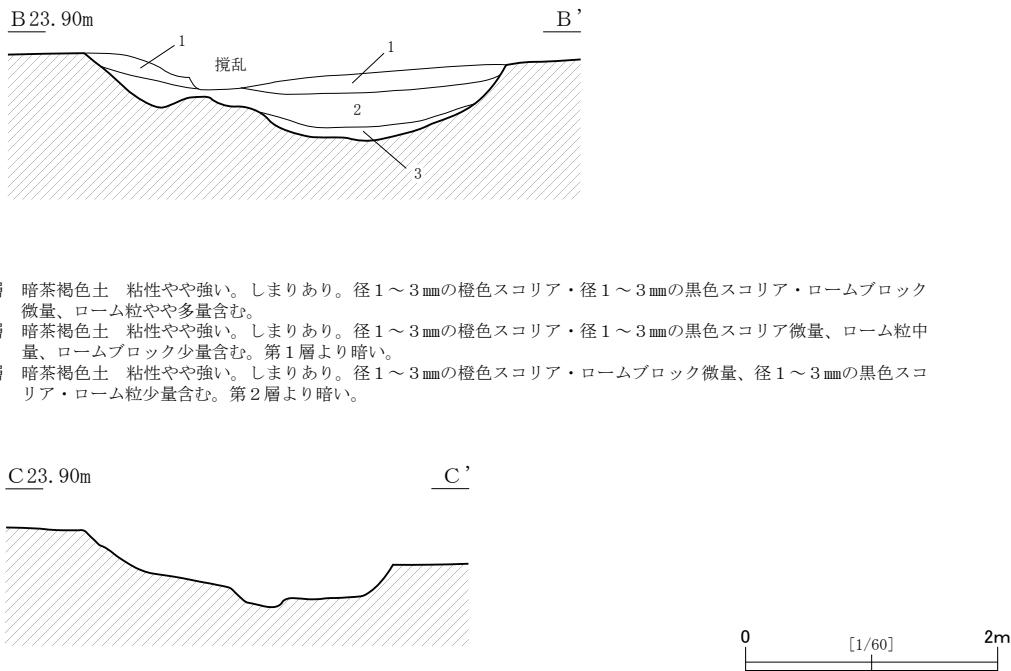
W 11・12グリッドにまたがり検出された。確認面の標高は22.4～22.5m前後を測る。北西方向から南東方向約2.25m、北東方向から南西方向に約2.24mの範囲に展開している。長さ1.56～2.29m、幅0.24～0.54m、深さ0.09～0.19mを測る5本の畝が確認されている。覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

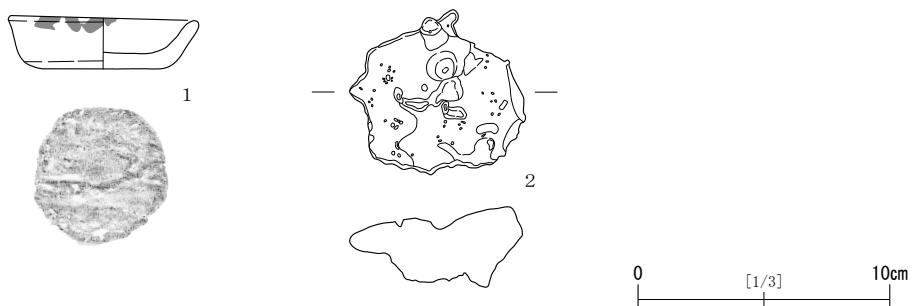
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第508図 8区・9区・調整池②区C33号溝状遺構(1) [1/60]



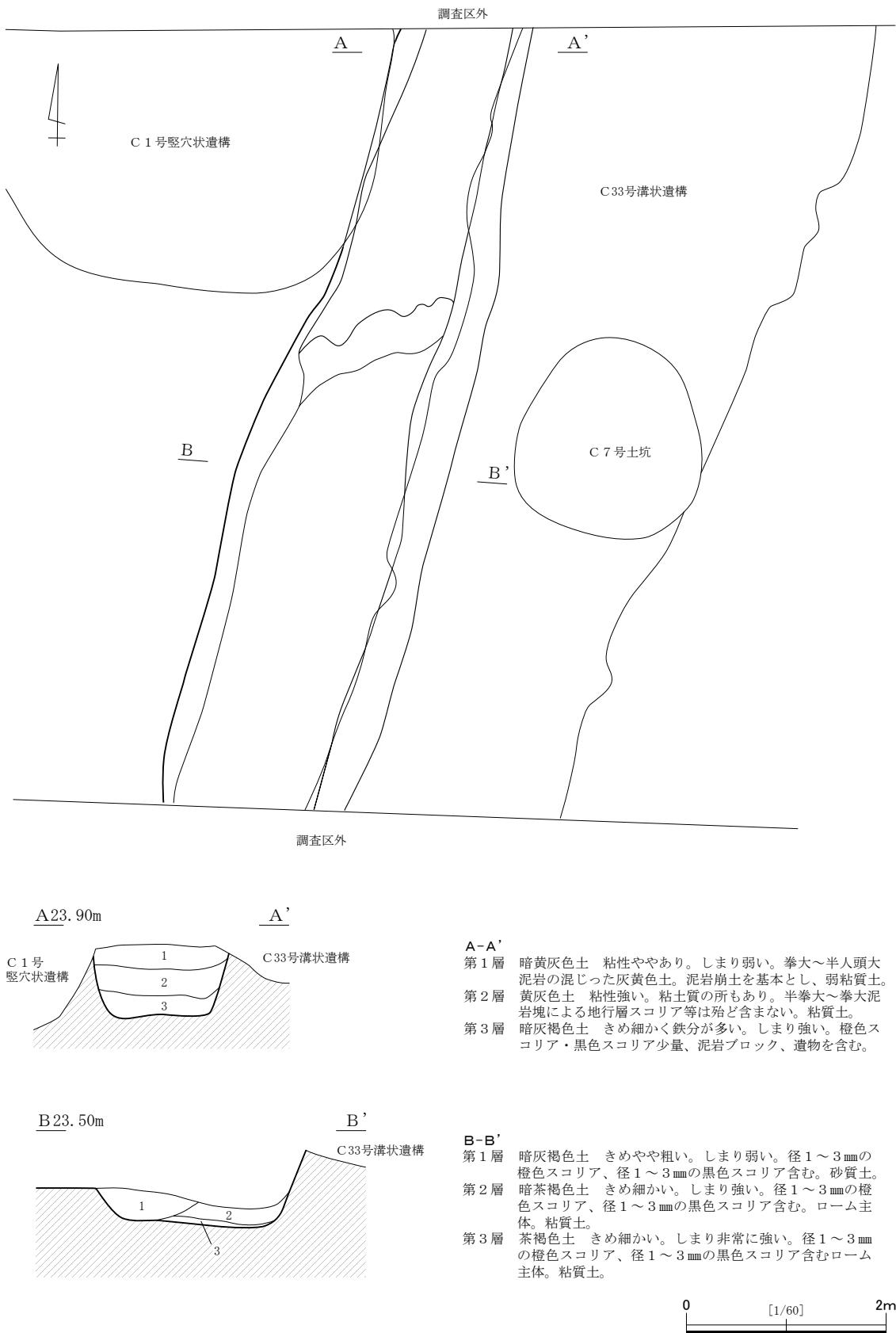
第509図 8区・9区・調整池②区C33号溝状遺構(2) [1/60]



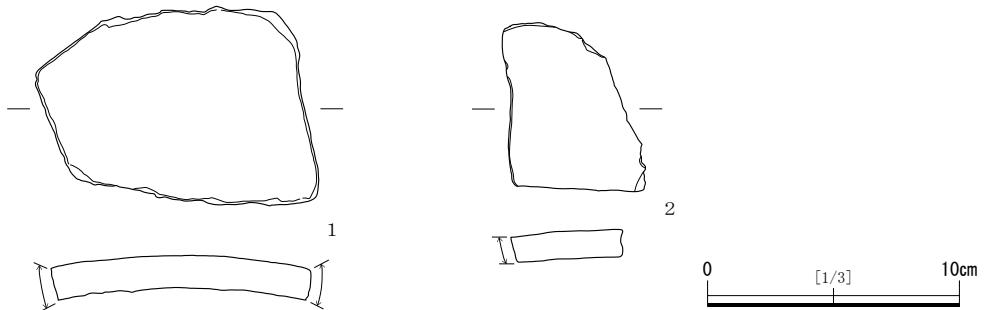
第510図 8区・9区・調整池②区C33号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第113表 8区・9区・調整池②区C33号溝状遺構出土遺物観察表 [第510図]

No.	器種	種別	(○=現存値 □=復元値)			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	7.3	5.3	2.1	49.3	ほぼ完形	在地	14世紀後半～15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、口縁部内外面スス付着、底部回転糸切り痕、スノコ痕
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
2	椀型滓	鉄	6.5	6.8	3.2	134.6	残存率	完形	備考	全体に発泡



第511図 8区・9区・調整池②区C 34号溝状遺構) [1/60]



第512図 8区・9区・調整池②区C34号溝状遺構出土遺物 [1/3]

第114表 8区・9区・調整池②区C34号溝状遺構出土遺物観察表 [第512図]

No.	器種	種別	○=現存値 □=復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	研磨陶片	陶器	11.3	7.8	1.3	162.1	体部破片	常滑	中世	胎土 灰色、密、砂粒・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 常滑窯の体部を転用、側面の4面使用
2	研磨陶片	陶器	6.7	5.7	1.1	54.4	体部破片	渥美	中世	胎土 灰色、密、細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 常滑窯の体部を転用、側面の2面使用

## (5) 井戸址

## C 1号井戸址(第514図、図版117-1)

T 16グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。プランは円形を呈する。検出された規模は長径0.93m、短径0.89m、調査深度1.94mを測る。

覆土は暗黄褐色土と黒褐色土の2層で構成され、黒色スコリアを含む。第1層はシルト質の黄灰色粘土を基本とし、径5mm～拳大の黒色土塊を多量に含む。第2層は鉄分を多量に含む井戸溜り部の堆積土である。井戸の底部は、長径0.73m、短径0.61m、高さ0.12mの段差が確認され、底面には長径0.24m、短径0.16m、高さ0.16mと長径0.25m、短径0.18m、高さ0.14mのピット状の2基の掘り込みが確認できる。

遺物は、常滑窯の陶器の甕1点(20.5g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

## C 2号井戸址(第515・516図、第115表、図版117-2・175)

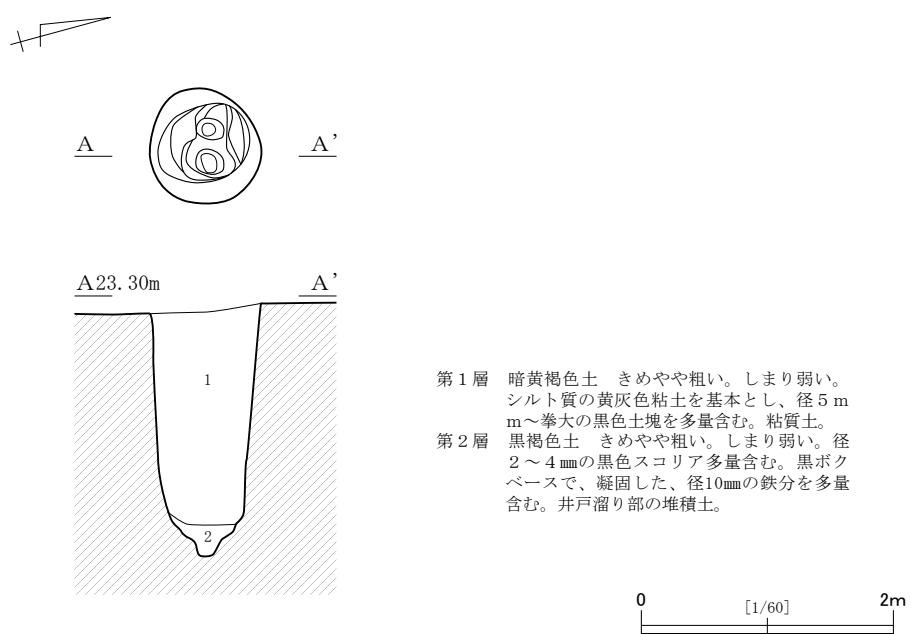
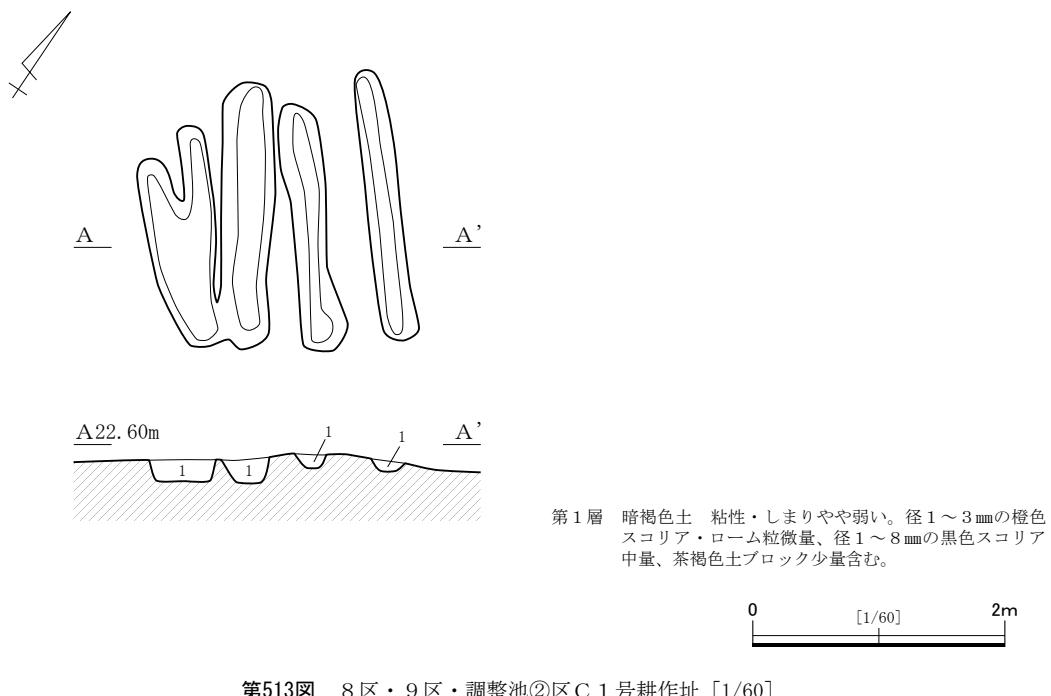
T 16グリッドで検出された。確認面は標高23.1～23.3mを測る。プランは円形を呈する。検出された規模は長径1.06m、短径1.04m、調査深度1.26mを測る。調査区端に所存し安全を確保するため、底面までの掘削は断念した。

覆土は暗黄褐色土の単層で、シルト質の黄灰色粘土を基本とし、径5mm～拳大の黒色土塊を多量に含む。

遺物は、図化したかわらけ1点(104.9g)が出土している。

第516図1はかわらけである。口径が8.9cmで中型に分類される。胎土は橙色、角閃石・白色針状物質・砂粒・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕が確認できる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



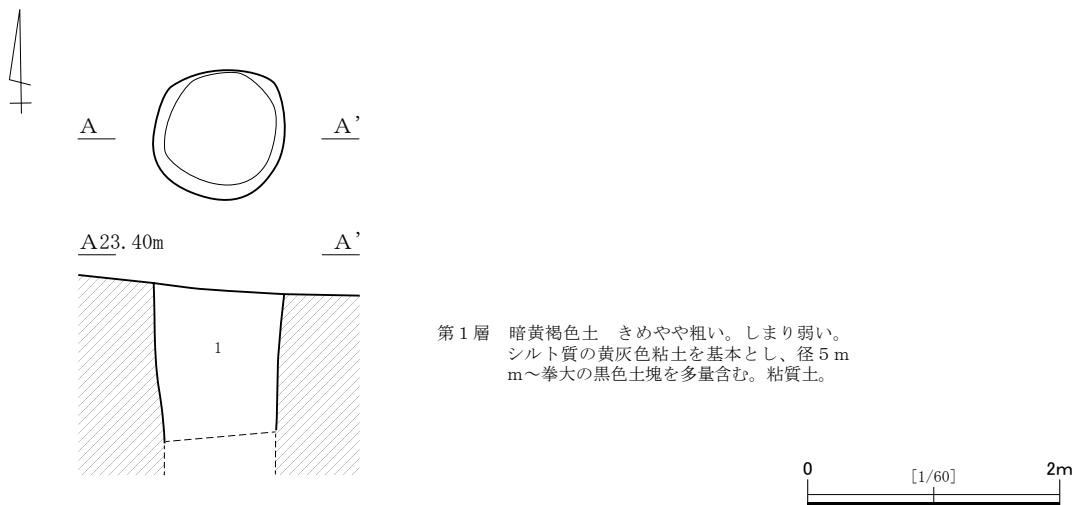
## C 3号井戸址(第517図、図版118-1)

U 13・14グリッドで検出された。確認面は標高23.3～23.8mを測る。プランは円形を呈する。検出された規模は長径1.21m、短径1.18m、調査深度1.87mを測る。調査区端に所存し安全を確保するため、底面までの掘削は断念した。

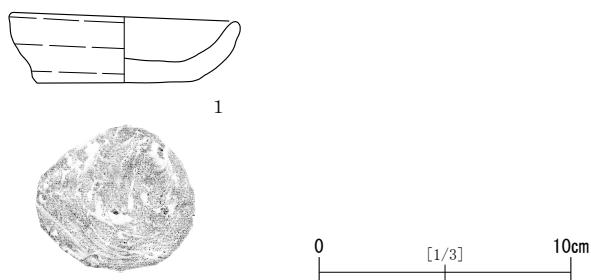
覆土は暗灰褐色土・暗褐色土・暗黄褐色土・暗茶褐色土・暗橙褐色土の7層で構成され、黒色スコリアと橙色スコリアを含む。第5・7層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第515図 8区・9区・調整池②区C 2号井戸址 [1/60]



第516図 8区・9区・調整池②区C 2号井戸址出土遺物 [1/3]

第115表 8区・9区・調整池②区C 2号井戸出土遺物観察表 [第516図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	8.9	6.3	2.8	104.9	ほぼ完形・ 口縁部2ヶ所欠損	在地	14世紀後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃石・白色針状物質・砂粒・赤色スコリアを含む 焼成良好 備考 底部回転糸切り痕

**C 4号井戸址 (第518図、図版118-2)**

V 14 グリッドで検出された。確認面は標高22.7 ~ 22.8 mを測る。プランは円形を呈する。検出された規模は長径0.97 m、短径0.88 m、調査深度0.99 mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

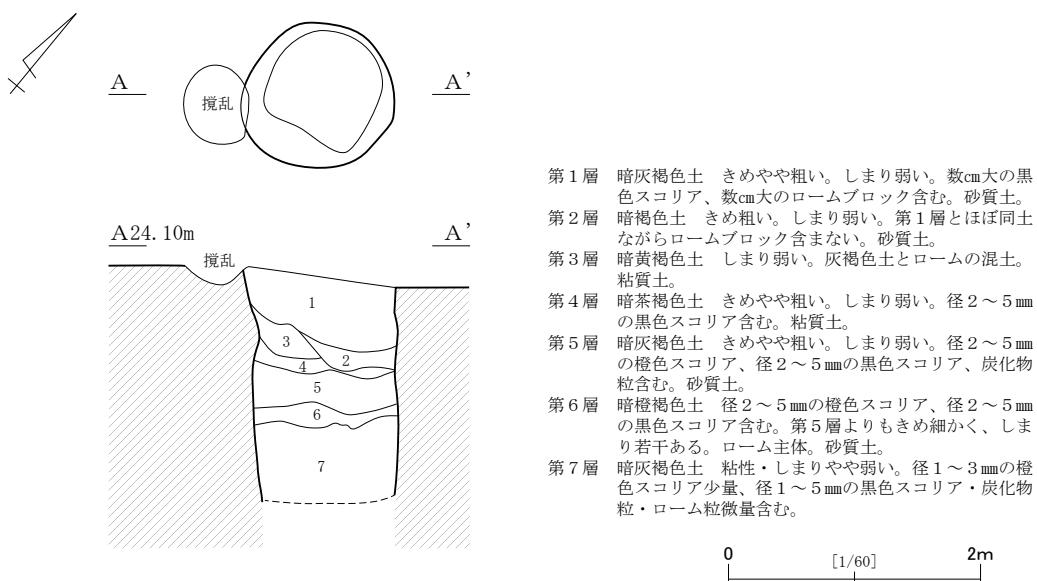
**C 5号井戸址 (第519・520図、第116表、図版119-1・176-2)**

W 10・X 10 グリッドで検出された。確認面は標高22.7 ~ 22.8 mを測る。C 100号土坑を切っている。C 603・874号ピットに切られている。プランは円形を呈する。検出された規模は長径2.11 m、短径2.04 m、調査深度2.14 mを測る。覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土・暗灰褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2・3・6層には炭化物粒を微量含む。第1層には乳褐色の粘土を粒微量含む。第2層には茶褐色土のブロックを微量含む。第4層には暗茶褐色土のブロックを少量含む。確認面から約0.12 mで、東側に幅1.047 m、奥行き0.14 m、高さ0.12 mの段差が、西側に幅0.87 m、奥行き0.05 m、高さ0.05 mと幅0.76 m、奥行き0.07 m、高さ0.05 mの段差が2ヶ所確認出来る。壁面はやや膨らみをもって底部まで掘削され、北西側では約0.10 m程オーバーハングしている。

遺物は、かわらけ12点(68.6 g)、石製品の砥石1点(28.3 g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第520図1は石製品の砥石である。両端部が欠損している。上面と両側面の3面を使用している。石材は変質流紋岩である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

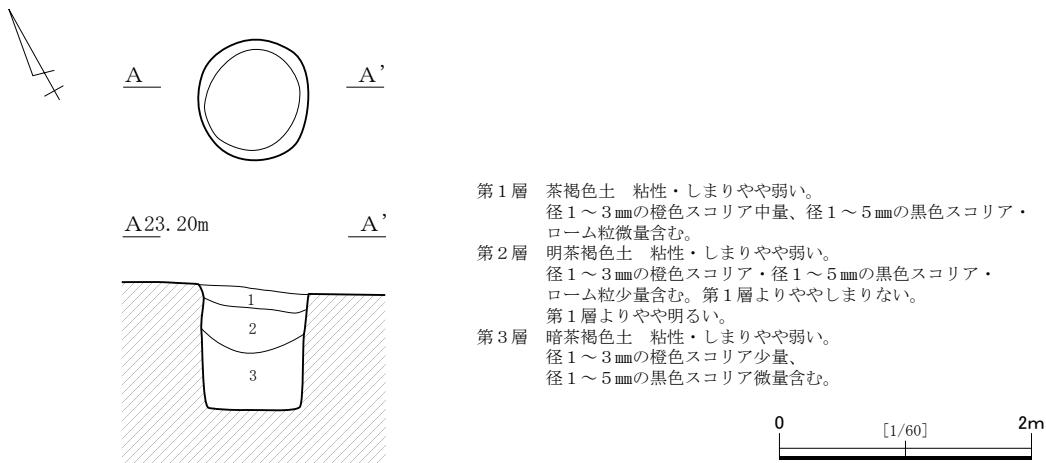


第517図 8区・9区・調整池②区C 3号井戸址 [1/60]

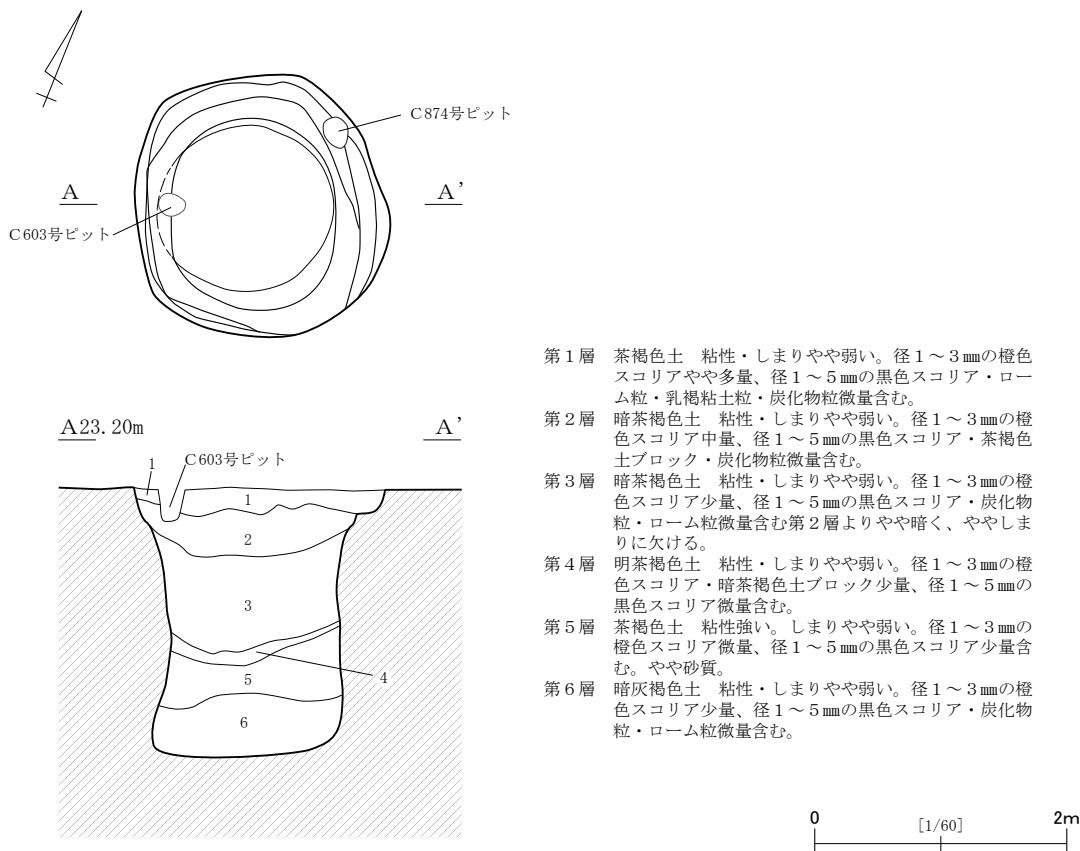
## C 6号井戸址(第521・522図、第117表、図版119-2・176-2)

U 13・14、V 13・14グリッドで検出された。確認面は標高22.8～23.0mを測る。C 2号硬化面を切っている。北側の一部が調査区外に延びている。プランは橢円形を呈する。検出された規模は長径2.08m、残存短径1.74m、調査深度1.57mを測る。

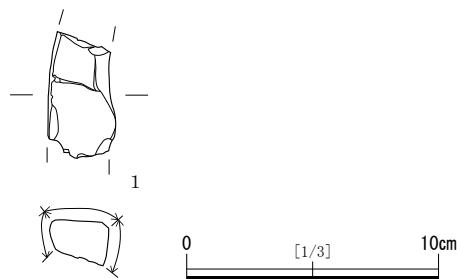
覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土・明褐色土の14層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・



第518図 8区・9区・調整池②区C 6号井戸址 [1/60]



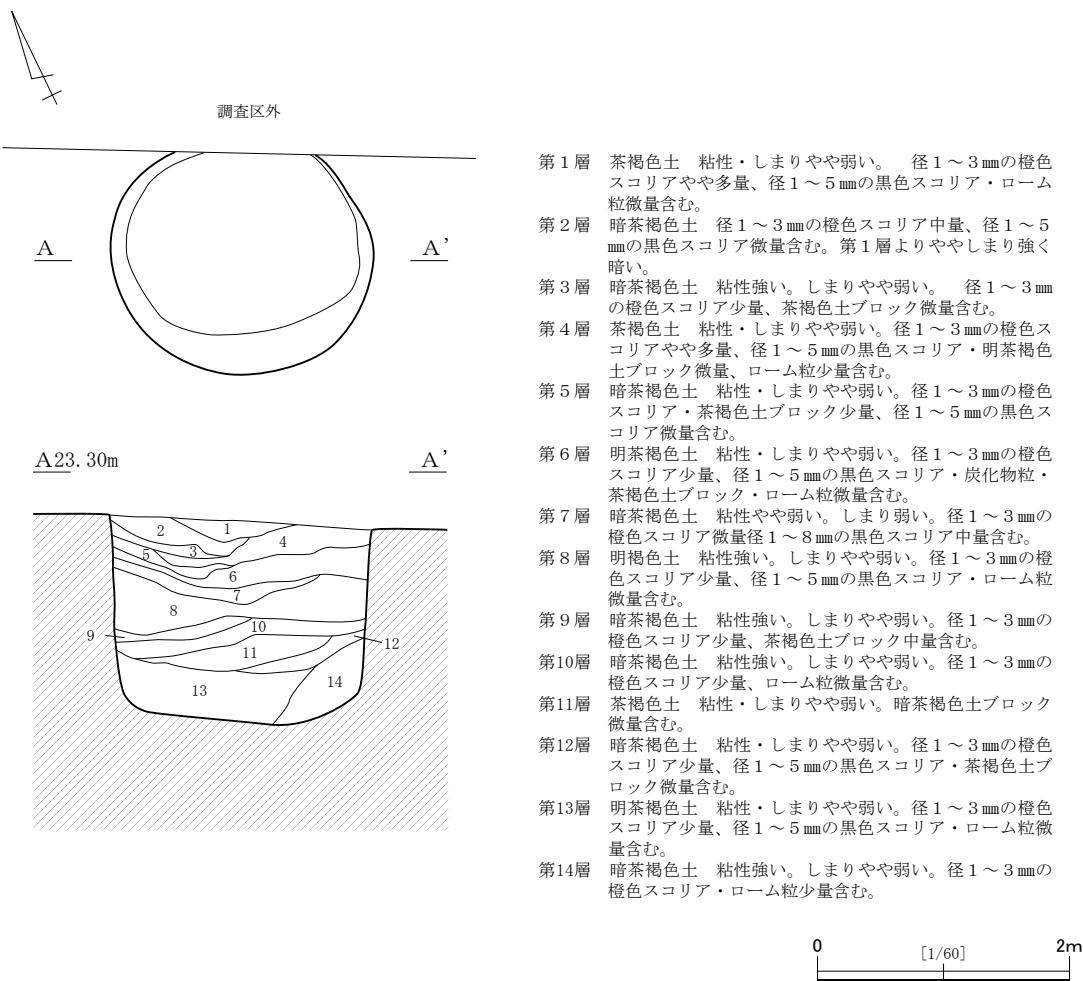
第519図 8区・9区・調整池②区C 5号井戸址 [1/60]



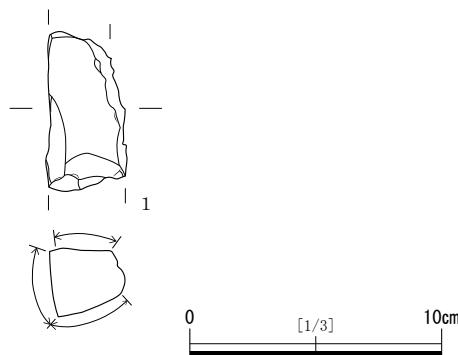
第520図 8区・9区・調整池②区C 5号井戸址出土遺物 [1/3]

第116表 8区・9区・調整池②区C 5号井戸址出土遺物観察表 [第520図]

No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	砥石	変質 流紋岩	(5. 1)	2. 7	1. 8	28. 3	両端部 欠損	備考 上面・両側面の3面使用



第521図 8区・9区・調整池②区C 6号井戸址 [1/60]



第522図 8区・9区・調整池②区C6号井戸址出土遺物 [1/3]

第117表 8区・9区・調整池②区C6号井戸址出土遺物観察表 [第522図]

No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	砥石	変質 流紋岩	(6.3)	(3.3)	2.8	63.0	両端部 欠損	備考 上下面・側面の3面使用

ローム粒を含む。第6層には炭化物粒を微量含む。第3・5・6・9・11・12層には茶褐色土のブロックを含む。第4層には明茶褐色土のブロックを微量含む。第11層には暗茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器甕1点(25.5 g)、かわらけ29点(165.9 g)、石製品の砥石1点(63.0 g)の計31点(254.4 g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第522図1は石製品の砥石である。両端部が欠損している。上下面と両側面の3面を使用している。石材は変質流紋岩である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C7号井戸址(第523・524図、第118表、図版120-1・176-1)

Y9グリッドで検出された。確認面は標高21.3～21.6mを測る。プランは楕円形を呈する。検出された規模は長径0.97m、短径0.84m、調査深度1.01mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、船載磁器2点(7.3 g)、常滑窯の陶器甕1点(22.7 g)の計3点(30.0 g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

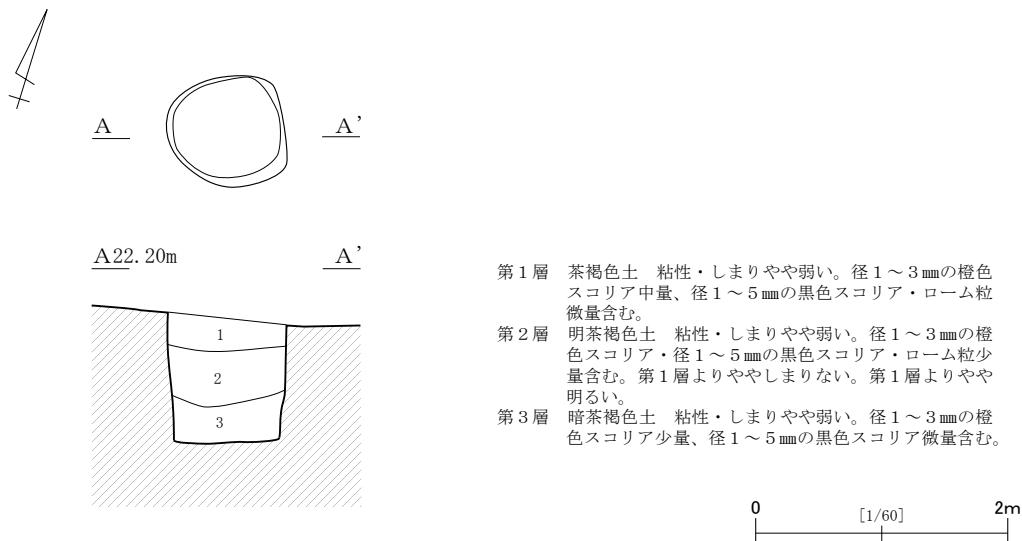
第524図1は船載磁器の白磁皿の口縁部破片である。素地は灰白色、黒色粒子を含む。15世紀前半の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

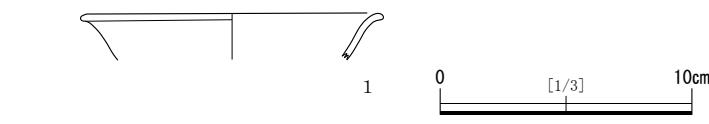
#### C8号井戸址(第525図、図版120-2)

Y9・10グリッドで検出された。確認面は標高21.1～21.8mを測る。プランは歪んだ円形を呈する。検出された規模は長径1.16m、短径1.06m、調査深度1.09mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土・暗黄褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層には炭化物粒を微量含む。また第1層には乳褐粘土粒も微量含む。第2・4・



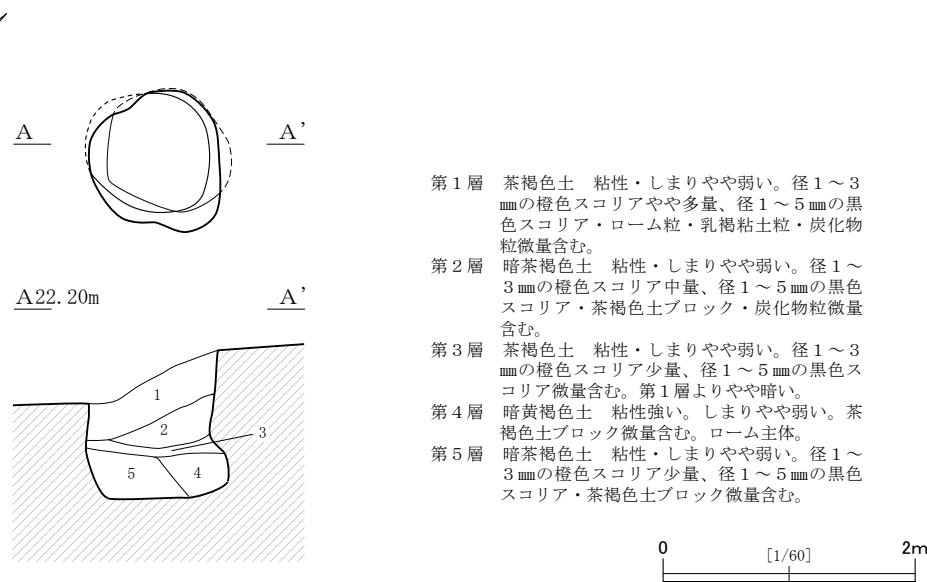
第523図 8区・9区・調整池②区C 7号井戸址 [1/60]



第524図 8区・9区・調整池②区C 7号井戸址出土遺物 [1/3]

第118表 8区・9区・調整池②区C 7号井戸址出土遺物観察表 [第524図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	白磁 端反皿	磁器	[11.6]	—	(1.8)	3.5	口縁部 1/8	中国	15世紀 前半	素地 灰白色、緻密 焼成 堅 緻、黒色粒子を含む 釉薬 乳白色白磁



第525図 8区・9区・調整池②区C 8号井戸址 [1/60]

5層には茶褐色土のブロックを微量含む。壁面は、南東側で確認面から約0.70mの所で0.16mオーバーハンジングしている。また北西側も確認面から約0.4mの所で0.1mオーバーハンジングしている。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

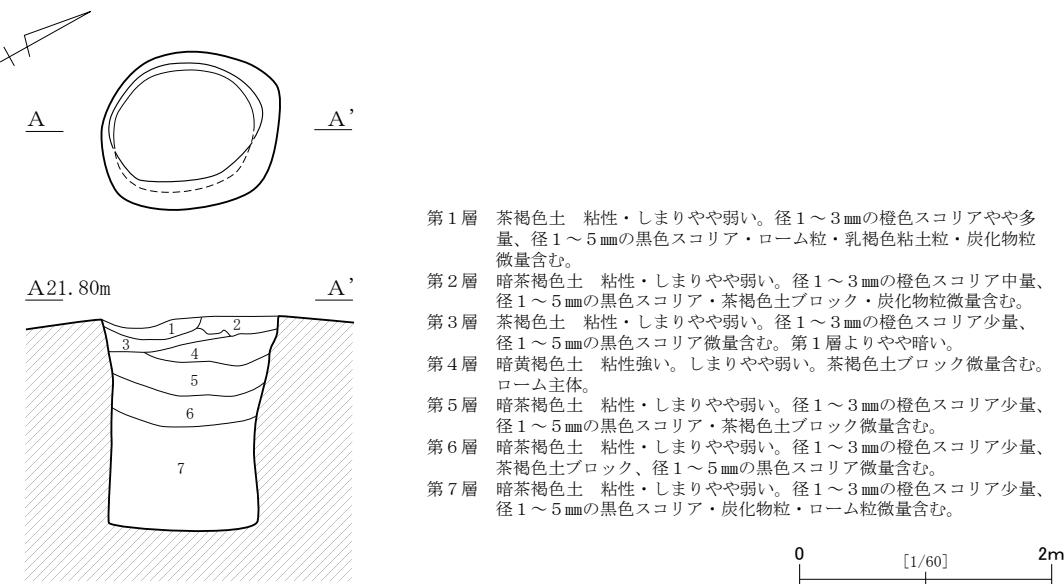
#### C 9号井戸址 (第526図、図版121-1)

Z 9グリッドで検出された。確認面は標高21.3～21.6mを測る。プランは楕円形を呈する。検出された規模は長径1.44m、短径1.26m、調査深度1.69mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・暗黄褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2・7層には炭化物粒を微量含む。第1層には乳褐色粘土粒を微量含む。第2・4～6層には茶褐色土ブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器甕1点(159.8g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第526図 8区・9区・調整池②区C 9号井戸址 [1/60]

#### (6) 硬化面

##### C 1号硬化面 (第527図、図版121-2)

U 12～14、V 12～14グリッドで検出された。確認面は標高23.2～23.5mを測る。北東側は調査区外に延びている。北西端は上面が削平され消えている。延伸方向は南西方向から北東方向で、残存長21.74m、幅1.33～2.35mを測る。硬化した層は、確認面からの深さは0.05～0.09mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。複数のグリッドを直線的にまたいで確認されていることから、道状遺構として使用されていたと考えられる。

遺物は、かわらけ47点(172.7g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 2号硬化面（第528図、図版113－2）

V 13・14グリッドで検出された。確認面は標高22.6～22.8mを測る。C 6号井戸址、C 20号溝状遺構、C 62号土坑にきられている。北東側は調査区外に延びており、南西側は上面が削平されており、掘り込みが消えている。遺構全体のほとんどが硬化した覆土が確認されたのみである。延伸方向は南西方向から北東方向で、残存長12.36m、残存幅0.32～1.68mを測る。確認された硬化面の厚さは0.04～0.13mを測る。

覆土は暗黄褐色土の単層で、暗茶褐色土と茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器碗1点(4.2g)、かわらけ26点(104.2g)の計27点(108.4g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 3号硬化面（第528図）

V 13グリッドで検出された。確認面は標高22.9～23.0mを測る。上面が削平されており、硬化した覆土が確認されたのみである。残存長1.23m、残存幅0.33～0.64mを測る。確認された硬化面の厚さは0.09mを測る。

覆土は暗黄褐色土の単層で、暗茶褐色土と茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ1点(16.4g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 4号硬化面（第529図）

Y 10グリッドで検出された。確認面は標高21.8～21.9mを測る。不整形の長方形のプランを呈する。長軸3.34m、短軸0.29～0.76mを測る。確認された硬化面の厚さは0.09～0.17mを測る。

覆土は暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には径10～50mmの土丹かロームブロックをやや多量に含む。

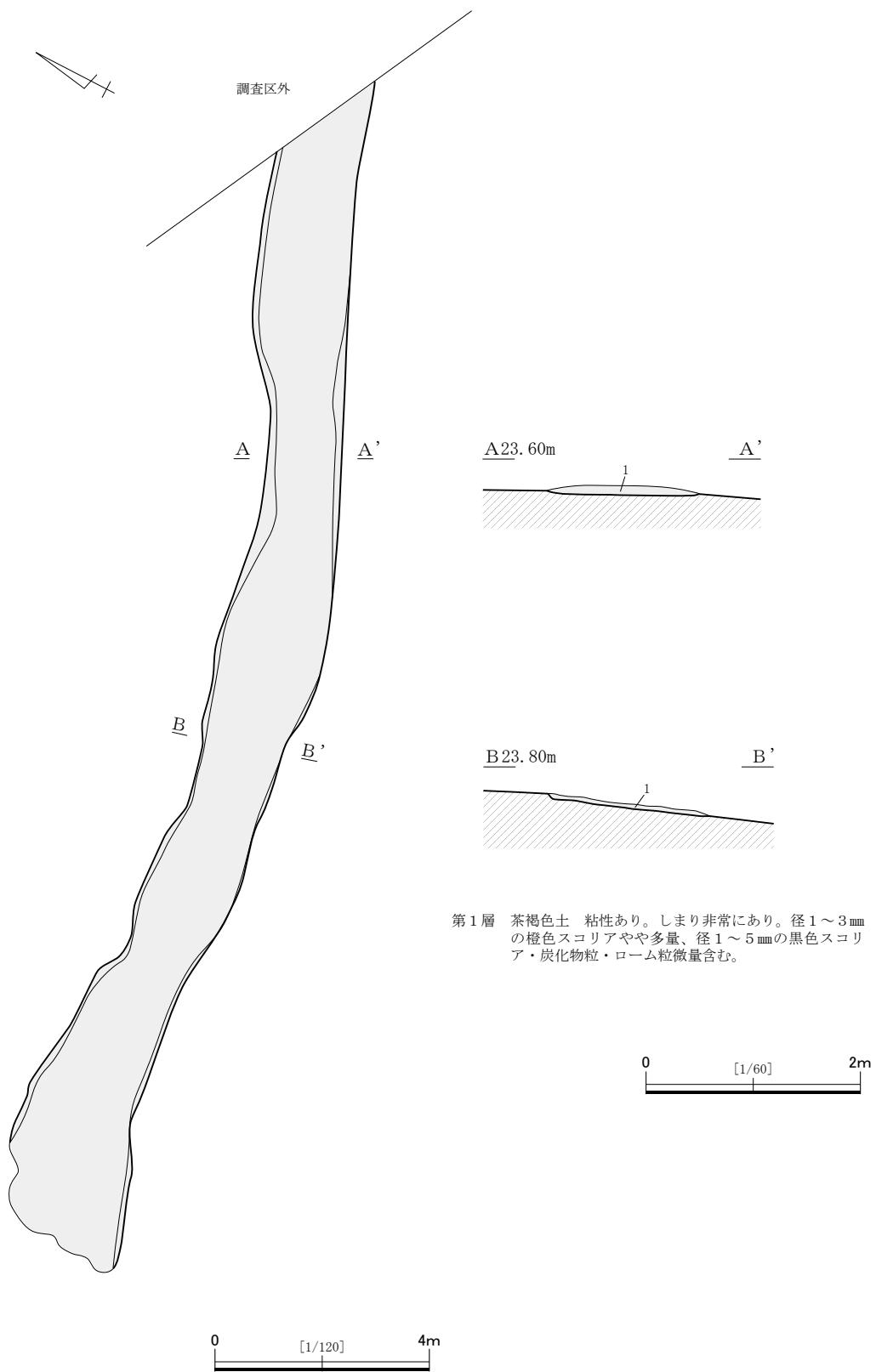
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

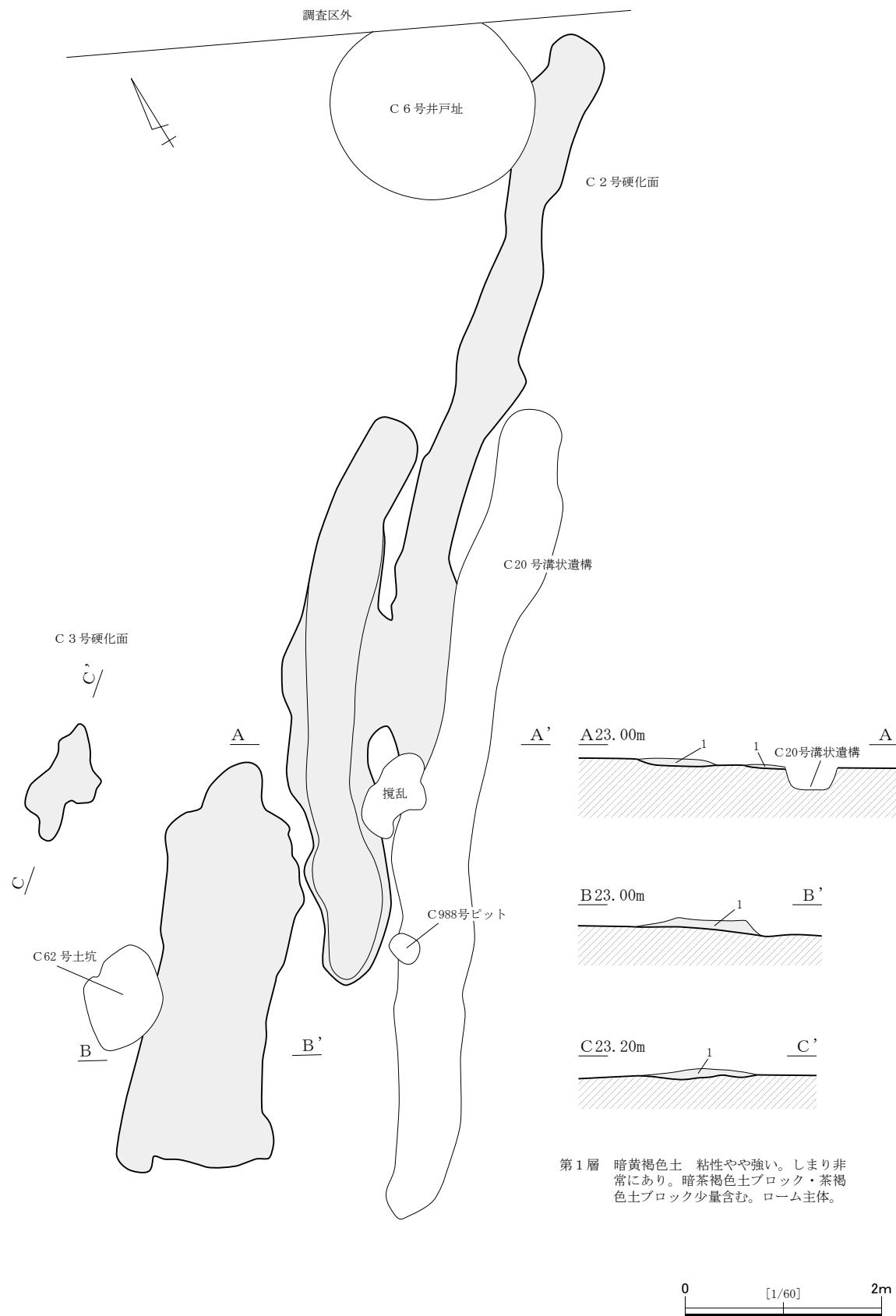
#### C 5号硬化面（第530図）

T 15・U 15グリッドで検出された。確認面は標高～mを測る。全体が半円状のプランを呈し、両端は調査区外に延びている。削平されており、薄い掘り込みと硬化した覆土が確認されたのみである。残存長10.18m、残存幅0.36～1.88mを測る。確認された硬化面の厚さは0.13～0.22mを測る。本遺構は両端が遺構外に延びているが、U 12～14、V 12～14グリッドで確認されているC 1号硬化面遺構かC 2号硬化面と方向的に同じようであり、どちらかの遺構に続いている可能性も考えられるが、両端が調査区外に延びており掘削方向が分からぬいため、詳細については不明である。

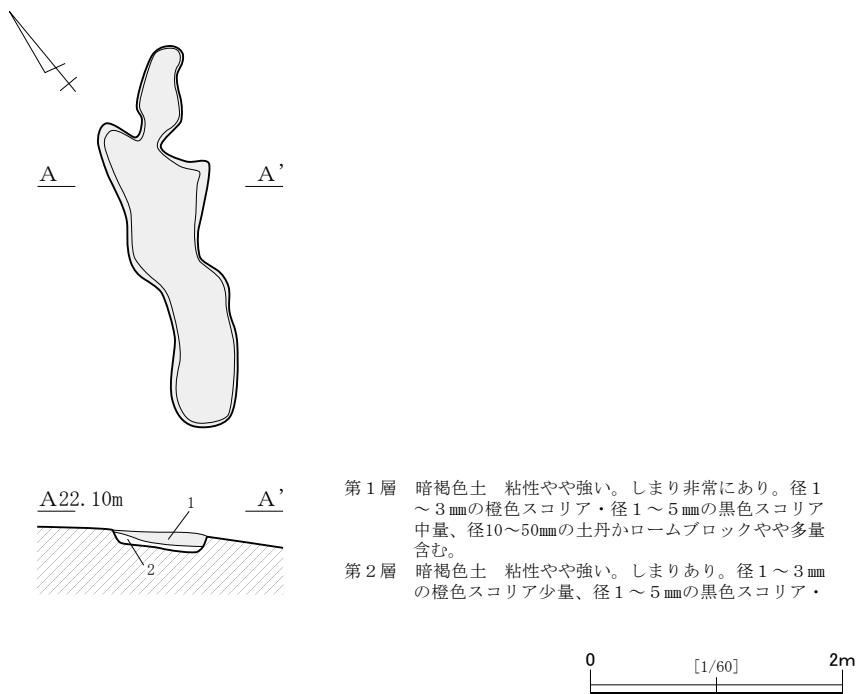
覆土は暗褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には径



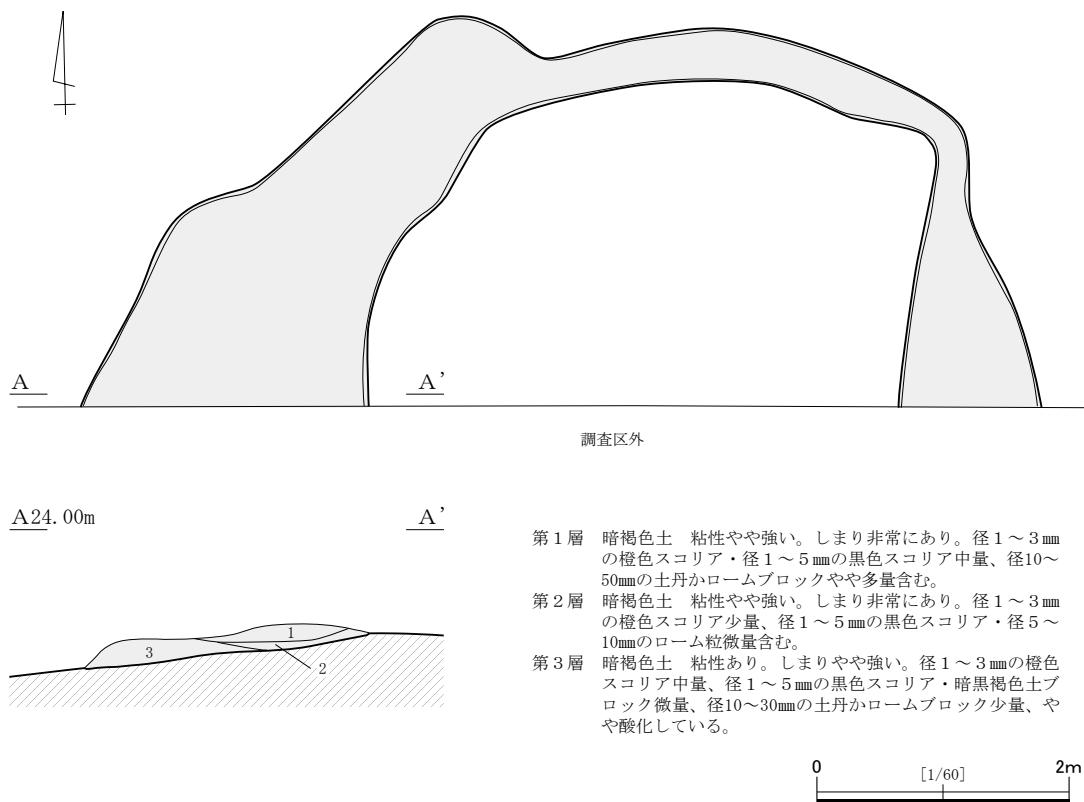
第527図 8区・9区・調整池②区C 1号硬化面 [1/120・1/60]



第528図 8区・9区・調整池②区C 2・3号硬化面 [1/60]



第529図 8区・9区・調整池②区C 4号硬化面 [1/60]



第530図 8区・9区・調整池②区C 5号硬化面 [1/60]

10～50mmの土丹かロームブロックをやや多量に含む。第3層には暗黒褐色土のブロックを微量、径10～30mmの土丹かロームブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面と出土遺物、周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### (7) 地下式坑

##### C 1号地下式坑(第531・532図、図版122-1)

X 7・8、Y 7・8グリッドに位置する。確認面の標高は23.2～23.3m前後を測る。柄鏡型のプランを呈する。長軸方位はN-3°-Eを示す。豊坑部のプランは隅丸方形を呈し、垂直に立ち上がっている。規模は長軸1.11m、短軸1.09m、深さ1.13mを測る。主室のプランは円形を呈し、壁面はほぼ垂直に立ち上がっている。規模は長軸3.16m、短軸3.13m、高さ1.01～1.24mを測る。底面には幅0.19～0.31m、深さ0.04～0.05mの周溝状の掘り込みが、北西側と南東側で確認できる。豊坑から主室へ続く部分は長さ0.49～0.70m、幅0.51～0.61m、高さ0.93mを測る。

覆土は豊坑部で明茶褐色土・茶褐色土の8層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。主室は暗茶褐色土・暗黄褐色土・茶褐色土の18層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2・4・16層には茶褐色土のブロックを少量含む。第8層に暗褐色土のブロックと茶褐色土のブロックを微量含む。第10層に明茶褐色土のブロックを微量、黄色ロームブロックを少量含む。第11層はローム主体層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

##### C 2号地下式坑(第533・534図、第119表、図版122-2・173-2)

X 8グリッドに位置する。確認面の標高は23.1～23.5m前後を測る。柄鏡型のプランを呈する。長軸方位はN-17°-Wを示す。豊坑部のプランは円形を呈し、ほぼ垂直に立ち上がっている。長軸1.38m、短軸1.34m、深さ1.86mを測る。底面のプランは方形を呈し、長軸0.92m、短軸0.82mを測る。主室のプランは歪んだ隅丸長方形を呈し、規模は長径2.23m、短径1.84m、高さ2.20～2.50mを測る。底面は四隅が、0.09～0.20m程オーバーハングしている。

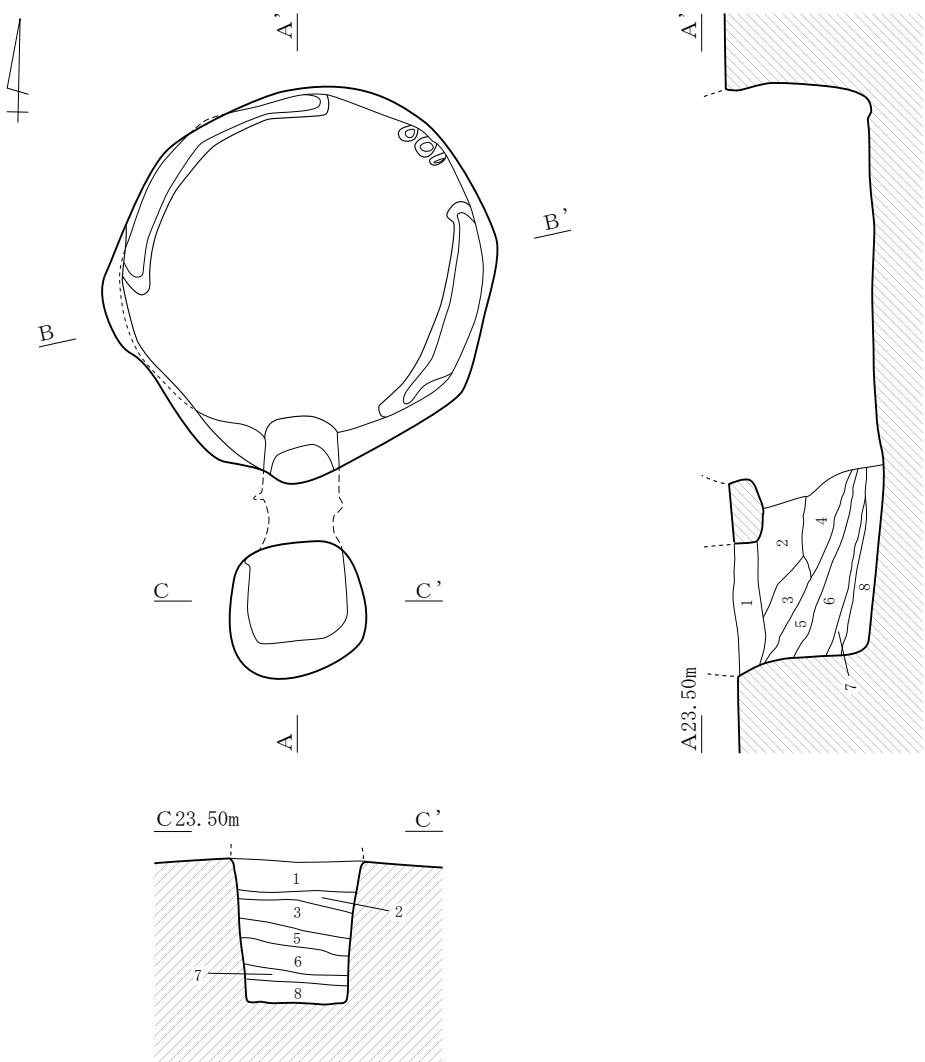
覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土・暗黄褐色土の13層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、第534図1の鉄製品の刀子1点(16.1g)が出土しているのみである。両端部欠損している。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

##### C 3号地下式坑(第535・536図、第120表、図版123-1・175・176-1・176-2)

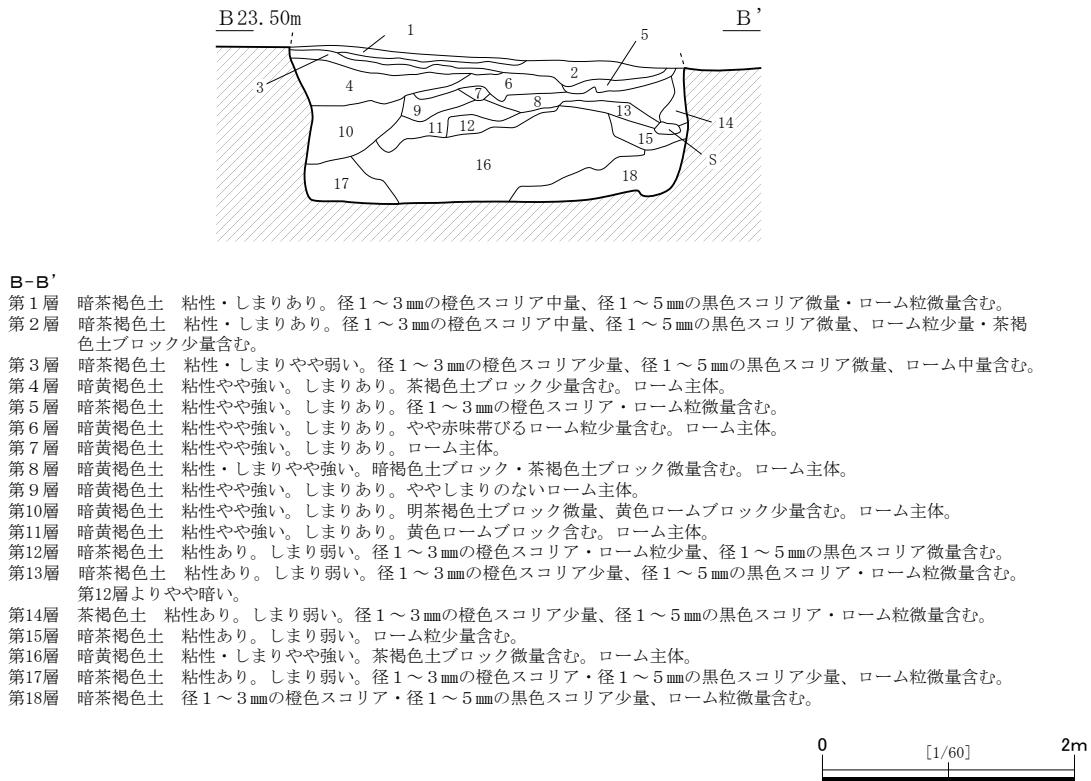
V 10・11グリッドに位置する。確認面の標高は23.3～23.4m前後を測る。C 471号ピットに切られている。L字状のプランを呈する。豊坑から主室にかけての長軸方位はN-18°-Wを示し、主室は北東側に張り出すようにN-55°-Eに方位を変える。天井部は崩落して残っていないが、豊坑部のプランは方形を呈すると考えられ、長軸1.78m、短軸1.26m、深さ1.13mを測る。主室のプランは隅丸長



- A-A' • C-C'**
- 第1層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第3層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量含む。第2層よりやや暗い。
- 第4層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア・径1~3mmのローム粒微量含む。
- 第5層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア・ローム粒微量含む。
- 第6層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア・径1~2mmのローム粒微量含む。
- 第7層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量含む。
- 第8層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1~5mmの黒色スコリア微量含む。

0 [1/60] 2m

第531図 8区・9区・調整池②区C 1号地下式坑(1) [1/60]



第532図 8区・9区・調整池②区C 1号地下式坑(2) [1/60]

方形を呈し、長径2.16m、短径2.06m、高さ1.30~1.36mを測る。堅坑と主室の間には、幅0.41m、奥軸0.08~0.11m、高さ0.04mの段差が確認出来る。

覆土は明茶褐色土・暗黄褐色土・暗褐色土・黄褐色土・明黄褐色土・褐色土の13層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗茶褐色土のブロックを少量含む。第2・5層茶褐色土のブロックを微量含む。第4・6層にはロームブロックを少量含む。第8・9層には黄褐色土のブロックを含む。第10・11層はローム層の崩落土で、第12・13層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕1点(38.6g)、亀山窯の陶器の甕1点(154.9g)、かわらけ4点(46.2g)、石製品の砥石1点(26.3g)の計7点(266.0g)が出土している。図化したのは、以下の4点である。

第536図1はかわらけである。口径が12.4cmで大型に分類できる。胎土は橙色、角閃石・石英・赤色スコリアを含む。底部に不明瞭だが回転糸切り痕が確認できる。14世紀後半~15世紀の製品と考えられる。

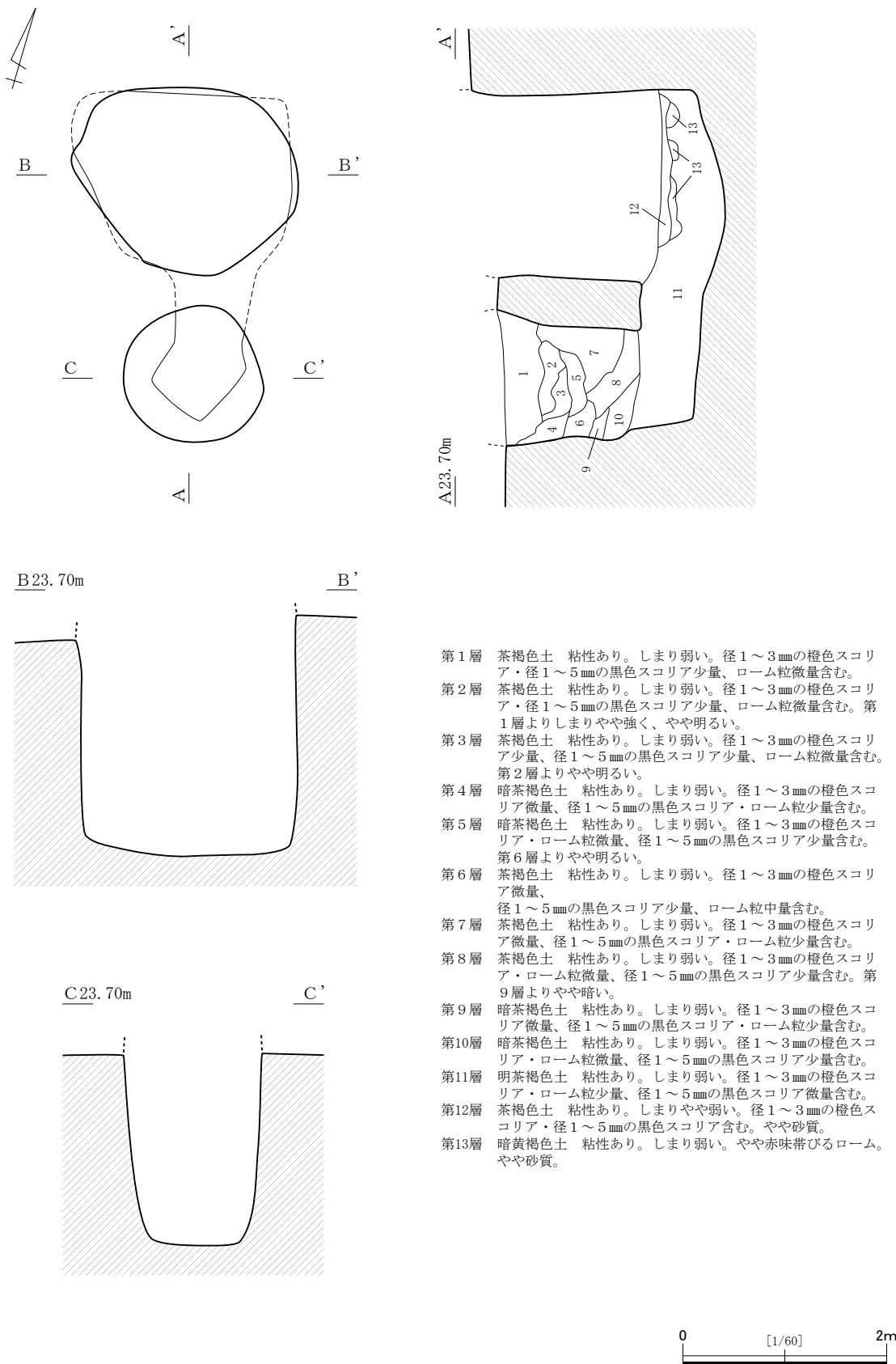
第536図2・3は研磨陶片である。2は亀山窯の甕を転用して、下面・側面・下端面の4面を使用している。3は常滑窯の甕の体部を転用して、側面の1面を使用している。

第536図4は石製品の砥石である。端部欠損、上下面と側面の4面を使用。石材は変質流紋岩である。

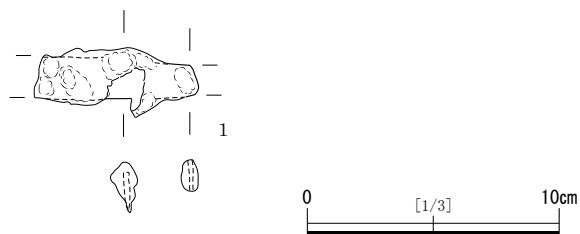
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

### C 5号地下式坑(第537・538図、第121表、図版123-2・177)

W9グリッドに位置する。確認面の標高は22.8~23.2m前後を測る。柄鏡型のプランを呈する。長軸方位はN-57°-Wを示す。天井部は崩落して残っていないが、堅坑部のプランはを方形を呈すると考えられ、長軸1.11m、短軸0.84m、深さ1.34mを測る。主室のプランは円形を呈し、奥壁と東側と



第533図 8区・9区・調整池②区C 2号地下式坑 [1/60]



第534図 8区・9区・調整池②区C 2号地下式坑出土遺物 [1/3]

第119表 8区・9区・調整池②区C 2号地下式坑出土遺物観察表 [第534図]

No.	器種	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容
1	刀子	鉄	6.5	2.1	1.1	16.1	残存度 両端部欠損 備考 全体に鏽が著しい

西側の壁がオーバーハングして断面形がドーム状を呈する。規模は東西径2.54m、南北径2.94m、深さ1.83～1.93mを測る。南側の壁には、幅1.84m、奥行き0.19～0.31m、高さ0.61mの棚状の段差が確認出来る。

覆土は暗黄褐色土・暗褐色土・明茶褐色土・褐色土の22層で構成され、全体にローム粒やロームブロックを含む。第12・14層には橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第14・19層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕2点(1,030.8g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第538図1は常滑の陶器の甕の体部下半～底部である。胎土は褐灰色、で細かい砂粒・小礫を含む。体部外面ヘラナデ、内面に指頭痕が確認できる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

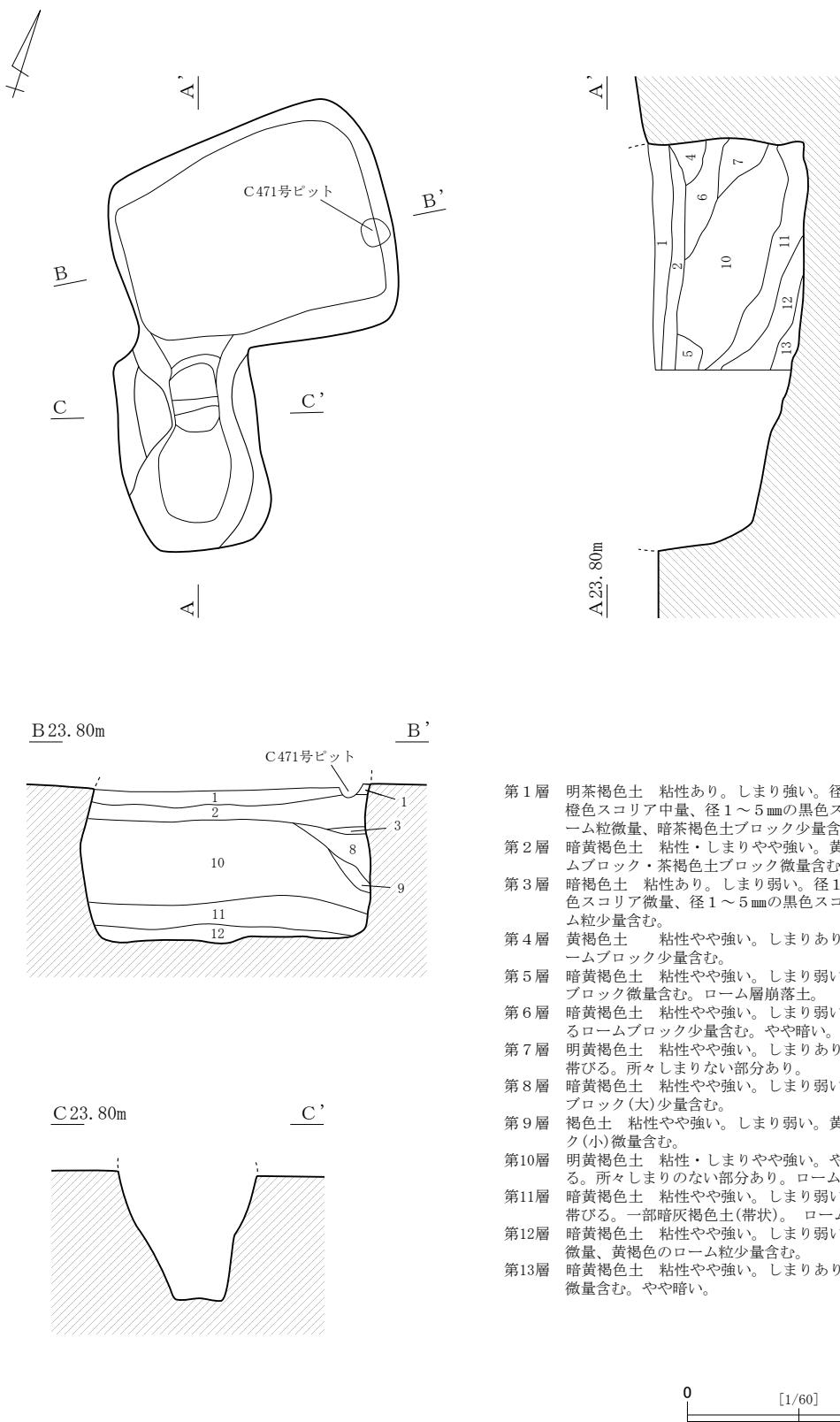
### C 7号地下式坑 (第539図、図版124－1)

U 10グリッドに位置する。確認面の標高は23.7～24.0m前後を測る。長軸方位はN-24°-Eを示す。堅坑部のプランは隅丸長方形を呈し、壁は垂直に立ち上がる。規模は長軸0.12m、短軸0.92m、深さ1.59mを測る。主室は天井の一部が崩落している。西側に膨らむように掘削されており、歪んだ楕円形のプランを呈する。規模は長軸1.53m、短軸1.09m、高さ1.43mを測る。堅坑と主室の境には、隅丸長方形のプランで、長軸0.33m、短軸0.25m、深さ0.11mのピットが確認できる。

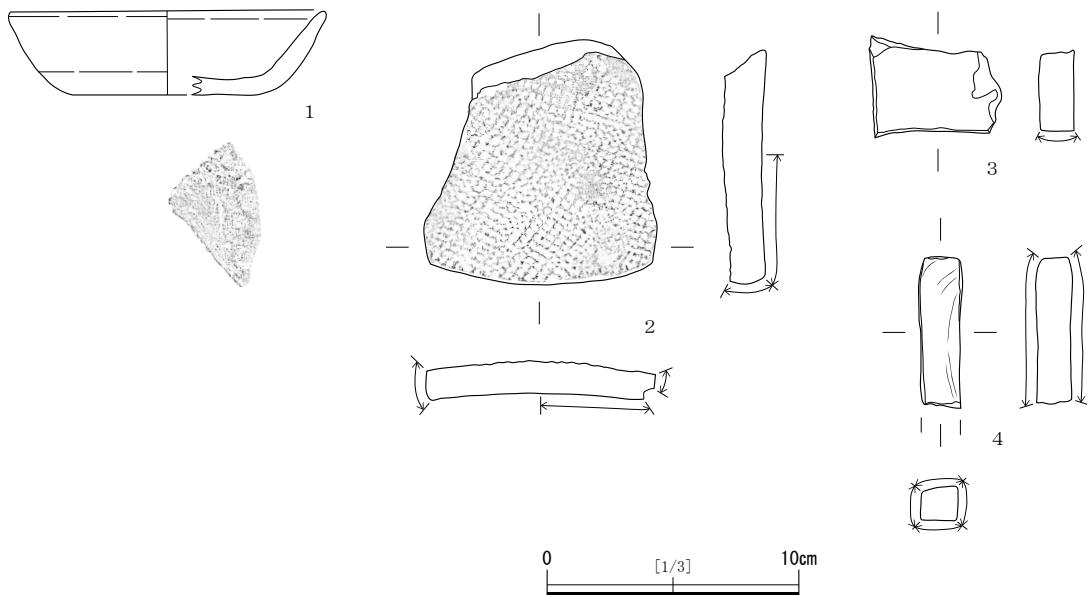
堅坑部の覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の10層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。主室の覆土は崩落した天井部分から流入した土で、明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の10層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第535図 8区・9区・調整池②区 C 3号地下式坑 [1/60]



第536図 8区・9区・調整池②区C3号地下式坑出土遺物 [1/3]

第120表 8区・9区・調整池②区C3号地下式坑出土遺物観察表 [第536図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[12.4]	[7.5]	3.3	36.5	口縁部 1/5・体部 ～底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕やや不明瞭
2	研磨陶片	陶器	9.7	9.1	1.6	154.9	体部破片	亀山	中世	胎土 灰白色、密、石英・角閃石を含む 焼成 良好 備考 亀山の甕体部を転用、下面・側面の4面使用
3	研磨陶片	陶器	(4.1)	(5.1)	1.4	38.6	体部破片	常滑	中世	胎土 灰白色、密、細かい砂粒・小礫・石英を含む 備考 常滑の甕体部を転用、側面1面使用
No.	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容			
4	砥石	変質 流紋岩	(6.0)	1.7	1.4	26.3	残存度	端部欠損	備考	上下面・側面の4面使用

## (8) 土坑

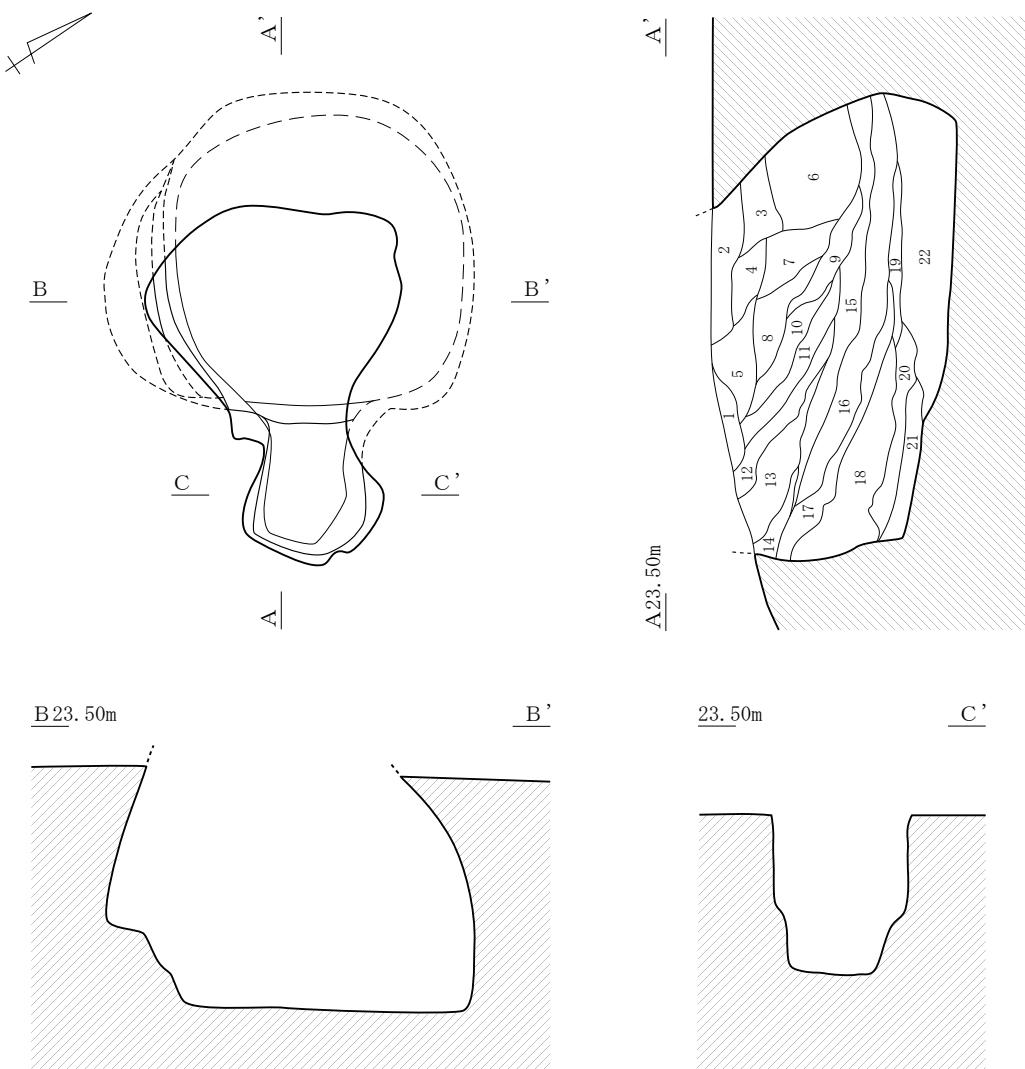
## C 1号土坑(第540図、図版124-2)

V 12グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。東側をC 1号溝状遺構に切られている。長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.76m、短径0.86mを測る。確認面からの深さは0.41mを測る。

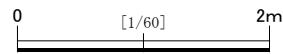
覆土は暗褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層に明褐色土のブロック、第2層に暗褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

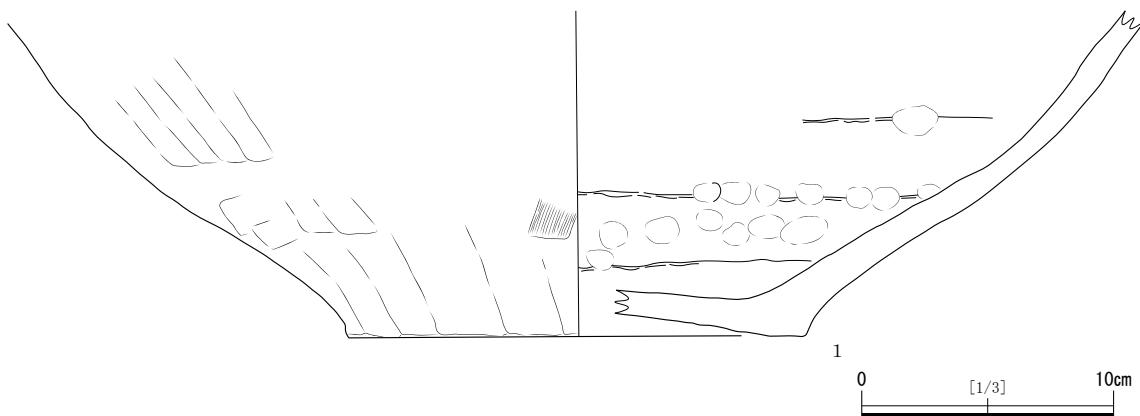
遺構の時期は、確認面及びC 1号溝状遺構に切られていることや周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第1層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりあり。やや白色味帯びるロームブロック。ローム。
第2層	暗黄褐色土	粘性・しまりやや強い。やや黄色味強いローム。
第3層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまり弱い。黄色味帯びるロームブロック微量含む。やや赤味帯びるローム。
第4層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりあり。黄色味帯びるローム粒微量含む。暗いローム。所々しまりなし。
第5層	暗褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。黄色味帯びるロームブロック中量含む。やや暗いローム。
第6層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。黄色味強いロームブロック主体。ブロック以外はやや赤味帯びるしまりの弱いローム。
第7層	暗黄褐色土	やや明るいロームブロック少量含む。やや暗いローム。しまりない部分わずかあり。
第8層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりあり。やや明るいローム。
第9層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまり弱い。やや黄色味帯びるロームブロック微量含む。やや赤味強いローム。
第10層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまり弱い。やや赤味帯びるローム。
第11層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。やや黄色味帯びるロームブロック少量含む。やや明るいローム。
第12層	明茶褐色土	粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア・ローム粒少量、径1~5mmの黒色スコリア微量含む。
第13層	褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。やや暗いロームブロック微量含む。やや黄色味強いローム。
第14層	明茶褐色土	粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア・炭化物粒・ローム粒微量含む。
第15層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりあり。やや黄色味帯びるローム粒微量含む。やや暗いローム。
第16層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。黄色味強いロームブロック少量含む。やや暗いローム。
第17層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。やや暗いロームブロック少量含む。明るいローム。
第18層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまりやや弱い。やや黄色味帯びるロームブロック少量含む。やや暗いローム。
第19層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまり弱い。やや暗いローム。やや砂っぽい。炭化物粒微量含む。
第20層	暗黄褐色土	やや黄色味帯びるロームブロック微量含む。やや赤味帯びるローム。
第21層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまり弱い。ロームブロック含む。やや暗いローム。
第22層	暗黄褐色土	粘性やや強い。しまり弱い。ロームブロック含む。やや暗いローム。やや砂っぽい。



第537図 8区・9区・調整池②区C 5号地下式坑 [1/60]



第538図 8区・9区・調整池②区C 5号地下式坑出土遺物「1/3」

第121表 8区・9区・調整池②区C 5号地下式坑出土遺物観察表 [第538図]

No.	器種	種別	( ) = 現存値 ( ) = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	甕	陶器	—	[18.0]	(12.9)	971.4	体部下半 1/4・底部 1/3	常滑	中世	胎土 褐灰色、密、細かい砂粒・小礫を含む 焼成 良好 備考 体部外面ヘラナデ、内面指頭痕

**C 2号土坑(第540図)**

X 12グリッドで検出された。確認面は標高21.0mを測る。長楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径1.75m、短径1.18mを測る。確認面からの深さは0.07mを測る。

覆土は暗黄褐色土の単層で、明褐色土をブロックで少量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器の碗1点(25.8g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 3号土坑(第540図)**

T 14グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。歪んだ隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸1.06m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。

覆土は第暗茶褐色土と茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを多量に含む。第2層にはロームブロックを含む。遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

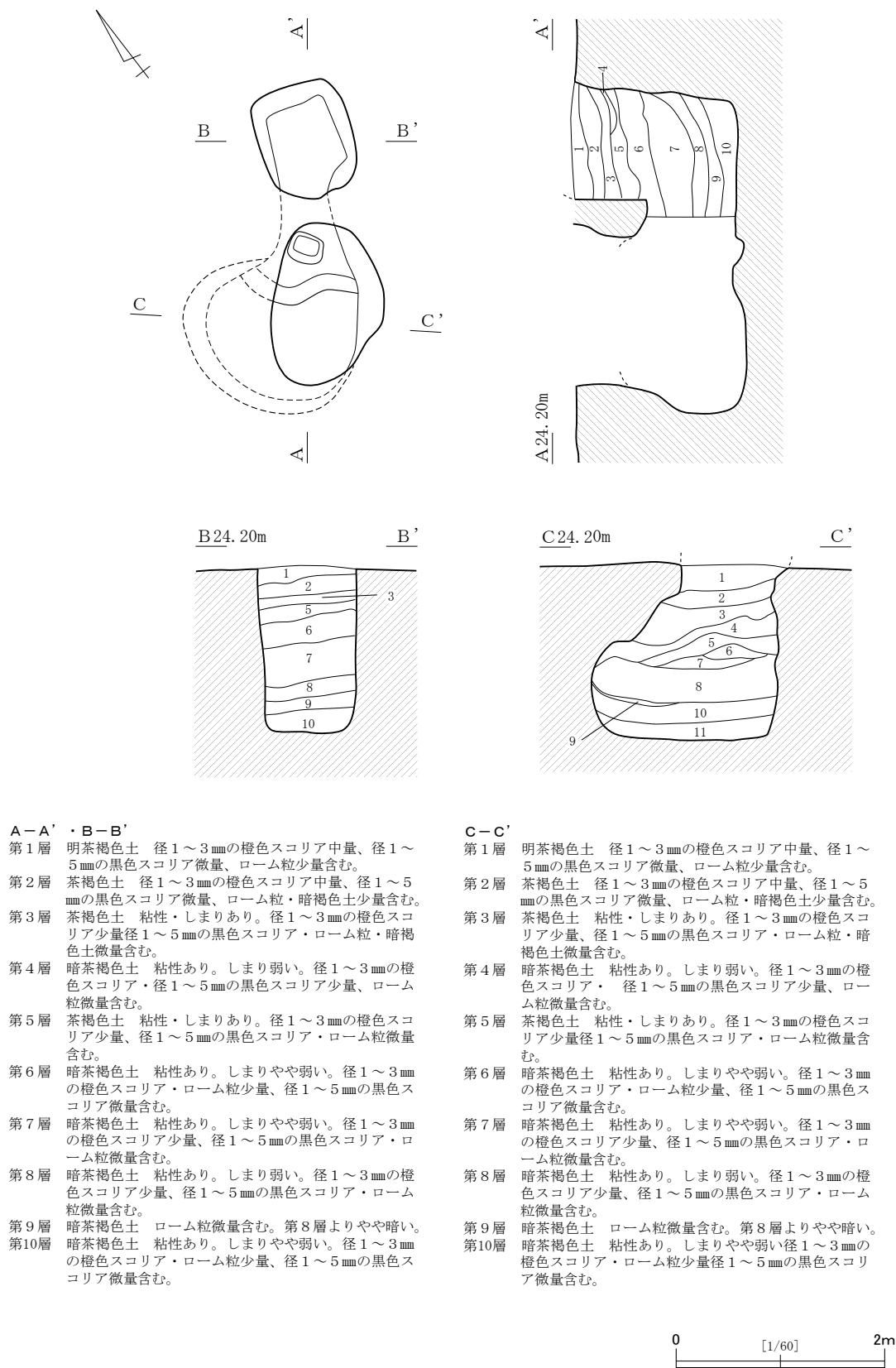
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 4号土坑(第540図、第122表、図版174-1)**

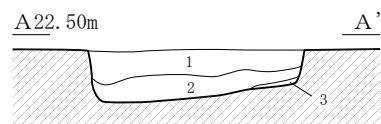
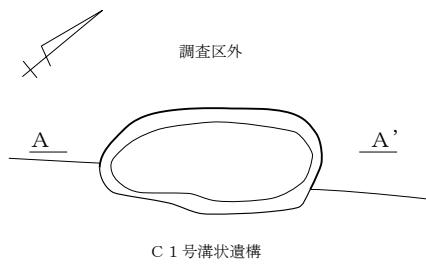
V 15グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。北側をC 2号堅穴状遺構・C 154号土坑に切られている。長楕円形のプランを呈する考えられ、箱状の掘り込みを持つ。残存長径1.54m、短径0.76mを測る。確認面からの深さは0.28mを測る。

覆土は褐色土の単層で、 橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。ロームブロックを少量含む。



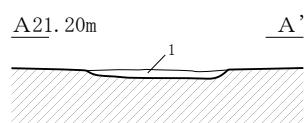
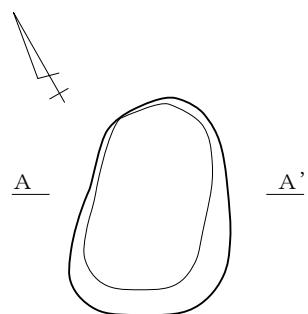
第539図 8区・9区・調整池②区C 7号地下式坑 [1/60]

C 1号土坑



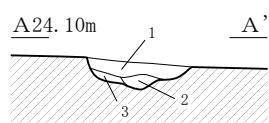
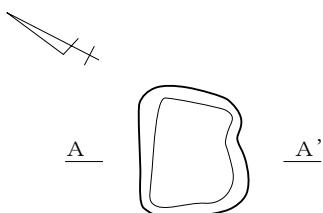
第1層 暗褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・ローム粒微量、径1～3mmの黒色スコリア・明褐色土ブロック少量含む。  
第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。暗褐色土ブロック少量含む。ローム主体。  
第3層 暗褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～3mmの黒色スコリア少量含む。

C 2号土坑



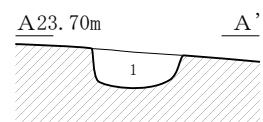
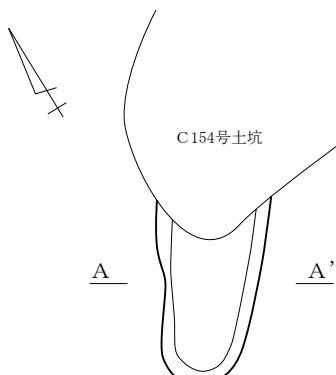
第1層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。明褐色土ブロック少量含む。ローム主体。

C 3号土坑

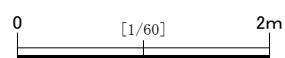


第1層 暗茶褐色土 しまり弱い。橙色スコリア・黒色スコリア多量含む。きめ粗い砂質土。  
第2層 茶褐色土 第1層に暗褐色のロームブロック含む粘質土。  
第3層 茶褐色土 しまり弱い。第2層とローム崩土の混土。粘質土。

C 4号土坑



第1層 褐色土 粘性あり。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア・径1～3mmの黒色スコリア・ローム粒微量、ロームブロック少量含む。

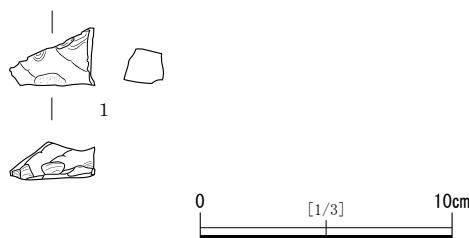


第540図 8区・9区・調整池②区 C 1～4号土坑 [1/60]

遺物は、かわらけ1点(7.1 g)、石製品の火打ち石1点(9.6 g)の計2点(16.7 g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第541図1は石製品の火打ち石である。端部に打痕が確認できる。石材は瑪瑙である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第541図 8区・9区・調整池②区C 4号土坑出土遺物 [1/3]

第122表 8区・9区・調整池②区C 4号土坑出土遺物観察表 [第541図]

No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容
1	火打石	瑪瑙	2.4	1.5	1.3	9.6	備考 端部に打痕

#### C 5号土坑(第543図)

T 13グリッドで検出された。確認面は標高24.0 mを測る。隅丸方形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸1.11 m、短軸0.81 mを測る。確認面からの深さは0.14 mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。乳褐色の粘土ブロックを微量含む。遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 6号土坑(第542・543図、第123表、図版177)

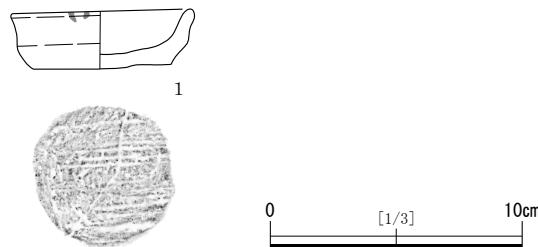
T 15グリッドで検出された。確認面は標高23.4 mを測る。上面をC 33号溝状遺構に切られる。南東側1/2程度をC 2号竪穴状遺構、C 154号土坑に切られている。不整形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。残存長軸1.94 m、残存短軸1.04 mを測る。確認面からの深さは0.24 mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、橙色スコリアと黒色スコリアを中量含む。遺構の時期は、確認面及び出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

遺物は、かわらけ1点(51.6 g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第542図1はかわらけである。口径は7.6 cmで中型に分類できる。胎土は橙色、角閃石・白色針状物質・石英・細かい砂粒を含む。口縁部にススが付着しており、灯明皿として使用されたと考えられる。底部に回転糸切り痕とスノコ痕が確認できる。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第542図 8区・9区・調整池②区C 6号土坑出土遺物 [1/3]

第123表 8区・9区・調整池②区C 6号土坑出土遺物観察表〔第542図〕

No.	器種	種別	( ) = 現存値 ( ) = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	7.1	5.7	2.3	51.6	口縁部～ 体部4/5・ 底部完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白 色針状物質・石英・細かい 砂粒を含む 焼成 良好 備考 口縁部スス付着、底部回転 糸切り痕・スノコ痕

**C 7号土坑** (第543図、図版92-2・124-3)

T 15グリッドで検出された。確認面は標高23.3mを測る。C 33号溝状遺構・C 6号土坑を切っている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.98m、短径1.88mを測る。確認面からの深さは0.64mを測る。

覆土は暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。ロームプロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から4世紀後半以降と考えられる。

**C 8号土坑** (第543図)

T 14グリッドで検出された。確認面は標高23.7を測る。南東側の上面が削平され掘り込みが消えている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長径1.32m、残存短径0.94mを測る。確認面からの深さは0.38mを測る。

覆土は暗茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリアと黒色スコリアを含む。第1層はローム主体である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半と考えられる。

**C 9号土坑** (第544図)

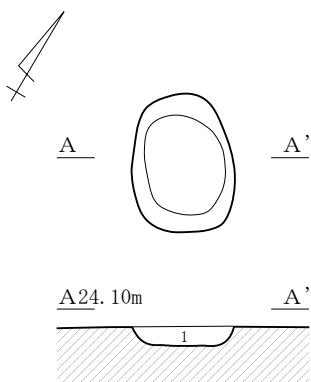
V 14グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.62m、短径0.58mを測る。確認面からの深さは0.20mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリアを多量含む。

遺物は出土していない。

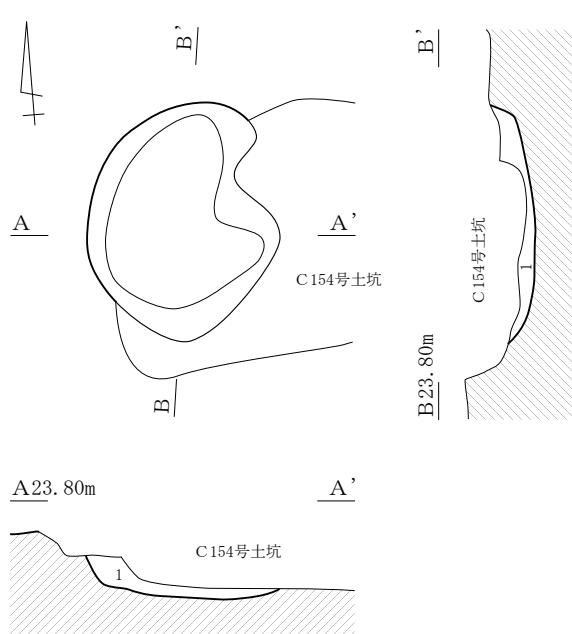
遺構の時期は、確認・覆土面及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

C 5号土坑



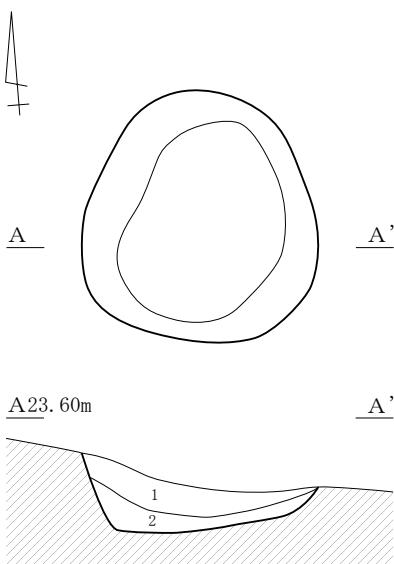
第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまり強い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、乳褐色粘土ブロック微量含む。

C 6号土坑



第1層 暗褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～3mmの黒色スコリア中量含む。

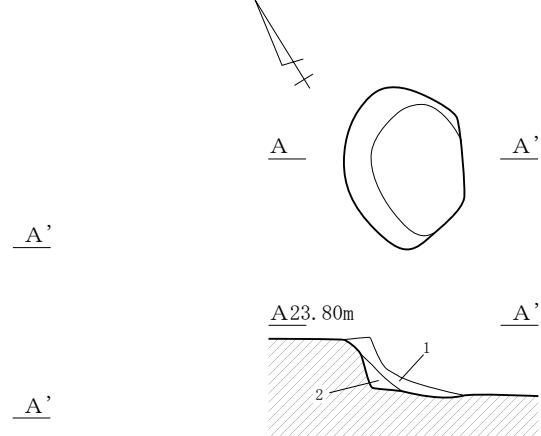
C 7号土坑



第1層 暗茶褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～5mmの黒色スコリア・ロームブロック微量、ローム粒中量含む。やや酸化している。

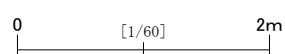
第2層 暗茶褐色土 径1～3mmの橙色スコリア微量、ロームブロック少量含む。第1層よりやや暗い。

C 8号土坑



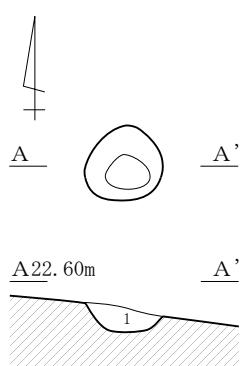
第1層 暗茶褐色土 きめやや粗い。粘性非常にあり。しまり強い。径1～3mmの橙色スコリア多量含む。ローム主体。

第2層 暗黄褐色土 きめ非常に細かい。粘性非常にあり。しまり弱い。径1mmの黒色スコリア含む。



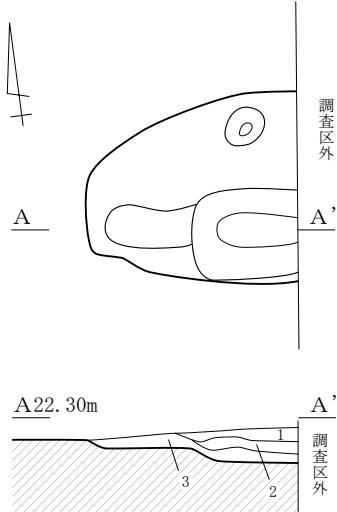
第543図 8区・9区・調整池②区 C 5～8号土坑 [1/60]

C 9号土坑



第1層 暗茶褐色土 きめやや粗い。粘性非常にあり。しまり強い。径1~3mmの橙色スコリア多量含む。ローム主体。

C 10号土坑

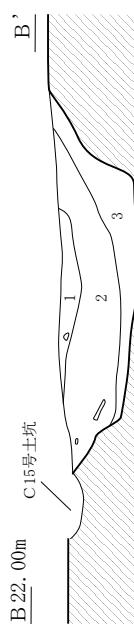
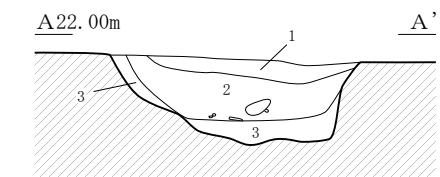
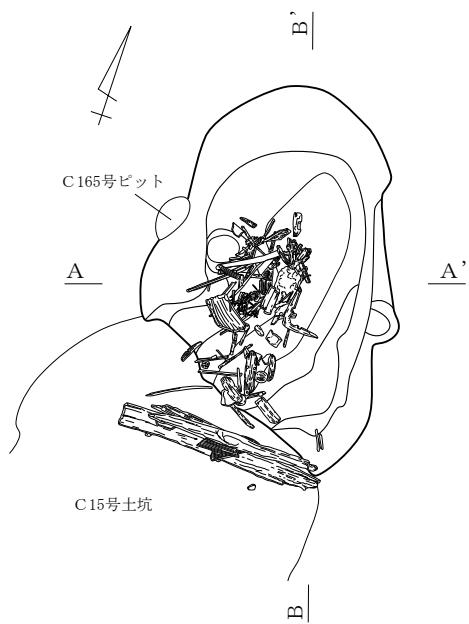


第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア・炭化物粒微量含む。やや酸化している。

第2層 暗茶褐色土 粘性あり。しまりやや強い。第1層と同じだが、酸化部分多くややかたくしまっている。

第3層 暗灰褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1~3mmの黒色スコリア少量含む。

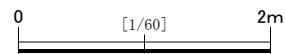
C 11号土坑



第1層 暗茶褐色土 きめ細かい。しまり強い。径1~3mmの橙色スコリア、径1~3mmの黒色スコリア含む。ローム混じり。粘質土。

第2層 黒褐色土 きめ粗い。しまり弱い。径1~4mmの黒色スコリア多量、大量の木製品他、遺物を含む。砂質土。

第3層 暗灰黑色土 きめ非常に細かい。粘性強い。しまり弱い。径1~2mmの黒色スコリア含む。粘質土。



第544図 8区・9区・調整池②区C 9~11号土坑 [1/60]

**C 10号土坑** (第544図、図版124-4)

U 16グリッドで検出された。確認面は標高22.1mを測る。東側が調査区外に延びている。橢円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長径1.67m、残存短径1.52mを測る。確認面からの深さは0.28mを測る。西側には、長さ0.69m、幅0.28~0.34m、高さ0.10mの段差が確認出来る。北側には長径0.36m、短径0.32m、深さ0.12mのピット1基が確認できる。

覆土は暗茶褐色土と暗灰褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層に炭化物粒を微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕1点(152.1g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 11号土坑** (第544~549図、第124表、図版124-5・125-1・173-2・176-2・177・178-1・178-2・179-1・179-2)

T 15グリッドで検出された。確認面は標高22.1mを測る。南側をC 15号土坑に、西側をC 165号ピットに切られている。不整形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。残存長軸3.09m、短軸2.04mを測る。確認面からの深さは0.62mを測る。

覆土は暗茶褐色土・黒褐色土・暗灰黑色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第2層には大量の木製品を含む。

遺物は、舶載磁器碗1点(41.9g)、常滑窯の陶器甕1点(287.0g)、かわらけ4点(31.4g)、鉄製品の釘1点(10.6g)、石製品の砥石1点(44.4g)、木製品の下駄・田下駄・荷駄鞍・木地皿・桶側板・棒状製品・板状製品・杭等58点の計68点(415.3g)が出土している。図化したのは、以下の16点である。

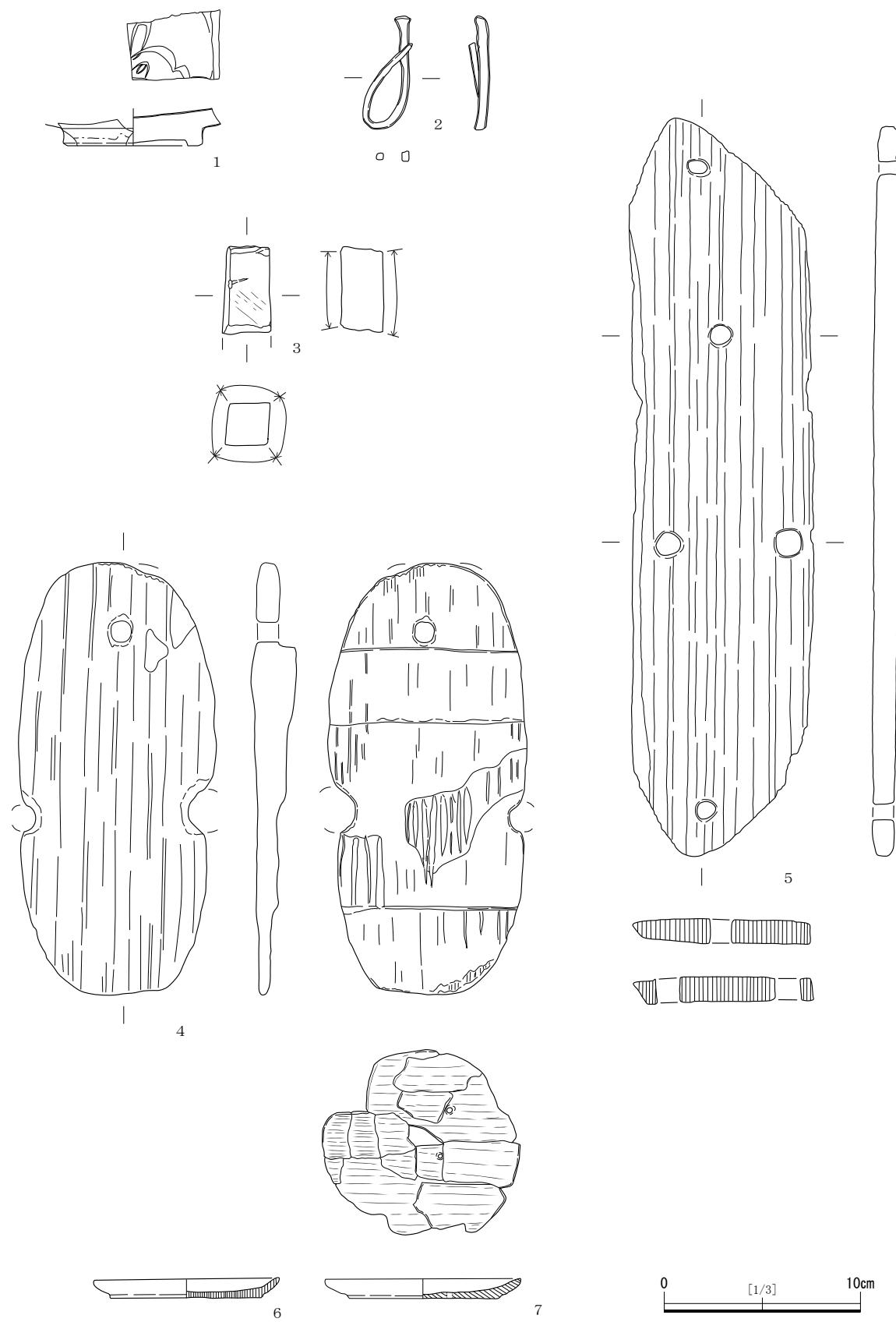
第545図1は舶載磁器の龍泉窯青磁劃花文碗の底部である。素地は褐灰色、高台部分は無釉である。13世紀中頃~後半の製品である。

第545図2は鉄製の釘である。ほぼ完形で、全体が輪状に曲がっている。

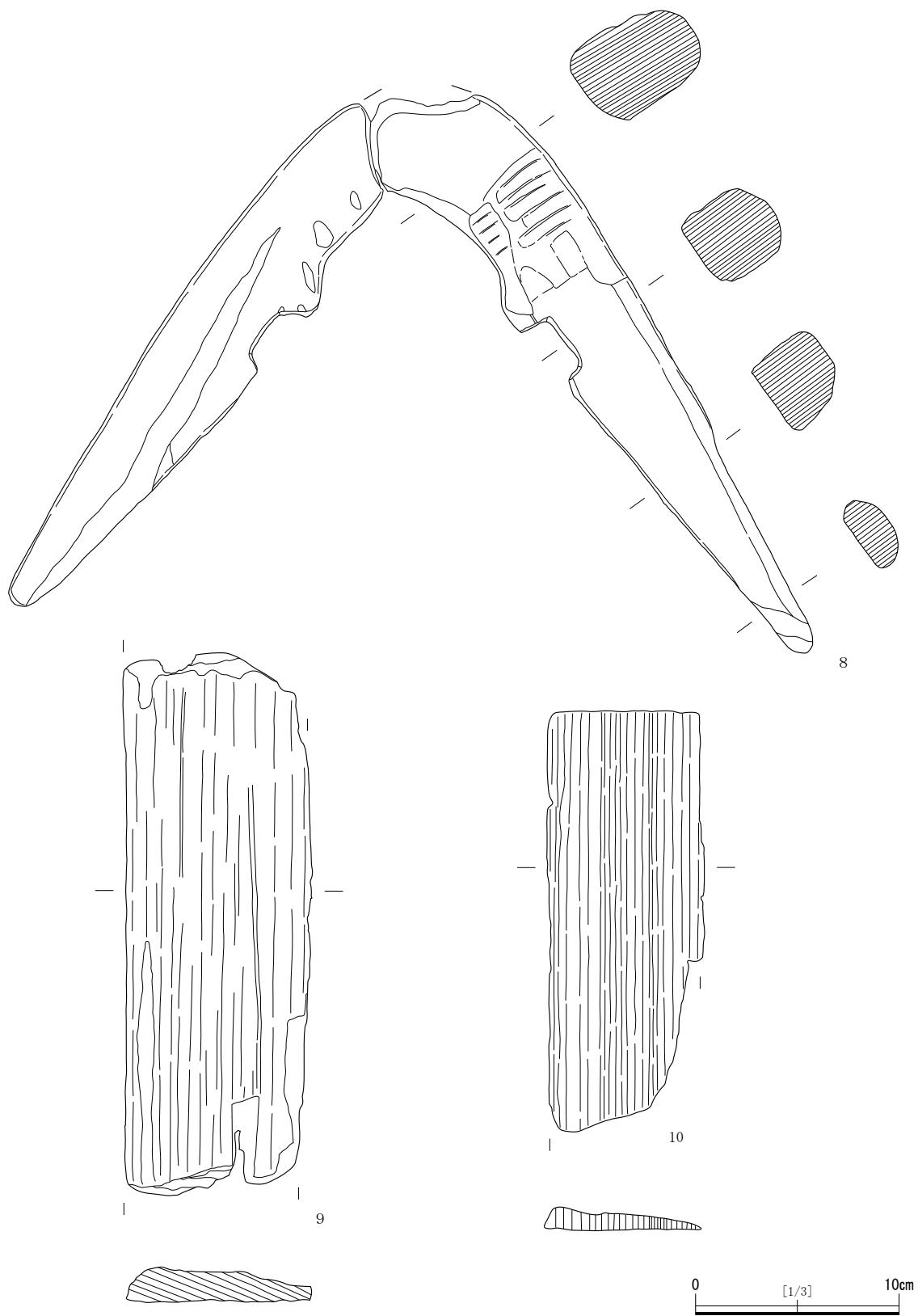
第545図3は石製の砥石である。上下面と両側面の4面を使用している。石材は変質流紋岩である。

第545図4~7、第546図8~10、第547図11~13、第548図14・15、第549図16は木製品である。4は連歯下駄である。台部はほぼ完形、鼻緒後ろ穴部分一部と歯部分が欠損している。樹種はスギである。5は田下駄である。径1.2~1.6cmの鼻緒孔が3ヶ所、径1.0cmと1.2cmの枠取り付け穴が前後に2ヶ所残る。樹種はスギである。6・7は木地皿で、削り出し平高台である。7には径0.2cmと0.3cmの穿孔2ヶ所残っている。轆轤に固定するための穴か、詳細は不明である。樹種はケヤキ属。第546図8は荷駄鞍の前輪である。内側の左右に切り組部分が2ヶ所残っている。樹種はクスノキ属である。9・10は桶の側板である。端部欠損、いずれも樹種はスギである。第547図11~13は桶の底板である。13の端部は欠損している。樹種はいずれもスギである。第548図14は棒状製品で、農具の柄と考えられる。樹種はスギである。15は板状製品で、用途は不明である。樹種はクリである。第549図16は棒状製品である。断面形は円形で、ほぼ中央に、縦8.4cm、幅3.8cm、深さ1.2~1.8cmで掘り窪めている。部材の一部と考えられる。樹種はクスノキ属である。

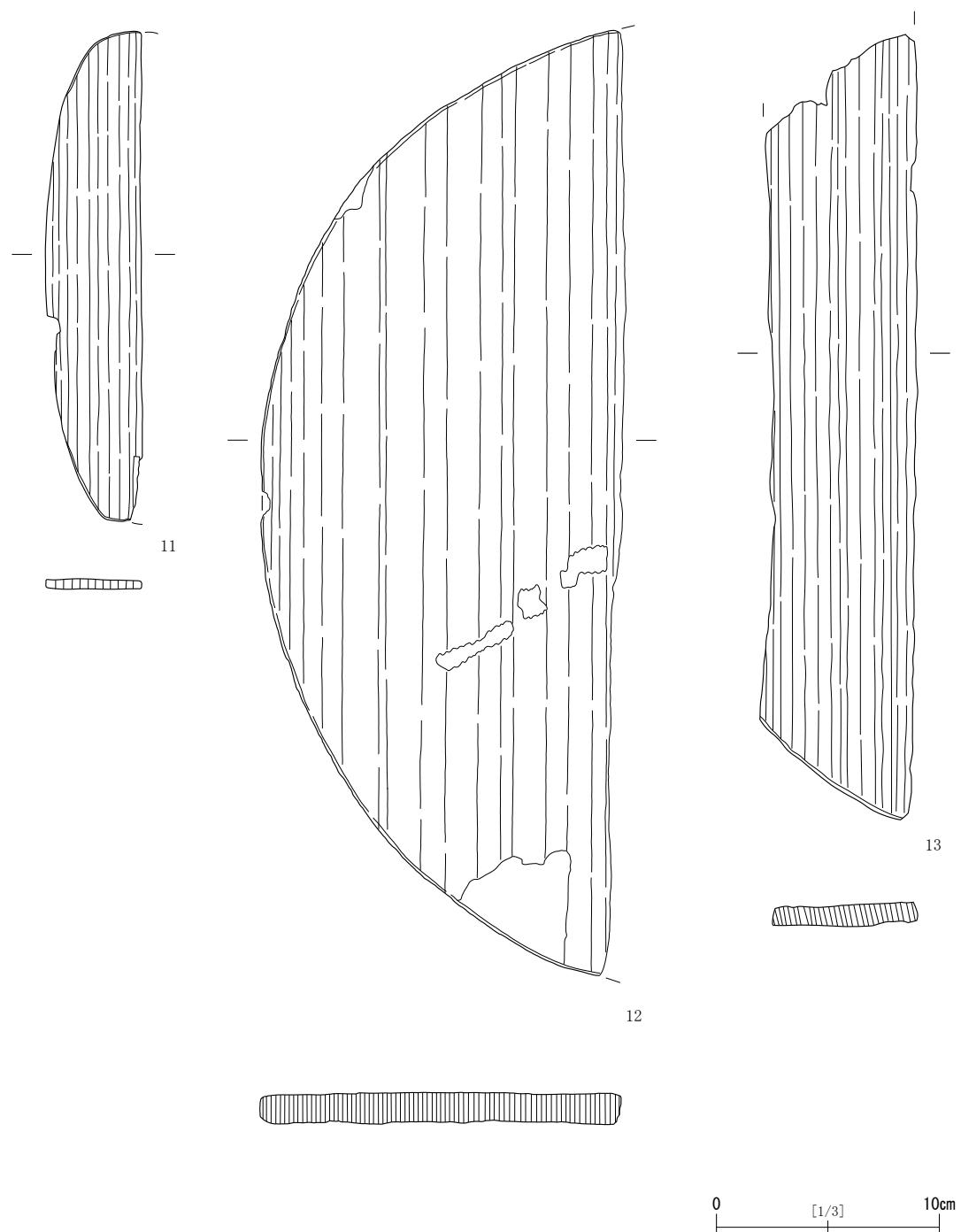
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



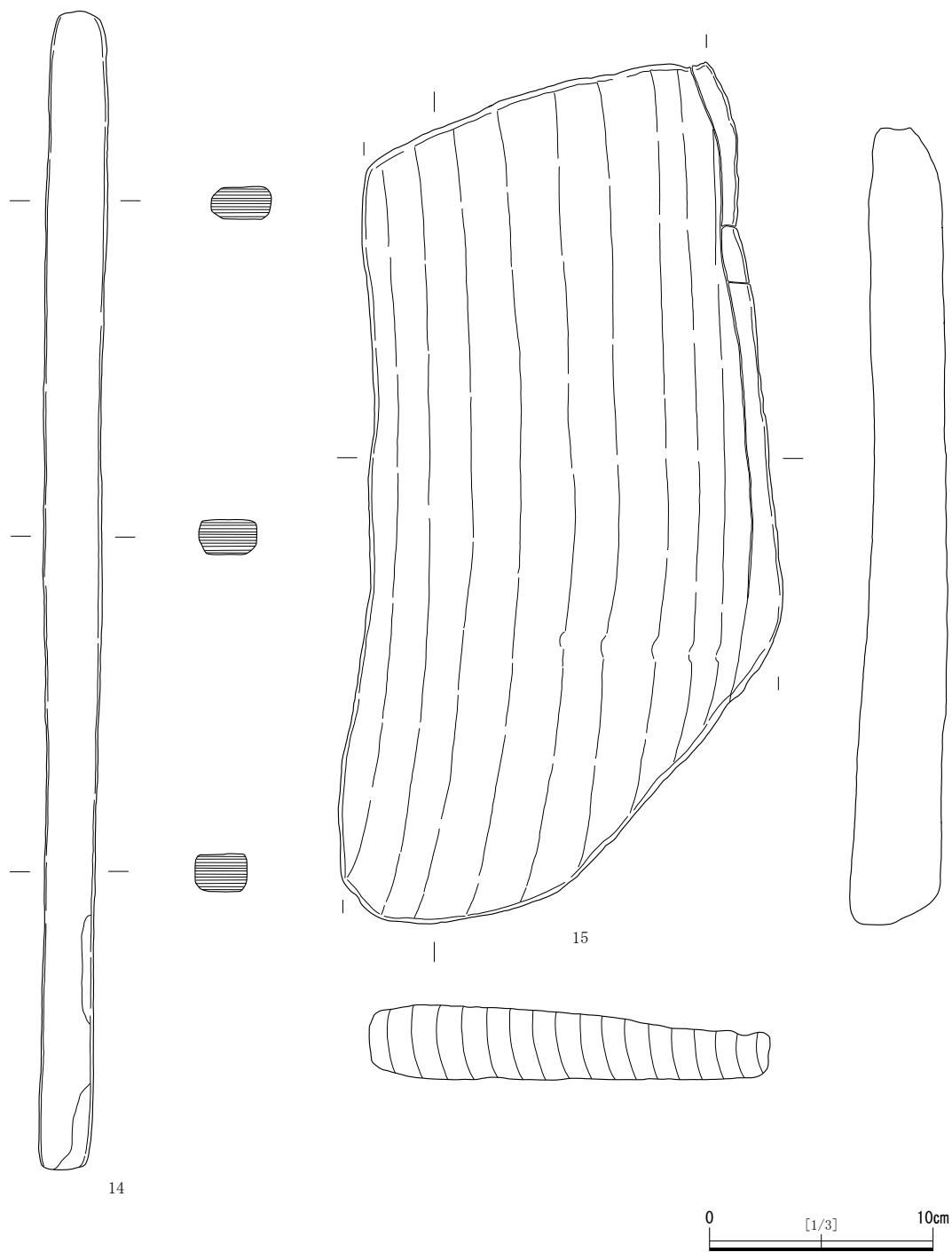
第545図 8区・9区・調整池②区C11号土坑出土遺物(1) [1/3]



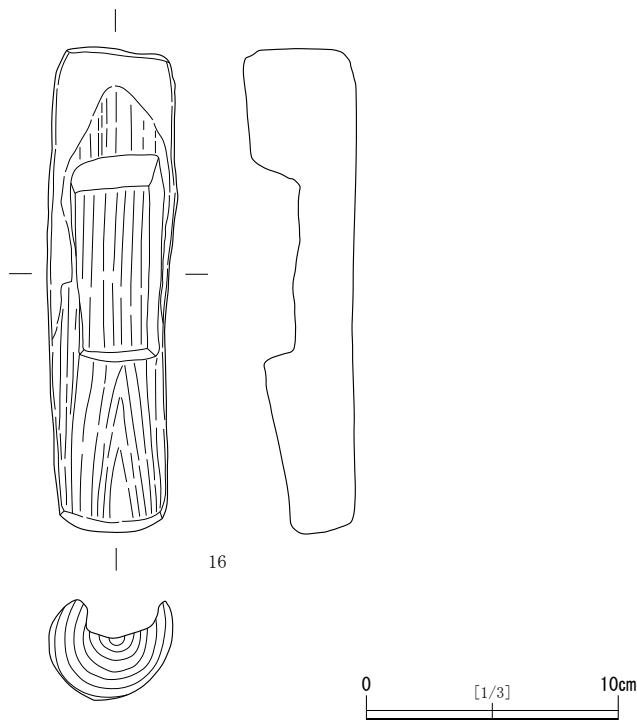
第546図 8区・9区・調整池②区C11号土坑出土遺物(2) [1/3]



第547図 8区・9区・調整池②区C11号土坑出土遺物(3) [1/3]



第548図 8区・9区・調整池②区C11号土坑出土遺物(4) [1/3]



第549図 8区・9区・調整池②区C11号土坑出土遺物(5) [1/3]

第124表 8区・9区・調整池②区C11号土坑出土遺物観察表 [第545～549図]

No.	器種	種別	( ) = 現存値 ( ) = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容	
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)						
1	青磁 劃花文碗	磁器	—	[6.2]	(1.4)	41.9	底部1/8	中国 龍泉窯	13世紀 中頃 ～後半	素地 褐灰色、緻密 燒成 堅 緻 稕葉 オリーブ黄色青磁 備考 高台部無釉	
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容				
2	釘	鉄	12.6	0.4	0.6	10.6	残存度 完形 カ 備考 全体が輪状に曲がる				
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容			
3	砥石	変質 流紋岩	(4.5)	2.5	2.2	44.4	両端部 欠損	備考 上野砥(中砥)、上下面・両側面の4面 使用			
No.	器種	樹種	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)		観察内容				
4	下駄	スギ	22.0	(10.0)	最大厚 2.2	残存度 台部ほぼ完形、鼻緒後ろ穴部分一部・歯部分欠損 備考 前 つぼ径1.0cm、連歯下駄					
5	田下駄	スギ	37.6	9.2	1.3	残存度 ほぼ完形 カ 備考 鼻緒孔3ヶ所・径1.2～1.6cm、枠取り付 け穴前後2ヶ所径1.0・1.2cm					
6	木地皿	ケヤキ 属	9.3	7.8	1.0	残存度 ほぼ完形 備考 削り出し平高台					
7	木地皿	ケヤキ 属	10.0	7.7	1.0	残存度 口縁部～体部3ヶ所欠損、底部完存 備考 削り出し平高 台、径0.2cmと0.3cmの穿孔2ヶ所残、輻轆に固定するための穴か					

8	鞍前輪	クスノキ属木	(27.4)	39.5	4.5	残存度 ほぼ完形 備考 切り組部分左右2ヶ所残
9	桶側板	スギ	(26.7)	(9.1)	1.7	残存度 両端部欠損
10	桶側板	スギ	(20.7)	(7.7)	1.0	残存度 端部欠損
11	桶底板	スギ	22.0	(4.3)	0.4	残存度 1/3以下と推定
12	桶底板	スギ	42.4	(16.2)	1.4	残存度 1/2以下
13	桶底板	スギ	(35.3)	(6.5)	1.0	残存度 端部欠損
14	棒状製品	スギ	51.8	2.7	1.6	残存度 裏面一部欠損 備考 農具の柄と推定、断面隅丸方形
15	板状製品	クリ	35.5	18.6	4.2	残存度 ほぼ完形か 備考 詳細な用途不明
16	棒状製品	クスノキ属	19.4	5.1	2.3～4.5	残存度 完形 備考 縦8.4cm・幅3.8cm・深さ1.2～1.8cmで掘り窪める、断面楕円形、砥石台か

**C 12号土坑(第550図)**

T 15グリッドで検出された。確認面は標高22.7mを測る。C 5号溝状遺構を切っている。歪んだ隅丸方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸1.04m、短軸0.84mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は暗黒褐色土の単層で、黒色スコリアを多量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 13号土坑(第550図)**

T・U 15グリッドで検出された。確認面は標高21.8mを測る。楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径1.18m、短径0.98mを測る。確認面からの深さは0.19mを測る。

覆土は暗黒褐色土の単層で、黒色スコリアを多量に含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

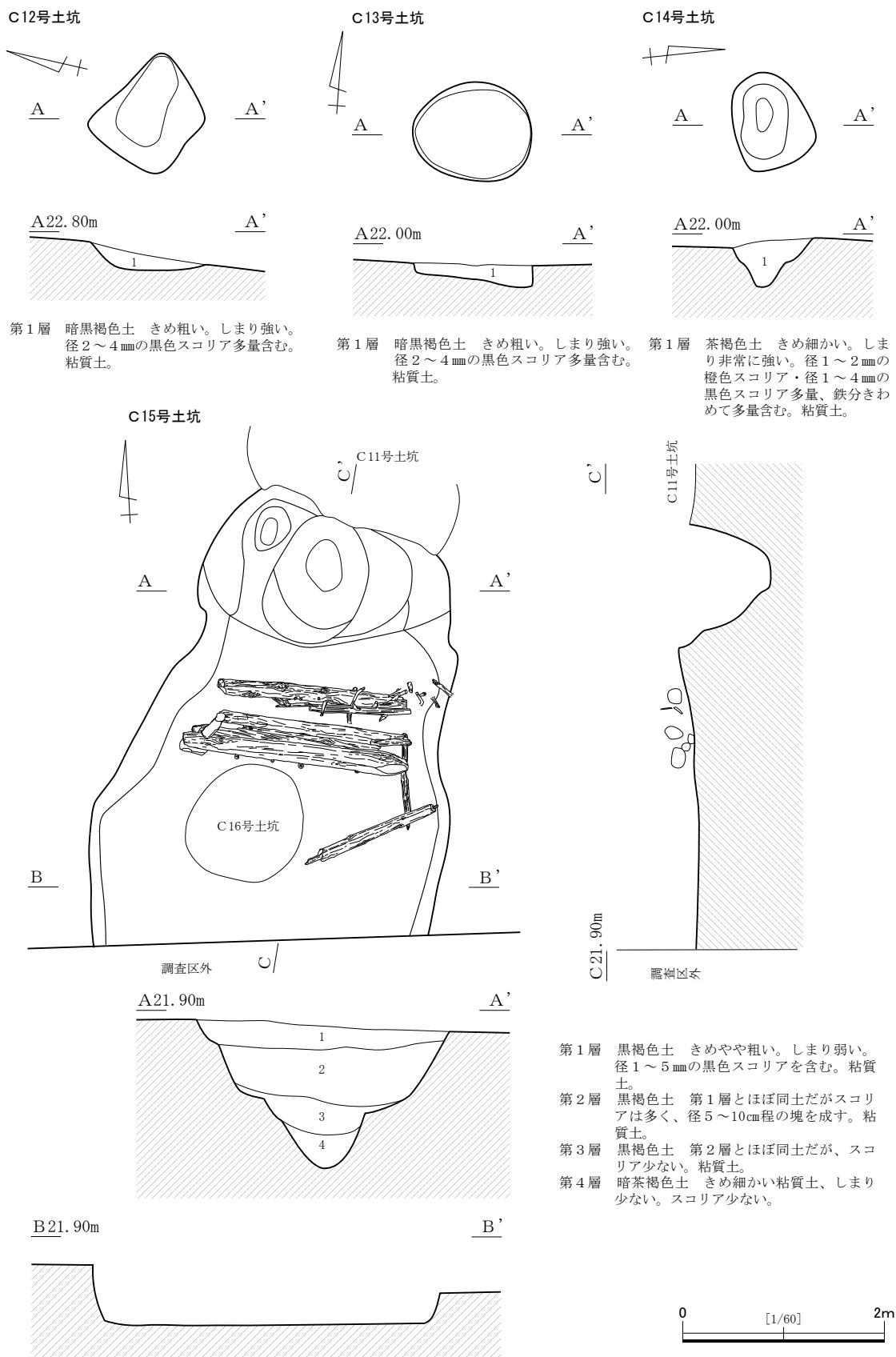
**C 14号土坑(第550図)**

T 16グリッドで検出された。確認面は標高21.9mを測る。楕円形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長径0.98m、短径0.79mを測る。確認面からの深さは0.46mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。遺構の時期は、

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



**C 15号土坑** (第550・551図、第125表、図版125-1~3・126-1・180)

T・U 15グリッドで検出された。確認面は標高21.8mを測る。北側がC 11号土坑に切られ、南側をC 16号土坑に切られている。南側が調査区外に延びている。不整形のプランを呈する。断面は北側が漏斗状の掘り込み、南側は逆台形のプランを呈する。残存長軸4.14m、短軸2.84mを測る。確認面からの深さは北側1.42m、南側0.23~0.62mを測る。南側の覆土中には、長さ1.86~2.26m、径0.13~0.18m程度の木製杭が、径0.10m程度の縦杭で留められた状態で確認された。北側の深い部分では、長さ1.34~1.70m、幅0.12~0.18mの板材・杭等が確認されている。本来ならば南側の平坦な部分にあり、移動したものと考えられる。これらの木材は、作業時の足場として使用されたと考えられるが、詳細は不明である。

覆土は黒褐色土と暗茶褐色土の4層で構成され、黒色スコリアを含む粘質土である。

遺物は、舶載磁器の碗2点(9.2g)、瀬戸窯の陶器碗1点(1.2g)、常滑窯の陶器片口鉢1点(7.2g)、甕1点(59.7g)、かわらけ2点(5.0g)、木製品の板状製品・棒状製品・杭35点の計42点(82.3g)が出土している。図化したのは、以下の4点である。

第551図1は舶載磁器の白磁玉縁碗である。素地は灰色で、黒色粒子を含む。12世紀中頃~後半の製品と考えられる。

第551図2~4は木製品である。2は板状製品で、詳細は不明である。樹種はスギである。3・4は杭である。3は先端部を五角形に加工して使用している。全体が彎曲している。樹種はスギである。4は両端部を斜めに加工して使用している。1/3程度で人為的に分割され、角は面取りが確認できる。樹種はムクノキである。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 16号土坑** (第553図)

U 15グリッドで検出された。確認面は標高21.9mを測る。C 15号土坑を切っている。楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径1.19m、短径1.10mを測る。確認面からの深さは0.23mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。鉄分をきわめて多量に含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 17号土坑** (第552・553図、第126表、図版125-4・177)

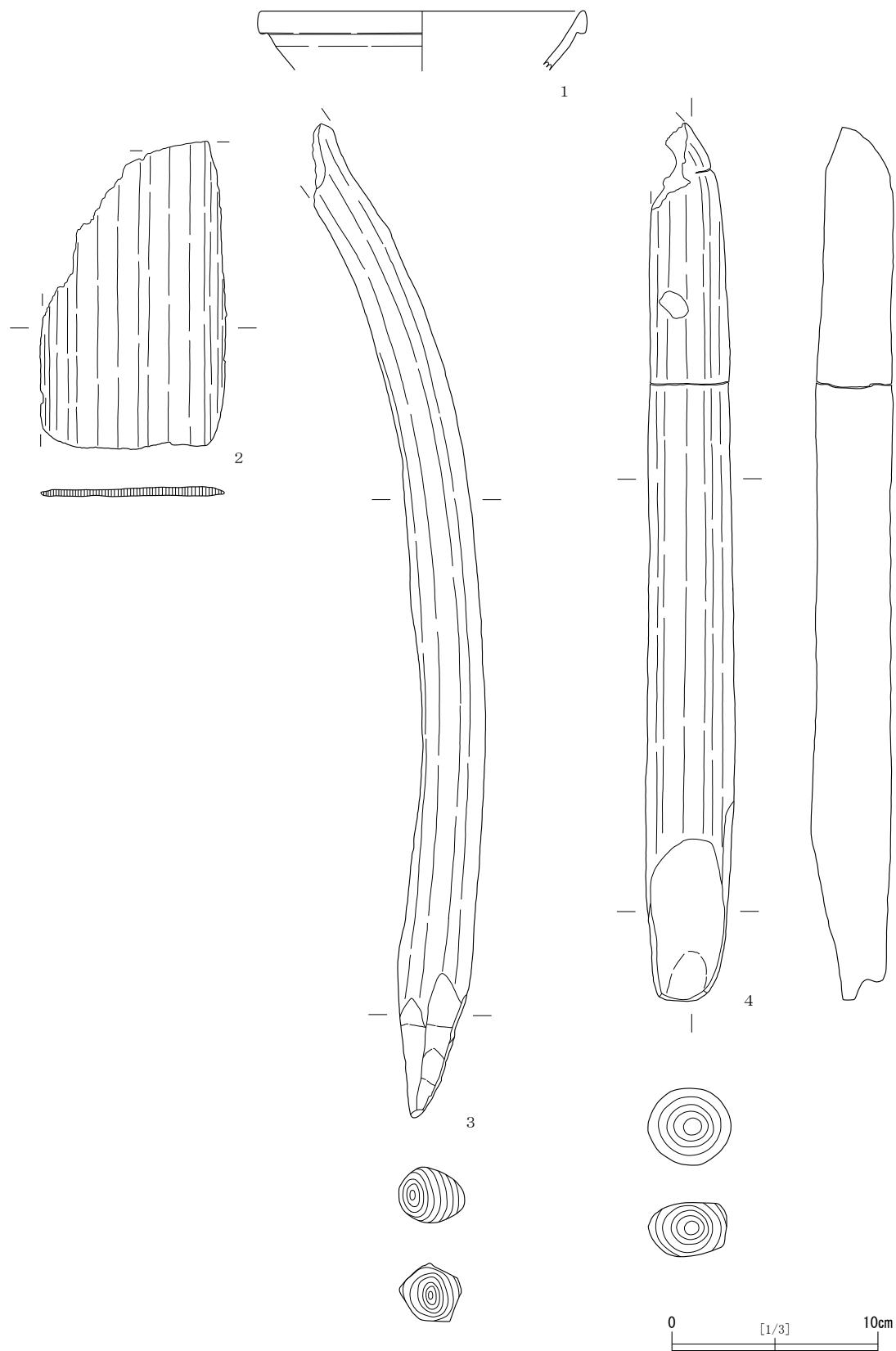
U 12グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径0.94m、短径0.80mを測る。確認面からの深さは0.10mを測る。

覆土は暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。乳褐色の粘土を少量、炭化物粒を微量含む。第2層には、焼土粒を微量含む。

遺物は、かわらけ7点(40.2g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第552図1はかわらけである。口径が9.4cmで中型に分類できる。胎土は橙色、角閃石・石英・砂粒・赤色スコリアを含む。底部で不明瞭であるが回転糸切り痕とスノコ痕が確認できる。14世紀後半~15世紀の製品と考えられる。

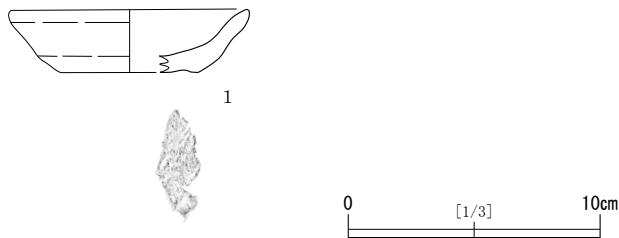
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第551図 8区・9区・調整池②区C15号土坑出土遺物 [1/3]

第125表 8区・9区・調整池②区C15号土坑出土遺物観察表 [第551図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	白磁 玉縁碗	磁器	[15.5]	—	(2.9)	8.8	口縁部1/12	中国	12世紀 中頃～後半	素地 灰色、緻密、黒色粒子を含む 焼成 堅緻 程度 灰白色
No.	器種	樹種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	観察内容				
2	板状 製品	スギ	(14.8)	(8.9)	0.4	残存度	周辺部欠損	備考	詳細は不明	
3	杭	スギ	(48.2)	3.2	2.7	残存度	上端部欠損	備考	先端部五角形に成形	
4	杭	ムク ノキ	(42.6)	4.0	3.7	残存度	上端部欠損	備考	両端部斜めに加工	



第552図 8区・9区・調整池②区C17号土坑出土遺物 [1/3]

第126表 8区・9区・調整池②区C17号土坑出土遺物観察表 [第552図]

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	かわらけ	土器	[9.4]	[5.5]	2.5	20.2	口縁1/16・ 体部1/4・ 底部1/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英・砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕・スノコ痕不明瞭

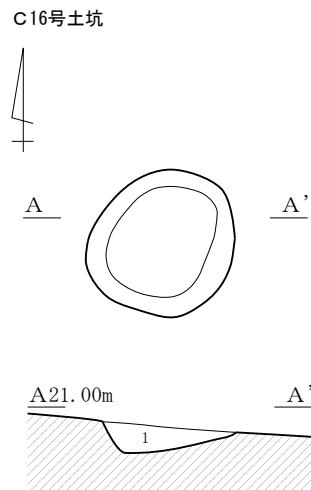
## C 18号土坑 (第553図、図版125-4)

U 12グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.12m、短径0.84mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

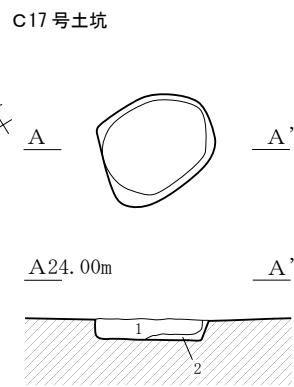
覆土は乳褐色土・茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土を少量、焼土粒・炭化物粒を微量含む。第2層は焼土粒を少量、炭化物粒を微量含む。第3層は底部は炭化物が主体の層である。西側と南側の底面には、長径0.22～0.30m、短径0.18～0.23m、深さ0.05～0.16mの規模のピット3基が確認できた。ピットの詳細は不明である。

遺物は、かわらけ2点(7.6g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

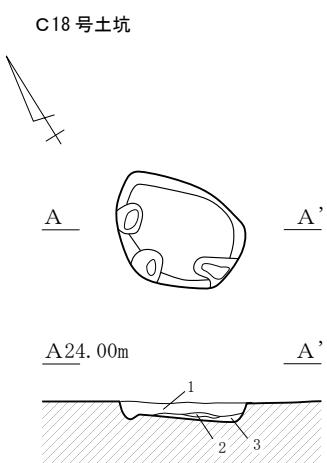
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



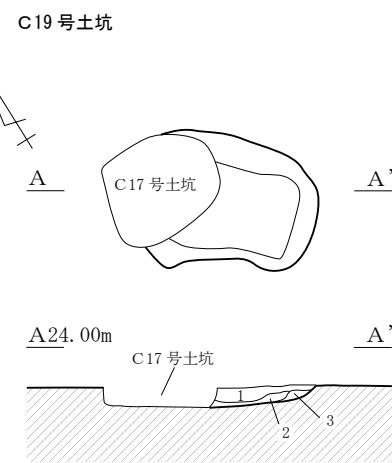
第1層 茶褐色土 粘め細かい。しまり非常に強い。径1~2mmの橙色スコリア・径1~4mmの黒色スコリア多量、鉄分きわめて多量含む。粘質土。



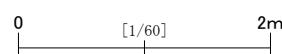
第1層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリアやや多量、径1~5mmの黒色スコリア微量、乳褐色粘土少量、ローム粒微量、炭化物粒微量含む。  
第2層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリアやや多量、径1~5mmの黒色スコリア微量、乳褐色粘土中量含、炭化物粒少量、焼土粒微量含む。



第1層 乳褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。茶褐色土少量、ローム粒微量、焼土粒微量、炭化物粒微量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量含む。、径1~5mmの黒色スコリア微量、焼土粒少量含む。炭化物粒微量、乳褐色粘土ブロック微量含む。  
第3層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、焼土粒少量、乳褐色粘土ブロック微量含む。底部は炭化物主体。



第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量径1~5mmの黒色スコリア微量、焼土粒微量、乳褐色粘土ブロック中量含む。  
第3層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。



第553図 8区・9区・調整池②区C16~19号土坑 [1/60]

**C 19号土坑** (第553図、図版125－4)

U 12 グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。西側をC 17号土坑に切られている。隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、皿状の掘り込みを持つ。残存長軸1.37m、短軸1.00mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層に炭化物粒を微量含む。第2層に乳褐色粘土をブロックで中量含む。

遺物は、かわらけ7点(41.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 20号土坑** (第554図、図版125－5)

U 12 グリッドで検出された。確認面は標高23.8mを測る。C 1766号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-34°-Eで、長軸1.55m、短軸1.08mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。乳褐色の粘土ブロックを含むが、第3層が一番多い。

遺物は、瓦質の火鉢3点(220.9g)、かわらけ1点(4.3g)の計4点(225.2g)が出土しているが、いずれも小破片で図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 21号土坑** (第554図、図版125－6)

V 11・12 グリッドで検出された。確認面は標高23.1mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-43°-Eで、長軸1.71m、短軸1.03mを測る。確認面からの深さは0.25mを測る。

覆土は明茶褐色土と茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量、乳褐色り粘土ブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

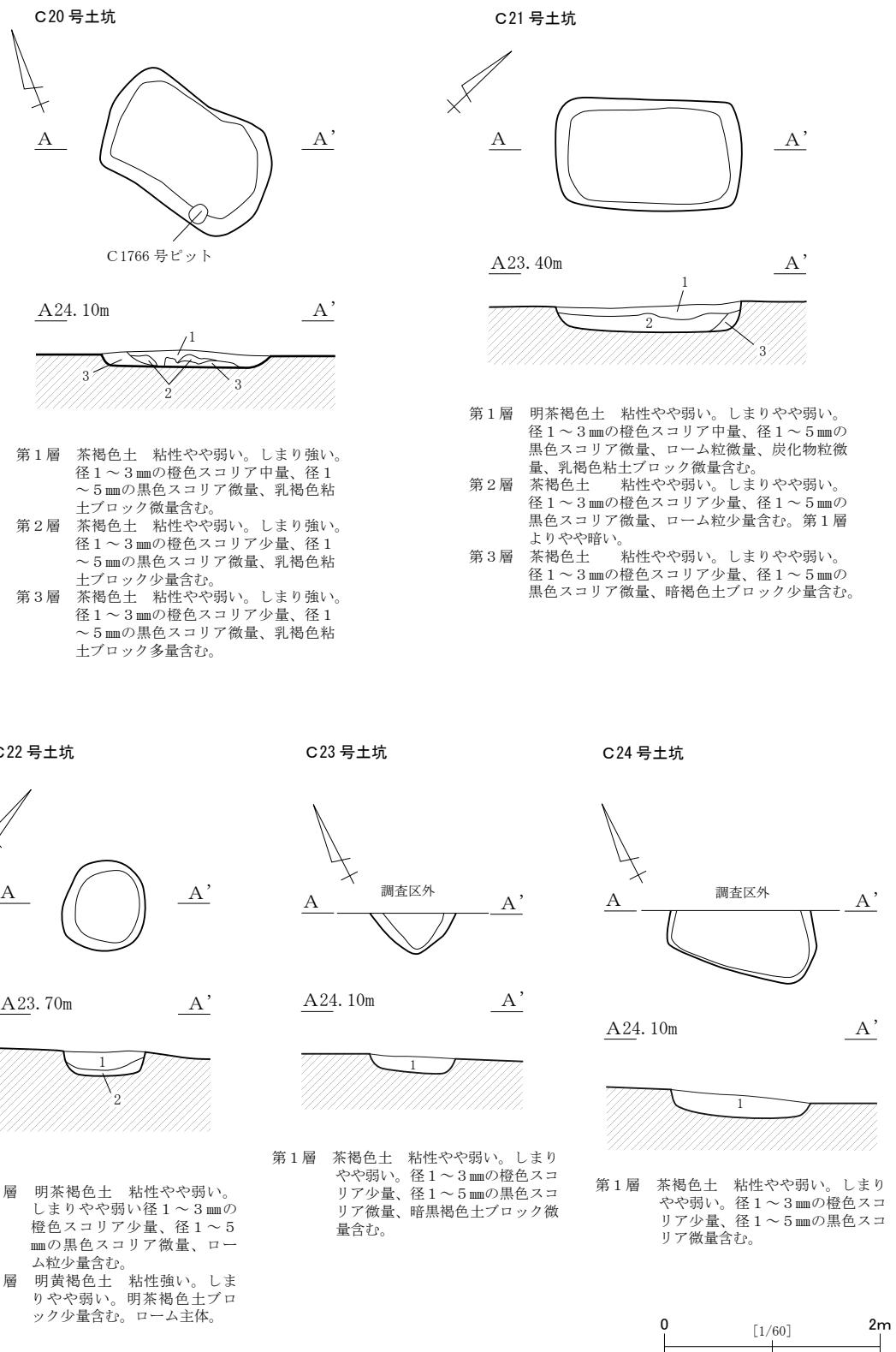
**C 22号土坑** (第554図、図版125－7)

V 11 グリッドで検出された。確認面は標高23.4mを測る。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.86m、短径0.77mを測る。確認面からの深さは0.23mを測る。

覆土は明茶褐色土と明黄褐色土の2層で構成され、明茶褐色土のブロックを少量含むローム主体層である。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第554図 8区・9区・調整池②区C20～24号土坑 [1/60]

**C 23号土坑（第554図、図版125－8）**

U 13グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。北側が調査区外に延びている。隅丸方形または隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、碗状の掘り込みを持つ。残存長軸0.81m、残存短軸0.54mを測る。確認面からの深さは0.15mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。暗黒褐色土のブロックを微量含む。遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 24号土坑（第554図、図版126－1）**

U 13グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。北側が調査区外に延びている。隅丸方形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸1.51m、残存短軸0.71mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。

遺物は、かわらけ3点(22.6g)が出土している。いずれも小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 25号土坑（第555図、図版126－2）**

U 11・V 11グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-52°-Wで、長軸1.48m、短軸1.08mを測る。確認面からの深さは0.31mを測る。

覆土は茶褐色土と明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 26号土坑（第555図）**

Y 11グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。C 341～343・376号ピットに切られている。隅丸方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸0.69m、短軸0.61mを測る。確認面からの深さは0.08mを測る。

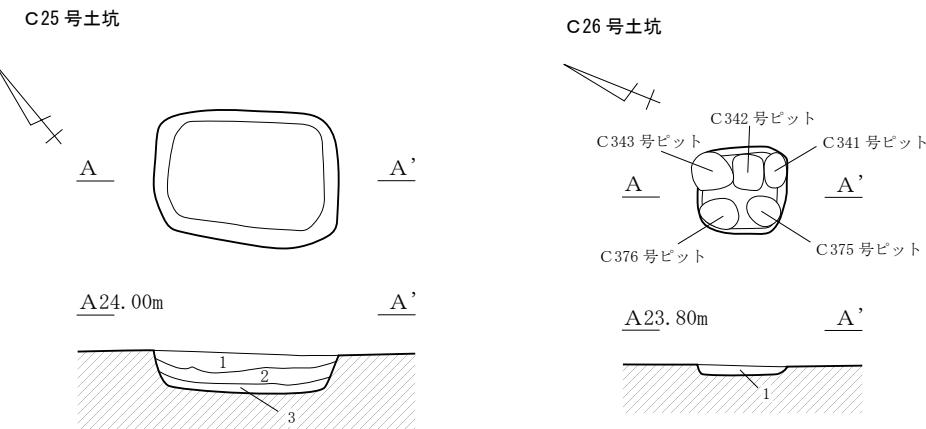
覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量、乳褐色の粘土ブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ2点(7.1g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 27号土坑（第555図、図版126－3）**

U 10グリッドで検出された。確認面は標高24.0mを測る。C 349号ピットに切られている。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-43°-Eで、長軸1.55m、短軸1.49mを

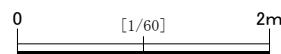
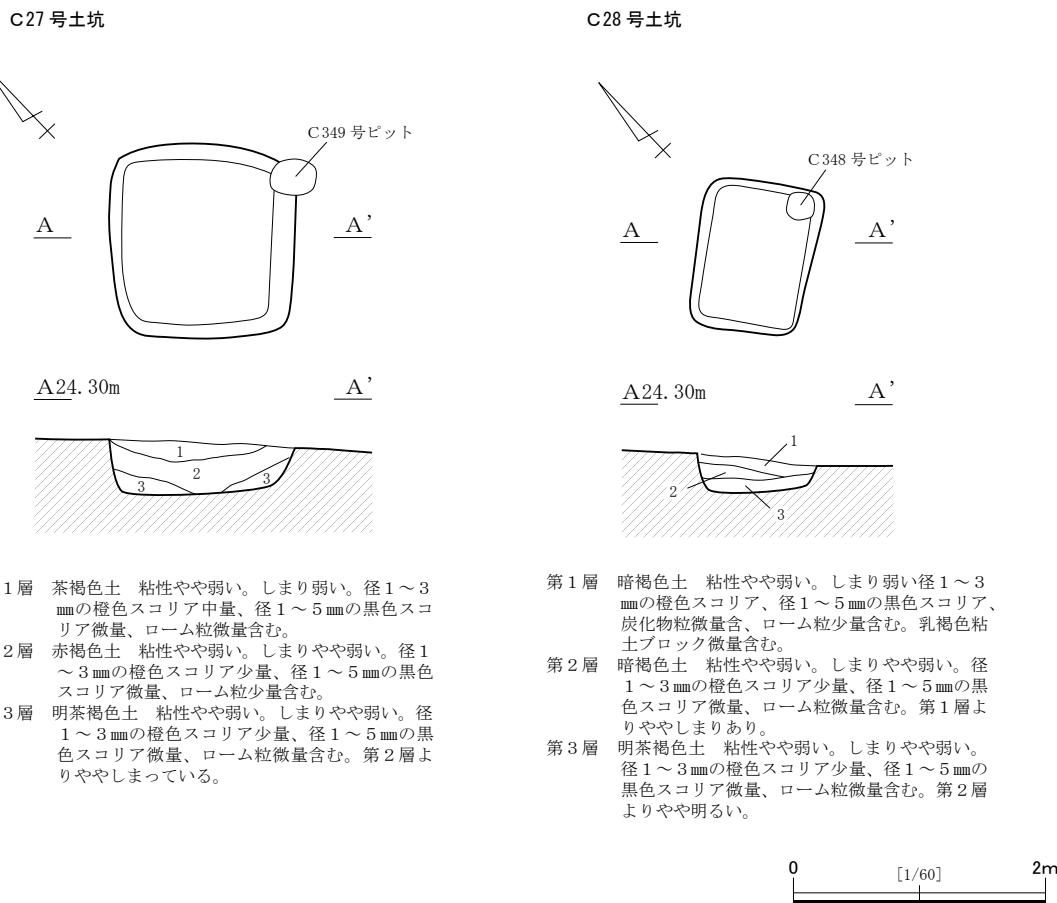


**第1層** 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒微量含む。

**第2層** 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒少量含む。第1層よりやや明るい。

**第3層** 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。第2層よりやや明るい。

**第1層** 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア、径1~5mmの黒色スコリア、ローム粒少量、炭化物粒微量、乳褐色粘土ブロック微量含む。



第555図 8区・9区・調整池②区C25~28号土坑 [1/60]

測る。確認面からの深さは0.43mを測る。

覆土は茶褐色土・赤褐色土・明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ3点(18.9g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 28号土坑(第555図、図版126-4)

U 10・11グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。C 348号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-53°-Eで、長軸1.22m、短軸0.91mを測る。確認面からの深さは0.31mを測る。

覆土は暗褐色土と明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量、乳褐色の粘土ブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ5点(21.1g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 29号土坑(第556図、図版126-5)

U 11・V 11グリッドで検出された。確認面は標高23.8mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-60°-Wで、長軸1.43m、短軸1.06mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ2点(5.3g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 30号土坑(第556図、図版126-6)

U 11グリッドで検出された。確認面は標高23.8mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-58°-Wで、長軸0.74m、短軸0.49mを測る。確認面からの深さは0.15mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ3点(19.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

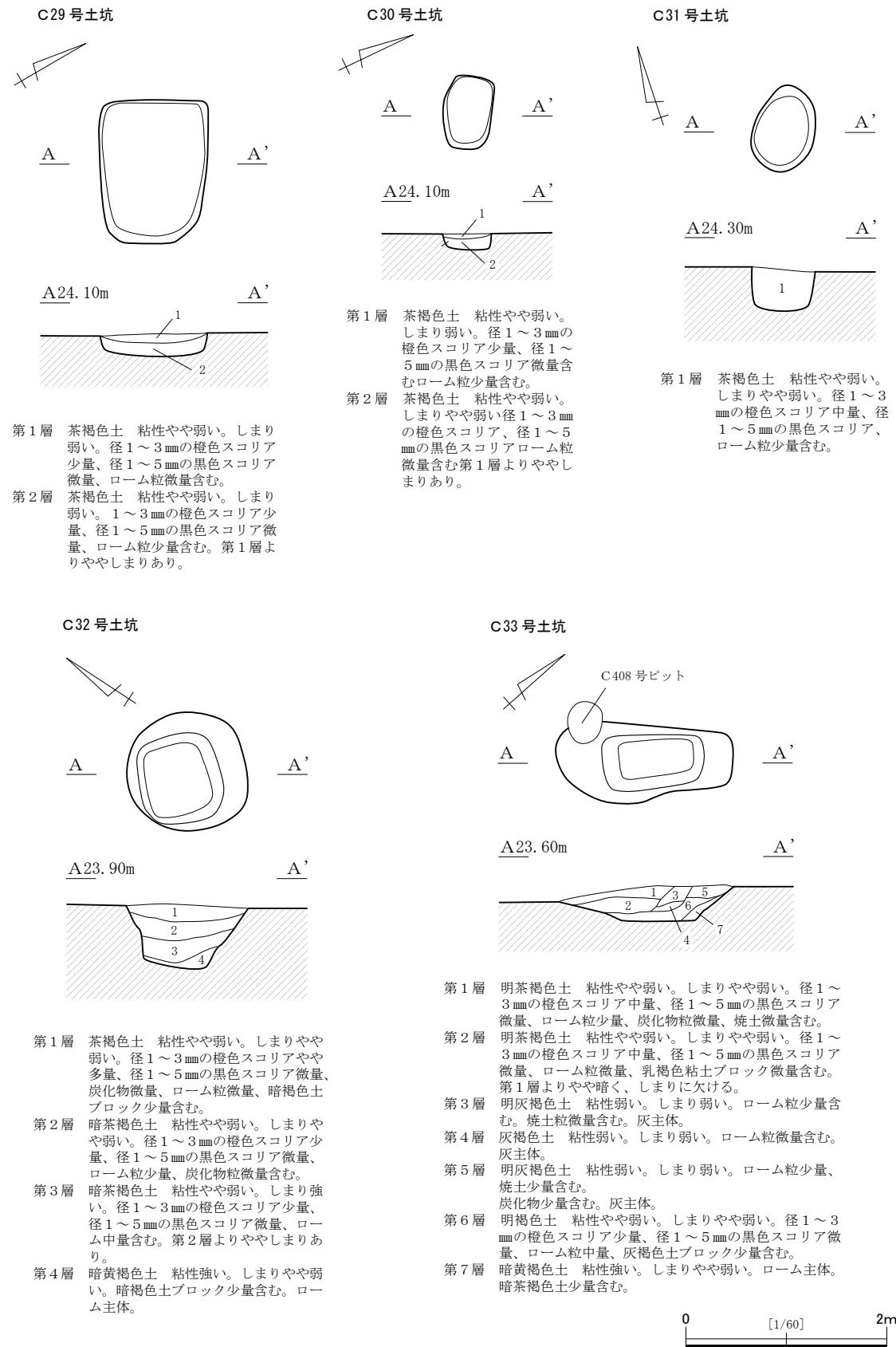
#### C 31号土坑(第556図、図版126-7)

U 10グリッドで検出された。確認面は標高24.0mを測る。橿円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径0.84m、短径0.64mを測る。確認面からの深さは0.44mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



**C 32号土坑（第556図、図版126－8）**

U 12・V 12グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。円形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長径1.18m、短径1.16mを測る。確認面からの深さは0.63mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・暗黄褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層には炭化物を微量含む。第1層には暗褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器の擂鉢1点(10.4g)、かわらけ2点(10.5g)の計3点(20.9g)が出土しているが、いずれも小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 33号土坑（第556図、図版127－1）**

V 11・12グリッドで検出された。確認面は標高23.3mを測る。C 7号竪穴状遺構を切っている。C 408号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-42°-Eで、長軸1.74m、短軸0.68mを測る。確認面からの深さは0.34mを測る。

覆土は明茶褐色土・明灰褐色土・灰褐色土・明褐色土・暗黄褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・3・5層には炭化物粒と焼土を含む。第3・4・5層は灰主体の層である。2層には乳褐色の粘土ブロック、第6層には灰褐色土のブロックを含む。

遺物は、かわらけ10点(45.9g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 34号土坑（第557図、図版127－2）**

V 12グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。C 148・149号土坑を切っている。楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-66°-Eで、長径1.22m、短径0.78mを測る。確認面からの深さは0.44mを測る。

覆土は明茶褐色土・明褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には乳褐色の粘土ブロックを微量、暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ2点(21.9g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

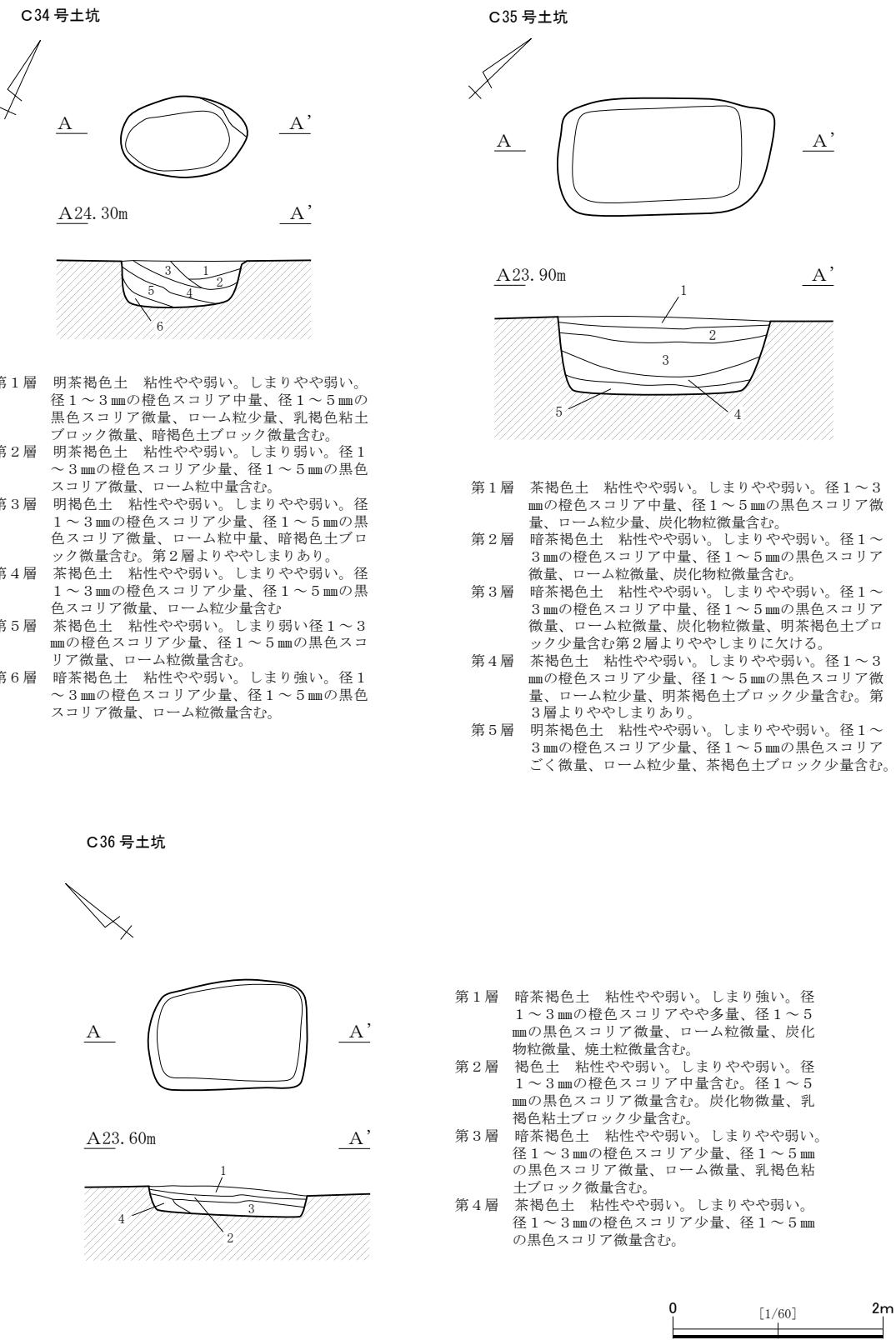
**C 35号土坑（第557図、図版127－3）**

V 11・12グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-44°-Eで、長軸2.02m、短軸1.12mを測る。確認面からの深さは0.74を測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1～3層には炭化物粒を微量含む。第3・4層には明茶褐色土をブロックで少量含む。第5層には茶褐色土をブロックで少量含む。

遺物は、かわらけ18点(78.8g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第557図 8区・9区・調整池②区C34~36号土坑 [1/60]

**C 36号土坑(第557図、図版127-4)**

W 10 グリッドで検出された。確認面は標高 23.2 m を測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位は N - 38° - W で、長軸 1.52 m、短軸 1.06 m を測る。確認面からの深さは 0.28 m を測る。

覆土は暗茶褐色土・褐色土・茶褐色土の 4 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第 1 ・ 2 層には炭化物粒と焼土粒を微量含む。第 2 層は乳褐色の粘土ブロックを少量、第 3 層は微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

**C 37号土坑(第558図、図版127-5)**

V 11 グリッドで検出された。確認面は標高 23.4 m を測る。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸 0.68 m、短軸 0.60 m を測る。確認面からの深さは 0.28 m を測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の 3 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第 1 層には炭化物粒を微量含む。

遺物は、かわらけ 2 点 (31.4 g) が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

**C 38号土坑(第558図)**

X 10 グリッドで検出された。確認面は標高 22.8 m を測る。C 579 号ピットに切られている。西側が膨らんだ方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸 1.56 m、短軸 1.32 m を測る。確認面からの深さは 0.22 m を測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の 5 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第 1 層には炭化物粒を微量含む。第 1 ・ 3 層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

**C 39号土坑(第558図、図版127-6)**

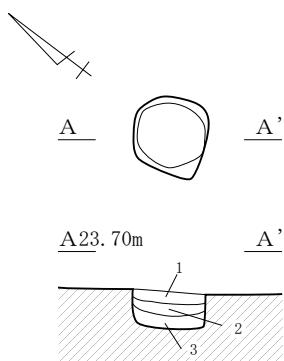
W 10 グリッドで検出された。確認面は標高 23.6 m を測る。C 491・492 号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位は N - 29° - W で、長軸 1.33 m、短軸 0.86 m を測る。確認面からの深さは 0.22 m を測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の 2 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第 1 層には炭化物を微量含む。第 2 層には茶褐色土を微量含む。

遺物は、かわらけ 4 点 (11.7 g) が出土しているが、小破片のため図化していない。

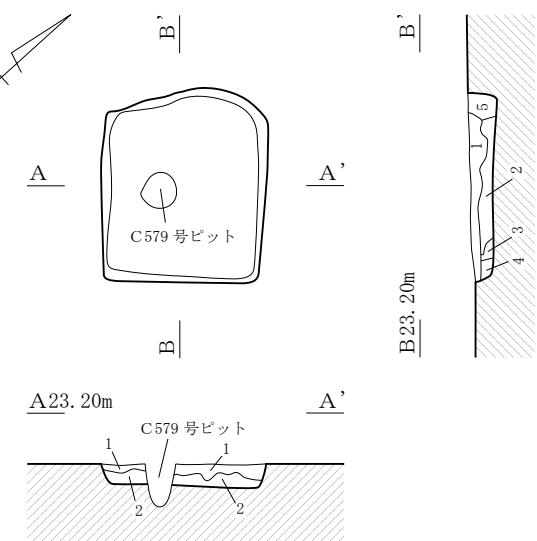
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

C37号土坑



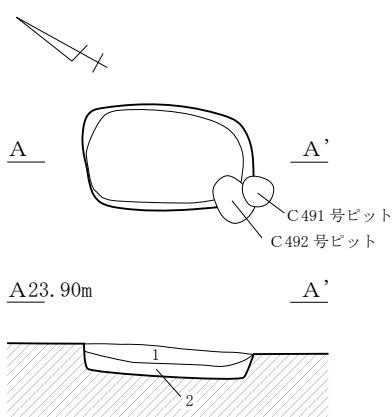
- 第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。橙色スコリアやや多量、黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。
- 第2層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。第1層よりややしまりに欠ける。
- 第3層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。第2層よりやや暗い。

C38号土坑



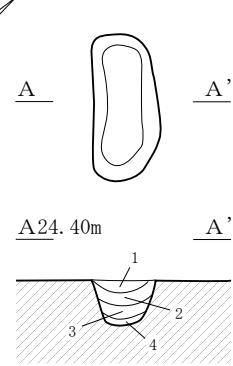
- 第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。橙色スコリアやや多量、黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒微量、暗褐色土ブロック微量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性・しまりあり。橙色スコリア中量、黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。第1層よりやや明るい。
- 第3層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。橙色スコリア少量、黒色スコリア微量、ローム粒少量、暗褐色土ブロック微量含む。
- 第4層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。第3層よりやや暗い。
- 第5層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア微量、径1~5mmの黒色スコリア少量、ローム粒微量含む。

C39号土坑

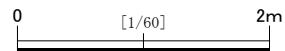


- 第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。1~3mmの橙色スコリア中量含む。1~5mmの黒色スコリア微量含む。炭化物粒微量含む。ローム粒微量含む。
- 第2層 暗茶褐色土 しまりやや弱い。粘性や。1~3mmの橙色スコリア少量含む。1~5mmの黒色スコリア微量含む。第1層よりやや暗くしまりに欠ける。茶褐色土微量含む。

C40号土坑



- 第1層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。
- 第2層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。
- 第3層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。第2層よりやや暗い。
- 第4層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。



第558図 8区・9区・調整池②区C37~40号土坑 [1/60]

**C 40号土坑(第558図)**

V 10グリッドで検出された。確認面は標高24.1mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-42°-Wで、長軸1.16m、短軸0.42mを測る。確認面からの深さは0.37mを測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ2点(3.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 41号土坑(第559・560図、第127表、図版174)**

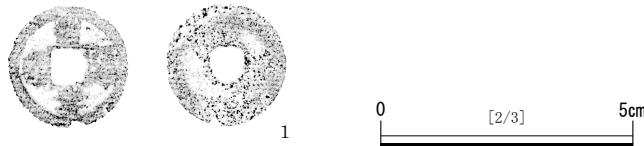
X 8グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。東側をC 14号溝状遺構に、西側をC 43号土坑に切られている。隅丸長方形または楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸0.64m、残存短軸0.31mを測る。確認面からの深さは0.25mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、銅錢1点(2.0g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第559図1は渡来銭の皇宋通寶で、鋳造国は北宋、初鑄年は1038年、書体は篆書である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第559図 8区・9区・調整池②区(8区②・9区西) C 41号土坑出土遺物 [2/3]

第127表 8区・9区・調整池②区(8区②・9区西) C 41号土坑出土遺物観察表 [第559図]

No.	銭名	材質	銭径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	皇宋通寶	銅	24.5	6.2	1.0	2.2	完形	鋳造国 北宋 初鑄年 1038年 備考 篆書

**C 42号土坑(第560図)**

V 12グリッドで検出された。確認面は標高22.8mを測る。東側をC 4号豊穴状遺構に切られている。歪んだ隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-28°-Eで、長軸1.51m、残存短軸1.01mを測る。確認面からの深さは0.26mを測る。

覆土は暗黄褐色土と茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土をブロックで中量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

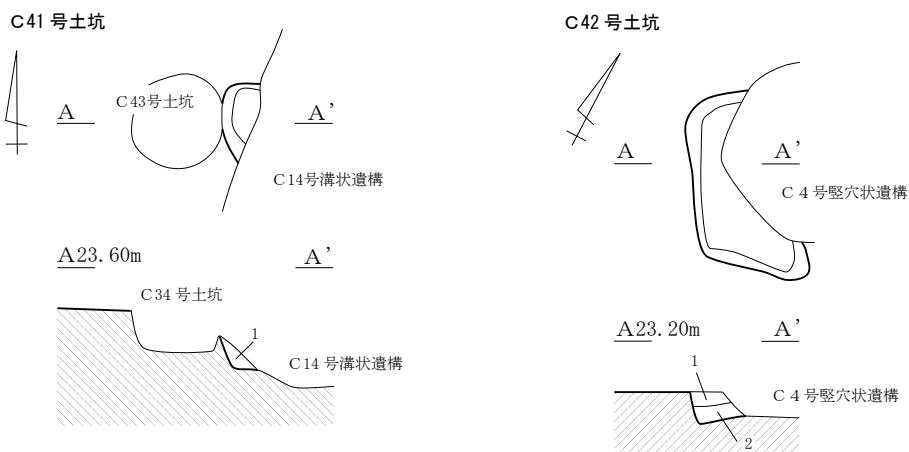
C 43号土坑(第560図)

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高 22.3 m を測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径 0.72 m、短径 0.71 m を測る。確認面からの深さは 0.34 m を測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の 5 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

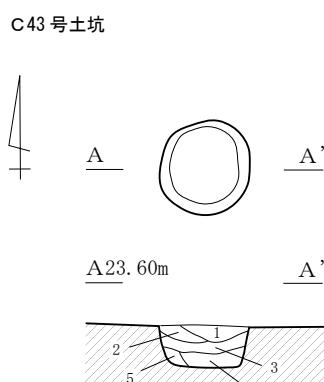
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

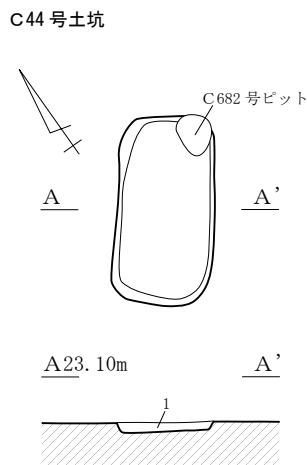


第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。径 1~3 mm の橙色スコリアやや多量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。

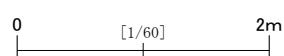
第1層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりやや弱い。茶褐色土ブロック中量含む。ローム主体。  
第2層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径 1~3 mm の橙色スコリア少量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。



第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。径 1~3 mm の橙色スコリアやや多量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径 1~3 mm の橙色スコリアやや多量、径 1~5 mm の黒色スコリア中量、ローム粒少量含む。第1層よりやや暗い。  
第3層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。径 1~3 mm の橙色スコリア中量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
第4層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径 1~3 mm の橙色スコリア中量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。第5層よりややしまりあり。  
第5層 明茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径 1~3 mm の橙色スコリア少量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。



第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。しまりやや弱い。径 1~3 mm の橙色スコリアやや多量、径 1~5 mm の黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。褐色土ブロック少量含む。



第560図 8区・9区・調整池②区C 41~44号土坑 [1/60]

**C 44号土坑（第560図、図版127－7）**

V 12・W 12グリッドで検出された。確認面は標高22.7mを測る。C 682号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-36°-Eで、長軸1.50m、短軸0.81mを測る。確認面からの深さは0.08mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ1点(1.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土遺物、周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 45号土坑（第561図、図版127－8）**

W 12グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-37°-Eで、長軸1.46m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.11mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には暗褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、瓦質の火鉢1点(4.7g)、かわらけ4点(11.2g)の計5点(15.9g)が出土しているが、いずれも小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土遺物、周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 46号土坑（第561図、図版128－1）**

V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。隅丸方形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸1.21m、短軸1.16mを測る。確認面からの深さは0.28mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層には炭化物粒を微量含み、第1層に乳褐色の粘土ブロック微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

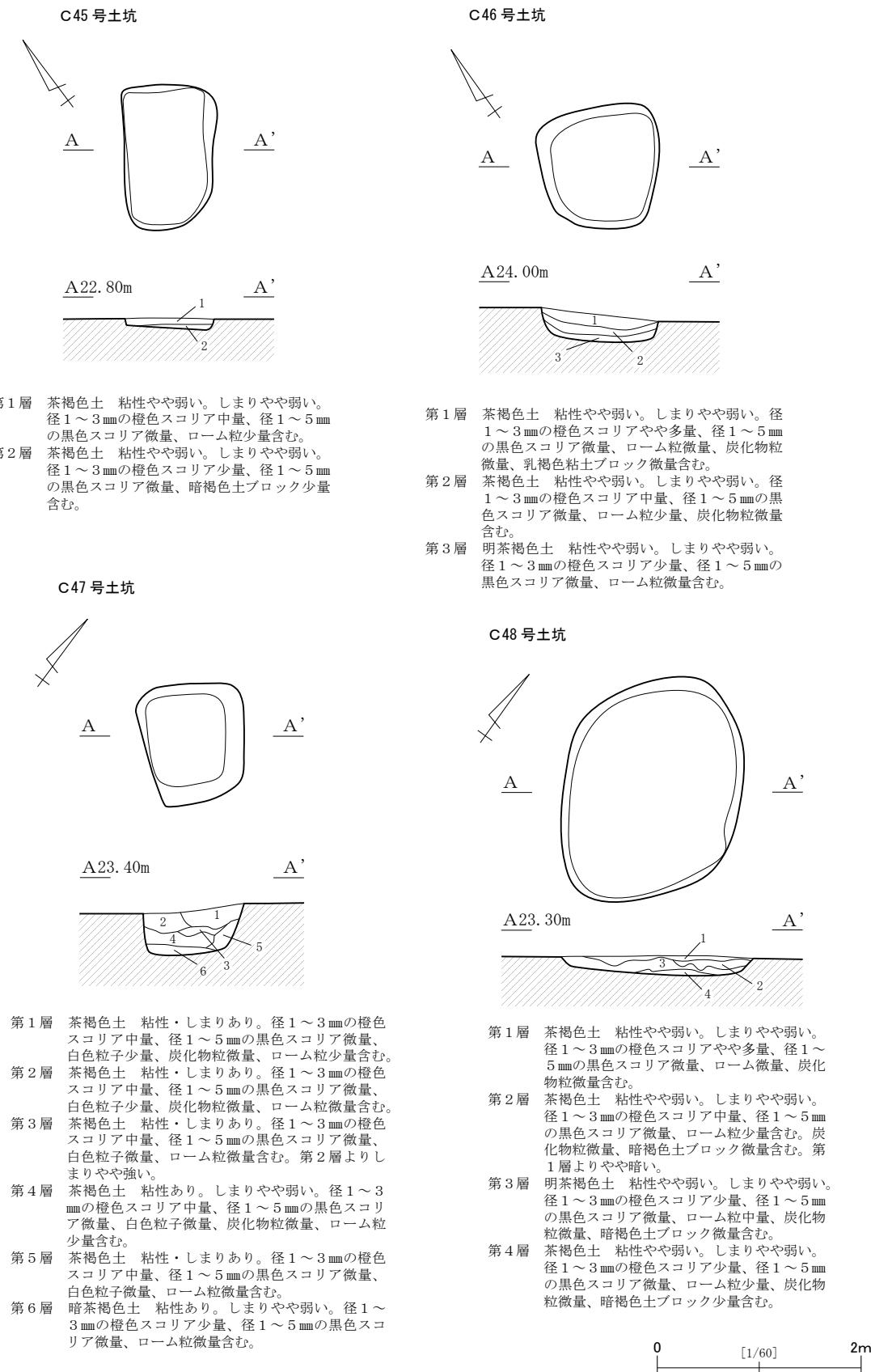
**C 47号土坑（第561図、図版128－2）**

V 11グリッドで検出された。確認面は標高23.1mを測る。方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸1.21m、短軸1.01mを測る。確認面からの深さは0.49mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・白色粒子・ローム粒を含む。第1・2・4層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第561図 8区・9区・調整池②区C45~48号土坑 [1/60]

## C 48号土坑(第561・562図、第128表、図版128-3・174-2・176-2)

W10・11グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。C 12・22号竪穴状遺構を切っている。歪んだ橢円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径2.23m、短径1.76mを測る。確認面からの深さは0.19mを測る。

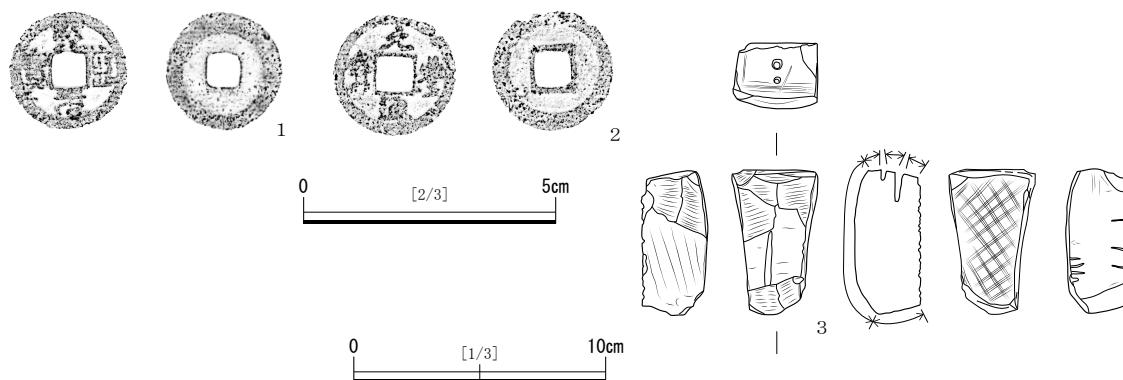
覆土は茶褐色土と明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1～3層には炭化物粒を微量含む。第2～4層には暗褐色土のブロックを含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕1点(120.7g)、渥美窯の陶器の甕1点(202.1g)、銅錢3点(4.8g)、石製品の砥石1点(66.9g)の計6点(394.5g)が出土している。図化したのは以下の3点である。

第562図1・2は渡来錢である。1は熙寧元寶で、鋳造国は北宋、初鑄年は1068年、書体は篆書である。2は元豊通寶で、鋳造国は北宋、初鑄年は1078年、書体は真書である。

第562図3は石製品の砥石である。上下面、両側面、上端部の5面を使用している。上面に格子状の擦痕、下面と両側面に細かい擦痕が残る。上端面に径4.0mm・深さ4.0mmと径2.0mm・深さ5.0mmの穿孔が2ヶ所確認できる。石材は変質流紋岩である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



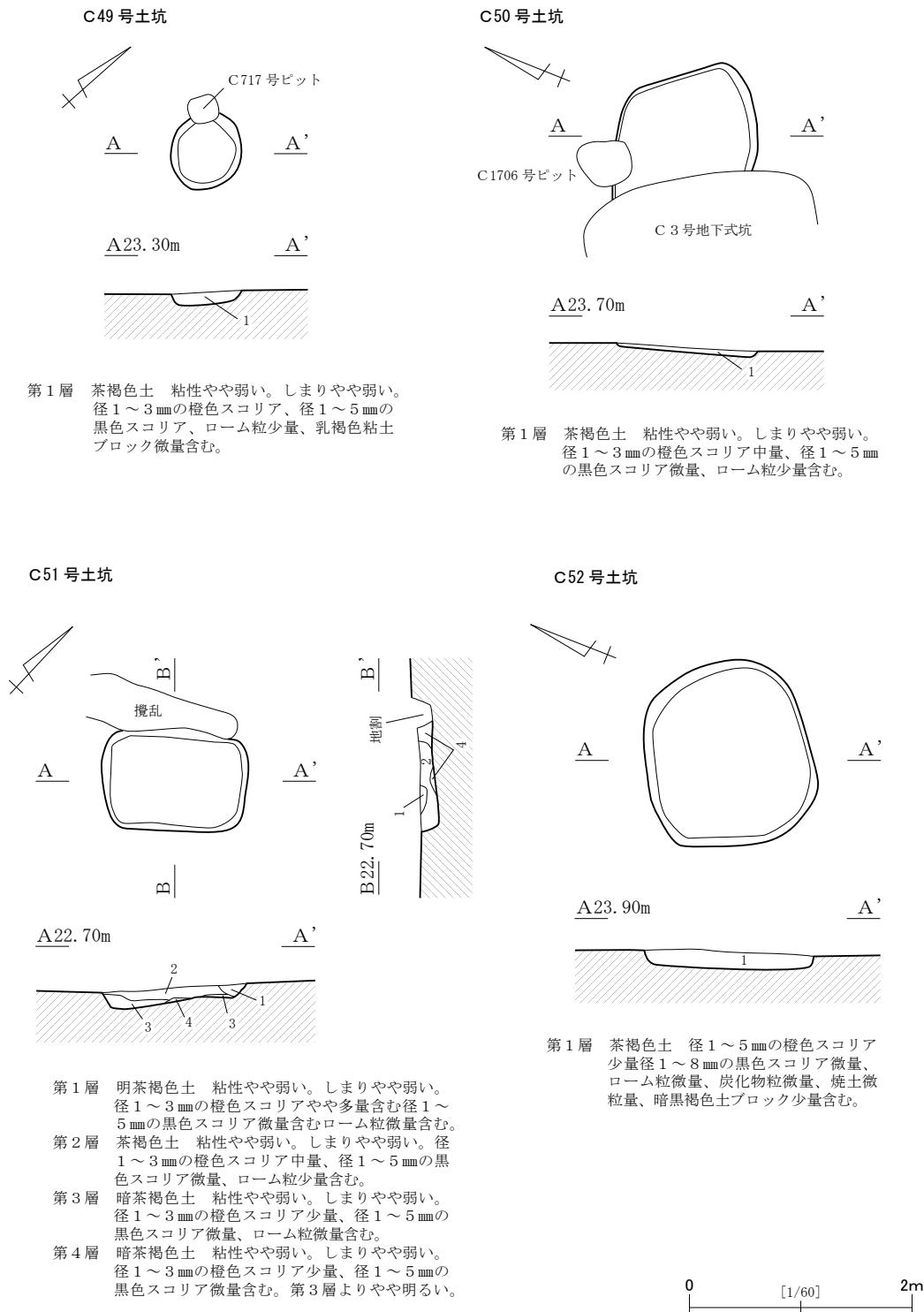
第562図 8区・9区・調整池②区C 48号土坑出土遺物 [2/3・1/3]

第128表 8区・9区・調整池②区C 48号土坑出土遺物観察表 [第562図]

No.	錢名	材質	錢径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	熙寧元寶	銅	23.7	6.7	1.1	2.6	完形	鋳造国 北宋 初鑄年 1068年 備考 篆書
2	元豊通寶	銅	24.3	7.0	0.8	1.5	完形	鋳造国 北宋 初鑄年 1078年 備考 真書
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容
3	砥石	変質 流紋岩	5.7	3.3	2.6	66.9	下端部 一部欠損	備考 上下面・両側面・上端部の5面使用、 上面に格子状の擦痕、下面・両側面に細かい 擦痕、上端面に径4.0mm・深さ4.0mmと径2.0 mm・深さ5.0mmの穿孔

## C 49号土坑(第563図、図版128-4)

W11グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。C 12号竪穴状遺構を切っている。C 717号ピットに切られている。円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径0.68m、短径0.64mを測る。確認面からの深さは0.11mを測る。



第563図 8区・9区・調整池②区C49～52号土坑 [1/60]

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。乳褐色の粘土ブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 50号土坑（第563図、図版128－5）

V 11グリッドで検出された。確認面は標高23.3mを測る。南西側をC 3号地下式坑に切られている。隅丸方形のプランを呈していると考えられ、皿状の掘り込みを持つ。残存長軸1.69m、残存短軸1.28mを測る。確認面からの深さは0.06mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ1点(35.2g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 51号土坑（第563図、図版128－6）

X 10・11グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。北西側を搅乱に切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-43°-Eで、長軸1.31m、残存短軸0.91mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 52号土坑（第563図、図版128－7）

U 12・13、V 12・13グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。C 55号土坑を切っている。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸1.66m、短軸.51mを測る。確認面からの深さは0.15mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量、焼土を微粒量含み、暗黒褐色土のブロックを少量含む。

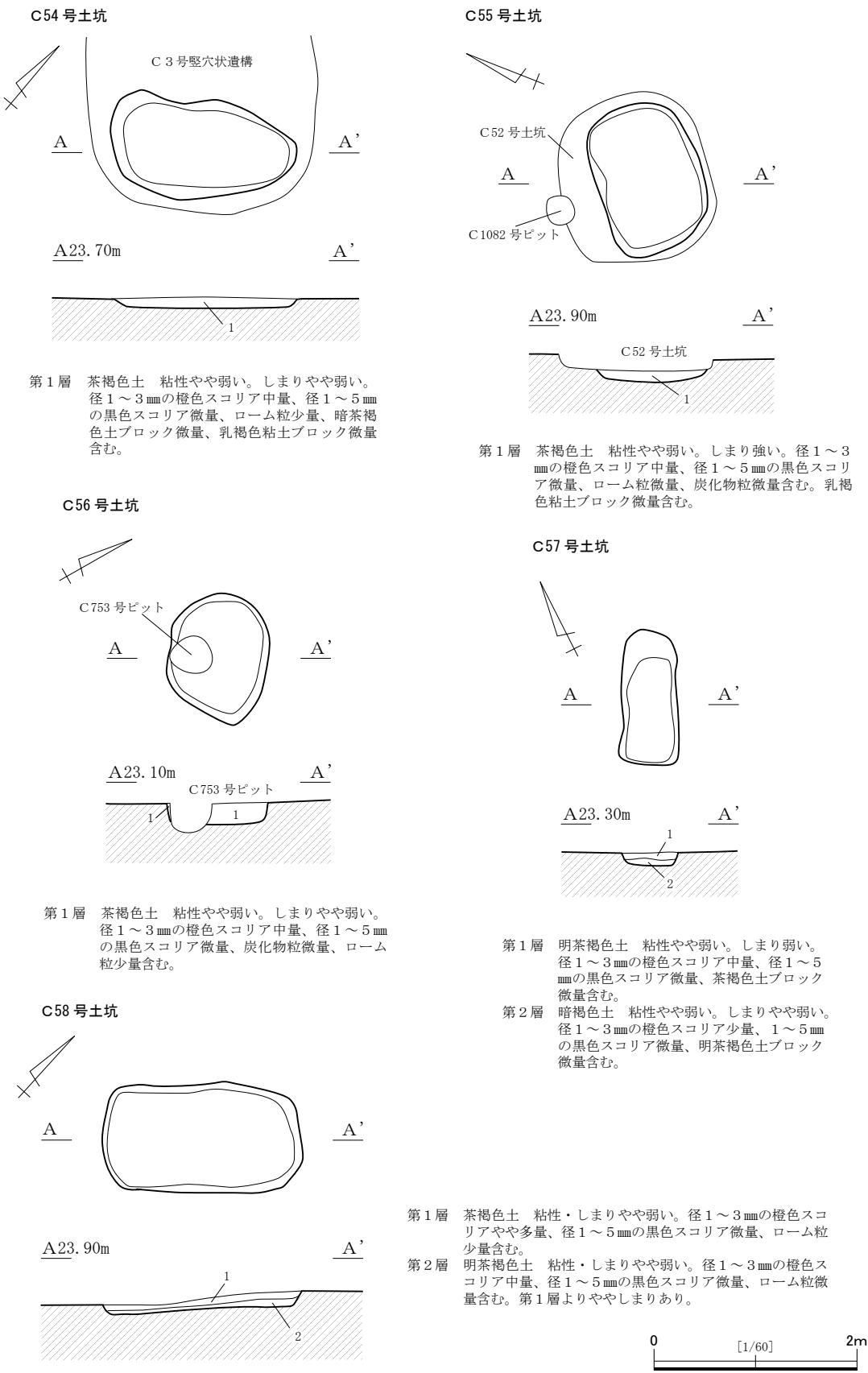
遺物は、かわらけ3点(9.0g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 54号土坑（第564図、図版128－8）

U 13・V 13グリッドで検出された。確認面は標高23.3mを測る。C 3号竪穴状遺構に上面を切られている。歪んだ楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-50°-Eで、長径1.81m、短径0.96mを測る。確認面からの深さは0.11mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。暗茶褐色土のブロックを微量、乳褐色の粘土ブロックを微量含む。



第564図 8区・9区・調整池②区C54~58号土坑 [1/60]

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 55号土坑（第564図）

V 12・V 13グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。上面をC 52号土坑に切られている。隅丸方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-47°-Eで、長軸1.48m、短軸1.04mを測る。確認面からの深さは0.10mを測る。

覆土は茶褐色土に単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量、乳褐色の粘土ブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 56号土坑（第564図）

W 10・11グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。C 12号堅穴状遺構を切っている。C 56号土坑、C 753号ピットに切られている。橢円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-58°-Wで、長径1.32m、短径1.01mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 57号土坑（第564図、図版129-1）

V 13グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-26°-Eで、長軸1.34m、短軸0.56mを測る。確認面からの深さは0.12mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土のブロックを微量、第2層には明茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ1点(2.0g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土遺物、周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 58号土坑（第564図、図版129-2）

X 9グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、浅い逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-48°-Eで、長軸1.98m、短軸1.10mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は茶褐色土と明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ4点(16.5g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 59号土坑** (第565・567図、第129表、図版129-3・173-2)

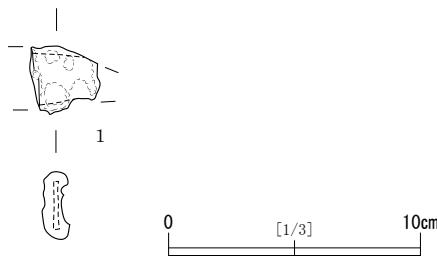
V 12・13グリッドで検出された。確認面は標高23.8mを測る。歪んだ隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-61°-Eで、長軸1.24m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.24mを測る。

覆土は茶褐色土・暗褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ21点(76.0g)、鉄製品1点(5.1g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第565図1は板状製品で、両端部が欠損している。詳細な用途は不明である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第565図 8区・9区・調整池②区C 59号土坑出土遺物 [1/3]

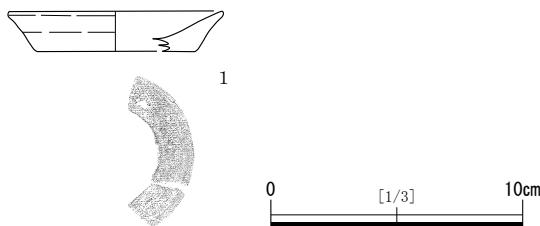
第129表 8区・9区・調整池②区C 59号土坑出土遺物観察表 [第565図]

No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容
1	板状製品	鉄	2.7	2.6	1.0	5.1	残存度 両端部欠損

**C 60号土坑** (第566・567図、第130表、図版129-4・177)

U 12グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。C 904号ピットに切られている。楕円形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長径1.51m、短径1.39mを測る。確認面からの深さは0.31mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・

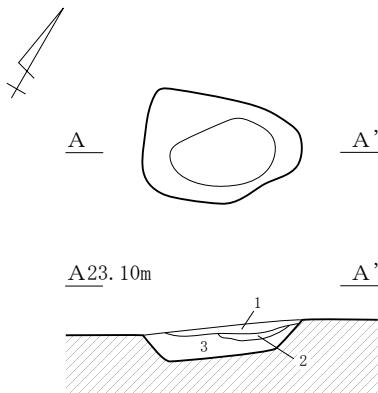


第566図 8区・9区・調整池②区C 60号土坑出土遺物 [1/3]

第130表 8区・9区・調整池②区(8区②・9区西) C 60号土坑出土遺物観察表 [第566図]

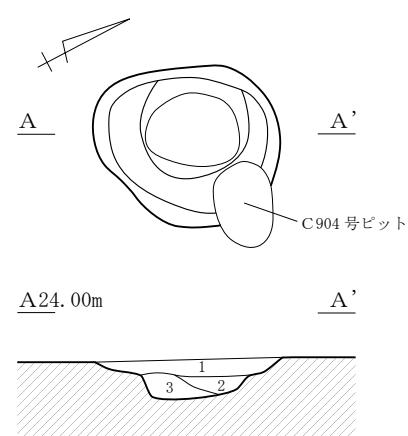
No.	器種	種別	( ) = 現存値 ( ) = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[8.5]	[6.3]	1.6	21.9	口縁部 1/4・体部 1/3・ 底部1/4	在地	15世紀	胎土 褐灰色、密、細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 体部外面ミガキ、底部回転糸切り痕

C59号土坑



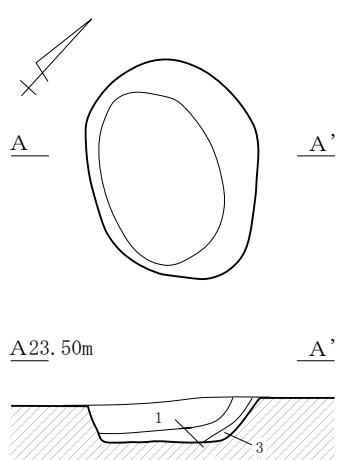
第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア中量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、径1～5mmの黒色スコリア少量含む。  
第3層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量含む。茶褐色土ブロック少量含む。

C60号土坑



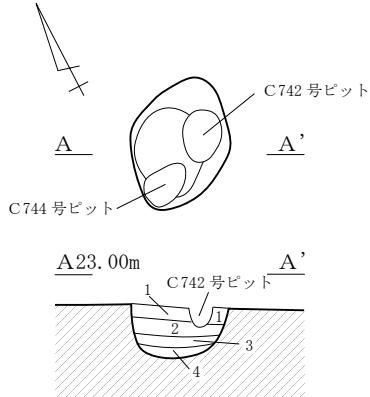
第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム少量、炭化物粒微量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量ローム粒微量含む。  
第3層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。しまり弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、炭化物粒少量含む。第1層よりやや暗い。

C61号土坑

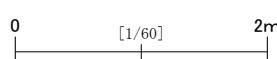


第1層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒中量、暗褐色土ブロック微量含む。  
第2層 暗褐色土 粘性・しまりあり。ローム粒微量、焼土粒微量、炭化物粒微量、明茶褐色土ブロック微量含む。  
第3層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。ローム粒少量含む。

C62号土坑



第1層 褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリアやや多量、径1～5mmの黒色スコリア微量含む。  
第2層 褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。第1層よりややしまりに欠ける。  
第3層 暗褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア少量、径1～5mmの黒色スコリア少量、ローム粒少量、明茶褐色土ブロック少量含む。  
第4層 暗褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1～3mmの橙色スコリア微量、1～5mmの黒色スコリア中量、明茶褐色土ブロック微量、暗褐色土ブロック少量含む。



第567図 8区・9区・調整池②区C59～62号土坑 [1/60]

2層には炭化物粒を微量、第3層は炭化物粒を少量含む。

遺物は、かわらけ4点(30.8g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第566図1はかわらけである。口径が8.5cmで中型の製品に分類できる。胎土は褐灰色、細かい砂粒を含む。底部に回転糸切り痕が確認できる。15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 61号土坑(第567図)

X8・9グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.78m、短径1.34mを測る。確認面からの深さは0.33mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗褐色土・茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗褐色土のブロックを微量、第2層には明茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ18点(53.2g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 62号土坑(第567図)

V13グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。C2号硬化面を切っている。C742・744号ピットに切られている。楕円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径1.11m、短径0.78mを測る。確認面からの深さは0.43mを測る。

覆土は褐色土・暗褐色土・暗黒褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には明茶褐色土のブロックを少量、第4層には明茶褐色土のブロックを微量、暗褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、常滑窯の陶器片口鉢1点(20.6g)、かわらけ20点(30.2g)の計21点(50.8g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 63号土坑(第568図、図版129-5)

U11グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。C68号土坑を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-45°-Wで、長軸1.58m、短軸1.00mを測る。確認面からの深さは0.19mを測る。

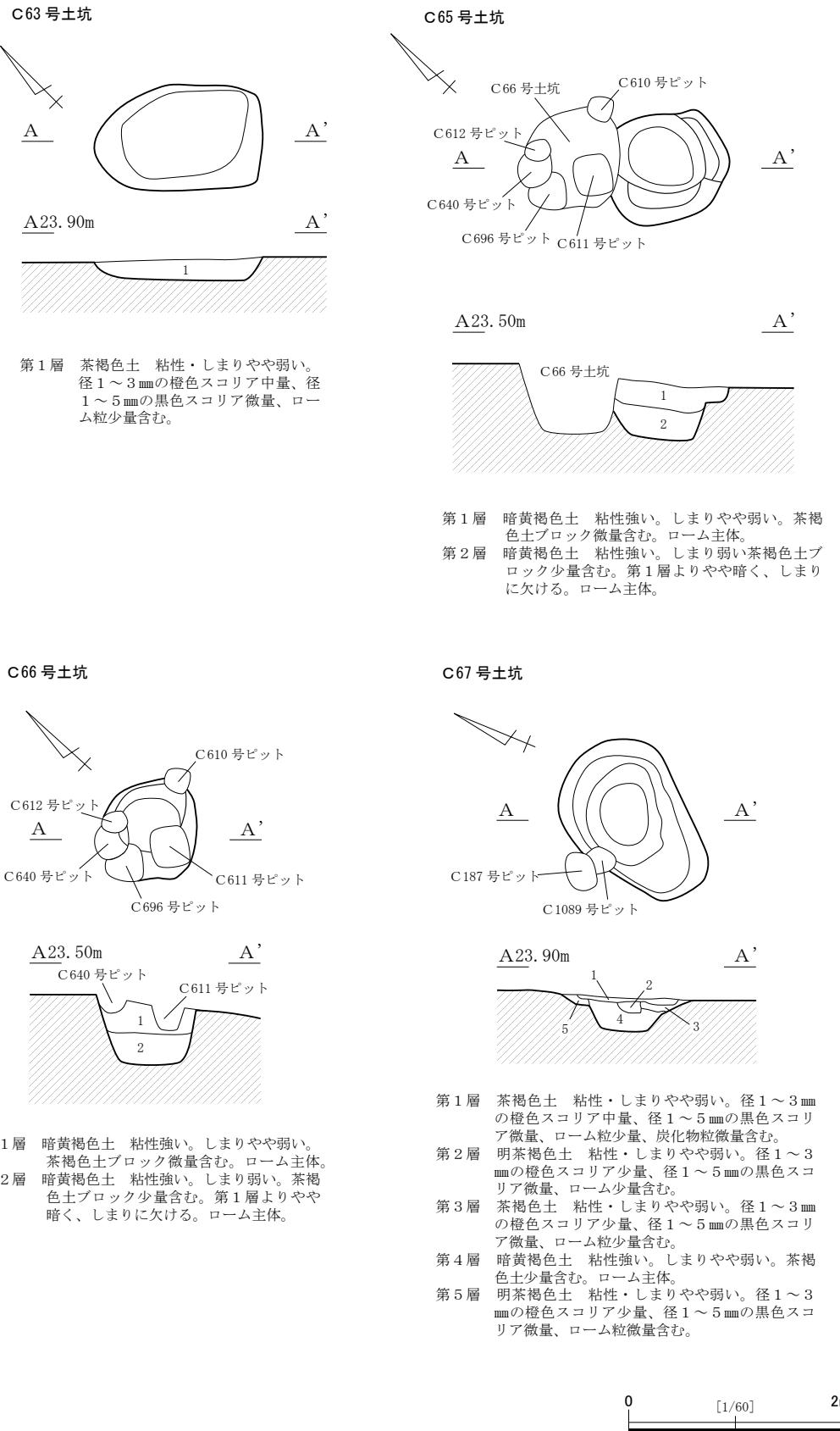
覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 65号土坑(第568図、図版129-6)

W10グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。C66号土坑に切られている。歪んだ方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。残存長軸1.14m、短軸1.09mを測る。確認面からの深さは0.53mを測る。



第568図 8区・9区・調整池②区C63・65~67号土坑 [1/60]

覆土は暗黄褐色土の2層で構成される。第1層には茶褐色土のブロックを微量、第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。南東側に、幅0.86m、奥行き0.12m、高さ0.14mの段差が、南西側に幅0.92m、奥行き0.18m、高さ0.18mの規模の段差が2ヶ所確認できる。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 66号土坑（第568図、図版129－6）

W10グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。C 610～612・640・696号ピットに切られている。方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸0.98m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.66mを測る。

覆土は暗黄褐色土の2層で構成される。第1層には茶褐色土のブロックを微量、第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 67号土坑（第568図、図版129－7）

U11グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。長楕円形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長径1.68m、短径1.16mを測る。確認面からの深さは0.32mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗黄褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 68号土坑（第569図）

U11グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。C 63土坑に切られている。方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸1.18m、残存短軸0.14mを測る。確認面からの深さは0.28mを測る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 69号土坑（第569図）

V12・13グリッドで検出された。確認面は標高22.9mを測る。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸0.94m、短軸0.90mを測る。確認面からの深さは0.24mを測る。

覆土は茶褐色土と暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

## C 71号土坑(第569図、図版129-8)

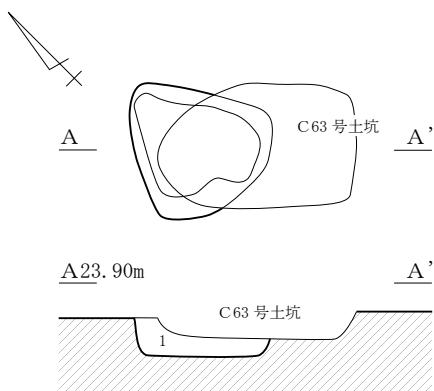
U 11グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。C 926・937号ピット切られている。円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.91m、短径0.82mを測る。確認面からの深さは0.26mを測る。

覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

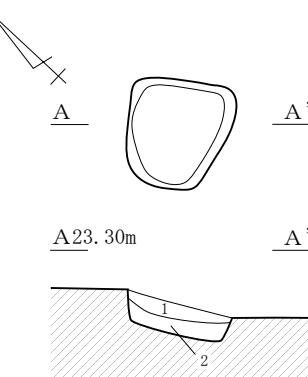
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

C 68号土坑



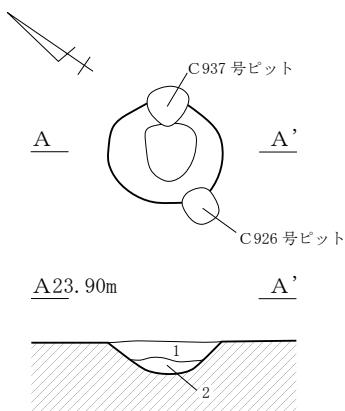
第1層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。  
径1~3mmの橙色スコリア少量、径  
1~5mmの黒色スコリア微量、ロー  
ム粒やや多量含む。

C 69号土坑



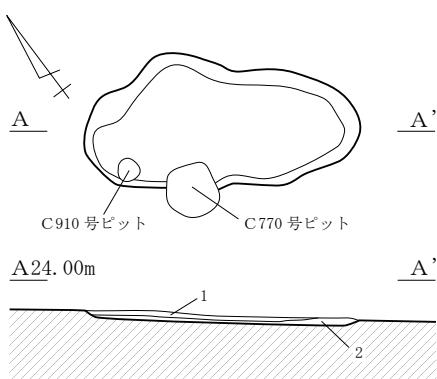
第1層 茶褐色土 粘性やや弱い。  
しまりやや弱い。  
径1~3mmの橙色スコリア中量含む。  
径1~5mmの黒色スコリア微量含む。  
ローム粒少量含む。  
第2層 暗茶褐色土 粘性やや弱い。  
しまりやや弱い。  
径1~3mmの橙色スコリア少量含む。  
径1~5mmの黒色スコリア微量含む。  
ローム粒中量含む。第1層よりやや暗くしまっている。

C 71号土坑

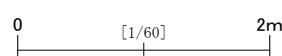


第1層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。  
径1~3mmの橙色スコリア少量、径  
1~5mmの黒色スコリア微量、ロー  
ム粒やや多量含む。  
第2層 明茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。  
径1~3mmの橙色スコリア少量、径  
1~5mmの黒色スコリア微量、ロー  
ム粒少量含む。

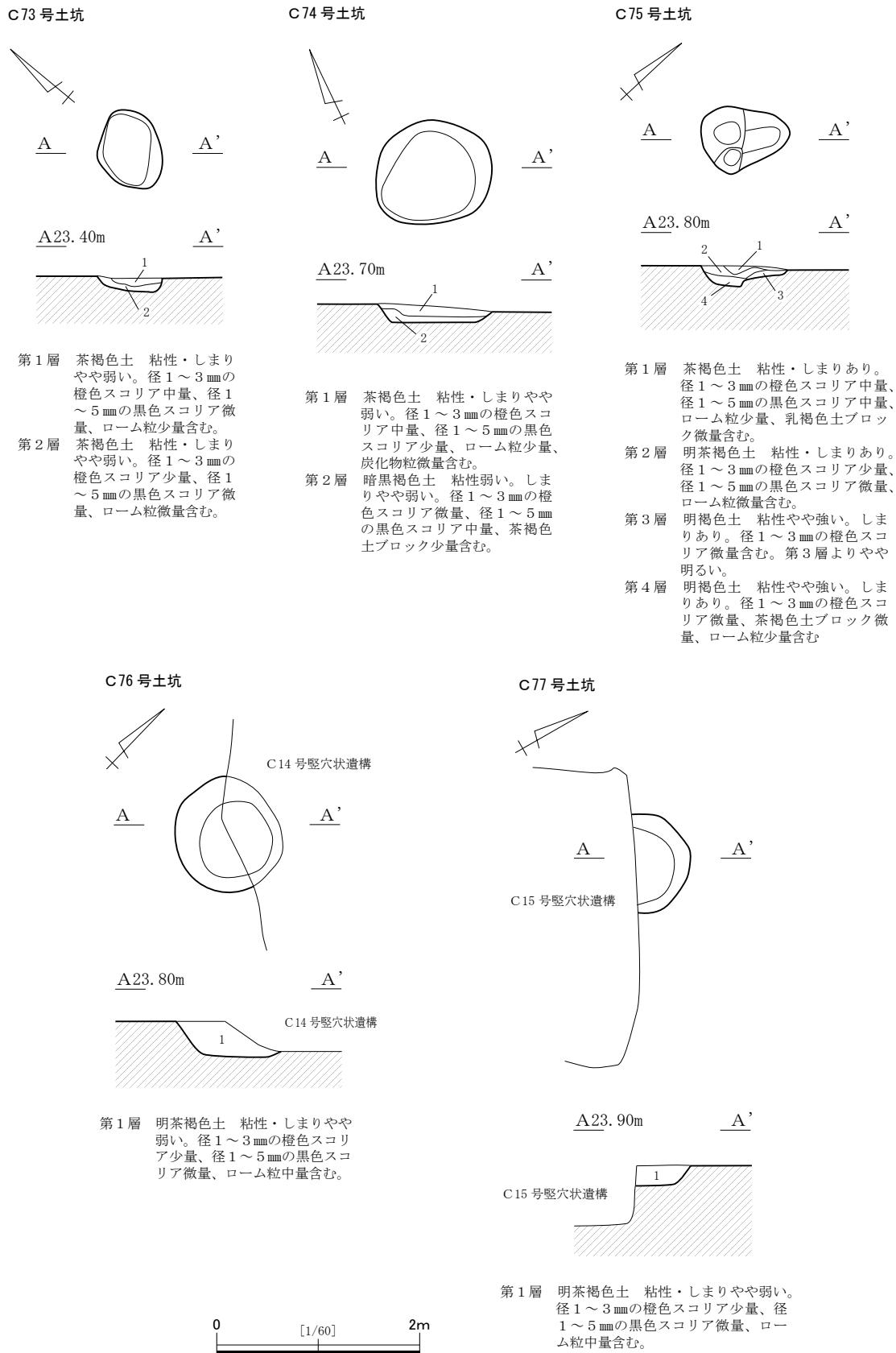
C 72号土坑



第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。  
径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、  
ローム粒少量含む。  
第2層 茶褐色土 茶褐色土ブロック少量含む。ローム主  
体。



第569図 8区・9区・調整池②区C 68・69・71・72号土坑 [1/60]



第570図 8区・9区・調整池②区C73~77号土坑 [1/60]

**C 72号土坑（第569図、図版130－1）**

U 12グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。C 770・910号ピットに切られている。歪んだ長楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径2.18m、短径0.94mを測る。確認面からの深さは0.09mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 73号土坑（第570図、図版130－2）**

V 13グリッドで検出された。確認面は標高23.1mを測る。歪んだ円形のプランを呈し碗状の掘り込みを持つ。長径0.76m、短径0.63mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 74号土坑（第570図、図版130－3）**

V 12グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.12m、短径1.06mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土と暗黒褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 75号土坑（第570図）**

V 11グリッドで検出された。確認面は標高23.4mを測る。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.84m、短径0.66mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。東側に幅0.21m、奥行き0.34m、高さ0.08mの段差と、径0.28m、深さ0.09mの円形の落ち込みが確認できる。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土・明褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には乳褐色土をブロックで微量含む。第4層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 76号土坑（第570図、図版130－4）**

U 10・11グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。東側をC 14号堅穴状遺構に切られている。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.16m、残存短径1.06mを測る。確認面からの深さは0.36mを測る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。  
遺物は出土していない。  
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 77号土坑（第570図）**

U 11グリッドで検出された。確認面は標高23.7mを測る。南側をC 15号堅穴状遺構に切られている。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長径0.96m、残存短径0.52mを測る。確認面からの深さは0.20mを測る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。  
遺物は出土していない。  
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 78号土坑（第571図、図版130－5）**

V 9・W 9グリッドで検出された。確認面は標高23.8mを測る。C 1127号ピットに切られている。方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸0.96m、短軸0.82mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。  
遺物は出土していない。  
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 79号土坑（第571図、図版130－6）**

V 9グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。C 749号ピットに切られている。歪んだ方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。残存長軸0.94m、短軸0.88mを測る。確認面からの深さは0.28mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。  
遺物は出土していない。  
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 80号土坑（第571図、図版130－7）**

W 12グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径1.31m、短径1.18mを測る。確認面からの深さは0.74mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1～3層には炭化物粒を微量含む。第2・3層には茶褐色土のブロックを含む。  
遺物は出土していない。  
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

## C 81号土坑(第571図、図版130-8)

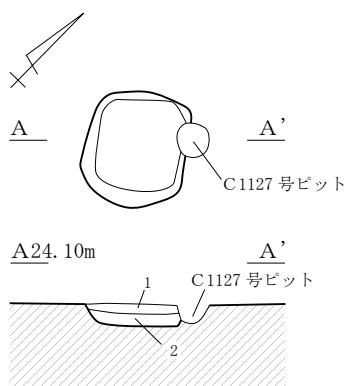
V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。C 1151・1152号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-41°-Eで、長軸1.06m、短軸0.84mを測る。確認面からの深さは0.06mを測る。

覆土は褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

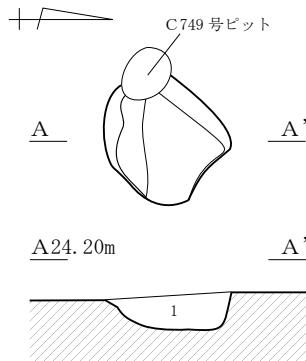
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

C78号土坑



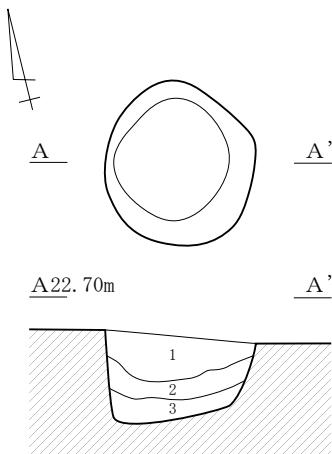
第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。橙色スコリア中量、黒色スコリア微量ローム粒少量含む。炭化物粒微量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い橙色スコリア少量、黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。第1層よりやや暗い。

C79号土坑



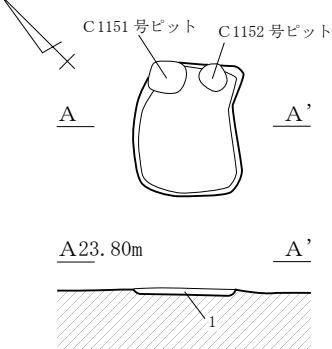
第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。橙色スコリア中量、黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。炭化物粒微量含む。

C80号土坑

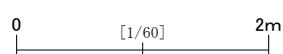


第1層 茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。  
第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量、茶褐色土ブロック少量含む。  
第3層 暗茶褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、黒色スコリア微量、ローム粒微量、炭化物粒微量、茶褐色土ブロック微量含む。

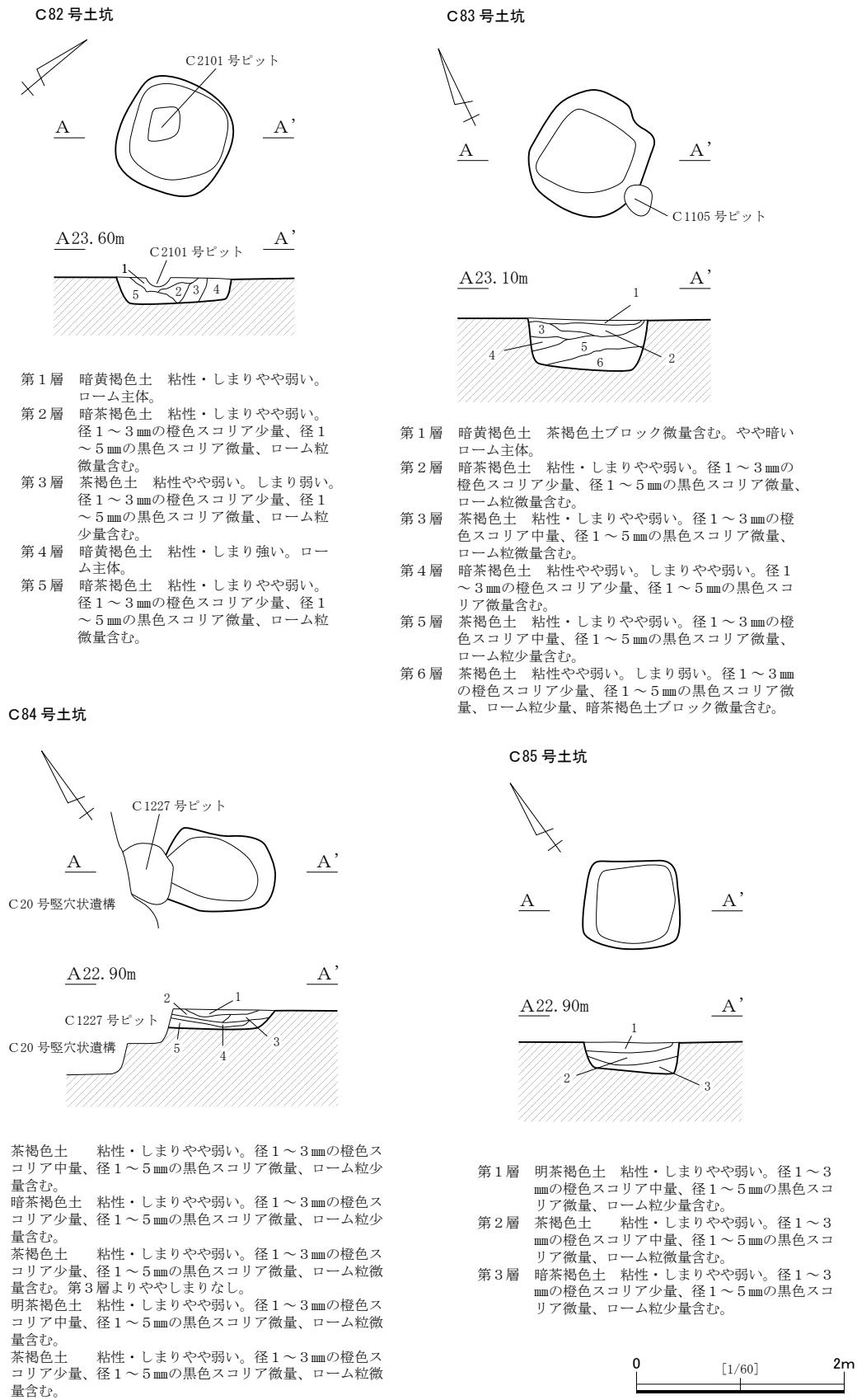
C81号土坑



第1層 褐色土 粘性・しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量、炭化物粒微量含む。



第576図 8区・9区・調整池②区C78~81号土坑 [1/60]



第572図 8区・9区・調整池②区C82~85号土坑 [1/60]

**C 82号土坑(第572図)**

W9グリッドで検出された。確認面は標高23.3mを測る。C2101号ピットに切られている。方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸1.12m、短軸1.09mを測る。確認面からの深さは0.24mを測る。

覆土は暗黄褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 83号土坑(第572図表、図版131-1)**

W9グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。C108号土坑を切っている。C1105ピットに切られている。方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-35°-Wで、長軸1.19m、短軸1.08mを測る。確認面からの深さは0.50mを測る。

覆土は暗黄褐色土・暗茶褐色土・茶褐色土の6層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土のブロックを微量含む。第6層には暗茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 84号土坑(第572図、図版131-2)**

W9グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。西側をC1227号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-54°-Wで、残存長軸0.98m、短軸0.74mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 85号土坑(第572図、図版131-3)**

W9グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-52°-Wで、長径0.94m、短径0.84mを測る。確認面からの深さは0.31mを測る。

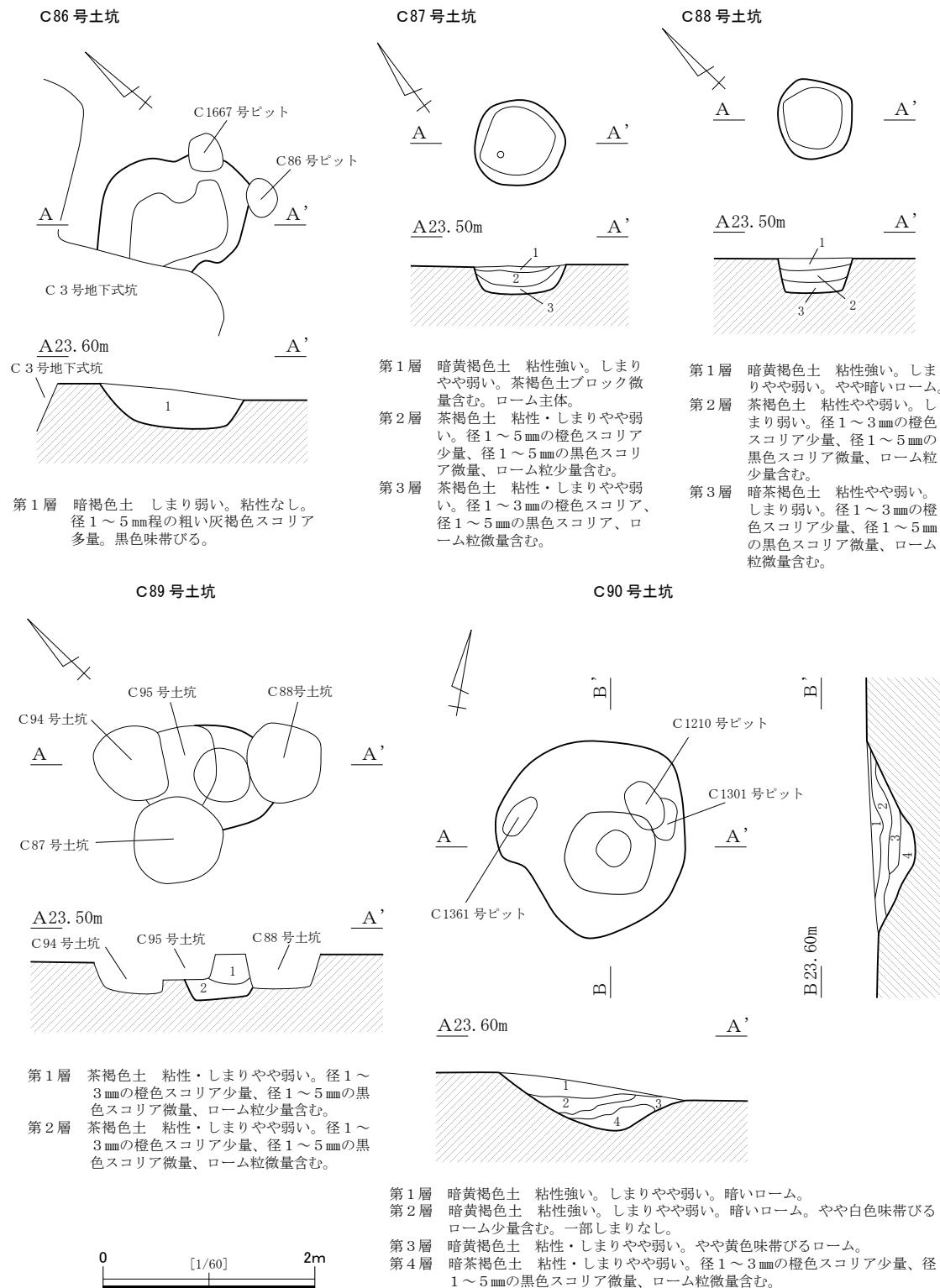
覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

C 86号土坑(第573図、図版131-4)

V 10・11グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。C 3号地下式坑、C 86・1667号ピットに切られている。不整形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸1.36m、残存短軸1.00



第573図 8区・9区・調整池②区C 86~90号土坑 [1/60]

mを測る。確認面からの深さは0.36mを測る。

覆土は暗褐色土の単層で、灰褐色スコリア多量に含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 87号土坑（第573図、図版131-5・131-6）

V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.84m、短径0.82mを測る。確認面からの深さは0.27mを測る。

覆土は暗黄褐色土・茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 88号土坑（第573図、図版131-6）

V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.88m、短径0.67mを測る。確認面からの深さは0.34mを測る。

覆土は暗黄褐色土・茶褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 89号土坑（第573図、図版131-6）

V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。C 87・88・94・95号土坑に切られている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長径0.98m、残存短径0.76mを測る。確認面からの深さは0.44mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

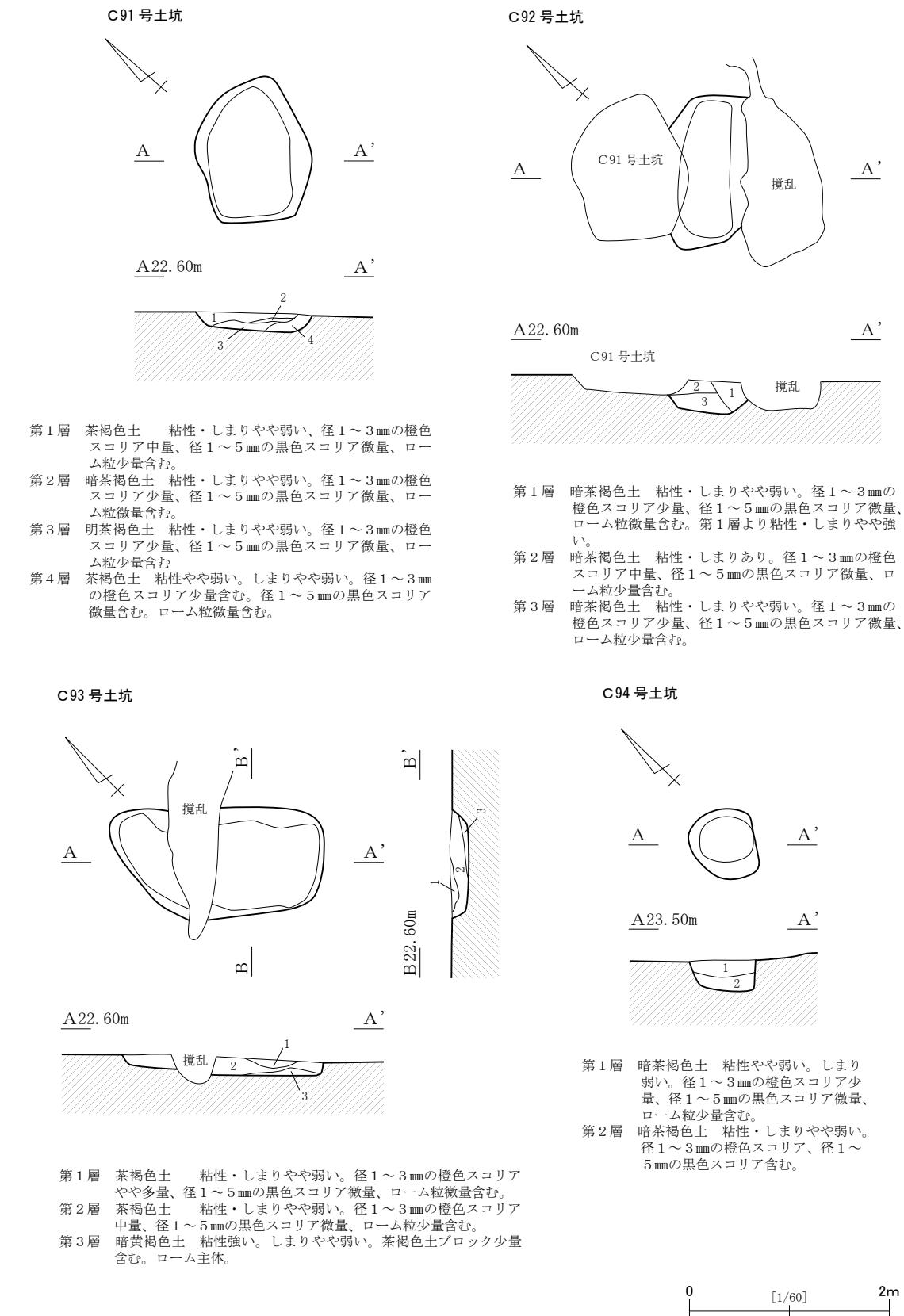
#### C 90号土坑（第573図、図版131-7）

V 10・W 10グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。C 1210・1301・1361号ピットに切られている。南西側が歪んだ円形のプランを呈し、半円状の掘り込みを持つ。長径1.87m、短径1.56mを測る。確認面からの深さは0.41mを測る。

覆土は暗黄褐色土・暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第574図 8区・9区・調整池②区C91~94号土坑 [1/60]

**C 91号土坑（第574図、図版131－8）**

X 10 グリッドで検出された。確認面は標高22.2mを測る。C 91号土坑を切っている。長楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-45°-Eで、長径0.46m、短径1.11mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土・明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 92号土坑（第574図、図版131－8）**

X 10 グリッドで検出された。確認面は標高22.1mを測る。西側をC 91号土坑、東側を搅乱に切られている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-49°-Eで、長径1.60m、残存短径0.88mを測る。確認面からの深さは0.33mを測る。

覆土は暗茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、亀山窯の陶器甕1点(19.7g)、かわらけ2点(10.1g)の計3点(29.8g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 93号土坑（第574図、図版132－1）**

X 11 グリッドで検出された。確認面は標高22.2mを測る。長楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-45°-Eで、長径2.14m、短径1.16mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ1点(2.7g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 94号土坑（第574図、図版131－6）**

V 10 グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る歪んだ楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸0.74m、短軸0.72mを測る。確認面からの深さは0.32mを測る。

覆土は暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

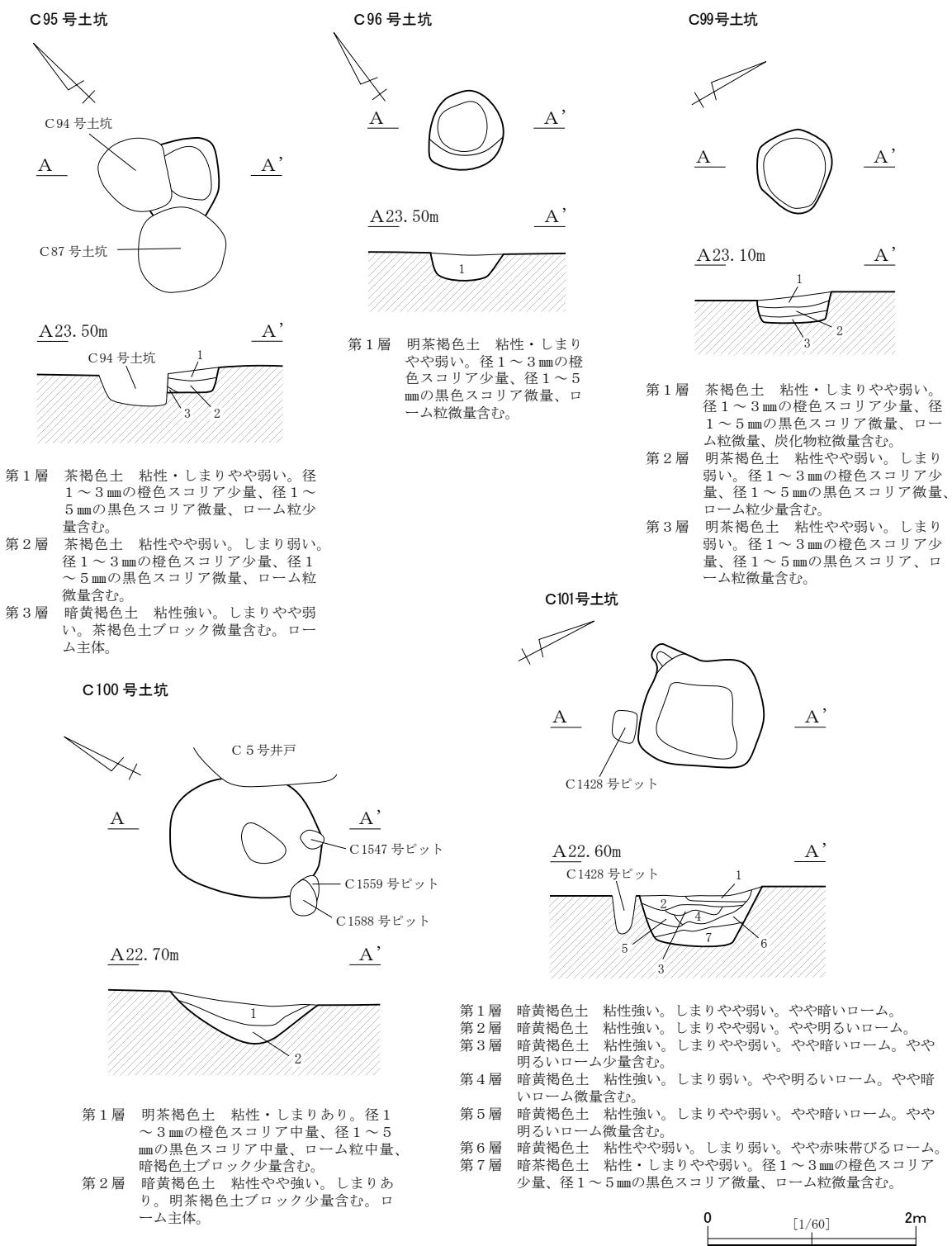
**C 95号土坑（第575図、図版131－6）**

V 10 グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。南側をC 87号土坑、西側をC 94号土坑に切られている。方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸0.74m、

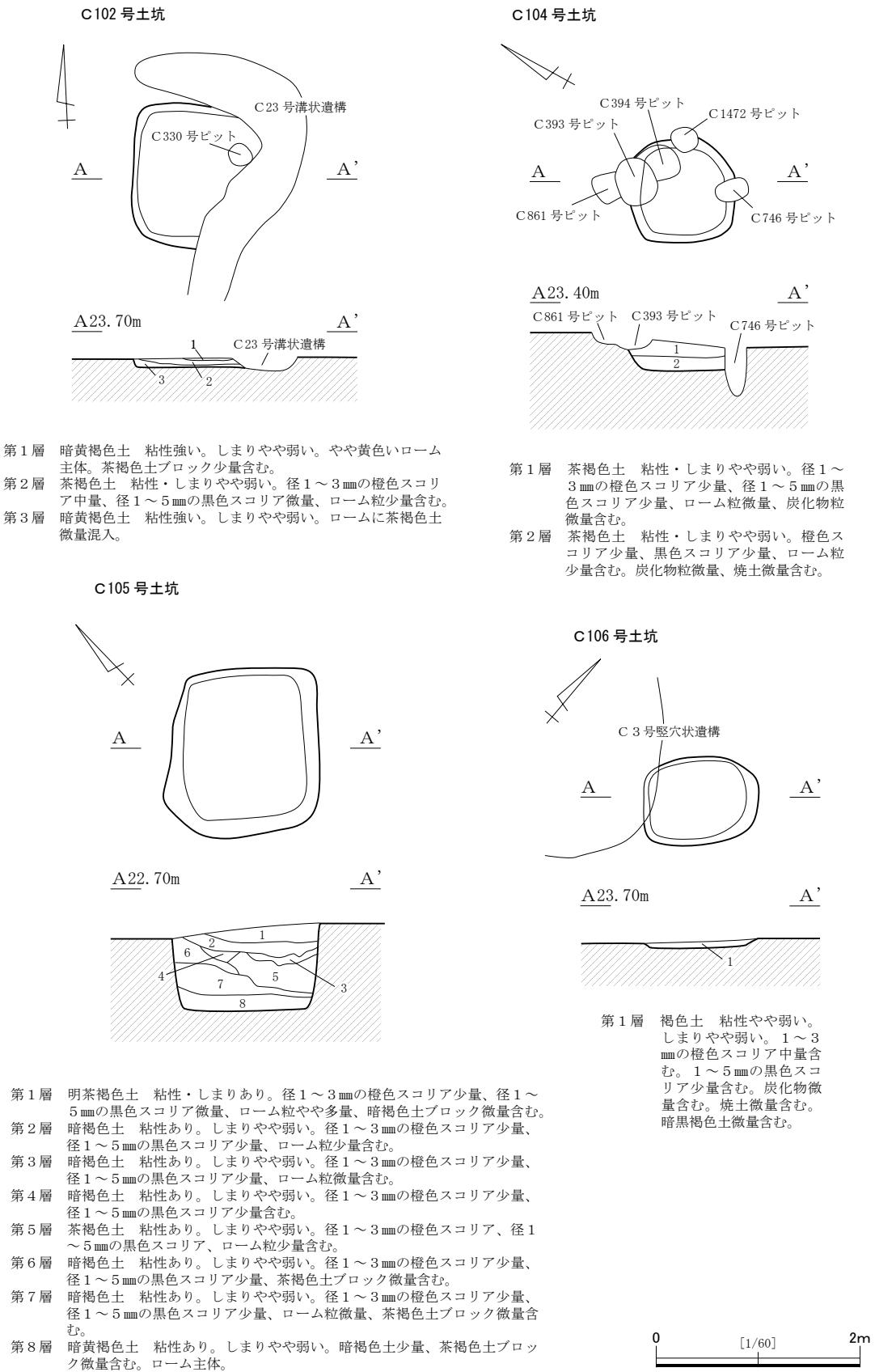
残存短軸0.60mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。

覆土は茶褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。



第575図 8区・9区・調整池②区C95・96・99~101号土坑 [1/60]



第576図 8区・9区・調整池②区C102・104~106号土坑 [1/60]

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 96号土坑（第575図、図版132－2）**

V 10グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.77m、短径0.71mを測る。確認面からの深さは0.25mを測る。南西側に幅0.06～0.09m、高さ0.10m程度の傾斜の緩い段差が確認出来る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 99号土坑（第575図）**

W 10グリッドで検出された。確認面は標高23.2mを測る。円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.77m、短径0.71mを測る。確認面からの深さは0.25mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 100号土坑（第575図、図版132－3）**

X 10グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。東側をC 5号井戸址、南側をC 1547・1559・1588号ピットに切られている。楕円形のプランを呈し、半円状の掘り込みを持つ。長径1.47m、短径1.10mを測る。確認面からの深さは0.36mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

第1層には暗褐色土のブロックを少量、第2層には明茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 101号土坑（第575図、図版132－4）**

X 10グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。C 5号段切りを切っている。C 116号土坑に切られている。方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸1.18m、短軸1.02mを測る。確認面からの深さは0.49mを測る。

覆土は暗黄褐色土・暗茶褐色土の7層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 102号土坑（第577図）**

V 11グリッドで検出された。確認面は標高23.4mを測る。北側と東側をC 23号溝状遺構に切られて

いる。方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-9°-Eで、残存長軸1.44m、残存短軸1.29mを測る。確認面からの深さは0.08mを測る。

覆土は暗黄褐色土と茶褐色土の3層で構成される。第1層には茶褐色土のブロックを少量含む。第2層には橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 104号土坑(第577図)

V12グリッドで検出された。確認面は標高22.9mを測る。北側をC393・394・861・1472号ピットに、南側をC746号ピット切られている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸1.03m、短軸1.01mを測る。確認面からの深さは0.30mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層ともに炭化物を微量含む。

遺物は、かわらけ2点(5.6g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 105号土坑(第576・577図、第131表、図版132-5・174-2)

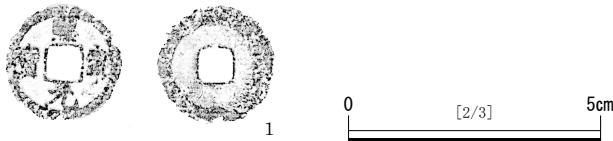
X9グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。C129号土坑を切っている。隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-44°-Eで、長軸1.65m、短軸1.44mを測る。確認面からの深さは0.94mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗褐色土・茶褐色土・暗黄褐色土の8層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には暗褐色土のブロックを微量、第6・7・8層には茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、常滑窯の陶器の甕4点(119.7g)、銅錢1点(2.5g)の計5点(122.2g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第576図1は渡来銭の熙寧元寶である。鋳造国は北宋、初鑄年は1068年、書体は真書である。

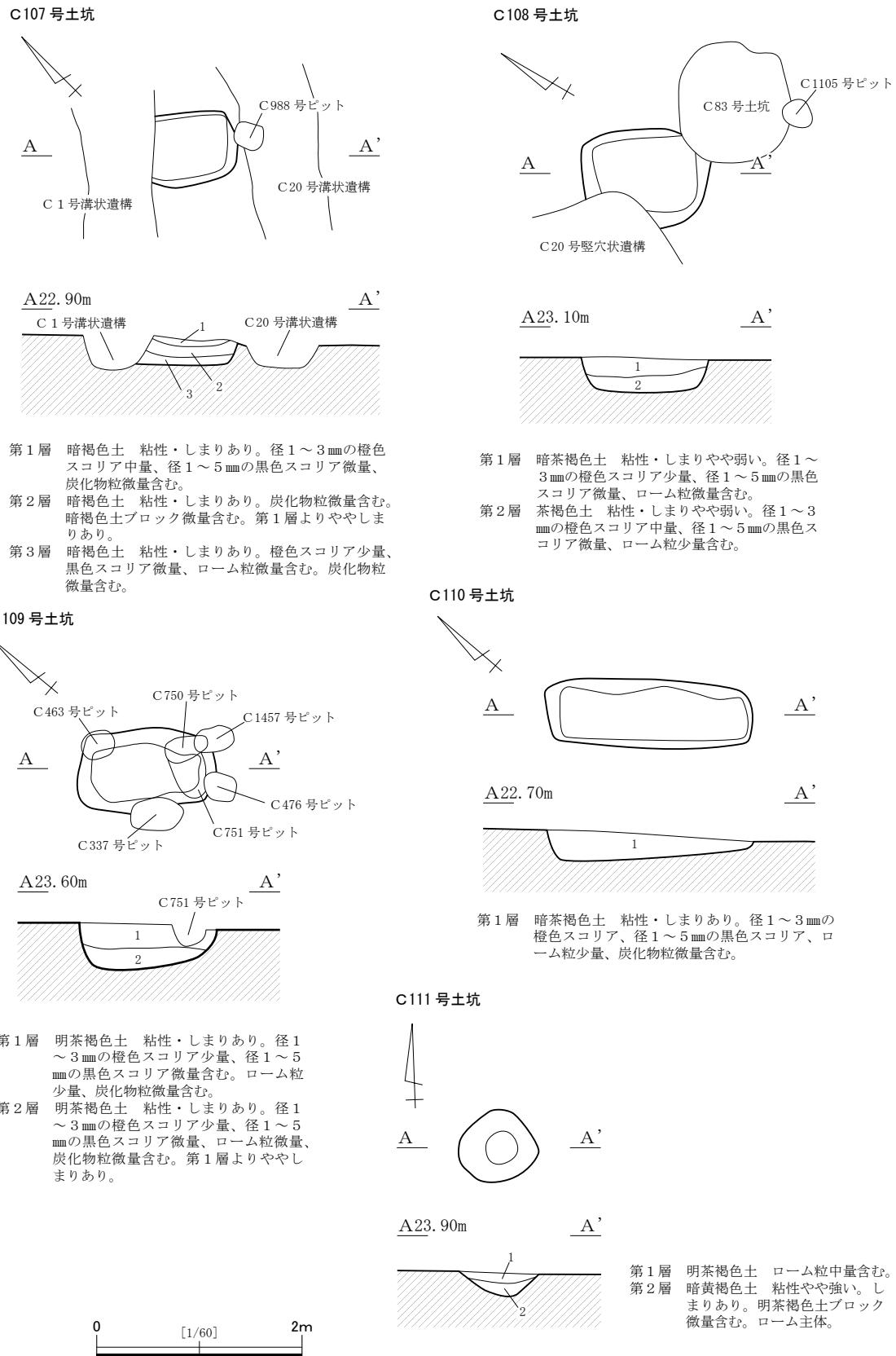
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第577図 8区・9区・調整池②区C105号土坑出土遺物 [2/3]

第131表 8区・9区・調整池②区C105号土坑出土遺物観察表〔第576図〕

No.	錢名	材質	錢径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	熙寧元寶	銅	23.3	6.8	1.1	2.5	完形	鋳造国 北宋 初鑄年 1068年 備考 真書



第578図 8区・9区・調整池②区C107~111号土坑 [1/60]

**C 106号土坑（第577図）**

U・V 13グリッドで検出された。確認面は標高23.4mを測る。上面をC 3号竪穴状遺構に切られている。楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径1.16m、短径0.88mを測る。確認面からの深さは0.07mを測る。

覆土は褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量、焼土を微量含む。

遺物は、かわらけ4点(8.4g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 107号土坑（第578図、図版132-6）**

V 13グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。東側をC 988号ピット、西側をC 1号溝状遺構に切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸0.85m、短軸0.84mを測る。確認面からの深さは0.29mを測る。

覆土は暗褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1～3層ともに炭化物粒を微量含む。

遺物は、かわらけ6点(24.4g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 108号土坑（第578図、図版132-7）**

W 9グリッドで検出された。確認面は標高22.8mを測る。南東側をC 83号土坑に、南西側をC 20号竪穴状遺構に切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-29°-Wで、長軸1.23m、短軸0.98mを測る。確認面からの深さは0.34mを測る。

覆土は暗茶褐色土・茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 109号土坑（第578図、図版132-8）**

W 11グリッドで検出された。確認面は標高23.3mを測る。南側をC 337・476・750・751・1457号ピットに、北側をC 463号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-38°-Wで、長軸1.36m、短軸0.85mを測る。確認面からの深さは0.46mを測る。

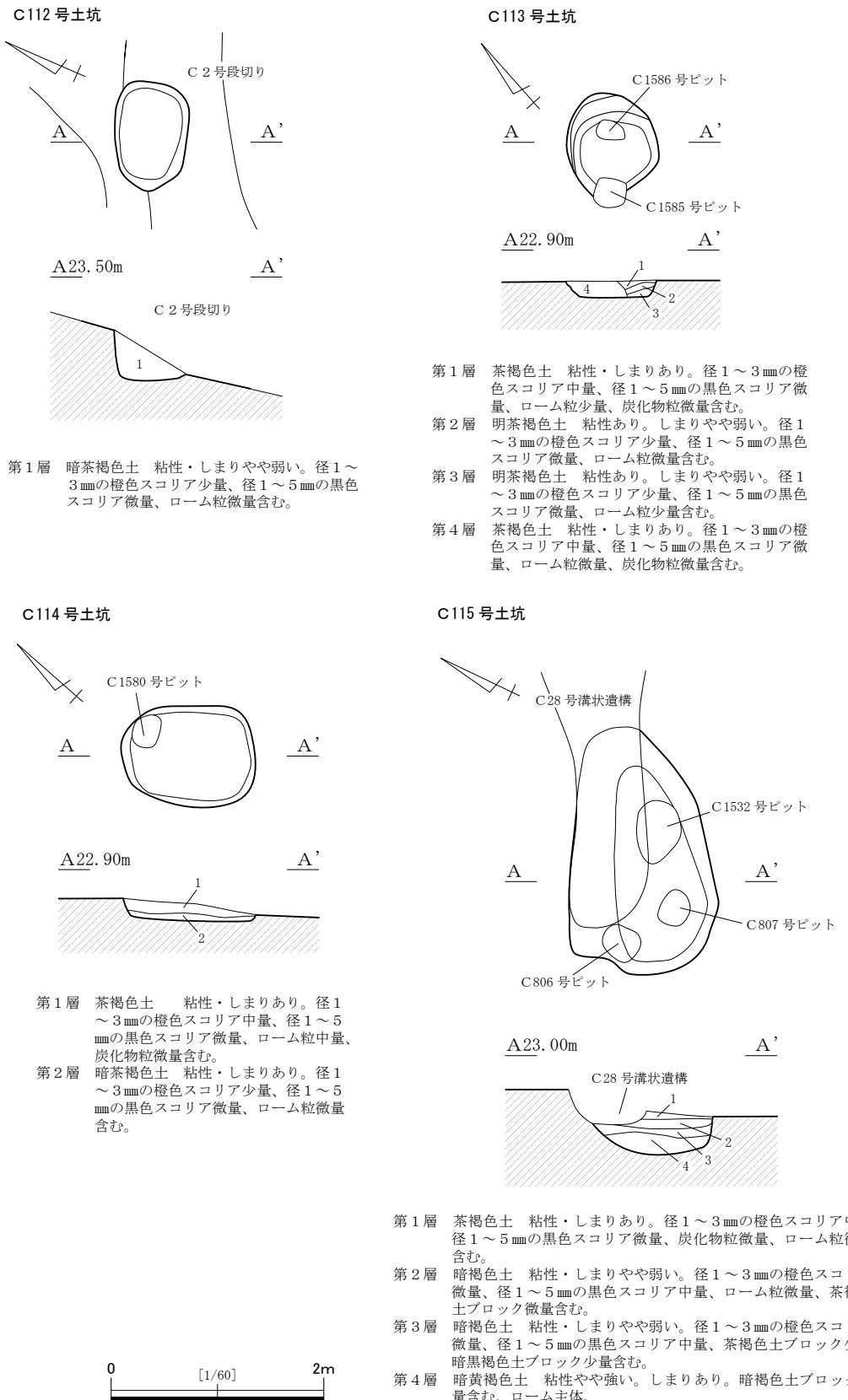
覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・2層ともに炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 110号土坑（第578図、図版133-1）**

W 12グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。隅丸長方形のプランを呈し、上面が削平



第579図 8区・9区・調整池②区C112～115号土坑 [1/60]

されているが逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-40°-Wで、長軸2.00m、短軸0.78mを測る。確認面からの深さは0.31mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は、瀬戸窯の陶器碗1点(15.0g)、常滑窯の陶器の甕1点(62.5g)、かわらけ2点(18.7g)の計4点(96.2g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 111号土坑(第578図、図版133-2)

U 11グリッドで検出された。確認面は標高23.5mを測る。円形のプランを呈し、半円状の掘り込みを持つ。長径0.81m、短径0.71mを測る。確認面からの深さは0.23mを測る。

覆土は明茶褐色土と黄褐色土の2層で構成され、第1層にはローム粒を中量、第2層には明茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 112号土坑(第579図、図版133-3)

W 9グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。上面をC 1号段切りに切られている。楕円形のプランを呈し、上面を削平されているが箱状の掘り込みを持つと考えられる。長径1.04m、短径0.66mを測る。確認面からの深さは0.44mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 113号土坑(第579図、図版133-4)

W 9・10グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。C 1585・1586号ピットに切られている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.99m、短径0.86mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1・4層には炭化物粒を微量含む。

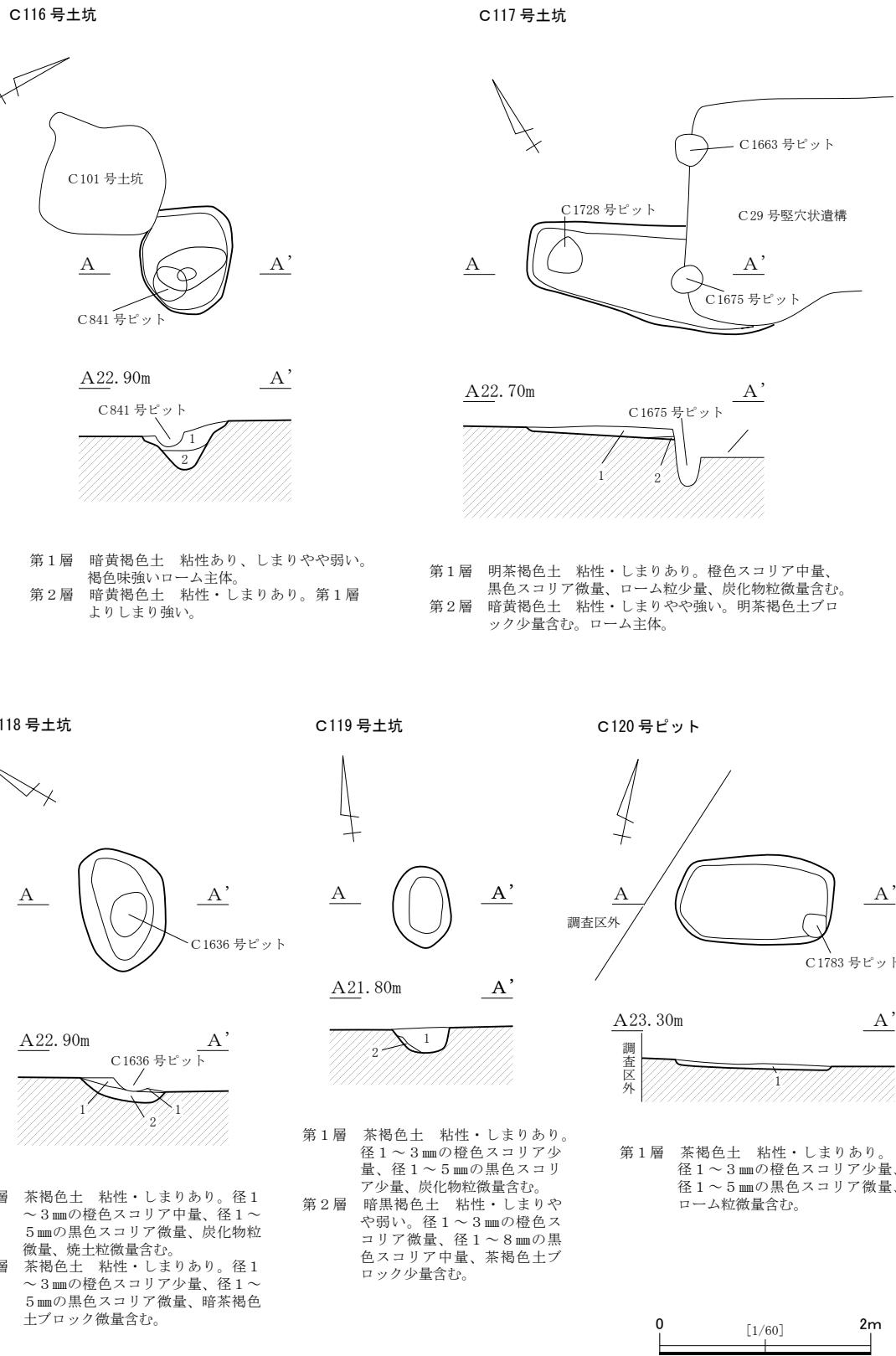
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 114号土坑(第579図、図版133-5)

W 10グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。C 1580号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-41°-Wで、長軸1.23m、短軸0.98mを測る。確認面からの深さは0.17mを測る。

覆土は茶褐色土・暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第



第580図 8区・9区・調整池②区 C116～120号土坑 [1/60]

1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 115号土坑（第579図、図版133－6）

W 15グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。西側をC 28号溝状遺構に、C 806・807・1532号ピットに切られている。歪んだ長楕円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。残存長径2.23m、短径0.41mを測る。確認面からの深さは0.41mを測る。

覆土は茶褐色土・暗褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。第2・3層には茶褐色土のブロックを微量含み、第3層には暗黒褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ4点(24.3g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 116号土坑（第580図）

X 9グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。C 5号段切りを切っている。北西隅をC 101号土坑に、南東隅をC 841号ピットに切られている。歪んだ方形のプランを呈し、漏斗状の掘り込みを持つ。長軸1.03m、短軸0.84mを測る。確認面からの深さは0.37mを測る。

覆土は暗黄褐色土の2層で構成され、第1層はローム主体層である。底部は長径0.63m、短径0.39m、深さ0.28mの楕円形に掘りくぼめられている。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 117号土坑（第580図）

X 9・10グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。東側をC 29号堅穴状遺構とC 1675号ピットに、西側中央をC 1728号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-58°-Eで、残存長軸2.33m、残存短軸1.09mを測る。確認面からの深さは0.10mを測る。

覆土は明茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 118号土坑（第580・581、第132表、図版133-7・177）

V 13グリッドで検出された。確認面は標高22.6mを測る。楕円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径0.16m、短径0.79mを測る。確認面からの深さは0.20mを測る。

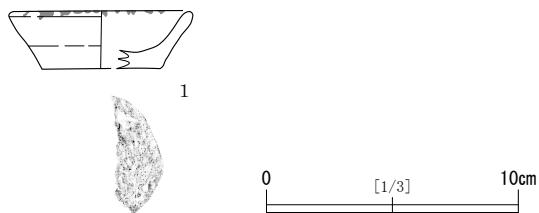
覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層には炭化物粒を微量、

焼土粒を微量含む。第2層には暗茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ4点(32.6g)が出土している。図化したのは、以下の1点である。

第581図1はかわらけである。口径が7.1cmで中型に分類できる。胎土は橙色、角閃石・石英・白色針状物質を含む。口唇部に煤付着しており、灯明皿として使用されたものと考えられる。底部に不明瞭だが回転糸切り痕が確認出来る。14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・覆土及び出土遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第581図 8区・9区・調整池②区C118号土坑出土遺物 [1/3]

第132表 8区・9区・調整池②区C118号土坑出土遺物観察表〔第581図〕

No.	器種	種別	() = 現存値 □ = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	7.1	[4.8]	2.3	25.4	口縁部～ 体部1/2・ 底部1/2弱	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英・白色針状物質を含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、口唇部に煤付着、底部回転糸切り痕不明瞭

#### C 119号土坑(第580図、図版133-8)

X 11グリッドで検出された。確認面は標高21.5mを測る。楕円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長径0.79m、短径0.54mを測る。確認面からの深さは0.24mを測る。

覆土は茶褐色土と暗黒褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層には炭化物粒を微量含む。第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 120号土坑(第580図、図版134-1)

Y 7グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。南東隅をC 1783号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みをもつ。長軸方位はN-79°-E、長軸1.47m、短軸0.97mを測る。確認面からの深さは0.10mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 121号土坑(第582図、図版134-2)

Y 7グリッドで検出された。確認面は標高23.1を測る。南東隅をC 1785号ピット切られている。西側が調査区外に延びている。隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長

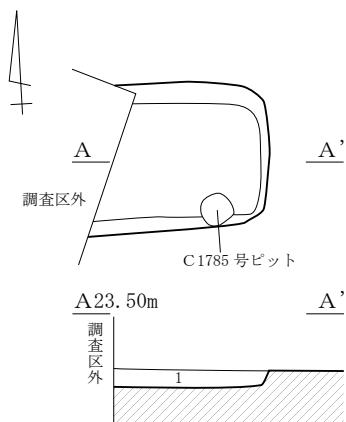
軸方位はN-90°-Nで、残存長軸1.44m、短軸1.06mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

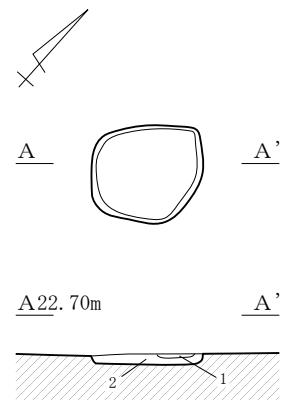
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

C121号土坑



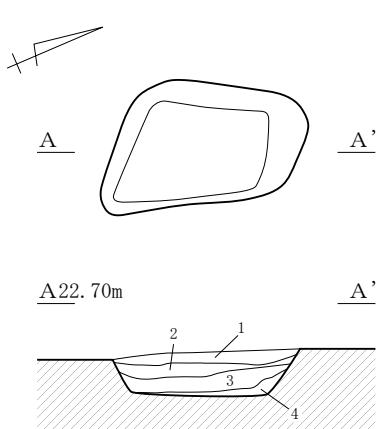
第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量、炭化物粒微量含む。

C122号土坑



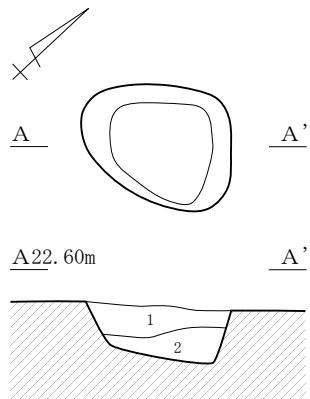
第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、暗褐色土ブロック中量含む。  
第2層 茶褐色土 しまりあり。ローム粒少量含む。  
第3層 暗黄褐色土 粘性強い。しまりあり。茶褐色土ブロック少量含む。ローム主体。

C123号土坑

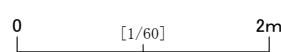


第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
第3層 茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
第4層 暗褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。

C124号土坑



第1層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。橙色スコリア中量、黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
第2層 明茶褐色土 粘性あり。しまりやや弱い。径1~3mmの橙色スコリア少量、黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。



第582図 8区・9区・調整池②区C121~124号土坑 [1/60]

**C 122号土坑（第582図、図版134－3）**

X 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.4mを測る。C 32号竪穴状遺構を切っている。歪んだ隅丸方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸0.88m、短軸0.82mを測る。確認面からの深さは0.09mを測る。

覆土は明茶褐色土・茶褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層には暗褐色土のブロックを中量、第3層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 123号土坑（第582図、図版134－4）**

X 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。C 5号段切りを切っている。南東隅が歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-24°-Eで、長軸1.68m、短軸1.11mを測る。確認面からの深さは0.36mを測る。

覆土は茶褐色土・暗褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけ6点(10.4g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 124号土坑（第582図、図版134－5）**

X 8・9 グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。C 5号段切りを切っている。東側が歪んだ隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸1.19m、短軸1.01mを測る。確認面からの深さは0.32mを測る。

覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 125号土坑（第583図、図版134－6）**

X 8・9 グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。C 5号段切りを切っている。北西隅をC 1831号ピットに切られている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-35°-Eで、長軸0.86m、短軸0.70mを測る。確認面からの深さは0.29mを測る。

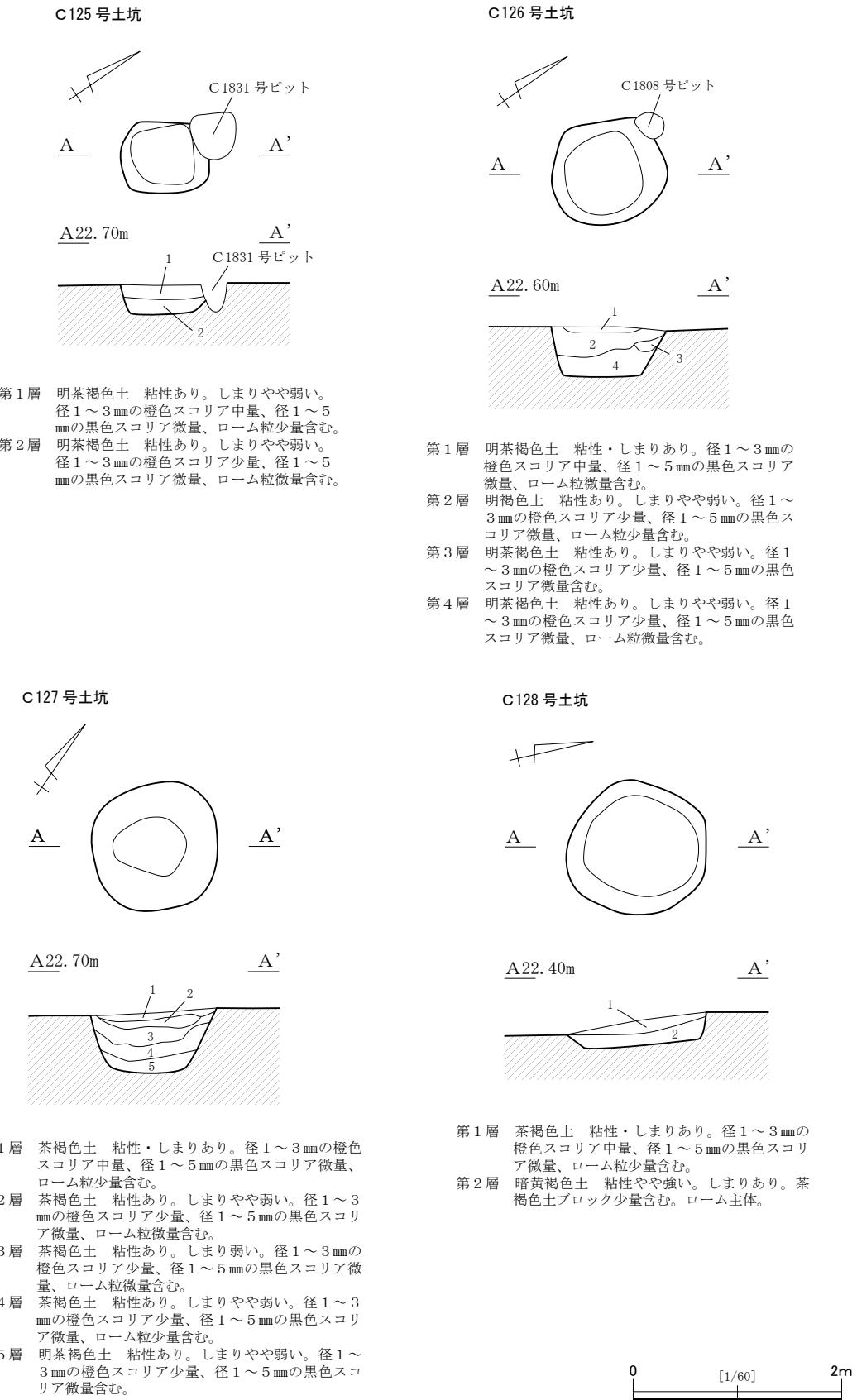
覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 126号土坑（第583図、図版134－7）**

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。C 5号段切りを切っている。北西隅をC 1808号ピットに切られている。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.11m、短径1.00mを測る。確認面からの深さは0.48mを測る。



第583図 8区・9区・調整池②区C125~128号土坑 [1/60]

覆土は明茶褐色土・明褐色土・明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 127号土坑（第583図）

X 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.28m、短径1.20mを測る。確認面からの深さは0.64mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色の5層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 128号土坑（第583図、図版134－8）

Z 7 グリッドで検出された。確認面は標高23.0mを測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.34m、短径1.30mを測る。確認面からの深さは0.28mを測る。

覆土は茶褐色土・暗黄褐色土の2層で構成され、第1層には橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は、かわらけ1点(1.6g)が出土しているが、小破片のため図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 129号土坑（第584図）

X 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。南西隅をC 105号土坑に、北西隅をC 1459号土坑に、南東隅をC 1871号ピットに切られている。隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-57°-Wで、長軸1.90m、短軸0.99mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は暗黄褐色土と明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第3層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 130号土坑（第584図、図版135－1）

Y 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.9mを測る。C 133号土坑を切っている。歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-32°-Eで、長軸0.90m、短軸0.69mを測る。確認面からの深さは0.20mを測る。

覆土は茶褐色土と暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 131号土坑（第584図）**

Y 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.0を測る。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.90m、短径0.68mを測る。確認面からの深さは0.20mを測る。

覆土は明茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 132号土坑（第584図、図版135－2）**

Y 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.9mを測る。C 133号土坑を切っている。歪んだ隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸0.88m、短軸0.71mを測る。確認面からの深さは0.14mを測る。

覆土は茶褐色土と暗茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には炭化物粒を微量含む。第4層には炭化物粒を微量、焼土粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 133号土坑（第584図、図版135－2）**

Y 8・9 グリッドで検出された。確認面は標高22.9mを測る。西側をC 132号土坑に切られている。長楕円形のプランを呈すると考えられ、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-63-Wで、残存長径0.94m、短径0.72mを測る。確認面からの深さは0.12mを測る。

覆土は褐色土と明茶褐色土の2層で構成され、土坑にを含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 134号土坑（第585図、図版135－3）**

Z 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.2mを測る。C 143号土坑を切っている。南西隅をC 1980号ピットに切られている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸0.98m、短軸0.94mを測る。確認面からの深さは0.13mを測る。

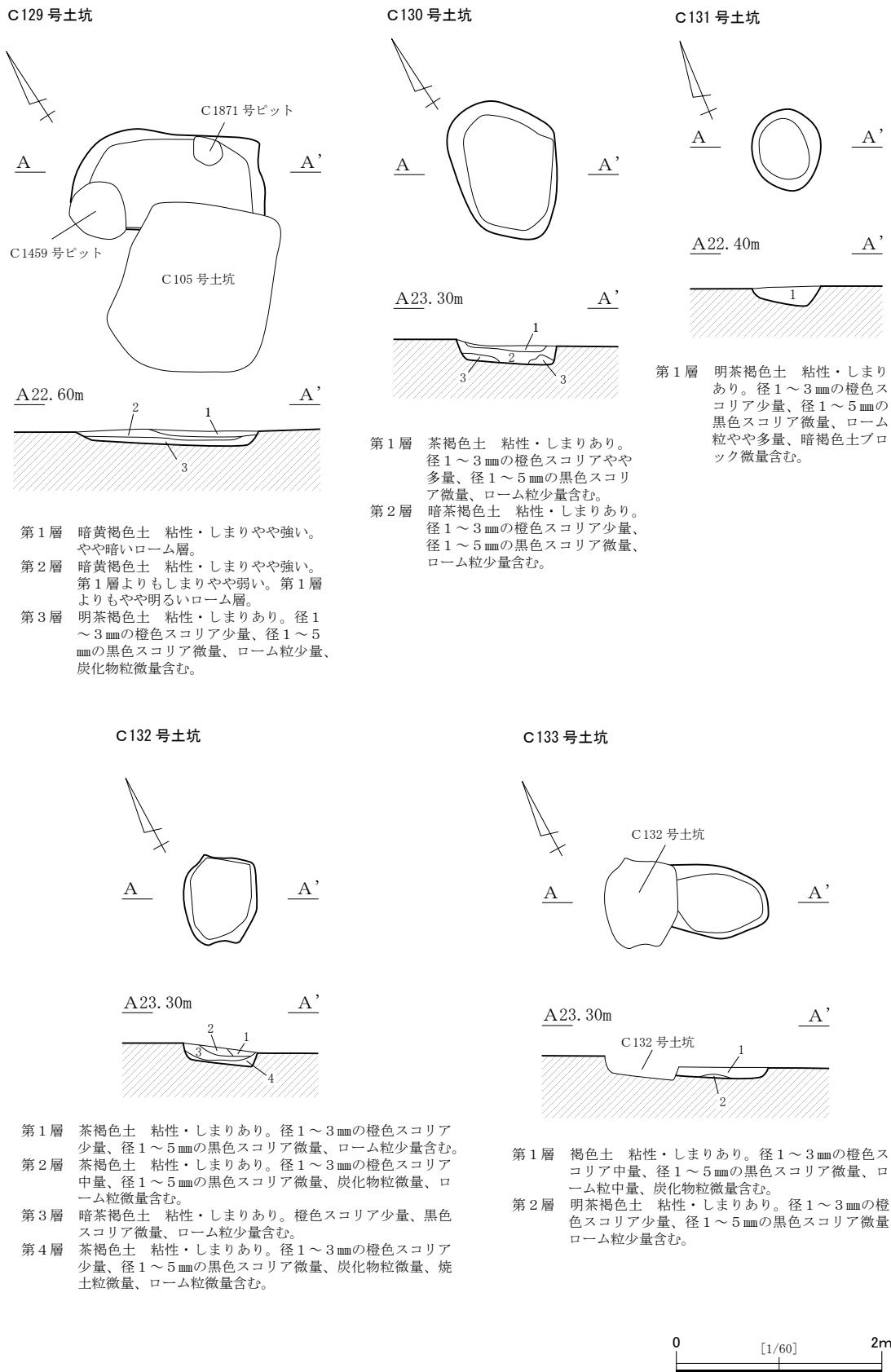
覆土は茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

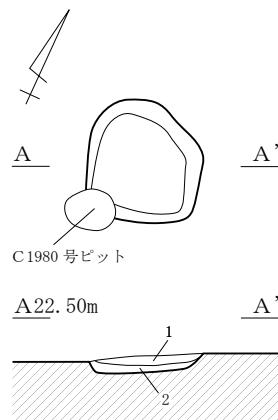
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 135号土坑（第585図、図版135－4）**

Z 7 グリッドで検出された。確認面は標高21.9mを測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.39m、短径1.22mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

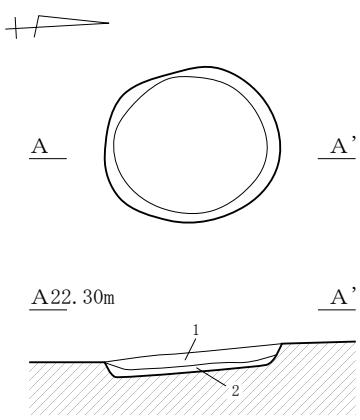


C134号土坑



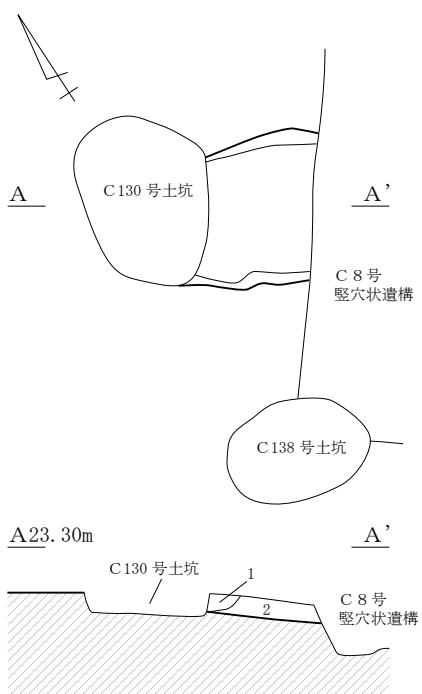
第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。茶褐色土ブロック少量含む。ローム主体。

C135号土坑



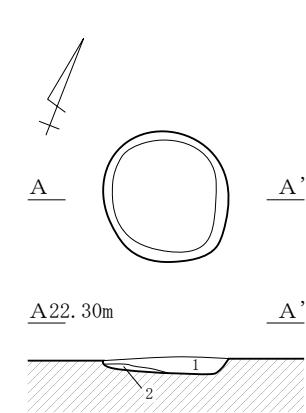
第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。茶褐色土ブロック少量含む。ローム主体。

C136号土坑



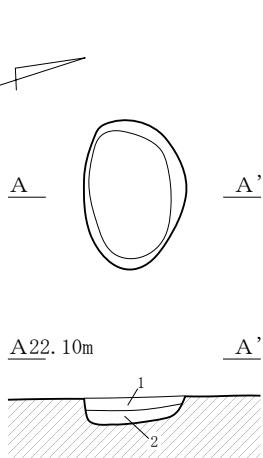
第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリアやや多量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。  
第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。

C137号土坑

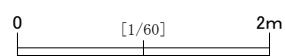


第1層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒微量含む。  
第2層 暗黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。暗茶褐色土ブロック微量含む。ローム主体。

C138号土坑



第1層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア中量、径1~5mmの黒色スコリア微量、炭化物粒微量、ローム粒微量含む。  
第2層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア少量、径1~5mmの黒色スコリア微量、ローム粒少量含む。第1層よりしまりやや強い。



第585図 8区・9区・調整池②区 C134~138号土坑 [1/60]

覆土は茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、第1層は橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には茶褐色土のブロックを少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 136号土坑（第585図、図版135－5）

Y 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.9mを測る。東側をC 8号堅穴状遺構に、西側をC 13号土坑に切られている。隅丸長方形もしくは長楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。長軸方位はN-56°-Wで、残存長径1.31m、短径1.09mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は茶褐色土と暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 137号土坑（第585図、図版135－6）

Z 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.0mを測る。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径1.04m、短径0.99mを測る。確認面からの深さは0.13mを測る。

覆土は暗茶褐色土と暗黄褐色土の2層で構成され、第1層は橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には暗茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 138号土坑（第585図、図版135－7）

Y 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.8mを測る。C 8号堅穴状遺構を切っている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-72°-Wで、長径1.19m、短径0.81mを測る。確認面からの深さは0.21mを測る。

覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

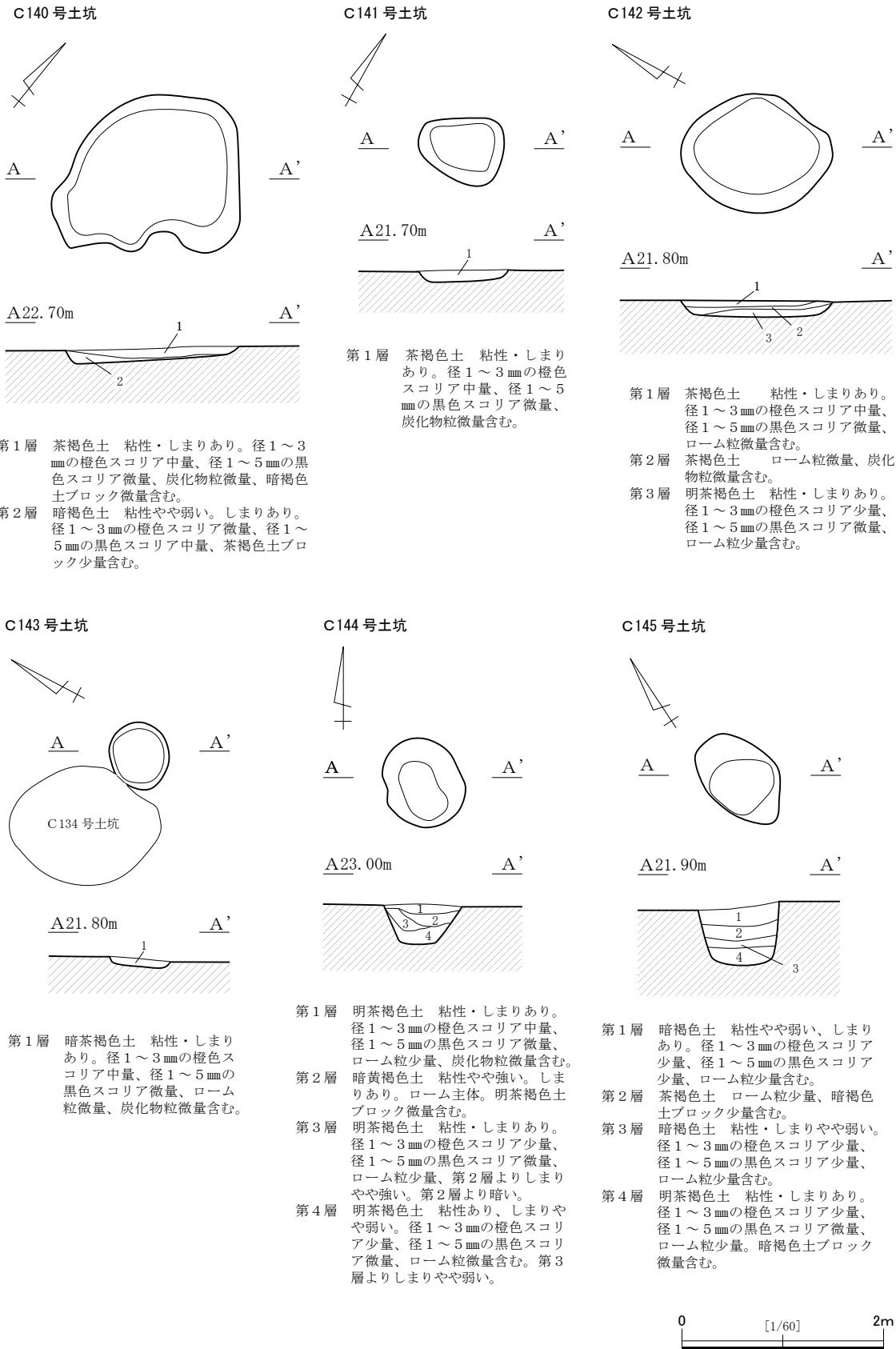
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 140号土坑（第586・587図、第133表、図版135-8・176-2）

W・X 11 グリッドで検出された。確認面は標高21.5mを測る。不整形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸1.98m、短軸1.59mを測る。

覆土は茶褐色土と暗褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量、暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ1点(3.2g)、石製品の砥石1点(3.8g)の計2点(7.0g)が出土している。図化し

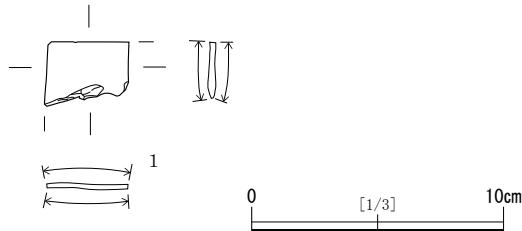


第586図 8区・9区・調整池②区C140～145号土坑 [1/60]

たのは以下の1点である。

第587図1は石製品の砥石で、上面と下面の2面が使用されている。石材は珪質粘土岩である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第587図 8区・9区・調整池②区C140号土坑出土遺物 [1/3]

第133表 8区・9区・調整池②区C140号土坑出土遺物観察表 [第587図]

No.	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	砥石	珪質 粘土岩	(2.6)	3.3	0.3	3.8	端部欠損	産地 鳴滝産 備考 上下面の2面使用

#### C 141号土坑(第587図、図版136-1)

X 11グリッドで検出された。確認面は標高21.3mを測る。歪んだ隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸0.87m、短軸0.68mを測る。確認面からの深さは0.12mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は、かわらけ2点(19.1g)が出土しているが、図化していない。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 142号土坑(第587図、図版136-2)

Z 9グリッドで検出された。確認面は標高21.5mを測る。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸1.51m、短軸1.18mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

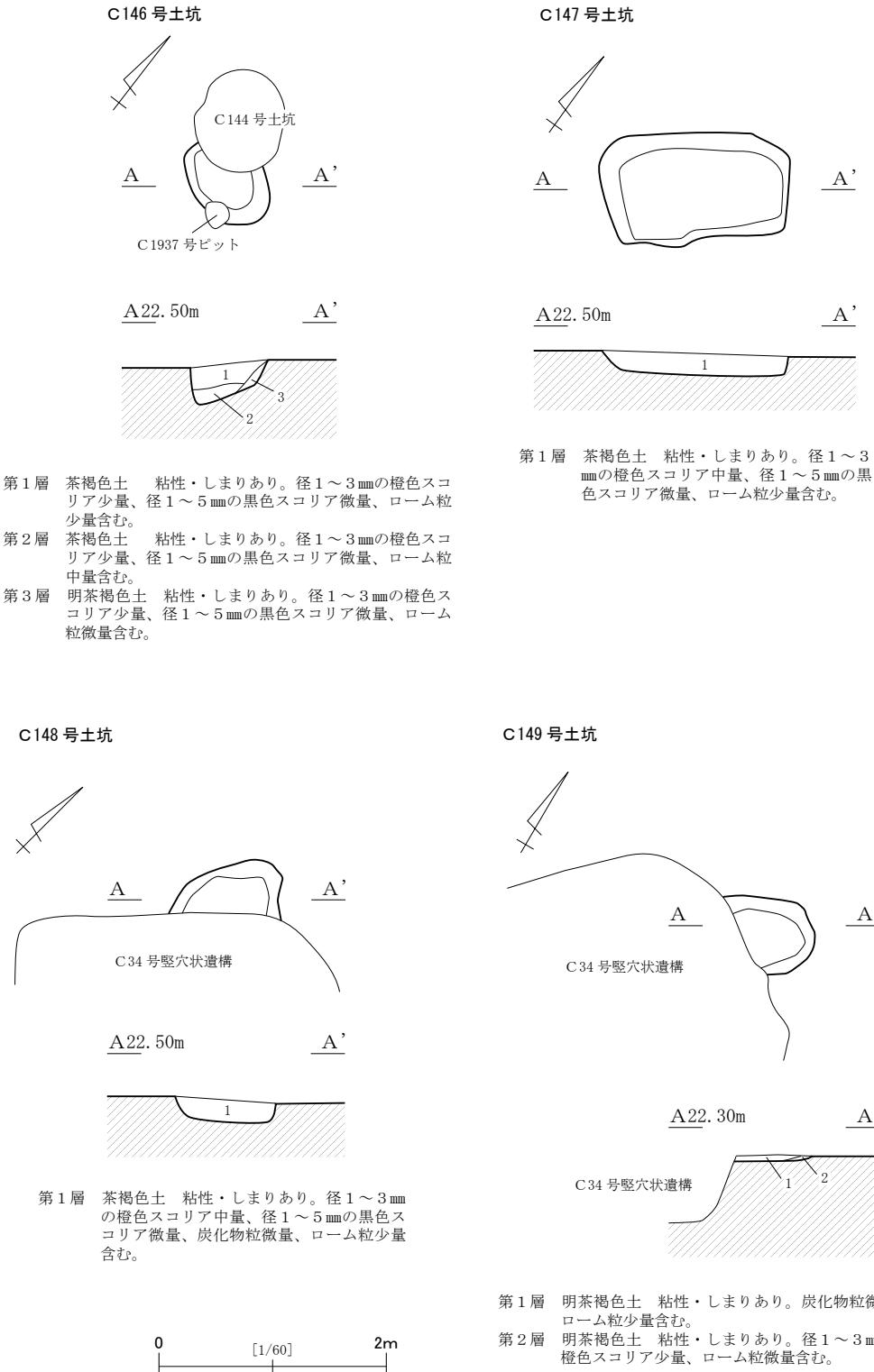
#### C 143号土坑(第587図、図版136-3)

Z 9グリッドで検出された。確認面は標高21.5mを測る。西側をC 134号土坑に切られている。円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.68m、短径0.54mを測る。確認面からの深さは0.08mを測る。

覆土は暗茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第588図 8区・9区・調整池②区C146~149号土坑 [1/60]

**C144号土坑(第587図、図版136-4)**

X・Y 9グリッドで検出された。確認面は標高22.2mを測る。C33号堅穴状遺構、C146号土坑を切っている。楕円形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長径0.91m、短径0.79mを測る。

確認面からの深さは0.41mを測る。

覆土は明茶褐色土・暗黄褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には明茶褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 145号土坑（第587図）

Y・Z 9グリッドで検出された。確認面は標高21.6mを測る。楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径1.03m、短径0.69mを測る。確認面からの深さは0.58mを測る。

覆土は暗褐色土・茶褐色土・明茶褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には暗褐色土のブロックを少量、第4層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 146号土坑（第588図）

Y 9グリッドで検出された。確認面は標高22.1mを測る。C 33号竪穴状遺構を切っている。北西側をC 144号土坑に、南西隅をC 1937号ピットに切られている。楕円形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。残存長径08.6m、短径0.66mを測る。確認面からの深さは0.34mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の3層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 147号土坑（第588図）

X 8・9グリッドで検出された。確認面は標高22.3mを測る。C 39号竪穴状遺構を切っている。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-51°-Eで、長軸1.64m、短軸1.01mを測る。確認面からの深さは0.19mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

#### C 148号土坑（第588図、図版136-5）

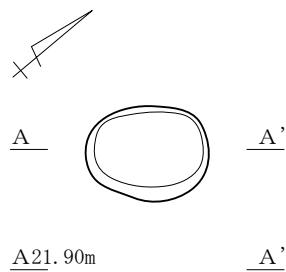
Y 9グリッドで検出された。確認面は標高22.1mを測る。南側をC 34号土坑に切られている。楕円形のプランを呈すると考えられ、箱状の掘り込みを持つ。残存長径0.89m、短径0.86mを測る。確認面からの深さは0.19mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

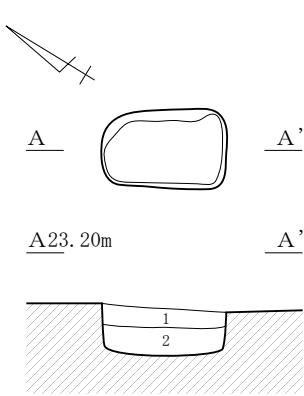
遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

C150号土坑



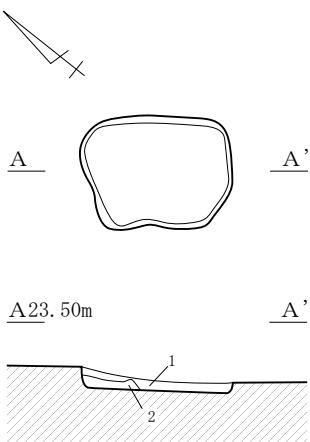
第1層 暗褐色土 粘性・しまりやや強い。  
やや暗いローム主体。  
第2層 暗茶褐色土 粘性・しまりあり。径  
1～3mmの橙色スコリア少量、径1  
～5mmの黒色スコリア微量、ローム  
粒少量、炭化物粒微量含む。

C151号土坑



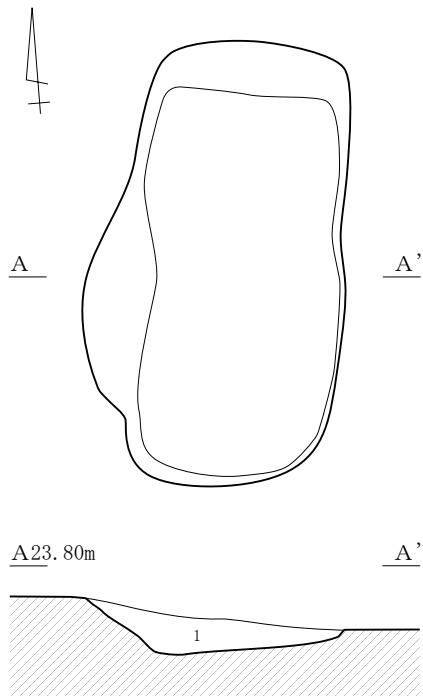
第1層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。  
径1～3mmの橙色スコリア中量、径  
1～5mmの黒色スコリア微量、ロー  
ム粒微量、炭化物粒微量含む。  
第2層 茶褐色土 粘性あり。しまり弱い。  
ローム粒少量含む。第1層よりやや  
明るい。

C152号土坑

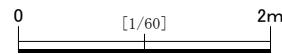


第1層 茶褐色土 粘性・しまりあり。  
径1～3mmの橙色スコリア中量、  
径1～5mmの黒色スコリア微量、  
ローム粒少量含む。  
第2層 明茶褐色土 粘性・しまりあり。  
径1～3mmの橙色スコリア少量、  
径1～5mmの黒色スコリア微量、  
茶褐色土ブロック少量含む。

C153号土坑



第1層 褐色土 粘性・しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・  
径1～3mmの黒色スコリア・ロームブロック微量、ローム  
粒多量含む。



第589図 8区・9区・調整池②区C150～153号土坑 [1/60]

**C 149号土坑** (第588図、図版136-6)

Y 9 グリッドで検出された。確認面は標高22.1mを測る。南側をC 34号土坑に切られている。楕円形のプランを呈すると考えられ、皿状の掘り込みを持つ。残存長径0.83m、短径0.80mを測る。確認面からの深さは0.06mを測る。

覆土は明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 150号土坑** (第589図、図版136-7)

Z 8 グリッドで検出された。確認面は標高21.6mを測る。楕円形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長径0.98m、短径0.76mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は暗褐色土・暗茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 151号土坑** (第589図、図版136-8)

Y 8 グリッドで検出された。確認面は標高22.8mを測る。C 42号堅穴状遺構を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-32°-Wで、長軸1.00m、短軸0.64mを測る。確認面からの深さは0.39mを測る。

覆土は茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には炭化物粒を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 152号土坑** (第589図、図版137-1)

X 8 グリッドで検出された。確認面は標高23.1mを測る。歪んだ隅丸長方形のプランを呈し、箱状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-38°-Wで、長軸1.22m、短軸0.92mを測る。確認面からの深さは0.16mを測る。

覆土は茶褐色土・明茶褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第2層に茶褐色土をブロックで少量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**C 153号土坑** (第589・590図、第134表、図版173-2)

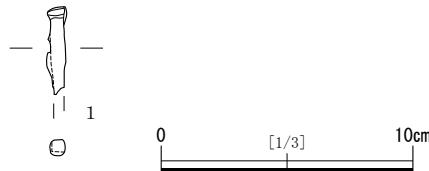
T 15・U 15 グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。C 154号土坑を切っている。隅丸

長方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-6°-E、長軸3.54m、短軸2.06mを測る。確認面からの深さは0.36mを測る。覆土は褐色土の単層で、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。

遺物は、かわらけの小破片43点(254.5g)、鉄製品の釘1点(3.8g)の計44点(258.3g)が出土している。図化したのは以下の1点である。

第590図1は鉄製品の釘である。先端部が欠損している。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



第590図 8区・9区・調整池②区C153号土坑出土遺物 [1/3]

第134表 8区・9区・調整池②区C153号土坑出土遺物観察表 [第590図]

No.	種別	材質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	観察内容
1	釘	鉄	(3.5)	0.6	0.6	3.8	残存度 先端部欠損

#### C154号土坑(第591・592図、第135表、図版174-1・180)

T15・U15グリッドで検出された。確認面は標高23.6mを測る。C2号竪穴状遺構を切っている。東側をC134号土坑に切られている。歪んだ隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-84°-Wで、残存長軸3.56m、短軸2.00mを測る。確認面からの深さは0.56mを測る。

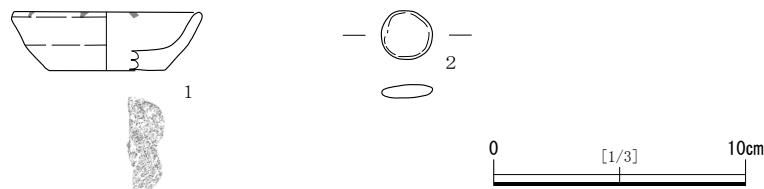
覆土は黄褐色土・褐色土の4層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。第1層には褐色土のブロックを少量含む。第2・3層には炭化物粒を微量、ロームブロックを微量含む。第4層には炭化物粒を微量、ロームブロックを微量、暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は、かわらけ19点(106.7g)、石製品の碁石1点(3.3g)の19点(110.0g)が出土している。図化したのは以下の2点である。

第592図1はかわらけである。口径は7.4cmで中型の製品に分類できる。胎土は橙色、角閃石・細かい砂粒を・赤色スコリアを含む。口唇部に煤が付着しており、灯明皿として使用されたと考えられる。底部に不明瞭であるが回転糸切り痕が確認できる。14世紀後半の製品と考えられる。

第592図2は石製品の碁石である。平面形はやや楕円を呈する。

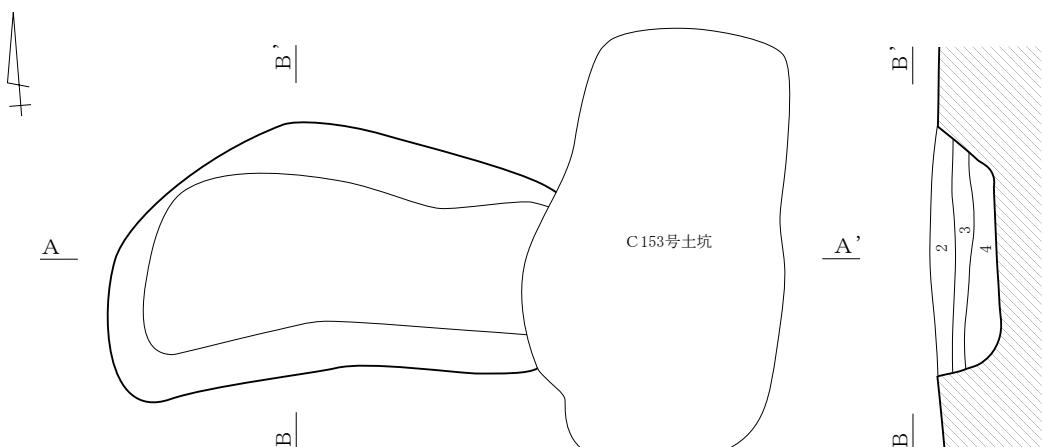
遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。



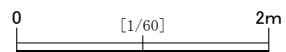
第591図 8区・9区・調整池②区C154号土坑出土遺物 [1/3]

第135表 8区・9区・調整池②区C154号土坑出土遺物観察表 [第591図]

No.	器種	種別	(○=現存値 □=復元値)			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	かわらけ	土器	[7.4]	[4.7]	2.3	14.8	口縁部～底部1/4	在地	14世紀～15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・細かい砂粒を・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 口唇部煤付着、灯明皿として使用、底部回転糸切り痕不明瞭
No.	種別	材質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	残存度	観察内容		
2	碁石	角閃石	1.9	2.0	0.5	3.3	完存	備考 やや楕円形を呈する		



- 第1層 黄褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～3mmの黒色スコリア微量、褐色土ブロック少量含む。ローム主体。  
 第2層 褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～3mmの黒色スコリア・炭化物粒・ロームブロック微量、ローム粒やや多量含む。  
 第3層 褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～3mmの黒色スコリア・炭化物粒微量、ローム粒中量、ロームブロック少量含む。  
 第4層 褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1～3mmの橙色スコリア・径1～3mmの黒色スコリア・炭化物粒・暗褐色土ブロック微量、ローム粒少量、ロームブロック中量含む。



第592図 8区・9区・調整池②区C154号土坑 [1/60]

## C 155号土坑(第593・594図、第136表、図版137-2・174)

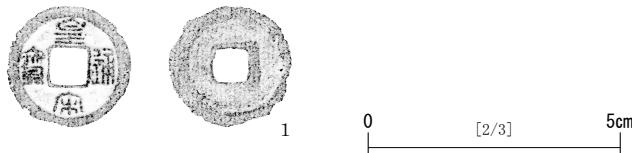
T 12グリッドで検出された。確認面は標高23.9mを測る。C 156号土坑を切っている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位はN-35°-Eで、長軸0.79m、短軸0.56mを測る。確認面からの深さは0.18mを測る。

覆土は暗灰褐色土の単層で、橙色スコリアを含む。炭化物粒を微量、灰褐色土をまだらに含む。

遺物は、かわらけ 1 点 (3.2 g)、銅錢 1 点 (2.2 g) の 2 点 (5.4 g) が出土している。図化したのは以下の 1 点である。

第593図 1 は渡来銭の皇宋通寶初である。鋳造国は北宋、鋳年は 1038 年、書体は篆書である。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。



第593図 8区・9区・調整池②区 C155号土坑出土遺物 [2/3]

第136表 8区・9区・調整池②区 C155号土坑出土遺物観察表 [第593図]

No.	銭名	材質	銭径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度	観察内容
1	皇宋通寶	銅	24.5	6.2	1.0	2.2	完形	鋳造国 北宋 初鋳年 1038年 備考 篆書

#### C 156号土坑 (第594図、図版137-2)

T 12 グリッドで検出された。確認面は標高 24.0 m を測る。南東側を C 155 号土坑に切られている。隅丸長方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つと考えられる。残存長軸 0.69 m、短軸 0.58 m を測る。確認面からの深さは 0.11 m を測る。

覆土は暗灰褐色土の単層で、橙色スコリアを含む。炭化物粒を微量、灰褐色土をまだらに含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

#### C 157号土坑 (第594図、図版137-3)

U-12 グリッドで検出された。確認面は標高 23.8 m を測る。長楕円形のプランを呈し、碗状の掘り込みを持つ。長軸方位は N-42°-E で、長径 2.26 m、短径 0.55 m を測る。確認面からの深さは 0.15 m を測る。

覆土は暗褐色土の 2 層で構成され、橙色スコリア・褐色スコリアを含む。炭化物粒を微量、乳白色粘土粒とローム粒を少量組む。

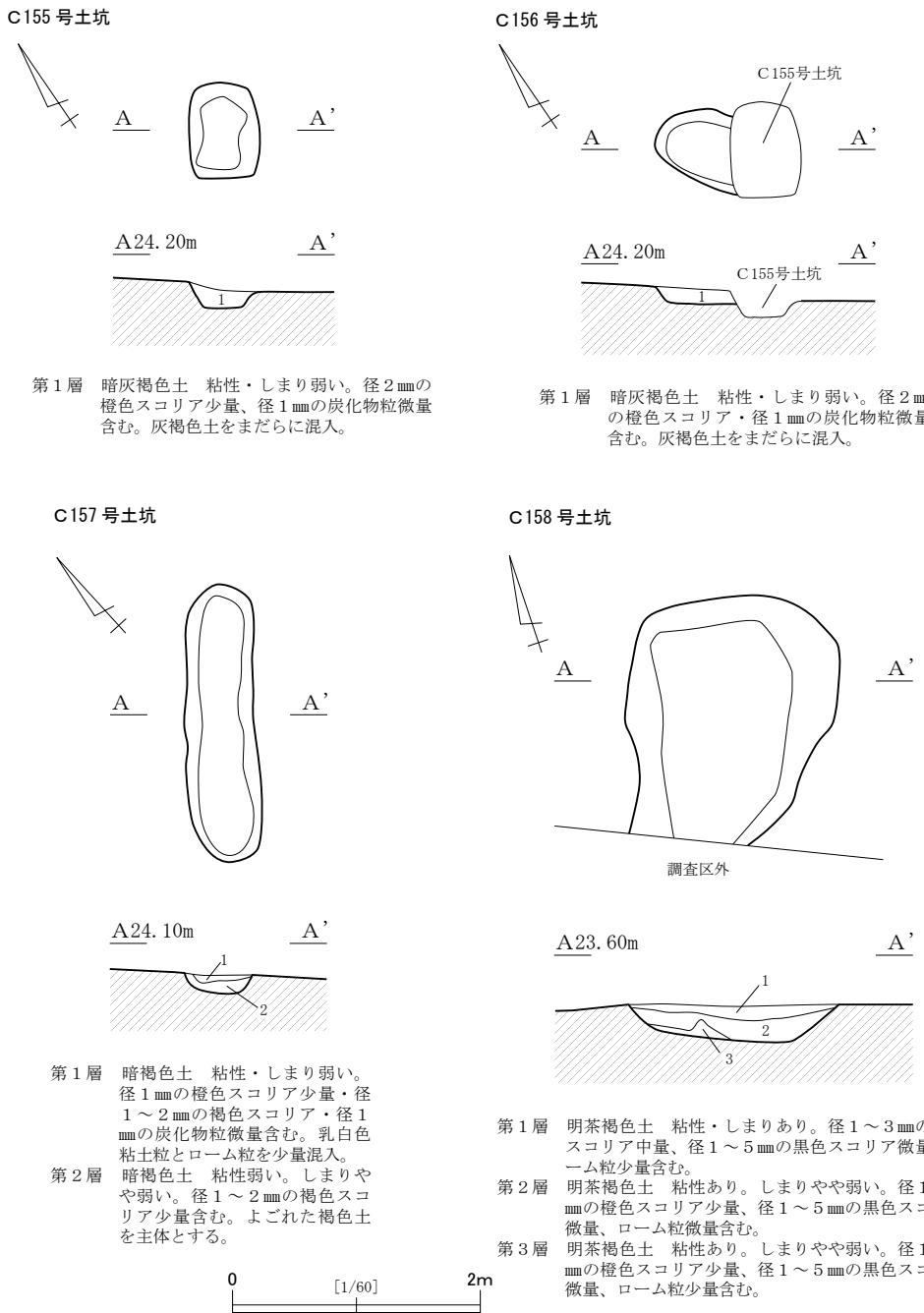
遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半世紀以降と考えられる。

#### C 158号土坑 (第594図、図版137-4)

Y 7 グリッドで検出された。確認面は標高 23.2 m を測る。南側が調査区外に延びている。歪んだ隅丸長方形のプランを呈すると考えられ、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸方位は N-19°-E で、残存長軸 2.04 m、短軸 1.29 m を測る。確認面からの深さは 0.29 m を測る。

覆土は明茶褐色土の 3 層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリア・ローム粒を含む。



第594図 8区・9区・調整池②区C155~158号土坑 [1/60]

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面・覆土及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

### (9) 集石

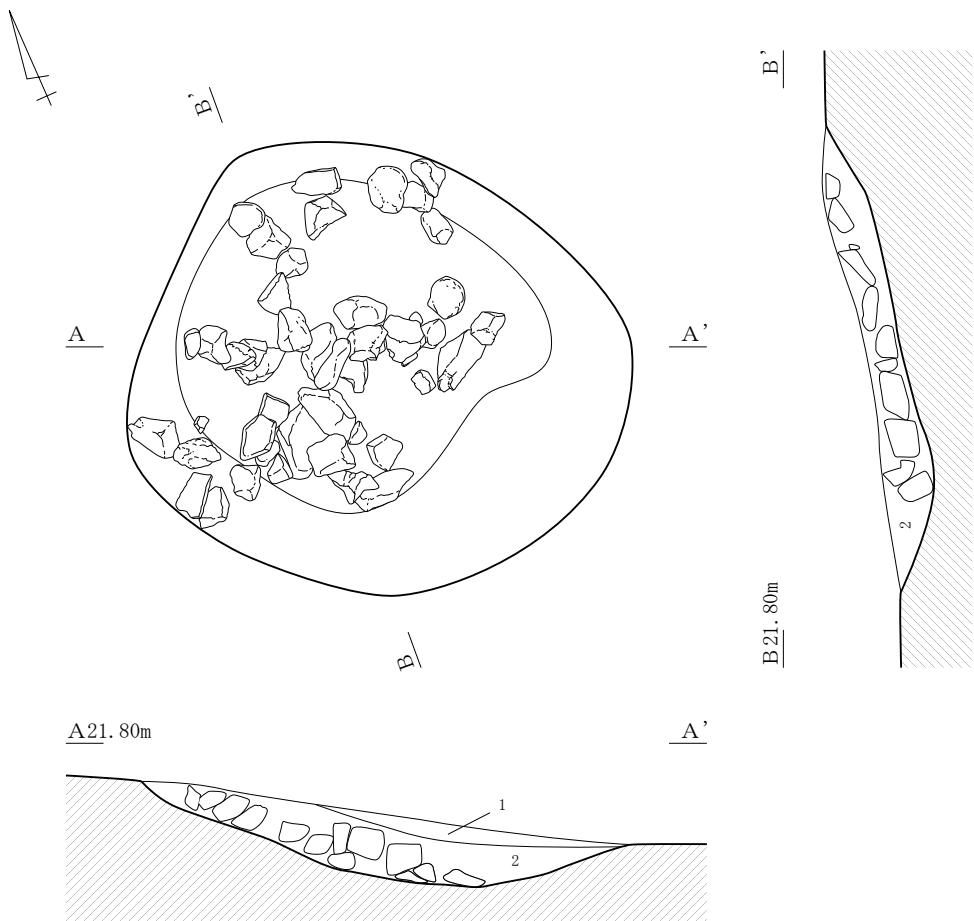
#### C1号集石(第595図、図版137-5)

W12グリッドで検出された。確認面は標高20.8~21.5mを測る。隅丸方形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長軸2.01m、短軸1.82mを測る。確認面からの深さは0.12~0.26mを測る。覆土内には径5~28cm程の51cm点の自然礫が確認されている。

覆土は明褐色土・暗青灰褐色土の2層で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。第1層には青灰褐色土のブロックを少量含む。遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

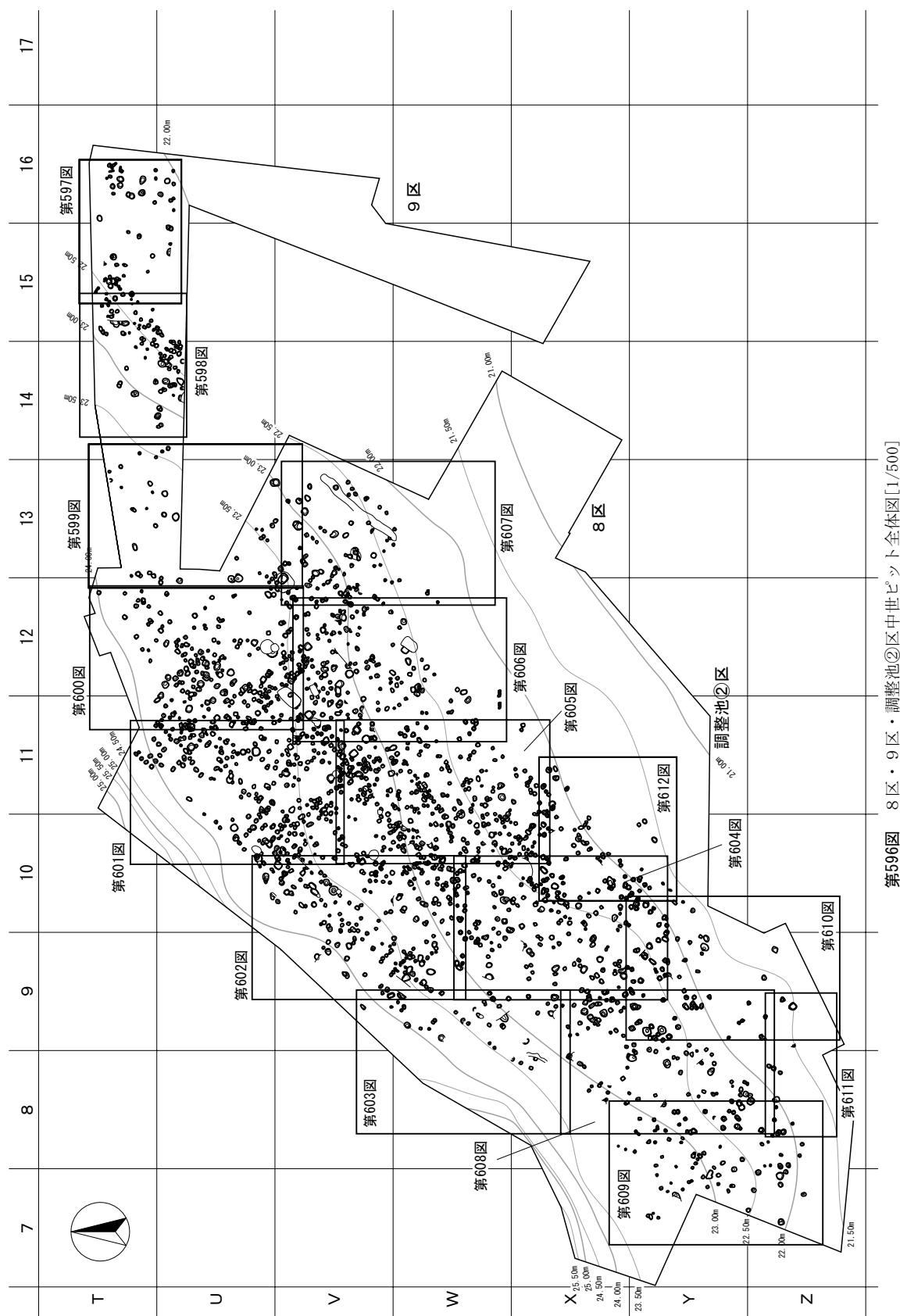


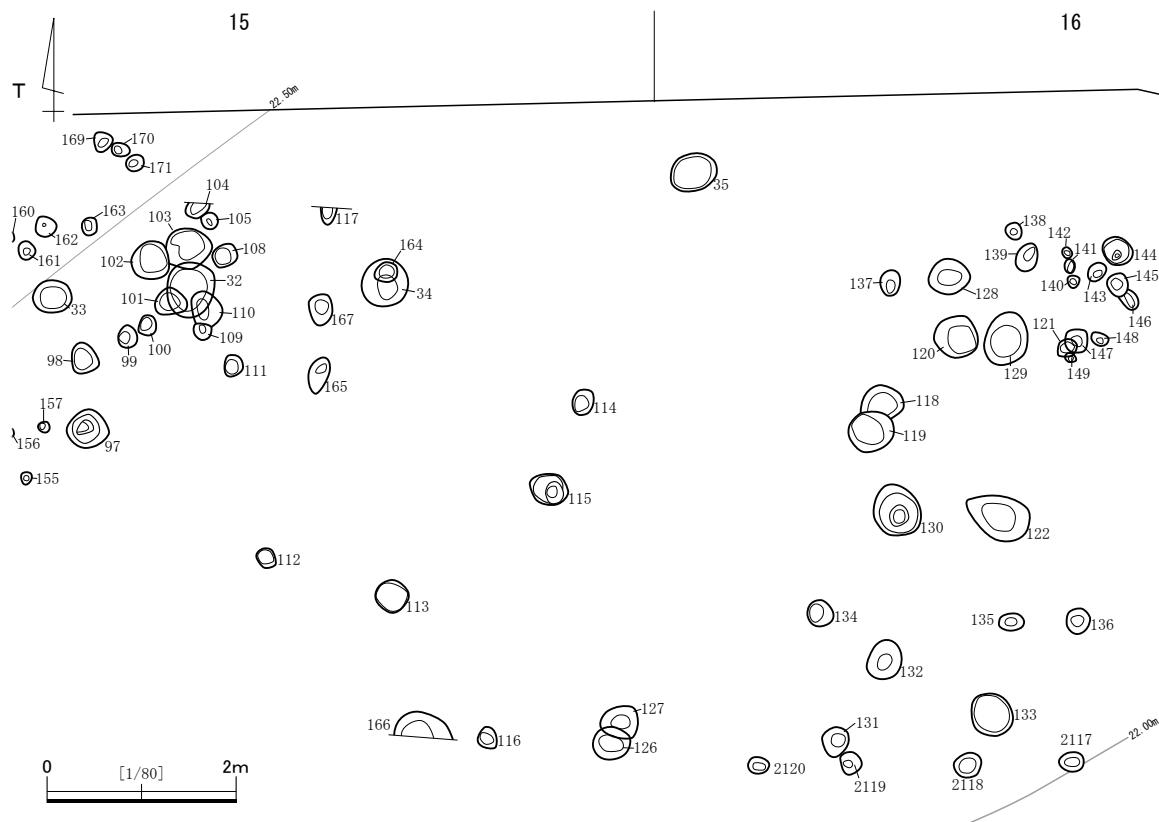
第1層 明褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1~3mmの橙色スコリア・青灰褐色土ブロック少量含む。  
第2層 暗青灰褐色土 粘性やや強い。しまりあり。径1~3mmの黒色スコリア微量含む。

第595図 8区・9区・調整池②区C 1号集石 [1/30]

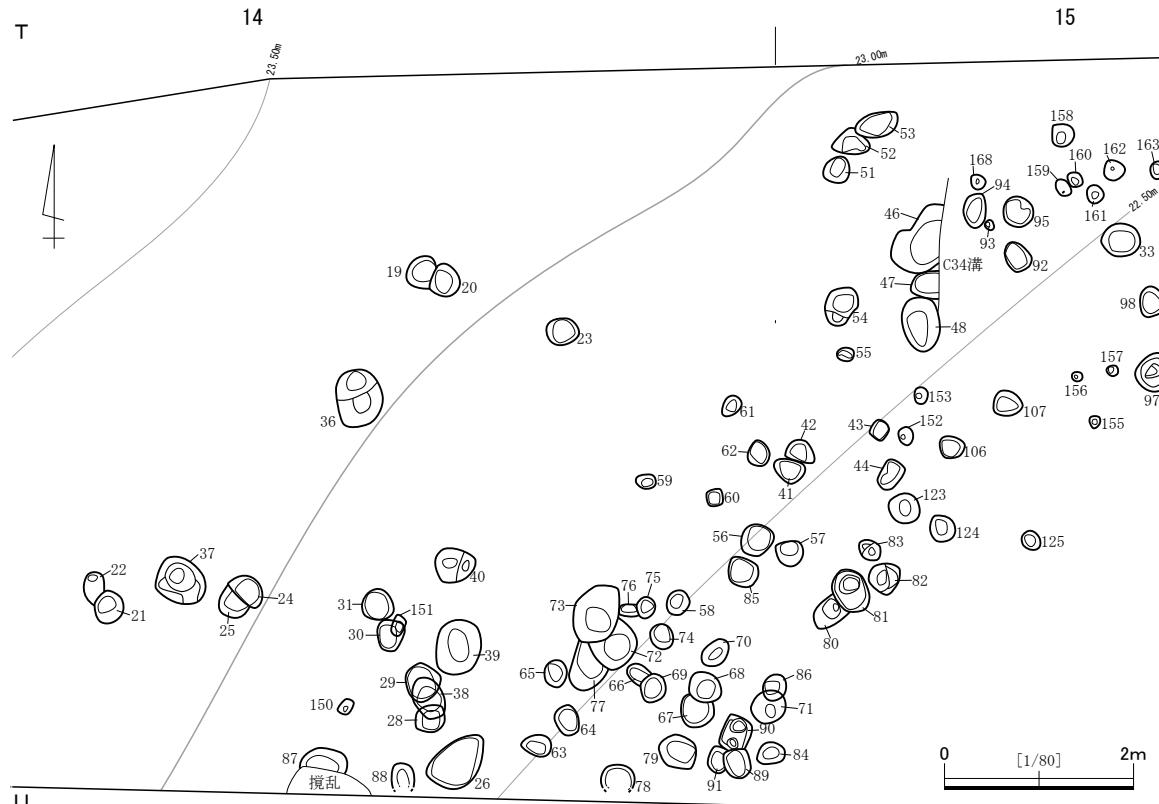
(10) ピット(第596~615図、第137・138表、図版138-1・138-2・173-2・174-2・176-1・176-2・180・181)

調査区から2,067基のピットが検出されている。各ピットの分布については第596図~第612図に提示し、検出位置、規模については第137表に一括して記載してある。ピットは調査区の全体で検出した。ピットの規模は、長径0.12~0.94m、短径0.08~0.71m、深さ0.01~1.07mの間に偏在する。覆土は茶褐色土・明茶褐色土・暗茶褐色土・暗褐色土・明褐色土・暗灰褐色土・黒褐色土・暗黒褐色土・黄褐色土・暗黄褐色土・明黄褐色土・暗赤褐色土・褐色土で構成され、橙色スコリア・黒色スコリアを含む。基本土層Ⅲ層土主

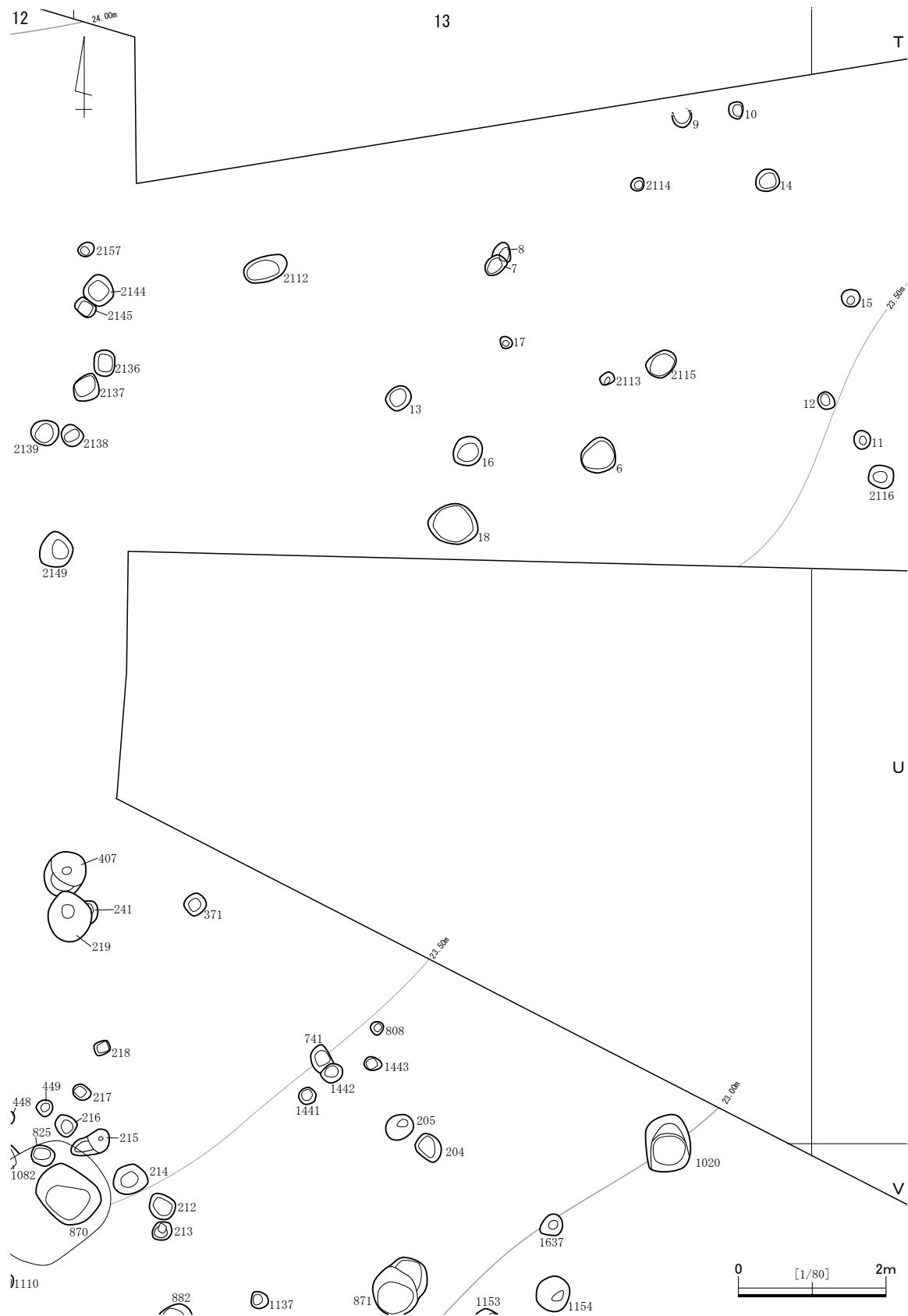




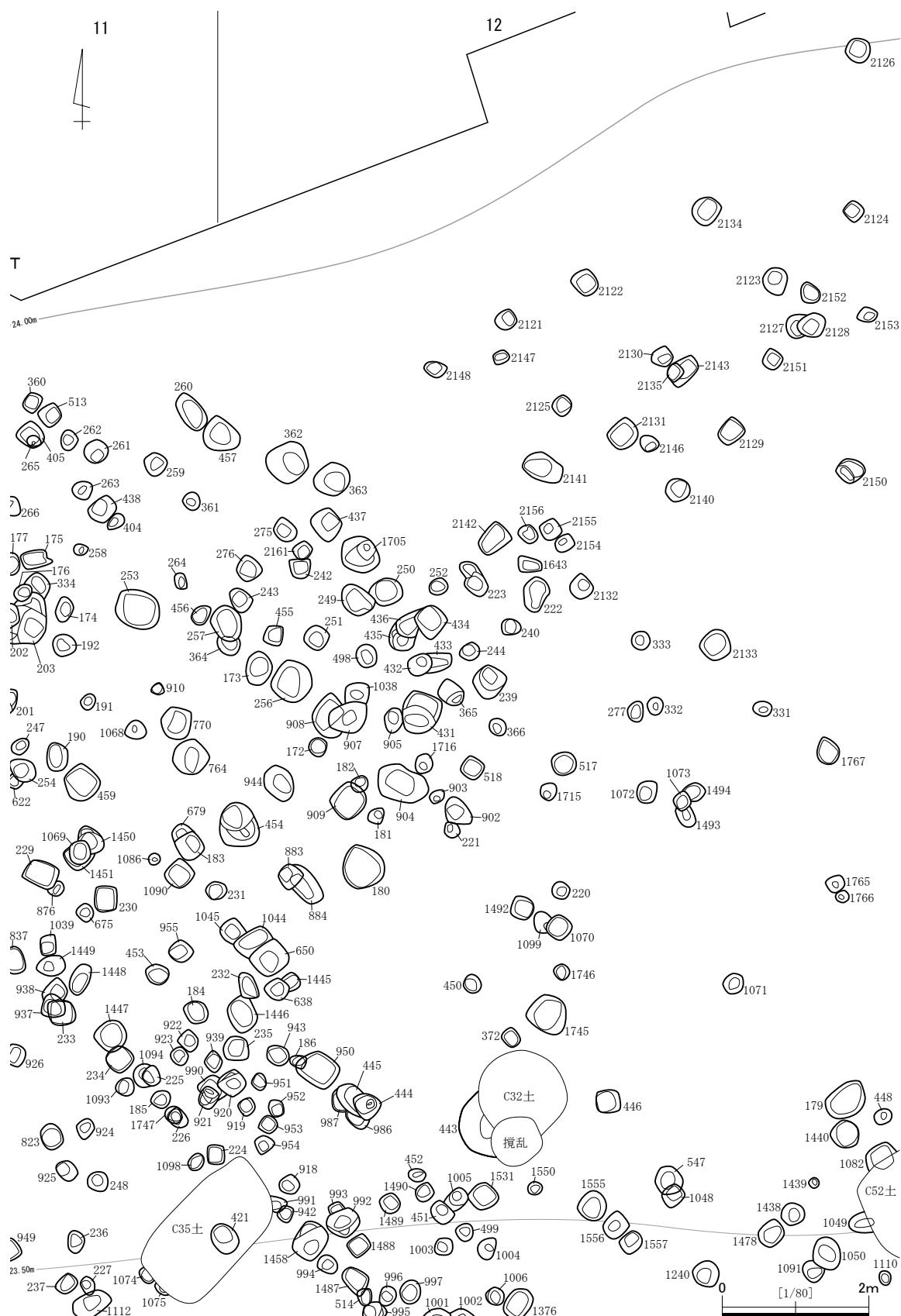
第597図 8区・9区・調整池②区中世ピット(1)[1/80]



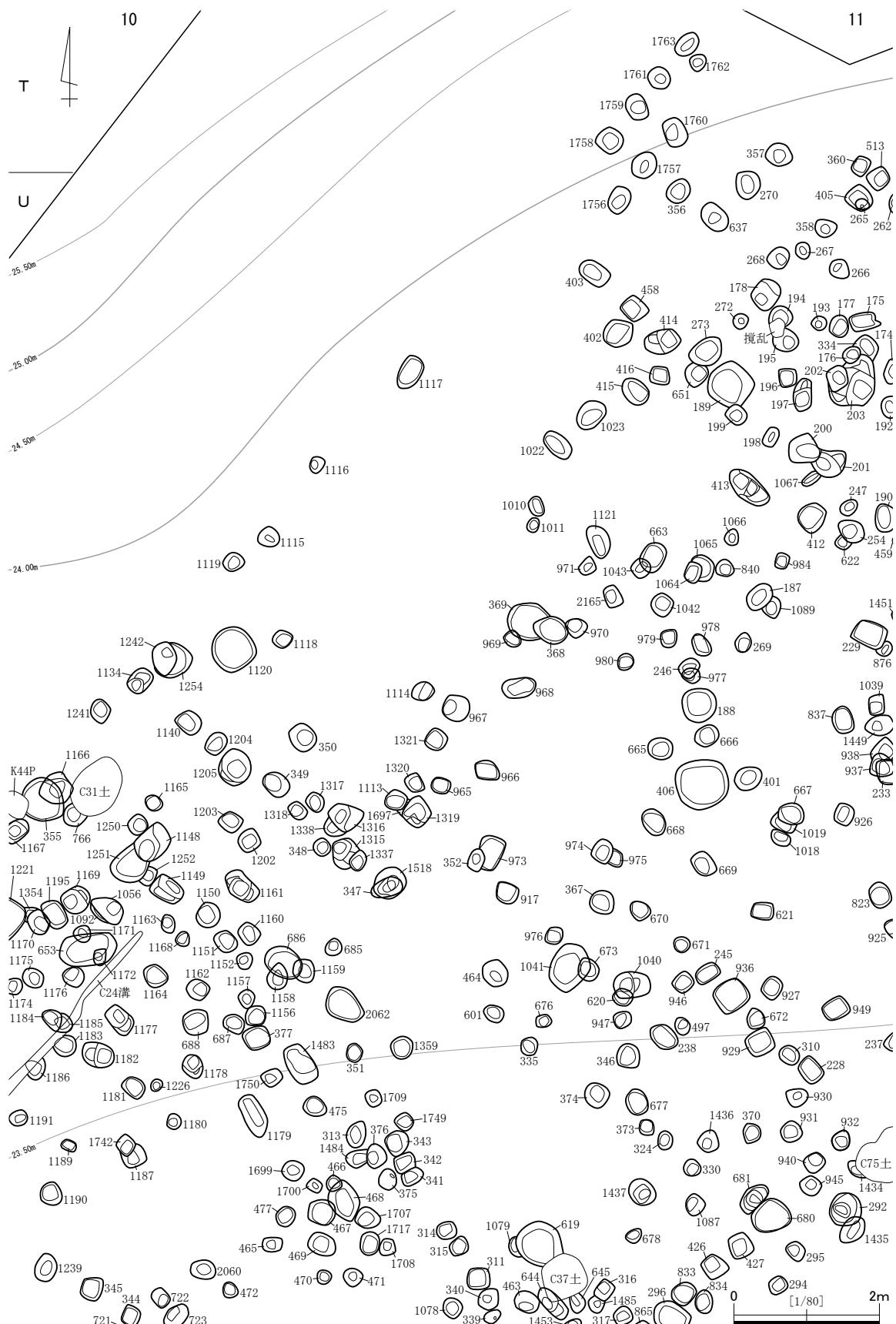
第598図 8区・9区・調整池②区中世ピット(2)[1/80]



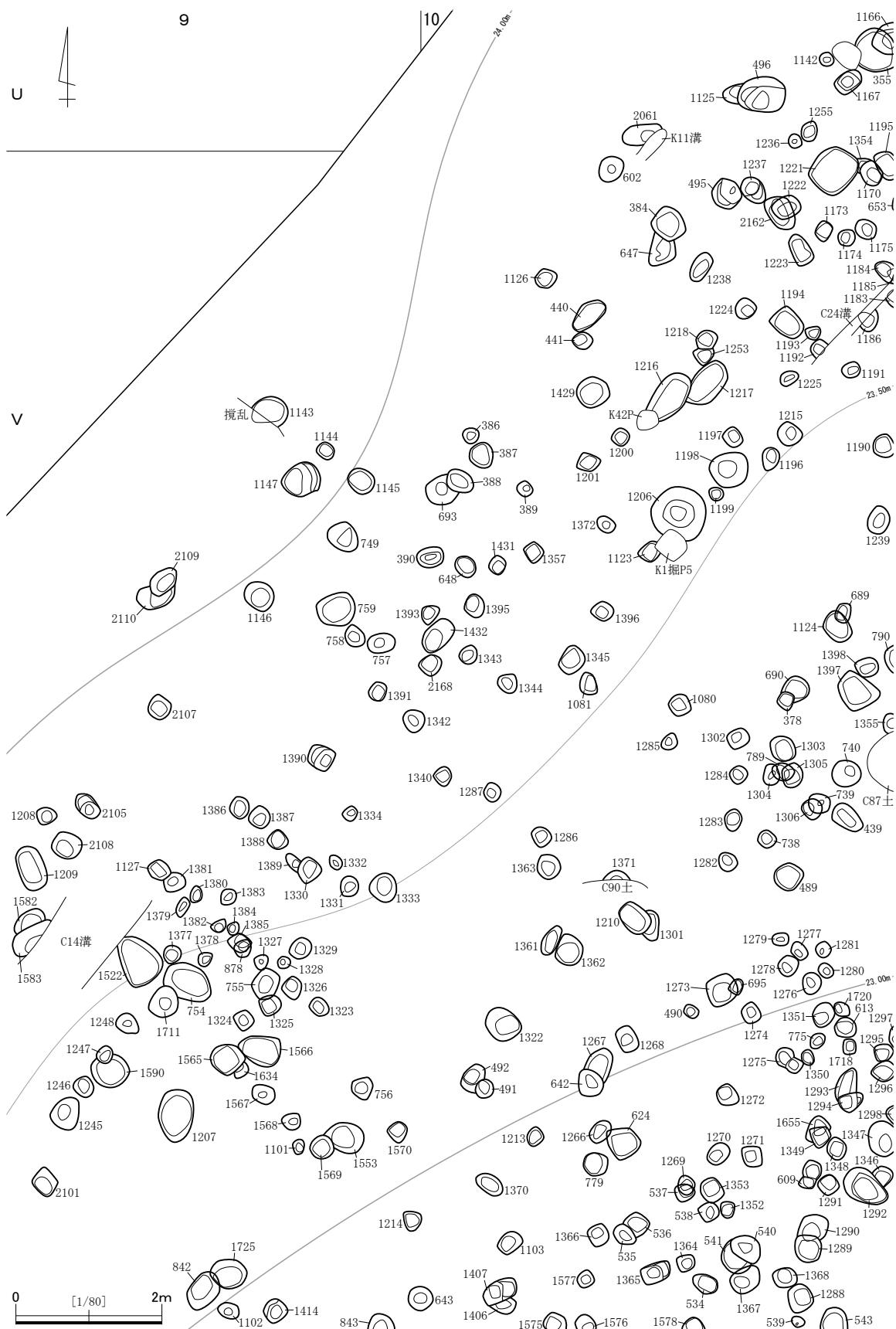
第599図 8区・9区・調整池②区中世ピット(3) [1/80]



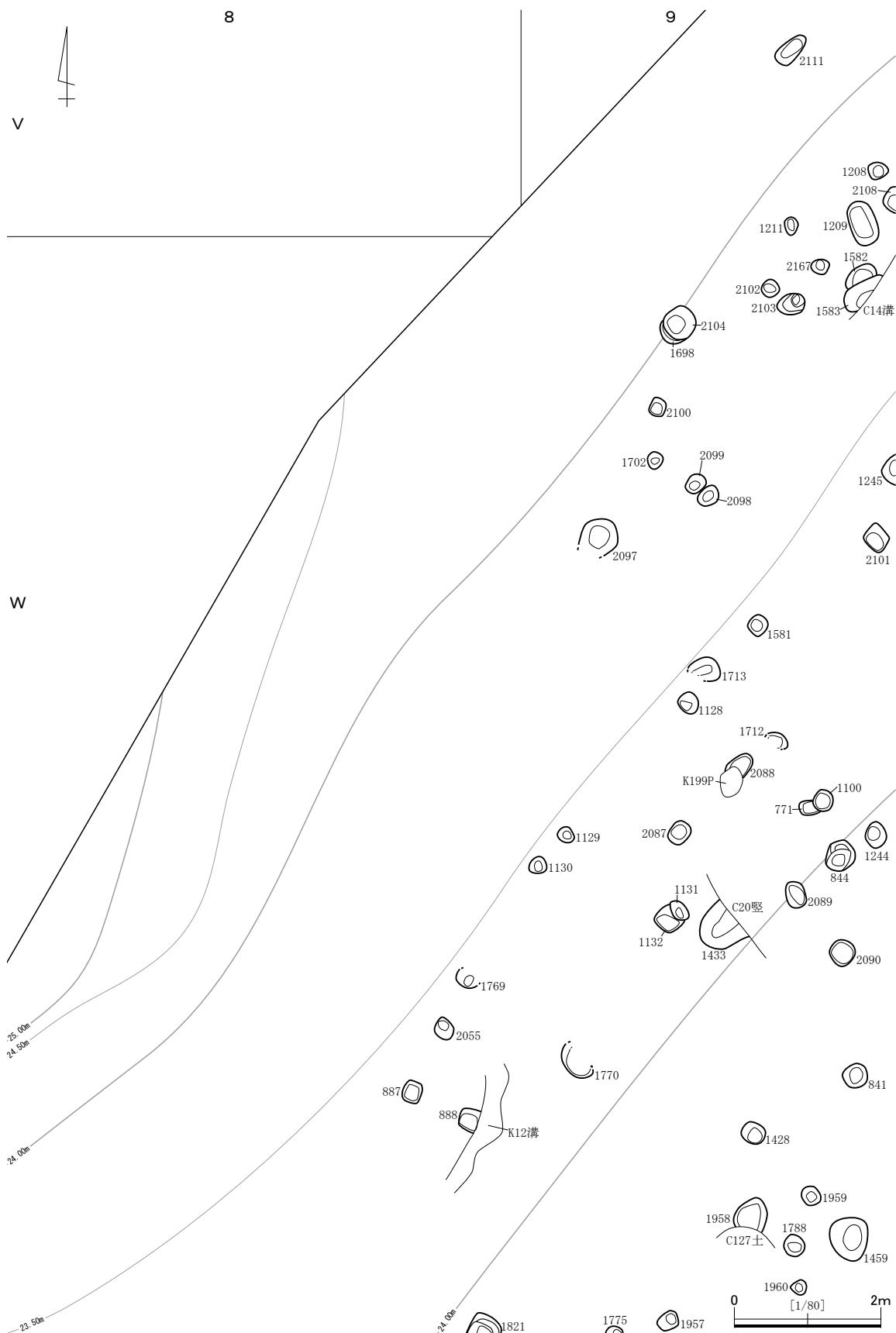
第600図 8区・9区・調整池②区中世ピット(4) [1/80]



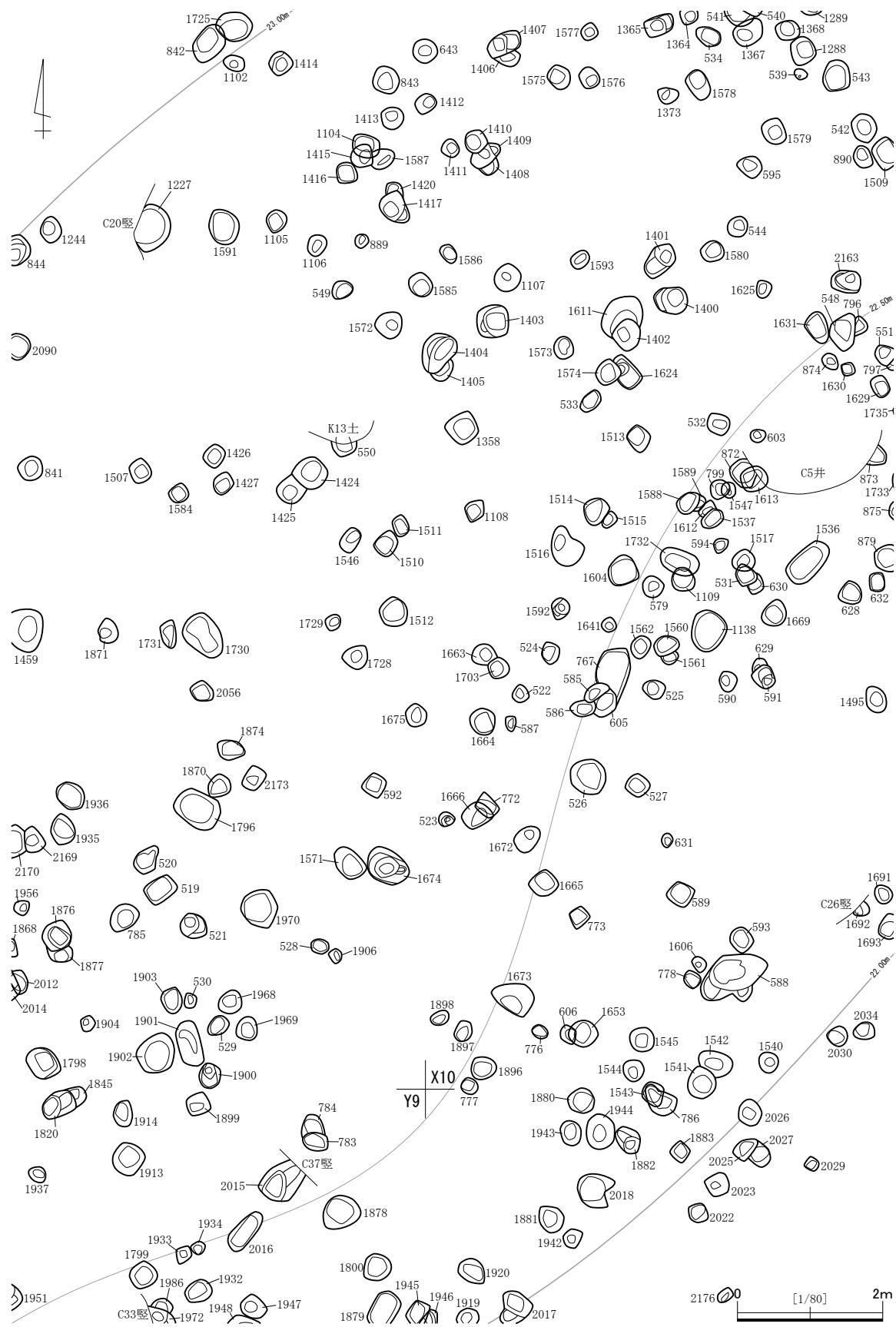
第601図 8区・9区・調整池②区中世ピット(5)[1/80]



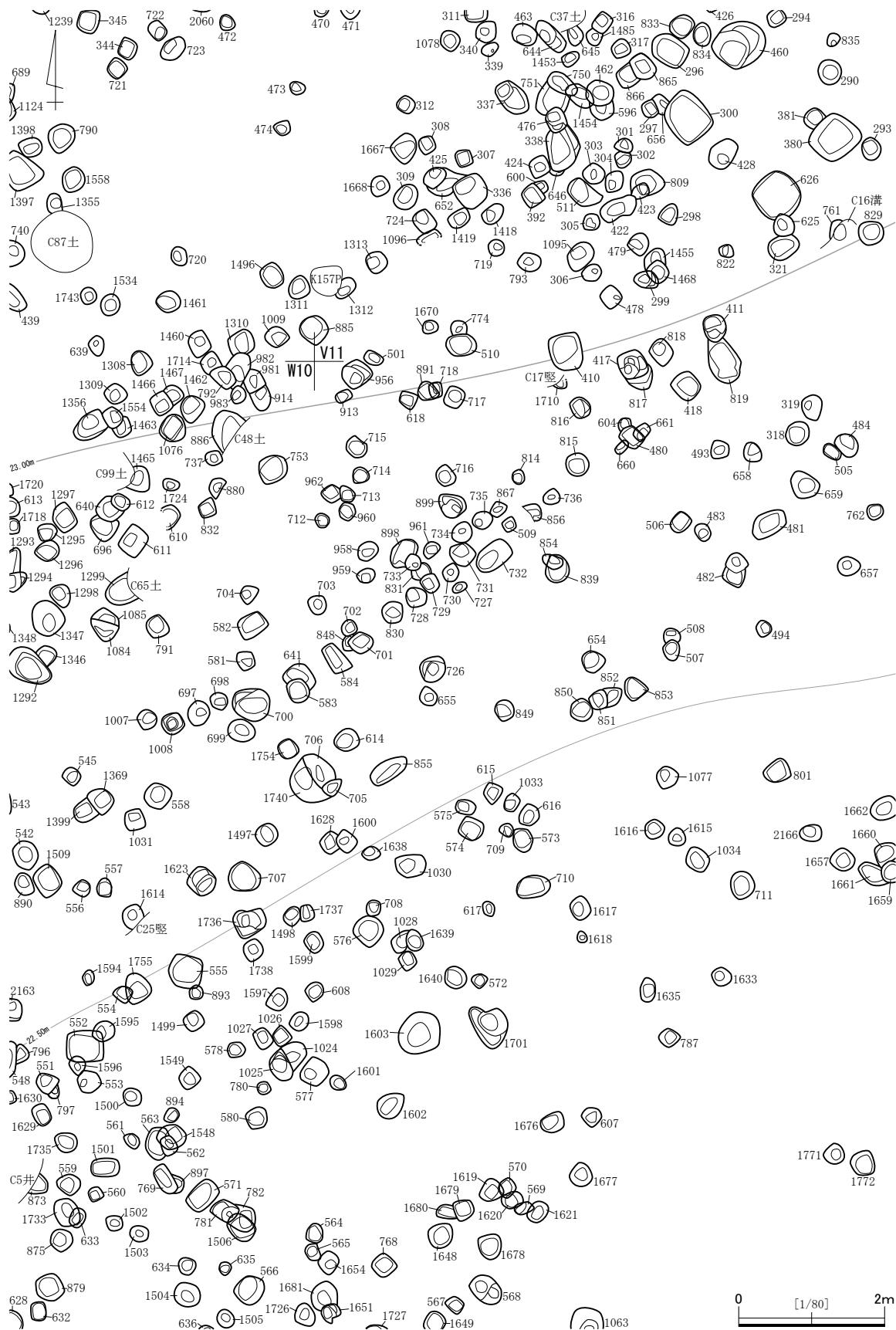
第602図 8区・9区・調整池②区中世ピット(6)[1/80]

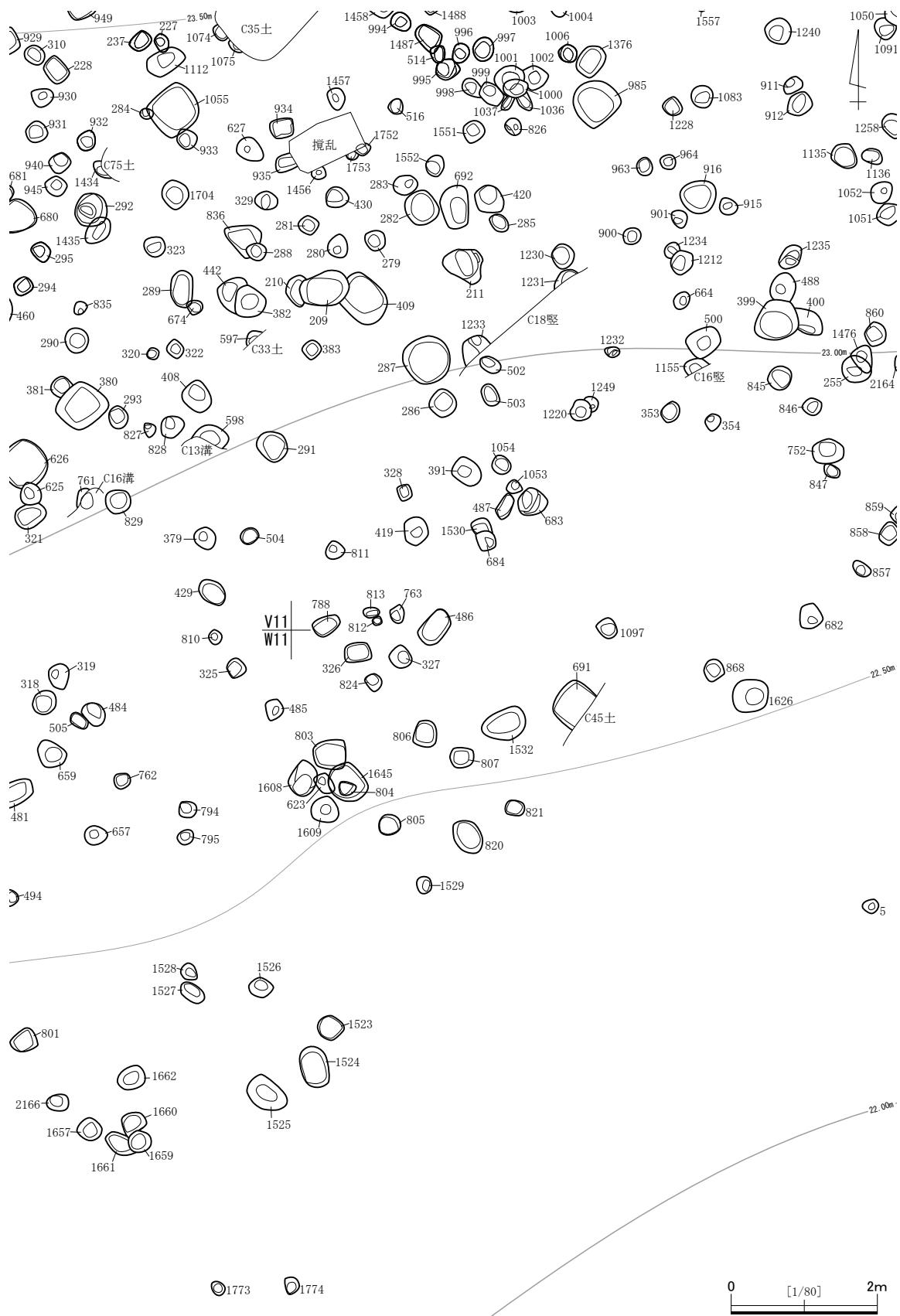


第603図 8区・9区・調整池②区中世ピット(7)[1/80]

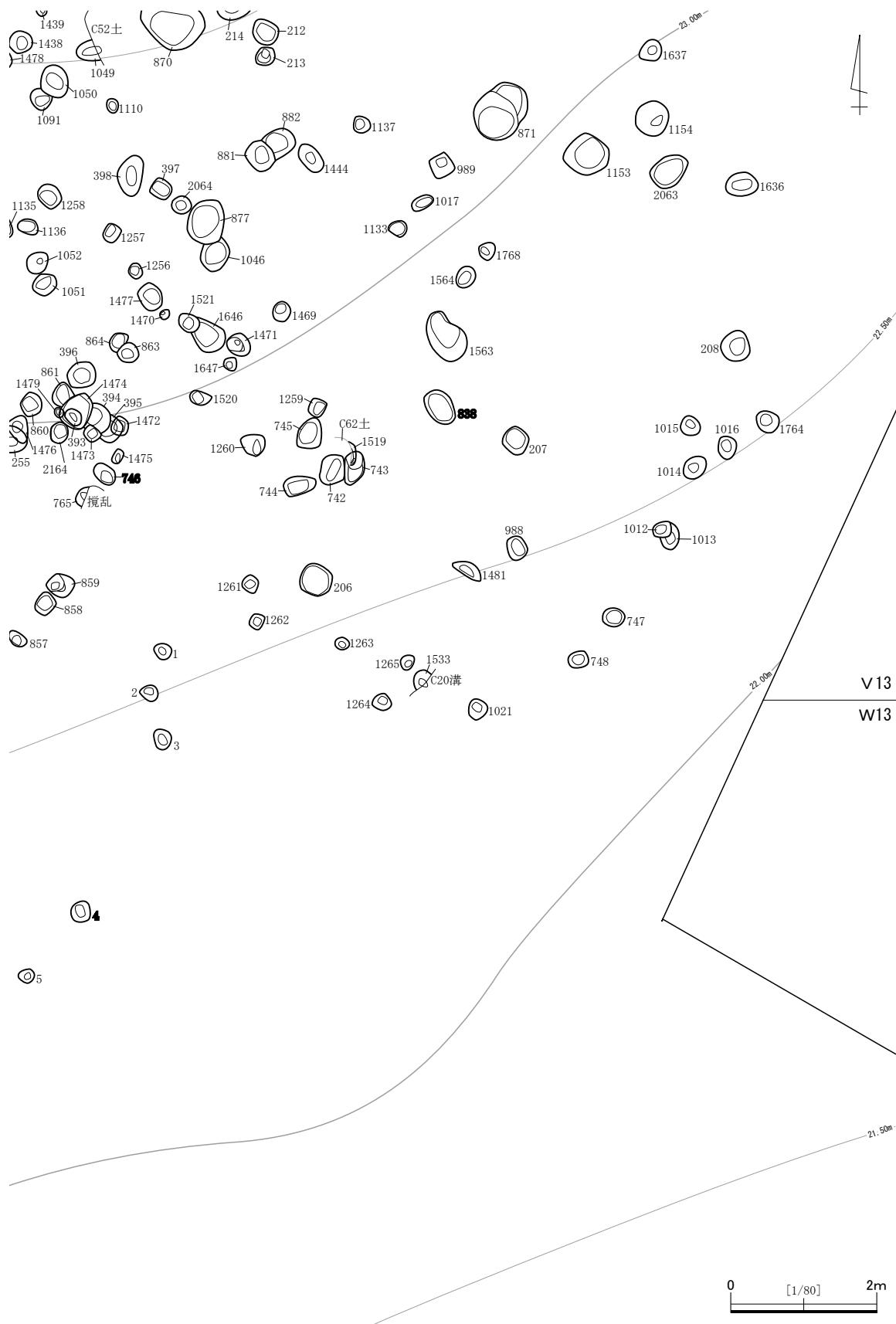


第604図 8区・9区・調整池②区中世ピット(8)[1/80]

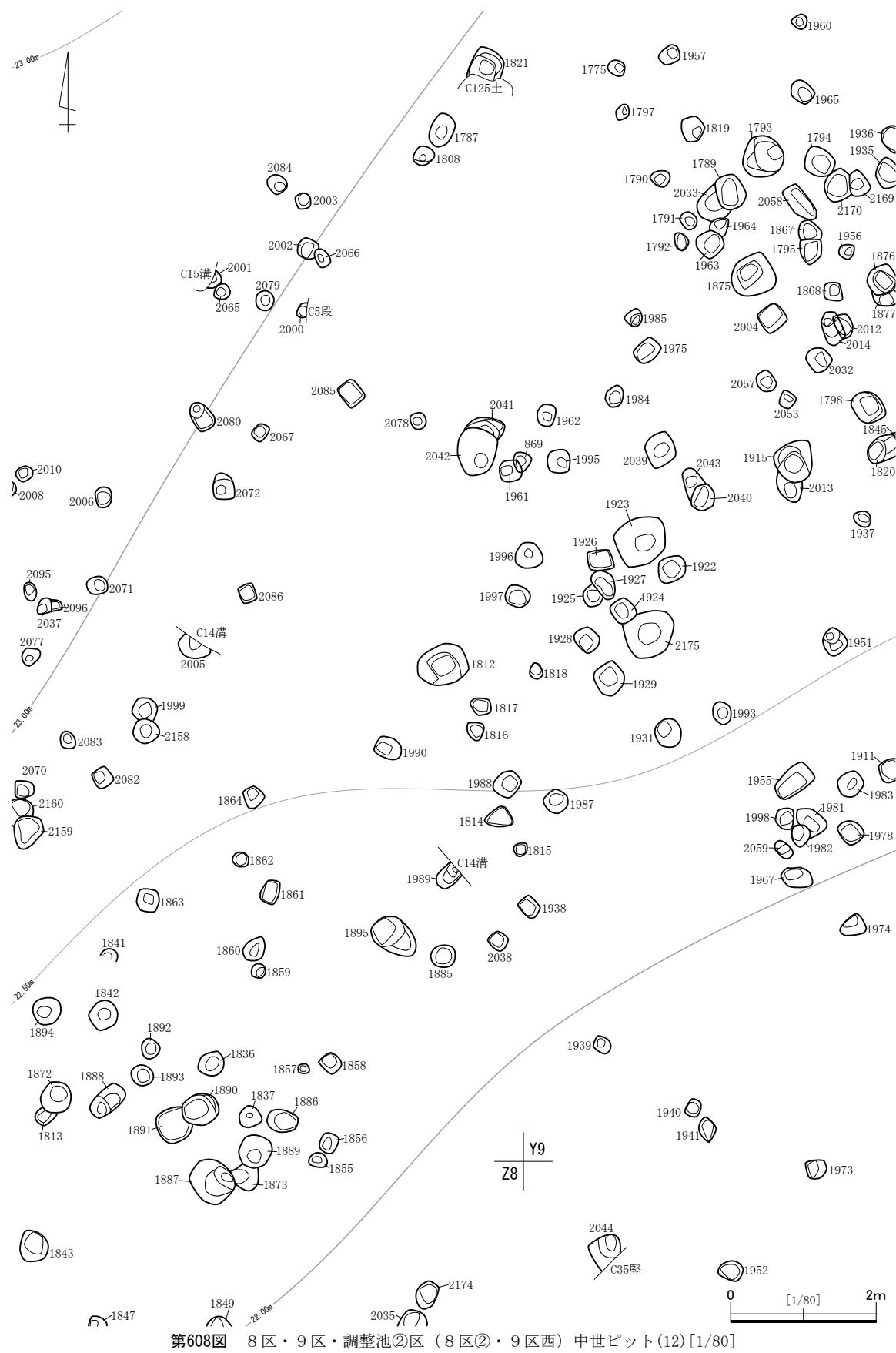




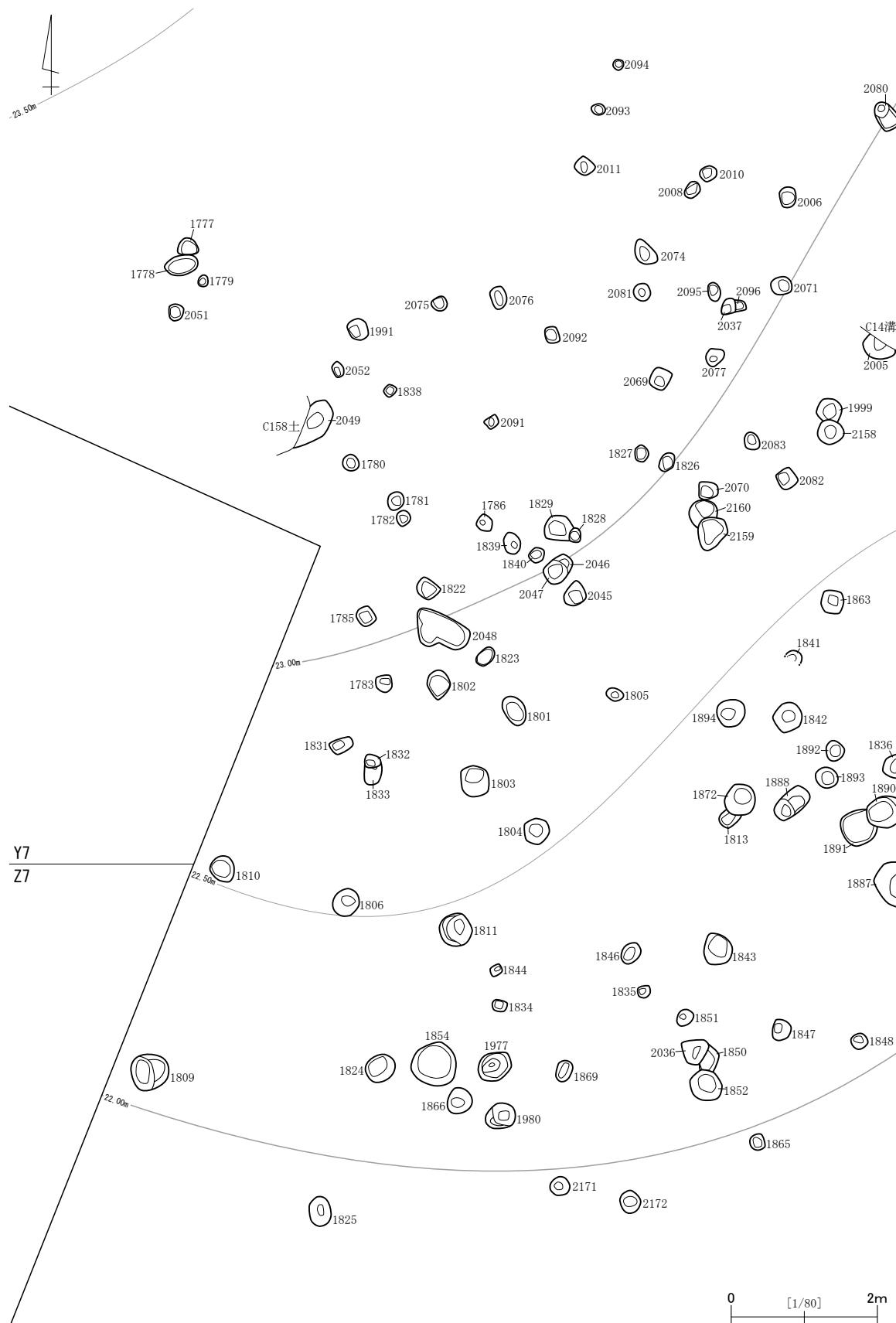
第606図 8区・9区・調整池②区中世ピット(10) [1/80]



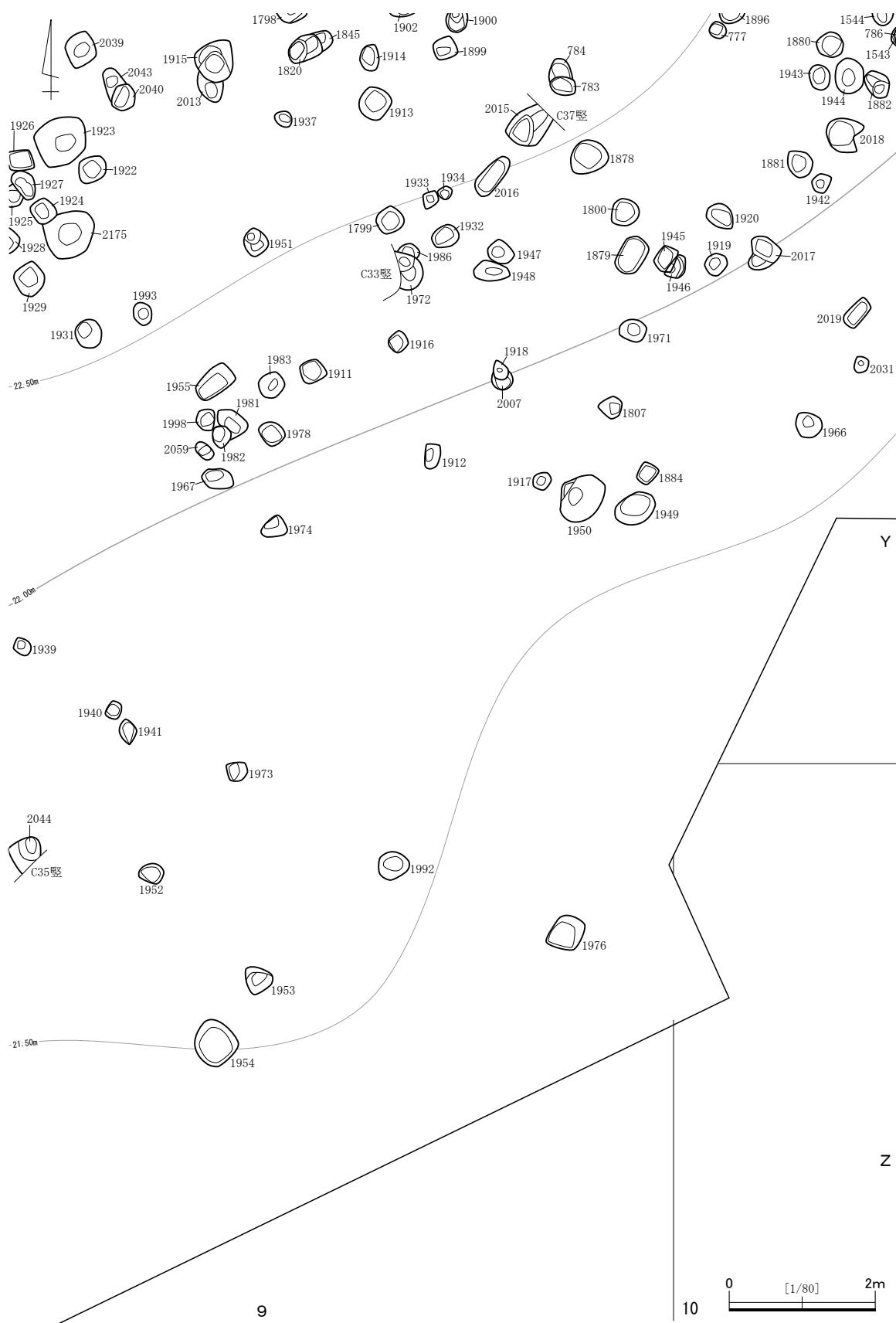
第607図 8区・9区・調整池②区（8区②・9区西）中世ピット(11) [1/80]



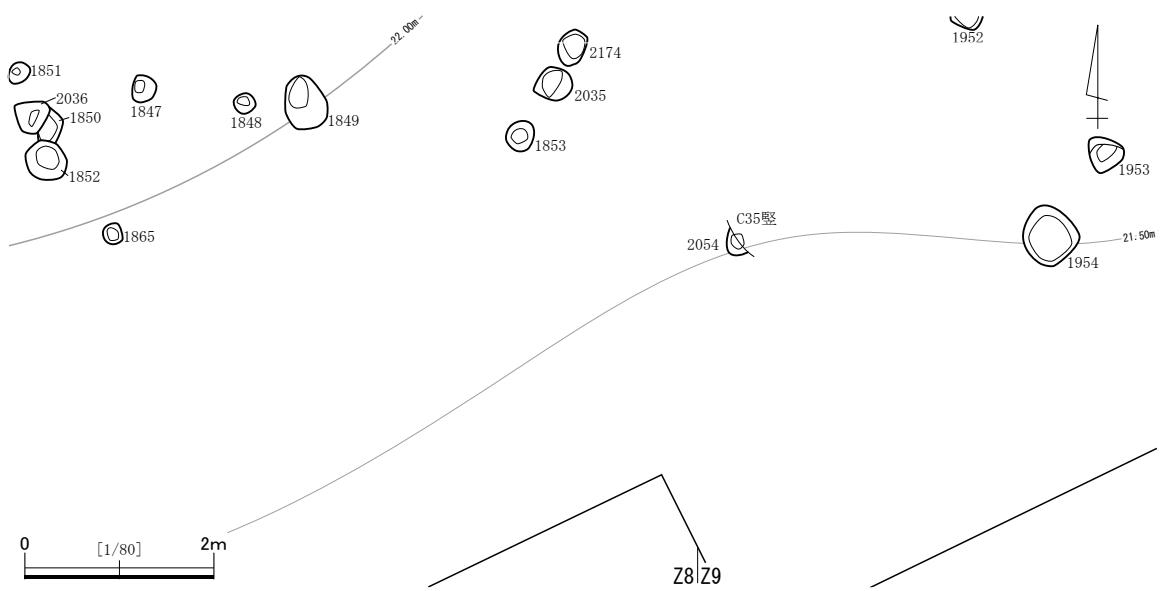
第608図 8区・9区・調整池②区（8区②・9区西）中世ピット(12) [1/80]



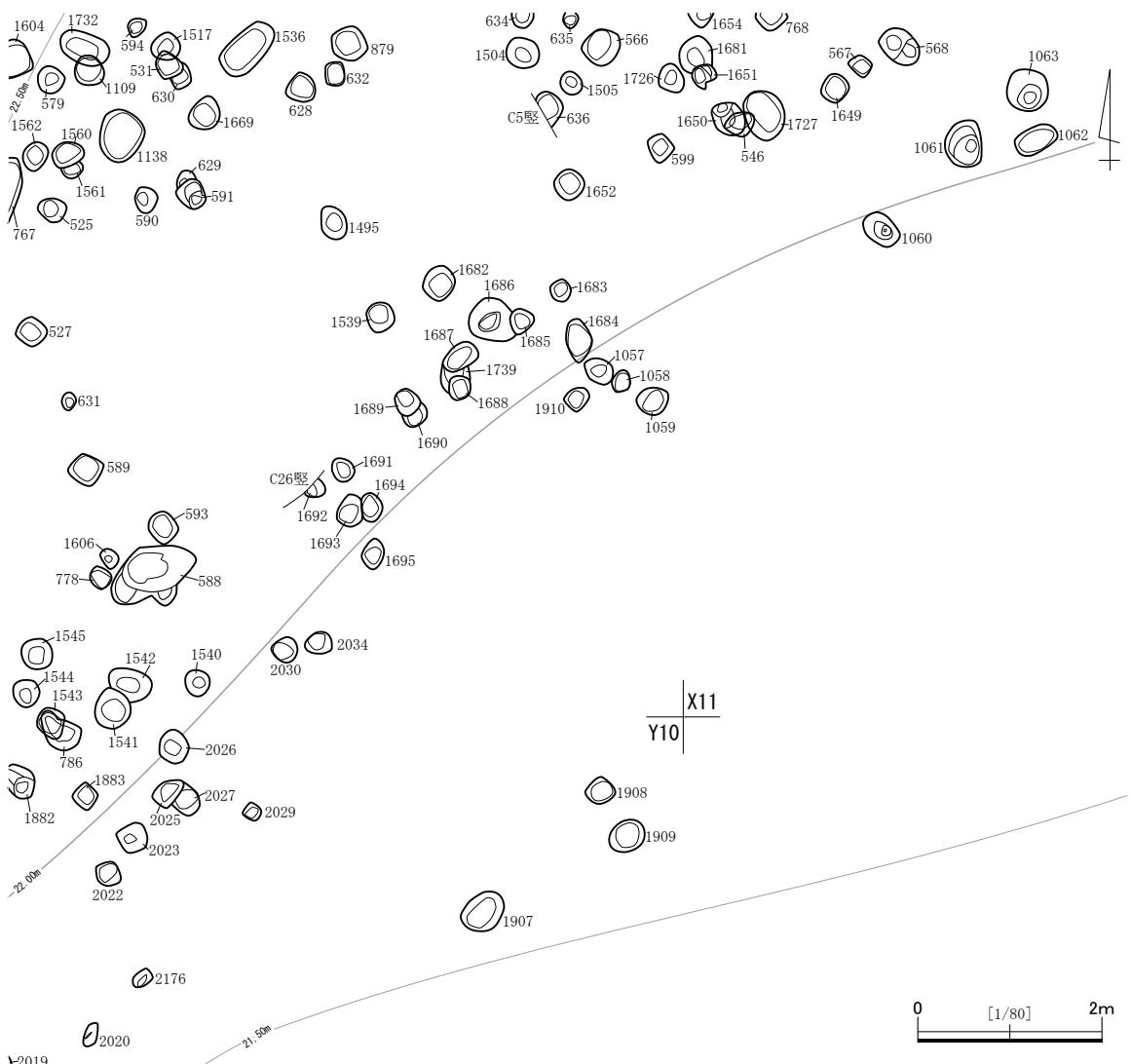
第609図 8区・9区・調整池②区中世ピット(13) [1/80]



第610図 8区・9区・調整池②区中世ピット(14) [1/80]



第611図 8区・9区・調整池②区中世ピット(15) [1/80]



第612図 8区・9区・調整池②区中世ピット(16) [1/80]

第137表 8区・9区・調整池②区中世ピット計測表 [第596～612図]

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 1号ピット	V12	0.25	0.22	0.11	円	C 40号ピット	T14・U14	0.42	0.37	0.32	円形
C 2号ピット	V12・W12	0.25	0.22	0.31	不整	C 41号ピット	T14・T15	0.32	0.25	0.13	不整形
C 3号ピット	W12	0.29	0.25	0.34	円	C 42号ピット	T15	0.32	0.25	0.11	不整形
C 4号ピット	W12	0.29	0.27	0.15	円形	C 43号ピット	T15	0.20	0.19	0.08	方形
C 5号ピット	W12	0.23	0.20	0.29	円形	C 44号ピット	T15	0.33	0.23	0.12	長方形
C 6号ピット	U13	0.49	0.46	0.08	円形	C 46号ピット	T15	0.76	(0.45)	0.34	不整形
C 7号ピット	T13	0.32	0.24	0.17	楕円形	C 47号ピット	T15	0.28	(0.17)	0.12	不整形
C 8号ピット	T13	0.26	(0.24)	0.33	楕円形	C 48号ピット	T15	0.58	0.40	0.10	楕円形
C 9号ピット	T13	0.27	(0.18)	0.15	円形	C 51号ピット	T15	0.29	0.27	0.08	円形
C 10号ピット	T13	0.24	0.20	0.14	円形	C 52号ピット	T15	(0.37)	0.32	0.15	楕円形
C 11号ピット	U14	0.24	0.23	0.21	円形	C 53号ピット	T15	0.48	0.28	0.16	楕円形
C 12号ピット	T14・U14	0.25	0.22	0.19	円形	C 54号ピット	T15	0.43	0.34	0.30	不整形
C 13号ピット	T13・U13	0.35	0.30	0.15	円形	C 55号ピット	T15	0.19	0.15	0.09	円形
C 14号ピット	T13	0.33	0.30	0.16	円形	C 56号ピット	T14	0.34	0.33	0.20	円形
C 15号ピット	T14	0.24	0.24	0.23	円形	C 57号ピット	T14・T15	0.30	0.27	0.21	円形
C 16号ピット	U13	0.39	0.38	0.28	円形	C 58号ピット	U14	0.27	0.24	0.22	円形
C 17号ピット	T13	0.18	0.17	0.14	円形	C 59号ピット	T14	0.22	0.16	0.06	円形
C 18号ピット	U13	0.68	0.55	0.16	円形	C 60号ピット	T14	0.18	0.18	0.08	方形
C 19号ピット	T14	0.36	(0.29)	0.16	円形	C 61号ピット	T14	0.25	0.18	0.17	円形
C 20号ピット	T14	0.35	0.32	0.20	円形	C 62号ピット	T14	0.27	0.23	0.12	不整形
C 21号ピット	U14	0.33	0.32	0.32	円形	C 63号ピット	U14	0.33	0.24	0.22	円形
C 22号ピット	T14・U14	0.32	(0.25)	0.59	楕円形	C 64号ピット	U14	0.32	0.25	0.27	円形
C 23号ピット	T14	0.35	0.30	0.20	円形	C 65号ピット	U14	0.28	0.24	0.30	円形
C 24号ピット	U14	0.40	0.26	0.56	楕円形	C 66号ピット	U14	(0.23)	0.20	0.17	楕円形
C 25号ピット	U14	(0.36)	0.26	0.56	楕円形	C 67号ピット	U14	0.37	(0.32)	0.12	円形
C 26号ピット	U14	0.66	0.51	0.24	不整形	C 68号ピット	U14	0.36	0.32	0.12	円形
C 28号ピット	U14	0.32	0.29	0.48	円形	C 69号ピット	U14	0.30	0.27	0.16	円形
C 29号ピット	U14	0.38	0.37	0.42	円形	C 70号ピット	U14	0.33	0.23	0.13	楕円形
C 30号ピット	U14	0.34	0.29	0.40	円形	C 71号ピット	U14・U15	0.36	0.33	0.15	円形
C 31号ピット	U14	0.34	0.33	0.36	円形	C 72号ピット	U14	0.48	(0.43)	0.37	方形
C 32号ピット	T15	0.59	0.50	0.21	円形	C 73号ピット	U14	0.60	0.50	0.52	楕円形
C 33号ピット	T15	0.42	0.35	0.18	円形	C 74号ピット	U14	0.28	0.25	0.10	円形
C 34号ピット	T15	0.50	0.50	0.53	円形	C 75号ピット	U14	0.22	0.20	0.15	円形
C 35号ピット	T16	0.50	0.40	0.13	円形	C 76号ピット	U14	(0.21)	0.14	0.09	長方形
C 36号ピット	T14	0.61	0.50	0.40	円形	C 77号ピット	U14	0.45	(0.38)	0.31	楕円形
C 37号ピット	T14・U14	0.54	0.47	0.60	円形	C 78号ピット	U14	0.36	(0.25)	0.19	円形
C 38号ピット	U14	0.46	0.33	0.23	楕円形	C 79号ピット	U14	0.40	0.36	0.27	円形
C 39号ピット	U14	0.59	0.47	0.29	楕円形	C 80号ピット	U15	(0.36)	0.27	0.32	楕円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 81号ピット	T15・U15	0.49	0.36	0.37	楕円形	C 121号ピット	T16	0.23	0.20	0.10	円形
C 82号ピット	T15・U15	0.32	0.30	0.33	方形	C 122号ピット	T16	0.71	0.46	0.21	不整形
C 83号ピット	T15	0.26	0.21	0.23	円形	C 123号ピット	T15	0.33	0.32	0.24	円形
C 84号ピット	U14・U15	0.31	0.23	0.27	円形	C 124号ピット	T15	0.30	0.26	0.19	円形
C 85号ピット	T14・U14	0.36	0.33	0.24	円形	C 125号ピット	T15	0.18	0.17	0.15	円形
C 86号ピット	U14・U15	0.29	0.25	0.14	円形	C 126号ピット	U15	0.40	0.35	0.14	円形
C 87号ピット	U14	0.50	(0.26)	0.33	楕円形	C 127号ピット	U15	0.41	0.34	0.16	円形
C 88号ピット	U14	(0.26)	0.25	0.18	楕円形	C 128号ピット	T16	0.45	0.39	0.19	円形
C 89号ピット	U14	0.32	0.28	0.25	円形	C 129号ピット	T16	0.58	0.46	0.19	楕円形
C 90号ピット	U14	(0.38)	0.36	0.21	方形	C 130号ピット	T16	0.58	0.49	0.34	円形
C 91号ピット	U14	0.29	(0.20)	0.09	円形	C 131号ピット	U16	0.32	0.28	0.25	円形
C 92号ピット	T15	0.32	0.25	0.16	円形	C 132号ピット	U16	0.42	0.35	0.15	円形
C 93号ピット	T15	0.12	0.09	0.17	円形	C 133号ピット	U16	0.48	0.44	0.13	円形
C 94号ピット	T15	0.36	0.25	0.15	楕円形	C 134号ピット	T16	0.28	0.28	0.26	円形
C 95号ピット	T15	0.34	0.33	0.13	円形	C 135号ピット	T16・U16	0.27	0.19	0.09	楕円形
C 97号ピット	T15	0.41	0.40	0.17	円形	C 136号ピット	T16・U16	0.27	0.25	0.09	円形
C 98号ピット	T15	0.32	0.27	0.17	円形	C 137号ピット	T16	0.28	0.21	0.11	円形
C 99号ピット	T15	0.24	0.21	0.22	円形	C 138号ピット	T16	0.18	0.17	0.12	円形
C 100号ピット	T15	0.22	0.19	0.20	円形	C 139号ピット	T16	0.31	0.23	0.13	楕円形
C 101号ピット	T15	0.35	0.28	0.22	円形	C 140号ピット	T16	0.14	0.13	0.05	円形
C 102号ピット	T15	0.40	0.39	0.31	円形	C 141号ピット	T16	0.15	0.12	0.06	円形
C 103号ピット	T15	0.49	0.43	0.32	円形	C 142号ピット	T16	0.12	0.10	0.08	円形
C 104号ピット	T15	0.26	(0.17)	0.12	楕円形	C 143号ピット	T16	0.22	0.18	0.05	円形
C 105号ピット	T15	0.19	0.17	0.49	円形	C 144号ピット	T16	0.34	0.30	0.10	円形
C 106号ピット	T15	0.27	0.24	0.22	円形	C 145号ピット	T16	0.25	0.22	0.12	円形
C 107号ピット	T15	0.31	0.27	0.12	円形	C 146号ピット	T16	(0.22)	0.17	0.12	楕円形
C 108号ピット	T15	0.27	0.23	0.15	円形	C 147号ピット	T16	0.25	0.24	0.15	方形
C 109号ピット	T15	0.25	0.24	0.44	不整形	C 148号ピット	T16	0.19	0.15	0.11	円形
C 110号ピット	T15	(0.26)	0.25	0.37	不整形	C 149号ピット	T16	0.12	0.10	0.14	円形
C 111号ピット	T15	0.23	0.20	0.18	円形	C 150号ピット	U14	0.18	0.14	0.16	方形
C 112号ピット	T15	0.22	0.19	0.09	方形	C 151号ピット	U14	0.22	0.14	0.18	長方形
C 113号ピット	T15	0.33	0.33	0.08	円形	C 152号ピット	T15	0.20	0.16	0.11	不整形
C 114号ピット	T15	0.28	0.23	0.15	円形	C 153号ピット	T15	0.18	0.14	0.09	円形
C 115号ピット	T15	0.42	0.33	0.17	円形	C 155号ピット	T15	0.14	0.12	0.11	円形
C 116号ピット	U15	0.24	0.21	0.26	不整形	C 156号ピット	T15	0.12	0.10	0.10	円形
C 117号ピット	T15	(0.19)	0.17	0.11	不整形	C 157号ピット	T15	0.12	0.12	0.12	円形
C 118号ピット	T16	0.45	(0.33)	0.11	楕円形	C 158号ピット	T15	0.25	0.25	0.17	円形
C 119号ピット	T16	0.48	0.43	0.33	円形	C 159号ピット	T15	0.20	0.15	0.12	円形
C 120号ピット	T16	0.46	0.45	0.45	円形	C 160号ピット	T15	0.18	0.15	0.14	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C161号ピット	T15	0.18	0.18	0.14	円形	C200号ピット	U11	0.45	0.44	0.65	円形
C162号ピット	T15	0.23	0.20	0.16	円形	C201号ピット	U11	(0.46)	0.40	0.29	不整形
C163号ピット	T15	0.19	0.16	0.13	円形	C202号ピット	U11	0.37	0.31	0.47	円形
C164号ピット	T15	0.26	0.22	0.25	円形	C203号ピット	U11	(0.75)	(0.63)	0.89	円形
C165号ピット	T15	0.40	0.22	0.26	不整形	C204号ピット	U13・V13	0.40	0.32	0.13	円形
C166号ピット	U15	0.63	(0.27)	0.09	楕円形	C205号ピット	U13	0.39	0.34	0.18	円形
C167号ピット	T15	0.32	0.24	0.28	円形	C206号ピット	V13	0.43	0.43	0.79	円形
C168号ピット	T15	0.16	0.15	0.09	円形	C207号ピット	V13	0.36	0.34	0.17	円形
C169号ピット	T15	0.21	0.20	0.12	不整形	C208号ピット	V13	0.42	0.39	0.59	円形
C170号ピット	T15	0.19	0.15	0.12	円形	C209号ピット	V12	0.58	0.49	0.45	円形
C171号ピット	T15	0.20	0.18	0.14	円形	C210号ピット	V11・V12	0.44	(0.26)	0.46	円形
C172号ピット	U12	0.25	0.23	0.10	円形	C211号ピット	V12	0.56	0.47	0.38	不整形
C173号ピット	U12	0.46	0.35	0.32	楕円形	C212号ピット	V13	0.35	0.34	0.32	円形
C174号ピット	U11	0.24	0.35	0.14	楕円形	C213号ピット	V13	0.27	0.25	0.23	円形
C175号ピット	U11	0.45	0.28	0.11	不整形	C214号ピット	V13	0.44	0.43	0.32	円形
C176号ピット	U11	0.25	0.22	0.12	円形	C215号ピット	U13・V13	0.56	0.31	0.35	不整形
C177号ピット	U11	0.26	0.25	0.11	円形	C216号ピット	U12・U13	0.29	0.28	0.28	円形
C178号ピット	U11	0.43	0.36	0.64	方形	C217号ピット	U12・U13	0.27	0.25	0.23	円形
C179号ピット	U12	0.60	0.43	0.13	円形	C218号ピット	U13	0.22	0.18	0.20	方形
C180号ピット	U12	0.60	0.58	0.09	円形	C219号ピット	U12・U13	0.69	0.58	0.46	円形
C181号ピット	U12	0.22	0.22	0.25	不整形	C220号ピット	U12	0.25	0.25	0.21	円形
C182号ピット	U12	0.23	0.20	0.17	円形	C221号ピット	U12	0.23	0.21	0.17	円形
C183号ピット	U11	0.35	0.35	0.66	方形	C222号ピット	U12	0.48	0.35	0.23	不整形
C184号ピット	U11	0.33	0.31	0.11	円形	C223号ピット	U12	0.54	0.30	0.43	不整形
C185号ピット	U11	0.27	0.25	0.15	円形	C224号ピット	V11・V12	0.27	0.24	0.16	方形
C186号ピット	U12	0.23	0.17	0.12	円形	C225号ピット	U11	0.26	0.24	0.39	円形
C187号ピット	U11	0.42	0.30	0.26	楕円形	C226号ピット	U11	0.28	0.23	0.35	円形
C188号ピット	U11	0.48	0.47	0.29	円形	C227号ピット	V11	0.25	0.19	0.31	円形
C189号ピット	U11	0.33	(0.31)	0.11	円形	C228号ピット	V11	0.36	0.28	0.30	長方形
C190号ピット	U11	0.39	0.30	0.14	楕円形	C229号ピット	U11	0.47	0.35	0.24	方形
C191号ピット	U11	0.23	0.22	0.10	円形	C230号ピット	U11	0.37	0.21	0.20	方形
C192号ピット	U11	0.33	0.31	0.13	円形	C231号ピット	U11・U12	0.28	0.25	0.13	円形
C193号ピット	U11	0.22	0.21	0.07	円形	C232号ピット	U12	0.28	0.36	0.39	楕円形
C194号ピット	U11	0.33	(0.31)	0.05	円形	C233号ピット	U11	0.38	0.35	0.17	方形
C195号ピット	U11	0.33	(0.31)	0.10	円形	C234号ピット	U11	0.35	0.34	0.20	方形
C196号ピット	U11	0.26	0.26	0.06	方形	C235号ピット	U12	0.36	0.33	0.18	円形
C197号ピット	U11	0.47	0.26	0.12	楕円形	C236号ピット	V11	0.30	0.23	0.11	円形
C198号ピット	U11	0.28	0.22	0.14	楕円形	C237号ピット	V11	0.30	0.24	0.13	円形
C199号ピット	U11	0.30	0.25	0.33	方形	C238号ピット	V11	0.41	0.30	0.16	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C239号ピット	U12	0.44	0.42	0.57	円形	C281号ピット	V12	0.29	0.27	0.23	円形
C240号ピット	U12	0.27	0.22	0.07	円形	C282号ピット	V12	0.48	0.48	0.32	円形
C241号ピット	U13	0.32	(0.15)	0.17	円形	C283号ピット	V12	0.34	0.28	0.61	円形
C242号ピット	U12	0.30	0.27	0.11	不整形	C284号ピット	V11	0.18	0.16	0.17	円形
C243号ピット	U12	0.34	0.28	0.07	円形	C285号ピット	V12	0.27	0.25	0.19	円形
C244号ピット	U12	0.26	0.25	0.13	円形	C286号ピット	V12	0.38	0.38	0.20	円形
C245号ピット	V11	0.35	0.24	0.14	楕円形	C287号ピット	V12	0.66	0.66	0.20	円形
C246号ピット	U11	0.28	0.27	0.20	円形	C288号ピット	V11	0.24	0.22	0.52	円形
C247号ピット	U11	0.25	0.24	0.19	円形	C289号ピット	V11	0.50	0.30	0.23	楕円形
C248号ピット	V11	0.28	0.27	0.16	円形	C290号ピット	V11	0.34	0.34	0.30	円形
C249号ピット	U12	0.48	0.37	0.25	円形	C291号ピット	V11	0.43	0.39	0.10	円形
C250号ピット	U12	(0.41)	0.38	0.07	円形	C292号ピット	V11	0.45	0.45	0.17	円形
C251号ピット	U12	0.34	0.33	0.29	円形	C293号ピット	V11	0.31	0.27	0.08	円形
C252号ピット	U12	0.25	0.24	0.07	円形	C294号ピット	V11	0.27	0.23	0.16	円形
C253号ピット	U11	0.54	0.51	0.19	円形	C295号ピット	V11	0.27	0.22	0.07	円形
C254号ピット	U11	0.38	0.32	0.16	円形	C296号ピット	V11	0.51	0.40	0.15	長方形
C255号ピット	V12	0.40	0.37	0.29	円形	C297号ピット	V11	0.24	0.21	0.14	円形
C256号ピット	U12	0.55	0.53	0.26	円形	C298号ピット	V11	0.29	0.25	0.11	不整形
C257号ピット	U11・U12	0.49	0.42	0.17	円形	C299号ピット	V11	0.35	0.25	0.19	楕円形
C258号ピット	U11	0.21	0.16	0.07	円形	C300号ピット	V11	0.65	0.59	0.17	方形
C259号ピット	U11	0.32	0.32	0.24	円形	C301号ピット	V11	0.26	0.20	0.19	円形
C260号ピット	T11・U11	0.55	0.32	0.38	楕円形	C302号ピット	V11	0.23	0.22	0.28	円形
C261号ピット	U11	0.34	0.33	0.60	円形	C303号ピット	V11	0.30	0.29	0.20	円形
C262号ピット	U11	0.28	0.24	0.14	円形	C304号ピット	V11	0.30	0.25	0.10	不整形
C263号ピット	U11	0.27	0.26	0.11	円形	C305号ピット	V11	0.24	0.23	0.14	円形
C264号ピット	U11	0.23	0.19	0.07	円形	C306号ピット	V11	0.27	0.22	0.31	円形
C265号ピット	U11	0.19	0.17	0.20	円形	C307号ピット	V11	0.24	0.22	0.18	方形
C266号ピット	U11	0.14	0.14	0.26	円形	C308号ピット	V11	0.24	0.22	0.19	円形
C267号ピット	U11	0.24	0.21	0.11	円形	C309号ピット	V11	0.38	0.30	0.15	円形
C268号ピット	U11	0.32	0.28	0.37	円形	C310号ピット	V11	0.29	0.25	0.13	円形
C269号ピット	U11	0.27	0.22	0.14	円形	C311号ピット	V11	0.32	0.30	0.11	方形
C270号ピット	T11・U11	0.38	0.35	0.13	円形	C312号ピット	V11	0.24	0.23	0.11	円形
C272号ピット	U11	0.22	0.22	0.10	円形	C313号ピット	V11	0.38	0.26	0.28	円形
C273号ピット	U11	0.50	0.37	0.76	円形	C314号ピット	V11	0.28	0.24	0.31	円形
C275号ピット	U12	0.33	0.27	0.34	円形	C315号ピット	V11	0.27	0.23	0.14	円形
C276号ピット	U12	0.33	0.33	0.29	円形	C316号ピット	V11	0.28	0.22	0.25	方形
C277号ピット	U12	0.29	0.21	0.08	円形	C317号ピット	V11	0.27	0.25	0.23	円形
C279号ピット	V12	0.29	0.28	0.19	円形	C318号ピット	W11	0.33	0.32	0.08	円形
C280号ピット	V12	0.28	0.21	0.61	円形	C319号ピット	W11	0.35	0.28	0.53	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C320号ピット	V11	0.18	0.16	0.13	円形	C360号ピット	T11・U11	0.27	0.25	0.19	方形
C321号ピット	V11	0.44	(0.33)	0.20	円形	C361号ピット	U11	0.26	0.25	0.08	円形
C322号ピット	V11	0.24	0.20	0.22	方形	C362号ピット	U12	0.58	(0.55)	0.17	方形
C323号ピット	V11	0.29	0.28	0.16	円形	C363号ピット	U12	0.46	(0.43)	0.13	円形
C324号ピット	V11	0.25	0.21	0.10	円形	C364号ピット	U12	0.32	(0.24)	0.20	円形
C325号ピット	W11	0.26	0.25	0.22	円形	C365号ピット	U12	0.36	0.30	0.25	楕円形
C326号ピット	W12	0.37	0.26	0.13	長方形	C366号ピット	U12	0.25	0.24	0.13	円形
C327号ピット	W12	0.31	0.28	0.19	方形	C367号ピット	U11・V11	0.35	0.33	0.16	円形
C328号ピット	V12	0.23	0.21	0.15	方形	C368号ピット	U11	0.49	0.38	0.18	円形
C329号ピット	V11	0.30	0.26	0.34	円形	C369号ピット	U11	0.54	(0.53)	0.17	円形
C330号ピット	V11	0.25	0.22	0.32	円形	C370号ピット	V11	0.27	0.27	0.07	不整形
C331号ピット	U12	0.26	0.21	0.11	円形	C371号ピット	U13	0.30	0.28	0.19	方形
C332号ピット	U12	0.25	0.21	0.16	円形	C372号ピット	U12	0.25	0.22	0.09	円形
C333号ピット	U12	0.26	0.26	0.20	円形	C373号ピット	V11	0.22	0.21	0.08	方形
C334号ピット	U11	0.36	(0.25)	0.07	方形	C374号ピット	V11	0.35	0.35	0.32	円形
C335号ピット	V11	0.26	0.23	0.16	円形	C375号ピット	V11	0.29	0.25	0.29	円形
C336号ピット	V11	0.44	0.44	0.26	円形	C376号ピット	V11	0.34	0.29	0.37	円形
C337号ピット	V11	0.53	0.35	0.48	楕円形	C377号ピット	V10	0.40	0.35	0.22	円形
C338号ピット	V11	(0.58)	0.46	0.25	長方形	C378号ピット	V10	0.25	0.24	0.10	円形
C339号ピット	V11	0.25	0.17	0.23	円形	C379号ピット	V11	0.32	0.27	0.58	円形
C340号ピット	V11	0.32	0.27	0.22	円形	C380号ピット	V11	0.62	0.58	0.20	方形
C341号ピット	V11	0.31	0.22	0.28	円形	C381号ピット	V11	0.28	(0.23)	0.26	円形
C342号ピット	V11	0.30	(0.24)	0.29	方形	C382号ピット	V11	0.45	0.43	0.27	不整形
C343号ピット	V11	0.35	0.33	0.35	円形	C383号ピット	V12	0.27	0.27	0.24	円形
C344号ピット	V10	0.29	0.13	0.14	方形	C384号ピット	V10	0.46	0.42	0.29	円形
C345号ピット	V10	0.34	0.30	0.16	方形	C386号ピット	V10	0.23	0.22	0.34	円形
C346号ピット	V11	0.32	0.32	0.11	円形	C387号ピット	V10	0.35	0.32	0.10	円形
C347号ピット	U11	0.45	0.26	0.32	円形	C388号ピット	V10	0.39	0.30	0.09	円形
C348号ピット	U10・U11	0.24	0.24	0.38	円形	C389号ピット	V10	0.22	0.20	0.28	円形
C349号ピット	U10	0.37	0.35	0.39	円形	C390号ピット	V9・V10	0.37	0.28	0.17	円形
C350号ピット	U10	0.40	0.40	0.43	円形	C391号ピット	V12	0.40	0.40	0.41	円形
C351号ピット	V11	0.26	0.22	0.13	円形	C392号ピット	V11	0.29	0.28	0.26	方形
C352号ピット	U11	0.31	0.21	0.34	円形	C393号ピット	V12	0.25	0.20	0.19	円形
C353号ピット	V12	0.28	0.23	0.14	円形	C394号ピット	V12	(0.37)	(0.33)	0.31	円形
C354号ピット	V12	0.23	0.20	0.39	円形	C395号ピット	V12	0.37	(0.25)	0.20	円形
C355号ピット	U10	0.61	(0.53)	0.14	円形	C396号ピット	V12	0.40	0.36	0.40	円形
C356号ピット	U11	0.36	0.30	0.13	円形	C397号ピット	V12	0.29	0.26	0.10	方形
C357号ピット	T11	0.38	0.32	0.13	円形	C398号ピット	V12	0.57	0.35	0.17	不整形
C358号ピット	U11	0.31	0.25	0.09	円形	C399号ピット	V12	0.61	0.54	0.22	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C400号ピット	V12	0.40	(0.34)	0.17	楕円形	C439号ピット	V10	0.44	0.37	0.36	楕円形
C401号ピット	U11	0.39	0.32	0.15	円形	C440号ピット	V10	0.53	0.30	0.15	楕円形
C402号ピット	U11	0.43	0.38	0.14	円形	C441号ピット	V10	0.26	0.24	0.43	円形
C403号ピット	U11	0.44	0.29	0.35	楕円形	C442号ピット	V11	0.50	(0.36)	0.30	不整形
C404号ピット	U11	0.23	0.19	0.12	円形	C443号ピット	U12・V12	0.94	(0.38)	0.32	円形
C405号ピット	U11	0.35	0.33	0.59	円形	C444号ピット	U12	0.38	0.34	0.62	円形
C406号ピット	U11	0.72	0.68	0.08	円形	C445号ピット	U12	(0.45)	0.36	0.50	楕円形
C407号ピット	U12・U13	(0.58)	0.57	0.57	円形	C446号ピット	U12	0.33	0.32	0.14	方形
C408号ピット	V11	0.42	0.36	0.58	円形	C448号ピット	U12	0.25	0.20	0.22	円形
C409号ピット	V12	0.54	(0.54)	0.27	円形	C449号ピット	U12	0.22	0.22	0.10	円形
C410号ピット	V11・W11	0.52	0.44	0.38	方形	C450号ピット	U12	0.26	0.26	0.16	円形
C411号ピット	V11	0.38	0.25	0.46	円形	C451号ピット	V12	0.33	0.25	0.34	方形
C412号ピット	U11	0.42	0.40	0.58	円形	C452号ピット	V12	0.25	0.19	0.12	円形
C413号ピット	U11	0.32	0.17	0.73	楕円形	C453号ピット	U11	0.32	0.28	0.13	円形
C414号ピット	U11	0.49	0.35	0.42	楕円形	C454号ピット	U12	0.60	0.54	0.58	円形
C415号ピット	U11	0.42	0.30	0.28	楕円形	C455号ピット	U12	0.27	0.25	0.19	方形
C416号ピット	U11	0.29	0.25	0.23	方形	C456号ピット	U11	0.29	0.26	0.04	円形
C417号ピット	V11・W11	0.44	0.40	0.77	方形	C457号ピット	U11・U12	0.26	0.24	0.76	円形
C418号ピット	W11	0.38	0.34	0.52	方形	C458号ピット	U11	0.34	0.29	0.35	円形
C419号ピット	V12	0.39	0.33	0.58	円形	C459号ピット	U11	0.47	0.46	0.70	円形
C420号ピット	V12	0.40	0.37	0.41	円形	C460号ピット	V11	0.69	0.63	0.23	円形
C421号ピット	V11・V12	0.44	0.35	0.28	楕円形	C462号ピット	V11	0.37	0.35	0.29	円形
C422号ピット	V11	0.53	0.30	0.40	不整形	C463号ピット	V11	0.35	0.28	0.40	円形
C423号ピット	V11	(0.25)	0.21	0.50	円形	C464号ピット	V11	0.38	0.35	0.50	円形
C424号ピット	V11	0.27	0.27	0.48	方形	C465号ピット	V10	0.28	0.21	0.48	方形
C425号ピット	V11	0.32	0.25	0.53	円形	C466号ピット	V11	0.22	0.21	0.12	円形
C426号ピット	V11	0.33	0.32	0.57	方形	C467号ピット	V10・V11	0.37	0.35	0.17	円形
C427号ピット	V11	0.34	0.32	0.55	方形	C468号ピット	V11	0.53	(0.40)	0.15	不整形
C428号ピット	V11	0.44	0.33	0.91	楕円形	C469号ピット	V10・V11	0.40	0.29	0.13	円形
C429号ピット	V11	0.42	0.30	0.83	楕円形	C470号ピット	V11	0.20	0.19	0.08	円形
C430号ピット	V12	0.32	0.28	0.35	円形	C471号ピット	V11	0.27	0.25	0.13	円形
C431号ピット	U12	0.57	0.52	0.22	円形	C472号ピット	V10	0.23	0.22	0.07	円形
C432号ピット	U12	0.34	0.27	0.35	円形	C473号ピット	V10	0.23	0.19	0.08	円形
C433号ピット	U12	(0.36)	0.28	0.22	長方形	C474号ピット	V10	0.23	0.20	0.09	円形
C434号ピット	U12	0.42	0.40	0.45	方形	C475号ピット	V10・V11	0.30	0.30	0.08	円形
C435号ピット	U12	0.38	(0.30)	0.21	円形	C476号ピット	V11	0.33	0.27	0.44	円形
C436号ピット	U12	0.43	(0.30)	0.31	方形	C477号ピット	V10	0.29	0.28	0.13	円形
C437号ピット	U12	0.42	0.37	0.65	方形	C478号ピット	V11	0.28	0.27	0.35	方形
C438号ピット	U11	0.38	0.38	0.50	方形	C479号ピット	V11	0.30	0.27	0.30	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C480号ピット	W11	0.36	0.31	0.11	方形	C521号ピット	X9	0.36	0.36	0.47	円形
C481号ピット	W11	0.53	0.33	0.17	楕円形	C522号ピット	X10	0.25	0.23	0.30	円形
C482号ピット	W11	0.48	0.35	0.77	不整形	C523号ピット	X10	0.23	0.21	0.20	円形
C483号ピット	W11	0.25	0.20	0.17	円形	C524号ピット	X10	0.31	0.25	0.26	円形
C484号ピット	W11	0.34	0.29	0.73	円形	C525号ピット	X10	0.31	0.26	0.21	円形
C485号ピット	W11	0.27	0.25	0.61	円形	C526号ピット	X10	0.52	0.48	0.47	円形
C486号ピット	V12・W12	0.53	0.32	0.15	長方形	C527号ピット	X10	0.31	0.30	0.42	円形
C487号ピット	V12	0.35	0.26	0.16	楕円形	C528号ピット	X9	0.25	0.20	0.11	円形
C488号ピット	V12	(0.39)	0.34	0.23	円形	C529号ピット	X9	0.32	0.24	0.28	円形
C489号ピット	V10・W10	0.41	0.38	0.33	円形	C530号ピット	X9	0.21	0.17	0.08	方形
C490号ピット	W10	0.21	0.17	0.20	円形	C531号ピット	X10	0.32	0.26	0.22	不整形
C491号ピット	W10	0.27	0.25	0.38	円形	C532号ピット	X10	0.31	0.29	0.25	円形
C492号ピット	W10	0.40	(0.28)	0.41	円形	C533号ピット	X10	0.35	0.22	0.11	楕円形
C493号ピット	W11	0.25	0.25	0.19	円形	C534号ピット	W10	0.37	0.27	0.11	不整形
C494号ピット	W11	0.22	0.21	0.06	円形	C535号ピット	W10	0.34	0.24	0.32	不整形
C495号ピット	V10	0.40	0.40	0.70	円形	C536号ピット	W10	0.32	(0.28)	0.26	円形
C496号ピット	U10	0.65	0.49	0.78	円形	C537号ピット	W10	0.26	0.24	0.16	円形
C497号ピット	V11	0.25	0.21	0.22	円形	C538号ピット	W10	0.26	0.26	0.30	円形
C498号ピット	U12	0.31	0.29	0.13	円形	C539号ピット	W10	0.19	0.15	0.12	円形
C499号ピット	V12	0.24	0.24	0.34	円形	C540号ピット	W10	0.45	0.34	0.38	不整形
C500号ピット	V12	0.47	0.38	0.01	方形	C541号ピット	W10	0.47	(0.31)	0.30	円形
C501号ピット	V11・W11	0.27	0.18	0.15	円形	C542号ピット	W10	0.40	0.34	0.14	円形
C502号ピット	V12	0.30	0.23	0.21	円形	C543号ピット	W10	0.43	0.38	0.17	円形
C503号ピット	V12	0.30	0.28	0.16	円形	C544号ピット	W10	0.29	0.27	0.15	円形
C504号ピット	V11	0.26	0.21	0.25	円形	C545号ピット	W10	0.25	0.22	0.11	方形
C505号ピット	W11	0.27	0.18	0.12	楕円形	C546号ピット	X11	0.33	0.32	0.13	円形
C506号ピット	W11	0.30	0.24	0.10	円形	C547号ピット	V12	0.41	0.36	0.20	円形
C507号ピット	W11	0.28	0.23	0.21	円形	C548号ピット	W10	0.53	0.35	0.25	不整形
C508号ピット	W11	0.23	(0.19)	0.23	円形	C549号ピット	W9	0.29	0.25	0.14	円形
C509号ピット	W11	0.20	0.20	0.09	方形	C550号ピット	X9	0.35	(0.21)	0.28	円形
C510号ピット	V11	0.41	0.30	0.34	円形	C551号ピット	W10・X10	0.29	0.27	0.35	不整形
C511号ピット	V11	0.50	0.30	0.57	不整形	C552号ピット	W10	0.52	0.43	0.16	方形
C513号ピット	T11・U11	0.29	0.29	0.74	方形	C553号ピット	W10・X10	0.32	0.30	0.24	円形
C514号ピット	V12	0.28	0.22	0.11	円形	C554号ピット	W10	0.28	0.23	0.12	円形
C516号ピット	V12	0.22	0.21	0.13	円形	C555号ピット	W10	0.47	0.46	0.28	方形
C517号ピット	U12	0.34	0.30	0.10	円形	C556号ピット	W10	0.23	0.22	0.09	円形
C518号ピット	U12	0.30	0.28	0.13	方形	C557号ピット	W10	0.27	0.20	0.07	円形
C519号ピット	X9	0.43	0.33	0.26	長方形	C558号ピット	W10	0.35	0.34	0.19	円形
C520号ピット	X9	0.44	0.31	0.38	不整形	C559号ピット	X10	0.33	0.30	0.23	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C560号ピット	X10	0.22	0.21	0.13	方形	C599号ピット	X10	0.31	0.31	0.20	方形
C561号ピット	X10	0.29	0.18	0.04	円形	C600号ピット	V11	0.20	(0.13)	0.28	方形
C562号ピット	X10	0.26	0.22	0.25	円形	C601号ピット	V11	0.29	0.23	0.13	円形
C563号ピット	X10	0.23	(0.15)	0.06	円形	C602号ピット	V10	0.39	0.32	0.54	円形
C564号ピット	X10・X11	0.26	0.23	0.09	円形	C603号ピット	X10	0.22	0.18	0.29	円形
C565号ピット	X10・X11	0.24	0.20	0.12	円形	C604号ピット	W11	0.20	(0.19)	0.08	円形
C566号ピット	X10	0.38	0.21	0.37	円形	C605号ピット	X10	0.42	(0.22)	0.35	円形
C567号ピット	X11	0.22	0.12	0.12	円形	C606号ピット	X10	0.28	0.23	0.21	不整形
C568号ピット	X11	0.47	0.35	0.25	円形	C607号ピット	X11	0.26	0.25	0.23	円形
C569号ピット	X11	0.26	0.17	0.25	円形	C608号ピット	W10・W11	0.28	0.26	0.17	円形
C570号ピット	X11	0.25	0.22	0.18	円形	C609号ピット	W10	0.40	0.26	0.18	不整形
C571号ピット	X10	0.46	0.32	0.32	長方形	C610号ピット	W10	0.32	(0.22)	0.28	円形
C572号ピット	W11	0.22	0.20	0.11	円形	C611号ピット	W10	0.39	0.34	0.29	方形
C573号ピット	W11	0.32	0.27	0.16	円形	C612号ピット	W10	0.26	0.20	0.22	円形
C574号ピット	W11	0.36	0.33	0.14	円形	C613号ピット	W10	0.30	0.27	0.28	円形
C575号ピット	W11	0.28	0.21	0.37	円形	C614号ピット	W11	0.36	0.32	0.23	円形
C576号ピット	W11	0.42	0.42	0.22	円形	C615号ピット	W11	0.30	0.27	0.23	円形
C577号ピット	W10・W11	0.39	0.35	0.60	方形	C616号ピット	W11	0.30	0.28	0.43	円形
C578号ピット	W10	0.25	0.21	0.19	円形	C617号ピット	W11	0.21	0.17	0.11	円形
C579号ピット	X10	0.30	0.29	0.38	円形	C618号ピット	W11	0.26	0.25	0.13	円形
C580号ピット	X10	0.32	0.30	0.23	円形	C619号ピット	V11	(0.60)	0.60	0.14	円形
C581号ピット	W10	0.28	0.25	0.12	円形	C620号ピット	V11	0.27	0.24	0.10	円形
C582号ピット	W10	0.40	0.31	0.08	長方形	C621号ピット	V11	0.31	0.24	0.10	方形
C583号ピット	W10	0.34	0.29	0.08	円形	C622号ピット	U11	0.22	(0.21)	0.06	方形
C584号ピット	W11	0.42	0.41	0.33	長方形	C623号ピット	W12	0.30	0.21	0.18	長方形
C585号ピット	X10	0.38	0.20	0.33	楕円形	C624号ピット	W10	0.45	0.43	0.35	不整形
C586号ピット	X10	0.35	(0.23)	0.35	楕円形	C625号ピット	V11	0.31	0.29	0.15	不整形
C587号ピット	X10	0.22	0.15	0.11	円形	C626号ピット	V11	0.63	(0.62)	0.17	円形
C588号ピット	X10	0.85	0.71	0.11	不整形	C627号ピット	V11	0.40	0.30	0.18	不整形
C589号ピット	X10	0.34	0.33	0.43	方形	C628号ピット	X10	0.33	0.33	0.07	円形
C590号ピット	X10	0.29	0.25	0.42	円形	C629号ピット	X10	0.24	(0.15)	0.21	円形
C591号ピット	X10	0.32	0.30	0.53	円形	C630号ピット	X10	0.28	(0.20)	0.13	円形
C592号ピット	X9	0.31	0.30	0.34	方形	C631号ピット	X10	0.20	0.16	0.10	円形
C593号ピット	X10	0.34	0.30	0.23	円形	C632号ピット	X10	0.27	0.21	0.09	方形
C594号ピット	X10	0.23	0.20	0.17	不整形	C633号ピット	X10	0.27	0.20	0.09	円形
C595号ピット	W10	0.32	0.29	0.34	不整形	C634号ピット	X10	0.25	0.24	0.17	円形
C596号ピット	V11	0.34	(0.27)	0.14	円形	C635号ピット	X10	0.17	0.17	0.07	円形
C597号ピット	V11	0.28	(0.13)	0.14	円形	C636号ピット	X10	0.39	(0.23)	0.12	円形
C598号ピット	V11	0.49	(0.27)	0.19	円形	C637号ピット	U11	0.43	0.32	0.18	楕円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C638号ピット	U12	0.32	0.28	0.40	方形	C679号ピット	U11	0.31	(0.20)	0.58	円形
C639号ピット	V10	0.28	0.22	0.32	円形	C680号ピット	V11	0.51	0.47	0.07	円形
C640号ピット	W10	(0.34)	0.32	0.15	円形	C681号ピット	V11	0.47	0.27	0.22	楕円形
C641号ピット	W10・W11	0.46	(0.32)	0.33	楕円形	C682号ピット	V12	0.35	0.33	0.55	円形
C642号ピット	W10	0.40	0.36	0.49	円形	C683号ピット	V12	0.41	0.38	0.36	円形
C643号ピット	W9・W10	0.34	0.33	0.31	円形	C684号ピット	V12	0.28	0.28	0.58	円形
C644号ピット	V11	0.53	0.24	0.58	楕円形	C685号ピット	V11	0.25	0.21	0.09	円形
C645号ピット	V11	0.22	(0.20)	0.30	円形	C686号ピット	V10	0.52	0.44	0.11	円形
C646号ピット	V11	0.24	0.14	0.22	円形	C687号ピット	V10	0.30	0.25	0.07	円形
C647号ピット	V10	(0.44)	0.26	0.14	不整形	C688号ピット	V10	0.36	0.35	0.17	円形
C648号ピット	V10	0.31	0.27	0.11	円形	C689号ピット	V10	0.28	0.22	0.13	方形
C650号ピット	U12	0.48	0.44	0.66	方形	C690号ピット	V10	0.36	(0.35)	0.11	円形
C651号ピット	U11	0.32	(0.32)	0.62	円形	C691号ピット	W12	0.61	(0.46)	0.11	方形
C652号ピット	V11	(0.51)	(0.37)	0.40	不整形	C692号ピット	V12	0.60	0.40	0.41	楕円形
C653号ピット	V10	0.82	0.45	0.44	長方形	C693号ピット	V10	(0.40)	0.40	0.42	円形
C654号ピット	W11	0.32	0.31	0.25	円形	C695号ピット	W10	0.22	0.18	0.04	円形
C655号ピット	W11	0.26	0.26	0.17	円形	C696号ピット	W10	0.39	(0.33)	0.26	不整形
C656号ピット	V11	(0.25)	(0.24)	0.25	円形	C697号ピット	W10	0.35	0.30	0.16	円形
C657号ピット	W11	0.32	0.27	0.46	円形	C698号ピット	W10	0.25	0.23	0.10	円形
C658号ピット	W11	0.29	0.24	0.55	円形	C699号ピット	W10	0.38	0.31	0.76	円形
C659号ピット	W11	0.42	0.35	0.62	円形	C700号ピット	W10	0.52	0.45	0.60	円形
C660号ピット	W11	0.19	0.19	0.23	円形	C701号ピット	W11	0.35	0.30	0.43	円形
C661号ピット	W11	0.25	0.24	0.38	方形	C702号ピット	W11	0.22	0.22	0.15	円形
C663号ピット	U11	0.42	0.32	0.17	円形	C703号ピット	W10・W11	0.26	0.26	0.21	円形
C664号ピット	V12	0.25	0.21	0.07	円形	C704号ピット	W10	0.27	0.21	0.28	不整形
C665号ピット	U11	0.35	0.30	0.24	円形	C705号ピット	W11	0.28	0.12	0.76	円形
C666号ピット	U11	0.35	0.27	0.19	円形	C706号ピット	W10・W11	(0.24)	0.14	0.64	不整形
C667号ピット	U11	0.35	0.30	0.11	円形	C707号ピット	W10	0.45	0.40	0.30	円形
C668号ピット	U11	0.39	0.30	0.18	円形	C708号ピット	W11	0.22	0.20	0.18	円形
C669号ピット	U11	0.37	0.28	0.22	楕円形	C709号ピット	W11	0.20	0.18	0.09	円形
C670号ピット	V11	0.29	0.25	0.10	円形	C710号ピット	W11	0.46	0.32	0.16	円形
C671号ピット	V11	0.23	0.22	0.06	円形	C711号ピット	W11	0.37	0.34	0.08	円形
C672号ピット	V11	0.28	0.26	0.12	円形	C712号ピット	W11	0.19	0.21	0.06	円形
C673号ピット	V11	0.30	0.30	0.19	円形	C713号ピット	W11	0.22	0.22	0.07	円形
C674号ピット	V11	0.22	0.21	0.14	不整形	C714号ピット	W11	0.22	0.14	0.08	円形
C675号ピット	U11	0.24	0.24	0.11	円形	C715号ピット	W11	0.30	0.29	0.14	円形
C676号ピット	V11	0.22	0.17	0.10	円形	C716号ピット	W11	0.30	0.28	0.21	円形
C677号ピット	V11	0.36	0.30	0.10	円形	C717号ピット	W11	0.30	0.30	0.22	方形
C678号ピット	V11	0.24	0.18	0.08	円形	C718号ピット	W11	0.20	0.19	0.14	方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C719号ピット	V11	0.23	0.23	0.13	円形	C759号ピット	V9	0.53	0.47	0.23	円形
C720号ピット	V10	0.27	0.23	0.26	円形	C761号ピット	V11	0.27	(0.11)	0.35	円形
C721号ピット	V10	0.26	0.26	0.15	方形	C762号ピット	W11	0.23	0.23	0.11	円形
C722号ピット	V10	0.27	0.22	0.22	方形	C763号ピット	V12	0.23	0.21	0.37	不整形
C723号ピット	V10	0.40	0.27	0.23	円形	C764号ピット	U11	0.51	0.49	0.18	円形
C724号ピット	V11	0.32	0.26	0.29	方形	C765号ピット	V12	0.29	(0.13)	0.23	円形
C726号ピット	W11	0.35	0.35	0.51	円形	C766号ピット	U10	0.32	(0.28)	0.13	円形
C727号ピット	W11	0.20	0.15	0.10	円形	C767号ピット	X10	0.68	(0.61)	0.12	不整形
C728号ピット	W11	0.29	0.28	0.32	円形	C768号ピット	X11	0.32	0.30	0.12	方形
C729号ピット	W11	0.27	0.26	0.54	円形	C769号ピット	X10	0.42	0.23	0.14	方形
C730号ピット	W11	0.25	0.24	0.29	円形	C770号ピット	U11	0.44	0.21	0.20	円形
C731号ピット	W11	0.36	0.31	0.52	円形	C771号ピット	W9	0.26	(0.23)	0.10	長方形
C732号ピット	W11	0.50	0.46	0.68	円形	C772号ピット	X10	0.32	0.25	0.20	方形
C733号ピット	W11	0.23	0.22	0.35	円形	C773号ピット	X10	0.28	0.25	0.17	方形
C734号ピット	W11	0.28	0.28	0.37	円形	C774号ピット	V11	0.22	(0.20)	0.13	円形
C735号ピット	W11	0.29	0.24	0.28	円形	C775号ピット	W10	0.24	0.19	0.10	円形
C736号ピット	W11	0.24	0.22	0.23	円形	C776号ピット	X10	0.22	0.13	0.11	円形
C737号ピット	W10	0.23	0.20	0.12	円形	C777号ピット	X10・Y10	0.23	0.22	0.07	円形
C738号ピット	V10	0.25	0.23	0.11	円形	C778号ピット	X10	0.24	0.23	0.04	円形
C739号ピット	V10	0.30	0.36	0.07	円形	C779号ピット	W10	0.35	0.32	0.08	円形
C740号ピット	V10	0.40	0.36	0.08	円形	C780号ピット	W10・X10	0.20	0.18	0.11	円形
C741号ピット	U13	(0.33)	0.28	0.17	楕円形	C781号ピット	X10	0.35	0.32	0.31	方形
C742号ピット	V13	0.43	0.34	0.45	不整形	C782号ピット	X10	0.18	(0.18)	0.20	円形
C743号ピット	V13	0.46	0.29	0.31	不整形	C783号ピット	Y9	0.36	0.26	0.09	円形
C744号ピット	V13	0.45	0.27	0.38	楕円形	C784号ピット	Y9	0.32	(0.31)	0.10	長方形
C745号ピット	V13	0.44	0.34	0.29	不整形	C785号ピット	X9	0.44	0.34	0.29	円形
C746号ピット	V12	0.34	0.24	0.49	楕円形	C786号ピット	X10・Y10	0.49	0.38	0.31	不整形
C747号ピット	V13	0.31	0.25	0.13	円形	C787号ピット	W11	0.30	0.26	0.11	不整形
C748号ピット	V13	0.28	0.22	0.14	円形	C788号ピット	V12・W12	0.38	0.26	0.18	長方形
C749号ピット	V9	0.45	0.39	0.26	円形	C789号ピット	V10	0.32	0.24	0.25	円形
C750号ピット	V11	0.44	0.25	0.28	楕円形	C790号ピット	V10	0.40	0.37	0.14	円形
C751号ピット	V11	(0.44)	(0.43)	0.28	長方形	C791号ピット	W10	0.30	0.28	0.71	円形
C752号ピット	V12	0.44	0.34	0.17	円形	C792号ピット	W10	0.35	0.26	0.59	不整形
C753号ピット	W10	0.40	0.36	0.25	円形	C793号ピット	V11	0.32	0.25	0.20	円形
C754号ピット	W9	0.70	(0.50)	0.40	楕円形	C794号ピット	W11	0.25	0.23	0.19	円形
C755号ピット	W9	0.43	0.35	0.45	不整形	C795号ピット	W11	0.23	0.21	0.15	円形
C756号ピット	W9	0.30	0.30	0.19	不整形	C796号ピット	W10	0.28	(0.18)	0.08	不整形
C757号ピット	V9	0.39	0.27	0.29	楕円形	C797号ピット	W10・X10	0.21	(0.13)	0.16	円形
C758号ピット	V9	0.32	0.27	0.15	不整形	C799号ピット	X10	0.27	0.25	0.20	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C801号ピット	W11	0.36	0.31	0.10	不整形	C841号ピット	X9	0.35	0.34	0.23	円形
C803号ピット	W12	0.45	0.41	0.13	方形	C842号ピット	W9	0.56	0.40	0.50	楕円形
C804号ピット	W12	0.24	0.20	0.05	不整形	C843号ピット	W9	0.39	0.37	0.50	円形
C805号ピット	W12	0.30	0.29	0.09	円形	C844号ピット	W9	0.43	0.40	0.47	円形
C806号ピット	W12	0.37	0.34	0.08	円形	C845号ピット	V12	0.33	0.30	0.17	円形
C807号ピット	W12	0.33	0.28	0.13	円形	C846号ピット	V12	0.25	0.24	0.16	円形
C808号ピット	U13	0.18	0.17	0.22	円形	C847号ピット	V12	0.24	0.17	0.23	楕円形
C809号ピット	V11	0.48	(0.36)	0.49	円形	C848号ピット	W11	(0.23)	(0.16)	0.25	円形
C810号ピット	V11・W11	0.19	0.17	0.08	円形	C849号ピット	W11	0.28	0.28	0.28	円形
C811号ピット	V12	0.28	0.25	0.17	円形	C850号ピット	W11	0.32	0.32	0.24	円形
C812号ピット	V12	0.14	0.12	0.20	方形	C851号ピット	W11	0.27	0.26	0.26	円形
C813号ピット	V12	0.23	0.15	0.13	楕円形	C852号ピット	W11	0.31	(0.26)	0.19	不整形
C814号ピット	W11	0.20	0.18	0.05	円形	C853号ピット	W11	0.33	0.32	0.26	円形
C815号ピット	W11	0.32	0.32	0.03	円形	C854号ピット	W11	0.15	0.10	0.44	円形
C816号ピット	W11	0.30	0.29	0.16	円形	C855号ピット	W11	0.52	0.39	0.19	楕円形
C817号ピット	W11	0.39	(0.30)	0.27	円形	C856号ピット	W11	0.29	(0.17)	0.25	円形
C818号ピット	V11・W11	0.45	0.29	0.53	方形	C857号ピット	V12	0.27	0.18	0.14	楕円形
C819号ピット	V11・W11	(0.63)	0.45	0.32	不整形	C858号ピット	V12	0.30	0.25	0.15	円形
C820号ピット	W12	0.51	0.36	0.25	楕円形	C859号ピット	V12	0.35	0.31	0.44	円形
C821号ピット	W12	0.27	0.21	0.22	方形	C860号ピット	V12	0.33	0.29	0.13	円形
C822号ピット	V11	0.19	0.18	0.16	円形	C861号ピット	V12	0.31	(0.26)	0.16	楕円形
C823号ピット	U11・V11	0.34	0.30	0.14	円形	C863号ピット	V12	0.28	0.28	0.25	円形
C824号ピット	W12	0.24	0.21	0.21	円形	C864号ピット	V12	0.30	(0.20)	0.08	円形
C825号ピット	V12	0.32	0.28	0.16	円形	C865号ピット	V11	0.38	0.31	0.31	円形
C826号ピット	V12	0.23	0.23	0.20	円形	C866号ピット	V11	0.30	(0.27)	0.53	方形
C827号ピット	V11	0.20	0.17	0.41	不整形	C867号ピット	W11	0.20	0.14	0.07	円形
C828号ピット	V11	0.34	0.28	0.51	不整形	C868号ピット	W12	0.32	0.30	0.07	円形
C829号ピット	V11	0.38	0.35	0.16	円形	C869号ピット	Y8・Y9	0.28	0.25	0.11	不整形
C830号ピット	W11	0.30	0.29	0.22	円形	C870号ピット	V12・V13	0.87	0.69	0.31	楕円形
C831号ピット	W11	0.28	(0.81)	0.25	円形	C871号ピット	V13	0.85	0.64	0.55	不整形
C832号ピット	W10	0.25	0.25	0.36	不整形	C872号ピット	X10	0.41	(0.33)	0.41	円形
C833号ピット	V11	0.43	0.30	0.08	円形	C873号ピット	X10	0.32	(0.22)	0.10	楕円形
C834号ピット	V11	0.34	0.24	0.06	円形	C874号ピット	W10・X10	0.25	0.21	0.34	円形
C835号ピット	V11	0.20	0.16	0.67	円形	C875号ピット	X10	0.31	0.30	0.15	円形
C836号ピット	V11	(0.50)	0.43	0.25	不整形	C876号ピット	U11	0.22	(0.16)	0.17	円形
C837号ピット	U11	0.37	0.29	0.13	楕円形	C877号ピット	V13	0.62	0.52	0.38	円形
C838号ピット	V13	0.52	0.36	0.12	楕円形	C878号ピット	W9	0.26	0.23	0.10	円形
C839号ピット	W11	0.39	0.33	0.08	円形	C879号ピット	X10	0.38	0.37	0.14	円形
C840号ピット	U11	0.26	0.24	0.11	円形	C880号ピット	W10	0.29	0.19	0.22	不整形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C881号ピット	V13	0.42	0.35	0.37	円形	C924号ピット	U11	0.28	0.23	0.16	円形
C882号ピット	V13	(0.40)	0.38	0.35	楕円形	C925号ピット	V11	0.30	0.25	0.48	円形
C883号ピット	U12	0.32	0.30	0.50	方形	C926号ピット	U11	0.29	0.26	0.27	円形
C884号ピット	U12	(0.55)	0.32	0.72	長方形	C927号ピット	V11	0.30	0.27	0.14	円形
C885号ピット	V10・V11	0.38	0.36	0.70	円形	C929号ピット	V11	0.37	0.34	0.10	方形
C886号ピット	W10	0.54	(0.38)	0.26	不整形	C930号ピット	V11	0.31	0.26	0.35	円形
C887号ピット	X8	0.30	0.26	0.34	方形	C931号ピット	V11	0.29	0.28	0.22	円形
C888号ピット	X8	0.32	(0.25)	0.52	方形	C932号ピット	V11	0.27	0.25	0.29	円形
C889号ピット	W9	0.20	0.19	0.26	円形	C933号ピット	V11	0.28	0.25	0.14	円形
C890号ピット	W10	0.32	0.25	0.21	楕円形	C934号ピット	V11・V12	0.33	0.33	0.08	方形
C891号ピット	W11	0.30	0.26	0.25	円形	C935号ピット	V11・V12	(0.26)	0.25	0.12	長方形
C893号ピット	W10	0.20	0.20	0.10	円形	C936号ピット	V11	0.47	0.43	0.60	方形
C894号ピット	X10	0.22	0.20	0.08	円形	C937号ピット	U11	0.32	0.32	0.19	円形
C897号ピット	X10	0.27	(0.16)	0.05	円形	C938号ピット	U11	0.35	(0.31)	0.55	円形
C898号ピット	W11	0.46	(0.30)	0.11	円形	C939号ピット	U11・U12	0.30	0.24	0.28	不整形
C899号ピット	W11	0.39	0.32	0.25	円形	C940号ピット	V11	0.29	0.25	0.33	方形
C900号ピット	V12	0.25	0.23	0.14	円形	C942号ピット	V12	0.22	0.21	0.10	方形
C901号ピット	V12	0.26	0.21	0.50	円形	C943号ピット	U12	0.33	0.27	0.17	円形
C902号ピット	U12	0.38	0.36	0.49	不整形	C944号ピット	U12	0.50	0.38	0.11	円形
C903号ピット	U12	0.22	0.16	0.18	円形	C945号ピット	V11	0.29	0.25	0.41	円形
C904号ピット	U12	0.73	0.59	0.59	不整形	C946号ピット	V11	0.28	0.25	0.20	方形
C905号ピット	U12	0.34	0.26	0.26	楕円形	C947号ピット	V11	0.25	0.24	0.11	円形
C907号ピット	U12	0.58	0.41	0.34	円形	C949号ピット	V11	0.36	0.36	0.04	方形
C908号ピット	U12	0.61	(0.41)	0.58	円形	C950号ピット	U12	0.56	0.45	0.16	方形
C909号ピット	U12	0.47	0.43	0.36	方形	C951号ピット	U12	0.24	0.22	0.17	円形
C910号ピット	U11	0.19	0.16	0.08	円形	C952号ピット	U12	0.24	0.22	0.14	円形
C911号ピット	V12	0.28	0.20	0.33	円形	C953号ピット	U12	0.28	0.25	0.29	円形
C912号ピット	V12	0.37	0.30	0.34	円形	C954号ピット	U12・V12	0.26	0.23	0.34	方形
C913号ピット	W11	0.23	0.16	0.16	長方形	C955号ピット	U11	0.30	0.29	0.44	方形
C914号ピット	W10	(0.29)	0.27	0.57	楕円形	C956号ピット	V11・W11	0.38	0.36	0.39	円形
C915号ピット	V12	0.25	0.23	0.20	円形	C958号ピット	W11	0.31	0.29	0.11	円形
C916号ピット	V12	0.49	0.46	0.15	円形	C959号ピット	W11	0.27	0.20	0.28	円形
C917号ピット	U11・V11	0.33	0.28	0.17	円形	C960号ピット	W11	0.24	0.23	0.06	円形
C918号ピット	V12	0.27	0.26	0.25	円形	C961号ピット	W11	0.24	0.24	0.15	円形
C919号ピット	U12	0.23	0.23	0.30	円形	C962号ピット	W11	(0.26)	0.25	0.35	円形
C920号ピット	U12	0.34	0.34	0.31	方形	C963号ピット	V12	0.25	0.25	0.13	円形
C921号ピット	U11・U12	0.28	0.26	0.44	方形	C964号ピット	V12	0.21	0.21	0.11	円形
C922号ピット	U11	0.27	0.25	0.22	円形	C965号ピット	U11	0.26	0.22	0.05	円形
C923号ピット	U11	0.25	0.22	0.20	円形	C966号ピット	U11	0.34	0.27	0.05	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 967号ピット	U11	0.37	0.35	0.74	円形	C 1007号ピット	W10	0.27	0.26	0.44	円形
C 968号ピット	U11	0.48	0.27	0.26	楕円形	C 1008号ピット	W10	0.30	0.29	0.64	円形
C 969号ピット	U11	0.25	0.21	0.19	円形	C 1009号ピット	V10	0.35	0.28	0.50	円形
C 970号ピット	U11	0.30	0.27	0.07	不整形	C 1010号ピット	U11	0.27	0.20	0.15	楕円形
C 971号ピット	U11	0.25	0.20	0.29	不整形	C 1011号ピット	U11	0.20	0.16	0.16	円形
C 973号ピット	U11	0.48	(0.36)	0.09	長方形	C 1012号ピット	V13	0.26	0.21	0.24	円形
C 974号ピット	U11	0.32	0.28	0.39	円形	C 1013号ピット	V13	0.33	(0.25)	0.22	円形
C 975号ピット	U11	0.23	(0.19)	0.13	円形	C 1014号ピット	V13	0.37	0.27	0.46	円形
C 976号ピット	V11	0.24	0.24	0.06	円形	C 1015号ピット	V13	0.27	0.27	0.44	円形
C 977号ピット	U11	0.26	0.21	0.19	円形	C 1016号ピット	V13	0.32	0.25	0.37	円形
C 978号ピット	U11	0.33	0.23	0.05	楕円形	C 1017号ピット	V13	0.33	0.19	0.14	楕円形
C 979号ピット	U11	0.25	0.24	0.03	円形	C 1018号ピット	U11	0.29	0.20	0.08	楕円形
C 980号ピット	U11	0.23	0.23	0.03	円形	C 1019号ピット	U11	0.36	(0.20)	0.59	楕円形
C 981号ピット	W10	0.32	(0.29)	0.63	不整形	C 1020号ピット	U13・V13	0.77	0.60	0.97	円形
C 982号ピット	V10・W10	(0.52)	(0.31)	0.77	楕円形	C 1021号ピット	V13・W13	0.27	0.26	0.29	円形
C 983号ピット	W10	0.24	0.21	0.66	円形	C 1022号ピット	U11	0.45	0.28	0.44	楕円形
C 984号ピット	U11	0.23	0.20	0.14	円形	C 1023号ピット	U11	0.46	0.33	0.25	楕円形
C 985号ピット	V12	0.62	0.59	0.47	円形	C 1024号ピット	W10	0.35	(0.32)	0.25	楕円形
C 986号ピット	U12	0.36	(0.17)	0.47	方形	C 1025号ピット	W10	0.42	0.29	0.56	円形
C 987号ピット	U12	0.34	(0.20)	0.05	方形	C 1026号ピット	W10	0.26	0.22	0.08	方形
C 988号ピット	V13	0.33	0.27	0.41	円形	C 1027号ピット	W10	0.29	0.24	0.22	方形
C 989号ピット	V13	0.32	0.30	0.65	方形	C 1028号ピット	W11	0.33	(0.22)	0.19	楕円形
C 990号ピット	U11・U12	0.35	(0.34)	0.44	方形	C 1029号ピット	W11	0.28	0.26	0.20	円形
C 991号ピット	V12	0.25	(0.20)	0.22	長方形	C 1030号ピット	W11	0.43	0.32	0.43	円形
C 992号ピット	V12	0.46	0.37	0.38	円形	C 1031号ピット	W10	0.29	0.27	0.47	方形
C 993号ピット	V12	0.23	(0.18)	0.06	方形	C 1033号ピット	W11	0.25	0.22	0.10	円形
C 994号ピット	V12	0.30	0.24	0.20	円形	C 1034号ピット	W11	0.33	0.32	0.20	円形
C 995号ピット	V12	0.32	(0.26)	0.19	円形	C 1036号ピット	V12	(0.24)	0.19	0.07	楕円形
C 996号ピット	V12	0.28	0.22	0.23	円形	C 1037号ピット	V12	(0.20)	0.14	0.07	楕円形
C 997号ピット	V12	0.33	0.29	0.13	円形	C 1038号ピット	U12	0.33	(0.29)	0.23	方形
C 998号ピット	V12	0.27	(0.26)	0.30	楕円形	C 1039号ピット	U11	0.28	0.23	0.31	長方形
C 999号ピット	V12	0.39	0.28	0.33	長方形	C 1040号ピット	V11	0.52	0.36	0.44	円形
C 1000号ピット	V12	0.34	0.24	0.29	円形	C 1041号ピット	V11	0.65	0.52	0.21	円形
C 1001号ピット	V12	0.41	(0.33)	0.44	円形	C 1042号ピット	U11	0.30	0.30	0.34	円形
C 1002号ピット	V12	0.33	(0.33)	0.22	円形	C 1043号ピット	U11	0.27	0.26	0.34	円形
C 1003号ピット	V12	0.26	0.24	0.24	方形	C 1044号ピット	U12	0.51	(0.30)	0.71	長方形
C 1004号ピット	V12	0.32	0.26	0.39	円形	C 1045号ピット	U12	0.32	(0.30)	0.72	方形
C 1005号ピット	V12	(0.31)	0.26	0.42	楕円形	C 1046号ピット	V13	0.42	(0.41)	0.28	円形
C 1006号ピット	V12	0.27	0.24	0.22	円形	C 1048号ピット	V12	0.30	0.27	0.58	方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 1049号ピット	V12	0.31	(0.27)	0.20	橢円形	C 1089号ピット	U11	0.27	(0.24)	0.20	円形
C 1050号ピット	V12	0.43	0.41	0.41	円形	C 1090号ピット	U11	0.36	0.35	0.47	方形
C 1051号ピット	V12	0.34	0.30	0.19	円形	C 1091号ピット	V12	0.30	(0.25)	0.34	円形
C 1052号ピット	V12	0.33	0.29	0.59	円形	C 1092号ピット	V10	0.37	(0.08)	0.52	円形
C 1053号ピット	V12	0.23	0.18	0.33	円形	C 1093号ピット	U11	0.26	0.25	0.20	円形
C 1054号ピット	V12	0.27	0.26	0.41	円形	C 1094号ピット	U11	0.33	(0.26)	0.21	円形
C 1055号ピット	V11	0.67	0.62	0.47	方形	C 1095号ピット	V11	0.37	0.32	0.71	橢円形
C 1056号ピット	U10・V10	0.48	0.37	0.83	円形	C 1096号ピット	V11	0.34	(0.11)	0.52	方形
C 1057号ピット	X10	0.35	0.25	0.15	円形	C 1097号ピット	V12・W12	0.28	0.25	0.13	方形
C 1058号ピット	X10	0.25	0.20	0.07	円形	C 1098号ピット	V11	0.24	0.23	0.15	橢円形
C 1059号ピット	X10	0.34	0.30	0.16	円形	C 1099号ピット	U12	0.30	(0.24)	0.48	円形
C 1060号ピット	X11	0.43	0.13	0.36	円形	C 1100号ピット	W9	0.30	0.28	0.11	円形
C 1061号ピット	X11	0.50	0.44	0.32	円形	C 1101号ピット	W9	0.20	0.16	0.08	橢円形
C 1062号ピット	X11	0.47	0.28	0.11	円形	C 1102号ピット	W9	0.30	0.21	0.09	橢円形
C 1063号ピット	X11	0.45	0.45	0.47	円形	C 1103号ピット	W10	0.35	0.26	0.46	橢円形
C 1064号ピット	U11	0.30	0.25	0.08	円形	C 1104号ピット	W9	0.38	0.32	0.27	円形
C 1065号ピット	U11	0.38	(0.28)	0.05	円形	C 1105号ピット	W9	0.32	0.28	0.19	円形
C 1066号ピット	U11	0.23	0.20	0.08	円形	C 1106号ピット	W9	0.30	0.25	0.13	円形
C 1067号ピット	U11	(0.13)	0.08	0.09	橢円形	C 1107号ピット	W10	0.38	0.35	0.22	円形
C 1068号ピット	U11	0.30	0.26	0.20	円形	C 1108号ピット	X10	0.33	0.27	0.15	不整形
C 1069号ピット	U11	0.32	0.29	0.07	円形	C 1109号ピット	X10	0.34	0.33	0.14	円形
C 1070号ピット	U12	0.32	0.32	0.52	円形	C 1110号ピット	V12	0.20	0.17	0.21	円形
C 1071号ピット	U12	0.29	0.27	0.32	円形	C 1112号ピット	V11	0.55	0.33	0.50	橢円形
C 1072号ピット	U12	0.31	0.27	0.27	円形	C 1113号ピット	U11	0.29	0.28	0.13	円形
C 1073号ピット	U12	0.24	0.23	0.40	円形	C 1114号ピット	U11	0.30	0.27	0.34	円形
C 1074号ピット	V11	0.25	(0.13)	0.23	円形	C 1115号ピット	U10	0.30	0.27	0.63	円形
C 1075号ピット	V11	0.25	(0.09)	0.17	円形	C 1116号ピット	U10・U11	0.33	0.20	0.40	円形
C 1076号ピット	W10	0.37	0.35	0.50	円形	C 1117号ピット	U11	0.48	0.30	0.41	橢円形
C 1077号ピット	W11	0.32	0.30	0.26	円形	C 1118号ピット	U10	0.28	0.25	0.25	円形
C 1078号ピット	V11	0.29	0.27	0.14	円形	C 1119号ピット	U10	0.27	0.27	0.42	円形
C 1079号ピット	V11	0.29	(0.14)	0.11	円形	C 1120号ピット	U10	0.63	0.61	0.10	円形
C 1080号ピット	V10	0.30	0.25	0.28	円形	C 1121号ピット	U11	0.47	0.29	0.37	橢円形
C 1081号ピット	V10	0.31	0.24	0.11	不整形	C 1123号ピット	V10	(0.28)	0.26	0.10	円形
C 1082号ピット	V12	0.46	(0.23)	0.19	方形	C 1124号ピット	V10	0.44	0.41	0.07	円形
C 1083号ピット	V12	0.30	0.30	0.26	円形	C 1125号ピット	U10	0.30	(0.25)	0.20	橢円形
C 1084号ピット	W10	0.41	0.26	0.35	不整形	C 1126号ピット	V10	0.30	0.26	0.11	円形
C 1085号ピット	W10	0.40	(0.20)	0.25	不整形	C 1127号ピット	V9	0.30	0.27	0.22	円形
C 1086号ピット	U11	0.17	0.16	0.05	円形	C 1128号ピット	W9	0.29	0.27	0.47	円形
C 1087号ピット	V11	0.28	0.27	0.44	円形	C 1129号ピット	W9	0.23	0.20	0.13	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1130号ピット	W9	0.25	0.23	0.08	円形	C1171号ピット	V10	0.24	0.24	0.05	円形
C1131号ピット	W9	0.33	0.20	0.17	楕円形	C1172号ピット	V10	0.24	0.17	0.05	円形
C1132号ピット	W9	0.36	(0.32)	0.11	方形	C1173号ピット	V10	0.27	0.21	0.25	円形
C1133号ピット	V13	0.25	0.22	0.15	不整形	C1174号ピット	V10	0.24	0.22	0.06	円形
C1134号ピット	U10	0.36	0.34	0.49	楕円形	C1175号ピット	V10	0.30	0.26	0.15	円形
C1135号ピット	V12	0.38	0.32	0.11	円形	C1176号ピット	V10	0.31	0.28	0.24	円形
C1136号ピット	V12	0.29	0.20	0.11	円形	C1177号ピット	V10	0.43	0.29	0.65	長方形
C1137号ピット	V13	0.24	0.23	0.22	円形	C1178号ピット	V10	0.32	0.29	0.44	円形
C1138号ピット	X10	0.58	0.48	0.14	円形	C1179号ピット	V10	0.61	0.30	0.41	長方形
C1140号ピット	U10	0.37	0.33	0.56	円形	C1180号ピット	V10	0.22	0.21	0.07	円形
C1142号ピット	U10	0.20	0.20	0.13	円形	C1181号ピット	V10	0.32	0.27	0.09	円形
C1143号ピット	V9	0.58	(0.33)	0.32	楕円形	C1182号ピット	V10	0.46	0.33	0.16	円形
C1144号ピット	V9	0.25	0.22	0.04	円形	C1183号ピット	V10	0.32	(0.27)	0.08	円形
C1145号ピット	V9	0.38	0.33	0.73	円形	C1184号ピット	V10	0.32	0.23	0.21	円形
C1146号ピット	V9	0.42	0.37	0.79	円形	C1185号ピット	V10	0.27	(0.18)	0.22	円形
C1147号ピット	V9	0.53	0.47	0.17	不整形	C1186号ピット	V10	0.32	(0.12)	0.14	円形
C1148号ピット	U10	0.52	0.43	0.86	円形	C1187号ピット	V10	0.34	(0.26)	0.17	方形
C1149号ピット	U10・V10	0.47	0.40	0.55	長方形	C1189号ピット	V10	0.22	0.18	0.04	円形
C1150号ピット	V10	0.34	0.34	0.40	円形	C1190号ピット	V10	0.32	0.30	0.16	円形
C1151号ピット	V10	0.32	0.30	0.35	円形	C1191号ピット	V10	0.27	0.24	0.04	円形
C1152号ピット	V10	0.23	0.22	0.38	円形	C1192号ピット	V10	0.25	(0.17)	0.07	円形
C1153号ピット	V13	0.55	0.55	0.35	円形	C1193号ピット	V10	0.21	0.19	0.05	円形
C1154号ピット	V13	0.48	0.46	0.44	円形	C1194号ピット	V10	0.45	0.35	0.07	楕円形
C1155号ピット	V12	0.33	(0.17)	0.21	楕円形	C1195号ピット	V10	0.42	0.30	0.29	長方形
C1156号ピット	V10	0.29	0.27	0.05	円形	C1196号ピット	V10	0.31	0.24	0.13	円形
C1157号ピット	V10	0.26	0.24	0.17	円形	C1197号ピット	V10	0.28	0.23	0.17	円形
C1158号ピット	V10	0.37	0.28	0.16	円形	C1198号ピット	V10	0.53	0.47	0.23	円形
C1159号ピット	V10	0.31	0.30	0.20	円形	C1199号ピット	V10	0.21	0.19	0.05	円形
C1160号ピット	V10	0.32	0.30	0.05	円形	C1200号ピット	V10	0.24	0.24	0.38	円形
C1161号ピット	U10・V10	0.49	0.44	0.49	不整形	C1201号ピット	V10	0.29	0.25	0.26	不整形
C1162号ピット	V10	0.32	0.29	0.69	円形	C1202号ピット	U10	0.33	0.32	0.20	円形
C1163号ピット	V10	0.25	0.19	0.06	円形	C1203号ピット	U10	0.35	0.30	0.34	円形
C1164号ピット	V10	0.34	0.32	0.15	円形	C1204号ピット	U10	0.32	0.31	0.35	円形
C1165号ピット	U10	0.24	0.22	0.44	円形	C1205号ピット	U10	0.52	0.45	0.68	円形
C1166号ピット	U10	0.48	0.43	0.53	円形	C1206号ピット	V10	0.75	(0.70)	0.38	円形
C1167号ピット	U10	0.47	0.33	0.64	円形	C1207号ピット	W9	0.73	0.49	0.19	長方形
C1168号ピット	V10	0.20	0.20	0.05	円形	C1208号ピット	V9	0.27	0.23	0.10	円形
C1169号ピット	U10・V10	0.39	0.36	0.47	円形	C1209号ピット	V9・W9	0.63	0.37	0.72	楕円形
C1170号ピット	V10	0.33	0.28	0.34	円形	C1210号ピット	W10	0.47	0.35	0.32	楕円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 1211号ピット	V9	0.25	0.19	0.07	円形	C 1253号ピット	V10	0.30	(0.23)	0.17	円形
C 1212号ピット	V12	0.33	0.30	0.34	円形	C 1254号ピット	U10	(0.52)	0.48	0.08	円形
C 1213号ピット	W10	0.26	0.23	0.11	円形	C 1255号ピット	U10	0.29	0.21	0.08	円形
C 1214号ピット	W9・W10	0.28	0.25	0.08	不整形	C 1256号ピット	V12	0.22	0.20	0.12	円形
C 1215号ピット	V10	0.35	0.31	0.43	円形	C 1257号ピット	V12	0.26	0.22	0.28	円形
C 1216号ピット	V10	(0.71)	0.43	0.16	楕円形	C 1258号ピット	V12	0.34	0.29	0.50	円形
C 1217号ピット	V10	0.66	(0.45)	0.13	楕円形	C 1259号ピット	V13	0.25	0.24	0.18	方形
C 1218号ピット	V10	0.31	0.24	0.23	円形	C 1260号ピット	V13	0.35	0.30	0.34	不整形
C 1220号ピット	V12	0.30	0.29	0.37	円形	C 1261号ピット	V13	0.25	0.22	0.17	円形
C 1221号ピット	U10・V10	0.64	0.53	0.30	方形	C 1262号ピット	V13	0.22	0.19	0.20	方形
C 1222号ピット	V10	0.38	0.30	0.12	方形	C 1263号ピット	V13	0.20	0.17	0.13	円形
C 1223号ピット	V10	0.44	0.27	0.17	楕円形	C 1264号ピット	V13・W13	0.26	0.23	0.19	円形
C 1224号ピット	V10	0.29	0.27	0.34	円形	C 1265号ピット	V13	0.22	0.18	0.11	円形
C 1225号ピット	V10	0.25	0.21	0.10	円形	C 1266号ピット	W10	0.35	0.24	0.11	楕円形
C 1226号ピット	V10	0.17	0.17	0.05	円形	C 1267号ピット	W10	(0.41)	0.38	0.21	楕円形
C 1227号ピット	W9	0.65	(0.45)	0.38	円形	C 1268号ピット	W10	0.36	0.27	0.46	長方形
C 1228号ピット	V12	0.27	0.25	0.15	円形	C 1269号ピット	W10	0.25	0.24	0.07	円形
C 1230号ピット	V12	0.34	0.31	0.44	円形	C 1270号ピット	W10	0.34	0.25	0.65	楕円形
C 1231号ピット	V12	0.36	(0.12)	0.12	方形	C 1271号ピット	W10	0.30	0.27	0.57	方形
C 1232号ピット	V12	0.22	0.19	0.17	円形	C 1272号ピット	W10	0.32	0.27	0.48	不整形
C 1233号ピット	V12	0.46	(0.25)	0.56	方形	C 1273号ピット	W10	0.42	0.40	0.05	方形
C 1234号ピット	V12	0.24	(0.17)	0.16	円形	C 1274号ピット	W10	0.27	0.25	0.35	方形
C 1235号ピット	V12	0.37	0.26	0.32	楕円形	C 1275号ピット	W10	0.40	0.27	0.22	不整形
C 1236号ピット	U10	0.19	0.18	0.11	円形	C 1276号ピット	W10	0.31	0.26	0.17	円形
C 1237号ピット	V10	0.40	0.30	0.27	楕円形	C 1277号ピット	W10	0.25	0.19	0.15	円形
C 1238号ピット	V10	0.43	0.25	0.04	楕円形	C 1278号ピット	W10	0.26	0.23	0.26	円形
C 1239号ピット	V10	0.39	0.31	0.13	円形	C 1279号ピット	W10	0.23	0.18	0.11	円形
C 1240号ピット	V12	0.36	0.35	0.23	円形	C 1280号ピット	W10	0.23	0.18	0.13	円形
C 1241号ピット	U10	0.33	0.28	0.41	円形	C 1281号ピット	W10	0.22	0.22	0.17	円形
C 1242号ピット	U10	0.46	0.34	0.66	円形	C 1282号ピット	V10	0.28	0.25	0.22	円形
C 1244号ピット	W9	0.37	0.29	0.33	楕円形	C 1283号ピット	V10	0.31	0.23	0.08	円形
C 1245号ピット	W9	0.46	0.39	0.67	不整形	C 1284号ピット	V10	0.25	0.23	0.07	円形
C 1246号ピット	W9	0.28	0.27	0.05	円形	C 1285号ピット	V10	0.23	0.21	0.08	不整形
C 1247号ピット	W9	0.24	0.21	0.10	円形	C 1286号ピット	V10	0.28	0.25	0.18	円形
C 1248号ピット	W9	0.34	0.27	0.07	不整形	C 1287号ピット	V10	0.26	0.24	0.07	円形
C 1249号ピット	V12	0.23	0.09	0.14	円形	C 1288号ピット	W10	0.38	0.34	0.86	円形
C 1250号ピット	U10	0.28	0.28	0.67	円形	C 1289号ピット	W10	0.38	0.36	0.31	円形
C 1251号ピット	U10	0.50	0.46	0.46	楕円形	C 1290号ピット	W10	0.40	(0.33)	0.37	円形
C 1252号ピット	U10	0.27	(0.18)	0.23	方形	C 1291号ピット	W10	0.26	0.26	0.36	方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 1292号ピット	W10	0.65	0.44	0.74	不整形	C 1334号ピット	V9	0.21	0.19	0.23	円形
C 1293号ピット	W10	0.41	(0.33)	0.16	楕円形	C 1337号ピット	U11	0.28	0.21	0.33	円形
C 1294号ピット	W10	0.34	0.25	0.26	不整形	C 1338号ピット	U11	0.30	(0.19)	0.50	円形
C 1295号ピット	W10	0.27	0.24	0.08	円形	C 1340号ピット	V10	0.26	0.25	0.31	円形
C 1296号ピット	W10	0.33	0.27	0.26	円形	C 1342号ピット	V9・V10	0.31	0.30	0.08	円形
C 1297号ピット	W10	0.37	0.29	0.60	不整形	C 1343号ピット	V10	0.27	0.23	0.04	円形
C 1298号ピット	W10	0.32	0.27	0.40	不整形	C 1344号ピット	V10	0.27	0.27	0.06	円形
C 1299号ピット	W10	(0.41)	0.40	0.10	楕円形	C 1345号ピット	V10	0.38	0.32	0.29	円形
C 1301号ピット	W10	0.41	(0.21)	0.28	楕円形	C 1346号ピット	W10	0.27	(0.24)	0.12	楕円形
C 1302号ピット	V10	0.30	0.25	0.63	円形	C 1347号ピット	W10	0.47	0.44	0.23	円形
C 1303号ピット	V10	0.36	0.35	0.19	円形	C 1348号ピット	W10	0.29	0.27	0.10	円形
C 1304号ピット	V10	0.23	0.29	0.19	円形	C 1349号ピット	W10	0.30	0.28	0.34	不整形
C 1305号ピット	V10	0.34	0.30	0.56	円形	C 1350号ピット	W10	0.22	0.17	0.22	円形
C 1306号ピット	V10	0.29	0.27	0.53	円形	C 1351号ピット	W10	0.36	0.29	0.29	円形
C 1308号ピット	V10・W10	0.30	0.24	0.13	円形	C 1352号ピット	W10	0.23	0.20	0.28	円形
C 1309号ピット	W10	0.28	0.27	0.24	円形	C 1353号ピット	W10	0.33	0.29	0.47	円形
C 1310号ピット	V10	0.37	(0.34)	0.60	円形	C 1354号ピット	V10	(0.20)	(0.18)	0.37	円形
C 1311号ピット	V10	0.33	0.29	0.20	円形	C 1355号ピット	V10	(0.26)	0.23	0.11	円形
C 1312号ピット	V11	0.33	(0.20)	0.28	楕円形	C 1356号ピット	W10	0.47	0.35	0.52	不整形
C 1313号ピット	V11	0.30	0.27	0.56	円形	C 1357号ピット	V10	0.26	0.24	0.20	方形
C 1315号ピット	U11	0.42	0.35	0.38	円形	C 1358号ピット	X10	0.42	0.40	0.86	方形
C 1316号ピット	U11	0.42	0.40	0.58	不整形	C 1359号ピット	V11	0.32	0.30	0.10	円形
C 1317号ピット	U10・U11	0.28	0.26	0.30	円形	C 1361号ピット	W10	0.44	0.21	0.30	楕円形
C 1318号ピット	U10	0.27	0.25	0.16	円形	C 1362号ピット	W10	0.41	0.37	0.25	円形
C 1319号ピット	U11	0.39	0.38	0.31	方形	C 1363号ピット	V10	0.35	0.32	0.07	円形
C 1320号ピット	U11	0.27	0.23	0.28	円形	C 1364号ピット	W10	0.25	0.23	0.36	方形
C 1321号ピット	U11	0.29	0.29	0.39	円形	C 1365号ピット	W10	0.42	0.27	0.50	長方形
C 1322号ピット	W10	0.49	0.22	0.20	円形	C 1366号ピット	W10	0.29	0.28	0.50	方形
C 1323号ピット	W9	0.28	0.22	0.14	円形	C 1367号ピット	W10	0.44	0.33	0.56	楕円形
C 1324号ピット	W9	0.26	0.24	0.30	方形	C 1368号ピット	W10	0.32	0.28	0.12	円形
C 1325号ピット	W9	0.29	0.28	0.35	円形	C 1369号ピット	W10	0.35	0.30	0.37	不整形
C 1326号ピット	W9	0.28	0.27	0.44	不整形	C 1370号ピット	W10	0.41	0.25	0.50	楕円形
C 1327号ピット	W9	0.22	0.19	0.10	不整形	C 1371号ピット	V10	0.37	(0.12)	0.11	円形
C 1328号ピット	W9	0.18	0.18	0.05	円形	C 1372号ピット	V10	0.27	0.20	0.06	円形
C 1329号ピット	W9	0.31	0.27	0.08	円形	C 1373号ピット	W10	0.29	0.22	0.41	不整形
C 1330号ピット	V9・W9	0.33	0.31	0.40	不整形	C 1376号ピット	V12	0.45	0.36	0.10	長方形
C 1331号ピット	V9・W9	0.28	0.25	0.09	円形	C 1377号ピット	W9	0.26	0.25	0.06	円形
C 1332号ピット	V9	0.22	0.17	0.06	円形	C 1378号ピット	W9	0.20	0.19	0.08	不整形
C 1333号ピット	V9・W9	0.40	0.38	0.23	円形	C 1379号ピット	W9	0.28	0.15	0.10	長方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 1380号ピット	W9	0.23	0.17	0.13	橢円形	C 1424号ピット	X9	0.44	0.42	0.65	円形
C 1381号ピット	V9・W9	0.31	(0.27)	0.22	円形	C 1425号ピット	X9	(0.35)	(0.50)	0.44	橢円形
C 1382号ピット	W9	0.22	0.17	0.09	不整形	C 1426号ピット	X9	0.31	0.27	0.37	方形
C 1383号ピット	W9	0.25	0.22	0.10	円形	C 1427号ピット	X9	0.30	0.26	0.34	円形
C 1384号ピット	W9	0.19	0.17	0.18	円形	C 1428号ピット	X9	0.32	0.28	0.35	円形
C 1385号ピット	W9	0.30	0.25	0.32	不整形	C 1429号ピット	V10	0.44	0.43	0.45	円形
C 1386号ピット	V9	0.29	0.27	0.32	円形	C 1431号ピット	V10	0.25	0.21	0.46	円形
C 1387号ピット	V9	0.29	0.28	0.32	円形	C 1432号ピット	V10	0.53	0.34	0.22	橢円形
C 1388号ピット	V9	0.27	0.25	0.24	円形	C 1433号ピット	W9	0.65	(0.54)	0.52	橢円形
C 1389号ピット	V9	(0.22)	0.21	0.18	橢円形	C 1434号ピット	V11	0.31	(0.15)	0.12	橢円形
C 1390号ピット	V9	0.36	0.32	0.50	方形	C 1435号ピット	V11	0.44	0.29	0.40	橢円形
C 1391号ピット	V9	0.26	0.24	0.43	円形	C 1436号ピット	V11	0.30	0.29	0.22	円形
C 1393号ピット	V10	0.27	0.25	0.05	不整形	C 1437号ピット	V11	0.39	0.34	0.66	円形
C 1395号ピット	V10	0.30	0.29	0.12	円形	C 1438号ピット	V12	0.31	0.31	0.29	円形
C 1396号ピット	V10	0.28	0.26	0.29	円形	C 1439号ピット	V12	0.14	0.14	0.29	円形
C 1397号ピット	V10	0.55	0.49	0.24	方形	C 1440号ピット	U12・V12	0.38	0.38	0.52	円形
C 1398号ピット	V10	0.36	0.34	0.42	円形	C 1441号ピット	U13	0.22	0.22	0.25	円形
C 1399号ピット	W10	(0.29)	0.27	0.27	橢円形	C 1442号ピット	U13	0.30	0.25	0.18	円形
C 1400号ピット	W10	0.47	0.37	0.49	不整形	C 1443号ピット	U13	0.25	0.19	0.11	円形
C 1401号ピット	W10	0.54	0.34	0.98	不整形	C 1444号ピット	V13	0.44	0.26	0.28	橢円形
C 1402号ピット	W10	0.40	0.38	0.61	円形	C 1445号ピット	U12	0.25	(0.21)	0.11	方形
C 1403号ピット	W10	0.45	0.44	0.41	方形	C 1446号ピット	U12	(0.47)	0.45	0.14	長方形
C 1404号ピット	W10・X10	0.58	0.43	0.45	円形	C 1447号ピット	U11	0.42	0.40	0.32	円形
C 1405号ピット	X10	0.35	(0.28)	0.50	円形	C 1448号ピット	U11	0.44	0.25	0.26	橢円形
C 1406号ピット	W10	0.36	(0.20)	0.15	橢円形	C 1449号ピット	U11	0.40	0.27	0.30	不整形
C 1407号ピット	W10	0.50	0.29	0.95	橢円形	C 1450号ピット	U11	0.40	(0.27)	0.32	不整形
C 1408号ピット	W10	0.29	(0.16)	0.13	円形	C 1451号ピット	U11	0.43	(0.29)	0.74	橢円形
C 1409号ピット	W10	0.48	(0.25)	0.22	橢円形	C 1453号ピット	V11	0.25	0.17	0.47	円形
C 1410号ピット	W10	0.32	0.30	0.53	円形	C 1454号ピット	V11	0.42	0.26	0.31	橢円形
C 1411号ピット	W10	0.25	0.24	0.31	円形	C 1455号ピット	V11	0.32	(0.26)	0.31	円形
C 1412号ピット	W9・W10	0.29	0.25	0.59	円形	C 1456号ピット	V12	0.26	(0.14)	0.18	円形
C 1413号ピット	W9	0.31	0.31	0.63	円形	C 1457号ピット	V12	0.30	0.24	0.18	円形
C 1414号ピット	W9	0.31	0.31	0.34	円形	C 1458号ピット	V12	0.51	0.42	0.31	方形
C 1415号ピット	W9	0.32	0.31	0.17	円形	C 1459号ピット	X9	0.58	0.53	0.27	円形
C 1416号ピット	W9	0.30	0.28	0.13	方形	C 1460号ピット	V10	0.28	0.17	0.57	方形
C 1417号ピット	W9	0.59	0.40	0.47	不整形	C 1461号ピット	V10	0.35	0.30	0.18	円形
C 1418号ピット	V11	0.34	0.23	0.64	橢円形	C 1462号ピット	W10	0.36	0.36	0.73	円形
C 1419号ピット	V11	0.31	0.23	0.45	円形	C 1463号ピット	W10	0.28	(0.22)	0.38	円形
C 1420号ピット	W9	0.25	(0.18)	0.10	円形	C 1465号ピット	W10	0.35	(0.30)	0.52	不整形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1466号ピット	W10	0.30	0.27	0.38	方形	C1510号ピット	X9	0.34	0.29	0.31	円形
C1467号ピット	W10	0.26	(0.21)	0.13	円形	C1511号ピット	X9	0.28	0.22	0.10	長方形
C1468号ピット	V11	0.30	0.28	0.35	方形	C1512号ピット	X9	0.41	0.39	0.47	円形
C1469号ピット	V13	0.27	0.25	0.35	円形	C1513号ピット	X10	0.32	0.32	0.49	不整形
C1470号ピット	V12	0.15	0.12	0.50	円形	C1514号ピット	X10	0.39	0.35	0.14	不整形
C1471号ピット	V13	0.35	0.30	0.44	円形	C1515号ピット	X10	0.24	0.17	0.14	円形
C1472号ピット	V12	0.26	0.23	0.30	円形	C1516号ピット	X10	0.55	0.46	0.65	不整形
C1473号ピット	V12	0.24	0.20	0.40	円形	C1517号ピット	X10	0.32	0.31	0.25	円形
C1474号ピット	V12	0.52	0.42	0.23	円形	C1518号ピット	U11	0.47	0.42	0.48	円形
C1475号ピット	V12	0.21	0.13	0.22	楕円形	C1519号ピット	V13	0.35	(0.13)	0.11	楕円形
C1476号ピット	V12	0.38	0.29	0.39	不整形	C1520号ピット	V13	0.30	0.20	0.48	不整形
C1477号ピット	V12	0.38	0.31	0.47	円形	C1521号ピット	V13	0.30	0.25	0.41	円形
C1478号ピット	V12	0.37	0.31	0.29	円形	C1522号ピット	W9	(0.61)	0.60	0.24	円形
C1479号ピット	V12	0.14	0.12	0.32	円形	C1523号ピット	W12	0.35	0.32	0.27	円形
C1481号ピット	V13	0.44	0.19	0.14	不整形	C1524号ピット	W12	0.58	0.39	0.22	楕円形
C1483号ピット	V10・V11	0.55	0.37	0.81	長方形	C1525号ピット	W11	0.59	0.40	0.47	楕円形
C1484号ピット	V11	(0.30)	0.26	0.22	楕円形	C1526号ピット	W11	0.33	0.26	0.25	円形
C1485号ピット	V11	(0.22)	0.22	0.13	円形	C1527号ピット	W11	0.36	0.23	0.20	楕円形
C1487号ピット	V12	0.39	0.31	0.56	長方形	C1528号ピット	W11	0.24	0.22	0.16	不整形
C1488号ピット	V12	0.31	0.25	0.56	方形	C1529号ピット	W12	0.24	0.20	0.37	円形
C1489号ピット	V12	0.27	0.27	0.33	円形	C1530号ピット	V12	0.29	0.20	0.28	方形
C1490号ピット	V12	0.26	0.24	0.15	円形	C1531号ピット	V12	(0.42)	0.37	0.15	円形
C1492号ピット	U12	0.32	0.32	0.33	方形	C1532号ピット	W12	0.63	0.43	0.19	楕円形
C1493号ピット	U12	(0.28)	0.27	0.26	楕円形	C1533号ピット	V13	0.32	(0.19)	0.46	円形
C1494号ピット	U12	0.26	(0.25)	0.13	円形	C1534号ピット	V10	0.27	0.22	0.11	円形
C1495号ピット	X10	0.38	0.27	0.11	楕円形	C1536号ピット	X10	0.70	0.37	0.44	楕円形
C1496号ピット	V10	0.35	0.34	0.17	円形	C1537号ピット	X10	0.34	0.23	0.08	楕円形
C1497号ピット	W10	0.31	0.31	0.44	円形	C1539号ピット	X10	0.32	0.31	0.26	円形
C1498号ピット	W10	0.26	0.24	0.29	円形	C1540号ピット	X10	0.29	0.28	0.17	円形
C1499号ピット	W10	0.26	0.26	0.54	方形	C1541号ピット	X10・Y10	0.42	0.40	0.16	円形
C1500号ピット	W10・X10	0.26	0.26	0.19	円形	C1542号ピット	X10	0.49	(0.35)	0.18	円形
C1501号ピット	X10	0.40	0.26	0.23	長方形	C1543号ピット	X10・Y10	0.32	0.30	0.19	不整形
C1502号ピット	X10	0.24	0.22	0.18	円形	C1544号ピット	X10	0.30	0.30	0.37	円形
C1503号ピット	X10	0.26	0.22	0.10	円形	C1545号ピット	X10	0.34	0.34	0.26	円形
C1504号ピット	X10	0.37	0.34	0.24	円形	C1546号ピット	X9	0.35	0.24	0.39	楕円形
C1505号ピット	X10	0.26	0.25	0.22	円形	C1547号ピット	X10	0.25	0.21	0.24	円形
C1506号ピット	X10	0.42	0.30	0.89	楕円形	C1548号ピット	X10	0.40	0.35	0.91	円形
C1507号ピット	X9	0.32	0.30	0.50	方形	C1549号ピット	W10	0.28	0.26	0.21	方形
C1509号ピット	W10	0.41	0.34	0.63	長方形	C1550号ピット	V12	0.22	0.18	0.08	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1551号ピット	V12	0.31	0.30	0.32	円形	C1591号ピット	W9	0.49	0.43	0.15	円形
C1552号ピット	V12	0.26	0.24	0.18	円形	C1592号ピット	X10	0.30	0.25	0.45	円形
C1553号ピット	W9	0.49	(0.45)	0.43	円形	C1593号ピット	W10	0.27	0.23	0.10	楕円形
C1554号ピット	W10	0.28	0.25	0.49	円形	C1594号ピット	W10	0.22	0.16	0.09	円形
C1555号ピット	V12	0.40	0.28	0.21	円形	C1595号ピット	W10	0.32	0.27	0.37	円形
C1556号ピット	V12	0.36	0.30	0.40	円形	C1596号ピット	W10	0.26	0.23	0.37	円形
C1557号ピット	V12	0.32	0.26	0.29	円形	C1597号ピット	W10	0.31	0.27	0.16	円形
C1558号ピット	V10	0.36	0.31	0.15	円形	C1598号ピット	W10	0.26	0.24	0.28	円形
C1560号ピット	X10	0.35	0.27	0.40	円形	C1599号ピット	W10・W11	0.29	0.28	0.20	円形
C1561号ピット	X10	0.24	(0.15)	0.34	円形	C1600号ピット	W11	0.32	0.29	0.28	円形
C1562号ピット	X10	0.32	0.26	0.24	円形	C1601号ピット	W11	0.24	0.20	0.14	円形
C1563号ピット	V13	0.72	0.48	0.34	不整形	C1602号ピット	X11	0.38	0.36	0.30	円形
C1564号ピット	V13	0.32	0.25	0.18	円形	C1603号ピット	W11	0.57	0.57	0.31	円形
C1565号ピット	W9	0.47	0.42	0.20	円形	C1604号ピット	X10	0.41	0.40	0.41	円形
C1566号ピット	W9	0.59	0.42	0.10	不整形	C1606号ピット	X10	0.23	0.20	0.10	円形
C1567号ピット	W9	0.44	0.25	0.13	楕円形	C1608号ピット	W11・W12	0.47	0.37	0.49	楕円形
C1568号ピット	W9	0.25	0.25	0.10	不整形	C1609号ピット	W12	0.38	0.37	0.40	円形
C1569号ピット	W9	0.33	0.31	0.18	円形	C1611号ピット	W10	0.62	(0.50)	0.28	円形
C1570号ピット	W9	0.27	0.25	0.22	不整形	C1612号ピット	X10	0.25	(0.15)	0.06	円形
C1571号ピット	X9	0.49	0.34	0.33	楕円形	C1613号ピット	X10	0.37	0.35	0.40	円形
C1572号ピット	W9	0.38	0.37	0.19	円形	C1614号ピット	W10	0.33	(0.25)	0.16	円形
C1573号ピット	W10	0.31	0.27	0.73	円形	C1615号ピット	W11	0.25	0.25	0.17	円形
C1574号ピット	W10・X10	0.34	0.31	0.66	円形	C1616号ピット	W11	0.27	0.27	0.20	円形
C1575号ピット	W10	0.45	0.30	0.41	円形	C1617号ピット	W11	0.33	0.30	0.33	円形
C1576号ピット	W10	0.30	0.26	0.35	円形	C1618号ピット	W11	0.16	0.14	0.05	円形
C1577号ピット	W10	0.22	0.22	0.15	円形	C1619号ピット	X11	0.32	0.30	0.26	円形
C1578号ピット	W10	0.41	0.28	0.52	楕円形	C1620号ピット	X11	0.30	0.22	0.36	円形
C1579号ピット	W10	0.36	0.30	0.55	円形	C1621号ピット	X11	0.31	0.25	0.17	円形
C1580号ピット	W10	0.31	0.29	0.49	円形	C1623号ピット	W10	0.38	0.35	0.42	円形
C1581号ピット	W9	0.27	0.25	0.24	円形	C1624号ピット	W10・X10	0.50	(0.34)	0.39	長方形
C1582号ピット	W9	0.46	(0.22)	0.12	円形	C1625号ピット	W10	0.25	0.21	0.19	円形
C1583号ピット	W9	0.66	(0.27)	0.34	楕円形	C1626号ピット	W12	0.50	0.45	0.46	円形
C1584号ピット	X9	0.27	0.24	0.64	方形	C1628号ピット	W11	0.32	(0.27)	0.37	円形
C1585号ピット	W9・W10	0.34	0.30	0.58	円形	C1629号ピット	X10	0.31	0.24	0.31	方形
C1586号ピット	W10	0.27	0.27	0.17	円形	C1630号ピット	X10	0.18	0.18	0.06	方形
C1587号ピット	W9	(0.31)	0.29	0.25	円形	C1631号ピット	W10	0.45	0.30	0.50	不整形
C1588号ピット	X10	0.35	0.25	0.13	楕円形	C1633号ピット	W11	0.28	0.26	0.25	円形
C1589号ピット	X10	0.24	(0.13)	0.10	円形	C1634号ピット	W9	0.24	(0.14)	0.18	不整形
C1590号ピット	W9	0.52	(0.44)	0.10	円形	C1635号ピット	W11	0.33	0.21	0.31	楕円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1636号ピット	V13	0.45	0.33	0.16	円形	C1680号ピット	X11	(0.25)	0.22	0.14	楕円形
C1637号ピット	V13	0.30	0.30	0.33	円形	C1681号ピット	X10・X11	0.38	(0.36)	0.42	円形
C1638号ピット	W11	0.27	0.19	0.08	円形	C1682号ピット	X10	0.37	0.34	0.43	円形
C1639号ピット	W11	0.29	0.25	0.23	円形	C1683号ピット	X10	0.24	0.22	0.14	円形
C1640号ピット	W11	0.31	0.30	0.18	円形	C1684号ピット	X10	0.47	0.28	0.10	不整形
C1641号ピット	X10	0.20	0.19	0.08	円形	C1685号ピット	X10	0.27	0.26	0.22	不整形
C1643号ピット	U12	0.35	(0.15)	0.08	方形	C1686号ピット	X10	0.50	(0.48)	0.29	円形
C1645号ピット	W12	0.55	0.47	0.13	円形	C1687号ピット	X10	0.40	0.29	0.12	楕円形
C1646号ピット	V13	(0.47)	0.42	0.22	不整形	C1688号ピット	X10	0.25	0.25	0.16	円形
C1647号ピット	V13	0.20	0.20	0.32	円形	C1689号ピット	X10	0.29	0.26	0.31	円形
C1648号ピット	X11	0.36	0.34	0.37	円形	C1690号ピット	X10	0.28	(0.18)	0.12	円形
C1649号ピット	X11	0.32	0.30	0.19	方形	C1691号ピット	X10	0.28	0.23	0.11	円形
C1650号ピット	X11	0.36	0.34	0.44	円形	C1692号ピット	X10	0.24	(0.17)	0.04	円形
C1651号ピット	X11	0.28	0.27	0.50	不整形	C1693号ピット	X10	0.36	(0.29)	0.17	円形
C1652号ピット	X10	0.34	0.34	0.50	円形	C1694号ピット	X10	0.31	(0.23)	0.35	円形
C1653号ピット	X10	0.39	0.36	0.23	円形	C1695号ピット	X10	0.34	0.25	0.23	楕円形
C1654号ピット	X11	0.33	0.29	0.18	円形	C1697号ピット	U11	(0.27)	(0.10)	0.42	円形
C1655号ピット	W10	0.38	(0.26)	0.38	不整形	C1698号ピット	W9	0.41	(0.20)	0.17	円形
C1657号ピット	W11	0.33	0.30	0.36	円形	C1699号ピット	V10	0.31	0.28	0.22	円形
C1659号ピット	W11	0.32	0.29	0.17	円形	C1700号ピット	V10・V11	0.22	0.20	0.23	方形
C1660号ピット	W11	0.35	(0.28)	0.16	方形	C1701号ピット	W11	0.60	0.52	0.36	不整形
C1661号ピット	W11	0.40	(0.29)	0.10	楕円形	C1702号ピット	W9	0.23	0.22	0.16	円形
C1662号ピット	W11	0.39	0.30	0.24	楕円形	C1703号ピット	X10	0.29	0.28	0.28	円形
C1663号ピット	X10	0.30	(0.29)	0.46	円形	C1704号ピット	V11	0.37	0.36	0.47	円形
C1664号ピット	X10	0.37	0.35	0.47	円形	C1705号ピット	U12	(0.41)	0.38	0.46	円形
C1665号ピット	X10	0.36	0.35	0.21	方形	C1707号ピット	V11	0.39	0.29	0.25	円形
C1666号ピット	X10	0.40	0.34	0.30	方形	C1708号ピット	V11	0.24	0.24	0.16	円形
C1667号ピット	V11	0.37	0.34	0.16	不整形	C1709号ピット	V11	0.24	0.21	0.13	円形
C1668号ピット	V11	0.29	0.26	0.20	円形	C1710号ピット	W11	0.20	(0.10)	0.11	円形
C1669号ピット	X10	0.38	0.31	0.31	円形	C1711号ピット	W9	0.45	0.37	0.22	円形
C1670号ピット	V11	0.23	0.18	0.18	円形	C1712号ピット	W9	0.32	(0.14)	0.13	円形
C1672号ピット	X10	0.40	0.31	0.41	円形	C1713号ピット	W9	0.43	(0.30)	0.08	楕円形
C1673号ピット	X10	0.59	0.42	0.23	不整形	C1714号ピット	V10・W10	(0.26)	0.26	0.26	方形
C1674号ピット	X9	0.65	0.45	0.61	不整形	C1715号ピット	U12	0.25	0.23	0.29	円形
C1675号ピット	X9・X10	0.32	0.30	0.53	円形	C1716号ピット	U12	0.29	0.23	0.19	円形
C1676号ピット	X11	0.34	0.26	0.22	円形	C1717号ピット	V11	0.32	0.27	0.05	円形
C1677号ピット	X11	0.31	0.29	0.23	円形	C1718号ピット	W10	0.21	0.18	0.09	方形
C1678号ピット	X11	0.35	0.32	0.28	円形	C1720号ピット	W10	0.24	0.19	0.38	円形
C1679号ピット	X11	0.29	0.28	0.17	方形	C1724号ピット	W10	0.24	0.17	0.07	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1725号ピット	W9	0.50	0.40	0.13	円形	C1769号ピット	X8	0.32	(0.15)	0.47	円形
C1726号ピット	X10・X11	0.33	0.28	0.38	円形	C1770号ピット	X9	0.55	(0.25)	0.10	楕円形
C1727号ピット	X11	0.44	0.43	0.40	円形	C1771号ピット	X11	0.27	0.27	0.19	円形
C1728号ピット	X9	0.35	0.34	0.22	円形	C1772号ピット	X11	0.33	0.32	0.23	円形
C1729号ピット	X9	0.22	0.21	0.08	円形	C1773号ピット	W11	0.21	0.17	0.17	円形
C1730号ピット	X9	0.65	0.47	0.74	楕円形	C1774号ピット	W11・W12	0.23	0.20	0.11	円形
C1731号ピット	X9	0.39	0.21	0.14	不整形	C1775号ピット	X9	0.25	0.21	0.12	円形
C1732号ピット	X10	0.55	0.34	0.30	楕円形	C1777号ピット	Y7	0.28	0.25	0.09	不整形
C1733号ピット	X10	0.40	0.32	0.65	円形	C1778号ピット	Y7	0.46	0.28	0.05	楕円形
C1735号ピット	X10	0.33	0.28	0.23	円形	C1779号ピット	Y7	0.16	0.14	0.04	円形
C1736号ピット	W10	0.46	0.41	0.58	不整形	C1780号ピット	Y7	0.25	0.23	0.07	円形
C1737号ピット	W10	0.23	0.20	0.11	円形	C1781号ピット	Y7	0.25	0.23	0.07	円形
C1738号ピット	W10	0.32	0.28	0.43	円形	C1782号ピット	Y7	0.22	0.20	0.09	円形
C1739号ピット	X10	(0.32)	(0.32)	0.07	楕円形	C1783号ピット	Y7	0.24	0.22	0.50	円形
C1740号ピット	W10・W11	0.68	(0.40)	0.74	円形	C1785号ピット	Y7	0.27	0.25	0.23	方形
C1742号ピット	V10	0.31	0.28	0.41	方形	C1786号ピット	Y7・Y8	0.23	0.20	0.80	不整形
C1743号ピット	V10	0.29	0.23	0.16	円形	C1787号ピット	X8	0.47	0.32	0.32	楕円形
C1745号ピット	U12	0.56	0.51	0.47	円形	C1788号ピット	X9	0.30	0.30	0.13	円形
C1746号ピット	U12	0.24	0.23	0.17	円形	C1789号ピット	X9	0.48	0.40	0.34	円形
C1747号ピット	U11	0.25	0.22	0.14	円形	C1790号ピット	X9	0.28	0.24	0.11	不整形
C1749号ピット	V11	0.25	0.23	0.19	円形	C1791号ピット	X9	0.25	0.23	0.12	円形
C1750号ピット	V10	0.30	0.27	0.26	円形	C1792号ピット	X9	0.24	0.20	0.05	円形
C1752号ピット	V12	0.22	(0.14)	0.25	方形	C1793号ピット	X9	0.58	0.56	1.07	円形
C1753号ピット	V12	0.23	(0.08)	0.09	方形	C1794号ピット	X9	0.43	0.38	0.53	円形
C1754号ピット	W10	0.39	0.27	0.07	円形	C1795号ピット	X9	0.35	0.31	0.15	不整形
C1755号ピット	W10	0.44	0.36	0.44	円形	C1796号ピット	X9	0.65	0.49	0.16	円形
C1756号ピット	U11	0.38	0.28	0.37	円形	C1797号ピット	X9	0.23	0.18	0.12	不整形
C1757号ピット	T11・U11	0.40	0.33	0.14	円形	C1798号ピット	X9	0.48	0.39	0.87	円形
C1758号ピット	T11	0.35	0.34	0.09	方形	C1799号ピット	Y9	0.36	0.35	0.26	円形
C1759号ピット	T11	0.37	0.27	0.14	円形	C1800号ピット	Y9	0.38	0.37	0.28	円形
C1760号ピット	T11	0.41	0.31	0.16	楕円形	C1801号ピット	Y8	0.43	0.29	0.16	楕円形
C1761号ピット	T11	0.33	0.29	0.14	円形	C1802号ピット	Y7	0.41	0.32	0.18	不整形
C1762号ピット	T11	0.24	0.23	0.05	円形	C1803号ピット	Y7・Y8	0.43	0.39	0.87	方形
C1763号ピット	T11	0.37	0.28	0.11	円形	C1804号ピット	Y8	0.36	0.35	0.47	円形
C1764号ピット	V13	0.32	0.29	0.31	円形	C1805号ピット	Y8	0.24	0.18	0.10	楕円形
C1765号ピット	U12	0.25	0.22	0.23	円形	C1806号ピット	Z7	0.39	0.35	0.53	円形
C1766号ピット	U12	0.18	0.16	0.15	円形	C1807号ピット	Y9	0.32	0.31	0.65	不整形
C1767号ピット	U12	0.37	0.31	0.10	不整形	C1808号ピット	X8	0.28	0.27	0.23	円形
C1768号ピット	V13	0.25	0.23	0.25	円形	C1809号ピット	Z7	0.52	0.50	0.45	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1810号ピット	Y7・Z7	0.37	0.32	0.14	円形	C1850号ピット	Z8	(0.37)	(0.20)	0.32	長方形
C1811号ピット	Z7	0.45	0.43	0.55	円形	C1851号ピット	Z8	0.26	0.21	0.22	円形
C1812号ピット	Y8	0.70	0.55	0.73	円形	C1852号ピット	Z8	0.45	0.42	0.59	円形
C1813号ピット	Y8	0.27	(0.23)	0.07	楕円形	C1853号ピット	Z8	0.33	0.30	0.30	円形
C1814号ピット	Y8	0.35	0.30	0.07	不整形	C1854号ピット	Z7	0.62	0.60	0.44	円形
C1815号ピット	Y8・Y9	0.20	0.18	0.04	円形	C1855号ピット	Y8・Z8	0.26	0.20	0.11	円形
C1816号ピット	Y8	0.26	0.24	0.08	不整形	C1856号ピット	Y8	0.28	0.25	0.16	方形
C1817号ピット	Y8	0.30	0.24	0.10	不整形	C1857号ピット	Y8	0.17	0.14	0.07	円形
C1818号ピット	Y9	0.23	0.18	0.08	不整形	C1858号ピット	Y8	0.28	0.25	0.49	方形
C1819号ピット	X9	0.35	0.32	0.89	円形	C1859号ピット	Y8	0.20	0.19	0.10	円形
C1820号ピット	Y9	0.48	0.35	0.53	楕円形	C1860号ピット	Y8	0.38	0.28	0.34	不整形
C1821号ピット	X8	0.50	(0.44)	0.30	方形	C1861号ピット	Y8	0.34	0.25	0.19	長方形
C1822号ピット	Y7	0.31	0.25	0.14	不整形	C1862号ピット	Y8	0.23	0.21	0.12	円形
C1823号ピット	Y7・Y8	0.29	0.20	0.11	楕円形	C1863号ピット	Y8	0.32	0.31	0.41	方形
C1824号ピット	Z7	0.42	0.36	0.53	円形	C1864号ピット	Y8	0.29	0.28	0.50	方形
C1825号ピット	Z7	0.40	0.30	0.23	楕円形	C1865号ピット	Z8	0.22	0.20	0.16	円形
C1826号ピット	Y8	0.28	0.20	0.07	楕円形	C1866号ピット	Z7	0.37	0.34	0.49	円形
C1827号ピット	Y8	0.24	0.19	0.04	円形	C1867号ピット	X9	0.32	(0.28)	0.48	円形
C1828号ピット	Y8	0.20	0.16	0.10	円形	C1868号ピット	X9	0.26	0.26	0.26	方形
C1829号ピット	Y8	(0.38)	0.36	0.31	不整形	C1869号ピット	Z8	0.30	0.21	0.25	楕円形
C1831号ピット	Y7	0.32	0.20	0.10	長方形	C1870号ピット	X9	0.33	0.30	0.21	不整形
C1832号ピット	Y7	0.22	0.19	0.52	円形	C1871号ピット	X9	0.35	0.27	0.52	不整形
C1833号ピット	Y7	(0.29)	0.25	0.49	楕円形	C1872号ピット	Y8	0.43	0.42	0.84	円形
C1834号ピット	Z8	0.21	0.16	0.34	方形	C1873号ピット	Z8	(0.40)	(0.35)	0.82	不整形
C1835号ピット	Z8	0.20	0.18	0.37	円形	C1874号ピット	X9	0.39	0.27	0.55	楕円形
C1836号ピット	Y8	0.37	0.34	0.31	円形	C1875号ピット	X9	0.60	0.55	0.89	円形
C1837号ピット	Y8	0.32	0.30	0.17	不整形	C1876号ピット	X9	0.43	0.40	0.83	円形
C1838号ピット	Y7	0.17	0.16	0.07	方形	C1877号ピット	X9	0.36	(0.22)	0.45	楕円形
C1839号ピット	Y8	0.31	0.24	0.38	円形	C1878号ピット	Y9	0.52	0.49	0.35	不整形
C1840号ピット	Y8	0.23	0.20	0.11	円形	C1879号ピット	Y9	0.54	0.35	0.20	楕円形
C1841号ピット	Y8	0.24	(0.12)	0.28	円形	C1880号ピット	X10・Y10	0.37	0.35	0.40	円形
C1842号ピット	Y8	0.40	0.38	0.76	円形	C1881号ピット	Y10	0.37	0.35	0.17	円形
C1843号ピット	Z8	0.45	0.40	0.68	円形	C1882号ピット	Y10	0.40	0.31	0.37	円形
C1844号ピット	Z8	0.17	0.15	0.19	方形	C1883号ピット	Y10	0.25	0.24	0.26	方形
C1845号ピット	X9・Y9	0.30	(0.23)	0.52	楕円形	C1884号ピット	Y9	0.30	0.25	0.25	方形
C1846号ピット	Z8	0.31	0.25	0.25	楕円形	C1885号ピット	Y8	0.34	0.31	0.16	円形
C1847号ピット	Z8	0.30	0.26	0.39	円形	C1886号ピット	Y8	0.43	0.32	0.16	楕円形
C1848号ピット	Z8	0.24	0.22	0.26	円形	C1887号ピット	Y8・Z8	0.63	0.62	0.85	円形
C1849号ピット	Z8	0.56	0.46	0.40	円形	C1888号ピット	Y8	0.55	0.31	0.64	楕円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C 1889号ピット	Y8・Z8	0.45	0.44	0.58	円形	C 1931号ピット	Y9	0.39	0.37	0.59	円形
C 1890号ピット	Y8	0.52	0.44	0.95	円形	C 1932号ピット	Y9	0.37	0.30	0.13	円形
C 1891号ピット	Y8	0.47	(0.46)	0.10	円形	C 1933号ピット	Y9	0.23	0.22	0.17	不整形
C 1892号ピット	Y8	0.27	0.27	0.17	円形	C 1934号ピット	Y9	0.19	0.18	0.06	不整形
C 1893号ピット	Y8	0.31	0.29	0.11	円形	C 1935号ピット	X9	0.43	0.34	0.21	不整形
C 1894号ピット	Y8	0.47	0.38	0.37	円形	C 1936号ピット	X9	0.44	0.35	0.13	円形
C 1895号ピット	Y8	0.68	0.46	0.75	楕円形	C 1937号ピット	Y9	0.25	0.23	0.16	円形
C 1896号ピット	X10	0.35	0.31	0.20	円形	C 1938号ピット	Y8・Y9	0.30	0.23	0.36	長方形
C 1897号ピット	X10	0.30	0.23	0.19	円形	C 1939号ピット	Y9	0.24	0.24	0.25	円形
C 1898号ピット	X10	0.27	0.19	0.11	円形	C 1940号ピット	Y9	0.25	0.21	0.20	方形
C 1899号ピット	Y9	0.33	0.29	0.53	方形	C 1941号ピット	Y9	0.36	0.24	0.28	不整形
C 1900号ピット	X9	0.35	0.30	0.38	円形	C 1942号ピット	Y10	0.28	0.24	0.25	円形
C 1901号ピット	X9	0.64	0.32	0.43	楕円形	C 1943号ピット	Y10	0.35	0.29	0.29	円形
C 1902号ピット	X9	0.55	0.53	0.50	円形	C 1944号ピット	Y10	0.49	0.39	0.46	円形
C 1903号ピット	X9	0.36	0.29	0.14	円形	C 1945号ピット	Y9・Y10	0.35	0.28	0.34	不整形
C 1904号ピット	X9	0.22	0.20	0.67	円形	C 1946号ピット	Y9・Y10	0.34	0.25	0.29	不整形
C 1906号ピット	X9	0.20	0.18	0.23	円形	C 1947号ピット	Y9	0.36	0.31	0.16	円形
C 1907号ピット	Y10	0.51	0.39	0.13	円形	C 1948号ピット	Y9	0.50	0.26	0.12	楕円形
C 1908号ピット	Y10	0.30	0.28	0.08	円形	C 1949号ピット	Y9	0.58	0.40	0.25	円形
C 1909号ピット	Y10	0.40	0.33	0.13	円形	C 1950号ピット	Y9	0.70	0.58	0.47	不整形
C 1910号ピット	X10	0.27	0.23	0.18	円形	C 1951号ピット	Y9	0.35	0.32	0.36	円形
C 1911号ピット	Y9	0.35	0.31	0.57	方形	C 1952号ピット	Z9	0.35	0.28	0.40	円形
C 1912号ピット	Y9	0.35	0.21	0.15	長方形	C 1953号ピット	Z9	0.37	0.37	0.47	不整形
C 1913号ピット	Y9	0.43	0.41	0.67	円形	C 1954号ピット	Z9	0.59	0.57	0.38	円形
C 1914号ピット	Y9	0.36	0.26	0.27	楕円形	C 1955号ピット	Y9	0.57	0.35	0.50	長方形
C 1915号ピット	Y9	0.56	0.54	0.76	円形	C 1956号ピット	X9	0.22	0.20	0.20	円形
C 1916号ピット	Y9	0.27	0.26	0.14	方形	C 1957号ピット	X9	0.29	0.25	0.22	円形
C 1917号ピット	Y9	0.26	0.22	0.14	円形	C 1958号ピット	X9	(0.46)	0.44	0.10	円形
C 1918号ピット	Y9	0.28	0.20	0.20	不整形	C 1959号ピット	X9	0.28	0.25	0.18	円形
C 1919号ピット	Y10	0.32	0.28	0.36	円形	C 1960号ピット	X9	0.20	0.20	0.67	不整形
C 1920号ピット	Y10	0.39	0.32	0.16	不整形	C 1961号ピット	Y8	0.31	0.30	0.82	円形
C 1922号ピット	Y9	0.41	0.34	0.89	円形	C 1962号ピット	X9	0.31	0.25	0.10	方形
C 1923号ピット	Y9	0.72	0.64	0.04	円形	C 1963号ピット	X9	0.37	0.36	0.67	円形
C 1924号ピット	Y9	0.33	0.32	0.50	方形	C 1964号ピット	X9	0.25	(0.24)	0.37	円形
C 1925号ピット	Y9	0.28	(0.25)	0.18	円形	C 1965号ピット	X9	0.34	0.28	0.42	楕円形
C 1926号ピット	Y9	0.35	0.28	0.08	方形	C 1966号ピット	Y10	0.37	0.35	0.61	円形
C 1927号ピット	Y9	0.44	0.28	0.30	楕円形	C 1967号ピット	Y9	0.45	0.31	0.88	不整形
C 1928号ピット	Y9	0.35	0.31	0.52	方形	C 1968号ピット	X9	0.33	0.33	0.23	円形
C 1929号ピット	Y9	0.42	0.41	0.71	円形	C 1969号ピット	X9	0.33	0.30	0.13	円形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C1970号ピット	X9	0.54	0.51	0.28	円形	C2012号ピット	X9	0.34	0.24	0.23	不整形
C1971号ピット	Y9	0.37	0.31	0.23	円形	C2013号ピット	Y9	0.43	(0.31)	0.50	楕円形
C1972号ピット	Y9	0.56	(0.34)	0.60	楕円形	C2014号ピット	X9	0.47	0.27	0.33	不整形
C1973号ピット	Y9・Z9	0.29	0.27	0.42	不整形	C2015号ピット	Y9	(0.60)	0.49	0.60	楕円形
C1974号ピット	Y9	0.36	0.30	0.46	不整形	C2016号ピット	Y9	0.64	0.28	0.16	楕円形
C1975号ピット	X9	0.37	0.29	0.48	長方形	C2017号ピット	Y10	0.48	0.45	0.13	不整形
C1976号ピット	Z9	0.48	0.46	0.88	方形	C2018号ピット	Y10	0.50	0.47	0.16	不整形
C1977号ピット	Z7・Z8	0.47	0.39	0.68	不整形	C2019号ピット	Y10	0.43	0.24	0.54	長方形
C1978号ピット	Y9	0.35	0.30	0.37	円形	C2020号ピット	Y10	0.28	0.16	0.45	楕円形
C1980号ピット	Z8	0.43	0.36	0.26	円形	C2022号ピット	Y10	0.27	0.26	0.20	円形
C1981号ピット	Y9	0.45	(0.33)	0.14	円形	C2023号ピット	Y10	0.31	0.31	0.50	円形
C1982号ピット	Y9	0.28	0.28	0.44	不整形	C2025号ピット	Y10	0.36	0.24	0.37	不整形
C1983号ピット	Y9	0.36	0.34	0.32	円形	C2026号ピット	Y10	0.36	0.33	0.35	円形
C1984号ピット	X9	0.30	0.25	0.08	円形	C2027号ピット	Y10	0.28	(0.26)	0.28	長方形
C1985号ピット	X9	0.24	0.23	0.18	円形	C2029号ピット	Y10	0.20	0.18	0.14	円形
C1986号ピット	Y8	0.30	(0.16)	0.11	円形	C2030号ピット	X10	0.28	0.28	0.31	円形
C1987号ピット	Y9	0.34	0.34	0.26	円形	C2031号ピット	Y10	0.24	0.21	0.14	円形
C1988号ピット	Y8	0.37	0.34	0.36	円形	C2032号ピット	X9	0.35	0.31	0.26	円形
C1989号ピット	Y8	(0.33)	0.27	0.49	長方形	C2033号ピット	X9	(0.47)	(0.42)	0.22	楕円形
C1990号ピット	Y8	0.38	0.29	0.64	円形	C2034号ピット	X10	0.30	0.25	0.43	円形
C1991号ピット	Y7	0.30	0.26	0.50	円形	C2035号ピット	Z8	0.37	0.36	0.61	不整形
C1992号ピット	Z9	0.42	0.40	0.27	円形	C2036号ピット	Z8	0.48	0.47	0.58	不整形
C1993号ピット	Y9	0.31	0.26	0.48	円形	C2037号ピット	Y8	0.23	0.21	0.49	不整形
C1995号ピット	Y9	0.33	0.31	0.08	方形	C2038号ピット	Y8	0.26	0.24	0.47	方形
C1996号ピット	Y8・Y9	0.38	0.36	0.21	円形	C2039号ピット	X9・Y9	0.44	0.40	0.16	方形
C1997号ピット	Y8・Y9	0.35	0.31	0.47	円形	C2040号ピット	Y9	0.37	0.33	0.32	円形
C1998号ピット	Y9	0.30	0.25	0.37	不整形	C2041号ピット	X8・Y8	0.53	(0.27)	0.33	楕円形
C1999号ピット	Y8	0.35	(0.31)	0.37	円形	C2042号ピット	X8・Y8	0.66	0.55	0.59	円形
C2000号ピット	X8	0.21	(0.14)	0.17	円形	C2043号ピット	Y9	0.37	(0.34)	0.38	楕円形
C2001号ピット	X8	0.28	(0.15)	0.15	円形	C2044号ピット	Z9	0.48	(0.38)	0.50	方形
C2002号ピット	X8	0.27	0.27	0.44	方形	C2045号ピット	Y8	0.32	0.31	0.43	不整形
C2003号ピット	X8	0.22	0.21	0.10	方形	C2046号ピット	Y8	0.29	(0.18)	0.21	円形
C2004号ピット	X9	0.35	0.35	0.70	方形	C2047号ピット	Y8	0.32	0.31	0.64	円形
C2005号ピット	Y8	0.45	(0.29)	0.27	円形	C2048号ピット	Y7	0.78	0.50	0.10	不整形
C2006号ピット	Y8	0.29	0.23	0.33	楕円形	C2049号ピット	Y7	0.78	(0.36)	0.31	不整形
C2007号ピット	Y9	0.30	(0.25)	0.20	円形	C2051号ピット	Y7	0.24	0.20	0.11	円形
C2008号ピット	Y8	0.25	0.18	0.31	楕円形	C2052号ピット	Y7	0.22	0.15	0.11	楕円形
C2010号ピット	Y8	0.24	0.20	0.12	円形	C2053号ピット	X9	0.23	0.22	0.25	方形
C2011号ピット	Y8	0.29	0.26	0.55	不整形	C2054号ピット	Z9	0.32	(0.17)	0.43	方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C2055号ピット	X8	0.27	0.27	0.11	不整形	C2096号ピット	Y8	0.18	(0.15)	0.13	長方形
C2056号ピット	X9	0.33	0.28	0.41	不整形	C2097号ピット	W9	0.52	(0.47)	0.19	円形
C2057号ピット	X9	0.30	0.25	0.10	円形	C2098号ピット	W9	0.32	0.25	0.11	円形
C2058号ピット	X9	0.58	0.28	0.16	不整形	C2099号ピット	W9	0.30	0.23	0.12	円形
C2059号ピット	Y9	0.29	0.18	0.51	楕円形	C2100号ピット	W9	0.25	0.22	0.06	方形
C2060号ピット	V10	0.35	0.27	0.11	円形	C2101号ピット	W9	0.34	0.32	0.56	方形
C2061号ピット	U10	0.48	(0.26)	0.19	楕円形	C2102号ピット	W9	0.25	0.23	0.08	円形
C2062号ピット	V11	0.58	0.43	0.17	円形	C2103号ピット	W9	0.40	0.29	0.41	円形
C2063号ピット	V13	0.53	0.40	0.13	円形	C2104号ピット	W9	0.44	0.44	0.77	円形
C2064号ピット	V12・V13	0.27	0.25	0.26	円形	C2105号ピット	V9	0.40	0.27	0.28	楕円形
C2065号ピット	X8	0.24	0.21	0.10	円形	C2107号ピット	V9	0.32	0.30	0.60	円形
C2066号ピット	X8	0.27	0.20	0.39	楕円形	C2108号ピット	V9	0.40	0.36	0.17	円形
C2067号ピット	X8・Y8	0.25	0.20	0.12	方形	C2109号ピット	V9	0.45	0.30	0.37	楕円形
C2069号ピット	Y8	0.30	0.27	0.52	方形	C2110号ピット	V9	0.53	(0.32)	0.25	楕円形
C2070号ピット	Y8	0.27	0.25	0.32	不整形	C2111号ピット	V9	0.50	0.26	0.07	楕円形
C2071号ピット	Y8	0.29	0.25	0.67	円形	C2112号ピット	T13	0.60	0.35	0.20	楕円形
C2072号ピット	Y8	0.37	0.30	0.47	長方形	C2113号ピット	T13	0.26	0.20	0.23	円形
C2074号ピット	Y8	0.40	0.26	0.49	不整形	C2114号ピット	T13	0.20	0.18	0.12	円形
C2075号ピット	Y7	0.22	0.20	0.08	方形	C2115号ピット	T13	0.43	0.33	0.19	楕円形
C2076号ピット	Y8	0.30	0.22	0.23	長方形	C2116号ピット	U14	0.35	0.31	0.36	円形
C2077号ピット	Y8	0.27	0.24	0.39	不整形	C2117号ピット	U16	0.27	0.21	0.08	円形
C2078号ピット	X8	0.22	0.22	0.22	円形	C2118号ピット	U16	0.30	0.25	0.19	円形
C2079号ピット	X8	0.27	0.25	0.22	円形	C2119号ピット	U16	0.24	0.22	0.17	円形
C2080号ピット	X8	0.42	0.20	0.28	楕円形	C2120号ピット	U16	0.24	0.18	0.07	円形
C2081号ピット	Y8	0.25	0.24	0.55	円形	C2121号ピット	T12	0.29	0.27	0.33	円形
C2082号ピット	Y8	0.27	0.27	0.28	方形	C2122号ピット	T12	0.37	0.32	0.46	方形
C2083号ピット	Y8	0.25	0.20	0.34	円形	C2123号ピット	T12	0.37	0.35	0.34	不整形
C2084号ピット	X8	0.28	0.25	0.44	円形	C2124号ピット	T12	0.26	0.25	0.29	方形
C2085号ピット	X8	0.35	0.30	0.30	方形	C2125号ピット	T12・U12	0.26	0.26	0.16	円形
C2086号ピット	Y8	0.26	0.23	0.22	方形	C2126号ピット	T12	0.34	0.33	0.42	円形
C2087号ピット	W9	0.43	0.27	0.24	方形	C2127号ピット	T12	0.35	(0.27)	0.34	円形
C2088号ピット	W9	0.40	(0.33)	0.07	楕円形	C2128号ピット	T12	0.39	0.34	0.56	円形
C2089号ピット	W9	0.37	0.27	0.14	楕円形	C2129号ピット	U12	0.37	0.30	0.55	方形
C2090号ピット	W9	0.37	0.36	0.07	円形	C2130号ピット	T12	0.28	0.28	0.21	不整形
C2091号ピット	Y8	0.20	0.15	0.39	方形	C2131号ピット	U12	0.40	0.36	0.55	方形
C2092号ピット	Y8	0.23	0.20	0.54	方形	C2132号ピット	U12	0.31	0.31	0.75	円形
C2093号ピット	X8	0.20	0.16	0.10	円形	C2133号ピット	U12	0.41	0.41	0.66	円形
C2094号ピット	X8	0.15	0.15	0.07	円形	C2134号ピット	T12	0.40	0.36	0.22	円形
C2095号ピット	Y8	0.27	0.17	0.27	楕円形	C2135号ピット	T12	0.23	0.20	0.44	方形

遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形	遺構名	グリッド	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	平面形
C2136号ピット	T13	0.36	0.29	0.40	円形	C2157号ピット	T13	0.22	0.18	0.17	円形
C2137号ピット	T12・T13	0.37	0.33	0.19	不整形	C2158号ピット	Y8	0.36	0.35	0.38	円形
C2138号ピット	U12・U13	0.30	0.27	0.14	円形	C2159号ピット	Y8	0.43	0.43	0.30	不整形
C2139号ピット	U12	0.37	0.35	0.49	円形	C2160号ピット	Y8	0.40	(0.34)	0.67	円形
C2140号ピット	U12	0.33	0.33	0.56	円形	C2161号ピット	U12	0.25	0.23	0.16	方形
C2141号ピット	U12	0.56	0.38	0.18	楕円形	C2162号ピット	V10	0.52	0.35	0.13	楕円形
C2142号ピット	U12	0.45	0.35	0.25	長方形	C2163号ピット	W10	0.42	0.31	0.39	長方形
C2143号ピット	T12	0.45	0.32	0.34	長方形	C2164号ピット	V12	0.29	0.25	0.13	円形
C2144号ピット	T13	0.39	0.39	0.31	円形	C2165号ピット	U11	0.31	0.25	0.31	長方形
C2145号ピット	T13	0.29	0.22	0.44	方形	C2166号ピット	W11	0.30	0.23	0.23	円形
C2146号ピット	U12	0.27	0.22	0.13	円形	C2167号ピット	W9	0.26	0.22	0.12	円形
C2147号ピット	T12	0.22	0.18	0.17	円形	C2168号ピット	V9・V10	0.30	0.27	0.29	円形
C2148号ピット	T12	0.32	0.22	0.21	楕円形	C2169号ピット	X9	0.35	0.28	0.34	不整形
C2149号ピット	U12	0.46	0.44	0.32	円形	C2170号ピット	X9	0.45	(0.36)	0.34	円形
C2150号ピット	U12	0.35	0.34	0.19	円形	C2171号ピット	Z8	0.28	0.25	0.17	円形
C2151号ピット	T12	0.27	0.26	0.14	方形	C2172号ピット	Z8	0.31	0.27	0.41	円形
C2152号ピット	T12	0.30	0.26	0.19	円形	C2173号ピット	X9	0.34	0.27	0.44	方形
C2153号ピット	T12	0.29	0.20	0.32	円形	C2174号ピット	Z8	0.39	0.32	0.31	円形
C2154号ピット	U12	0.27	0.23	0.37	円形	C2175号ピット	Y9	0.72	(0.63)	0.31	円形
C2155号ピット	U12	0.28	0.27	0.43	方形	C2176号ピット	Y10	0.23	0.16	0.44	楕円形
C2156号ピット	U12	0.28	0.22	0.21	円形						

体として、一部には炭化物粒・ローム粒を含む遺構もある。後述するように96基のピットから瀬戸窯陶器・渥美窯甕・かわらけ・木製品・石製品・銅錢等を出土している。

遺物は、第598図のピットでは、C19号ピットより棒状の木製品1点、C73号ピットより常滑窯の陶器甕1点(110.9g)、C103号ピットより棒状の木製品1点、C152号ピットよりかわらけ1点(6.6g)、C166号ピットより棒状の木製品1点が出土している。

第599図掲載のピットでは、C18号ピットよりかわらけ1点(7.4g)、C204号ピットよりかわらけ3点(3.9g)、C219号ピットより石製品の石臼1点(3,967.8g)、C870号ピットよりかわらけ1点(3.5g)、C1020号ピットよりかわらけ1点(6.9g)、C1124号ピットよりかわらけ3点(80.0g)、C1153号ピットよりかわらけ4点(6.4g)、C2112号ピットよりかわらけ2点(77.0g)が出土している。

第600図のピットでは、C172号ピットよりかわらけ2点(5.0g)、C237号ピットよりかわらけ2点(3.4g)、C275号ピットよりかわらけ1点(54.3g)、C276号ピットよりかわらけ1点(44.2g)、C454号ピットよりかわらけ1点(0.4g)、C764号ピットよりかわらけ1点(27.6g)、C922号ピットよりかわらけ1点(20.4g)、C1050号ピットよりかわらけ2点(20.6g)、C1091号ピットよりかわらけ1点(17.5g)、C1093号ピットよりかわらけ2点(25.7g)、C1376号ピットよりかわらけ2点(2.7g)、C1433号ピットよりかわらけ1点(11.9g)、C1440号ピットよりかわらけ2点(2.8g)、C1487号ピットより鉄滓1点(242.1g)、C2135号ピットよりかわらけ1点(15.9g)、C2140号ピットよりかわらけ1点

(13.5 g) が出土している。

第601図のピットでは、C 351号ピットよりかわらけ 1点 (9.4 g)、C 466号ピットよりかわらけ 1点 (12.9 g)、C 601号ピットよりかわらけ 1点 (3.7 g)、C 644号ピットよりかわらけ 3点 (79.0 g)、C 653号ピットよりかわらけ 3点 (5.2 g)、C 680号ピットよりかわらけ 2点 (48.0 g)、C 723号ピットよりかわらけ 1点 (2.6 g)、C 1022号ピットよりかわらけ 4点 (12.1 g)、C 1078号ピットよりかわらけ 1点 (6.7 g)、C 1759号ピットより棒状の木製品 1点、C 2060号ピットよりかわらけ 1点 (19.6 g)、C 2062号ピットよりかわらけ 2点 (18.6 g) が出土している。

第602図のピットでは、C 490号ピットよりかわらけ 1点 (8.0 g)、C 1081号ピットよりかわらけ 1点 (12.0 g)、C 1255号ピットより石製品の石皿 1点 (1,477.5 g)、C 1328号ピットよりかわらけ 1点 (5.1 g) が出土している。

第603図のピットでは、C 888号ピットより鉄製品の釘 2点 (3.2 g)、C 1100号ピットよりかわらけ 1点 (18.5 g)、C 1129号ピットよりかわらけ 1点 (3.3 g)、C 1377号ピットよりかわらけ 1点 (11.8 g)、C 1698号ピットよりかわらけ 1点 (13.5 g) が出土している。

第604図のピットでは、C 522号ピットよりかわらけ 1点 (5.0 g)、C 1358号ピットよりかわらけ 1点 (35.3 g)、C 1579号ピットより瀬戸窯の陶器碗 1点 (7.0 g)、C 1665号ピットより常滑窯の陶器片口鉢 1点 (27.8 g)、C 1730号ピットより渥美窯の陶器甕 1点 (125.4 g)、C 1877号ピットより石製品の砥石 1点 (104.0 g)、C 1900号ピットより銅錢 1点 (0.8 g)、C 1935号ピットより瀬戸窯の陶器皿 1点 (9.4 g) が出土している。

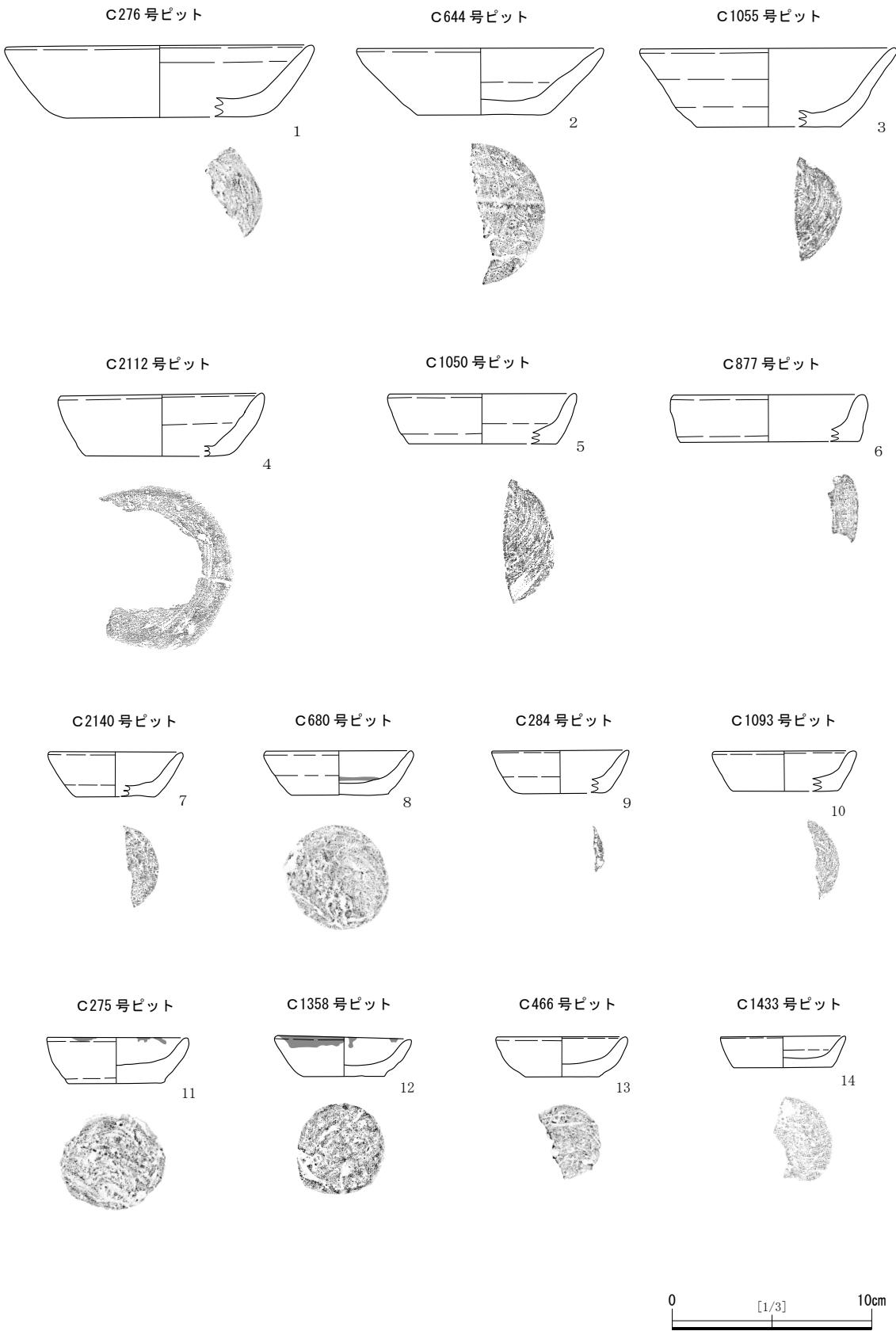
第605図のピットでは、C 300号ピットよりかわらけ 1点 (10.5 g)、C 303号ピットよりかわらけ 1点 (5.4 g)、C 555号ピットより瀬戸窯の陶器皿 1点 (16.6 g)、C 658号ピットよりかわらけ 1点 (2.4 g)、C 962号ピットより石製品の砥石 1点 (77.7 g)、C 1008号ピットよりかわらけ 2点 (38.6 g)、C 1465号ピットより常滑窯の陶器甕 1点 (130.2 g)、C 1467号ピットより石製品の砥石 1点 (18.1 g)、C 1497号ピットより常滑窯の陶器甕 1点 (169.5 g)、C 1603号ピットよりかわらけ 9点 (27.0 g) が出土している。

第606図のピットでは、C 285号ピットよりかわらけ 1点 (46.7 g)、C 287号ピットよりかわらけ 1点 (2.6 g)、C 325号ピットよりかわらけ 1点 (7.5 g)、C 382号ピットよりかわらけ 2点 (8.9 g)、C 399号ピットよりかわらけ 1点 (3.4 g)、C 409号ピットよりかわらけ 1点 (3.6 g)、C 487号ピットより銅製品の鐔 1点 (3.9 g)、C 820号ピットより渥美窯の陶器甕 1点 (166.1 g)、C 1055号ピットより常滑窯の陶器片口鉢 1点 (56.3 g)・かわらけ 4点 (63.0 g)、鉄滓 2点 (99.1 g)、C 1524号ピットよりかわらけ 1点 (3.8 g)、C 1626号ピットよりかわらけ 1点 (4.7 g) が出土している。

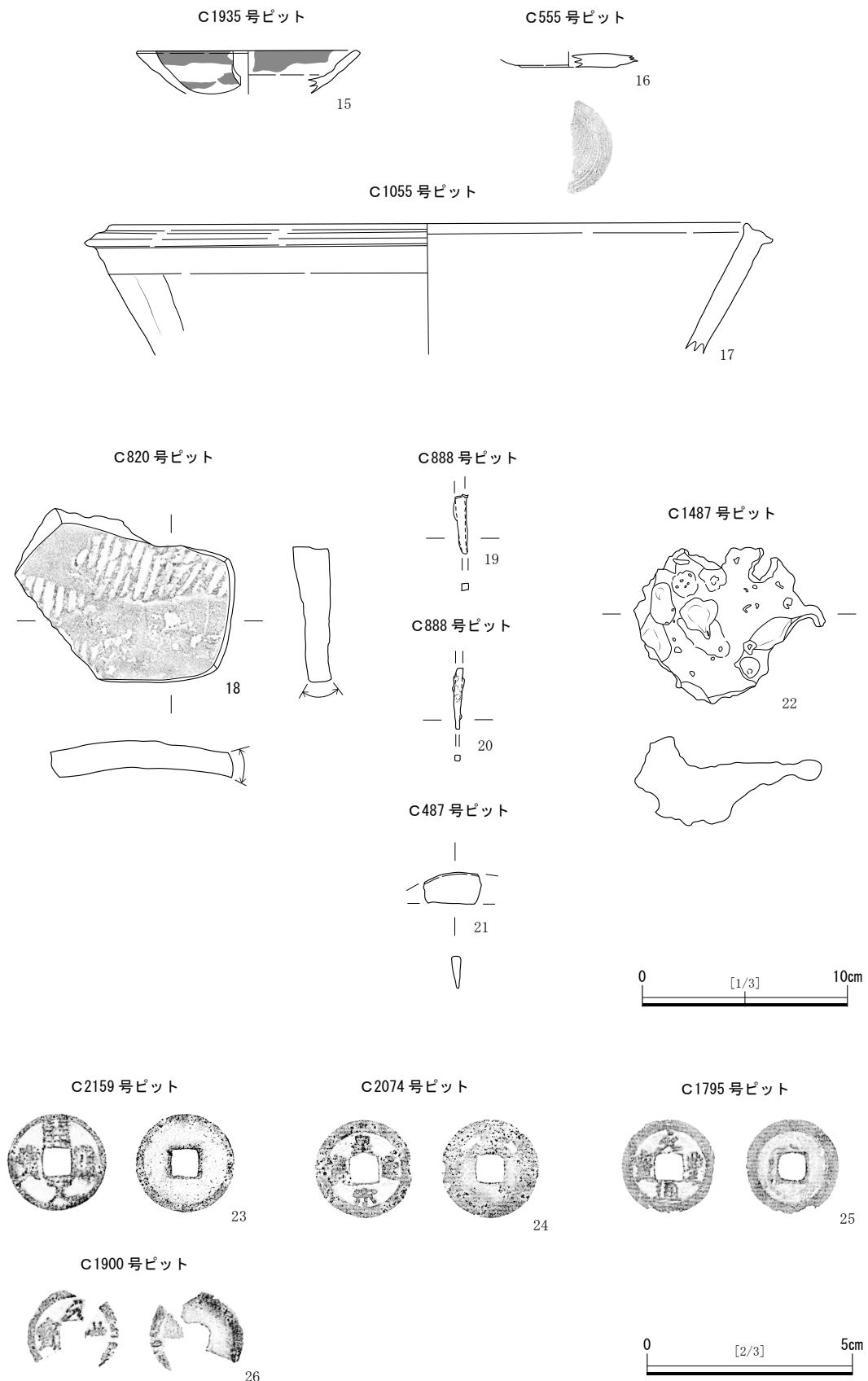
第607図のピットでは、C 2号ピットよりかわらけ 1点 (2.2 g)、C 208号ピットよりかわらけ 1点 (5.7 g)、C 877号ピットよりかわらけ 2点 (14.1 g)、C 1260号ピットよりかわらけ 3点 (6.2 g)、C 1473号ピットよりかわらけ 1点 (4.4 g)、C 1521号ピットよりかわらけ 1点 (5.8 g)、C 2063号ピットよりかわらけ 2点 (12.1 g)、C 2159号ピットより銅錢 1点 (2.9 g) が出土している。

第608図のピットでは、C 1795号ピットより銅錢 1点 (1.8 g)、C 1847号ピットより石製品の砥石 1点 (102.2 g)、C 1894号ピットよりかわらけ 1点 (4.8 g)、C 1975号ピットより椀型滓 1点 (131.6 g)、C 1795号ピットより銅錢 1点 (1.8 g)、C 1997号ピットより銅錢 1点 (0.8 g) が出土している。

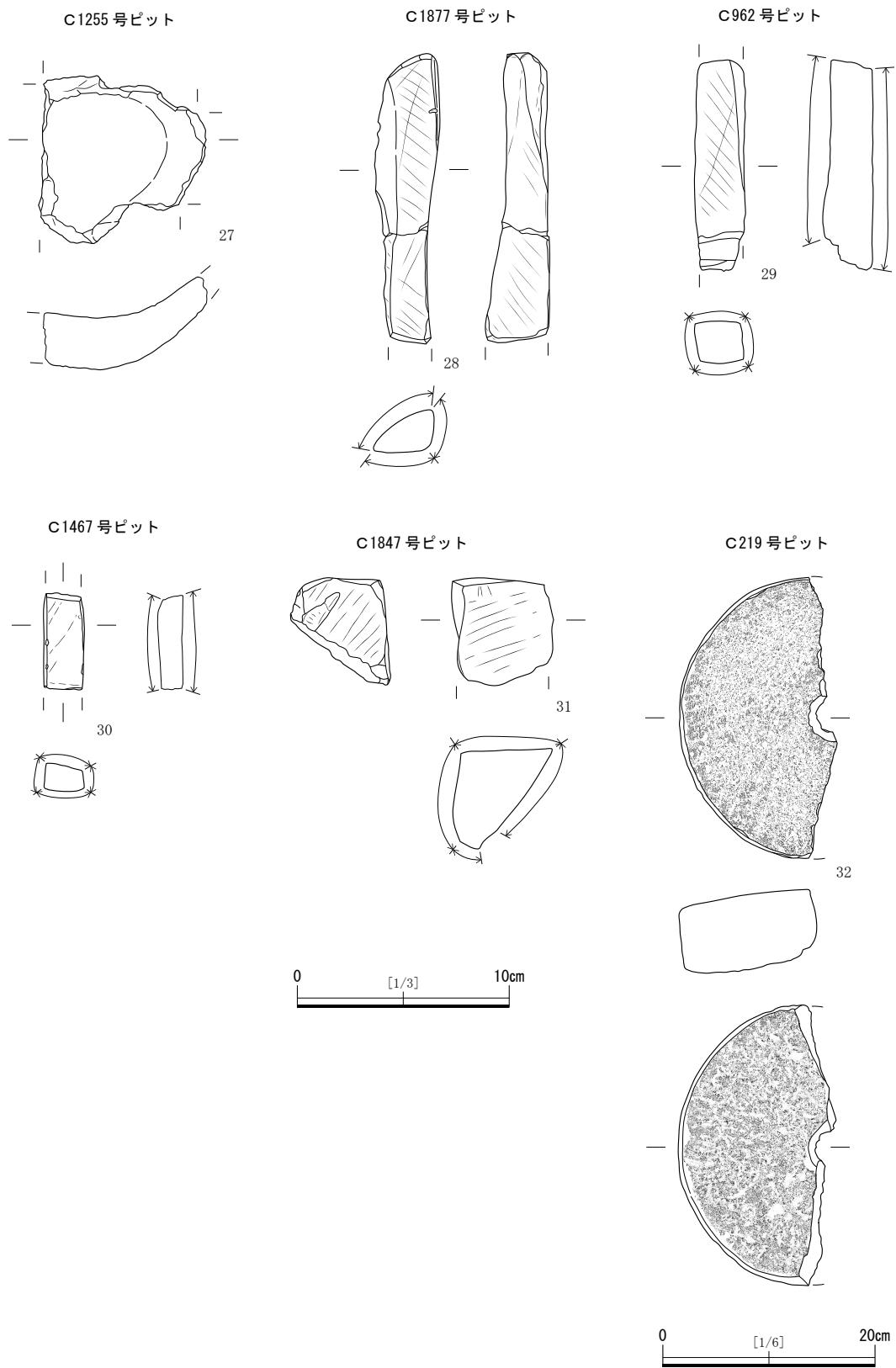
第609図のピットでは、C 742号ピットよりかわらけ 1点 (2.9 g)、C 2074号ピットより銅錢 1点 (2.2



第613図 8区・9区・調整池②区中世ピット出土遺物(1) [1/3]



第614図 8区・9区・調整池②区中世ピット出土遺物(2) [1/3・2/3]



第615図 8区・9区・調整池②区中世ピット出土遺物(3) [1/3・1/6]

第138表 8区・9区・調整池②区中世ピット出土遺物観察表 [第613~615図]

No.	器種	種別	() = 現存値 [] = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	かわらけ	土器	[15.3]	[10.0]	3.6	44.2	口縁部～ 体部1/8・ 底部1/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃石・石英・白色針状物質・砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕わずかに残 出土位置 C 276号ピット
2	かわらけ	土器	[12.2]	6.5	3.3	72.0	口縁部～ 体部1/3・ 底部1/2	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英・白色針状物質・小礫・砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕 出土位置 C 644号ピット 1・2
3	かわらけ	土器	[12.8]	[7.3]	3.9	51.0	口縁部 1/7・ 体部1/3・ 底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃石・石英・白色針状物質・砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 C 1055号ピット 5
4	かわらけ	土器	10.1	7.3	2.2	77.0	口縁部～ 体部1/2・ 底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃石・白色針状物質・砂粒を含む 焼成 良好 底部回転糸切り痕 出土位置 C 2112号ピット
5	かわらけ	土器	[9.3]	[7.4]	2.0	13.9	口縁部～ 底部1/8	在地	15世紀 ～ 16世紀	胎土 にぶい橙色、密、角閃石・細かい砂粒・白色針状物質・石英・雲母を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 C 1050号ピット
6	かわらけ	土器	[9.4]	[9.0]	2.4	12.1	口縁部～ 底部1/8	在地	15世紀 ～ 16世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英・細かい砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕不明瞭 出土位置 C 877号ピット
7	かわらけ	土器	[6.6]	[4.0]	2.2	13.5	口縁部 1/6・ 体部1/4・ 底部1/2弱	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃石・小礫・砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕不明瞭 出土位置 C 2140号ピット
8	かわらけ	土器	[7.2]	5.0	2.2	46.6	口縁部 1/4、体部 ～底部完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 にぶい橙色、密、角閃石・石英を含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、底部回転糸切り痕 出土位置 C 680号ピット 1-1
9	かわらけ	土器	[6.8]	[4.3]	2.1	7.0	口縁部～ 体部1/6・ 底部わずか	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・砂粒・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部糸切り痕・スノコ痕確認できず 出土位置 C 284号ピット
10	かわらけ	土器	[7.0]	[5.2]	2.0	16.1	口縁部～ 底部1/3	在地	14世紀 後半～ 15世紀	胎土 橙色、やや粗、角閃石・細かい砂粒・白色針状物質・石英を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 C 1093号ピット

11	かわらけ	土器	7.0	4.8	2.3	54.3	ほぼ完形・口縁部一部欠損	在地	14世紀後半～15世紀	胎土 橙色、密、角閃・白色針状物質・細かい砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、口縁部外面煤付着、底部回転糸切り痕 出土位置 C275号ピット
12	かわらけ	土器	6.7	4.0	2.1	35.3	ほぼ完形・口縁部3ヶ所欠損	在地	14世紀後半～15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・雲母・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、口唇部外面煤付着、底部回転糸切り痕、底部際に稜、スノコ痕 出土位置 C1358号ピット
13	かわらけ	土器	[6.4]	3.6	2.0	12.9	口縁部～体部1/12・底部1/2	在地	14世紀後半～15世紀	胎土 橙色、密、角閃石・石英を含む 焼成 良好 備考 灯明皿として使用、底部回転糸切り痕 出土位置 C466号ピット
14	かわらけ	土器	[6.2]	[4.9]	2.1	11.9	口縁部1/5・底部1/2弱	在地	14世紀後半～15世紀	胎土 橙色、密、細かい砂粒・石英・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 C1433号ピット
15	縁釉皿	陶器	[10.7]	—	[2.1]	9.4	口縁部～体部1/8	古瀬戸	15世紀後半	胎土 灰黄色、密 焼成 良好 釉薬 オリーブ灰色灰釉 備考 釉薬つけ掛け 出土位置 C1935号ピット
16	縁釉皿	陶器	—	4.6	0.7	16.6	底部1/2	古瀬戸	15世紀後半	胎土 浅黄色、密、砂粒を含む 焼成 良好 釉薬 オリーブ灰色灰釉の自然釉 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 C555号ピット
17	片口鉢	陶器	[31.0]	—	[6.4]	56.3	口縁部1/16	常滑	15世紀後半	胎土 暗赤褐色、密、細かい砂粒・石英・白色粒子を含む 焼成 良好 備考 常滑窯II類10型式 出土位置 C1055号ピット3
18	研磨陶片	陶器	7.9	10.7	1.7	166.1	体部破片	渥美	12世紀～13世紀	胎土 灰色、密、細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 渥美の窯体部を転用、側面の4面使用 出土位置 C820号ピット1
No.	種別	材質	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	観察内容			
19	釘	鉄	2.9	0.3	0.4	2.3	残存度 両端部欠損	出土位置 C888号ピット		
20	釘	鉄	3.1	0.3	0.3	0.9	残存度 両端部欠損	出土位置 C888号ピット		
21	板状製品	銅	(2.8)	1.6	0.4	3.9	残存度 両端部欠損	備考 弧状を呈する、装飾部品の一部か 出土位置 C487号ピット1		
22	椀型滓	銅	7.5	9.1	4.0	241.8	残存度 完形	備考 器面発泡 出土位置 C1487号ピット1		
No.	銭名	材質	錢径(mm)	穿径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	残存度	観察内容		
23	開元通寶	銅	24.3	6.6	1.2	2.9	完形	鑄造国 唐 初鑄年 621年	出土位置 C2159号ピット	

24	皇宋通寶	銅	24.2	6.6	0.8	2.2	完形	鑄造国 北宋 初鑄年 1038年 備考 真書 出土位置 C2074号ピット
25	元豊通寶	銅	23.5	6.3	1.0	1.8	完形	鑄造国 北宋 初鑄年 1078年 備考 行書 出土位置 C1795号ピット
26	元豊通寶	銅	(23.0)	—	1.0	0.8	1/4	鑄造国 北宋 初鑄年 1078年 備考 行書、「元」「寶」「豊」の一部が残、他は欠損 出土位置 C1900号ピット
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容	
27	石鉢	多孔質 安山岩	15.8	15.8	9.3	1,477.5	残存度 1/5程度 備考 内面磨り痕 出土位置 C1255号ピット	
28	砥石	変質 流紋岩	13.7	3.2	2.9	104.0	残存度 端部欠損 備考 上面・側面の3面使用 出土位置 C1877号ピット	
29	砥石	変質 流紋岩	9.9	2.4	2.4	77.7	残存度 両端部欠損 備考 上面・側面の4面使用 出土位置 C962号ピット	
30	砥石	変質 流紋岩	(4.5)	1.9	1.3	18.1	残存度 両端部欠損 備考 上下面・側面の4面使用 出土位置 C1467号ピット	
31	砥石	変質 流紋岩	5.1	4.8	4.7	102.2	残存度 下端部欠損 備考 上下面・側面・上端部の5面使用 出土位置 C1847号ピット	
32	石臼	安山岩	28.2	(14.3)	7.9	3,967.8	残存度 1/2弱 備考 軸径3.3cm 下臼 出土位置 C219号ピット	

g) が出土している。

以上ピットからは139点(8,130.9 g)の遺物が出土しているが、大部分が小破片で図化していない。図化したのは、以下の32点である。

第613図1～14はかわらけである。1～4は口径が10.1～15.3cmの大型に分類できる。5～14は口径が6.2～9.4cmで中型に分類できる。かわらけの出土したピットは以下の通りである。1はC276号ピット、2はC644号ピット、3はC1055号ピット、4はC2112号ピット、5はC1050号ピット、6はC877号ピット、7はC2140号ピット、8はC680号ピット、9はC284号ピット、10はC1093号ピット、11はC275号ピット、12はC1358号ピット、13はC466号ピット、14はC1433号ピットである。胎土は橙色・にぶい橙色で、角閃石・石英・白色針状物質・砂粒・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕、スノコ痕が確認できる。11・12の口縁部には煤が付着しており、灯明皿として使用されていたものと考えられる。1～4・7～14は14世紀後半～15世紀の製品と考えられる。5・6は体部が他のかわらけに比べてやや立ち気味に開くこと、底径が広いことから、15世紀～16世紀の製品と考えられる。

第614図15・16は古瀬戸の陶器の縁釉皿である。15は口縁部～体部の破片で、胎土は灰黄色、オリーブ灰色灰釉がつけ掛けされている。C1935号ピットから出土した。15世後半の製品と考えられる。16は底部の破片で、胎土は浅黄色、砂粒を含んでいる。底部に回転糸切り痕が確認できる。C555号ピットから出土した。15世後半の製品と考えられる。

第614図17は常滑窯の陶器の片口鉢である。胎土は暗赤褐色、細かい砂粒・石英・白色粒子を含む。C1055号ピットから出土した。常滑窯II類10型式で15世紀後半の製品と考えられる。

第614図18は研磨陶片で、渥美窯の甕の体部を転用している。胎土は灰色、細かい砂粒を含む。側面の4面を使用している。12世紀～13世紀の製品の転用と考えられる。C820号ピットから出土した。

第614図19～21は鉄製品で、19・20は釘、21は板状製品である。19はC888号ピット、20はC487号ピット、21はC888号ピットから出土した。

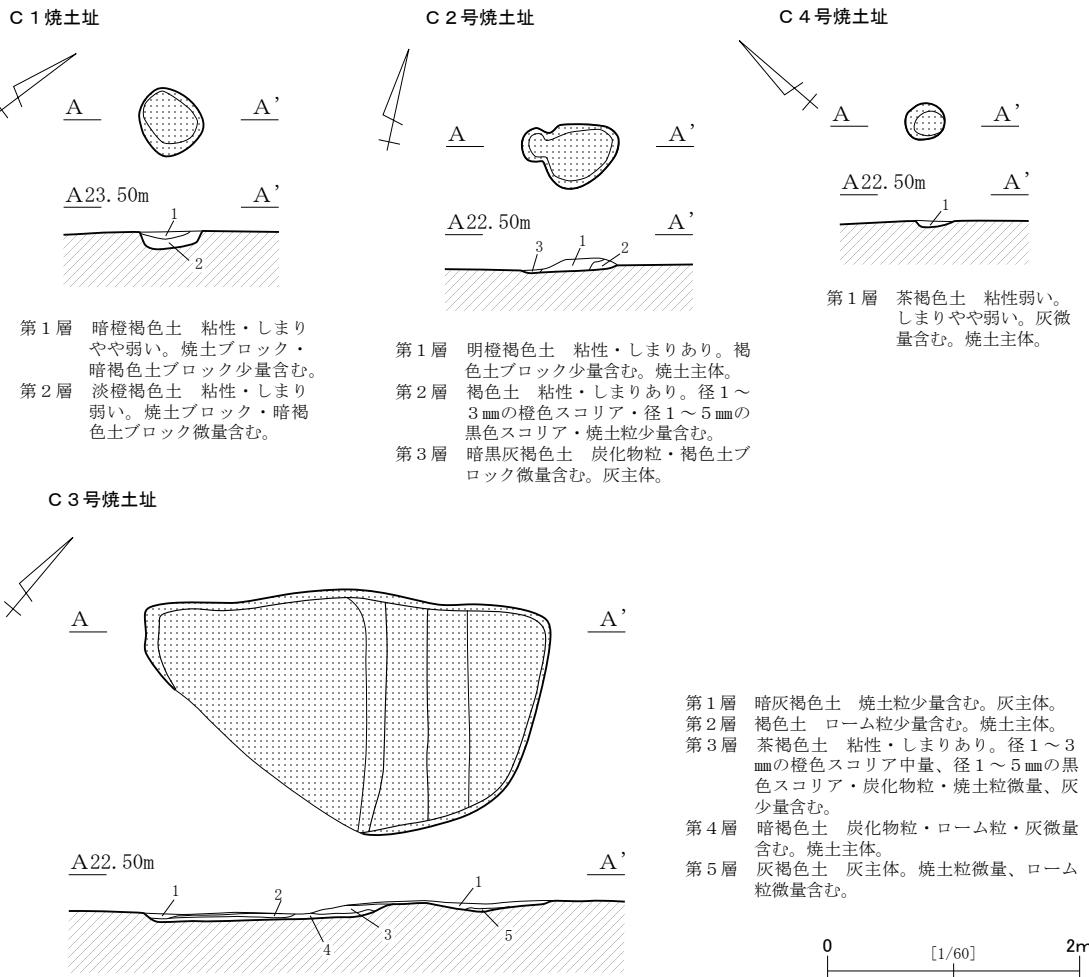
第614図22は椀型滓で、器面が発泡している。C 1487号ピットから出土した。

第614図23～26は渡来銭である。23は開元通寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は621年である。C 2159号ピットから出土した。24は皇宋通寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は1038年、書体は真書である。C 2074号ピットから出土した。25・26は元豊通寶で、鑄造国は北宋、初鑄年は1078年、書体は行書である。26は「元」と「寶」の文字の一部が残っている。25はC 1795号ピット、26はC 1900号ピットから出土している。

第615図27～32は石製品である。27は石鉢で、内面磨り痕が確認できる。石材は多孔質安山岩である。C 1255号ピットから出土した。28～31は砥石である。28は上面と側面の3面が使用されている。C 1877号ピットから出土している。29は上面と側面の4面が使用されている。C 962号ピットから出土した。30は上下面と側面の4面が使用されている。C 1467号ピットから出土している。31は上下面・側面と上端部の5面が使用されている。C 1847号ピットから出土した。石材はいずれも変質流紋岩である。32は石臼の下臼である。約1/2が残っており、中心の軸孔の径3.3cmである。下面には摩耗が著しいが磨り溝が確認できる。石材は安山岩である。C 219号ピットから出土した。

遺構の時期は、確認面・覆土と出土遺物、周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

### (11) 焼土址



第616図 8区・9区・調整池②区C 1～4号焼土址 [1/60]

**C 1号焼土址（第616図）**

V 12 グリッドに位置する。確認面の標高は 22.2 m を測る。隅丸方形のプランを呈し、逆台形状の掘り込みを持つ。長軸 0.54 m、短軸 0.46 m を測る。確認面からの深さは 0.15 m を測る。

覆土は暗橙褐色土・淡橙褐色土の 2 層で全体が焼土で構成されている。第 1 層には暗褐色土のブロックを少量、第 2 層には暗褐色土のブロックを微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

**C 2号焼土址（第616・617図、第139表、図版176-1）**

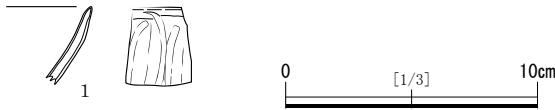
W 12 グリッドに位置する。確認面の標高は 22.2 m を測る。北西隅が突出した橢円形のプランを呈する。上面が削平され、薄い皿状の掘り込みと焼土のみが確認された。長径 0.79 m、短径 0.52 m を測る。確認面からの深さは 0.09 m を測る。

覆土は明橙褐色土・褐色土・暗黒灰褐色土の 3 層で全体が焼土で構成される。第 3 層は炭化物粒を微量含む、灰主体の層である。

遺物は、図化した舶載磁器の碗 1 点 (6.7 g) が出土している。

第617図 1 は中国龍泉窯の青磁蓮弁文碗の口縁部破片である。素地は灰白色、細かい黒色粒子を含む。14 世紀初めの製品と考えられる。

遺構の時期は、確認面・出土遺物、周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。



第617図 8区・9区・調整池②区C 2号焼土出土遺物 [1/3]

第139表 8区・9区・調整池②区C 2号焼土址出土遺物観察表 [第617図]

No.	器種	種別	( ) = 現存値 ( ) = 復元値			重量 (g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)					
1	青磁 蓮弁文碗	磁器	—	—	(3.1)	6.7	口縁部～ 体部上半 破片	中国 龍泉窯	14世紀 初	素地 灰白色、緻密、細かい 黒色粒子を含む 焼成 堅緻 釉薬 緑灰色青磁

**C 3号焼土址（第616図）**

X 9・10、Y 9・10 グリッドに位置する。確認面の標高は 22.1 ~ 22.3 m を測る。C 37・38 号堅穴状遺構の上面を切っている。上面が削平されており、南東側の掘り込みはほとんど消えている。台形状のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径 3.21 m、短径 1.94 m を測る。確認面からの深さは 0.05 ~ 0.10 m を測る。

覆土は・暗灰褐色土・褐色土・茶褐色土・暗褐色土・灰褐色土の 5 層で全体が焼土と灰で構成される。ほぼ中央に幅 0.31 ~ 0.38 m、西側の高さ 0.10 m、東側の高さ 0.06 m の段差が確認出来る。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から 14 世紀後半以降と考えられる。

**C 4号焼土址（第616図）**

X 9グリッドに位置する。確認面の標高は22.2mを測る。円形のプランを呈し、皿状の掘り込みを持つ。長径0.29m、短径0.27mを測る。確認面からの深さは0.06mを測る。

覆土は茶褐色土の単層で全体が焼土で構成され、灰を微量含む。

遺物は出土していない。

遺構の時期は、確認面及び周辺の遺構で出土している遺物から14世紀後半以降と考えられる。

**(12) 遺構外出土遺物（第618～623図、第140表、図版182～185・186-1・186-2・187-1）**

遺物は、舶載磁器の碗6点(62.7g)・皿6点(24.1g)・鉢1点(10.7g)・香炉1点(4.9g)、瀬戸窯の陶器の14点(441.5g)・皿11点(297.6g)・瓶3点(51.6g)・御皿1点(15.4g)・香炉1点(51.2g)・擂鉢7点(121.6g)・壺3点(72.6g)、常滑窯の陶器の片口鉢9点(230.2g)・甕60点(3,830.5g)、渥美窯の陶器の甕27点(3,158.2g)、亀山窯の陶器の甕3点(180.6g)、産地不明の陶器の碗1点(12.1g)・壺1点(13.6g)・甕2点(23.2g)、瓦質の香炉21点(571.2g)、かわらけ1,315点(7,363.5g)、鉄製品の釘10点(43.4g)、鉄滓34点(1,271.2g)、銅錢16点(37.9g)、石製品の五輪塔2点・宝篋印塔1点・板碑1点・砥石3点・硯1点の計8点(17,350.9g)、棒状の木製品2点の総合計1,563点(35,240.4g)が出土している。体部のみのものや小破片の遺物が多く、図化したのは以下の82点である。

第618図1～3は舶載磁器である。1は同安窯系の青磁劃花文皿の口縁部破片で、素地は灰色で黒色粒子を含む。12世紀後半～13世紀初めの製品と考えられる。2は龍泉窯の青磁蓮弁文の口縁部破片で素地は灰白色で黒色粒子を含む。13世紀～14世紀の製品と考えられる。3は龍泉窯の青磁劃花文碗の底部の破片で、素地は灰白色で、黒色粒子を含む。14世紀初めの製品と考えられる。

第618図4～6は瀬戸窯の陶器天目碗である。4は口縁部～体部破片で、胎土は浅黄色で、細かい白色粒子を含む。体部下半から底部に錆化粧が施される。15世紀後半の製品と考えられる。5は口縁部～体部で、胎土は灰黄色で、黒色粒子と白色粒子を含む。体部下半外面は無釉である。16世紀の製品と考えられる。6は底部破片で、胎土は褐灰色、黒色粒子・角閃石を含む。高台は無釉である。16世紀の製品と考えられる。

第618図7は古瀬戸の陶器の灰釉平碗である。胎土は浅黄色、砂粒を含む。見込に目跡が残っている。15世紀後半の製品と考えられる。

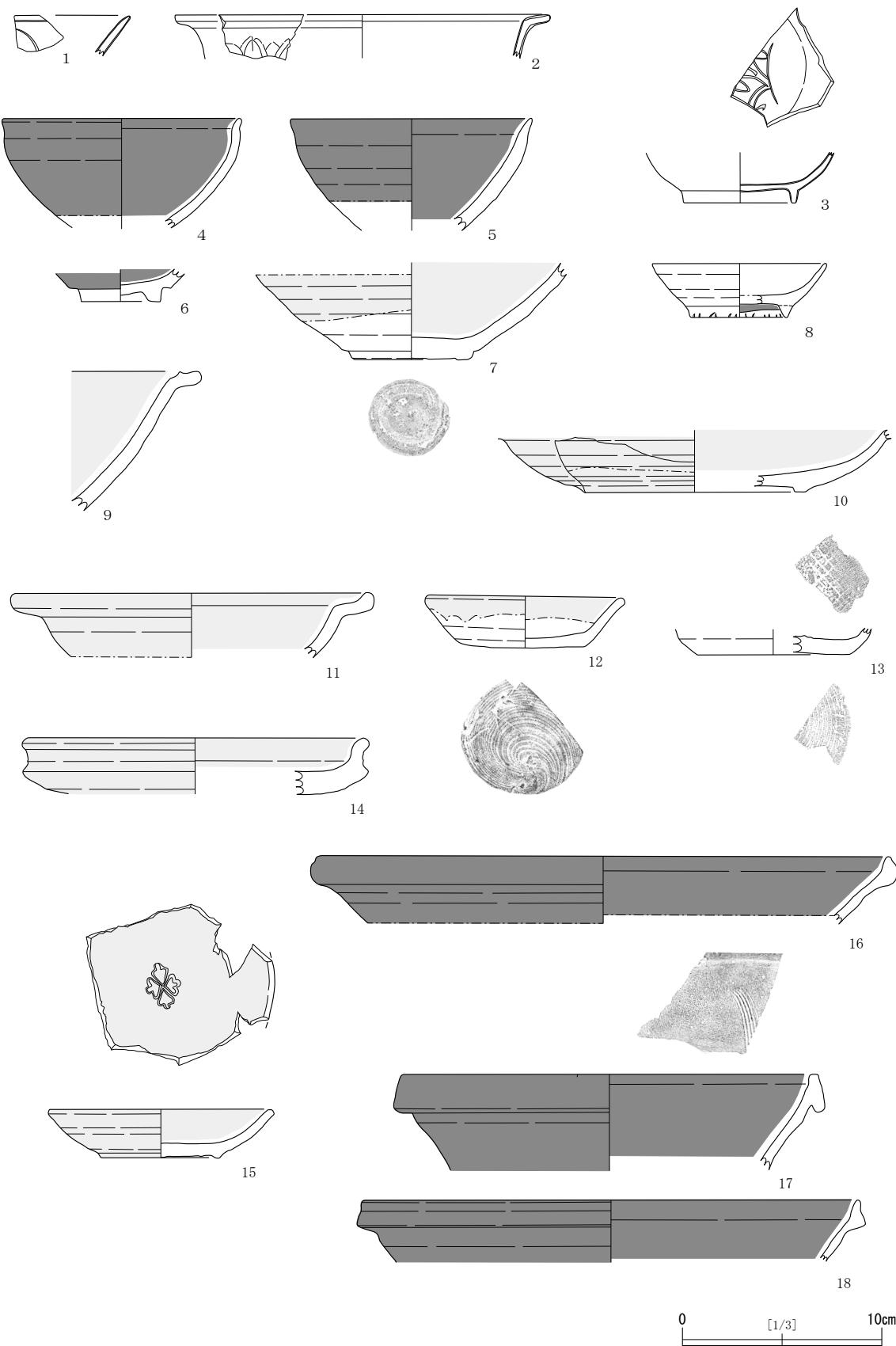
第618図8は山茶碗の陶器小皿である。胎土は暗灰色で、細かい砂粒を含む。貼り付け高台で、高台内に煤が付着している。12世紀以降の製品と考えられる。

第618図9は古瀬戸の陶器灰釉折縁鉢の口縁部である。胎土は浅黄色で、細かい白色粒子を含む。体部下半画面無釉。二次焼成を受けて釉薬が白濁している。15世紀前半の製品と考えられる。

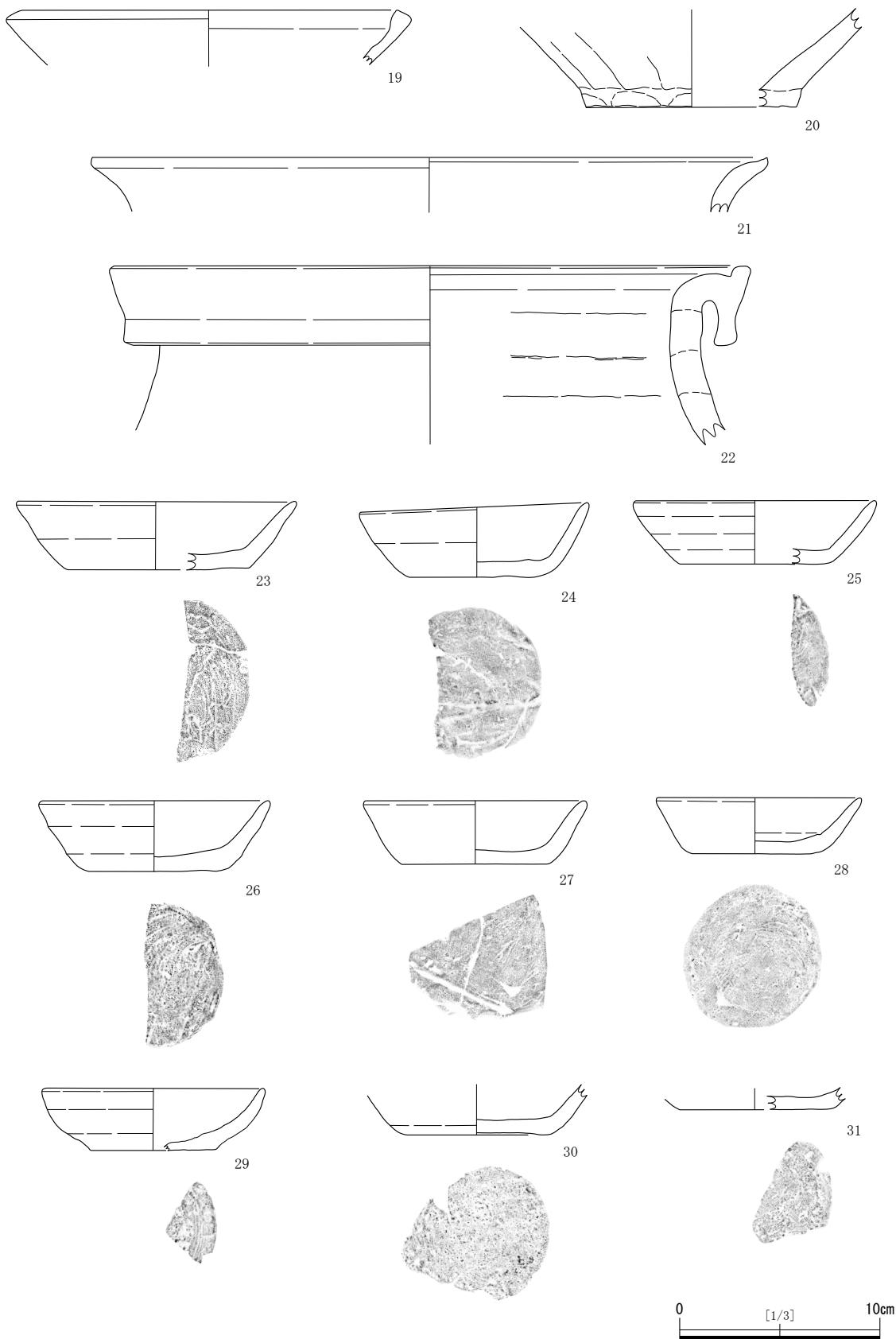
第618図10・11は古瀬戸の陶器灰釉折縁皿である。10は底部で、胎土は浅黄色で、細かい白色粒子・角閃石を含む。体部下半から底部は釉拭き取り、高台内に目痕が残る。14世紀末～15世紀中頃の製品と考えられる。11は口縁部で、胎土は灰色で、密、白色粒子・角閃石を含む。14世紀後半の製品と考えられる。

第618図12は古瀬戸の陶器灰釉縁釉皿である。胎土は灰黄色で、細かい白色粒子を含む。口縁部内外面に灰釉が施される。底部に回転糸切り痕が確認できる。14世紀後半の製品と考えられる。

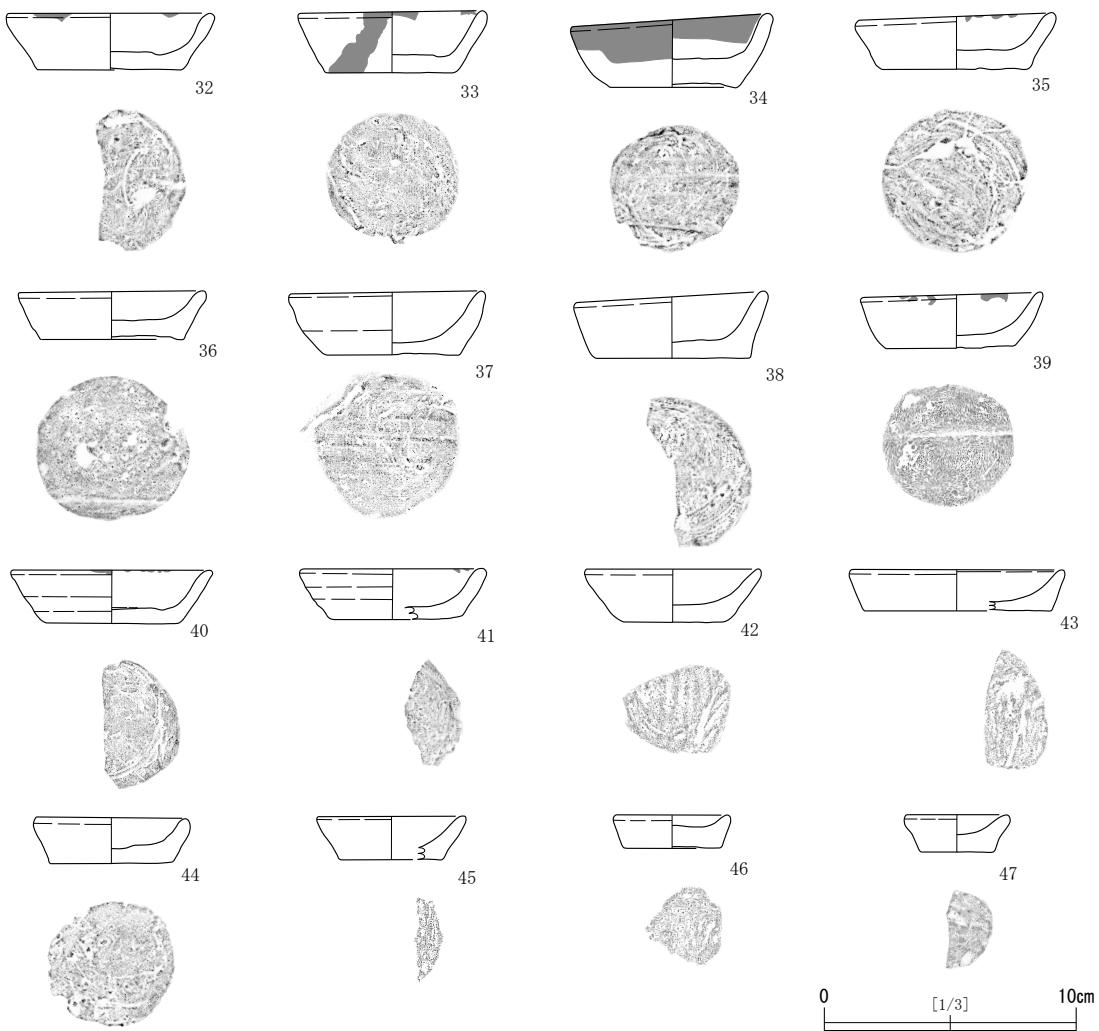
第618図13は古瀬戸の陶器御皿の底部である。胎土は灰白色で、細かい白色粒子を含む。見込に御目、底部に回転糸切り痕が確認できる。14世紀後半～15世紀中頃の製品と考えられる。



第618図 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物(1) [1/3]



第619図 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物(2) [1/3]



第620図 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物(3) [1/3]

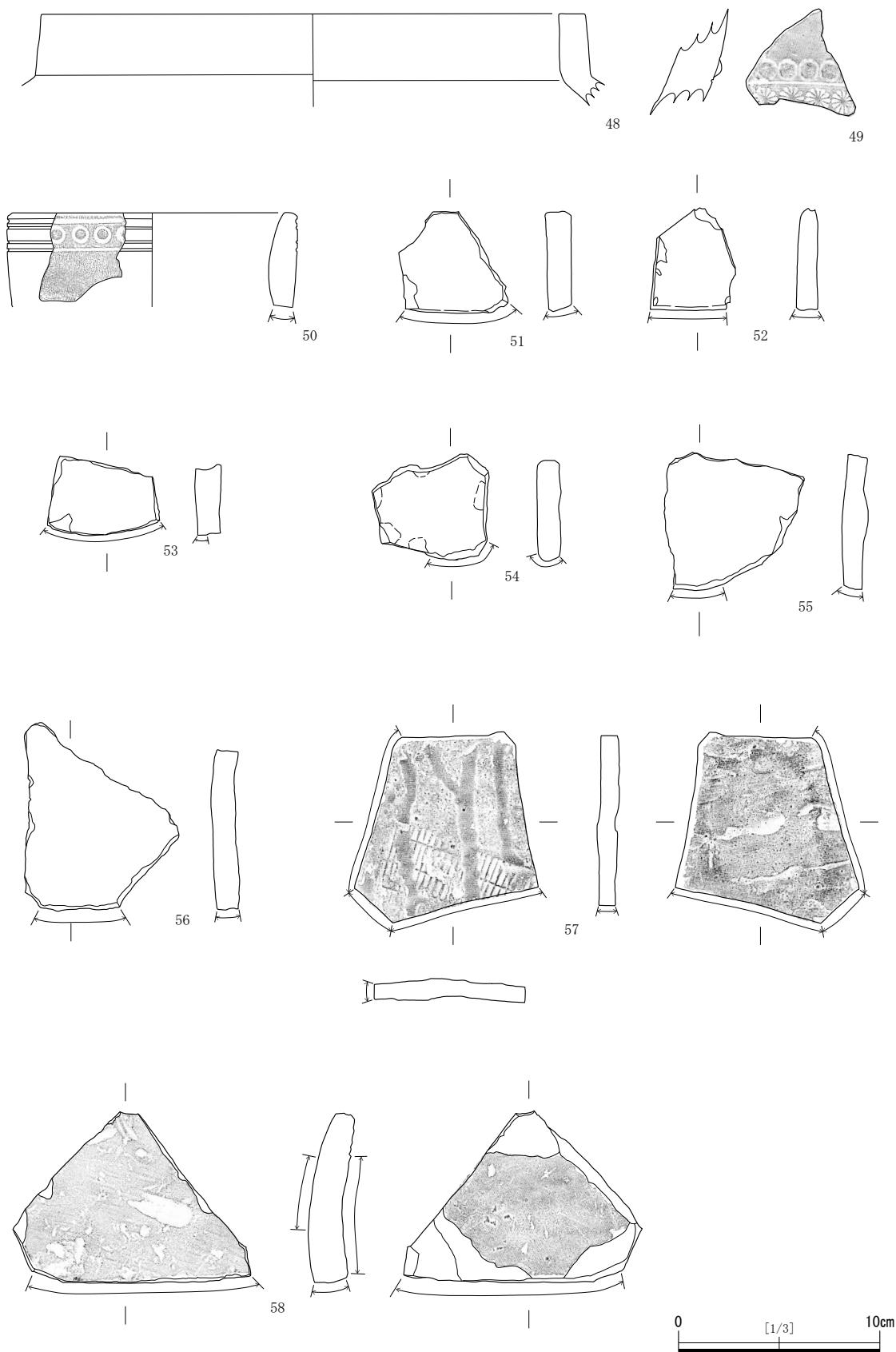
第618図14は古瀬戸の陶器灰釉香炉の口縁部である。胎土は褐灰色で、白色粒子を含む。2次焼成を受けている。15世紀以降の製品と考えられる。

第618図15は陶器の瀬戸窯の陶器灰釉皿である。胎土は浅黄色で、細かい白色粒子・角閃石を含む。見込に花菱の陰刻が施される。15世紀末～16世紀前半の製品と考えられる。

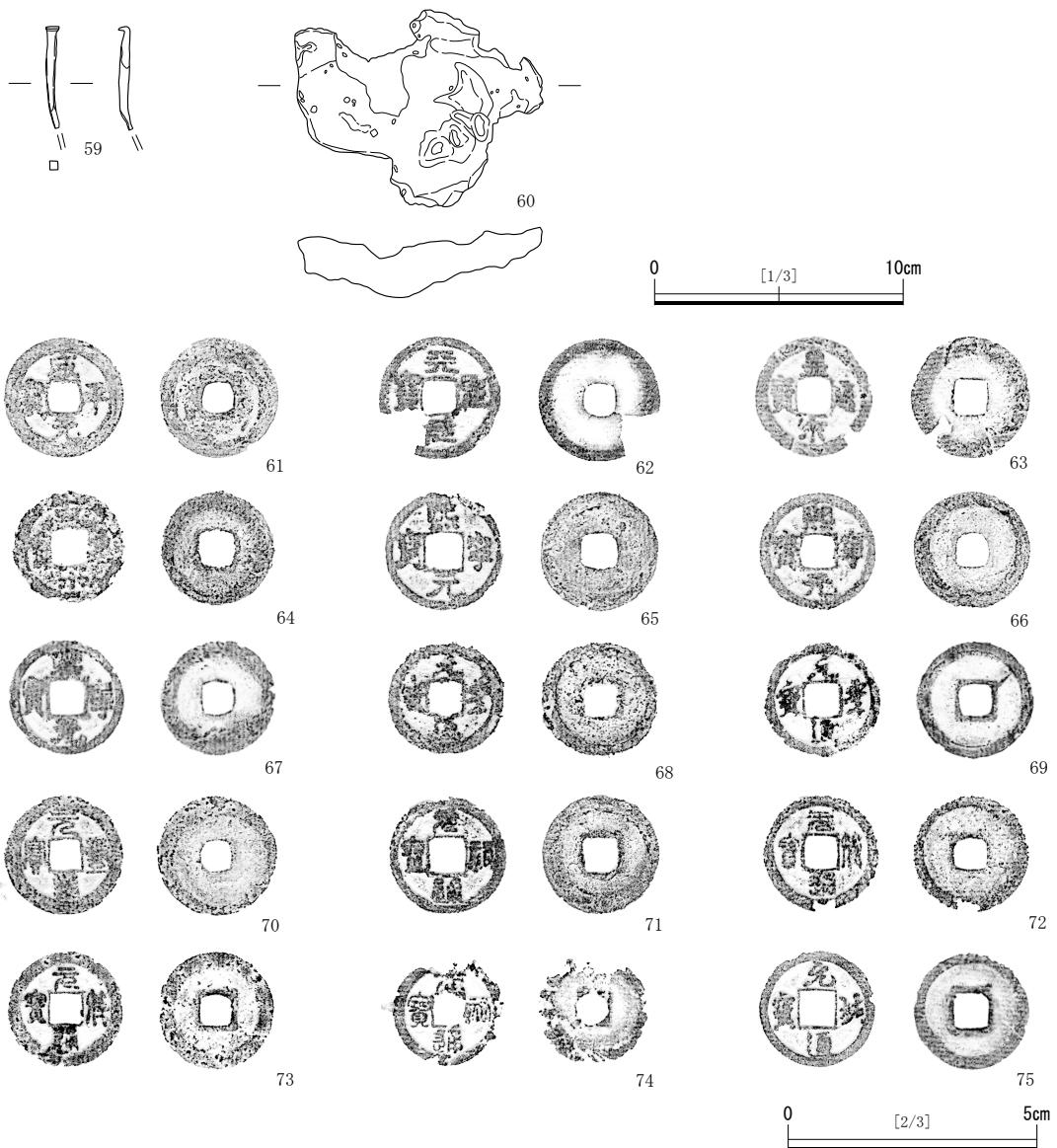
第618図16～18は瀬戸窯の陶器鋳釉擂鉢の口縁部である。16は胎土が淡黄色で、砂粒・角閃石を含む。擂り目確認出きなかった。15世紀の後半の製品と考えられる。17は胎土がにぶい橙色で、砂粒・角閃石を含む。5条一単位の擂り目が一部残っている。16世紀前半の製品と考えられる。18は胎土がにぶい黄橙色で、砂粒・角閃石を含む。16世紀後半の製品と考えられる。

第619図19・20は常滑窯の陶器片口鉢である。19は口縁部破片で、胎土はにぶい赤褐色で、砂粒・小礫を含む。片口鉢II類第2段階の14世紀前半製品と考えられる。20は底部の破片で、胎土は暗赤褐色で、細かい砂粒・白色粒子を含む。外面はヘラナデの調整が施される。

第619図21・22は常滑窯の陶器甕である。21は口縁部破片で、胎土は灰褐色で、白色粒子・角閃石・細かい砂粒を含む。甕第1段階第3型式の12世紀末～13世紀の製品と考えられる。22は口縁部破片で、胎土は黄灰色で、白色粒子・角閃石・小石・細かい砂粒を含む。甕第3段階第8型の14世紀後半の製品と考えられる。

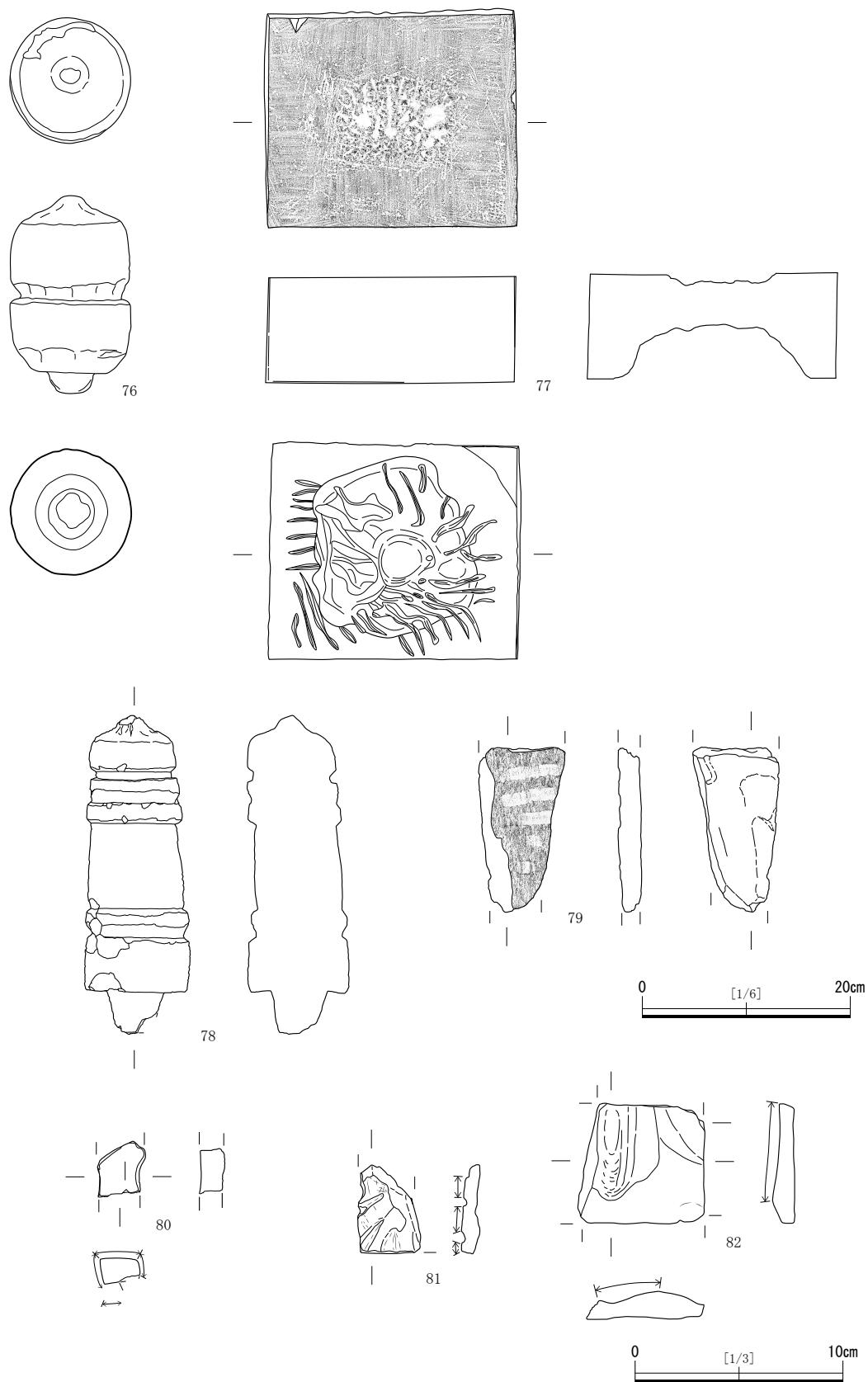


第621図 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物(4) [1/3]



第622図 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物(5) [1/3・2/3]

第619図23～31・第620図32～47はかわらけである。23～29は口径が10.0cm以上で大型に分類できる。30・31は底部のみの出土だが、体部の開く角度などから大型のかわらけに分類できると考えられる。胎土は23・24・26～29は橙色、25は黄橙色、30は暗橙色、31はにぶい橙色である。角閃石・白色針状物質・砂粒・小石・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕やスノコ痕が確認できる。14世紀後半～15世紀前半の製品と考えられる。32～43は口径が8.0～10.0cm 中型のかわらけに分類できる。胎土は32～42は橙色、43は淡橙色である。角閃石・白色針状物質・砂粒・小石・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕やスノコ痕が確認できる。32～35・39・40・41は口縁部に煤が付着しており、灯明皿として使用していたものと考えられる。44～47は口径が8.0cm以下の小型のかわらけに分類できる。胎土は44・45は橙色、46・47はにぶい橙色である。角閃石・白色針状物質・砂粒・小石・赤色スコリアを含む。底部に回転糸切り痕やスノコ痕が確認できる。44は内面に薄く煤が残る。44・45は14世紀後半～15世紀前半の製品、46・47は16世紀の製品と考えられる。



第623図 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物(6) [1/3・1/6]

第621図48・49は瓦質の火鉢である。48は口縁部の破片で、胎土は褐灰色、石英・細かい砂粒を含む。体部外面部ヨコナデの調整が施される。49は体部の破片で、胎土はにぶい橙色、砂粒・細かい砂粒を含む。口縁部外面に沈線を境に菊花スタンプと連珠貼付文が施される。

第621図50～58は研磨陶片である。50は瓦質の香炉の口縁を転用している。胎土は灰色で、角閃石・白色針状物質・雲母・細かい砂粒を含む。側面の1面を使用している。口縁部外面に連珠文の陰刻スタンプと沈線が施される。51～57は常滑窯の陶器の甕の体部を転用している。51の胎土は暗褐色で、石英・小礫・細かい砂粒を含む。側面の2面を使用している。52の胎土は灰色で、細かい砂粒を含む。側面の1面を使用している。53の胎土は暗褐色で、細かい砂粒を含む。側面の1面を使用している。54の胎土は褐色で、小礫を含む。側面の1面を使用している。55の胎土は褐灰色で、白色粒・小礫を含む。側面の1面を使用している。56の胎土は褐灰色で、小礫・砂粒を含む。側面の1面を使用している。57の胎土は灰白色で、白色粒・小礫を含む。側面の3面を使用している。外面に敲き目が確認できる。58は渥美窯の陶器の甕の体部を転用している。胎土は灰黄色、黒色粒・小礫・細かい砂粒を含む。側面の2面を使用、内面も磨っている。外面に敲き目が確認できる。

第622図59は鉄製品の釘である。先端部が欠損している。

第140表 8区・9区・調整池②区中世遺構外出土遺物観察表〔第618～622図〕

No.	器種	種別	( ) = 現存値 [ ] = 復元値			重量(g)	残存度	産地	時期	観察内容
			口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)					
1	青磁 劃花文皿	磁器	—	—	2.0	4.1	口縁部破片	中国	12世紀 後半～ 13世紀 初	素地 灰色 純密、黑色粒子を含む 燃成 堅緻 釉薬 オリーブ灰色青磁 備考 同安窯系 出土位置 T13～15gr・U13～15gr
2	青磁 蓮弁文鉢	磁器	[18.6]	—	(2.2)	10.7	口縁部1/12	中国	13世紀 ～ 14世紀	素地 灰白色、純密、黑色粒子を含む 燃成 堅緻 釉薬 緑灰色青磁 備考 龍泉窯系 出土位置 一括
3	青磁 劃花文皿	磁器	—	[5.5]	(2.5)	17.0	底部1/4	中国	14世紀 初	素地 灰白色、純密、黑色粒子を含む 燃成 堅緻 釉薬 明緑灰色青磁 備考 龍泉窯系 出土位置 一括
4	天目碗	陶器	[11.8]	—	(5.5)	31.2	口縁部 1/8・体部 1/6	瀬戸	15世紀 後半	胎土 浅黄色、密、細かい白色粒子を含む 燃成 良好 釉薬 暗褐色鉄釉 備考 体部下半部錆化粧 出土位置 X12gr
5	天目碗	陶器	[12.0]	—	(5.6)	54.7	口縁部～ 体部1/4	瀬戸	16世紀	胎土 灰黄色、密、黑色粒子・白色粒子を含む 燃成 良好 釉薬 黒褐色鉄釉 備考 体部下半無釉 出土位置 W9gr
6	天目碗	陶器	—	4.0	(1.6)	28.0	高台部ほぼ 完存	瀬戸	16世紀	胎土 褐灰色、密、黑色粒子・角閃石を含む 燃成 良好 釉薬 黒褐色天目釉 備考 高台無釉 出土位置 X13gr
7	灰釉平碗	陶器	—	5.1	(4.8)	117.9	体部1/4～ 底部完存	古瀬戸	15世紀 後半	胎土 浅黄色、やや粗、砂粒を含む 燃成 良好 釉薬 オリーブ灰色灰釉 備考 見込に目跡 出土位置 X9gr
8	山茶碗 小皿	陶器	[8.7]	[4.8]	2.7	19.0	口縁部 1/7・ 体部1/4・ 底部1/5	東海 地方	12世紀 以降	胎土 暗灰色、密、細かい砂粒を含む 燃成 良好 備考 貼り付け高台、高台内煤付着 出土位置

9	灰釉 折縁鉢	陶器	—	—	(6.9)	52.9	口縁部～ 体部破片	古瀬戸	15世紀 前半	胎土 浅黄色、密、細かい白色 粒子を含む 焼成 良好 釉薬 淡黄色灰釉 備考 体部下半無 釉、二次焼成を受け釉薬白濁 出土位置 Y10gr
10	灰釉 折縁皿	陶器	—	[10.5]	(3.1)	59.9	底部1/5	古瀬戸	14世紀 末～ 15世紀 中頃	胎土 浅黄色、密、細かい白色 粒子・角閃石を含む 焼成 良 好 釉薬 オリーブ黄色灰釉 備考 体部下半～底部釉拭き取 り、高台内目痕 出土位置 Y11gr
11	灰釉 折縁皿	陶器	[17.6]	—	(3.2)	34.8	底部1/7	古瀬戸	14世紀 後半	胎土 灰色、密、白色粒子・角 閃石を含む 焼成 良好 釉薬 オリーブ色灰釉 出土位置 X9gr
12	灰釉 卸皿	陶器	9.8	6.1	2.6	69.3	口縁部～ 体部1/2・ 底部3/5	古瀬戸	14世紀 後半	胎土 灰黄色、密、細かい白色 粒子を含む 焼成 良好 釉薬 オリーブ灰色灰釉 備考 口縁 部内外面施釉、底部回転糸切 り痕 出土位置 X9gr
13	卸皿	陶器	—	[7.5]	[1.3]	15.4	底部1/4	古瀬戸	14世紀 後半～ 15世紀 中頃	胎土 灰白色、密、細かい白色 粒子を含む 焼成 良好 釉薬 オリーブ灰色 備考 見込に卸 皿、底部回転糸切り痕 出土位 置 一括
14	灰釉 香炉	磁器	[16.8]	—	(2.8)	51.2	口縁部～ 体部1/7	古瀬戸	15世紀 以降	胎土 暗褐色、緻密、白色粒子 を含む 焼成 釉薬 明オリーブ 灰色 備考 2次焼成を受ける 出土位置 Y9gr
15	灰釉皿	陶器	[10.9]	6.0	2.4	59.4	口縁部～体 部1/9・ 底部完存	瀬戸	15世紀 末～ 16世紀 前半	胎土 浅黄色、密、細かい白色 粒子・角閃石を含む 焼成 良 好 釉薬 オリーブ黄色灰釉 見込に花菱の陰刻、備考 釉薬つ け掛け、釉拭き取り 出土位置 X8gr
16	鋳釉 擂鉢	陶器	[28.4]	—	(3.4)	31.5	口縁部1/12	瀬戸	15世紀 後半	胎土 淡黄色、密、砂粒・角閃 石を含む 焼成 良好 釉薬 黒 褐色鋳釉 備考 摂り目確認出 来ず 出土位置 X13gr
17	鋳釉 擂鉢	陶器	[20.5]	—	(4.8)	33.3	口縁部1/16	瀬戸	16世紀 前半	胎土 にぶい橙色、密、砂粒・ 角閃石を含む 焼成 良好 釉薬 暗褐色鋳釉 備考 5条一単位 の摂り目一部残 出土位置 Y7gr
18	鋳釉 擂鉢	陶器	[24.8]	—	(3.1)	13.2	口縁部1/10	瀬戸	16世紀 後半	胎土 にぶい黄橙色、密、砂 粒・角閃石を含む 焼成 良好 釉薬 鋳釉 備考 摂り目確認出 来ず 出土位置 V12gr
19	片口鉢	陶器	[18.7]	—	(2.7)	18.6	口縁部1/10	常滑	14世紀 前半	胎土 にぶい赤褐色、密、砂 粒・小礫を含む 焼成 良好 備 考 片口鉢II類第2段階 出土 位置 Y10gr
20	片口鉢	陶器	—	[10.6]	(4.9)	97.8	底部破片	常滑	中世	胎土 暗赤褐色、密、細かい砂 粒・白色粒子を含む 焼成 良好 備考 外面ヘラナデ 出土位 置 X12gr
21	甕	陶器	[33.8]	—	(2.7)	26.4	口縁部1/16	常滑	12世紀 末～ 13世紀	胎土 灰褐色、密、白色粒子・ 角閃石・細かい砂粒を含む 焼 成 良好 備考 甕第1段階第3 型式 出土位置 T16gr

22	甕	陶器	[31.2]	—	(8.9)	249.3	口縁部～頸部1/9	常滑	14世紀後半	胎土 黄灰色、密、白色粒子・角閃石・小石・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 瓢第3段階第8型 出土位置 X9gr
23	かわらけ	土器	[13.8]	[9.0]	3.4	65.1	口縁部1/6・体部1/4・底部1/3	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕 出土位置 U12gr
24	かわらけ	土器	11.3	7.0	3.7	95.7	口縁部～体部3/5・底部4/5	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・石英・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕 出土位置 T14gr
25	かわらけ	土器	[12.0]	[7.7]	3.1	34.2	口縁部～体部1/4・底部1/5	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 黄橙色、密、角閃石・白色針状物質・石英・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 T14gr
26	かわらけ	土器	[11.3]	[7.3]	3.5	84.1	口縁部～体部1/3・底部1/2	在地	14世紀末～15世紀前半	胎土 橙色、やや粗、角閃石・細かい砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕 出土位置 T14gr
27	かわらけ	土器	[11.0]	[7.3]	3.1	46.3	口縁部～体部1/4・底部1/3	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・細かい砂粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 出土位置 試掘No.8 gr
28	かわらけ	土器	10.1	6.7	2.3	96.6	ほぼ完形・口縁部2ヶ所欠損	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・雲母・白色針状物質・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 口唇部煤付着、底部回転糸切り痕 出土位置 V13gr
29	かわらけ	土器	[11.2]	[6.2]	3.1	27.9	口縁部～体部1/4・底部1/6	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・石英・白色針状物質・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、体部外面器面剥離 出土位置 U12gr
30	かわらけ	土器	—	7.0	(2.5)	72.1	体部1/2・底部3/4	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 暗橙色、粗、角閃石・白色針状物質・石英・赤色スコリアを含む 焼成 やや粗 備考 底部回転糸切り痕、スノコ痕不明瞭 出土位置 W12gr
31	かわらけ	土器	—	[7.5]	(1.6)	13.6	底部1/4	在地	14世紀後半以降	胎土 にぶい橙色、密、角閃石を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、内外面煤で黒色 出土位置 X10gr
32	かわらけ	土器	[8.1]	[5.8]	2.2	23.4	口縁部～体部1/4・底部1/3	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・石英・細かい砂粒・小石・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 口縁部に煤付着、灯明皿として使用、底部回転糸切り痕か 出土位置 V13gr
33	かわらけ	土器	7.3	5.0	2.5	48.8	完形	在地	14世紀後半～15世紀前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色針状物質・小礫・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 口唇部から体部外面スス付着、灯明皿として使用底部回転糸切り痕 出土位置 X9gr

34	かわらけ	土器	7.9	5.0	2.9	67.1	口縁部～ 体部3/4・ 底部完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・雲母、細かい砂粒 を含む 焼成 良好 備考 口縁 部内外面と見込煤付着、灯明 皿として使用底部回転糸切り 痕、スノコ痕 出土位置 X8gr
35	かわらけ	土器	7.7	5.7	2.3	57.8	口縁部3/4 ～底部ほぼ 完存	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・雲母 を含む 焼成 良好 備考 口縁 部に煤付着、灯明皿として使 用、底部回転糸切り痕 出土位 置 V10gr
36	かわらけ	土器	7.4	5.7	1.9	50.5	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・石英・砂粒・赤色 スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕、スノコ 痕 出土位置 U12gr
37	かわらけ	土器	7.7	5.3	2.5	63.0	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・砂粒・赤色スコリ アを含む 焼成 良好 備考 底 部回転糸切り痕、スノコ痕 出 土位置 W9gr
38	かわらけ	土器	7.5	6.0	2.7	40.9	口縁部～ 底部1/2	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、やや粗、角閃石・ 砂粒・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 不明瞭 出土位置 V13gr
39	かわらけ	土器	7.2	5.1	2.2	42.6	完形	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・雲 母・細かい砂粒・赤色スコリ アを含む 焼成 良好 備考 灯 明皿として使用、口唇部外 面スス付着、灯明皿として使 用全体にゆがみ有、底部回転 糸切り痕、スノコ痕 出土位 置 X9gr
40	かわらけ	土器	[8.0]	[5.4]	2.1	22.8	口縁部～ 底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・石英・砂粒を含む 焼成 良好 備考 口縁部に煤付 着、灯明皿として使用、底部 回転糸切り痕、スノコ痕カ 出土位置 X9gr
41	かわらけ	土器	[7.2]	[4.6]	2.0	15.5	口縁部～ 底部1/4弱	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、石英・細かい 砂粒を含む 焼成 良好 備考 口縁部に煤付着、灯明皿と して使用、底部回転糸切り痕 不明瞭着 出土位置 U11～U13gr
42	かわらけ	土器	[6.9]	4.1	2.1	20.8	口縁部～ 体部1/4・ 底部1/2	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切 り痕、スノコ痕 出土位置 V12gr
43	かわらけ	土器	[8.4]	[7.3]	1.7	14.3	口縁部～ 底部1/4	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 淡橙色、密、角閃石・石 英・細かい砂粒・赤色スコリ アを含む 焼成 良好 備考 底 部回転糸切り痕不明瞭 出土位 置 V13gr
44	かわらけ	土器	6.0	4.9	1.9	3.4	ほぼ完形・ 口縁部1ヶ 所欠損	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・細かい砂粒・赤色 スコリアを含む 焼成 良好 備考 内面に薄く煤、底部回転糸 切り痕 出土位置 U11gr

45	かわらけ	土器	[5.8]	[4.0]	1.7	8.8	口縁部～ 体部1/4・ 底部1/5	在地	14世紀 後半～ 15世紀 前半	胎土 橙色、密、角閃石・白色 針状物質・石英・細かい砂粒 を含む 焼成 良好 底部回転糸 切り痕不明瞭 出土位置 U11gr
46	かわらけ	土器	[4.4]	[3.9]	1.3	10.7	口縁部～ 底部1/4	在地	16世紀	胎土 にぶい橙色、密、角閃 石・石英・小礫・細かい砂 粒・赤色スコリアを含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕 不明瞭 出土位置 V13gr
47	かわらけ	土器	[4.0]	[2.8]	1.5	8.0	口縁部 1/4・体部 ～底部1/3	在地	16世紀	胎土 にぶい橙色、密、白色針 状物質・雲母を含む 焼成 良好 備考 底部回転糸切り痕不 明瞭 出土位置 U12gr
48	火鉢	瓦質	[25.7]	—	(4.6)	61.0	口縁部1/10	在地	中世	胎土 褐灰色、密、石英・細か い砂粒を含む 焼成 良好 備考 体部外面部ヨコナデ 出土位置 V11gr
49	火鉢	瓦質	—	—	(5.3)	42.0	体部破片	在地	中世	胎土 にぶい橙色、やや粗、砂 粒・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 菊花スタンプ・連 珠貼付文・沈線 出土位置 X10gr
50	研磨陶片	瓦質	[13.6]	—	4.7	28.6	口縁部～ 体部1/9	在地	15世紀	胎土 灰色、密、角閃石・白色 針状物質・雲母・細かい砂粒 を含む 焼成 良好 備考 瓦質 香炉の口縁部転用、側面1面 使用、口縁部外側連珠文の陰 刻スタンプ・沈線、 出土位置 U11gr
51	研磨陶片	陶器	5.0	5.0	1.3	42.5	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 暗褐色、密、石英・小 礫・細かい砂粒を含む 焼成 良好 備考 常滑甕体部転用、 側面の2面使用 出土位置 W14gr
52	研磨陶片	陶器	5.0	4.1	1.1	34.0	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 灰色、密、細かい砂粒 を含む 焼成 良好 備考 常滑甕 体部転用、側面の1面使用 出 土位置 表土一括
53	研磨陶片	陶器	5.6	3.7	1.3	36.7	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 暗褐色、密、細かい砂粒 を含む 焼成 良好 備考 自然 釉、常滑甕体部転用、側面の 1面使用 出土位置 V15gr
54	研磨陶片	陶器	5.2	5.7	1.2	50.1	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 褐色、密、小礫を含む 焼成 良好 備考 自然釉、常滑 甕体部転用、側面の1面使用 出土位置 V15gr
55	研磨陶片	陶器	6.3	6.3	1.3	69.5	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 褐灰色、密、白色粒・小 礫を含む 焼成 良好 備考 常 滑甕体部転用、側面の1面使 用 出土位置 Z9gr
56	研磨陶片	陶器	9.2	7.7	1.2	97.2	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 褐灰色、密、小礫・砂粒 を含む 焼成 良好 備考 自然 釉、常滑甕体部転用、側面の 1面使用 出土位置 W15gr
57	研磨陶片	陶器	9.2	9.1	1.1	113.4	体部破片	常滑	13世紀 以降	胎土 灰白色、密、白色粒・小 礫を含む 焼成 良好 備考 内 外面に自然釉、常滑甕体部転 用、側面の3面使用、外面に 敲き目 出土位置 Y9gr

58	研磨陶片	陶器	8.5	10.7	1.8	198.7	体部破片	渥美	12世紀～13世紀	胎土 灰黄色、密、黒色粒・小礫・細かい砂粒を含む 焼成良好 備考 渥美甕体部を転用、側面の2面使用、内面も磨っている、外面に敲き目 出土位置 一括
No.	種別	材質	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)				観察内容
59	釘	鉄	(4.1)	0.3	0.3	2.0	残存度 ほぼ完形、先端部欠損	出土位置 W13gr		
60	椀型滓	鉄	7.8	9.8	2.0	219.2	備考 器面発泡	出土位置 W13gr		
No.	銭名	材質	錢径 (mm)	穿径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	残存度			観察内容
61	咸平元寶	銅	24.5	6.0	1.0	3.3	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 998年 備考 真書、出土時点62・64～67と錆で固着	出土位置 T15gr	
62	天聖元寶	銅	25.0	7.0	1.0	1.4	4/5	鑄造国 北宋 初鋤年 1023年 備考 篆書	出土位置 X9gr	
63	皇宋通寶	銅	24.5	6.5	0.9	1.7	ほぼ完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1038年 備考 真書、出土時点75・76と錆で固着		
64	皇宋通寶	銅	22.9	6.9	0.7	1.5	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1038年 備考 真書、出土時点62～66と錆で固着、銭文の下が「宋」、他の3文字は錆のため不明	出土位置 T15gr	
65	熙寧元寶	銅	24.3	7.0	0.8	1.7	完形	鑄造地 北宋 初鋤年 1068年 備考 真書、出土時点63～67と錆で固着	出土位置 T15gr	
66	熙寧元寶	銅	23.6	6.5	0.9	2.9	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1068年 備考 真書、出土時点62～64・66・67と錆で固着	出土位置 T15gr	
67	熙寧元寶	銅	23.5	6.6	0.9	2.8	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1068年 備考 真書、出土時点74・76と錆で固着		
68	元豐通寶	銅	23.4	6.3	1.3	3.1	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1078年 備考 行書、出土時点62・63・65～67と錆で固着	出土位置 T15gr	
69	元豐通寶	銅	23.7	6.4	1.2	2.7	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1078年 備考 行書、出土時点74・75と錆で固着		
70	元豐通寶	銅	24.2	6.0	0.8	2.4	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1078年 備考 篆書	出土位置 W13gr	
71	元祐通寶	銅	24.0	6.9	1.1	3.2	完形	鑄造国 北宋 初鋤年 1086年 備考 篆書、出土時点62～65・67と錆で固着	出土位置 T15gr	
72	元祐通寶	銅	23.7	6.3	1.2	1.8	ほぼ完形 一部欠損	鑄造国 北宋 初鋤年 1086年 備考 篆書	出土位置 W12gr	

73	元祐通寶	銅	23.7	6.1	1.3	3.0	完形	鑄造国 北宋 初鋸年 1086年 備考 篆書 出土位置 V13gr
74	元祐通寶	銅	(22.0)	6.0	1.0	1.4	3/4	鑄造国 北宋 初鋸年 1086年 備考 篆書 出土位置 X9gr
75	元祐通寶	銅	23.8	7.0	0.9	1.7	完形	鑄造国 北宋 初鋸年 1086年 備考 行書 出土位置 X9gr
No.	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	観察内容	
76	五輪塔 空風輪	安山岩	19.0	12.0	11.6	3,527.2	残存度 完形 備考 表面摩耗が著しく梵字確認できず 出土位置 一括	
77	五輪塔 地輪	粗粒 凝灰岩	長さ 20.5	24.2	10.1	9,800.0	残存度 完形 備考 表面中央部に墓石を添えるための浅い窪みが掘られており、裏面はドーム状に抉られている、七沢石 出土位置 一括	
78	宝篋印塔 相輪	多孔質 安山岩	30.7	10.2	9.8	3,350.4	残存度 ほぼ完形、笠部との結合の突起が一部欠損 出土位置 X13gr	
79	板碑	緑泥 片岩	(15.8)	(8.3)	2.2	454.8	備考 武藏型板碑の基部の一部 出土位置 V15gr	
80	砥石	流紋岩	(5.4)	(4.6)	2.5	84.5	残存度 両端部欠損 備考 中砥、被熱、上下側面の4面使用 出土位置 X14gr	
81	硯	粘板岩	(5.8)	(6.1)	1.3	60.3	備考 端部欠損 出土位置 X9gr	
82	転用砥石	滑石 片岩	(4.2)	(3.0)	0.9	15.4	備考 砚の転用の可能性あり、端部欠損 出土位置 X11gr	

第622図で60は椀型滓である。器面が発砲している。

第622図61～75は渡来銭である。61は咸平元寶で、鑄造国は北宋、初鋸年は998年、書体は真書である。62は天聖元寶で、鑄造国は北宋、初鋸年は1023年、書体は篆書である。63・64は皇宋通寶で、鑄造国は北宋、初鋸年1038年、書体は真書である。64は銭下の文が「宋」になる渡来銭は皇宋通寶のみである。65～67は熙寧元寶で、鑄造国は北宋、初鋸年は1068年、書体は真書である。68～70は元豊通寶で、鑄造国は北宋、初鋸年は1078年である。書体は68・69は行書、70は篆書である。71～75は元祐通寶で、鑄造国は北宋、初鋸年は1086年である。書体は71～74は篆書、75は行書である。

第623図76～82は石製品である。76は五輪塔の空風輪である。表面摩耗が著しく梵字は確認できない。石材は安山岩である。77は五輪塔の地輪である。上面中央部は水輪を置くため浅い窪みが掘られており、下面是ドーム状に抉られている。石材は粗粒凝灰岩である。78は宝篋印塔の相輪である。笠部との結合の突起が一部欠損している。石材は多孔質安山岩である。79は板碑である。武藏型板碑の基部の一部と考えられる。石材は緑泥片岩である。80は砥石で、上下側面の4面を使用している。石材は流紋岩である。81は硯で、石材は粘板岩である。82は転用砥石である。硯の転用の可能性がある。端部が欠損している。石材は滑石片岩である。